

添付資料

- 添付資料 1 面談リスト・議事録
- 添付資料 2 関連機関に対する質問票への回答
- 添付資料 3 コミュニティ防災に関わる現地調査結果
- 添付資料 4 収集資料リスト

添付資料 1 面談リスト・議事録

サイクロン常襲地における災害耐性強化に係る情報収集・確認調査

議事録リスト

No.	月日 (曜日)	時間	場所	議題	頁
1	3月4日(日)	09:40 - 10:00	BWDB, WAPDA Building, Dhaka	JICA 調査団及び BWDB ダッカ事務所の面談：本調査の紹介と情報収集に関するお願い	A1-1
2	3月4日(日)	11:15 - 13:30	BWDB, WAPDA Building, Dhaka	優先5ポルダールに関する堤防設計や最高潮位などについて（沿岸部堤防改善プロジェクト（CEIP-1）技術委員会の会合に、JICA 調査団はオブザーバーとして同席）	A1-2
3	3月4日(日)	15:00 - 16:00	BMD Meteorological Complex, Dhaka	BMD ダッカ事務所の面談：本調査の紹介と情報収集に関するお願い	A1-3
4	3月5日(月)	09:30 - 10:30	World Bank office, Dhaka	世界銀行と JICA 調査団の面談：本調査の紹介と情報収集に関するお願い	A1-4
5	3月5日(月)	10:35 - 11:15	World Bank office, Dhaka	世界銀行と JICA 調査団の面談：本調査の紹介と情報収集に関するお願い	A1-6
6	3月5日(月)	11:35 - 12:30	ADB office, Dhaka	アジア開発銀行（ADB）と JICA 調査団の面談：本調査の紹介と情報収集に関するお願い	A1-8
7	3月5日(月)	14:35 - 16:00	UNDP office, Dhaka	国連開発計画（UNDP）と JICA 調査団の面談：本調査の紹介と情報収集に関するお願い	A1-10
8	3月6日(火)	15:40 - 17:20	Disaster Management Bureau (DMB), Dhaka	災害管理局（DMB）と JICA 調査団の面談：本調査の紹介と情報収集に関するお願い	A1-12
9	3月7日(水)	09:15 - 10:35 11:00 - 11:45	CEGIS, Dhaka	環境・GIS センター（CEGIS）と JICA 調査団の面談：本調査の紹介と情報収集に関するお願い	A1-14
10	3月8日(木)	09:15 - 10:25	Embassy of the Kingdom of the Netherlands, Dhaka	オランダ大使館との情報交換	A1-16
11	3月13日(火)	10:25 - 12:25	Bangladesh Red Crescent Society, Dhaka	バングラデシュ赤新月社（BDRCS）の面談：本調査の紹介と情報収集に関するお願い	A1-18
12	3月14日(水)	10:15 - 11:15	BRAC office, Dhaka	バングラデシュ農村振興委員会（BRAC）と JICA 調査団の面談：本調査の紹介と情報収集に関するお願い	A1-20
13	3月17日(土)	18:15 - 21:15	BWDB office, Khulna	BWDB クルナ事務所と JICA 調査団との面談：当該地域の現状について	A1-22

No.	月日(曜日)	時間	場所	議題	頁
14	3月18日(日)	10:00 - 11:30	LGED office, Khulna	地方政府技術局 (LGED) クルナ事務所と JICA 調査団との面談: 当該地域の現状について	A1-24
15	3月19日(月)	10:00 - 11:00	BWDB office, Satkhira	Bangladesh Water Development Board (BWDB) サトキラ事務所と JICA 調査団との面談: 当該地域の現状について	A1-25
16	3月19日(月)	11:45 - 12:45	LGED office, Satkhira	地方政府技術局 (LGED) サトキラ事務所と JICA 調査団との面談: 当該地域の現状について	A1-26
17	3月20日(火)	10:00 - 11:15	BWDB office, Bagerhat	Bangladesh Water Development Board (BWDB) バゲルハット事務所と JICA 調査団との面談: 当該地域の現状について	A1-28
18	3月20日(火)	11:30 - 12:20	LGED office, Bagerhat	地方政府技術局 (LGED) と JICA 調査団との面談: 当該地域の現状について	A1-30
19	4月1日(日)	14:00 - 15:00	BWDB office, Satkhira	Bangladesh Water Development Board (BWDB) サトキラ事務所と JICA 調査団との面談: 当該地域の現状について	A1-32
20	4月2日(月)	10:00 - 12:00	BWDB office, Satkhira Division II	水資源開発庁 (BWDB) サトキラ事務所 (Division-2) と JICA 調査団との面談: 当該地域の現状について	A1-33
21	4月4日(水)	11:00 - 14:00	BWDB office, Satkhira Division I	Bangladesh Water Development Board (BWDB) サトキラ事務所 (Division 1, 2, sub Division) と JICA 調査団との面談: 当該地域の現状について	A1-34
22	4月4日(水)	12:00 - 13:00	Satkhira District Office	当該地域における現状について	A1-35
23	4月15日(日)	11:40 - 12:30	DPHE Office, Khulna	本調査の紹介と当該地域における現状について	A1-36
24	4月15日(日)	15:30 - 16:45	BWDB Office, Satkhira, Division-2	Mr. Shahidul Islam 氏 (BWDB サトキラ事務所、Division-2) との情報交換	A1-37
25	4月15日(日)	15:30 - 17:00	Khulna District Office	本調査の紹介、当該地域における現状について	A1-38
26	4月16日(月)	10:00 - 10:30	Bagerhat District Office	本調査の紹介、当該地域における現状について	A1-39
27	4月16日(月)	10:30 - 11:00	Bagerhat District Office	本調査の紹介、当該地域における現状について	A1-40
28	4月16日(月)	12:00 - 12:30	DPHE Office, Bagerhat	本調査の紹介、当該地域における現状について	A1-41
29	4月23日(月)	10:00 - 10:30	DPHE Office, Dhaka	本調査の紹介と情報収集に関するお願い	A1-42
30	4月23日(月)	11:00 - 11:30	Ministry of Health & Family welfare	本調査の紹介と情報収集に関するお願い	A1-43

No.	月日（曜日）	時間	場所	議題	頁
31	4月24日（火）	11:00 – 12:00	BWDB Groundwater Hydrology	本調査の紹介と情報収集に関するお願い	A1-44
32	4月24日（火）	12:00 – 13:00	BWDB Processing and Flood Forecasting Circle	本調査の紹介と情報収集に関するお願い	A1-45
33	4月25日（水）	11:00 – 12:00	BWDB Flood Forecasting & Warning Center	本調査の紹介と情報収集に関するお願い	A1-46
34	4月25日（水）	15:00 – 16:00	Department of Environment	本調査の紹介と情報収集に関するお願い	A1-47
35	4月26日（木）	11:00 – 12:00	DPHE Office, Dhaka	本調査の紹介と情報収集に関するお願い	A1-48
36	4月26日（木）	15:00 – 16:00	World bank Office, Dhaka	本調査の紹介と情報収集に関するお願い	A1-49
37	4月29日（日）	11:00 – 12:00	Ministry of Agriculture	本調査の紹介と情報収集に関するお願い	A1-50
38	4月30日（月）	11:00 – 12:00	Ministry of Environment & Forest	本調査の紹介と情報収集に関するお願い	A1-51
39	5月2日（水）	11:00 – 12:00	DPHE Office, Satkhira	本調査の紹介と情報収集に関するお願い	A1-52
40	5月20日（日）	09:00 – 11:00	Disaster Forum Office	Disaster Forum の活動に関して及び沿岸部の状況について	A1-53
41	5月21日（月）	11:30 – 13:00	BDPC Office, Dhaka	バングラデシュ災害対策センター（BDPC）の活動や考え方について	A1-57
42	5月22日（火）	14:00 – 16:00	BWDB Design Circle-V Office	Design Circle V の役割と JICA 支援に関する協議	A1-58
43	5月23日（水）	15:00 – 16:30	WMIP Office, Dhaka	WMIP（Water Management Improvement Project）に関して	A1-63
44	5月27日（日）	08:30 – 10:00	FAO Office, Dhaka	FAO の活動及び現状の認識について	A1-67
45	6月5日（火）	15:30 – 17:15	BWDB Office, Dhaka	JICA 調査団による当該調査に関するプレゼンテーション	A1-71

No.1

年月日（曜日）、時間	2012年3月4日（日）、09:40 – 10:00
場所	BWDB, WAPDA Building, Dhaka
出席者	<ol style="list-style-type: none"> 1. Mr. Md. Sarafat Hossain Khan, SE/ Director, BWDB 2. Mr. Michio Ota, JICA Expert, BWDB 3. Mr. Kenichiro Kato, JICA Survey Team 4. Dr. Naonori Kusakabe, JICA Survey Team 5. Mr. Muhammad Abu Musa, JICA Survey Team 6. Dr. Shaakeel Hasan, JICA Survey Team
議題	JICA 調査団及び BWDB ダッカ事務所の面談：本調査の紹介と情報収集に関するお願い
協議内容	<ul style="list-style-type: none"> ● JICA 調査団の紹介 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 調査の背景や目的、調査対象地、期間やスケジュールなどについて説明し、BWDB からのサポート、収集情報や必要データ及び書類などについて協議した。 ● BWDB は、沿岸域の 139 ポルダーを含む計 120 万ヘクタール (12,000km²) のエリアを管轄している。 ● 現在、世銀の支援による Coastal Embankment Improvement Project (CEIP) と呼ばれるプロジェクトが実施されており、本調査の参考になる。 ● Sarafat 氏から、水位、河川流量、降雨量、地形、地下水、地質、ボーリングデータなどの必要な情報を提供してくれるとのこと。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ Khan 氏は、必要なデータ要請リストがあれば、関連機関やグループなどに協力要請のレターを作成・協力をうながす。 ➤ 今回の JICA 情報収集・確認調査の調査対象ポルダーとなっている Polder 32 については、CEIP の支援対象ポルダーに選定されてしまっている。 ● この面会の後、CEIP-1 の専門委員会が開催される。JICA 調査団は、オブザーバーとして参加してみてもどうか？CEIP-1 の専門委員会においては、選定した 5 ポルダーにおける堤頂高、スペックについて討議する。 <p style="text-align: right;">以上</p>

No.2

年月日（曜日）、時間	2012年3月4日（日）、11:15 – 13:30
場所	BWDB, WAPDA Building, Dhaka
出席者	<ol style="list-style-type: none"> 1. Around 25 participants, most of them are from the technical committee. 2. The technical committee includes professionals from the donor agency (e.g. World Bank), consultants (e.g. IWM, CEGIS, etc.), engineers (BWDB). 3. JICA Survey Team members were there as observer.
議題	優先5ポルダーに関する堤防設計や最高潮位などについて（沿岸部堤防改善プロジェクト（CEIP-1）技術委員会の会合に、JICA調査団はオブザーバーとして同席）
協議内容	
<ul style="list-style-type: none"> ● 1960年代から沿岸地域では輪中堤を建設してきており、その輪中堤によって、地域住民と農地を保護してきた。現在では、沿岸部の輪中堤120万ヘクタールの土地が農地として利用されている。 ● CEIP-1はプログラム全体の方法論や戦略を発展させることが求められている。 ● 現在は第1フェーズとして、パイロット地域における方法論の実証を試行している段階であると言える。 ● 現在は、初期（first batch of works）段階として、世界銀行や「バ」国政府によるアプレーザルを得ること、およびの詳細設計を実施している。 ● 次段階においては、（他ポルダーにおける）詳細設計の継続とともにCEIP-1の事業実施の管理をしていくことになる。 ● 選定された5つのポルダーにおける堤頂高（Embankment design crest level）が検討されてきた。CEIP-1のチームリーダーより、これまでの検討のプロセス・結果のプレゼンテーションが行われ、現在及び今後の技術的・社会的懸案事項が議論された。 <p>※ 本会は技術委員会の会議であり、JICA調査団はオブザーバーとしての参加だったため、特別な議論や意見交換をする機会は無かった</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	

No.3

年月日（曜日）、時間	2012年3月4日（日）、15:00 – 16:00
場所	BMD, Meteorological Complex, Dhaka
出席者	<ol style="list-style-type: none"> 1. Mrs. Arjumand Habib, Director & PR of Bangladesh with WMO, BMD. 2. Mr. Ahmed Arif Rashid, Senior Mechanical Engineer & Head, Planning division, BMD. 3. Mr. Sujit Kumar Debsarma, Scientist, Theoretical Division, SAARC Meteorological Research Centre (SMRC). 4. Mr. Md. Shah Alam, Deputy Director, BMD. 5. Mr. Kenichiro Kato, JICA Survey Team 6. Dr. Naonori Kusakabe, JICA Survey Team 7. Mr. Muhammad Abu Musa, JICA Survey Team 8. Dr. Shaakeel Hasan, JICA Survey Team
議題	BMD ダッカ事務所の面談:本調査の紹介と情報収集に関するお願い
協議内容	
<ul style="list-style-type: none"> ● JICA 調査団の紹介 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 調査の背景や目的、調査対象地、期間やスケジュールなどについて説明し、BMD からのサポート、収集情報や必要データ及び書類などについて協議した。 ● BMD (Bangladesh Meteorological Department) について：BMD は「バ」国のあらゆる気象活動を担当する政府機関である。表面観測、高層観測、レーダー、人工衛星基地、農業気象観測 (agro-meteorological observatories)、地磁気、地震学上の観測、気象情報伝達システムなどのネットワークを保有している。 ● BMD は数値天気予報モデルを用いて気象予報や警報を発令している。 ● サイクロンや気象状況をモニタリングするのは、BMD だけの独立した業務ではなく、WMO (World Meteorological Organization) の規則に従い、インド等の近隣諸国と協力体制をとっている。 ● BMD の設備は十分に整っておらず、特に、高潮のモニタリングが劣っている。潮位や高潮などのモニタリングは、BIWTA (Bangladesh Inland Water Transport Authority) が実施している。 ● その他の議論: <ul style="list-style-type: none"> ➢ 「シドル」は非常に強力なサイクロンであったが、潮の干満とサイクロンの地滑りが同時発生しなかったため、被害は比較的小規模で済んだといえる。当初、「アイラ」は、サイクロンというより、低気圧という認識をしていたと言えたが、「アイラ」が「バ」国沿岸部通過時に高潮の時間と重なったため、より甚大な被害を生んだ。 ➢ 頑丈で緊急事態を維持管理するシステムがある。Standing Orders on Disaster (災害に対する内務規定) はうまく機能していると考ええる。 ➢ 堤防や水門といった既存インフラ (堤防や水門) の維持管理や運用のあり方、機能性や実用性などには疑問がある。 <p style="text-align: right;">以上</p>	

年月日（曜日）、時間	2012年3月5日（月）、09:30 – 10:30
場所	World Bank office, Dhaka
出席者	<ol style="list-style-type: none"> 1. Ms. Swarna Kazi, GFDRR Focal Point, South Asia Sustainable Development Department, The World Bank, Dhaka. 2. Ms. Reefat Sultana, Infrastructure Specialist, Sustainable Development Unit, Transport, South Asia Region, The World Bank, Dhaka. 3. Mr. Steven Rubinyi, Consultant, The World Bank, Dhaka. 4. Mr. Masood Ahmad, Lead Water Resources Specialist, The World Bank, Dhaka 5. Ms. Inoue Kotohi, Deputy Director, South Asia Division 4 (Bangladesh / Nepal), South Asia Department, JICA, Tokyo. 6. Mr. Matsumura Naoki, Senior Country Officer, South Asia Division 4 (Bangladesh / Nepal), South Asia Department, JICA, Tokyo. 7. Mr. Hideki Katayama, Project Formulation Adviser, (Disaster Mitigation - Climate Change), JICA Bangladesh Office, Dhaka. 8. Mr. Md. Anisuzzaman Chowdhury, Program Officer, (Disaster Management & Climate Change), JICA Bangladesh Office, Dhaka. 9. Mr. Kenichiro Kato, JICA Survey Team 10. Dr. Naonori Kusakabe, JICA Survey Team 11. Mr. Muhammad Abu Musa, JICA Survey Team 12. Mr. Abdul Wahab, JICA Survey Team 13. Dr. Shaakeel Hasan, JICA Survey Team
議題	世界銀行と JICA 調査団の面談:本調査の紹介と情報収集に関するお願い
協議内容	<ul style="list-style-type: none"> ● JICA ミッションによる「バ」国での災害管理・気候変動対策プログラムなどの紹介 ● 興味深いプロジェクト: Emergency 2007 Cyclone Recovery and Restoration Project (ECRRP, 2008 – 2014) および Disaster Reduction and Recovery (DRR)。 ● 「バ」国は気候変動と災害管理に対する関心を集めており、財源も多く確保している。世界銀行は莫大な洪水管理調査の取りまとめを支援した (FAP、80年代の洪水を受けて)。 ● サイクロン「シドル」:被害、損失、災害復旧・復興のための需要調査 2008年4月 (ウェブサイトで入手可能)。11のドナーで調整された60人のミッションで構成。 ● 長期的な災害リスク削減は最重要課題のひとつである。 ● ECRRP: 「シドル」と「アイラ」を受けてインフラの復旧を実施するために設計され、長期計画が予定されている。主な構成要素: 農業セクターの復旧と改善プログラム、多目的シェルターの再建と改善、沿岸地域堤防の復旧、長期災害緩和プログラム、プロジェクト効果のモニタリング及び評価、プロジェクト管理、技術支援、戦略研究と訓練、将来の災害に対する緊急支援など。 ● サイクロンは洪水とは異なり、住民の所有物に多大な被害を与えるため、(as unlike flood, cyclone damages what people have.) サイクロン後、作物保護を目的に、70リットルの家庭用米

貯蓄装置が開発された。

- サイクロンシェルター：シェルターの新設または、古いシェルターの改築や、新しいもの（太陽光、フロア、トイレ、女性に優しいものなど）を導入している。
- CEIP を通じて、BWDB と連携、ポルダールや堤防に投資（30 年間の返済期間）してきている。
- ファンドへのアクセスがあるか、何が必要とされるかは大きな問題としては認識しておらず、実施機関が何を担えるか、という点が大きな課題であると理解している。
- 気候変動ファンドから得られる予算があり、河川堤防の侵食保護プロジェクトや水文学と予報の改善（「バ」国では、水文学と気象学のリンクが弱い）がある。WMIP（Water Management Improvement Project）では、世銀は水文学と情報システムの強化を行っている。
- PHRD（Japan Policy and Human Resources Development）に申請（DRR、300 万 US ドル）したばかりである。内容は、建築基準法の強化、エンジニアの認定、石工と可搬用鉄筋曲げ機（バーベンダー）の訓練、耐震設計の試験的な建築・改修。

※ 最後に、JICA 調査団の紹介をした。

以上

年月日（曜日）、時間	2012年3月5日（月）、10:35 – 11:15
場所	World Bank office, Dhaka
出席者	<ol style="list-style-type: none"> 1. Ms. Swarna Kazi, GFDRR Focal Point, South Asia Sustainable Development Department, The World Bank, Dhaka. 2. Mr. Khawaja M. Minnatullah, Senior Specialist, Environment & Water, South Asia Environment, Water Resources and Climate Change Unit, The World Bank, Dhaka 3. Ms. Inoue Kotohi, Deputy Director, South Asia Division 4 (Bangladesh / Nepal), South Asia Department, JICA, Tokyo. 4. Mr. Matsumura Naoki, Senior Country Officer, South Asia Division 4 (Bangladesh / Nepal), South Asia Department, JICA, Tokyo. 5. Mr. Hideki Katayama, Project Formulation Adviser, (Disaster Mitigation - Climate Change), JICA Bangladesh Office, Dhaka. 6. Mr. Md. Anisuzzaman Chowdhury, Program Officer, (Disaster Management & Climate Change), JICA Bangladesh Office, Dhaka. 7. Mr. Kenichiro Kato, JICA Survey Team 8. Dr. Naonori Kusakabe, JICA Survey Team 9. Mr. Muhammad Abu Musa, JICA Survey Team 10. Mr. Abdul Wahab, JICA Survey Team 11. Dr. Shaakeel Hasan, JICA Survey Team
議題	世界銀行と JICA 調査団の面談:本調査の紹介と情報収集に関するお願い
協議内容	<ul style="list-style-type: none"> ● JICA ミッションによる「バ」国での災害管理・気候変動対策プログラムなどの紹介 ● Minnatullah 氏は、世界銀行の気候変動ユニットの環境・水資源チームに所属している。このチームには5、6人の専門家がいるが、ほとんどのメンバーは水週間のため、海外にいる。 ● WMIP (Water Management Improvement Project) の責任者である Rafiquzzaman 氏は不在。多忙で話をする機会がないため、WMIP に関する情報などは、後日メールで確認するのが良いか。 ● Gorai River Restoration Project: これは現在進行中のプロジェクトである。この調査は2つのエリアに焦点を置いている。1. 水気象ネットワークの up-gradation (Gorai だけでなく、全土的な規模で、このプロジェクトに組み込まれている)、2. 2001 年に行われた Gorai 川の環境的、社会学的な FS 調査の Up-gradation。これらは 2013 年頃に終了する見込み。 ● 2013 年に上記の研究が終了した後は、異なるテーマのプロジェクトが調整されているが、これらの決定は後に行われる。 ● ECRRP のほかに、CEIP (Coastal Embankment Improvement Project) がある。これは、JICA が興味を示す案件になり得るかもしれない。世界銀行は Ganges Barrage に関与していないため共有する情報があまりない。2005 年に世界銀行はバングラデシュ国水資源支援戦略調査を終了した。重要な提案のひとつとして挙げられているものは、ダッカ周辺の水資源である。世界銀行はこの地域に注目し、産業汚染 (60%) の影響を研究した。都市の水供給に地下水が使用されているため、地下水に問題が生じている。

- この問題に関してまだどの機関も扱っていないため、JICA は地下水システムに注目する可能性もある。
- 諸機関（主に BWDB）は完璧に機能してはいない。そこで、BWDB のような機関や政府自体の能力向上も国のために非常に役立つ。BWDB の機関やパフォーマンスは悪化しているが、BWDB に代わる組織はない（これは、アイラのような different disasters, different combating で証明されている）。
- 「バ」国のガバナンスは乏しいため、プロジェクトを実施する場合は、モニタリングや実施において特別な注意が必要とされる。

※ 最後に、JICA 調査団の紹介をした。

- この地域では、多くの活動がすでになされてきた。BCCRF (Bangladesh Climate Change Resilient Fund) のもとで働いている LGED の会合は非常に有益である。
- 加えて興味深いのは、多くの NGO による活動が行われているが、NGO 同士のコミュニケーションはあまり取られていない。

以上

No.6

年月日（曜日）、時間	2012年3月5日（月）、11:35 – 12:30
場所	ADB Office, Dhaka
出席者	<ol style="list-style-type: none"> 1. Mr. Zahir Uddin Ahmad, Team Leader, Water Resources Management, Bangladesh Resident Mission – ADB, Dhaka. 2. Ms. Inoue Kotohi, Deputy Director, South Asia Division 4 (Bangladesh / Nepal), South Asia Department, JICA, Tokyo. 3. Mr. Matsumura Naoki, Senior Country Officer, South Asia Division 4 (Bangladesh / Nepal), South Asia Department, JICA, Tokyo. 4. Mr. Hideki Katayama, Project Formulation Adviser, (Disaster Mitigation - Climate Change), JICA Bangladesh Office, Dhaka. 5. Mr. Md. Anisuzzaman Chowdhury, Program Officer, (Disaster Management & Climate Change), JICA Bangladesh Office, Dhaka. 6. Mr. Kenichiro Kato, JICA Survey Team 7. Dr. Naonori Kusakabe, JICA Survey Team 8. Mr. Muhammad Abu Musa, JICA Survey Team 9. Mr. Abdul Wahab, JICA Survey Team 10. Dr. Shaakeel Hasan, JICA Survey Team
議題	アジア開発銀行（ADB）と JICA 調査団の面談：本調査の紹介と情報収集に関するお願い
協議内容	<ul style="list-style-type: none"> ● JICA ミッションによる「バ」国での災害管理・気候変動対策プログラムなどの紹介。 <ul style="list-style-type: none"> ▶ 北東部の鉄砲水対策や、南西部の灌漑システムに焦点をおく可能性がある。排水や地表水利用も注目する必要がある。 ● ADB の 2020 年戦略: 3 つの広域目標：1. 包括的経済成長、2. 環境に配慮した持続的成長、3. 地域統合。水は、1. 民間セクターの発展と運用、2. 安定したガバナンスと能力強化、3. ジェンダーの平等、4. Knowledge Solution、5. パートナーシップの 5 つの要素が含まれる。ADB は、“Water for All” 政策を掲げており、「バ」国において、ADB は 1. 統合された水資源管理、2. 災害危機管理、3. 政策関係、4. 改革工程（reform process）と能力強化の 4 つの分野に従事している。 ● ADB の水資源管理に対する支援：累計 27 の借款支援で USD10.1 億の支援を行い、現在は 4 つの借款で USD1.95 億の支援が進行中である。4 つのプロジェクトとは、1. Jamuna-Meghna 川の侵食緩和プロジェクト、2. Secondary town における統合的洪水対策、3. 南西部における統合的水資源、4. 参加型の小規模水資源セクタープロジェクト（JICA も類似のプロジェクトを実施している）。 ● ADB の WRM における主要な支援（Pipeline Assistance）：1. Main River Flood and Bank Erosion Risk Management Programme（USD 6,000 万）、2. Muhuri Irrigation Project の改善された管理のパイロティング（Piloting Improved Management）（USD 3,000 万）。 ● ADB は 1973 年から水資源管理の活動パートナーである。災害後復興を重点に、洪水以降活動が活発になり、他のドナーや団体も ADB の研究を活用している。

- オランダは ADB と共に水資源管理分野の LCG (Local Consultative Group) の議長を担ってきた。この LCG のサブグループを通し、ドナー間の協調が促進されてきている。
 - JICA のプログラムへの反応として、業績の良くない WARPO の改善が挙げられた。世界銀行や UNDP とのクロスチェックが提案される。洪水予報、草の根レベルでの予報の発信など能力強化が重要である。能力強化は政府だけではなく、民間セクターにも焦点を当て、技術支援などが必要とされる。(民間団体寄りな) 官民協調も促進されている。BWDB の全体的な契約管理システムは改善する必要がある。モニタリングや評価が不可欠。災害対策に対する支援にも可能性がある。
- ※ 最後に、JICA 調査団の紹介をした。
- ポルダー5、15、31、32 が ADB により支援を受けている。これらのポルダーにクロスチェックをかけるのも良いのではないか。
 - JICA 調査団の最終報告書の内容には興味がある。

以上

年月日（曜日）、時間	2012年3月5日（月）、14:35 – 16:00
場所	UNDP office, Dhaka
出席者	<ol style="list-style-type: none"> 1. Dr. Aminul Islam, Assistant Country Director, Disaster Management & Adaptation, UNDP-Bangladesh, Dhaka. 2. Mr. Abu Mostafa Kamal Uddin, Climate Change Specialist, Disaster Management & Adaptation, UNDP-Bangladesh, Dhaka. 3. Mr. Mohammad Sifayet Ullah, Programme Analyst, Disaster Management & Adaptation, UNDP-Bangladesh, Dhaka. 4. Ms. Inoue Kotohi, Deputy Director, South Asia Division 4 (Bangladesh / Nepal), South Asia Department, JICA, Tokyo. 5. Mr. Matsumura Naoki, Senior Country Officer, South Asia Division 4 (Bangladesh / Nepal), South Asia Department, JICA, Tokyo. 6. Mr. Hideki Katayama, Project Formulation Adviser, (Disaster Mitigation - Climate Change), JICA Bangladesh Office, Dhaka. 7. Mr. Md. Anisuzzaman Chowdhury, Program Officer, (Disaster Management & Climate Change), JICA Bangladesh Office, Dhaka. 8. Mr. Kenichiro Kato, JICA Survey Team 9. Dr. Naonori Kusakabe, JICA Survey Team 10. Mr. Muhammad Abu Musa, JICA Survey Team 11. Mr. Abdul Wahab, JICA Survey Team 12. Dr. Shaakeel Hasan, JICA Survey Team
議題	国連開発計画（UNDP）と JICA 調査団の面談：本調査の紹介と情報収集に関するお願い
協議内容	<ul style="list-style-type: none"> ● JICA ミッションによる「バ」国での災害管理・気候変動対策プログラムなどの紹介。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ カウンターパートには「バ」国の異なる省庁があり、これまでに食料災害管理省や、水資源省と会合を実施している。 ● UNDP は CDMP（包括的災害管理プログラム）を実施しており、CDMP-1 は 2004 年から 2009 年までに行われ、既に完了している。CDMP-II は 2010 年から 2014 年の期間で実施中である。DFID、EU、Norway、Sida、AusAID、「バ」国政府、UNDP などが開発パートナーとして連携しており、Ministry of Food and Disaster Management が実施機関である。総予算は、約 USD 6,947 万である。 ● CDMP の重点分野：リスク削減の機関強化、気候リスクへの適合管理、災害防止開発財源、農村地域リスク削減、都市部リスク削減、災害への備えと対応の改善 ● CDMP の重点的活動：ユニオン、ウパジラ、ディストリクトのレベルでの DMC（Disaster Management Committees）の支援；12 の核となる省庁の支援、生計手段の拡大、farmer' s field schooling の強化、地震対策の都市部ボランティアの訓練、地震リスク評価、都市部リスク削減のための介入の実施。 ● 他の開発団体との協力による気候変動への適応と災害リスク削減の主流化し、データベースや情報システムによる調査格差を是正し、将来のプロジェクトに活用する。気候変動の問題は、全てのプロジェクトに統合して組み込まれている。

- UNDP には、ERF (Early Recovery Facility) という別のプロジェクトがある。これは、2011 年から 2015 年にかけて実施されているもので、「バ」国政府、UNDP、その他 NGO などが実施パートナーとして活動する。約 USD586 万の予算で、長期的視点から生計改善やシェルタープログラムなどに取り組んでいる。革新的なアプローチのもと、UNDP は 43 の災害耐久家屋の建設を支援した。このような家屋はサイクロンシェルターの消極的側面を補完していると考えられている。このパイロットプロジェクトは、BRAC UNIVERSITY によって実施された。
- UNDP の 2 つのプロジェクトが平行して、相互補完的に実施されている。CDMP はリスク削減、国レベルでの専門性の向上、能力強化などに焦点を置き、ERF は被災後の準備や対応に重点を置く。
 - 災害管理の分野は非常に大きく、多岐にわたる。ひとつの要因によって災害管理の全てを網羅することは不可能であり、常に連携が必要とされ、協調によってより多くのことが実現される。
 - Maksudul Kamal 博士は地震の断層線の究明などの研究を行っており、更なる情報を提供してくれるかもしれない。
- UNDP は National Disaster Management Plan/Framework に従っており、Kamal Uddin 博士は、これを補完するようなかたちでの活動を推進している。
- UNDP は直接ではないが、他国と衝突する問題が生じる場合は「バ」国政府を支援している。

※ 最後に、JICA 調査団の紹介をした。

以上

年月日（曜日）、時間	2012年3月6日（火）、15:40 – 17:20
場所	Disaster Management Bureau (DMB), Dhaka
出席者	<ol style="list-style-type: none"> 1. Mr. Ahsan Zakir, Additional Secretary, Director General, Disaster Management Bureau, Dhaka. 2. Mr. Dilder Ahmed, Joint Secretary, Director, Disaster Management Bureau, Dhaka. 3. Ms. Inoue Kotohi, Deputy Director, South Asia Division 4 (Bangladesh / Nepal), South Asia Department, JICA, Tokyo. 4. Mr. Matsumura Naoki, Senior Country Officer, South Asia Division 4 (Bangladesh / Nepal), South Asia Department, JICA, Tokyo. 5. Mr. Hideki Katayama, Project Formulation Adviser, (Disaster Mitigation - Climate Change), JICA Bangladesh Office, Dhaka. 6. Mr. Md. Anisuzzaman Chowdhury, Program Officer, (Disaster Management & Climate Change), JICA Bangladesh Office, Dhaka. 7. Mr. Kenichiro Kato, JICA Survey Team 8. Dr. Naonori Kusakabe, JICA Survey Team 9. Mr. Muhammad Abu Musa, JICA Survey Team 10. Mr. Abdul Wahab, JICA Survey Team 13. Dr. Shaakeel Hasan, JICA Survey Team
議題	災害管理局（DMB）と JICA 調査団の面談：本調査の紹介と情報収集に関するお願い
協議内容	<ul style="list-style-type: none"> ● JICA 調査団の紹介 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 調査の背景や目的、調査対象地、期間やスケジュールなどについて説明し、DMB からのサポート、収集情報や必要データ及び書類などについて協議した。 ● DMB（Disaster Management Bureau）は約 40 名の小規模な専門家集団（unit）で構成される。IMDMCC（high-level inter-ministerial Disaster Management Coordination Committee）のもと関係各省庁やディストリクトやウパジラなどの当局と協力し、専門的支援を行う。これは食料災害管理省のもと、DMRD（Disaster Management and Relief Division）の技術部門として、国レベルから草の根レベルまでの災害管理に関わる全ての活動の調整を行う。 ● 現在、DMB は“Emergency 2007 Cyclone Recovery and Restoration Project”（ECRRP）というコンポーネントを実施しており、下記のような活動がなされている。： <ul style="list-style-type: none"> ➤ サイクロンの被害が甚大であった 12 の選定ディストリクトにおけるウパジラの、長期的な災害リスク管理によるプログラム災害リスクの緩和および削減（いくつかの地域は調査対象地域と重複している。） ➤ DMC（District level Disaster Management Committee）の設立と訓練 ➤ 災害後のボランティア訓練（ダッカの 8 割の家屋が大地震で被災するといわれている）。62,000 人、40 グループ（捜索：22、救助：12、first aid：6）。 ➤ 学校での非難シミュレーション（防災訓練）（パイロットプロジェクトとして） ➤ 基礎訓練と啓蒙活動

- JICA ミッションによる「バ」国での災害管理・気候変動対策プログラムの紹介。
 - Comprehensive Disaster Management Project (CDMP of UNDP) と DMB における協力可能性に関する議論。DMB は CDMP をどのように考えているのか？2つの違う団体によって、同じことがなされたのか？
 - DMB は「バ」国政府から受けた任務があり、国レベルの責任と義務がある。一方、CDMP は一時的なものである（プロジェクト機関が限られているので）。CDMP と DMB の業務は相互補完的であり、反復しているわけではない。
 - DMB は異なる複数のドナーから、支援やファンドを受けている。DMB の、災害関連の啓蒙や、訓練、準備活動などの規模は小さく、既存プロジェクトは多くの拡大可能性を秘めており、新たなプロジェクトの発足もありえる。JICA には DMB の設備に対する資金支援や技術支援など様々な可能性があると考えます。支援をお願いしたい。

以上

年月日（曜日）、時間	2012年3月7日（水）、09:15 – 10:35 11:00 – 11:45
場所	CEGIS, Dhaka
出席者	<ol style="list-style-type: none"> 1. Mr. Giasuddin Ahmed Choudhury, Executive Director, CEGIS, Dhaka. 2. Mr. Md. Mostafizur Rahman, Specialist, Database & IT Division, CEGIS, Dhaka. 3. Dr. Anwar Ali, Advisor, Climate Change Study Division, CEGIS, Dhaka. 4. Mr. Kenichiro Kato, JICA Survey Team 5. Dr. Naonori Kusakabe, JICA Survey Team 6. Mr. Muhammad Abu Musa, JICA Survey Team 7. Dr. Shaakeel Hasan, JICA Survey Team
議題	環境・GISセンター（CEGIS）とJICA調査団の面談：本調査の紹介と情報収集に関するお願い
協議内容	
<ul style="list-style-type: none"> ● JICA 調査団の紹介 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 調査の背景や目的、調査対象地、期間やスケジュールなどについて説明し、CEGISからのサポート、収集情報や必要データ及び書類などについて協議した。 ● CEGIS について：紹介、使命、背景、歴史（進化）、組織、調査、多角的規律（Multi-Discipline）、事業対象エリアなど。 ● 1991年に他のプロジェクトから始まり、2002年にCEGISは水資源省とBoard of Trustyのもと公益信託になり、300名あまりの専門家から構成されている。 ● CEGISの活動のハイライト： <ul style="list-style-type: none"> ➢ 「バ」国は、地球物理学的、水文気象的な特性から、様々な洪水、干ばつ、高潮、塩分侵入などといった自然災害の危機に直面している。CEGISは様々なプロジェクトの調査、研究、環境評価、モデル化などに活発に関わっている。 ➢ 近年、気候変動と関連の事象は注目を浴びており、CEGISも調査や研究などで関わっている。 ➢ CEGISのプロジェクトの例：河川侵食と堆積物（River scale erosion and deposition）、気候変動評価、氾濫原水生態学モデル（floodplain echo-hydrological modelling）、河川管理（河川侵食予測モデル、パドマ川土地干拓の特徴づけ（Characterisation of Padma River land reclamation）、堆積物管理、形態学的プロセスのモニタリング（Morphological process monitoring）、自然災害評価（e.g. 「バ」国のサイクロン・シドル：被害、損失、2008年4月の災害復旧および復興のための需要調査）、感潮河川流域管理（侵食予測など）、複合的危険ゾーニングマップ（Multi hazard zoning atlas）、「バ」国のデルタ計画、NWRD（National Water Resources Database）。 ● Mostafizur Rahman氏によるNational Water Resources Databaseの実演： <ul style="list-style-type: none"> ➢ CEGISはWARPOのためにデータベースを発展させた。これは「バ」国唯一にして最大のデータバンクで、1960年から2010年までの、360のデータ層を3つのカテゴリ（空 	

間的、時系列、属性データ) で、10 のグループで構成している。データは 32 以上の政府機関から収集されている。第 1 フェーズは 1997 年から 2001 年で、第 2 フェーズは 2009 年から 2014 年であった。データベースは国内使用の目的でのみ許可される。しかし、いくつかの手順を踏めば、CEGIS からデータを入手するのは可能である。

- 2005 年には、CEGIS は PDO (Project Development Office) や CZM (Coastal Zone Management Plan) の計画者を支援するため ICRD (Integrated Coastal Resources Database) という包括的データベースを開発した。
- 更に、CEGIS は ARIS (Agricultural Resources Information System) や土壌・土地関係のデータベースや情報を扱っている。

以上

年月日（曜日）、時間	2012年3月8日（木）、09:15 – 10:25
場所	Embassy of the Kingdom of the Netherlands, Dhaka
出席者	<ol style="list-style-type: none"> 1. Mr. Ir. Martin Bos, First Secretary, Water Sector, Embassy of the Kingdom of the Netherlands, Gulshan-2, Dhaka. 2. Mr. A.T.M. Khaleduzzaman, Advisor, Water Management (IWRM), Embassy of the Kingdom of the Netherlands, Gulshan-2, Dhaka. 3. Ms. Inoue Kotohi, Deputy Director, South Asia Division 4 (Bangladesh / Nepal), South Asia Department, JICA, Tokyo. 4. Mr. Matsumura Naoki, Senior Country Officer, South Asia Division 4 (Bangladesh / Nepal), South Asia Department, JICA, Tokyo. 5. Mr. Md. Abdullah Bin Hossain, Assistant Program Officer, JICA Bangladesh Office, Dhaka. 6. Mr. Kenichiro Kato, JICA Survey Team 7. Dr. Naonori Kusakabe, JICA Survey Team 8. Mr. Muhammad Abu Musa, JICA Survey Team 9. Mr. Abdul Wahab, JICA Survey Team 10. Dr. Shaakeel Hasan, JICA Survey Team
議題	オランダ大使館との情報交換
協議内容	
<ul style="list-style-type: none"> ● JICA ミッションによる「バ」国での災害管理・気候変動対策プログラムの紹介 <ul style="list-style-type: none"> ➤ Gorai 川は Southwest Water Resources Management の調査地域として考えられておらず沿岸部サイクロンに、より焦点が置かれていた。 ➤ JICA は独自でプロジェクトを実施するという認識がもたれており、他のドナー機関と共有したり調整したりしないようである。。JICA は開発プロジェクトに投資に関して、他ドナーと協力するつもりはあるのか？（Khaleduzzaman 氏） ➤ 災害リスク削減のためのコミュニティ開発プロジェクトは、草の根レベルの小規模な技術支援であり、政府機関ではなく現地の NGO によって実施されている。 ● Bos 氏は、2011年9月より、オランダ大使館の水セクターの一等書記官として勤めており、Khaleduzzaman 氏と共に、大使館の水セクターを先導してきた。莫大な仕事量に対し人手が不足しているため、時には短期でスタッフを雇用することもある。 ● 2011年末、大使館は「バ」国において Multi Annual Strategic Plan（MASP）を立ち上げた（期限は2012年から2015年）。 ● ダッカにある同大使館は、1. 水管理、2. 食の安全、3. 性と生殖に関する健康の権利（SRHR）。といった3つの分野を中心に貧困層の生活環境改善に努めている。水セクターは、基本的に最重要とされている。「バ」国は5大デルタ国のひとつに選定されており、“Water Mondial”のプログラムにも含まれている。また、2国間協調にも高い期待がなされている。 ● オランダ国資金による大使館のプロジェクトについて： <ul style="list-style-type: none"> ➤ 「バ」国中の3,000万人を対象とした総体的な衛生促進と教育のためのプログラムとし 	

て、WASH (The Water, Sanitation and Hygiene) プログラムがある (WASH-I で 2,500 万人を対象とし、WASH-II でさらに 500 万人を対象としている)。実施機関は BRAC で、全ての支援は無償で行われる。

- BWDB の参加型・且つ統合的な水資源管理を、持続可能で費用的に無理もなく実現するための具体的な計画を行うため、IPSWAM (The Integrated Planning for Sustainable Water Management) プログラムがあり、9 つのポルダーで実施されている。
- IPSWAM の継続として、Blue Gold Programme を実施する予定である。上記 9 つのポルダーの継続に加え、Blue Gold Programme では 6 つのポルダーが追加される。Blue Gold Programme は他の機関 (DAE など) やニーズ (食の安全など) を活動に絡め、更なる統合を目指している。
- 大使館は河川管理のための革新的な技術や自然と協調した建設などを提案している。一例として、牡蠣の養殖ができる堤防内での生計の確立など (making living or moving dikes) 。
- 大使館は「バ」国のデルタ計画も支援している。

※ 最後に、JICA 調査団の紹介をした。

- いくつかのポルダーにおいて、JICA の調査範囲と同じポルダーがある。互いに情報共有することが必要である。

以上

年月日（曜日）、時間	2012年3月13日（火）、10:25 – 12:25
場所	Bangladesh Red Crescent Society, Bara Moghbazar, Dhaka-1217
出席者	<ol style="list-style-type: none"> 1. Mr. K. Jakaria Khaled, Deputy Secretary General, Bangladesh Red Crescent Society, Bara Moghbazar, Dhaka. 2. Mr. Ekram Elahi Chowdhury, Director (Operation), CPP, Bangladesh Red Crescent Society, Bara Moghbazar, Dhaka. 3. Mr. Nazmul Azam Khan, Director, International Relation, Bangladesh Red Crescent Society, Bara Moghbazar, Dhaka. 4. Mr. Bashir Ahmed, Deputy Director, CPP, Bangladesh Red Crescent Society, Bara Moghbazar, Dhaka. 5. Mr. Md. Ruhul Amin, Programme Coordinator, CPP-CDMP Project, Bangladesh Red Crescent Society, Bara Moghbazar, Dhaka. 6. Mr. Kenichiro Kato, JICA Survey Team 7. Mr. Toshinori Oshita, JICA Survey Team 8. Ms. Ikuko Kunitsuka, JICA Survey Team 9. Dr. Naonori Kusakabe, JICA Survey Team 10. Mr. Muhammad Abu Musa, JICA Survey Team 11. Mr. Abdul Wahab, JICA Survey Team 12. Dr. Shaakeel Hasan, JICA Survey Team
議題	バングラデシュ赤新月社（BDRCS）の面談：本調査の紹介と情報収集に関するお願い
協議内容	<p>* 打ち合わせ予定時刻前、事務次長の K. Jakaria Khaled 氏と非公式の話し合いの場が設けられた。正式な会合は、CPP（Cyclone Preparedness Programme）の理事長により開かれたが、JICA 調査団も簡単に紹介をされた。Khaled は Bangladesh Red Crescent Society の代表も勤めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● JICA 調査団の紹介 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 調査の背景や目的、調査対象地、期間やスケジュールなどについて説明し、BDRCS からのサポート、収集情報や必要データ及び書類などについて協議した。 ● 「バ」国において、CPP は 1972 年以降、沿岸部で災害早期警告の普及を行う唯一の組織として活動してきた。CPP 自体の歴史は 1960 年代にまでさかのぼる。食料災害管理省が CPP を代表し、調整やモニタリングも行う。 ● CPP は、「バ」国沿岸部と CPP 本部を直接つなぐ、300 以上の短波、超短波のラジオ局の広域情報伝達ネットワークを運営している。 ● 沿岸部では、約 5 万人のボランティアがいる。うち 6,540 のボランティアは 5 つの沿岸部ウパジラ（Koirā, Assasuni, Shyamnagar, Dacope、および Mongla）から採用されている。 ● アイラ発災前には、すでに 32 の沿岸地帯が存在していた。アイラは「バ」国政府にとって、全沿岸地域を網羅すべき点を検討するきっかけとなった。 ● ボランティアの訓練プログラム：1. 基礎訓練（危機管理、CPP の歴史、合図、サイクロン）、2. 応急処置、3. 捜索と救助 ● UNDP は主ドナーであり、ラジオ、明り、メガホン、主導サイレン、ライフジャケット、雨

具、ゴム長靴、ヘルメットなどの装備品の供給を受けている。他のドナーとしては、Save the Children や American Red Cross などがボランティアデータベースの開発を実施した。

- CPP は 6 つの Zone、13 の District、37 の Upazilla といった、段階的に実施されている。Upazilla レベルまでは事務所があり、Upazilla には、Union と Unit があり、事務所がある場合とない場合がある。ボランティアは Unit の下で働くことになる。
- ボランティア参加者の意識は非常に高く、ボランティアが被災地で指揮をとるケースもあるが、人命救助中に命を落とす例もある。女性ボランティアを参加させる方針があり、Unit は 10 名の男性ボランティアと 5 名の女性ボランティアから構成される。
- 訓練だけでなく、啓蒙のプログラムやキャンペーンも行われている。祝日を祝うことも、優先順位としては高い (as that encourages the volunteers and aware the people) 。
- CPP は災害時に合図を発信し、住民のシェルターへの移動を支援している。また発災後は、物資の配布等も行いながら、捜索と救助にあたる。
- CPP の活動領域では。準備プログラムが必要とされる地域の 85%にも達している。また、CPP は DMB や ADPC 等とも、密な協力体制を築いている。

以上

年月日（曜日）、時間	2012年3月14日（水）、10:15 – 11:15
場所	BRAC office, Dhaka
出席者	<ol style="list-style-type: none"> 1. Ms. Tanzeba Ambereen Huq, Programme Coordinator, Disaster Environment & Climate Change, BRAC, Mohakhali, Dhaka 2. Mr. Ratan Chandra Biswas, Training Officer, Disaster Environment & Climate Change, BRAC, Mohakhali, Dhaka 3. Mr. Md Abdul Quaiyum Sarkar, Senior Manager, Monitoring & Evaluation, Disaster Environment & Climate Change, BRAC, Mohakhali, Dhaka 4. Mr. Moyen Uddin Ahmed, Consultant, Disaster Environment & Climate Change, BRAC, Mohakhali, Dhaka 5. Mr. Kenichiro Kato, JICA Survey Team 6. Mr. Toshinori Oshita, JICA Survey Team 7. Ms. Ikuko Kunitsuka, JICA Survey Team 8. Dr. Naonori Kusakabe, JICA Survey Team 9. Mr. Muhammad Abu Musa, JICA Survey Team 10. Mr. Abdul Wahab, JICA Survey Team 11. Mr. Mahibur Rahman, JICA Survey Team 12. Dr. Shaakeel Hasan, JICA Survey Team
議題	バングラデシュ農村振興委員会（BRAC）と JICA 調査団の面談：本調査の紹介と情報収集に関するお願い
協議内容	<ul style="list-style-type: none"> ● JICA 調査団の紹介 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 調査の背景や目的、調査対象地、期間やスケジュールなどについて説明し、BRAC からのサポート、収集情報や必要データ及び書類などについて協議した。 ● BRAC の紹介：BRAC は、貧困層の人的ニーズを目標に掲げる開発組織で、1972 年に「バ」国で設立された。BRAC は、ニーズがあれば、予算が確保されているかにかかわらず、いかなる緊急事態であっても、貧困層のための支援を行う。 ● BRAC はサイクロン「シドル」の発生と近年の気候変動の議論を受け、貧困層のために、そして貧困層と共に働くための DECC（Disaster Environment & Climate Change、http://www.brac.net/content/disaster-environment-climate-change）を立ち上げた。このプログラムの実施には経験が求められており、コミュニティの能力強化だけでなく BRAC 自体も能力強化も必要としている。 ● BRAC は ADPC（Asian Disaster Preparedness Centre）や RedR India、Regional Integrated Multi-Hazard Early Warning System（RIMES）などと連携している。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ BRAC はこれまでに、現場で 11,000 名のスタッフを訓練し、BRAC スクールでは 4,500 名（BRAC1 部屋学校では 30,000）の教師を訓練してきた。気候問題を理解し適切な備えを可能にするために、1 日訓練では災害や危険、気候変動の基礎事項も教えている。 ➤ まず教師に教えることで教師が子供たちに教えられるようになり、子供たちは得た知識を親に伝えるというのが考え方としてある。 ➤ 250,000 人のコミュニティ構成員に対し、意識や準備の訓練をすることを目標としている。

る。2010年12月に開始し、約80%の目標が達成されている。

- 基礎訓練が十分でないため、補習（Refresher training）の必要性がある。JICAがこのような補習や再訓練の手助けすることも考えられる。
- BRACには健康分野に関連するボランティアが約70,000人おり、応急措置や心肺機能蘇生（CPR）、人工呼吸、骨折や火傷、蛇に噛まれた際の処置などに関して訓練を受けている。また、トラウマ対策を含む心理社会的なサポートも行われており、ノルウェイの支援により既に100名のトレーナーがいる。
- BRACはSOP（Standing Operating Procedure）を発展させ、（SOD）Standing Order on Disasterと同様にADPCによる支援を受け、緊急時における政府の活動を補完する組織的な対応を実施している。
- BRACとBRAC大学は提携しており、同大学では気候変動や災害管理に関する学位や修士課程も修了することが可能である。
- BRACは沿岸部の洪水やサイクロンのシミュレーションを行うためCPPと良好な関係にある。
- BRACはBMDやアメリカ海軍のデータや情報から、独自にシミュレーションを行っている。毎日、BRACスタッフのための予測も行われる。
- 無償援助や骨組や意見について：シアター（popular theatre）や植林（対気候変動）、災害に強いハウジング、農業、漁業（GIF Telapia）などがある。
- BRACは同じ災害管理クラスタグループに所属するDMBと良好な関係を築いている。

以上

年月日（曜日）、時間	2012年3月17日（土）、18:15 – 21:15
場所	BWDB, Khulna
出席者	<ol style="list-style-type: none"> 1. Mr. Bidyut Kumar Saha, Executive Engineer, BWDB, Khulna 2. Mr. Shafiqul Islam, BWDB, Khulna. 3. Mr. Kenichiro Kato, JICA Survey Team 4. Mr. Toshinori Oshita, JICA Survey Team 5. Dr. Shaakeel Hasan, JICA Survey Team
議題	BWDB クルナ事務所と JICA 調査団との面談：当該地域の現状について
協議内容	<ul style="list-style-type: none"> ● JICA 調査団の紹介 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 調査の背景や目的、調査対象地、期間やスケジュールなどについて説明し、サポート、収集情報や必要データ及び書類などについて協議した。 ● DPP (Development Project Proposal) は BWDB が行う小規模緊急支援プロジェクトを通じた建設システムであり、一時的な解決を頻繁に生み出している。 ● 訓練には、ダッカに理事会があり、ここで Water Board の職員は訓練を受けている。 ● BWDB 内に WMGs (Water Management Groups) やステークホルダー、受益者に対して研修は提供されておらず、主に (プロジェクトの) コンサルタントチームが実施する。 ● 9 つのポルダーで実施されている IPSWAM (The Integrated Planning for Sustainable Water Management) プログラムは BWDB の持続可能かつ予算的に無理のない現実的な参加型・統合型水資源管理を実現する具体的な計画を支援している。 ● 訓練の例：意思決定、規則、法律、収入創出活動など ● ポルダーのいくつかは、ブロックまたはポルダーの委員会により維持され、その他のポルダーは維持管理の予算によって維持されている。17 ポルダー中、7 つには水管理グループ (WMG) が存在し、そのうち2つはうまく機能している。 ● GPWM (Guidelines for Participatory Water Management): 持続的なグループの形成：財源を確保した上で、貧困層の所得創出活動のために融資を行う。 ● 建設手法：コントラクターは入札書類に従うが、ドナーやコンサルタントは施工に関して特定の要請や優先順位などがある。 ● 機材：GPS やトータルステーション、装置など最新の装備を備えているプロジェクトがあるが、伝統や慣習に従って、あまり適切でない機材が使用されているプロジェクトもある。 ● 計画やデザイン：住民の需要や希望と BWDB の計画や企画との間に差異が生じることがある。この原因や制限などを認識してもらうためにステークホルダーを説得する上で調整が地的要とされる。 ● データや情報の入手：地質学的な情報は Hydrology division の Groundwater cell から、水文気象学的データは Flood Forecasting Directorate から、各 District の地図は LGED から、ポルダーシステムに関する情報は CEGIS および IWM から入手可能である。

- ポルダールに関する物理的条件：平均標高：1.2 mPWD、満潮：3.5 mPWD、干潮：-0.6 mPWD。ポルダールから塩分を除去するには、およそ2年かかるとされている。
- 水利用者グループ（Water Users' groups）の研修教材が入手可能。後ほど共有される予定。

以上

年月日（曜日）、時間	2012年3月18日（日）、10:00 – 11:30
場所	LGED office, Khulna
出席者	1. Mr. Ratan Kumar Day, Executive Engineer, LGED, Khulna 2. Mr. Kenichiro Kato, JICA Survey Team 3. Mr. Toshinori Oshita, JICA Survey Team 4. Dr. Shaakeel Hasan, JICA Survey Team
議題	地方政府技術局（LGED）クルナ事務所と JICA 調査団との面談： 当該地域の現状について
協議内容	
<ul style="list-style-type: none"> ● JICA 調査団の紹介 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 調査の背景や目的、調査対象地、期間やスケジュールなどについて説明し、サポート、収集情報や必要データ及び書類などについて協議した。 ● Khulna の LGED では、成長センター（Growth Centre）、農村市場、Union 議会複合施設、電子データベースプロジェクトのサーバーステーション、灌漑のための水力施設、道路や橋梁、小学校開発などの異なるプロジェクトが実施されている。 ● Khulna には9つの Upazillas がある: Dighalia, Dumuria, Phultala, Rupsa, Terokhada, Batiaghata, Dacope, Koira, Paikgacha である（後者4ヶ所がサイクロンにより被災した）。 ● Khulna の LGED は現在、域内道路やサイクロンシェルター建設、市場開発に集中している。 ● サウジアラビアの Fayel Khayer プログラム：15の学校でサイクロンシェルターの建設（Koira と Dacope で進行中）。LGED は進捗を見守ると共に、品質管理を行う。 ● 世界銀行:ECRRP で24のサイクロンシェルター（Koyra 及び Dacope で未だ始まっていない）。 ● Primary Education Development Program（PEDP）：PEDP 2のもと、多くの学校が建設された。LGED はインフラを担当し、Primary Education Department が制度的な部分を担当した。 ● PEDP 3: 郡の技術者は、サイクロンシェルターとしても機能する学校を建設する予定である。 ● 水セクターにおいて、LGED は1000ヘクタール以下の小規模な地域で活動を行い、サブホルダーを作り出すことが可能である。水の供給と衛生問題は、PHED が担当する。 ● LGED と PHED は、The ministry of Local Government and Rural Development（LGRD）のもとで活動している。 ● 技術業務とともに、LGED は特に社会経済分野の農村開発にも貢献しており、District レベルでは社会経済学者を、Upazilla レベルではコミュニティオーガナイザーを雇用している。 ● WMCA（Water Management Cooperative Association）は LGED がコミュニティと共に従事する例である。ひとつの WMCA は1名の議長と12名のメンバーから構成される。 ● インフラに関しては、小規模のものであれば、現地 LGED の現地技術者が設計と計画を行う。大きな構造物に関しては、LGED の本部が設計及び計画を担当する。 ● LGED には貯水タンクがない。タンクはいくつかあるが、民間レベルで作られ、管理されているものである。 <p style="text-align: right;">以上</p>	

年月日（曜日）、時間	2012年3月19日（月）、10:00 – 11:00
場所	BWDB office, Satkhira
出席者	<ol style="list-style-type: none"> 1. Mr. Shahidul Islam, Executive Engineer, BWDB, Satkhira 2. Mr. Partho Pratim Saha, Sub Divisional Engineer, BWDB, Satkhira. 3. Mr. Kenichiro Kato, JICA Survey Team 4. Ms. Ikuko Kunitsuka, JICA Survey Team 5. Dr. Naonori Kusakabe, JICA Survey Team 6. Dr. Shaakeel Hasan, JICA Survey Team
議題	バングラデシュ水資源開発庁（BWDB）サトキラ事務所と JICA 調査団との面談：当該地域の現状について
協議内容	
<ul style="list-style-type: none"> ● JICA 調査団の紹介 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 調査の背景や目的、調査対象地、期間やスケジュールなどについて説明し、サポート、収集情報や必要データ及び書類などについて協議した。 ● サイクロン Aila により堤防は決壊し、海からの塩水が浸入した。DPP（Development Project Proposal/ Proforma/ Programme）のもと、被災地には 34 の閉塞機（closer）。 ● ポルダー復旧の問題点のひとつとして、予算不足があげられる。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 構造・非構造の開発に関わらず、JICA による支援は、歓迎である。 ➤ 堤防が脆弱な部分は、暫定的な処置が施された。 ● Satkhira には 11 のポルダーがあり、2 つの区分に分けられる。Satkhira 1 は 4 つのポルダー、Satkhira 2 は 7 つのポルダーから構成される。 ● CEIP ではポルダー 14/1 および 15 が優先ポルダーの第 1 グループとして考えられている。 ● BWDB としては CEIP のもと堤防の最高地点を上げる決定に関しては、問題ないとのこと。 ● Satkhira には IPSWAM のようなものではなく、水利用者グループに対して研修教材もない。しかし、Shahidul 氏は、IPSWAM のプロジェクトには研修教材がある旨認識はある。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ ポルダーに受益者グループが存在するが、彼ら自身にはグループを運営したり、自分たちの効率性を上げるための十分な施設がない。 ➤ JICA が Satkhira で IPSWAM のような活動を始めてもらえることを希望する。 ● ADB の設立した KJDRP（Khulna Jessore Drainage Rehabilitation Project）が、いくつかのプログラムを Satkhira で実施している。 ● CERP（Coastal Embankment Rehabilitation Project）に対して、多くの非難が上がっている。。 ● JICA が貢献するためのポイント <ul style="list-style-type: none"> ➤ CC block による土手（坂）などの保護 ➤ 機械によるコンパクションのための設備提供を通じた堤防の保護 ➤ その他の分野として、健康、栄養、通信、農業、装備、宿泊設備、衛星、電力（ソーラーパネルなど）、ナビゲーションなど <p style="text-align: right;">以上</p>	

年月日（曜日）、時間	2012年3月19日（月）、11:45 – 12:45
場所	LGED office, Satkhira
出席者	1. Mr. Md. Anwarul Islam, Executive Engineer, LGED, Satkhira 2. Mr. Faruk Hossain, Senior Assistant Engineer, LGED, Satkhira. 3. Mr. Kenichiro Kato, JICA Survey Team 4. Dr. Shaakeel Hasan, JICA Survey Team
議題	地方政府技術局 (LGED) サトキラ事務所と JICA 調査団との面談： 当該地域の現状について
協議内容	<ul style="list-style-type: none"> ● JICA 調査団の紹介 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 調査の背景や目的、調査対象地、期間やスケジュールなどについて説明し、サポート、収集情報や必要データ及び書類などについて協議した。 ● Kolaroa と Tala の 2 つの Upazillas では Aila の被害にによって被災した箇所がある。 ● 災害シェルターや学校に加えて、異なるステークホルダー間でのコミュニケーションは効果的な社会経済開発の優先課題として注目されている。 ● 進行中のプロジェクト：greater Khulna、Barishal、Patuakhali の 14 の District における「バ」国南西部の農村開発プロジェクト <ul style="list-style-type: none"> ➤ 更なる構成要素も検討されている：サイクロンシェルター、学校など ➤ サイクロンシェルターだけでなく、畜牛などのために盛土された丘のようなもの（現地語で Kellah）が必要である。これは、緊急時に住民が家から離れたシェルターに非難した場合でも、家畜の世話で家に残る者が多くいるためである。 ● いかなる災害の危機に直面した場合、飲み水は大きな課題となる。 <ul style="list-style-type: none"> ➤ パイプラインによる水の供給と同様に、深い掘り抜き井戸の導入も選択肢となりうる。 ➤ その他の可能性として、塩水や地表水からの淡水を抽出する浄水・水処理計画がある。 ● 他 District の LGED 事務所と同様に、Satkhira の LGED は道路、構造物（橋梁や排水溝）、成長センター（growth centres）、農村市場、ghat（小・中型ボート用の小さな港）などのプロジェクトを行っている。 ● Satkhira の LGED は、WFP（World Food Programme）の資金で、ER（Enhance Resilience）というプロジェクトも実施している。Upazilla 毎約 2,500 名が道の修復や re-sectioning などで雇用されている。雇用者は労働の対価として、50%を食物で、50%を現金で受け取る。こういった業務は年に 4,5 ヶ月あり、残りは生計手段の改善や自信を培う研修を行っている。 ● LCS（Labour Contracting Society）という制度がある。Satkhira で 1,500 の LCS があり、すべて女性である。LCS には周期的に道路の土の部分メンテナンスする必要があり、LGED のチームは定期的な保守点検を担当する。 ● LGED は参加型小規模水管理セクタープロジェクトにより、農村コミュニティをつなげる（JICA 援助国の広域灌漑・排水プロジェクト）。これを通し、コミュニティは WMCA（Water Management Cooperative Association）を発展させる。このプロジェクトは 1,000 ヘクタール以

下の小規模で行われるものであるため、BWDB による活動ではない。Kolaroa や Tala の Upazilla では、5 つから 7 つのサブプロジェクトが存在する。

- 現在、JICA の資金による学校やシェルターはない。LGED の全てのプロジェクトは、WB (ECRRP) または ADB (CRIICZ, ドイツと合同) の資金によるものである。CRIICZ とは、Climate Resilient Infrastructure Improvement in Coastal Zone の略語である。
- Upazilla レベルの LGED の説明と責任について (LGED Documents にまとめられる)。

以上

年月日（曜日）、時間	2012年3月20日（火）、10:00 – 11:15
場所	BWDB office, Bagerhat
出席者	1. Mr. Khalilur Rahman, Executive Engineer, BWDB, Bagerhat 2. Mr. Nurul Islam, BWDB, Bagerhat. 3. Mr. Kenichiro Kato, JICA Survey Team 4. Dr. Shaakeel Hasan, JICA Survey Team
議題	Bangladesh Water Resources Development Authority (BWDB) Bagerhat Office and JICA Survey Team Interview: Current Status of the Area
協議内容	<ul style="list-style-type: none"> ● JICA 調査団の紹介 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 調査の背景や目的、調査対象地、期間やスケジュールなどについて説明し、サポート、収集情報や必要データ及び書類などについて協議した。 ● Bagerhat には、5つのポルダーがある（34/1, 34/3, 35/1, 35/3, and 36/1）。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 35/2 と呼ばれるポルダーは存在しないが、住民からポルダー35/2 への熱い要望がある。Morolgang が対象であるが、建設がなされたことはない。 ➢ ポルダー35/2 とは異なり、Rampal と呼ばれる地域はポルダー34/2 に関しては「バ」国政府による承認と資金繰りが申請中である。 ● Bagerhat での主な問題は、排水が増加することで河川が浅くなることである。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 包括的管理と改善が必要とされる。 ➢ 既存ポルダーは1960年から1970年に造られており、この40年で、多くの構造物が機能しなくなっている。 ➢ 20年以上前に、既存ポルダーではFCD（small Flood Control and Drainage）プロジェクトが実施された。20年以上（場合により40年以上）何もされなかったため、復旧作業は喫緊の課題である。 ● CEIP のもとでは、polder 35/1 および 35/3 はすでに詳細設計が完了し（調査団はダッカの技術会議に参加した）、ポルダー34/3 では現在 FS 調査が行われている。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 原則、Bagerhat の BWDB は詳細設計に対して何の問題や不満も感じていない。CCブロックなどハード材料は侵食管理のみならず、波動活動からの堤防保護としても期待されている。 ● Bagerhat には、IPSWAM のようなものはない。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ Bagerhat の BWDB としては、JICA が IPSWAM のようなものを Bagerhat で展開したり、参加型且つ統合的水管理に貢献することを期待する。 ● 小規模な復旧や緊急時の活動が WMIP（Water Management Improvement Project）によって行われた。4つの締め切り（closers）が Doibohati というところで建設中である。 ● 気候変動問題に対処するため、再設計や大規模な復旧が不可欠である。ポルダーの特徴：全人口のうち、80%が農家で、3~4%が漁業関係従事している。全生産量おける80%が農業関係で、20%が漁業関係である（これらの数値は、調査に基づくものでなく感覚値である点に

注意。しかし、これらの統計を突き詰めてみるのも意義があるかもしれない)。

- Bagerhat の BWDB では、89 のポストに対し、25 名のスタッフしかおらず、この数値は、Bagerhat での活動不足を表している。
- 下記は、予算目安である：
 - 年間の維持管理・開発費用は約 3,000 万から 5,000 万 BDT、設立費用はおよそ約 1000 万 BDT/年である。
 - 2010・2011 年の予算は、5,000 万 BDT、2011・2012 年の予算は 7,000 万 BDT 程である。
- 4 つの締め切り堤 (closers) の費用は 4,000 万 BDT ほどで、Aila の費用はおよそ 1 億 5,000 万 BDT である。

以上

年月日（曜日）、時間	2012年3月20日（火）、11:30 – 12:20
場所	LGED office, Bagerhat
出席者	1. Mr. A.S.M. Shahedur Rahim, Senior Assistant Engineer, LGED, Bagerhat 2. Mr. Kenichiro Kato, JICA Survey Team 3. Dr. Shaakeel Hasan, JICA Survey Team
議題	地方政府技術局（LGED）と JICA 調査団との面談：当該地域の現状について
協議内容	<ul style="list-style-type: none"> ● JICA 調査団の紹介 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 調査の背景や目的、調査対象地、期間やスケジュールなどについて説明し、サポート、収集情報や必要データ及び書類などについて協議した。 ● LGED の基礎に関する紹介: <ul style="list-style-type: none"> ➢ 2種類の実施システムがある。 すなわち、1. 政府の歳入によるもの（revenue）と、2. 海外援助プロジェクトである。 ➢ 「バ」国全土では、およそ 70 のインフラ開発プロジェクトが進行中である。 ➢ プロジェクトは、実施されるまでに下記の手順を必要とする。1. プロジェクトの構築、2. 「バ」国政府あるいはドナーによる承認、3. 調達（CPTU- Central Procurement Training Unit による）、4. 手続き事項（入札書類の準備や公表など）、5. 実施 ● サイクロンシェルター:バゲルハットの LGED は既に PDP-2 のもと 41ヶ所のサイクロンシェルターを建設し、ECRRP のもと 13ヶ所のシェルターを建設中である。サイクロンシェルターは少なくともあと 100ヶ所必要とされている。実際の必要性、市民の希望を鑑みるとすべての場所にサイクロンシェルターは必要である。 ● 道路や構造物（橋梁や排水溝、水管理構造物、第2堤防など）の建設が進行中である。 ● 貧困緩和のため、バゲルハットの LGED は約 2000 の LCS（Labour Contracting Society）で極貧の女性達を雇用している。 ● 水管理構造(water control structures) など関連の小規模な水資源プロジェクトは LGED が行い、大規模なインフラプロジェクトは BWDB が行う。 ● 異なるレベルの LGED 事務所の説明 (District レベル、Upazilla レベルなど)。(LGED document に含まれる予定) Upazilla レベルの LGED はフィールドにおける実施の中心的機関であり、District レベルの LGED はモニタリングを行う。 ● JICA の支援に対するニーズとしては、Bagerhat の LGED は今後検討し、プロジェクトのサマリーシートに更なる支援要求を記載することも検討する。 ● 下記のようなものが indication になり得る： <ul style="list-style-type: none"> ➢ 水処理/ 海水脱塩植物 ➢ 現代的施工設備 ● LGED の GIS ユニットが地図を持っており、定期的に更新している。地図に関するリクエス

トは、如何なるものも LGED 本部に聞いてみると良い。

- バゲルハットの LGED から、実施されたサイクロンシェルターとその位置、数、名前などを提供してもらうことになっている。組織図や Chartered of Duty（現地語版のみ）、District の予算支出などは後に入手可能となる。
- バゲルハットの LGED は District の災害委員会（disaster committee）の代表である。
- 一般的に LGED のスタッフは多種多様な訓練を受ける。LGED のスタッフは国内・外でよく訓練されている。

以上

年月日（曜日）、時間	2012年4月1日（日）、14:00 – 15:00
場所	BWDB office, Satkhira
出席者	<ol style="list-style-type: none"> 1. Mr. Z. R. Shahed, Department of Relief and Rehabilitation Officer, DRRO, Satkhira 2. Mr. Sarwar Hossain, Public Health Engineer, DPHE (Department of Public Health Engineering), Satkhira 3. Ms. Chandona Rani, Shumnagar, Satkhira 4. Mr. T. Oshita, JICA Survey Team 5. Ms. I. Kunitsuka, JICA Survey Team 6. Mr. Mohammed Abu Musa, JICA Survey Team
議題	Bangladesh Water Resources Development Authority (BWDB) Satkhira Office and JICA Survey Team Interview: Current Situation of the Area
協議内容	<ul style="list-style-type: none"> • DPHE Satkhira Office includes water engineers and about 65 to 70 staff members. DPHE Dhaka Office includes geologists. • DPHE is responsible for water and sewerage (sanitation) infrastructure. In Satkhira, the types of water supply are mainly deep wells, sand filters, and ponds. Rainwater utilization is a good example. • The cost of rainwater tank installation is 1,000Tk per household. Government subsidy is 40,000Tk to 50,000Tk. The water is used only for drinking and cooking. For deep wells, each household pays DPHE 4,500Tk, and government subsidy is 50,000Tk to 60,000Tk (depending on well depth). • Normal well depth is 500ft to 1,150ft. • DRRO has built 3 multi-purpose cyclone shelters. One stage is 15ft high. Currently, more than 7 shelters are proposed. DRRO is a vulnerable area with 2 megaphone sirens (German support). • DRRO has prepared and submitted cyclone reports. JICA team will collect reports later. • DPHE Dhaka Office has JICA experts implementing water projects in Satkhira. • DPHE has a list of government water infrastructure, but NGOs and individuals are not included. • Current water issues are arsenic and salinity. • Health department has detailed information. (Contact Civil Surgeon) • DPHE is addressing arsenic and salinity issues by using water treatment plants for surface water and rainwater as pilot projects. • About 50% to 60% of deep wells are contaminated with arsenic. • JICA team will collect reports on contamination later. • DRRO and DPHE distributed survey sheets. Reports will be collected later. <p style="text-align: right;">以上</p>

年月日（曜日）、時間	2012年4月2日（月）、10:00 – 12:00																																																
場所	BWDB office, Satkhira Division II																																																
出席者	<ol style="list-style-type: none"> 1. Mr. Helal Ur Rashid, Sub-Divisional Engineer, O&M, BWDB Satkhira 2. Mr. Amjad Hossain, Junior Construction Supervision Engineer, WMIP (Polder 7/1, 14/1, 13-14/2) 3. Mr. T. Oshita, JICA Survey Team 4. Ms. I. Kunitsuka, JICA Survey Team 5. Mr. Mohammed Abu Musa, JICA Survey Team 																																																
議題	水資源開発庁（BWDB）サトキラ事務所（Division-2）と JICA 調査団との面談：当該地域の現状について																																																
協議内容																																																	
<ul style="list-style-type: none"> ● BWDB はサトキラに 2 つの Division Office がある。Division-1 には 4 つのポルダーがあり、Division-II は 7 つのポルダーがある。 <ol style="list-style-type: none"> 1) Satkhira Division-1: ポルダー 1, 3, 5, 15 2) Satkhira Division-II: ポルダー 2, 4, 6-8, 7/1, 7/2, 13-14/2, 14/1 (2 つのポルダー 13-14/2、14/1 はクルナ District に位置しており、サトキラ District ではない) ● 「アイラ」による Breach の被害：83 地点、Closure の被害：17 地点 (Breach は小規模の締め切り堤防、Closure は大規模の締め切り堤防という認識) ● 試行錯誤が続いており、例えば 14/1 の Chainage-17 で堤防建設は 5 回目でやっと成功した。 																																																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>ポルダー</th> <th>全長 (km)</th> <th>損失長 (km)</th> <th>全面積 (ha)</th> <th>氾濫面積 (%)</th> <th>氾濫期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2-2 (Ext.)</td> <td>62.95</td> <td>2.26</td> <td>11,296</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>70.00</td> <td>25.00 (part) 3.00 (full)</td> <td>10,500</td> <td>10</td> <td>May – Dec</td> </tr> <tr> <td>6-8 & 6-8(Ext.)</td> <td>66.33</td> <td>19.98</td> <td>15,450</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7/1</td> <td>34.21</td> <td>23.00 (part) 5.00 (full)</td> <td>3,887</td> <td>80</td> <td>May – Jun May – Mar '10 May – Apr '10 May – Feb '11 May – Mar '11</td> </tr> <tr> <td>7/2</td> <td>59.59</td> <td>50.00 (part) 2.00 (full)</td> <td>10,486</td> <td>15</td> <td>May – Oct</td> </tr> <tr> <td>13-14/2</td> <td>93.38</td> <td>47.40 (part) 13.05 (full)</td> <td>17,864</td> <td>60</td> <td>May – Dec '10 May – Apr '10 May – Mar '11</td> </tr> <tr> <td>14/1</td> <td>27.37</td> <td>11.20 (part) 9.35 (full)</td> <td>2,933</td> <td>80</td> <td>May – Mar '11 May – Mar '12</td> </tr> </tbody> </table>		ポルダー	全長 (km)	損失長 (km)	全面積 (ha)	氾濫面積 (%)	氾濫期間	2-2 (Ext.)	62.95	2.26	11,296	0		4	70.00	25.00 (part) 3.00 (full)	10,500	10	May – Dec	6-8 & 6-8(Ext.)	66.33	19.98	15,450	0		7/1	34.21	23.00 (part) 5.00 (full)	3,887	80	May – Jun May – Mar '10 May – Apr '10 May – Feb '11 May – Mar '11	7/2	59.59	50.00 (part) 2.00 (full)	10,486	15	May – Oct	13-14/2	93.38	47.40 (part) 13.05 (full)	17,864	60	May – Dec '10 May – Apr '10 May – Mar '11	14/1	27.37	11.20 (part) 9.35 (full)	2,933	80	May – Mar '11 May – Mar '12
ポルダー	全長 (km)	損失長 (km)	全面積 (ha)	氾濫面積 (%)	氾濫期間																																												
2-2 (Ext.)	62.95	2.26	11,296	0																																													
4	70.00	25.00 (part) 3.00 (full)	10,500	10	May – Dec																																												
6-8 & 6-8(Ext.)	66.33	19.98	15,450	0																																													
7/1	34.21	23.00 (part) 5.00 (full)	3,887	80	May – Jun May – Mar '10 May – Apr '10 May – Feb '11 May – Mar '11																																												
7/2	59.59	50.00 (part) 2.00 (full)	10,486	15	May – Oct																																												
13-14/2	93.38	47.40 (part) 13.05 (full)	17,864	60	May – Dec '10 May – Apr '10 May – Mar '11																																												
14/1	27.37	11.20 (part) 9.35 (full)	2,933	80	May – Mar '11 May – Mar '12																																												
以上																																																	

No.21

年月日（曜日）、時間	2012年4月4日（水）、11:00 – 14:00
場所	BWDB office, Satkhira Division I
出席者	<ol style="list-style-type: none"> 1. Mr. Helal Ur Rashid, Sub-Divisional Engineer, O&M, BWDB Satkhira, and 2 other staffs. 2. Mr. T. Oshita, JICA Survey Team 3. Ms. I. Kunitsuka, JICA Survey Team 4. Mr. Mohammed Abu Musa, JICA Survey Team
議題	バングラデシュ水資源開発庁（BWDB）サトキラ事務所（Division 1, 2, sub Division）と JICA 調査団との面談：当該地域の現状について
協議内容	
<ul style="list-style-type: none"> ● プロジェクトについての簡易報告後、Divion-I のスタッフが Sarafat 氏（BWDB ダッカ Planning-I）と電話で連絡を取った。Sarafat 氏からはポルダー3（インド国境沿いの西側は河川浸食に脆弱である）とポルダー5（大きな河川に面する東側も脆弱性が高い）を対象ポルダーに含むことを要求された。GoB は 2010 年、堤防の復旧を支援することを日本に要請した。他ドナーにより管理されてきたポルダーもあるが、未着手のものもある。 ● Div-I ; P-1、P-3、P-5 そして P-15 管轄下のポルダーマップ（ソフトコピー）が提供された。 ● 近年サトキラ地域ではサイクロンの問題に加え、周期的な洪水被害もまた深刻である。過去数年のすべてのモンスーン期（雨季）では、洪水が生じ 6、7、8 月の 3 ヶ月間続いた。主要な原因は河床堆砂、強い降水、ポルダーシステムの低下などである。BWDB は緊急対策と長期的対策といった段階的な対策を開始した。緊急処置として、河川の浚渫、潮の満干の制御門の建設などの構想が練られたが、包括的な解決としての長期的対策はいまだ議論されていない。 <p style="text-align: right;">以上</p>	

No.22

年月日（曜日）、時間	2012年4月4日（水）、12:00 – 13:00
場所	Satkhira District Office
出席者	1. Md. Rabiqul Islam, DRRO Office Assistant, Satkhira 2. Ms. I. Kunitsuka, JICA Survey Team 3. Mr. Mohammed Abu Musa, JICA Survey Team
議題	当該地域における現状について
協議内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 記入済みの調査シートとプロジェクトサマリーを回収した。 ● Administration map は LGED で入手可能。 ● 土地利用の地図は DD Agriculture で入手可能。 ● 現況のサイクロンシェルターのリストを入手した。 ● サイクロン被害のリストが提供された。 ● 環境問題に関わる情報・データはクルナで入手予定である。 <p style="text-align: right;">以上</p>

No.23

年月日（曜日）、時間	2012年4月15日（日）、11:40 – 12:30
場所	DPHE Office, Khulna
出席者	1. Sk Abdul Mannan, Executive Engineer, Public Health Engineering Khulna Division 2. Ms. I. Kunitsuka, JICA Survey Team 3. Mr. Mohammed Abu Musa, JICA Survey Team
議題	本調査の紹介と当該地域における現状について
協議内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 各 Upazila の水施設に関する統計情報を入手した。 ● 水に関連する疾病学の傾向は Civil Sergeant Office または Upazila Head Office で得られるかもしれない。 ● かつては給水、公衆衛生、ヒ素問題への取り組みのため、クルナ、サトキラ、バゲルハットで活動する日本人技術者がたくさんいた。 ● 「アイラ」による被災から、公共施設サービスはいまだ完全には回復していない。 ● DPHE より、地下水の水質検査の結果が記載された地図が提供されることとなった。 ● ポルダー32には、適切に地下水が得られず、コミュニティが地表水に依存している2つのユニオンがある（複数地点で、1100ft の穿孔試験が試みられた）。「アイラ」後は、地表水が塩分浸入により汚染された。汚染地表水の処理施設の提供や、塩水浸入対策のための堤防の復旧が提案された。ある NGO が水処理施設の建設を試みたが予算不足により（？）失敗した。 ● DPHE は毎年地下水を測定している（4月の第一週から3月の最終週）。これによると、クルナの地下水位が 10ft～12ft（5年前）から 30ft へ低下した。 <p style="text-align: right;">以上</p>

年月日（曜日）、時間	2012年4月15日（日）、15:30 - 16:45
場所	BWDB Office, Satkhira Division-2
出席者	1. Mr. Shahidul Islam, Executive Engineer 2. Dr. Shaakeel Hansan, JICA Survey Team
議題	Mr. Shahidul Islam 氏（BWDB サトキラ事務所、Division-2）との情報交換
協議内容	
<p>ポイント：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 損害を受けたポルダールの復旧に対する支出：年間予算および財源 2. ポルダールの損害 3. インフラ基盤および損害が記載されたポルダーマップ 4. 「アイラ」の記録：写真、ビデオ 5. オペレーションとメンテナンス（O&M）の評価 6. 組織の情報 7. 現地調査に同行するBWDBスタッフの確保について <p>ノート：</p> <ul style="list-style-type: none"> － O&Mに対するほとんどの支出は非開発財源（NDR）で対処された。 － ポルダールへの損害は瞬時にいくつかのポルダーマップに示された。 － ポルダーマップのソフトコピーを入手した。 － 「アイラ」の写真の提供を受けた。 － 現在、水管理構造物のO&MはSluice Operation Committeeにより実施されている。地方政府はBWDBの推進する運営への市民参加を支援している。SOCは、BWDBの承認により形成され、鍵が渡される。このSOCによる制度は2000年より開始された。 － BWDBの業務が滞る主原因の一つは、人員不足である。 この事務所には42名のスタッフが在籍しているが、本来は100名必要と考えられている。 － BWDBより2名のスタッフ（主にセクションのオフィサー）が調査団のために手配された。 4月17日にポルダール7/2を訪れ、4月19日にポルダール13-14/2を訪れる予定である。 <p style="text-align: right;">以上</p>	

No.25

年月日（曜日）、時間	2012年4月15日（日）、15:30 – 17:00
場所	Khulna District Office
出席者	1. Md Jamsher Ahmed Khandker, Deputy Commissioner Khulna 2. Ms. I. Kunitsuka, JICA Survey Team 3. Mr. Mohammed Abu Musa, JICA Survey Team
議題	本調査の紹介、当該地域における現状について
協議内容	
<ul style="list-style-type: none"> ● サイクロン「アイラ」被害の統計情報を入手した。 ● 当該地域では洪水が頻繁に発生するが、適切な排水に成功しており、大事に至っていない。 ● 飲料水の不足(特に Dacope と Koyra における)は重大な問題である。よりよい地表水の管理が必要である。 ● サイクロン「アイラ」後、GoB と NGO の支援を受けながら、クルナでは農業の改善に焦点を合わせた活動が行われている（種、燃料 subsidies、化学肥料など）。 ● 農業主と漁師の間の紛争を避けるため、土地ゾーニングシステムが必要である。 ● 塩水の土地への垂れ流しは、土地への悪影響から、基本的に違法である。 ● 「アイラ」後、当該地域では下痢が広まった。 ● サイクロン「アイラ」によってもクルナを離れた市民は多くなかった。 	
以上	

No.26

年月日（曜日）、時間	2012年4月16日（月）、10:00 – 10:30
場所	Bagerhat District Office
出席者	<ol style="list-style-type: none"> 1. Md Akram Hossain, Deputy Commissioner Bagerhat 2. Mehedi Hasan, Assistant Commissioner, District Admin Bagerhat 3. Ms. I. Kunitsuka. JICA Survey Team 4. Mr. Mahfuzur Rahman, Ahona Foundation
議題	本調査の紹介、当該地域における現状について
協議内容	<ul style="list-style-type: none"> ● バゲルハットの長より、プロジェクトリスト（Mr. Mahfuzur が翻訳する予定）の提供を受けた。 ● 「シドル」による被害のリストの提供を受けた（Mr. Mahfuzur が翻訳する予定）。 ● 「アイラ」によってそれほど重大な損害を負っていない。損害があったのは3つの郡（Sarankhola、Mongla、Morrelganj）のみだった。しかし、「シドル」のときはすべての郡はひどく影響を受けた。 ● バゲルハットでは、飲用水（中の塩分）が問題となっている。 ● （サイクロンの影響もあり）バゲルハットの人口は雇用機会の不足により減少している。 ● サイクロンにより損害を受けた遺跡がある。 <p style="text-align: right;">以上</p>

No.27

年月日（曜日）、時間	2012年4月16日（月）、10:30 – 11:00
場所	Bagerhat District Office
出席者	1. Md HirendraNath Howlader, Deputy Director for Dept of Agriculture Bagerhat 2. Ms. I. Kunitsuka. JICA Survey Team
議題	本調査の紹介、当該地域における現状について
協議内容	
<ul style="list-style-type: none"> ● （サトキラと比較して）バゲルハットでは、「アイラ」の損害はさほど大きくなかった。 ● バゲルハットでは、深管井戸は手に入らない。そのため人々は飲用水に表流水を利用する。 ● バゲルハットには4つの河川があるが、うち3つは塩分を含んでいる。 ● 6月から10月まで（雨季）、天水が灌漑に利用される。 ● 11月から5月まで、塩分耐性のある農作物（塩分濃度：5ppmまでOK）が栽培される。 ● 土壌中の塩分は雨によって回復できる。 ● 不適切な施設や過度の雨量に起因する water logging のせいで小さい洪水がある。 ● GM作物は栽培されていない。 ● 農業局は農家に対し、hybrid crops、グループディスカッション、実地調査のための訓練のようなプログラムを提供している。 ● 2つの Upazila（郡）において、ECRRPは改良された。プログラムにははトウモロコシの供給、nerica rice、動力ポンプなど4500の参加者に対するものを含む。 ● 作物保険の制度は必要不可欠で在るが、実施されていない。 <p style="text-align: right;">以上</p>	

年月日（曜日）、時間	2012年4月16日（月）、12:00 – 12:30
場所	DPHE Office, Bagerhat
出席者	1. SM Shamim Ahmed, Executive Engineer, Public Health Engineering Bagerhat Division 2. Ms. I. Kunitsuka. JICA Survey Team 3. Mr. Mahfuzur Rahman, Ahona Foundation
議題	本調査の紹介、当該地域における現状について
協議内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 「シドル」及び「アイラ」後の政府とドナー機関（NGOを除く）による WATSAN 改善プロジェクトのリストを入手した。 ● バゲルハットではすべての地下水（掘削試験による 1,150ft）が塩分を含んでおり、WATSAN は望ましい結果が得られていない。 ● 人々は池と緩速ろ過から水を利用している。 ● コミュニティの公衆衛生への意識は低い。 ● エビの養殖によって塩分進入が引き起こされる。 ● 近接の水の適切な質および量がないため、人々は居住地から水源へ水を引っ張ることに多くの時間を費やさざるを得ない現状が在る。 ● 「アイラ」の後、DPHE は 133 の狭い管井戸と 1,138 の深管井戸を改善した。 ● 「バ」国では、手管井戸と深管井戸は持続可能として考えられている。池はある程度メンテナンスが必要である。 ● 純粋な水を見つけることは難しい。 ● 水資源保護のみならず、環境保護への制限・規定がない。 ● かつて、サトキラ、バゲルハット、ジェッソールでの WATSAN プロジェクトを実施している JICA 専門家がいた。同氏は塩分侵入の要因は以下であると考えているとのこと。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 数多くの封鎖 (blockage) ➢ 養魚池 ● 同氏によると根本的な解決は以下の通りである。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 地表水保留地としてため池をもうける ➢ コミュニティ、家庭保有レベルでの塩水侵入の予防 ● 水資源の種類 <ul style="list-style-type: none"> ➢ SST: 浅化された浅い管井戸: 人工の帯水層 ➢ PSF: 緩速濾過池 ➢ RWH: 雨水採取 <p style="text-align: right;">以上</p>

No.29

年月日（曜日）、時間	2012年4月23日（月）、10:00 – 10:30
場所	DPHE Office, Dhaka
出席者	<ol style="list-style-type: none"> 1. Md Nuruzzaman, Chief Engineer, DPHE Dhaka 2. Md. Anowar Hossain, Project Director, DPHE Dhaka 3. Ms. I. Kunitsuka, JICA Survey Team 4. Mr. Sayful Islam
議題	本調査の紹介と情報収集に関するお願い
協議内容	<ul style="list-style-type: none"> ● JICA 調査の紹介 ● 給水政策や地下水関連の課題については4月25日11時に改めて話されることとした。 ● 「バ」国には助言とモニタリングの機能を備えた良い水委員会が District、Upazila、Union レベルで存在する。 ● WATSAN は恒久的な課題であり、サイクロンに限った話ではない。 ● 塩分の含有は沿岸エリアで最も深刻な問題である。 ● DPHE は「アイラ」の被災以降、深井戸や浅井戸、ろ過タンクのある池などを建設した（データは4月25日に提供予定）。 ● 乾季には塩分浸入が生じる。 ● バゲルハットでは、地下水は廃棄物で汚染されている。 <p style="text-align: right;">以上</p>

No.30

年月日（曜日）、時間	2012年4月23日（月）、11:00 – 11:30
場所	Ministry of Health & Family welfare
出席者	1. Professor Be-Nazir Ahmed, Director, Disease Control & Line Director, CDC (Center for Disease Control). 2. Ms. I. Kunitsuka. JICA Survey Team 3. Mr. Sayful Islam
議題	本調査の紹介と情報収集に関するお願い
協議内容	<ul style="list-style-type: none">• JICA 調査の紹介• 月別の水関連の災害傾向を入手した（2006-2010、翻訳が必要）。• クルナ、サトキラ、バゲルハットの Civil Sergent Office で情報収集が可能である。 <p style="text-align: right;">以上</p>

年月日（曜日）、時間	2012年4月24日（火）、11:00 – 12:00
場所	BWDB Groundwater Hydrology
出席者	<ol style="list-style-type: none"> 1. Anwar Zahid, Hydro and Environmental Geologist, PhD, MSc in Hydrogeology, Deputy Director, Groundwater Hydrology, BWDB Dhaka 2. Md. Zafar Iqbal, Geologist, BWDB 3. Md. Alamgir Kabir, BWDB 4. Md. Aminur Rahman, BWDB 5. Md. Salah Uddin Alebasi 6. Md. Mohiuddin Ahmed, System Analyst, BWDB Dhaka 7. Md. Mohsin, Chief Executive Officer, Survey & Data Consultant 8. Ms. I. Kunitsuka. JICA Survey Team 9. Mr. Sayful Islam
議題	本調査の紹介と情報収集に関するお願い
協議内容	<ul style="list-style-type: none"> ● JICA 調査の紹介 ● BWDB は 1,140ft までの井戸を掘ったが、沿岸部では帯水層は見つからなかった。また 300ft までは水に塩が混じってしまう。 ● BWDB は 19 の沿岸部 District の 38 箇所において各深さの量と質を測るため、モニタリング用井戸を建設中である。この建設は 2013 年 6 月に終了見込み。また、結果は塩分分布、農業計画などに使われることが想定され、他の政府機関やいかなるプロジェクトのドナー団体などにも共有される。このプロジェクトは環境森林省の気候変動への対応予算で行われ、クルナとサトキラでは既に完成しており、翌月バゲルハットに移行する予定である。 ● 地下水の存在に関する化学的データは存在しない。世界銀行の扱う数字すら根拠が不明確な場合があり、世論などに頼って地下水レベルを見積もっている。 ● 「バ」国では、地下水の利用に対する規制はない。BWDB は地下水資源保護のため、“Groundwater Act” の導入を推進している。 ● 乾季には、80%以上の地下水が灌漑に利用されている。このうち、70%は個人の農家によって使われている。もし地下水が各農作物への最大利用量のみ使われたとすれば、35～50%の地下水を確保できる。しかし、農家は水を使いたいだけ使ってしまうっており、農作物に必要な分以上に水を消費している。農民への教育がより行き届けば、35～50%の水が節約されるのである。 ● 国の水政策では、表流水の使用を強調している。しかし、地表水利用の設備はモンスーン季節に難しくなる。パイプは 3、4 ヶ月で沈下してしまう。地下水の利用は格段と安価で、維持が簡単である。地下水の井戸は、上部にカバーをし、モンスーン季節にはポンプを取り除けば良いだけである。 ● 井戸の適正な間隔（帯水層を妨げず、塩水の排水ができるなど）は維持されていない。 <p style="text-align: right;">以上</p>

No.32

年月日（曜日）、時間	2012年4月24日（火）、12:00 – 13:00
場所	BWDB Processing and Flood Forecasting Circle
出席者	<ol style="list-style-type: none"> 1. Md. Mosaddeque Hossain, Superintending Engineer, Processing and Flood Forecasting Circle 2. Md. Mohiuddin Ahmed, System Analyst, BWDB Dhaka 3. Md. Mohsin, Chief Executive Officer, Survey & Data Consultant 4. Ms. I. Kunitsuka, JICA Survey Team 5. Mr. Sayful Islam
議題	本調査の紹介と情報収集に関するお願い
協議内容	<ul style="list-style-type: none"> ● JICA 調査の紹介 ● Mosaddeque 氏は「アイラ」発災時に JICA の専門家が来たが何もしてくれなかったと感じている。BWDB は JICA に、開いているポルダールを閉じてくれるよう要請したとのこと。 ● ポルダール32 は最もひどい地域であった。人々は貧しく、飲料水がない。 ● Mosaddeque 氏はポルダール32 の水路を閉じ、飲料水用のため池にすることを勧めている。 ● ポルダール32 は世界銀行のプロジェクトの対象地となっていない。 ● 収入創出プログラムが必要（最重要）である。 ● 人々は散り散りに生活している。集合して生活し、居住エリアを保護するべきである。 ● エビの養殖は土地を破壊する。NGO の中には、土地を守るため農業を支援する団体もある。 <p style="text-align: right;">以上</p>

年月日（曜日）、時間	2012年4月25日（水）、11:00 – 12:00
場所	BWDB Flood Forecasting & Warning Center
出席者	1. Md. Amirul Hossain, Executive Engineer, Flood Forecasting & Warning Center, BWDB 2. Ms. I. Kunitsuka. JICA Survey Team 3. Mr. Sayful Islam
議題	本調査の紹介と情報収集に関するお願い
協議内容	<ul style="list-style-type: none"> ● JICA 調査の紹介 ● 土砂は、上流のから来ている。年におよそ 1、2 トン流れてくる。 ● インドでは人口が増加しており農業活動のための伐採が行われ、「バ」国への流量を減らしている。 ● 気候変動への実感は、不確かなものである。これら影響を緩和するため、洪水防止や排水が必要である。 ● 長期的な洪水の問題と河床の土砂堆積が原因でサトキラ地域の運搬能力が低下し、食料問題にまで発展している。 ● 洪水に関する最新情報の報告書：『Annual Flood Report 2001』は、ウェブサイト (ffwc.gov.bd) にアップされる予定である。 ● 洪水管理やあらゆる種類の災害管理のために「SOD」を参照すると良い。 ● 水管理問題について参考になるのは、「National Water Management Plan」、「Five Year Strategic Plan of BWDB」、そして「Early Warning System Study 2006」である。 ● 南西部の沿岸地域は平坦なため、エリア全土的に水で覆われてしまい、甚大な被害の原因となっている。 ● 過去の地理的条件の記された地図は、CEGIS が保有しているかもしれない。 ● 気候変動ファンドのもと、BWDB は沿岸部で世銀 (ECRPP) と研究を実施することとなっている。 ● 水セクターに関する更なる情報は、NWP を参照する良い。 ● 沿岸部が「バ」国全土の 16% を占め、平均潮位が 1.5 メートル、潮が 3 メートルであるため、16% は定期的に水に浸かる地域。 ● 移住は恒久的な解決策ではない。1970 年から 1980 年にかけて、「バ」国政府は住民に人口の少ない Chittagonhen への移住を推進した。しかし、現在その地域は揉めている。 ● ポルダーの中では、農業や漁業といった生計手段が既存在する。これらは保護を必要とするのみである。 ● 「バ」国には 3 種の堤防がある。サイクロン対策の堤防として最も規模が大きいのは Chittagon 付近に造られた。南西部では、堤防構造物は内陸で利用するものであるため、破壊された。 <p style="text-align: right;">以上</p>

年月日（曜日）、時間	2012年4月25日（水）、15:00 – 16:00
場所	Department of Environment
出席者	1. Md. Fardoush Anwar, Assistant Director (Technical), Department of Environment 2. Ms. I. Kunitsuka. JICA Survey Team 3. Mr. Sayful Islam
議題	本調査の紹介と情報収集に関するお願い
協議内容	<ul style="list-style-type: none"> ● JICA 調査の紹介 ● 環境局では、サイクロン被災地域の human displacement が最大の課題（社会的、環境的影響） ● 「バ」国政府は、様々なサイクロンシェルターを造り、1970年代と比べ被害を最小化した。 ● 沿岸地域の家屋は脆弱である。もっと持続可能な家屋を貧困層にも必要である（一時的な家ではなくて、恒久的な居住家屋が必要である） ● 気候変動と向き合うため、「バ」国政府は CCTF（Climate Change Trust Fund）を設立した。USD3億が政府に割り当てられた。そのうち、大半は BWDB、Department of Forestry、および農業、健康セクターに割り当てられた。 ● 世界銀行による CCRF（Climate Change Resilience Fund）もあり、USD1億2,500万がある。 ● 林野局は、Forest Act 1927 や、Wild Life Conservation Act などを行っている。 ● 生態系的に重要な地域では、規制が適用されている。 ● エビ養殖が沿岸部の重大な問題となっている。しかし、ゾーニングの制度はまだない。 <p style="text-align: right;">以上</p>

年月日（曜日）、時間	2012年4月26日（木）、11:00 – 12:00
場所	DPHE Office, Dhaka
出席者	<ol style="list-style-type: none"> 1. Tushar Mohon Shadhu Khan, Executive Engineer, Groundwater Division, DPHE 2. Sudhir Kumar Ghosh, Superintending Engineer, Groundwater Circle, DPHE 3. Monwar Ali, Superintending Engineer, Planning Circle, DPHE 4. Md. Delwar Hossain, Sub-Assistant Engineer, Store Circle, DPHE 5. Ms. I. Kunitsuka. JICA Survey Team 6. Mr. Sayful Islam
議題	本調査の紹介と情報収集に関するお願い
協議内容	
<ul style="list-style-type: none"> • JICA 調査の紹介 • 「バ」国では、すべての District（県）、Upazila（群）、Union（行政村）に、それぞれの水施設の維持管理を担当する水委員会（Water Committee）が存在する。 • 飲料水への塩分混合は当該地域の主問題である。 • 「アイラ」以降、DPHE は更なる飲料水への塩分進入を防ぐため、池の高さを上げる計画をしている。 • サイクロン「シドル」では、被害は深刻であったが、水は長時間滞在しなかった。「アイラ」の際は、水がポルダール内に長きに渡って残された結果、塩分浸入が飲料水や農業、暮らしに重大な影響を与えた。 • DMB（Disaster Management Bureau）は、被害に関して更に包括的な情報を保有している。 <p>収集データ：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) List of Damages and Rehabilitated Facilities by Cyclone Sidr 2) List of Damages and Rehabilitated Facilities by Cyclone Aila <p style="text-align: right;">以上</p>	

年月日（曜日）、時間	2012年4月26日（木）、15:00 – 16:00
場所	World Bank Office, Dhaka
出席者	<ol style="list-style-type: none"> 1. Md. Sarafat Hossain Khan, Superintending Engineer/Director, BWDB 2. Md. Rafiqul Islam, Consultant, Agricultural and Rural Development Unit, WB 3. Md. Akhtaruzzaman, Resettlement Specialist, South Asia Sustainable Development, WB 4. Ms. I. Kunitsuka. JICA Survey Team 5. Mr. Sayful Islam
議題	本調査の紹介と情報収集に関するお願い
協議内容	
<ul style="list-style-type: none"> ● JICA 調査の紹介 ● 世界銀行はポルダー復旧の第1フェーズとして、17のポルダーを選定した。現在は設計を最終化し、先の2、3年で入札や施工を行う。 ● プロジェクトには、設計、数学的モデリング、調査、水力学的構造物（調査の結果を受け、また気候変動に対応するために必要な高さまで堤防の高さを上げる）などが含まれる。 ● 5つのポルダーの設計は完了（BWDBが設計した）し、12のポルダーにおいて調査が進んでいる。 ● 予算は年間約3億7,500万USDである。 ● 現在、再定住行動計画が準備段階である。 ● 世界銀行は被災によって住む場所を失った Floating people に対して新しい家屋や生活の支援を行っている。 ● 世界銀行は ECRRP のもと、いくつかのサイクロンシェルターを建設するが、数は十分ではない。 ● 世界銀行は各ポルダー用に合わせて設計をしており、スタンダードな設計というのではない。世界銀行は建設時、建設後の O&M マニュアルの準備をする。 ● BWDB は「バ」国政府に対し、維持管理の仕事が続けられるように人員を8,000名から13,000名に増員するように依頼した。BWDB は既に堤防の建設経験があるため、このための十分な能力はあるといえる。 <p>収集データ：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 『Table 7.2 Details of Polders Surveyed and Progress of Data Entry of CEIP Main Report』 2) 「バ」国沿岸地域の地図 <p style="text-align: right;">以上</p>	

No.37

年月日（曜日）、時間	2012年4月29日（日）、11:00 – 12:00
場所	Ministry of Agriculture
出席者	1. Md Zahir Uddin Ahmed, Additional Secretary, Ministry of Agriculture 2. Ms. I. Kunitsuka. JICA Survey Team 3. Mr. Sayful Islam
議題	本調査の紹介と情報収集に関するお願い
協議内容	<ul style="list-style-type: none">● JICA 調査の紹介● 農家と漁師の衝突に対して、細やかな注意を払う必要があるが、現在は特に管理・統制を行う制度がない。● 国土省、漁業畜産省、農業省の3者間の包括的かつ協力的努力が必要である。● 限られた土地に対し急激に人口が増加している中で、管理制度の実施は非常に困難である。● 沿岸部では、農業省が塩分耐性の強い米作りに挑戦しているが、農家はまず自分達が食べられる食料を作りたいため、作物を変えることにも困難が伴う。● 堤防の建設は食糧生産（エビか米かを問わず）のために、最重要である。● 農協や保険制度などは、個人単位を対象に実施することは難しい。● サイクロンの有無に関わらず、農業省は人口増加に対応して作付け様式の変更を検討している。● 現地住民の声を直に聞くことが重要で、バイアスを避けるためには NGO などが代弁する声ばかりを聞いてはならない。● Farm Gate にて、多くの情報（土地利用、作物の種類、他）が入手可能である。 <p style="text-align: right;">以上</p>

年月日（曜日）、時間	2012年4月30日（月）、11:00 – 12:00
場所	Ministry of Environment & Forest
出席者	<ol style="list-style-type: none"> 1. Dr. Md. Moniruzzaman, Director (Deputy Secretary), Climate Change Unit, MoEF 2. Engr. Shakila Yasmin, Assistant Director 3. Ms. I. Kunitsuka, JICA Survey Team 4. Mr. Sayful Islam
議題	本調査の紹介と情報収集に関するお願い
協議内容	<ul style="list-style-type: none"> ● JICA 調査の紹介 ● CCTF（Climate Change Trust Fund）の財源は「バ」国政府予算である。 ● PPCR（Pilot Program for Climate Resilience）の財源はドナー機関の予算による。 ● 82のプロジェクトが承認され、そのうち8割から9割が沿岸地域を対象としている。予算はBWDBや林業局、地域(localities)など様々なアクターに振り分けられた。 ● サイクロンに対する耐久性の強い家屋を貧困層に提供するプロジェクトもあるが、ここでの考え方としては、サイクロンシェルターの柱（コンクリート）と壁のみを政府が提供し、人々は壁やその他を自給しなくてはならないとしていた。しかし、予算が不足しているため、これには住民から不平の声が出た。 ● 異なる省庁や部署間の協調による、包括的な解決策が必要であると考えている。 ● 「バ」国の人々は自然災害の中でどのように生き残るかを知っている。彼らには土着の知恵がある。 ● 女性は子供や老人、障害者、そして財産を守らなくてはならないため、男性より気候変動に対して脆弱である。 ● プロジェクトのリストは、ウェブサイトですべて入手可能である。 <p style="text-align: right;">以上</p>

年月日（曜日）、時間	2012年5月2日（月）、11:00 – 12:00
場所	DPHE Office, Satkhira
出席者	1. Nur Ahmed Tuhin, Chief Engineer, DPHE Satkhira 2. Ms. I. Kunitsuka. JICA Survey Team 3. Mr. Sayful Islam
議題	本調査の紹介と情報収集に関するお願い
協議内容	<ul style="list-style-type: none"> ● JICA 調査の紹介 ● WHO によって Assasuni 地域と Shyamnagar 地域に2つの淡水化プラントが建設された。 ● Assasuni、Kaliganj、Shyamnagar などの地域で JICA による淡水化プラントの建設プロジェクトが期待される。 ● DPHE と Upazila（群）当局は淡水化プラントのメンテナンスに責任を有する。 ● 沿岸エリアは自然災害に脆弱であり、飲料水など、水の危機がある。 ● 政府機関、住民、NGO は各々に自然災害に対する備えをしている。DC Office では、災害対策のワークショップを開催している（EU と DFID の資金援助による）。 ● 「バ」国では、低価格且つ美味しい GW（Ground Water）が好んで使用されているが、GW の利用は控えられるべきである。 ● 沿岸地域では、水資源の 1/3 は塩分の含有がないが、2/3 は塩分を含んでいる。 ● 水料金の収集が行われている（ジェリー缶につき 3 Tk）。 ● 塩水は病気を引き起こさないが、問題は味である。 ● 乾季には、水が原因で下痢のような疫病を引き起こすようなことはない。そのような疫病の発生は、雨季やモンスーン期に起こる。人々は飲料水における衛生問題に関心が在る。 ● 住民はピット式トイレ（おとし便所）を作り、使用している。 ● サトキラの財源状況は他の多くの地域よりも良好であると解釈している。そして半数以上の住民は漁業文化やはインドの違法ビジネスに関わっている。「バ」国北部はより貧しく、人口密度が高い。 <p style="text-align: right;">以上</p>

年月日（曜日）、時間	2012年5月20日（日）、09:00 – 11:00
場所	Disaster Forum Office
出席者	1. Mr. Gawher Nayeem Wahra, Disaster Forum 2. Ms. Ikuko Kunitsuka, JICA Survey Team 3. Mr. Muhammad Abu Musa, JICA Survey Team 4. Mr. Islam MD Syful, JICA Survey Team
議題	Disaster Forum の活動に関して及び沿岸部の状況について
協議内容	<p>1. Mr.Gawher Nayeem Wahra による説明（Disaster Forum の主な活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> 『Disaster Year Report』などの年次発行（※2009-2010を受領。2011版作成中。） 防災関連トレーニングやフェアなどの実施 上記による収益が Disaster Forum の主要な財源。（※UN等の他機関による資金援助は無い模様。） <p>2. その他のインプット（Mr. Gawher Nayeem Wahra の意見）</p> <p>a. 災害管理には住民参加、市民社会の視点が重要。</p> <p>b. シェルターは世帯毎にあることが理想。</p> <ul style="list-style-type: none"> 危機回避のためには開発も重要だが、多くの機関が緊急時に重点を置きすぎている。 公的機関（「バ」国政府、UN、JICA等）はNGOや市民社会の視点を軽視しているが、地域にも知恵がある。 堤防に関わる活動はBWDBのみが実施している。NGOが入る隙がないことが、回復を遅くしている。 “Ship Wrecking（船の解体）”のため、船を陸地側に引き込んでおり、堤防が障害になることから堤防を破壊している現実がある。有害物質も海に流れ込み、地域の漁業にも悪影響を与えている。規制はあるが実効性が無い。 上記のように人の手による堤防の破壊は多い。マングローブ等の被害もある。 農業に従事している女性グループが、エビの養殖者による防潮堤の破壊行為を防ごうと試みたところ chairman により撃たれる事件があった。 多くの堤防は次の9月までに決壊してしまう可能性がある（※9月は最も潮が満ちる）。 堤防付近に植林される植物選定においては、種の選別が重要である。サイクロン「アイラ」で死亡した被災者の70%は、外来種の木々が倒れ、下敷きで亡くなったという話がある。地元の近隣で育った種を植林するほうが倒れにくく、防災効果が高い。 パブリックのサイクロンシェルターは防災効果が低いのではないか。例えば、ある地区に200人規模のシェルターがあるが、45世帯居住していることから、450人規模（一世帯あたり10人）のシェルター容量が必要。また、管理者が曖昧になると維持管理が困難となる。他方、シェルターの機能を持った個人宅は（自分のものなので）住民が自発

的に手入れやストックの補充などをする気になり易い心理からも、人がシェルターに住める方が理想的である。

- 一般的に、村人は頑丈な家を建てる為のローンを組むことが出来ない。（※ダッカでは出来る）
- 1972年頃、「バ」国東部沿岸地域（Char Dhar 付近）で、丘（盛土）のようなものを作ったのが効果的だった。満ち潮より高い位置に家屋を建てたため、被害が少なかった。
- 維持管理を、住民の収入源となる仕事のひとつとして認める必要がある。
- コミュニティのオーナーシップは重要だが、不足している。
- キャッシュフローによる現金獲得は重要（理由：①必要なものを自己判断で購入・支払いできる、②地域の市場が成長する）。しかし、WFP（国連世界食糧計画）や BWDB のプログラムでは、毎日の支払いは無い。賃金の支払いは、3～4ヶ月先で、銀行振り込み。住民は必要な時に資金を得ることができず、ローンを組む必要もあり、利子の分だけ損をしている。
- 支払い自体も正当に実施されていない（※ムサ氏による指摘：50%しか支払われない噂）。

※ Disaster Forum に参加する団体リスト（76団体）＜次ページ資料参照＞

以上

List of the Member Organizations

1. Action Aid-Bangladesh
2. ANANDO
3. ARPON (Advancement of Rural People Organization for Needy)
4. BDPC (Bangladesh Disaster Preparedness Center)
5. BRAC
6. Canada Fund
7. Caritas-Bangladesh
8. Care Bangladesh
9. CCDB (Christian Commission for the Development of Bangladesh)
10. CDA (Community Development Association)
11. CDVS (Center for Disaster and Vulnerability Studies, University of Dhaka)
12. Char Livelihood Project
13. CIDA (Canadian International Dev. Agencies)
14. COAST TRUST
15. CODEC (Community Development Committee)
16. Concern Universal
17. Concern Worldwide
18. CPP (Cyclone Preparedness Program)
19. Department of Geography, University of Jahangirnagar
20. DFID
21. Dhaka Ahsania Mission
22. Dhaka Community Hospital
23. DMB (Disaster Management Bureau)
24. DRTMC (Disaster Research Training and Management Centre; Department of Geography; University of Dhaka)
25. DSK (Dushtha Shasthya Kendra)
26. Dwip Unnayan Sangstha
27. FIVDB (Friends in Village Development Bangladesh)
28. Food For Hungry Int.
29. German Red Cross
30. Gonochetona
31. Gonoshasthya Kendra
32. Green Bangladesh
33. GUK (Gano Unnayan Kendro)
34. HFSKS (Hilful Fuzul Samaj Kallyan Sangstha)
35. Inter Life Bangladesh
36. International Federation of Red Crescent
37. Islamic Relief

38. IUCN - Bangladesh Country Office
39. IVS (International Voluntary Services)
40. JJS (Jagroto Jubo Sangastha)
41. Manob Mukti Shangstha
42. Mott. Mac Donald ,Asia
43. MSF-Holland
44. NGO Forum for Drinking Water Supply & Sanitation
45. NIJERA KORI
46. Oxfam (GB)
47. PACT/PRIP
48. Pothik Trust
49. Practical Action
50. Prodipon
51. Proshika Manobik Unnayan Kendra
52. RDRS Bangladesh
53. Red Crescent Society
54. RIC (Resource Integrated Centre)
55. Rupantor
56. SARPV (Social Association for the Physically Vulnerable)
57. Sagarika Samaj Unnayan Sangstha
58. Sangkalpa Trust
59. Save the Children
60. SDC (Swiss Development Cooperation)
61. SETU
62. Shabolombi
63. Shapla Neer
64. Shariatpur Development Society (SDS)
65. Solidarity
66. Stromme Memorial Foundation
67. TDH – Italy
68. Terre des Homes (Netherlands)
69. UNDP
70. Uttaran
71. VERC (Village Education and Resource Center)
72. VHSS (Voulntary Health Servises Society)
73. WFP
74. WHO
75. World Vision Bangladesh
76. YPSA (Young Power in Social Action)

年月日（曜日）、時間	2012年5月21日（月）、11:30 – 13:00
場所	BDPC Office, Dhaka
出席者	1. Mr. Muhammad Saidur Rahmon, BDPC Director 2. Mr. Kenichiro Kato, JICA Survey Team 3. Ms. Ikuko Kunitsuka, JICA Survey Team 4. Mr. Muhammad Abu Musa, JICA Survey Team 5. Mr. Islam MD Syful, JICA Survey Team
議題	Bangladesh Disaster Management Centre (BDPC) の活動や考え方について
協議内容	
<p>1. BDPC の主な活動（Mr. Muhammad Saidur Rahmon による説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> • コミュニティエンパワーメントを通じた DRR（Disaster Risk Reduction）活動に携わっている。 • BDPC は、Union や Upazila といった地方行政と貧困層をつなぐ役割（リンク or カタリスト）を果たしてきた。 • また、BDPC は「バ」国全土の NGO を代表する形で国の災害管理委員会にも参加している。 • 「バ」国関係機関だけでなく国際機関（例：DFID、スイス、World Bank 等）とも連携している。 <p>2. その他のインプット（Mr. Muhammad Saidur Rahmon の意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> • シェルター建設は、計画段階からコミュニティの参加（主導）を促し、維持管理までのオーナーシップを住民が持つ仕組みを目指すことが重要である。少額（例えば、5 タカ）でも、参加費用を徴収することで、オーナーシップの意識が高まり、結果としてコミュニティによる維持管理を促進することに繋がる。 • これまで大半の防災事業はトップダウンで行われ、コミュニティが意思決定にほとんど関与が無かった。国際機関による援助は Union や Upazila レベルに留まり最下層には行き届いていない。 • オーナーシップの欠如から国際機関から支援されたネット（漁業用か？）の目的・意図を理解せず、住民が切り取って売り払ってしまった事例がある。オーナーシップの意識を持つことが重要。 • スイス国の支援で、コミュニティの意見を取り入れた形で、12 棟のシェルターが建設された。BDPC は、コミュニティ支援の一環として、住民と同じ屋根の下で共に生活をし、直接、コミュニケーションをし続けることで、コミュニティにおけるニーズを汲み取る活動をしてきた。シェルターの機能だけでなく、マーケット、クリニックも併設し、維持管理費用も拠出出来る。 <p style="text-align: right;">以上</p>	

年月日（曜日）、時間	2012年5月22日（火）、14:00 – 16:00
場所	BWDB Design Circle-V Office
出席者	<ol style="list-style-type: none"> 1. Mr. Md.Mozzamel Hossain, BWDB Superintending Engineer 2. Mr. Md. Mahfuzur rahman, BWDB Executive Engineer 3. Michio Ohta, JICA Expert 4. Mr. Kenichiro Kato, JICA Survey Team 5. Mr. Toshinori Ohshita, JICA Survey Team
議題	Design Circle V の役割と JICA 支援に関する協議
協議内容	
<p>1. Design Circle V の主な役割</p> <ul style="list-style-type: none"> • Design Circle V の所掌範囲は、「バ」国南西部、中西部の2地域をまたがり、その地域内15管区 (Districts) となっている。 • Design Circle V は、堤防などの設計のみを担当する部署で、施工・維持管理等には関わらない。 • 管轄する地域の事務所からあがってくるデータ・資料（水位、雨量、土質、測量、等々）に基づいて、設計を実施する。設計は原則として自営で実施しているが、大規模なプロジェクトではコンサルタントに委託することもある。また、世銀や ADB といった国際機関の支援プロジェクトにおいてはコンサルタントが設計を実施している。その他、シミュレーション分析が必要となる場合は、適宜 IWM (Institute of Water Modelling) に委託することもある。 • 世銀のプロジェクト (CEIP) においては、設計（オリジナル堤頂高 4.27mPWD の 5～6mPWD への嵩あげ含む）は、専門のコンサルタントが実施している。Design Circle V は、その設計のレビューを担当。 • 現場による違いはあるが、Bank/Slope Protection の標準設計は、概して河岸法面をコンクリートブロック張りに、その下方をコンクリートブロック (CC) 並びにジオバッグの乱捨積構造としている。コンクリートブロック (CC) 乱積は比較的頑丈だが高コストなため、水面下 2m までに使用し、それ以下はジオバッグの乱積としている。 <p>2. ポルダールの現状、課題</p> <ul style="list-style-type: none"> • コンクリートブロック張り侵食防止工の構築においては、盛り土法面の Compaction が重要であるが実際は行われていない。この盛り土施工の問題が侵食防止工の破壊原因の一つになっている • 法面侵食防止工に安価なサンドセメントやソイルセメントの使用も考えられるが、これまでの施工実績から判断して、沿岸域への適用には詳細な検討が必要である。塩水によるコンクリート劣化の問題や、使用する土砂の最適粒度、干満域での施工方法の検討などが必要。 • 1960年～70年にかけて、堤防・水門等々が建設されたが、老朽化してきている。世銀のプロジェクト (ECRRP) で堤防の緊急修復、水門の強化、等を実施した。 	

- 最近、世界銀行のプロジェクト（CEIP）から、1960年～70年にかけて設置された Bench Mark が沈下傾向にあることが指摘された。沿岸域でも沈下量にばらつきがあるが、概して 0.3～0.5m の沈下が認められた。内陸側では、沈下量は小さく 0.1m 程度。
- 維持管理が不十分で、堤頂高が維持できていないことは承知している。Design Circle V として、維持管理の役割は無いが、定期モニタリングと称した活動はしている。
- ポルダー内における大きな課題の一つとして、Fishery/Shrimp 養殖が挙げられる。ポルダーは、原則として灌漑を営むためのシステム。堤内地側に外部の水を入れ込むことは、原則として想定していなかった。
- Fishery/Shrimp 養殖のため、勝手に堤防を壊し、新たな水門をつくるという行為は、明らかに法律に反することで、裁判にかけた事例もある。しかしながら、Local Government として灌漑ではなく、Fishery/Shrimp 養殖を指向するのであれば、BWDB として彼らの生活や生業に配慮する。
- Fishery/Shrimp 養殖のためには、水門は排水と取水の 2 つの機能を持つことになるが、世界銀行のプロジェクト（CEIP）で取り組んでいる模様。

3. JICA 支援の可能性に関するディスカッション

- 設計に用いるデータ、情報、各種調査の精度の向上が課題であると考えている。収集されたデータの品質が低ければ、正しい計画・設計も施工も実現しないため。そのための支援を戴きたい。
- 「バ」国、日本の Specialist が、定期的に会合し、課題解決に向けた取り組みを進めていくという形がとれるか。「バ」国側専門家は、現場を知悉している。日本側専門家は、多様な技術に長けている。日本の事例もいろいろ紹介戴きたい。「バ」国は、これまで培ってきたプロセスがあり、種々の技術書籍、ガイドラインに則って実施してきている。日本の技術の有用なところを、「バ」国側に取り込むことで、より適切な堤防設計、施工、維持管理が可能になるのではないかと。
- 例えば、破壊調査、代替案の検討、パイロットの試験施工などが考えられる。プロセス毎に、会合や短期トレーニング（OJT）を実施する方法が効果的ではないかと。
- 維持管理としては、綿密な作業が必須である。「過去に何が起き、現在何が起きていて、今後何が起きると予測されるか。」が明らかとなることが肝要である。維持管理は非常に重要でマニュアルは欲しい。包括的なモニタリングの手法を示したガイドラインも求められている。プロジェクトベースでは存在しなくもないが、修正や改良を必要とする。
- 機材が足りないため、円滑な業務実施が困難。現地踏査用のスピードボート、パソコン、ソフトウェア、等々を支援していただけないか。
- 現在、Design Circle では、水工構造物の設計では、独自にエクセルを活用している。有用な各種ソフトウェア（河川シミュレーション、構造物設計）があれば、活用したい。

4. その他

- 調査団から、現場には数多くの破堤現場があることを指摘したところ、初めは強い反論にでて深く議論することが出来なかった。Design Circle V の責任問題となるような話の

展開にしたくなかった模様。しかし、終盤には、標準設計の不備、加えて改良の必要性は認め、日本に支援を求めたい姿勢に変わった。

- Md.Mozzamel Hossain 氏からの指摘：JICA 支援によって「Rivers in Bangladesh」の冊子が発行された。

以上

Discussion Items

at

Dhaka Design Circle-5, BDWB
(Superintending Engineer)

JICA Adviser
JICA Survey Team

1. Issues/Problems in Planning/Design of Polder Facilities

- 1) Bank Erosion Protection : by concrete block type of BWDB design standard
 - Damaged within a few years after the construction
 - Durability against bank sliding failure
 - Possibility of other alternatives
- 2) Slope Erosion Protection : by concrete block type of BWDB design standard
 - Expensive cost, since it is required for the wide area of embankment slope
 - Durability against strong wave action by cyclone
 - Possibility by adapting the mangrove plantation, etc.
- 3) Regulator : with both flap and lifting type gates
 - Originally designed with drainage function for agriculture
 - Requirement of intake function for fish (shrimp) cultivation
 - Mixed with fishery gate, or private stakeholder gate
 - Durable years of gate leaf and its replacement
- 4) Embankment : with crest level of 4.27m(PWD), width of 4.27m
 - Actual situation of land subsidence and consolidation phenomena in the area
 - Construction method, especially for compaction works
 - Embankment material with minimum 30% Clay, Silt 0-40%, Sand 0-30% in BWDB design standard
- 5) Drainage : no lining channel
 - Siltation
 - Clogging by disorderly community development: land filling, road construction, fish cultivation field construction, etc.

2. Possibility of JICA assistance in Planning/Design of Polders

- 1) Standard design of bank/slope protection, construction method of embankment construction, etc.
- 2) Setting up comprehensive system of operation and maintenance

<Key words>

- Registration of all related facilities (location, length, dimension, material, etc.)
- Preparation of required maps and drawings for operation and maintenance
- Guideline of operation and maintenance activities, including setting up of monitoring method/system for each facilities
- Preparation of hazard map and education of people
- Setting up water management group with people participation(including people's training)

年月日（曜日）、時間	2012年5月23日（水）、15:00 – 16:30
場所	WMIP Office, Dhaka
出席者	1. Mr. Md Aminul Islam, WMIP Project Director 2. Michio Ohta, JICA Expert 3. Mr. Kenichiro Kato, JICA Survey Team 4. Mr. Toshinori Ohshita, JICA Survey Team
議題	WMIP（Water Management Improvement Project）に関して
協議内容	<p>1. WMIP プロジェクトの背景・目的</p> <ul style="list-style-type: none"> WMIP（Water Management Improvement Project）は、BWDB 施設の O&M（運転・維持管理）を Participatory Scheme（住民参加型）で強化することを主目的に形成されたプロジェクトである。 全国を対象とするが、資金の制約から実施優先度の高い地域を抽出選定しパイロットプロジェクトとして実施している。 過去、WSIP（WB）、IPSWAM（ADB）、SWIWRMP、JMREMP などで住民参加型の維持管理システムの導入検討を個別に実施して来た。WMIP はこれらを全国レベルに拡大実施することを意図している。 Participatory Scheme の導入は、計画・設計段階から維持管理までの幅広い段階を想定している。この成果は最終的に住民が引き継ぐ事になる。また BWDB など水関連機関の組織強化・実施体制整備には、Staff Training のみならず、IT 機器設備の導入も含む。 資金・技術援助は世銀とオランダから得る。総プロジェクト予算は 983 Cror TK（約 98 億円）。この内 477 Cror TK（約 48 億円）は、修復工事コンポーネントの予算。これには Aila で被災した南西部地域の施設修復も含まれる。残りの 506 Cror TK（約 50 億円）は、組織強化・向上のためのコンポーネント予算である。 「バ」国政府によるプロジェクト実施承認は 2007 年に得たが、2008 年に一部コンポーネントを追加変更した。現在のところ 2015 年 6 月に終了の予定。 <p>2. WMIP は下記 4 コンポーネントで構成</p> <ol style="list-style-type: none"> SIMT（System Improvement and Management Transfer）：政府が採用決定している住民参加型プロセスの維持管理への導入強化を目指すもの。データベースの構築、GIS や数値モデルの導入も含む。 O&M Performance Improvement：住民参加型で持続的な施設の運営と維持管理を目指すための手法の導入。この対象地域は大規模な修復工事を必要とせず、既に機能する WMO もしくはこれに代わる住民組織が存在することを条件としている。 Institutional Improvement：水資源管理の主務機関である BWDB と WARPO の組織強化。これには能力強化、トレーニング、Monitoring & Evaluation、加えて IT 機器設備の導入などを含む。

4. Flood Damage Rehabilitation : 2007年洪水や2009年サイクロン・アイラで被災したインフラ施設の修復工事の実施。

- *Polder* 地域では、コンポーネント1、2、3も含まれるが、大半はコンポーネント4である。WMIPがどこのポルダーで何をしているかなどは、CEGISに情報があると思われる。

3. プロジェクト Scheme (対象地域)

- 対象とする Scheme (対象地域と訳す) は、下記を条件に選定。
 - － 1,000 ha 以上で 15,000 ha 以下の規模であること。
 - － 既に WMO 組織、もしくはこれに代わる住民組織が存在すること。
 - － 大規模な修復工事を必要としない地域・施設。
- プロジェクト開始当初は 200 schemes を想定していたが、現在は 67schemes に絞り込まれている。内訳として、第1コンポーネントは、当初 102 であったが現在は 32。第2コンポーネントは、当初 98 であったが現在は 35 である。削減の主な理由は、予算の制約と実施期間の制限など。
- 67schemes に縮小したが、今後対象地域を広げたいという思いはある。しかし、活動を広げるには新たな財源や専門家などの導入が必要。JICA による支援があればありがたい。

4. WMO (Water Management Organization)

- 住民に参加を求める最小単位組織として WMG(Water Management Group) を水資源施設・流域を考慮して各村に 2~3 設立する。これを地域ごとに取りまとめて WMA (Water Management Association) と称する集合体を組織する。WMO (Water Management Organization) は、これらの総称である。
- WMG は対象地域全体で 1150 程度になる見込み。WMA については、1つの scheme に少なくとも 1つの組織にする予定。従って、20程度の WMG が 1つの WMA の下部組織となる。
- WMO は、地域住民有志により構成される。従って、ローカル政府は、この WMO に直接的な関与はしない。ただ農業や漁業関連のローカル政府部署は必要に応じて助言者として関与することはある。
- WMO への参加に給与は支払われない。住民は完全なボランティアとして参加することとなる。この手法に対して持続性が危惧されるという指摘がある。しかし施設を住民みずから運営・維持管理することが最終的に住民の利益に結び付くことが理解できれば住民は率先して活動すると考えている。全く心配していない。
- 現場で WMO への参加を呼びかけても応答が無いとの情報もある。しかし手紙で呼びかけるだけでは住民は理解できない。直接コミュニティを訪れ、必要性を説明し納得させることが重要と考えている。
- WMIP が主導する WMO の活動は水資源管理が主体。従って防災の観点が含まれていない。また WMO は運営・維持管理にかかるルーティン仕事を行い、大規模な修繕業務などは BWDB が行うことになる。

5. 維持管理費の徴収

- WMIP プロジェクトでは、維持管理費用の捻出のために住民から徴収することは考えていない。
- 他の灌漑プロジェクトでは、税金 (tax) ではなく Water Fee あるいは Irrigation Fee として受益住民から徴収することを検討していた。これは税金でないので国庫に入れず、将来必要とされる水門、水路等の修繕費用等、使用する事態になったら使う（「維持管理費用」では無いとのことだが、何が違うのかは未確認。）スキーム。WMIP でも同等のスキームを進めることとしたい。
- 上記 Water Fee は、GK project や TESSA project, MONU irrigation project などでパイロットプログラムが行われたが、どれも成果を挙げられずに終わった。90 年代後半頃から「機能しないもの」としての認識をされるようになっていく。
- 1992 年以前に Ministry of Land が土地税のように water tax も取っていたという情報が一部あるが、Tahmidul 氏は否定。

6. その他情報

- WMIP プロジェクトに関してインターネットで公開されている情報は古く、取り扱いに注意が必要。ただ未だ報告書などのプロジェクトを説明する完結した資料は無いので、下記 6 つのインセプションレポートのサマリーを受け取った（6 月 5 日）。

Improved Water Management in BWDB Schemes (by SNC-LAVALIN, EPC, AQUA, DevConsultants), Consultancy Services for Monitoring and Evaluation in BWDB Schemes (by SMEC, DDC, ACE), Consulting services for screening and technical and environmental auditing of BWDB schemes (by CEGIS), Scheme Database Inventory and Mapping (by IWM), Rehabilitation Works (by SMEC), Institutional Improvement of BWDB under WMIP

- WMIP の前には、WSIP (Water Sector Improvement Project) という Technical Assistance が存在した。
- Mr. Aminul は、JFPR (Japan Fund for Poverty Reduction) での活動経験を持つ。
- BWDM プロジェクト事務所 (WMIP 事務所) には、120~130 staffs が働いて入る。また全国に 7 local offices を持つ。
- IWM は Data 解析や Modeling 解析、CEGIS は Mapping、Environment 調査などで当プロジェクトに関与している。

以上

* イタリック調の部分は、後日 WMIP 1 の A.K.Tahmidul Islam 氏 (xen7@wmip-bwdb.gov.bd) に資料を受け取りに言った際にうかがった補足。

Discussion Items

with

Md. Aminul Islam, Project Director, WMIP, BDWB

JICA Adviser
JICA Survey Team

1. Introduction of JICA Advisor and JICA Survey Team

- **Seeking the Possibility of JICA Assistances in the Future**

2. Interview Items in Relation to WMIP

1) Profile of WMIP

- Background and Objective
- Activity
- Area of Concern
- Achievements
- Current Situation
- Lessons Learnt

2) Roles of Relevant Organization in terms of Operation & Maintenance

- BWDB (Central Office in Dhaka, Local Offices)
- PCU (Project Coordination Unit) and ZSP (Zonal Support Pool)
- WMO committee (Number of Members, Main Agenda and Frequency)
- Responsibilities of WMA and WMG
- Cooperation of IWM and CEGIS
- Involvement of Local Gov. (District, Upazila, Union, etc.)

3) Others

- Training Program, *et cetera*

3. Possibility of JICA Assistances in the Future

<Key words>

- Comprehensive system of operation and maintenance
- Registration of all related facilities (location, length, dimension, material, etc.)
- Preparation of required maps and drawings for operation and maintenance
- Guideline of operation and maintenance activities, including setting up of monitoring method/system for each facilities
- Preparation of hazard map and education of people
- Setting up water management group with people participation(including people's training)
- Involvement of disaster management point of view (Early warning for Flood and Cyclone)

年月日（曜日）、時間	2012年5月27日（日）、08:30 – 10:00
場所	FAO Office, Dhaka
出席者	<ol style="list-style-type: none"> 1. Ms. Rosanne Marchesich, FAO Operation Coordinator 2. Mr. Sheikh M. Ahaduzzaman PhD, Assistant FAO Representative 3. Mr. Kenichiro Kato, JICA Survey Team 4. Ms. Ikuko Kunitsuka, JICA Survey Team 5. Mr. Shaakeel Hasan, JICA Survey Team 6. Mr. Sayful Islam, JICA Survey Team
議題	FAOの活動及び現状の認識について
協議内容	<p>1. FAO (Food and Agriculture Organization of the United Nations) の活動概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ● FAOは、食糧安全保障 (Food Security) に関連するありとあらゆる活動を行う国連機関である。 ● 「バ」国南部では、シドル (SIDR) 直後から、緊急支援をはじめ長期的な生計手段再構築まで幅広く実施してきた (Bangladesh and FAO Achievements and success stories の P19 からを参照)。 ● ECRRP (Emergency 2007 Cyclone Recovery and Restoration Project) では、FAO が主体的に活動 (USD 10 mil) を実施した。ECRRP は、Component A~F に区分されているが、その内の Component A: Recovery of Agriculture Sector and Improvement Program。 ● 農林省など「バ」国政府機関とも連携し、包括的アプローチに注力している。また、政府政策レベルと、草の根レベルのエンパワメントの双方が大切と認識している。 ● 2009年のサイクロン「アイラ」襲来後、サトキラ県、バゲルハット県で長期間浸水被害に見舞われている地区 (Water Logging と呼んでいる) がある。様々な分野に対して、緊急支援を実施してきている。 ● 最近、シャトキラ県で Water Logging の問題が深刻化している。現在、ニーズアセスメントを行っており、長期的にどのような生計手段の確立が出来る下などを検討、フォローアップをしている。 ● 家庭レベルでの Food Security の確保が重要。「バ」国の Nutrition 実態地図を見て理解できるように、南西部3県 (クルナ、サトキラ、バゲルハット) は栄養確保が大きな課題となっており、改善が大きなテーマ。 ● 起きた災害に「対応」するだけでなく、備え (Preparedness) が重視され始めている。FAO の活動の中にも、防災の視点が今後はもっと採用されても良いと考えている。長い目で見ると Food Security などに繋がるため。様々な団体との連携や包括的アプローチがやはり重要である。 ● 飲料水の改善については何か活動をしているか? → 飲料水は現地政府が責任を持って取り組む問題であり、FAO は水関係では、基本的に地表水に従事している。

2. 「バ」国南部を対象にした包括的なマスタープランの取り組み

- 「バ」国南部を対象にした包括的なマスタープラン（Master Plan for Agricultural Development in Southern Region of Bangladesh）策定に関し、「バ」国農業省がFAOに支援を要請してきたことから、FAOとして支援を実施してきた。沿岸部の14 districtが対象地域。
- 特に、ここ一年間は inter-ministerial committee（MoWR 等々の関連省庁が参加）を通じて、マスタープランの最終化を進めてきた。農業省が leading ministry としてとりまとめ役をつとめている。
- 「Delta Plan（オランダの支援で、Planning Commission が実施主体）」が、これから活動開始されるが、当該マスタープランは Delta Plan の傘下活動の一つとして位置づけられるもの。Delta Plan は、より上位で包括的な取り組み。
- 水の配分も重要であるが、活動として含めているか？→現在まとめているところで、マスタープランに言及されている。
- ポルダー地区内の漁業と農業の衝突が深刻化傾向にある。エビ養殖などを行っている漁業者のほうが裕福で強い傾向にある。住み分けのためのゾーニングは重要であると考えられる。
- 今年の6月にはこのマスタープランを LCG 会合で発表を行う予定。

3. FSC（Food Security Cluster）を通じた連携

- Food Security Cluster（FSC）の枠組みのもとで、FAOは、関係機関（国連機関、NGOが主体）と連携し、Food availability、Access、Utilization等、種々の問題に取り組んでいる。定期的な会合（例えば、Monthly Meeting）を頻繁に開いている。（図1参照）
- FSCは、LCGのWG活動や「バ」国政府機関とも連携している。（図2参照）
- JICAがFSCに参加することを歓迎したい。今回のJICA調査の結果なども是非共有して頂きたい。
- 省庁レベルにおいてもコミュニティグループレベルにおいても、農業は農業、水資源は水資源、防災は防災など、目的が違う組織の足並みを揃えるは難しく、現実にはあまり連携を取れていない点は課題である。適切なコーディネーションが行われるメカニズムを模索している。

4. その他

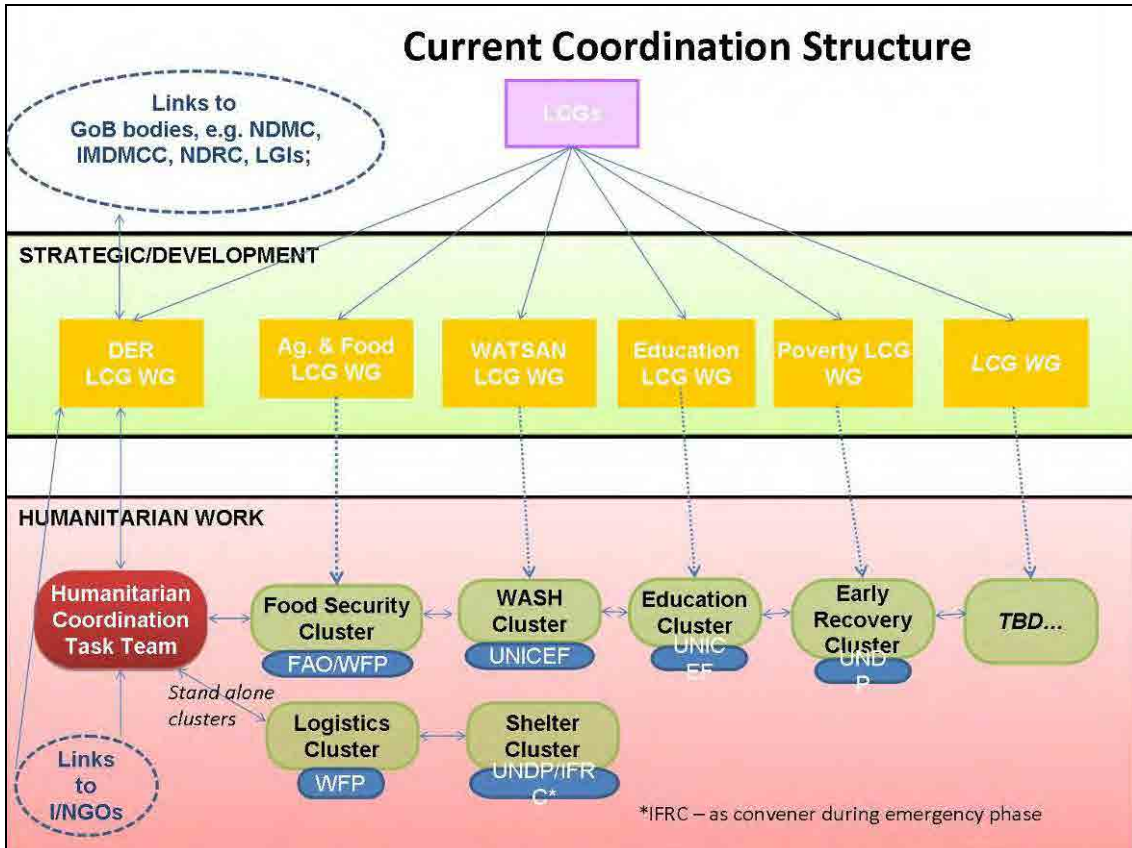
- 質問票の記入は、多忙であるため、協力するのは難しい。関連 Website を参照していただきたい。
- 「バ」国では、遺伝子組み換え食物（GM crop）は生産していない。

以上



出典：FSC ウェブサイト (FSC_BAN_Map_Main_Actors_by_District_200412.jpg)

図 1：FSC に関与している組織 (District 毎に組織を示している)



出典：FSC ウェブサイト (FSC_BAN_LCG-AFSRD_presentation_180412.pptx)

図 2：FSC 活動における各関係機関の分担

年月日（曜日）、時間	2012年6月5日（火）、15:30 – 17:15
場所	BWDB office, Dhaka
出席者	<ol style="list-style-type: none"> 1. Mr. Mollah Ruhul Alam, Addl. Director General (Planning), BWDB 2. Md. Sarafat Hossain Khan, Superintending Engineer/Director, BWDB 3. Other concerned BWDB officers (about 20 officers) 4. Mr. Naoki Matsumura, JICA Bangladesh Office 5. Md. Anisuzzaman Chowdhury, JICA Bangladesh Office 6. Mr. Kenichiro Kato, JICA Survey Team 7. Mr. Toshinori Oshita, JICA Survey Team
議題	JICA 調査団による当該調査に関するプレゼンテーション
協議内容	<p>1. 開会の挨拶（Mollah Ruhul Alam 氏および、Md. Sarafat Hossain Khan 氏）</p> <p>2. JICA 調査の概要説明</p> <p>a. 背景</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 巨大サイクロン（2007年のSidrと2009年のAila）が沿岸部に甚大な被害をもたらした。 ● 「バ」国政府は2010年に日本政府に対し、6つのポルダーの修復を依頼した。 ● JICA 調査団は沿岸部で必要な支援を考えるため「Data Collection Survey on Strengthening of Disaster Tolerance in Cyclone Affected Area」を行っている。 <p>b. 調査の主な目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 対象ポルダーの現状（「バ」国政府や NGO、国際援助機関などの組織も含める）を把握すること。 ● 今後の支援のため考えられる方向性や手法、対象地域などを提案すること。 <p>c. スケジュールと調査内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日本国内での準備期間（2月） ● 「バ」国での現地調査（3月から6月） <ul style="list-style-type: none"> － 現地踏査 － インタビュー・アンケート調査 － 関係機関との議論 ● 日本国内でのファイナライズ（6月・7月） <p>d. 現地踏査（アイラによる堤防被害と浸水地域）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 現地踏査は12のポルダーでアイラによる堤防への被害と浸水地域を明らかにするため行われた。 ● ポルダー7/1, 13-14/2, 14/1, 15 & 32 <ul style="list-style-type: none"> － 上記5ポルダーはアイラによる被害が最も深刻であった。 － ほとんどのポルダーは塩水により浸水しており、最深で2メートルから2.5メートル浸かっていた。

- ポルダー 3, 4, 5, 7/2 & 31
 - － ポルダーは甚大な被害を受けたが、完全に浸水してはいない。
 - － 堤防の被災率は 30% から 80% 程度である。
 - － 河川浸食は継続しており、問題となっている。
- ポルダー 35/2 & 36/1
 - － ポルダー35/2 は BWDB が堤防を建設しておらず、完全に浸水してしまった。
 - － ポルダー36/1 の問題は内部排水 (internal drainage) である (水門、シルテーション)
- 既存ポルダー制度の主課題
 - － ポルダー設備、システムの劣化
 - － ポルダーの堤防やシステムの安全性
 - － 技術手法のみならず、O&M (維持管理、運用) 活動の不適當
- e. インタビュー及びアンケート調査 (コミュニティ・レベル)
 - 調査は 8 ポルダー内の 10 箇所で行われた。
 - 主な発見 (暫定結果) は下記の通りである。
 - － 早期警戒情報は住民に行き渡らなかった。
 - － 人々は高潮が生活圏に侵入するまで非難をしなかった。
 - － サイクロンシェルターではなく、堤防に非難した人がいた 等

3. 調査団からの提言

- サイクロン「アイラ」から 3 年が経つが未だに十分な回復をしていないことから、被災したエリアやポルダー地域の強力な支援が不可欠であると言える。現場には依然として厳しい状況が残っている。
- 特に堤防の安全性の向上など、構造的対策は喫緊の課題である。
- 沿岸部ポルダーの総計は 139 である。戦略的实施が必要とされる。
 - － 世界銀行の沿岸部堤防改善プロジェクト (Coastal Embankment Improvement Project) では、17 のポルダーを対象にしていた。
 - － Blue Gold プログラム、オランダ: 18/24 ポルダー
 - － ポルダー内の土地を守るための構造物対策だけでなく、包括的な地域開発も実施される必要がある。この包括的アプローチには以下のようなものが含まれる。
 - － 構造物対策 (沿岸部堤防、水門、他)
 - － 能力強化
 - － 維持管理と運用
 - － 早期警戒情報
 - － ポルダー内のインフラ (下水、道、水供給、他)
 - － 環境・社会的影響
 - － サイクロンシェルター
 - － 生活支援
 - － 防災教育
 - － コミュニティ開発
 - － 地域開発、他

- 上記の視点から、JICA の BWDB への早期支援が必要とされている。
たとえば；
 - － Emergency Rehabilitation/Construction of Deteriorated Regulators
 - － 堤防のパイロット建設（例えば、L=500m の限られた区間）
 - － 堤防建設の F/S 調査
 - － 円借款プロジェクト

4. 議論とコメント

- BWDB は 9 つのポルダー（3、4、5、7/1、7/2、13-14/2、31、35/2 そして 36/1）で堤防の安全レベルを上げるため、JICA による支援を要請する強い意志を表明している。
- 円借款と F/S 調査の早期実施が必要である。既にある CEIP（Coastal Embankment Improvement Project）などの経験（シミュレーション分析、結果、他）が共有され活かされるため、F/S 調査の期間は 1 年以内で終わらせる必要がある。効率的な実施のためには、BWDB、世界銀行、オランダ政府との戦略的コーディネーションが重要である。
- 優先ポルダーの選定は出来るだけ早めに行われる必要がある。
- 洪水やサイクロン発災時の早期警報システムを機能させるためには、BWDB の関係部署の能力向上が不可欠である。

以上

添付資料2 関連機関に対する質問票への回答

1. Government of Bangladesh (GOB)

Bangladesh Meteorological Department (BMD)

I. Contact Identity

Organization	Bangladesh Meteorological Department (BMD)
Address	Abhawa Bhaban, Agargaon Dhaka-1207 Bangladesh Tel:(88-02)-8116634, 8119832, 8113071, 9118448 Fax:(88-02)-8118230
Name	AHMED ARIF RASHID
Position	SENIOR MECHANICAL ENGINEER & HEAD, PLANNING DIVISION
Contact	<input type="checkbox"/> Email: info@bmd.gov.bd, arifrashid2004@yahoo.com <input type="checkbox"/> Telp/HP: http://www.bmd.gov.bd/

II. Questions

Question	Answer
1. What is your organization's responsibility in disaster management?	1) Reduction of severe vulnerability in the Coastal Zone through multi-purpose cyclone shelters including coping mechanisms. 2) Promotion of Coastal Community Services through establishment of Community Radio
2. What is your organization's implementation policy in disaster risk management and future perspective?	1) Improve the accuracy of early warning information generated 2) Increase the lead time for flood forecast

<p>3. What is your current situation of efforts in disaster management?</p>	<p>To improve weather forecast (location and time specific) BMD introduced NWP system in a small scale. BMD started to use WRF model in July 2010 with the help of SMRC and RIMES, Bangkok. PC cluster is installed by JICA expert to run NHM model of JMA. To predict storm surge along Bangladesh coast, BMD is using two storm surge models – IIT-D model of India and MRI storm surge model of JMA. To predict wave over the Bay of Bengal BMD is also running MRI Wave Model experimentally.</p> <p>BMD installed five radars over Bangladesh with the help of JICA, out of five 3 are Doppler radars. Two conventional radars at Dhaka and Rangpur will be replaced by Doppler radar very soon with the financial and technical support of JICA. With the help of Doppler radar forecast for the landfall position of cyclones can be predicted accurately, moreover it will help BMD for nowcasting and flash flood forecasting.</p> <p>BMD has only 35 observatories all over Bangladesh, which are not sufficient for monitoring the state of atmosphere and weather events. To improve monitoring facilities BMD has plan to increase observatories and going to install AWS in all observatories along with conventional observation system.</p> <p>BMD already improved data communication system using Internet.</p> <p>BMD has plans to improve forecast quality and provide forecast in graphical format, which will be easy to understand to end users.</p> <p>BMD is going to improve information and data dissemination facilities.</p>
--	---

<p>4. Has your organization experienced any difficulties or challenges in reducing risks against disasters?</p>	<p>Not too much On the other hand, gradually BMD is developing by equipment as well as by capacity development especially with the help of JICA. Also Bangladesh Govt is now very keen to develop BMD. Some development projects are going on with Gob money. So in future BMD will be able to face challenges with more confidence.</p>
<p>5. Who are the current donor partners to your organization?</p>	<p>JICA and WMO</p>
<p>6. Please give us information of past project implemented by your organizations (mainly for past 10 years)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. Improvement of Seismological services in Bangladesh(GoB Financed) 2. Improvement of Meteorological Radar System at Cox;s Bazar and Khepupara(JICA Grant aid) 3. Establishment of Meteorological Radar System at Moulvibazar(JICA Grant aid)
<p>7. What are the future projects under preparation by your organization?</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. Establishment of Automatic Meteorological Observing System and Wind Profilers for Bangladesh Meteorological Department. 2. Establishment of Solar Panels in Existing Observatories Bangladesh. 3. Modernization of Met. Workshop & Lab. Dhaka. 4. Replacement of Meteorological Radar System at Dhaka & Rangpur.
<p>8. Do you have any specific request what kind of project to be supported by international donors? If yes, please summarize the contents of projects.</p>	<p>For the serial no 1 and 4, BMD already applied for Japans grant aid.</p>

<p>9. What is your opinion for the current Standing Order on Disaster (2010) in view of functionality at central (Dhaka) and branch (Khulna and others) offices?</p>	<p>Bangladesh is a disaster prone country, including the impact of climate change along with a new dimension in urban risks due to its fast growing and increasing population density. This changed risk environment has been taken into consideration in the revised SOD (2010).</p> <p>There were some backdrops in old version of SOD (2007)</p>
<p>What is your opinion for the PREVIOUS Standing Order on Disaster (2007) compared to the current order of 2010?</p>	<p>N/A</p>

PROJECT SUMMARY SHEET

Project Title	"Improvement of Meteorological Radar System at Cox's Bazar and Khepupara (2nd Revised)"
Duration	September 2005- December 2010
Budget	12916.00 (GoB:2614.00 PA: 10302.00) (TK)
Implementation Organization	Bangladesh Meteorological Department
Target Disaster	<input checked="" type="checkbox"/> Flood <input checked="" type="checkbox"/> Cyclone (Tidal Surge) <input type="checkbox"/> Earthquake <input type="checkbox"/> Others ()
Disaster Risk Management Cycle	<input checked="" type="checkbox"/> Preparedness <input checked="" type="checkbox"/> Mitigation <input checked="" type="checkbox"/> Emergency Response <input type="checkbox"/> Rehabilitation/Reconstruction
Coordination with Other Donors	<input checked="" type="checkbox"/> Yes (Name of Donor: JICA) <input type="checkbox"/> No
Project Background and Objective	<p>Bangladesh Meteorological Department (BMD) is mainly responsible for recording meteorological observations round-the clock and providing weather forecasts/warning necessary for mitigation and prevention of meteorological disasters and development of socio-economic activities. Concerning impending tropical cyclone in the area, BMD provides warnings and advisories to as many as all administrative divisions, concerned agencies and mass media. The most significant impact on safety of live is in the area of tropical cyclone warning. The devastation and sufferings caused by tropical cyclone in Bangladesh are well known. Bangladesh is vulnerable to weather. A wide range of requirements is thus emerging for more accurate weather forecasts and warnings to alleviate the impact of natural disasters particularly in connection with increasing safety of live and property.</p> <p>The damages caused by tropical cyclone in Bangladesh are well known. In the past, out of 10 recorded cases of heavy loss of lives in the world due to tropical cyclones and associated storm surges, 5 cases were in Bangladesh. Out of the recorded cases 3 were deadliest cyclones.</p> <p>The main objective of the project is to reduce devastation caused by cyclones, floods and other natural disasters such as nor'westers and tornadoes by forecasting in advance through replacement of Cox's Bazar and Khepupara Radars by Meteorological-cum-Hydrological S-band Doppler Radar.</p>

	<p>The project will lead to the: -</p> <ul style="list-style-type: none"> i. Uninterrupted monitoring of tropical cyclones developed in the Bay of Bengal. ii. Prediction of time and place of the land fall of tropical cyclones with sufficient lead time to reduce deaths and damages. iii. Provision of quantitative storm surge forecasts with sufficient lead time. iv. Provision of improved quantitative precipitation forecasts for the Karnaphuli basin for improved flash flood forecasting of the South-eastern part of Bangladesh.
Project Result	<p>After the implementation of the project, the weather forecasting system of BMD is strengthened. The position and intensity of severe meteorological phenomena is in advance and determined more accurately and timely, and the computerized weather data/ forecasts are utilized adequately and thus the reliability of meteorological warnings related to local sever storm and flash flood is improved. It is expected that this will contribute greatly to the reduction of natural disasters in the country. At the same time, overall standard of meteorological information will be in better position and BMD will thus be able to contribute in a greater perspective to the reduction of disasters caused by heavy rain, thunderstorm etc. which in turn will add to the safety of people's life, shipping and aviation.</p>
Recommendations	<p>The life time of Dhaka and Rangpur Radar is about to expire. So, Dhaka and Rangpur Radar should be replaced by Doppler Rader.</p>
Lessons Learned	<p>Accurate and lead time forecasts/ warnings can minimize the loss of the lives and properties due to hazardous weather phenomena.</p>
Issues	<p>Establishment of early warning system and disaster risk reduction.</p>
Others	<p>N/A</p>

Bangladesh Water Development Board (BWDB)

I. Contact Identity

Organization	Bangladesh Water Development Board (BWDB)
Address	Wapda building, Motijheel, Dhaka
Name	Md. Sarafat Hassain Khan
Position	Director, Planning-1, BWDB
Contact	<input type="checkbox"/> Email: sarafat.khan@gmail.com <input type="checkbox"/> Telp/HP: http://www.bwdb.gov.bd/

II. Questions

Question	Answer
1. What is your organization's responsibility in disaster management?	Main responsibilities include; construction of embankment at the coastal zones to prevent sea water intrusion, rehabilitation of river banks for flood protection and erosion control, irrigation during dry seasons, measuring water levels at major points in the river.
2. What is your organization's implementation policy in disaster risk management and future perspective?	In 2009, BWDB's Five Year Plan (2009 to 2014) in accordance to National Water Resources Management Plan (NWMP) and Poverty Reduction Strategy Paper (PRSP), MDGs, was established.
3. What is your current situation of efforts in disaster management?	The river protection project shall be implemented in accordance with the national master plan; however, currently, only the severely damaged areas are under construction. Those severe damaged areas include; Jamuna River and Meghna River, Chandpur Irrigation Project (CIP) area.

<p>4. Has your organization experienced any difficulties or challenges in reducing risks against disasters?</p>	<p>During the past regime, BWDB's work has been reduced. But more budgets have been allocated in the current political regime.</p> <p>Recently a large number of employees have been reduced for restructuring, which gives a huge influence on planning designing, construction operation & maintenances.</p> <p>There is no regulation for disaster risk management in place, except Standing order on Disasters (SOD).</p> <p>For water resources management, there is no cooperation/ interactions among the different agencies, which prevent any improvement plan to be introduced.</p>
<p>5. Who are the current donor partners to your organization?</p>	<p>WB, Govt of the Netherlands, ADB, GoJ</p>
<p>6. Please give us information of past project implemented by your organizations (mainly for past 10 years)</p>	<p><i>GK Project, Meghna Dbonagoda project, Chamdpur Irrigation project, Teesta Barage Project</i></p> <p>The GoJ has provided repair of pump facilities as a GK for the Kushtia Irrigation Project in the past.</p>
<p>7. What are the future projects under preparation by your organization?</p>	<p>Several projects are under implementation or planning stage at the southwest or Chittagong irrigation areas.</p> <ul style="list-style-type: none"> - Gangs barrage project - CEIP
<p>8. Do you have any specific request what kind of project to be supported by international donors? If yes, please summarize the contents of projects.</p>	<p>Construction of embankments at the Coastal Zones, etc.</p> <p>(It is already financed by WB, if you want to finance this project, it should be incorporated with WB.</p>

<p>9. What is your opinion for the current Standing Order on Disaster (2010) in view of functionality at central (Dhaka) and branch (Khulna and others) offices?</p>	<p>As a part of its normal function, BWDB will perform some other additional duties mentioned in SOD-2010. This Documents have a general instruction irrespective of control or branch office.</p>
<p>What is your opinion for the PREVIOUS Standing Order on Disaster (2007) compared to the current order of 2010?</p>	<p>The BWEB part of SOD-2007 and SOD-2010 are same.</p>

PROJECT SUMMARY SHEET

Project Title	Coastal Embankment Improvement Project (CEIP)
Duration	(Time period for Assignment –A shall be 18 months)
Budget	US\$109,000,000.00 (for Emergency 1007 Cyclone Recovery and Reconstruction project)
Implementation Organization	N/A
Scheme	<input checked="" type="checkbox"/> Development Study <input checked="" type="checkbox"/> Technical Assistance <input checked="" type="checkbox"/> Grant Aid <input type="checkbox"/> Loan <input type="checkbox"/> Others ()
Target Disaster	<input checked="" type="checkbox"/> Flood <input checked="" type="checkbox"/> Cyclone (Tidal Surge) <input type="checkbox"/> Earthquake <input type="checkbox"/> Others ()
Disaster Risk Management Cycle	<input type="checkbox"/> Preparedness <input checked="" type="checkbox"/> Mitigation <input type="checkbox"/> Emergency Response <input checked="" type="checkbox"/> Rehabilitation/Reconstruction
Coordination with Other Donors	<input type="checkbox"/> Yes (Name of Donor:) <input checked="" type="checkbox"/> No
Project Background and Objective	<p>The embankment system was designed originally to keep out the highest tides, without any consideration of possible storm surges. Recent cyclonic storm damages and the anticipation of worse future situations on account of climate change, has caused this strategy to be revised. Additional problems have also been identified – the direct impact of sea level rise on salinity intrusion into the coastal zone as well as on polder drainage.</p> <p>After cyclones SIDR and AILA causing severe damage to infrastructure, life and property, the GoB obtained and IDS/credit for Emergency Cyclone Recovery and Restoration Project (ECRRP), 2007. The proceeds form this credit was also to be used to meet the expenses for the proposed Coastal Embankment Improvement Project Phase-I (CEIP-I). This was more than an intervention to repair past damage and improve protection. It was to be a longer term program to address the longer term issues connected with adaptation to climate change.</p>

<p>Completed/ Almost completed survey</p>	<p>A. Feasibility Study</p> <ul style="list-style-type: none"> i. Storm surge and wave simulation (modeling) <ul style="list-style-type: none"> – Climate Change Scenario Assumptions: Sea level rise of 0.5 m and 10% increase in maximum wind speed, etc. ii. Regional model for morphology and salinity iii. Strategic Environmental Assessment iv. Selection of Polders (17 vulnerable polders for the priority investment program under CEIP-1 and 5 polders from out of 17 for detailed design) <p>B. Detailed Design</p>
<p>Data collected by the consultants</p>	<p>A. Design Manual</p> <p>B. Topographic and other surveys for 17 polders –embankments, drainage channels and structures (IWM, almost completed)</p> <p>C. Sociological Surveys (17 polders completed) and Resettlement Survey (5 polders on-going) (CEGIS)</p> <p>D. Environmental Survey (CEGIS)</p> <ul style="list-style-type: none"> i. Strategic Environmental Assessment to all 139 polders ii. Environmental Management Framework to 17 polders iii. Environmental Impact Assessment to 5 polders
<p>Project Result</p>	<p>A. Polder Report (Map of polder containing all salient features, existing condition of embankment with long section and cross section, inventory of existing structures, sociological profiles, stakeholder consultations, analysis of alternatives, preparation of recommendations & cost estimate)</p> <p>B. Storm Surge Model and Wave Model for new design height and polder model for drainage – with or without climate change</p> <p>C. Salinity and morphology</p>

	<p>D. Sociological Census and Surveys</p> <ul style="list-style-type: none"> i. Social Impact Assessment and Social Management & Resettlement Policy Framework (completed) ii. Resettlement Action Plan (on-going) <p>E. Agricultural, Fisheries and Forestry Analysis</p> <p>F. Cost Estimate and Economic Analysis</p> <p>G. IEE</p> <p>H. Environmental Management Framework (EMF) submitted by CEGIS.</p>
Challenges to be Met	<p>A. Complete Assessment of 17 Polders</p> <p>B. Finalize Strategic Action Plan for 139 Polders</p> <p>C. Finalize Detailed Design and Bid Documents for 5 Polders</p> <p>D. Tendering and Evaluation</p>
Recommendations	N/A
Lessons Learned	N/A
Issues	<p>A. Final confirmation of surge height analysis</p> <p>B. Land Subsidence and relative sea level rise (1mm/yr to 10mm/yr, there's variability from place to place)</p> <p>C. Conflict between fisheries and agriculture (beyond the scope of this project)</p> <p>D. Need for cooperation between BWDB and owner of other infrastructure (RHD, LGED, etc)</p>
Others	N/A

I. Contact Identity

Organization	Khulna O&M Division-II, BWDB, Khulna
Address	Khulna
Name	Bidyut Kumar Saha
Position	Executive Engineer
Contact	<input type="checkbox"/> Email: bidyutbwdb@gmail.com <input type="checkbox"/> Telp/HP: 041-2830024

II. Questions

Question	Answer
1. What is your organization's responsibility in disaster management?	<p>To participate as government official (civil servant), in disaster related actions, controls/ measures, etc.</p> <p>To visit the disaster-affected areas and to act accordingly, such as, rehabilitation/ repair of embankments/ sluice gates, construction of closures, bank protection works, etc.</p>
2. What is your organization's implementation policy in disaster risk management and future perspective?	<p>People's active participation, environmental impact assessment and management plan in implementing the given mandates of BWDB (1. Flood control 2. Drainage 3. Irrigation 4. Land reclamation 5. Town protection).</p> <p>Redesigning and strengthening of the water/ disaster management interventions, in accordance with peoples' needs.</p> <p>Implementation of the national water policy.</p>

<p>3. What is your current situation of efforts in disaster management?</p>	<p>Repair/ rehabilitation/ construction of (retired) embankments, closures, accomplishment of emergency works.</p> <p>Construction of river training works.</p> <p>Protection of riverbanks (dumping of geo-bags/ CC blocks/ hard rocks).</p> <p>Khulna town protection.</p>
<p>4. Has your organization experienced any difficulties or challenges in reducing risks against disasters?</p>	<p>The main difficulty is in shortage of manpower and facilities (e.g. accommodation) with respect to standard setup.</p> <p>The challenge is in upgrading the design parameters for polders, due to changed hydro-meteorological and geo-physical conditions.</p>
<p>5. Who are the current donor partners to your organization?</p>	<p>World Bank (feasibility study, planning, design), ADB (projects finished last year), Dutch Government (possible Blue Gold), etc.</p>
<p>6. Please give us information of past project implemented by your organizations (mainly for past 10 years)</p>	<p>Bellow is a <u>list of projects</u> with duration and budget.</p>
<p>7. What are the future projects under preparation by your organization?</p>	<p>Feasibility study of CEIP (Polder 32, 33, 16, 23).</p>
<p>8. Do you have any specific request what kind of project to be supported by international donors? If yes, please summarize the contents of projects.</p>	<p>Upgrading of existing infrastructures that suits/ combats natural disasters, ensures sustainability, based on detailed studies (including opinions of local stake holders);</p> <p>Bank protection works (CC blocks, mechanical compaction, possible study/ research on salt tolerant vegetation);</p> <p>Water management groups, facilities.</p>

<p>9. What is your opinion for the current Standing Order on Disaster (2010) in view of functionality at central (Dhaka) and branch (Khulna and others) offices?</p>	<p>Given responsibilities are OK. However, the availability of funds/ budget/ manpower/ facilities/ communication required for disaster related works (repair/ rehabilitation, etc.) are desired to be prompt, in time and more.</p>
<p>What is your opinion for the PREVIOUS Standing Order on Disaster (2007) compared to the current order of 2010?</p>	<p>N/A</p>

List of projects:

Sl. No.	Project Name	Duration	Budget (BDT 100,000)
1.	Rehabilitation of BWDB Infrastructures Damaged by Cyclone Aila in coastal area (South Western Zone) Project	2010-2011 to 2012-2013	7964.00
2.	WMIP: FDR-2007 Works	2008-2009 to 2012-2013	2183.07
3.	River Protection & Development and Town Protection Project (Phase-IV)	2008-2009 to 2012-2013	606.00
4.	IPSWAM (Dutch Govt. and GoB) [Total budget for the whole of IPSWAM]	2004 -- 2011	11380.34
5.	Town protection 3rd phase (GoB) 1. Slope protection work of Polder 9, 10/12, 16, 18/19, 21 and 23 2. Protection of Khulna Shipyard from bank erosion	1999-2000 to 2007-2008	957.22 993.50
6.	Amirpur Bhandarkot Baliadanga Project (GoB)	1998-1999 to 2004-2005	2087.50
7.	4th fisheries project (World Bank) in Polder 23, 31, 32	2001-2002 to 2006-2007	4251.87
8.	Rehabilitation of BWDB Infrastructures Damaged by Cyclone Aila in coastal area (South Western Zone) Project [Budget for division Khulna-II of total for 5 divisions of 34663.28 Lakh (100,000) BDT]	2010-2011 to 2013-2014	17420.05

I. Contact Identity

Organization	Satkhira O&M Division-I, BWDB
Address	Satkhira
Name	Md. Abdul Mannan Khan
Position	Executive Engineer
Contact	<input type="checkbox"/> Email: <u>mbiswas_bd@yahoo.com</u> <u>eesat1@yahoo.com</u> <input type="checkbox"/> Telp/HP: 0471-62446

II. Questions

Question	Answer
1. What is your organization's responsibility in disaster management?	To participate as government official (civil servant), in disaster related actions, control, etc. To visit the disaster-affected areas and to act accordingly, such as, rehabilitation/ repair of embankments/ sluice gates, construction of closers, river bank erosion protection, etc.
2. What is your organization's implementation policy in disaster risk management and future perspective?	EIA and feasibility study before implementation of any large-scale projects. National water policy (1999). National water management policy (2004). BWDB Act (2000) Public Procurement Regulations (PPR, 2008)

<p>3. What is your current situation of efforts in disaster management?</p>	<p>Repair/ rehabilitation/ construction of (retired) embankments, closers.</p> <p>Construction of river training works, Protection of riverbanks (dumping of geo-bags/ CC blocks/ hard rocks).</p>
<p>4. Has your organization experienced any difficulties or challenges in reducing risks against disasters?</p>	<p>The main difficulty is in availability of fund/ budget in time and in manpower.</p> <p>The challenge is in upgrading the design parameters for polders, which were designed in 1960's and combating salinity intrusion.</p>
<p>5. Who are the current donor partners to your organization?</p>	<p>World Bank, ADB, Dutch Government, etc.</p>
<p>6. Please give us information of past project implemented by your organizations (mainly for past 10 years)</p>	<p>Project planning is done at BWDB head quarter (HQ). The field offices are to execute their parts accordingly.</p>
<p>7. What are the future projects under preparation by your organization?</p>	<p>Feasibility study of CEIP (Polder 15).</p>
<p>8. Do you have any specific request what kind of project to be supported by international donors? If yes, please summarize the contents of projects.</p>	<p>Upgrading of existing embankments (crest level, cross-section);</p> <p>Bank protection works (CC blocks, mechanical compaction, possible study/ research on salt tolerant vegetation);</p> <p>Re-excavation of drainage canals (<i>khal</i>);</p> <p>Construction/ repair of sluice/ regulator;</p> <p>Dredging of river (e.g. Ichamoti, Kalindi);</p> <p>Water management groups, facilities.</p>

<p>9. What is your opinion for the current Standing Order on Disaster (2010) in view of functionality at central (Dhaka) and branch (Khulna and others) offices?</p>	<p>Given responsibilities are OK. However, the availability of funds/ budget required for disaster related works (repair/ rehabilitation, etc.) are desired to be prompt, in time and more.</p> <p>Budget for emergency situation for the field offices.</p>
<p>What is your opinion for the PREVIOUS Standing Order on Disaster (2007) compared to the current order of 2010?</p>	<p>N/A</p>

I. Contact Identity

Organization	Satkhira O&M Division-II, BWDB
Address	Satkhira
Name	S.M. Shahidul Islam
Position	Executive Engineer
Contact	<input type="checkbox"/> Email: psaha99@gmail.com xen.satkhira2@gmail.com <input type="checkbox"/> Telp/HP: 0471-63335

II. Questions

Question	Answer
1. What is your organization's responsibility in disaster management?	To participate as government official (civil servant), in disaster related actions, control, etc. To visit the disaster-affected areas and to act accordingly, such as, rehabilitation/ repair of embankments/ sluice gates, construction of closers, etc.
2. What is your organization's implementation policy in disaster risk management and future perspective?	EIA and feasibility study before implementation of any large-scale projects. National water policy.
3. What is your current situation of efforts in disaster management?	Repair/ rehabilitation/ construction of (retired) embankments, closures. Construction of river training works, Protection of riverbanks (dumping of geo-bags/ CC blocks/ hard rocks).

<p>4. Has your organization experienced any difficulties or challenges in reducing risks against disasters?</p>	<p>The main difficulty is in availability of fund/ budget in time and in manpower.</p> <p>The challenge is in upgrading the design parameters for polders, which were designed in 1960's and combating salinity intrusion.</p>
<p>5. Who are the current donor partners to your organization?</p>	<p>World Bank, ADB, Dutch Government, etc.</p>
<p>6. Please give us information of past project implemented by your organizations (mainly for past 10 years)</p>	<p>Project planning is done at BWDB head quarter (HQ). The field offices are to execute their parts accordingly.</p>
<p>7. What are the future projects under preparation by your organization?</p>	<p>Feasibility study of CEIP (Polder 14/1).</p>
<p>8. Do you have any specific request what kind of project to be supported by international donors? If yes, please summarize the contents of projects.</p>	<p>Upgrading of existing embankments (crest level, cross-section);</p> <p>Bank protection works (CC blocks, mechanical compaction, possible study/ research on salt tolerant vegetation);</p> <p>Water management groups, facilities.</p>
<p>9. What is your opinion for the current Standing Order on Disaster (2010) in view of functionality at central (Dhaka) and branch (Khulna and others) offices?</p> <p>What is your opinion for the PREVIOUS Standing Order on Disaster (2007) compared to the current order of 2010?</p>	<p>Given responsibilities are OK. However, the availability of funds/ budget required for disaster related works (repair/ rehabilitation, etc.) are desired to be prompt, in time and more.</p> <hr/> <p>N/A</p>

I. Contact Identity

Organization	Bagerhat O&M Division, BWDB, Bagerhat
Address	Bagerhat
Name	Md. Khalilur Rahman
Position	Executive Engineer
Contact	<input type="checkbox"/> Email: <u>krahman61@gmail.com</u> <u>eebagarhat@yahoo.com</u> <input type="checkbox"/> Telp/HP: 0468-62195

II. Questions

Question	Answer
1. What is your organization's responsibility in disaster management?	To participate as government official (civil servant), in disaster related actions, control, etc. To visit the disaster-affected areas and to act accordingly, such as, rehabilitation/ repair of embankments/ sluice gates, construction of closures, river bank erosion protection, etc.
2. What is your organization's implementation policy in disaster risk management and future perspective?	To construct, operate and maintain flood control structures (embankments, sluice gates) that cope with present environment and consider future scenarios, according to the following: National water policy (1999). National water management policy (2004).

<p>3. What is your current situation of efforts in disaster management?</p>	<p>Repair/ rehabilitation/ construction of (retired) embankments, closures.</p> <p>Construction of river training works.</p> <p>Protection of riverbanks (dumping of geo-bags/ CC blocks/ hard rocks).</p>
<p>4. Has your organization experienced any difficulties or challenges in reducing risks against disasters?</p>	<p>The main difficulty is in availability of fund/ budget in time and in manpower.</p> <p>The challenge is in upgrading the design parameters for polders, which were designed in 1960's and in combating salinity intrusion.</p>
<p>5. Who are the current donor partners to your organization?</p>	<p>World Bank, ADB, Dutch Government, etc.</p>
<p>6. Please give us information of past project implemented by your organizations (mainly for past 10 years)</p>	<p>Bellow is a <u>list of projects</u> with duration and budget.</p>
<p>7. What are the future projects under preparation by your organization?</p>	<p>Feasibility study of CEIP (Polder 35/1, 35/3, 34/3).</p>
<p>8. Do you have any specific request what kind of project to be supported by international donors? If yes, please summarize the contents of projects.</p>	<p>Construction of new polders 35/2 and rehabilitation of polder 36/1.</p> <p>Upgrading of existing embankments (crest level, cross-section) and construction of new embankments;</p> <p>Bank protection works;</p> <p>Re-excavation of drainage canals (<i>khal</i>);</p> <p>Construction/ repair of sluice/ regulator;</p> <p>Dredging of river (e.g. <i>Aetarbaki, Bhoirob</i>);</p> <p>Water management groups, facilities.</p>

<p>9. What is your opinion for the current Standing Order on Disaster (2010) in view of functionality at central (Dhaka) and branch (Khulna and others) offices?</p>	<p>Given responsibilities are OK. However, the availability of funds/ budget required for disaster related works (repair/ rehabilitation, etc.) are desired to be prompt, in time and more.</p> <p>Budget for emergency situation for the field offices to be made available.</p>
<p>What is your opinion for the PREVIOUS Standing Order on Disaster (2007) compared to the current order of 2010?</p>	<p>N/A</p>

List of projects:

Sl. No.	Project Name	Duration	Budget (BDT 100,000)
1.	"Flood damage rehabilitation 2007 works" under WMIP	2009-2010 to 2010-2011	1198.78
2.	Bemorta Project	July 2005 to June 2009	773.26
3.	Rehabilitation of BWDB infrastructures damaged by Cyclone Aila in coastal area (South-Western Zone)	2010-2011 to 2013-2014	2401.00
4.	Town Protection 3rd phase	2000-2001 to 2007-2008	860.78

Department of Public Health Engineering (DPHE)

I. Contact Identity

Organization	Directorate of Public Health Engineering
Address	DPHE Bhaban, Khan Jahan Ali Road, Rupsha, Khulna
Name	S.K. Abdul Mannan
Position	Executive Engineer, Khulna
Contact	<input type="checkbox"/> Email: qmannan@yahoo.com <input type="checkbox"/> Telp/HP: 041-2830035, Cell : 01711-964614

II. Questions

Question	Answer
1. What is your organization's responsibility in disaster management?	1. Emergency Activities for safe drinking water & sanitation facilities by cash with the help of UNICEF supplied fund. 2. `Do` for government supported fund by Tendering Method.
2. What is your organization's implementation policy in disaster risk management and future perspective?	To meet up the emergency: WPT, Water jerican, bleaching powder, collapsible water tank, water filter, spare parts of land tube wells etc.
3. What is your current situation of efforts in disaster management?	Most of the people are suffering safe drinking water and sanitation ifacilities. Now we are trying to ensure the some will the ascictored & goes to donor fund.

<p>4. Has your organization experienced any difficulties or challenges in reducing risks against disasters?</p>	<p>Yes, we have experienced that it is too much hard to supply & pure drinking water & sanitation facilities . Because there is no suitable acquirer in deep tube wells at coastal belt and bad communication.</p>
<p>5. Who are the current donor partners to your organization?</p>	<p>N/A</p>
<p>6. Please give us information of past project implemented by your organizations (mainly for past 10 years)</p>	<p><i>Refer to Project Summary Sheet attached.</i></p>
<p>7. What are the future projects under preparation by your organization?</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. Installation of deep tube wells. 2. Test tube wells. 3. Excavation & Re excavation of pond. 4. Construction of pond send filter and rain water harvesting. 5. Village pipe water supply. 6. Installation of desalinction plant at costal area.
<p>8. Do you have any specific request what kind of project to be supported by international donors? If yes, please summarize the contents of projects.</p>	<p>To reduce the mentality rate and reduce the water born disease.</p>

<p>9. What is your opinion for the current Standing Order on Disaster (2010) in view of functionality at central (Dhaka) and branch (Khulna and others) offices?</p>	<p>N/A</p>
<p>What is your opinion for the PREVIOUS Standing Order on Disaster (2007) compared to the current order of 2010?</p>	<p>N/A</p>

PROJECT SUMMARY SHEET

Project Title	Bangladesh water supply Program Project (BWSPP)
Duration	2008 to 2011
Budget	TK 5,50,00,000
Implementation Organization	N/A
Counterpart	World Bank
Scheme	<input type="checkbox"/> Development Study <input type="checkbox"/> Technical Assistance <input type="checkbox"/> Grant Aid <input type="checkbox"/> Loan <input type="checkbox"/> Others ()
Target Disaster	<input type="checkbox"/> Flood <input type="checkbox"/> Cyclone (Tidal Surge) <input type="checkbox"/> Earthquake <input type="checkbox"/> Others ()
Disaster Risk Management Cycle	<input type="checkbox"/> Preparedness <input type="checkbox"/> Mitigation <input type="checkbox"/> Emergency Response <input type="checkbox"/> Rehabilitation/Reconstruction
Coordination with Other Donors	<input checked="" type="checkbox"/> Yes (Name of Donor: World Bank) <input type="checkbox"/> No
Project Background and Objective	N/A
Project Result	N/A
Recommendations	It is not sufficient for affected people after sidr & aila water. Specific facilities broken down. The affected people.
Lessons Learned	<p>Could not solve the problem for their economical condition.</p> <p>So it will be required for large scale & long terms for supply of directly water and sanitation scheme.</p>
Issues	N/A

Others	N/A
---------------	-----

PROJECT SUMMARY SHEET

Project Title	Comprehensive Disaster management Program (CDMP)
Duration	2011 to 2012
Budget	TK 25,00,000.00
Implementation Organization	N/A
Counterpart	Ministry of Disaster
Scheme	<input type="checkbox"/> Development Study <input type="checkbox"/> Technical Assistance <input type="checkbox"/> Grant Aid <input type="checkbox"/> Loan <input type="checkbox"/> Others ()
Target Disaster	<input type="checkbox"/> Flood <input type="checkbox"/> Cyclone (Tidal Surge) <input type="checkbox"/> Earthquake <input type="checkbox"/> Others ()
Disaster Risk Management Cycle	<input type="checkbox"/> Preparedness <input type="checkbox"/> Mitigation <input type="checkbox"/> Emergency Response <input type="checkbox"/> Rehabilitation/Reconstruction
Coordination with Other Donors	<input checked="" type="checkbox"/> Yes (Name of Donor: ministry of disaster) <input type="checkbox"/> No
Project Background and Objective	N/A
Project Result	N/A
Recommendations	<p>It is not sufficient for affected people after sidr & Aila water supply & sanitation facilities broken down. The affected people Could not solve the problem for their economical conditional.</p> <p>So it will be required for large scale or long time scheme for supply of drinking and sanitation facilities.</p>
Lessons Learned	N/A
Issues	N/A

Others	N/A
---------------	-----

PROJECT SUMMARY SHEET

Project Title	Emergency Activities For Aila & Sidr Affected ERBA
Duration	2008 to 2011
Budget	TK 1,68,1000.00
Implementation Organization	N/A
Counterpart	UNICEF
Scheme	<input type="checkbox"/> Development Study <input type="checkbox"/> Technical Assistance <input checked="" type="checkbox"/> Grant Aid <input type="checkbox"/> Loan <input type="checkbox"/> Others ()
Target Disaster	<input checked="" type="checkbox"/> Flood <input type="checkbox"/> Cyclone (Tidal Surge) <input type="checkbox"/> Earthquake <input type="checkbox"/> Others ()
Disaster Risk Management Cycle	<input type="checkbox"/> Preparedness <input type="checkbox"/> Mitigation <input checked="" type="checkbox"/> Emergency Response <input type="checkbox"/> Rehabilitation/Reconstruction
Coordination with Other Donors	<input checked="" type="checkbox"/> Yes (Name of Donor: UNICEF) <input type="checkbox"/> No
Project Background and Objective	N/A
Project Result	N/A
Recommendations	<p>It is not sufficient for affected people after sidr & Aila water supply & sanitation facilities broken down. The affected people Could not solve the problem for their economical conditional.</p> <p>So it will be required for large scale or long time scheme for water supply and sanitation facilities.</p>
Lessons Learned	N/A
Issues	N/A

Others	N/A
---------------	-----

PROJECT SUMMARY SHEET

Project Title	AILA , Cyclone 2009
Duration	Fy 2010 – 11 & 2011 to 2012
Budget	TK 8,78,10,000.00
Implementation Organization	N/A
Counterpart	DRR (GO) under the climate trust fund
Scheme	<input type="checkbox"/> Development Study <input type="checkbox"/> Technical Assistance <input checked="" type="checkbox"/> Grant Aid <input type="checkbox"/> Loan <input type="checkbox"/> Others ()
Target Disaster	<input type="checkbox"/> Flood <input checked="" type="checkbox"/> Cyclone (Tidal Surge) <input type="checkbox"/> Earthquake <input type="checkbox"/> Others ()
Disaster Risk Management Cycle	<input type="checkbox"/> Preparedness <input type="checkbox"/> Mitigation <input type="checkbox"/> Emergency Response <input checked="" type="checkbox"/> Rehabilitation/Reconstruction
Coordination with Other Donors	<input checked="" type="checkbox"/> Yes (Name of Donor: UNICEF) <input type="checkbox"/> No
Project Background and Objective	Save the home less distress family which are badly effected by the Ayla
Project Result	Successful.
Recommendations	Take long standing project / Program regarding disaster.
Lessons Learned	What are done and what will do, by our experience.
Issues	Experience Sharing and exchange of all relevant information with the Vern ability community area.
Others	Capacity building and food security.

I. Contact Identity

Organization	DPHE (Satkhira Office)
Address	Katia, Satkhira
Name	Engr. Noor Ahmed
Position	Executive Engineer
Contact	<input type="checkbox"/> Email: <u>Noordphe@gmail.com</u> <input type="checkbox"/> Telp/HP: 0471 63445

II. Questions

Question	Answer
1. What is your organization's responsibility in disaster management?	i) To ensure safe drinking water, safe sanitation & Awareness Building Hygiene for the affected people. ii) Rehabilitation of different water source and latrine.
2. What is your organization's implementation policy in disaster risk management and future perspective?	i) Pre Preparation for Disaster risk Management through CDMP (Comprehensive Disaster Management Programme) with other related GO & NGO.
3. What is your current situation of efforts in disaster management?	We have not Sufficient Equipment for disaster management, such as- Mobile Treatment Plant, Vehicle, Financial Support and Spare Parts for repairing & raising affected Tube Well.
4. Has your organization experienced any difficulties or challenges in reducing risks against disasters?	i) Shortage of Manpower. ii) Shortage of Modern Technologies.

<p>5. Who are the current donor partners to your organization?</p>	<p>UNICEF, during disaster.</p>
<p>6. Please give us information of past project implemented by your organizations (mainly for past 10 years)</p>	<p><u>Refer to project Summary Sheet attached.</u></p> <ul style="list-style-type: none"> i) Bangladesh water supply Programme project in SIDOR and AILA affected area. ii) GOB-UNICEF Projject. iii) GOB-4 Project. iv) GOB-5 Project. v) Special Rural Water Supply Project. vi) IDB Project (Phase-1 & 2) vii) CDMP viii) Rural Water Supply Project in South Western part of Bangladesh. ix) 37-District Town water Supply Project. x) National Sanitation Project (Phase-2)
<p>7. What are the future projects under preparation by your organization?</p>	<ul style="list-style-type: none"> i) IDB Project. (Phase-3) ii) Bangladesh Water Supply Programme project
<p>8. Do you have any specific request what kind of project to be supported by international donors? If yes, please summarize the contents of projects.</p>	<p><u>Project Name: Disster Management Project.</u></p> <ul style="list-style-type: none"> i) Protection of Water Sources (Spacially Reserve Ponds). ii) Raised Community latrine in Shelter Area. iii) Raised Water Point. iv) Mobile Treatmeant Plant for District level. v) Vehicle for District level. vi) Financial Support Instantly. vii) Procurement of Spare Parts for Water Point Rehabilitation. viii) Mobile latrine. ix) Hygiene kits.

<p>9. What is your opinion for the current Standing Order on Disaster (2010) in view of functionality at central (Dhaka) and branch (Khulna and others) offices?</p>	<p>Not Applicable</p>
<p>What is your opinion for the PREVIOUS Standing Order on Disaster (2007) compared to the current order of 2010?</p>	<p>Not Applicable</p>

I. Contact Identity

Organization	Department of Public Health Engineering (DPHE)
Address	DPHE. Bagerhat
Name	S.M. Shamim Ahmed
Position	Executive Engineer
Contact	<input type="checkbox"/> Email: dphebagerhat@yahoo.com <input type="checkbox"/> Telp/HP: 0468-62410

II. Questions

Question	Answer
1. What is your organization's implementation policy in disaster management and future perspective?	To ensure safe water and sanitation facilitation in disaster prone area.
2. What is the field your organization mostly emphasizes on? (Type of Disaster, Disaster Management Cycle, Central to Local, etc.)	Water supply and sanitation personnel hygiene.
3. What is your current situation of efforts in disaster management?	DPHE has stored some temporary tube-well materials, Wpt, Zericane etc. So that any kind of disaster has to be faced for early suspense.
4. Has your organization experienced any difficulties or challenges in reducing risks against disasters?	When a disaster occurred in coastal belt first time it is very difficult to ensure safe water supply just after a disaster.

<p>5. Please give us information of past project implemented by your organizations (mainly for past 10 years)</p>	<p>N/A</p>
<p>6. What are the future projects under preparation by your organization?</p>	<p>Refer to Project Summary Sheet attached.</p>
<p>7. Could you please tell us any good-practice or lessons learned from your projects?</p>	<p>Future possible project is to procure some nos. of desalination plant, mobile water treatment plant.</p>

PROJECT SUMMARY SHEET

Project Title	Many project implanted in last 10 years GoB-4, GoB-5, IDB & WSPP project, SWSP etc.
Duration	N/A
Budget	N/A
Implementation Organization	N/A
Target Disaster	<input checked="" type="checkbox"/> Flood <input checked="" type="checkbox"/> Cyclone (Tidal Surge) <input type="checkbox"/> Earthquake <input type="checkbox"/> Others ()
Disaster Risk Management Cycle	<input checked="" type="checkbox"/> Preparedness <input checked="" type="checkbox"/> Mitigation <input checked="" type="checkbox"/> Emergency Response <input checked="" type="checkbox"/> Rehabilitation/Reconstruction
Coordination with Other Donors	<input checked="" type="checkbox"/> Yes - GOB, NGO and other donors <input type="checkbox"/> No
Project Background and Objective	Our above mentioned project is to ensure water supply and sanitation project.
Project Result	To increase the drinking water coverage and improve the health.
Recommendations	In this area many NGO and development organizations are working. We should be tame more awareness.
Lessons Learned	Program and hard work facilities.
Issues	N/A
Others	In disaster period if should be working area should be demarked so that it can be avoid duplication.

Ministry of Food and Disaster Management (MoFDM)

I. Contact Identity

Organization	Disaster Management Bureau
Address	Disaster Management & Relief Bhaban 92-93, Mohakhali C/A Dhaka-1212 Bangladesh
Name	Ahsan Zakir
Position	Additional Secretary Govt. of Bangladesh
Contact	<input type="checkbox"/> Email: dg@dmb.gov.bd <input type="checkbox"/> Telp/HP: 880-2-9858755

II. Questions

Question	Answer
1. What is your organization's responsibility in disaster management?	<p>DMB is a small dynamic professional centre of excellence at national level to perform specialist support functions working in close collaboration with DCs and DRROs at district level and UNOs and PIOs at upazilla level and the concerned line ministries under the overall authority of a high-level inter-ministerial committee. It is a technical arm to the Ministry of Disaster Management and Relief (MDMR). DMB is meant to overview and coordinate all activities related to disaster management from national down to the grass-root level. DMB acts as a facilitator and as a depository of all disaster related information, maintains inventory of skilled personnel, continues with awareness building, prepares and validates Local Disaster Action Plan (LDAP), monitors disaster preparedness activities through district authorities and maintains coordination with line departments/agencies, NGOs, social organizations, etc. To summarize the</p>

1

	<p>following are the broad activities of DMB:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Provision of expert staff services to the National Disaster Management Council (NDMC) and Inter-Ministerial Disaster Management Coordination Committee (IMDMCC). • Promotion of disaster prevention/mitigation and preparedness within all agencies and levels of government. • Providing guidelines, organizing training and promoting the preparation of disaster action plans. • Maintaining coordination with line departments/agencies, NGOs, social organizations, etc.
<p>2. What is your organization's implementation policy in disaster risk management and future perspective?</p>	<p>National Plan for Disaster Management 2009-2015 for addressing the disaster risks comprehensively. The plan has been developed on the basis of the GoB Vision and MoFDM mission to reduce the vulnerability of the poor to the effects of natural, environmental and human induced hazards to a manageable and acceptable humanitarian level by a) bringing a paradigm shift in disaster management from conventional response and relief practice to a more comprehensive risk reduction culture and b) strengthening the capacity of the Bangladesh disaster management system in improving the response and recovery management at all levels. The National Plan on Disaster Management has emphasized a group of broad-based strategies:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Disaster management would involve the management of both risks and consequences of disasters that would include prevention emergency response and post-disaster recovery. • Community involvement for preparedness programmes for protecting lives and properties would be a major focus. Involvement of local

	<p>government bodies would be an essential part of the strategy. Self-reliance should be the key for preparedness, response and recovery.</p> <ul style="list-style-type: none"> • Non-structural mitigation measures such as community disaster preparedness training advocacy and public awareness must be given a high priority; this would require an integration of structural mitigation with non-structural measures
<p>3. What is your current situation of efforts in disaster management?</p>	<p>ECRRP D1 of World Bank for achieving the following:</p> <ul style="list-style-type: none"> • To facilitate recovery mechanism from the damage to livelihoods and community infrastructure caused by Cyclone Sidr 2007 • To build long-term preparedness through strengthened disaster risk reduction and management by addressing risk identification and assessment; strengthening and enhancing emergency preparedness and institutional & community capacity building by activating DMCs • Support for the capacity building of the Disaster Management Bureau (DMB). • Support for detailed multi-hazard risk vulnerability modeling and assessment, and the strengthening of emergency preparedness at the community levels • To provide, as appropriate, advice, support, information and influence on all disaster issues affecting the communities at local, Upazilla and district level. • To provide emergency relief, rehabilitation and reconstruction for victims of natural disaster through standardized to implement post-disaster damage and needs

	<p>assessment policy and guild line by establishing a DNA cell.</p> <p>Apart from the above project, a procurement of search and rescue equipotent project is also progress for procurement.</p>
<p>4. Has your organization experienced any difficulties or challenges in reducing risks against disasters?</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Local disaster management committee has no modern search & rescue equipment • Can't minimize Institutional mechanism specially for forecasting • To facing Technological problem particularly in Urban Risk Reduction • Coordination mechanism straightening should be enhanced
<p>5. Who are the current donor partners to your organization?</p>	<p>The World Bank, GIZ, UNDP and JICA</p>
<p>6. Please give us information of past project implemented by your organizations (mainly for past 10 years)</p>	<p><i>Refer to Project Summary Sheet attached.</i></p> <p>a. Support to comprehensive disaster management-UNDP, UNICEF, DFID, 1993-2001</p> <p>b. Rights based disaster monitoring-UNICEF, 2001-2005</p>
<p>7. What are the future projects under preparation by your organization?</p>	<p><i>Enhancement of Cyclone Early Warning Emergency Risk Tele-Communication system in Bangladesh</i></p>

<p>8. Do you have any specific request what kind of project to be supported by international donors? If yes, please summarize the contents of projects.</p>	<p><u><i>Enhancement of Cyclone Early Warning Emergency Risk Tele-Communication system in Bangladesh.</i></u></p> <p>This project is requested to JICA for funding. This proposed project directly contributes to reduce the risk of people, especially the poor from the natural hazards of cyclone attack through the enhancement of early warning system. Therefore, this project contributes to the realization of the objectives and targets of captioned National Development Plan, namely, "Mitigation for the atmospheric disasters of cyclones, floods, storms etc" in terms of enhancing the communications network and systems.</p>
<p>9. What is your opinion for the current Standing Order on Disaster (2010) in view of functionality at central (Dhaka) and branch (Khulna and others) offices?</p>	<p>The Standing Orders on Disaster in the current format was first published in 1997 in Bangla. It was modified and translated in English in 1999. Since then, many events have taken place at national, regional and global levels. Nationally, three catastrophic disaster events have taken place in Bangladesh: 1) the 2004 flood, 2) the 2007 flood and 3) Cyclone SIDR in 2007. The aftermath of the 2004 flood resulted in the organization of the National Workshop on "Options for Flood Risk Reduction in Bangladesh". About 900 representatives from all government ministries, divisions and departments as well as representatives of NGOs, the private sector, media and development partners participated in the workshop, which dealt not only with flood risks but also overall disaster risk reduction issues in Bangladesh. The workshop produced more than 300 recommendations for implementation. In the same manner, the Disaster Management Bureau organized national lessons learned workshops after Flood 2007 and Cyclone SIDR in 2007. All of these exercises have emphasized the importance of disaster risk reduction as well as strengthening of the emergency response system in the country. With this backdrop, it was felt necessary to review and revise the SOD 1999. In order to prepare the initial draft, a</p>

<p>What is your opinion for the PREVIOUS Standing Order on Disaster (2007) compared to the current order of 2010?</p>	<p>committee was formed with the Additional Secretary, Ministry of Food and Disaster Management in the Chair drawing members from Disaster Management Bureau (DMB), Directorate of Relief and Rehabilitation (DRR) and Cyclone Preparedness Programme (CPP). DMB launched an extensive consultation process involving all stakeholders in order to finalize the draft. The present volume is the end result of that process.</p>
	<p>N/A</p>

PROJECT SUMMARY SHEET

Project Title	Emergency 2007 Cyclone Recovery and Restoration Project (ECRRP) Component D; Long-term Disaster Risk Management Program. Sub Component D1; Disaster Risk Mitigation and Reduction.
Duration	Long-Term Disaster Risk Management Program
Budget	6895.00 (In Lakh Taka)
Implementation Organization	N/A
Counterpart	World Bank
Scheme	<input type="checkbox"/> Development Study <input type="checkbox"/> Technical Assistance <input type="checkbox"/> Grant Aid <input checked="" type="checkbox"/> Loan <input type="checkbox"/> Others ()
Target Disaster	<input checked="" type="checkbox"/> Flood <input checked="" type="checkbox"/> Cyclone (Tidal Surge) <input checked="" type="checkbox"/> Earthquake <input checked="" type="checkbox"/> Others ()
Disaster Risk Management Cycle	<input type="checkbox"/> Preparedness <input checked="" type="checkbox"/> Mitigation <input type="checkbox"/> Emergency Response <input type="checkbox"/> Rehabilitation/Reconstruction, <input checked="" type="checkbox"/> Reduction
Coordination with Other Donors	<input type="checkbox"/> Yes (Name of Donor:) <input type="checkbox"/> No
Project Background and Objective	<p>Component D1 of the World Bank-financed Cyclone Recovery and Restoration Project (ECRRP) under implementation by the DMB, is a long-term program on strengthening disaster risk mitigation (DRM) in Bangladesh. This project is to contribute towards 'building long-term preparedness through strengthened disaster risk management, through the strengthening and enhancement of the long-term disaster risk mitigation and reduction ability of the DRM. Among other things, this will entail the certain of two dedicated cells in the DMB for: (a) Multi hazard mapping and vulnerability, and (b) disaster damage and need assessment. These measures include the preparation and assisting in creating different types of reports, using GIS and RS applications, project planning software for scheduling as well creating necessary presentations for in office suites. For initiatives follow in ECRRP project.</p>

Project Result	<p>Strengthening long-term capacity for disaster risk management and reduction by institutionalized the National Disaster Management ability.</p> <p>It will help DMCs, farmers and community to prepare for their livelihood, future agriculture production and will strengthen their coping ability, search and rescue capability for future disasters.</p> <p>The dissemination of information and upgrading of cyclone shelter management is expected to reduce future damage to assets as well as production and infrastructure losses.</p>
Recommendations	<p>DMB actually have working all over the country including headquarter and especially in the 12 severely cyclone affected districts and Upazilas. The district and upazila wise cost not maintained by the government needed donor fund urgently.</p> <ul style="list-style-type: none"> - Need to develop Volunteer by providing training. - Need to repair and newly provide digital equipment. - Need to establish digital ultra Wireless net work in different uncovered areas - Need to country wise digital supervision & monitoring system
Lessons Learned	<p>Emergency Recovery Operations should have a simple design, taking into consideration local implementation capacity and the fact that this capacity may be strained in the aftermath of a natural disaster.</p> <p>Appropriate management attention and adequate resources for supervision should be provided.</p>
Issues	<p>Considering the risk mitigation, the community would be involve in every stage of the project and/or scheme implementation, including planning, and site specific designs and implementations issues.</p>
Others	<p style="text-align: center;">N/A</p>

I. Contact Identity

Organization	Ministry of Food and disaster Management (DRRO Satkhira) Disaster Management and relief division.
Address	Dish Relief & Rehabilities office (Attachment with Deputy commisioner offfacee)
Name	Z.R. Shahed
Position	Dist Relief & Rehabilitation Officer
Contact	<input type="checkbox"/> Email: Satkhiradrro@drd.gov.bd <input type="checkbox"/> Telp/HP: 0471-63281

II. Questions

Question	Answer
1. What is your organization's responsibility in disaster management?	100% responsibility for disaster, by the comprehensive disaster management program. One before disaster, Two on disaster, Three after disaster. i.e. three step management.
2. What is your organization's implementation policy in disaster risk management and future perspective?	Policy making by SOD (standing order on disaster) with all department & all ministry also NGOs . In future, Capacity build up for empowerment climate adaptation.
3. What is your current situation of efforts in disaster management?	Re-Excavation of pond and settled River, Cannel construction of embankment, disaster safe house and also multipurpose use cyclone shelter.

<p>4. Has your organization experienced any difficulties or challenges in reducing risks against disasters?</p>	<p>Yes, but more training will need in abroad (foreign country) where cyclone effected.</p>
<p>5. Who are the current donor partners to your organization?</p>	<p>Non, donor partners. NGOs is the partner of donor.</p>
<p>6. Please give us information of past project implemented by your organizations (mainly for past 10 years)</p>	<p><i>Project implemented : 1. Cyclone shelter, 2. Const house for distress family, 3. Communication development, Summery sheet keep at head office (DRR)</i></p>
<p>7. What are the future projects under preparation by your organization?</p>	<p>More cyclone center shelter , Saline water treatment plant (STP) and exaction / Relife Ex-cavation of pond/ water reserving by the Rain water harvesting.</p>
<p>8. Do you have any specific request what kind of project to be supported by international donors? If yes, please summarize the contents of projects.</p>	<p>Yes, project may be `resilience through economic empowerment climate adopting capacity.</p>
<p>9. What is your opinion for the current Standing Order on Disaster (2010) in view of functionality at central (Dhaka) and branch (Khulna and others) offices?</p> <p>What is your opinion for the PREVIOUS Standing Order on Disaster (2007) compared to the current order of 2010?</p>	<p>No need opinion for the S.O.D. (2010) present SOD, has more effective for implementation locally regarding disaster management.</p> <hr/> <p>Well, but no comments.</p>

I. Contact Identity

Organization	Ministry of Food and Disaster Management (DRRO Bagerhat)
Address	D.R.R.O. Bagerhat
Name	Abdus Salam
Position	Dist Relief & Rehabilitation Officer
Contact	<input type="checkbox"/> Email: <input type="checkbox"/> Telp/HP: 0468-62315

II. Questions

Question	Answer
1. What is your organization's responsibility in disaster management?	To ensure food safety net of distress people, village road communication, flood, construction of multipurpose shelter, various type of relief program.
2. What is your organization's implementation policy in disaster risk management and future perspective?	Re-excavation of silted pond and canal for safe water, irrigation, logging water and reduce risk reduction of ultra poor people.
3. What is your current situation of efforts in disaster management?	Early warning for safe the people.
4. Has your organization experienced any difficulties or challenges in reducing risks against disasters?	Yes

<p>5. Who are the current donor partners to your organization?</p>	<p>N/A</p>
<p>6. Please give us information of past project implemented by your organizations (mainly for past 10 years)</p>	<p><i>Refer to Project Summary Sheet attached.</i></p>
<p>7. What are the future projects under preparation by your organization?</p>	<p>N/A</p>
<p>8. Do you have any specific request what kind of project to be supported by international donors? If yes, please summarize the contents of projects.</p>	<p>N/A</p>
<p>9. What is your opinion for the current Standing Order on Disaster (2010) in view of functionality at central (Dhaka) and branch (Khulna and others) offices?</p>	<p>N/A</p>
<p>What is your opinion for the PREVIOUS Standing Order on Disaster (2007) compared to the current order of 2010?</p>	<p>N/A</p>

Institute of Water Modeling (IWM)

I. Contact Identity

Organization	Institute of Water Modeling (IWM)
Address	N/A
Name	N/A
Position	N/A
Contact	<input type="checkbox"/> Email: <input type="checkbox"/> Telp/HP:

II. Questions

Question	Answer
1. What is your organization's responsibility in disaster management?	N/A
2. What is your organization's implementation policy in disaster risk management and future perspective?	N/A
3. What is your current situation of efforts in disaster management?	N/A

4. Has your organization experienced any difficulties or challenges in reducing risks against disasters?	N/A
5. Who are the current donor partners to your organization?	N/A
6. Please give us information of past project implemented by your organizations (mainly for past 10 years)	N/A
7. What are the future projects under preparation by your organization?	N/A
8. Do you have any specific request what kind of project to be supported by international donors? If yes, please summarize the contents of projects.	N/A
9. What is your opinion for the current Standing Order on Disaster (2010) in view of functionality at central (Dhaka) and branch (Khulna and others) offices?	N/A
What is your opinion for the PREVIOUS Standing Order on Disaster (2007) compared to the current order of 2010?	N/A

PROJECT SUMMARY SHEET

Project Title	Hydraulic and morphological Modelling Study to Aid "Technical Feasibility Studies and detailed Design for Coastal Embankment Improvement Project (CEIP)"
Duration	July, 2011 to June, 2012
Budget	BDT 24,284,706
Implementation Organization	Bangladesh Water Development Board(BWDB)
Target Disaster	<input checked="" type="checkbox"/> Flood <input checked="" type="checkbox"/> Cyclone (Tidal Surge) <input type="checkbox"/> Earthquake <input type="checkbox"/> Others ()
Disaster Risk Management Cycle	<input checked="" type="checkbox"/> Preparedness <input checked="" type="checkbox"/> Mitigation <input checked="" type="checkbox"/> Emergency Response <input checked="" type="checkbox"/> Rehabilitation/Reconstruction
Coordination with Other Donors	<input checked="" type="checkbox"/> Yes (Name of Donor: World Bank) <input type="checkbox"/> No
Project Background and Objective	<p>The coastal region of Bangladesh is vulnerable to cyclone-induced storm surge, saline water intrusion & tidal flooding. Cyclone hit this coastal region almost every year, in pre-monsoon or post monsoon. In order to increase agricultural production by preventing the land of coastal area from frequent tidal flooding and salinity intrusion the coastal improvement project (CIP) was implemented in accordance with the Master plan adopted in 1964. Under this program Bangladesh Water Development Board(BWDB) had built a series of polders enclosing the low lying coastal areas. The joint Venture of four technical firms has been appointed for consultancy services for "Technical Feasibility Studies and detailed Design for Coastal Embankment improvement Project (CEIP)".</p> <p>The main objective of this study is to carry out the modelling study for hydrodynamic and morphological parameter. This will have direct impact in improvement of the coastal embankment system. For the study current and future water management of polders will be assessed using hydro-dynamic, storm surge, drainage morphological and salinity modelling and also assess the effect of climate change and sea level rise on the safety of the embankment, salinity intrusion and drainage performance of the polders and establishment of hydraulic designs.</p>

Project Result	<p>Salinity patterns in dry season for existing condition and patterns of salinity intrusion due to climate change condition during dry period and adaptation measure</p> <p>Sedimentation rate of the peripheral rivers of the selected polders for short (3 years) to medium term (9 years).</p> <p>Improve drainage plan for the polders considering potential impact of climate change.</p> <p>Embankment design parameters and criteria</p>
Recommendations	<p>Recommended for Improve drainage plan for the polders considering potential impact of climate change.</p> <p>Recommended for embankment design parameters and criteria.</p>
Lessons Learned	<p>Storm Surge Simulation for climate change condition and without climate change condition.</p> <p>The Partial Duration Series (PDS) method used for Return period calculation which is used for embankment crest level design. For estimation of the parameters of the probability distribution method of momentum has been used.</p>
Issues	N/A
Others	N/A

PROJECT SUMMARY SHEET

Project Title	EARLY WARNING OF STORM SURGE AND TIDAL INUNDATION FOR THE COASTAL AREA OF BANGLADESH
Duration	4 years
Budget	US\$ 8.75 million
Implementation Organization	N/A
Target Disaster	<input checked="" type="checkbox"/> Flood <input checked="" type="checkbox"/> Cyclone induced storm surge and Tidal inundation <input type="checkbox"/> Earthquake <input type="checkbox"/> Others ()
Disaster Risk Management Cycle	<input checked="" type="checkbox"/> Preparedness <input type="checkbox"/> Mitigation <input checked="" type="checkbox"/> Emergency Response <input checked="" type="checkbox"/> Rehabilitation/Reconstruction
Coordination with Other Donors	<input checked="" type="checkbox"/> Yes (Name of Donor: World Bank) <input type="checkbox"/> No
Project Background and Objective	<p>The long-term strategy of the project is to develop new knowledge and tools required for Early Warning of Storm Surge Inundation for the Coastal community of Bangladesh and prepare inundation maps for pre, during and post disaster management Programme. The project confers to the Bangladesh Climate Change Strategy and Action Plan (BCCSAP) as under T2P1.</p> <p>Community of the coastal area has been experiencing severe storm surge inundation over the years and lost their lives and properties. The frequency and intensity of cyclone will be increased due to climate change and consequently more people and properties of the area will be exposed to the risk of storm surge induced inundation in future. Forecast of storm surge inundation at local level is yet to be established in Bangladesh, which is instrumental to reduce the loss of lives and properties.</p> <p>Bangladesh has extreme vulnerability to cyclone and storm surges, both on account of its somewhat unique geographical location and topography (that creates an inverted funnel effect of surges propagating north into the Bay of Bengal and the Meghna Estuary), and also because of the low (though growing) capacity of its society and institutions to cope with such extreme events (Organization for Economic Co-operation and Development, OECD 2003).</p>

	<p>As such, and with increasing population and infrastructure at risk, Bangladesh is identified to be the country in the world being the most vulnerable to tropical cyclones (UNDP 2004).</p> <p>The objective of the study is to assess the flood vulnerability and early warning system of storm surge inundation and tidal inundation during monsoon in the coastal area and impacts on these processes in the future by climate change and sea level rise. The specific objectives are as follows:</p> <ul style="list-style-type: none"> (i) To review the present cyclone and storm surge warning system of (BMD) (ii) To improve the present system of cyclone warning model and development of storm surge (including waves) early warning model systems including forecast uncertainty quantification (iii) To improve the flood forecasting model of FFWC, BWDB including the coastal area model as well as early warning of storm surge inundation for the coastal community (iv) To increase the awareness and improve cyclone and storm-surge and tidal warning dissemination to local communities.
<p>Project Result</p>	<ul style="list-style-type: none"> • An improved operational, effective and reliable cyclone tracking and forecasting system. • An operational, effective and reliable cyclone and storm-surge inundation (including waves) forecasting system. • A comprehensive, effective and reliable meteorological observation system. • A comprehensive, effective and reliable hydrological observation system. • A strengthened and extended cyclone and surge warning system covering and able to reach the local communities in the coastal regions. • A fully established, staffed and operating Operational Forecasting Unit, co-coordinating the outputs of the above, to implement 5. • GIS based Data base for archiving and data management. <p>Bangladesh is one of the poorest and densely populated countries in the world. The industrial production and growth as a whole is slow. About 44% of the population is living</p>

	<p>below the poverty line and about 60% of children face severe malnutrition. The project will directly increase agricultural and fish production in the coastal area. Thus the hard line poverty will be alleviated by virtue of both increase and income and employment.</p> <p>Woman and children are most vulnerable to any types of disaster. Data collected under this project and the Bangladesh Operational Cyclone and Storm Surge Warning System will enable efficient management of disaster situation and this create safe and healthy environment for woman and children.</p>
<p>Recommendations</p>	<p>It is envisaged that the project would be implemented by BMD and BWDB (Processing and Forecasting Circle) and by the active participation of other institution like DHI, UK Met Dept, IWM and BUET. Copies of the respective models developed as such would be available with BWDB and BMD while IWM would be responsible for regular update and support to BWDB, BMD and other planning agencies. They will actively participate in the project work and become acquainted with the specialization as required in their respective fields. This mechanism will ensure that technology is transferred to the respective organizations in the long run so as to benefit is future up gradation of the work with change in the climatic scenarios.</p> <p>The technology for cyclone, storm surge and wave forecasting through hydrodynamic models, is available with Institute for Water Modelling (IWM). The Bay of Bengal (BoB) model has been tested in a range of projects over the years. Specifically, the BoB model has been tested in retrospective forecasting mode for the 1991 and hindcasting of SIDR 2007cyclone providing promising results and recently been extended into the Indian Ocean for the study of tsunami generated surges (IWM 2008).</p> <p>The testing of the BoB model showed that in order to obtain optimum forecasts of the strength of the cyclone, the position and timing of landfall, and to provide reliable coastal flooding hazards warning it is necessary to strengthen the hydro-meteorological observation system in the coastal region.</p> <p>The National Steering Committee will oversee project performances and provide guidance. Day to day project activities will be monitored by Project Management Committee headed by Project Director.</p>

<p>Lessons Learned</p>	<p>The cyclones in 1970 and 1991 with an estimated 300,000 and 140,000 people killed, respectively, made landfall at high tide. Aila and SIDR also caused prolonged problems to the livelihood of local community.</p> <p>In recent years the Bay of Bengal has become more turbulent, with warnings announced more frequently than before. There is further evidence that regional frequencies of the tropical cyclones may change but none that their location will change. There is also evidence that the peak intensity may increase by 5 to 10% and precipitation rates associated with the cyclones may increase by 20 to 30% (IPCC 2001, IPCC 2007). Consequently Bangladesh's vulnerability towards cyclones will increase under climate change due to a combination of all factors involved in the process.</p> <p>Bangladesh has already employed measures for the management of coastal flooding. In order to protect people from severe cyclone and storm surges, more than 2,500 cyclone shelters have been built in the coastal districts.</p> <p>Local community does not know the inundation depth at their locality and it is difficult to convince them to go to cyclone shelter due to unavailability of inundation forecast at their area.</p>
<p>Issues</p>	<p>Coordination and integration of different agencies like BMD, BWDB, IWM, DMB and other institutions.</p> <p>Installation of storm gauging stations</p> <p>Development of numerical model for meteorological forecasting</p>
<p>Others</p>	<p>N/A</p>

PROJECT SUMMARY SHEET

Project Title	Storm Surge Modelling Study for Construction of Cyclone Shelters in the Coastal Region of Bangladesh under FAEL KHAIR PROGRAM, IDB
Duration	August 2010 – July 2011
Budget	N/A
Implementation Organization	FAEL KHAIR PROGRAM, IDB
Target Disaster	<input type="checkbox"/> Flood <input checked="" type="checkbox"/> Cyclone (Tidal Surge) <input type="checkbox"/> Earthquake <input type="checkbox"/> Others ()
Disaster Risk Management Cycle	<input checked="" type="checkbox"/> Preparedness <input type="checkbox"/> Mitigation <input type="checkbox"/> Emergency Response <input type="checkbox"/> Rehabilitation/Reconstruction
Coordination with Other Donors	<input type="checkbox"/> Yes (Name of Donor:) <input checked="" type="checkbox"/> No
Project Background and Objective	The main objective of this study is to assess the storm surge heights at the potential locations of school-cum-cyclone shelter considering historical cyclones and climate change condition the coastal region of Bangladesh.
Project Result	N/A
Recommendations	The height of the potential school-cum-cyclone shelters from the storm surge height considering historical cyclones (1960-2009) for base and climate change condition
Lessons Learned	How the cyclonic storm surge affect the coastal area in the past 50 years, risk zoning of storm surge inundation for the whole coastal area of Bangladesh, required height of cyclone shelters in for the specific region.
Issues	There is some uncertainty in the height of the storm surge since land level is considered from the DEM, minor inconsistency in the model calibration and fitting of statistical distribution.

Others	N/A
---------------	-----

Local Government Engineering Department (LGED)

I. Contact Identity

Organization	Local Government Engineering Department (Khulna Office)
Address	Khulna
Name	Ratan Kumar Dey
Position	Executive Engineer
Contact	<input type="checkbox"/> Email: xen.khulna@lged.gov.bd xenklged@yahoo.com <input type="checkbox"/> Telp/HP: 041-723183

II. Questions

Question	Answer
1. What is your organization's responsibility in disaster management?	Assist the local bodies and improve the communication
2. What is your organization's implementation policy in disaster risk management and future perspective?	Enhancing Resilience of Road, Market & structure
3. What is your current situation of efforts in disaster management?	Construction of School cum cyclone shelter, Improvement of road network in the coastal area.

<p>4. Has your organization experienced any difficulties or challenges in reducing risks against disasters?</p>	<p>Yes</p>
<p>5. Who are the current donor partners to your organization?</p>	<p>JICA, ADB, World Bank, etc.</p>
<p>6. Please give us information of past project implemented by your organizations (mainly for past 10 years)</p>	<p>N/A</p>
<p>7. What are the future projects under preparation by your organization?</p>	<p>Climate Resilient Infrastructure, Improvement Coastal Zone Project</p>
<p>8. Do you have any specific request what kind of project to be supported by international donors? If yes, please summarize the contents of projects.</p>	<p>Construction of cyclone shelter & Enhancing Resilience of Road, Market, Ghat In Coastal Area to disaster and the effects of Climate change.</p>
<p>9. What is your opinion for the current Standing Order on Disaster (2010) in view of functionality at central (Dhaka) and branch (Khulna and others) offices?</p>	<p>N/A</p>
<p>What is your opinion for the PREVIOUS Standing Order on Disaster (2007) compared to the current order of 2010?</p>	<p>N/A</p>

I. Contact Identity

Organization	Local Government Engineering Department (Satkhira Office)
Address	Satkhira
Name	Md. Anwarul Islam
Position	Executive Engineer
Contact	<input type="checkbox"/> Email: <u>xen.satkhira@lged.gov.bd</u> <u>xen.satkhira@gmail.com</u> <input type="checkbox"/> Telp/HP: 0471-63413

II. Questions

Question	Answer
1. What is your organization's responsibility in disaster management?	To participate as government official (civil servant), in disaster related action, control, relief, etc. To visit the disaster-affected areas and to act accordingly, such as, rehabilitation/ repair of rural infrastructure, etc. To assist the local bodies in repairing/ improving the road communication.
2. What is your organization's implementation policy in disaster risk management and future perspective?	EIA and feasibility study before implementation of any infrastructure. Enhancing resilience of roads, markets & infrastructures;
3. What is your current situation of efforts in disaster management?	Repair/ maintenance of cyclone shelters Construction of school cum disaster shelter, Improvement of road networks in the coastal area.

<p>4. Has your organization experienced any difficulties or challenges in reducing risks against disasters?</p>	<p>Not much of difficulties, other than availability of fund or budget in time.</p> <p>The challenge is in improving communication facilities in disaster prone area and making disaster shelters with more facilities.</p>
<p>5. Who are the current donor partners to your organization?</p>	<p>JICA, ADB, World Bank, IDB, WFP, FAO, etc. (81 ongoing projects)</p>
<p>6. Please give us information of past project implemented by your organizations (mainly for past 10 years)</p>	<p>Draft Project Proposal (DPP) and Project Proposal (PP) are with Project Director (PD) at the head quarter (HQ). The field offices are to execute their parts accordingly.</p>
<p>7. What are the future projects under preparation by your organization?</p>	<p>Future projects are planned and decided at the HQ; there may be other ministries, organization involved in those planning and decision making processes.</p>
<p>8. Do you have any specific request what kind of project to be supported by international donors? If yes, please summarize the contents of projects.</p>	<p>Considering the present situation, the number of roads, infrastructures are not enough. The specific request is for the construction of more roads and infrastructures (e.g. disaster shelters, markets, <i>Ghats</i> (platform for boats), etc.).</p>
<p>9. What is your opinion for the current Standing Order on Disaster (2010) in view of functionality at central (Dhaka) and branch (Khulna and others) offices?</p> <p>What is your opinion for the PREVIOUS Standing Order on Disaster (2007) compared to the current order of 2010?</p>	<p>Given responsibilities are OK. However, the availability of funds/ budget required for disaster related works (mitigation, rehabilitation, etc.) are desired to be prompt and in time.</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p style="text-align: center;">N/A</p>

2. International Aid Agency

Asian Development Bank (ADB)

I. Contact Identity

Organization	Asian Development Bank, Bangladesh Resident Mission (BRM)
Address	E-31, Sher-e-Bangla Nagar, Dhaka-1207
Name	Zahir Uddin Ahmad
Position	Team Leader, Water Resources Management, BRM
Contact	<input type="checkbox"/> Email: zahmad@adb.org <input type="checkbox"/> Telp/HP: 8156000

II. Questions

Question	Answer
1. What is your organization's implementation policy in disaster management and future perspective?	Disaster Risk Management (DRM) is the core theme / policy
2. What is the field your organization mostly emphasizes on? (Type of Disaster, Disaster Management Cycle, Central to Local, etc.)	Major floods, cyclones, storm surges, secondary towns protection and river bank erosion mitigation etc.
3. What is your current situation of efforts in disaster management?	AILA damage rehabilitation, river bank erosion mitigation and secondary towns protection etc.

<p>4. Has your organization experienced any difficulties or challenges in reducing risks against disasters?</p>	<p>So far our DRM projects have run smoothly.</p>
<p>5. Please give us information of past project implemented by your organizations (mainly for past 10 years)</p>	<ul style="list-style-type: none"> i) Flood Damage Rehabilitation 2004 ii) Disaster Damage Rehabilitation 2007 iii) Second Phase of Secondary Towns Integrated Flood Protection Project iv) Jamuna Meghna River Erosion Mitigation Project
<p>6. What are the future projects under preparation by your organization?</p>	<ul style="list-style-type: none"> i) Second Phase of Jamuna Meghna River Erosion Mitigation Project ii) Second Phase of Commad Area Development Project.
<p>7. Could you please tell us any good-practice or lessons learned from your projects?</p>	<p>Under Jamuna Meghna River Erosion Mitigation Project, a comprehensive guideline has been prepared and approved by BWDB management for cost effective river bank protection</p>

Netherlands

I. Contact Identity

Organization	Water Sector within the Embassy of the Kingdom of The Netherlands
Address	Road 90, House 49, Gulshan-2, Dhaka
Name	Martin Bos
Position	First Secretary
Contact	<input type="checkbox"/> Email: martin.bos@minbuza.nl <input type="checkbox"/> Telp/HP:

II. Questions

Question	Answer
1. What is your organization's implementation policy in disaster management and future perspective?	Taking into climate resilient designs for water related infrastructure Training the members of Water Management Organisation on crisis management issues
2. What is the field your organization mostly emphasizes on? (Type of Disaster, Disaster Management Cycle, Central to Local, etc.)	Disaster Management (- Cycle)
3. What is your current situation of efforts in disaster management?	-

<p>4. Has your organization experienced any difficulties or challenges in reducing risks against disasters?</p>	<p>-</p>
<p>5. Please give us information of past project implemented by your organizations (mainly for past 10 years)</p>	<p><i>(no time for that kind of overviews, sorry)</i></p>
<p>6. What are the future projects under preparation by your organization?</p>	<p>Blue Gold Innovative solutions</p>
<p>7. Could you please tell us any good-practice or lessons learned from your projects?</p>	<p>Participatory (community based) approaches in water resources management and disaster management are successful and sustainable</p>

**Food and Agricultural Organization of
the United Nations (FAO)**

I. Contact Identity

Organization	FAO
Address	House#37.Road#8.Dhanmondi. Dhaka-1205,Bangladesh
Name	Rosanne Marchesich
Position	Operations Coordinator in Bangladesh
Contact	<input type="checkbox"/> Email: rosanne.marchesich@fao.org <input type="checkbox"/> Telp/HP: 880-2-8113446,ext-213

II. Questions

Question	Answer
1. What is your organization's implementation policy in disaster management and future perspective?	FAO will doing Food Security, food disaster and Cyclone Food recovery.
2. What is the field your organization mostly emphasizes on? (Type of Disaster, Disaster Management Cycle, Central to Local, etc.)	Agriculture and corps damage.
3. What is your current situation of efforts in disaster management?	Emergency Cyclone Recovery and Restoration Project and Food Security program.
4. Has your organization experienced any difficulties or challenges in reducing risks against disasters?	No

<p>5. Please give us information of past project implemented by your organizations (mainly for past 10 years)</p>	<p>Development of a Joint FAO/WFP Household Income and Food Consumption Simulation Model for Food Security Monitoring and Needs Assessment in Selected Countries - Phase I (WFP component)</p> <p>Year # 2009—2010</p>
<p>6. What are the future projects under preparation by your organization?</p>	<p>Emergency Cyclone Recovery and Restoration Project (ECRRP)</p> <p>Year # 2010--2014</p>
<p>7. Could you please tell us any good-practice or lessons learned from your projects?</p>	<p>Bangladesh is struggling to strengthen its institutions and programmes so it will have the capacity to cope with natural disasters, environmental change and population growth. Though the future impact of climate change is still uncertain, Bangladesh is preparing for the likely eventualities of increasingly serious weather-related events. FAO is incorporating responses to these growing concerns in its cooperative development initiatives. Over the last 30 plus years, the country was served by dedicated FAO teams.</p>

United Nations Development Programme (UNDP)

I. Contact Identity

Organization	UNDP Bangladesh
Address	E/8-A Begum Rokeya Sharani, Sher-e-Bangla Nagar, Dhaka-1207
Name	Sifayet Ullah
Position	Programme Analyst
Contact	<input type="checkbox"/> Email: sifayet.ullah@undp.org <input type="checkbox"/> Telp/HP: 8152288, Ext. 1827

II. Questions

Question	Answer
1. What is your organization's implementation policy in disaster management and future perspective?	To further reduce Bangladesh's vulnerability to adverse natural and anthropogenic hazards and extreme events, including the devastating potential impacts of climate change.
2. What is the field your organization mostly emphasizes on? (Type of Disaster, Disaster Management Cycle, Central to Local, etc.)	Direct intervention: 40 districts Indirect intervention: Nationwide All hazards in urban and rural settings on to union level.
3. What is your current situation of efforts in disaster management?	CDMP Phase II is in the third year of its implementation.

<p>4. Has your organization experienced any difficulties or challenges in reducing risks against disasters?</p>	<p>Standing order on Disaster (SOD) is a very comprehensive guideline that activates on disaster event but in peace time reducing risks is a paradigm shift which requires changes in the mindset as well as directives from the authority. UNDP is working on this challenging issue.</p>
<p>5. Please give us information of past project implemented by your organizations (mainly for past 10 years)</p>	<p><i>Comprehensive Disaster Management Programme 2004-2009</i> <i>Disaster Response Facility</i></p>
<p>6. What are the future projects under preparation by your organization?</p>	<p>N/A</p>
<p>7. Could you please tell us any good-practice or lessons learned from your projects?</p>	<p>Community Risk Assessment and Risk Reduction Action plan (RRAP), local disaster risk Reduction Fund (LDRRF) and Erly Recovery Facility (ERF) are some of the good practice.</p>

PROJECT SUMMARY SHEET

Project Title	CDMP II
Duration	2010-2014
Budget	68,722,106.00 Taka
Counterpart	Ministry of Food and Disaster Management as the Lead Ministry with 11 Sectoral Development Ministry.
Scheme	<input type="checkbox"/> Development Study <input checked="" type="checkbox"/> Technical Assistance <input checked="" type="checkbox"/> Grant Aid <input type="checkbox"/> Loan <input type="checkbox"/> Others ()
Target Disaster	<input checked="" type="checkbox"/> Flood <input checked="" type="checkbox"/> Cyclone(Tidal Surge) <input checked="" type="checkbox"/> Earthquake <input checked="" type="checkbox"/> Others (Drought); All hazard
Disaster Risk Management Cycle	<input checked="" type="checkbox"/> Preparedness <input checked="" type="checkbox"/> Mitigation <input checked="" type="checkbox"/> Emergency Response <input checked="" type="checkbox"/> Rehabilitation/Reconstruction
Coordination with Other Donors	<input checked="" type="checkbox"/> Yes (Name of Donor: DFID, EU, Norwegian embassy, Sida, AusAID, UNDP) <input type="checkbox"/> No
Project Background and Objective	The overall goal of CDMP II is to reduce the country's vulnerability to adverse natural and anthropogenic events-including cyclones, hurricanes, floods, tidal surges, earthquakes, tsunamis, climate change and variability, avian flu, fire, toxic chemical/gas/pollutant leaks-through technical assistance in risk reduction and comprehensive disaster management activities.
Project Result	<ol style="list-style-type: none"> 1. The development of strong, well-managed and professional institutions in Bangladesh that is able to implement a comprehensive range of risk reduction programmes and interventions. 2. Reduced risk to rural populations through structural and non-structural interventions, empowerment of rural communities and improved awareness of, and planning for, natural hazard events, including the likely impacts of climate change. 3. Reduced risk to urban populations through structural and non-structural interventions, improved awareness of natural hazard events and the piloting of urban community risk reduction methodologies that target the

	<p>extreme poor.</p> <p>4. Improved overall effectiveness and timeliness of disaster preparedness and response in Bangladesh by strengthening management capacity and coordination, as well as networking facilities at all levels.</p> <p>5. Improved and broadened disaster-proofing of development funding in eleven government ministries by generating increased awareness of hazard risks and providing technical information, advisory services and resources to stimulate positive changes in planning and investment decisions over the long-term.</p> <p>6. Community-level adaptation to disaster risks from a changing climate is effectively managed.</p>
Recommendations	DRR and CCA has to be dealt synergistically at the community level and harmonization at the policy level
Lessons Learned	Effective engagement of the community and building partnership among relevant ministries, agencies, Local government , CSO and DP are key to sustainable solution.
Issues	There are differences in the mandates of various ministries and horizontal and vertical coordination remains a issue in mainstreaming CC-DRR
Others	N/A

World Bank (WB)

I. Contact Identity

Organization	South Asia Sustainable Development Department The World Bank
Address	N/A
Name	Swarna Kazi
Position	N/A
Contact	<input type="checkbox"/> Email: skazil@worldbank.org <input type="checkbox"/> Telp/HP: 815001-28 (ext 4141)

II. Questions

Question	Answer
1. What is your organization's implementation policy in disaster management and future perspective?	N/A
2. What is the field your organization mostly emphasizes on? (Type of Disaster, Disaster Management Cycle, Central to Local, etc.)	N/A
3. What is your current situation of efforts in disaster management?	N/A
4. Has your organization experienced any difficulties or challenges in reducing risks against disasters?	N/A

<p>5. Please give us information of past project implemented by your organizations (mainly for past 10 years)</p>	<p>N/A</p>
<p>6. What are the future projects under preparation by your organization?</p>	<p>N/A</p>
<p>7. Could you please tell us any good-practice or lessons learned from your projects?</p>	<p>N/A</p>

PROJECT SUMMARY SHEET

Project Title	Emergency 2007 Cyclone Recovery and Restoration Project & Additional Financing
Duration	2008 – 2013 (Additional Financing until 2014)
Budget	Original Project USD 109 Million (Total is now US\$220.96 with the Additional Financing)
Counterpart	Ministry of Planning, Ministry of Food and Disaster Management, Ministry of Local Government, Rural Development and Cooperatives, Ministry of Water Resources, Ministry of Agriculture, Ministry of Fisheries and Livestock, and FAO
Scheme	<input type="checkbox"/> Development Study <input type="checkbox"/> Technical Assistance <input checked="" type="checkbox"/> Grant Aid <input checked="" type="checkbox"/> Loan <input checked="" type="checkbox"/> Others (It is a combination of Grant and Loan)
Target Disaster	<input checked="" type="checkbox"/> Flood <input checked="" type="checkbox"/> Cyclone(Tidal Surge) <input type="checkbox"/> Earthquake <input checked="" type="checkbox"/> Others ()
Disaster Risk Management Cycle	<input checked="" type="checkbox"/> Preparedness <input checked="" type="checkbox"/> Mitigation <input checked="" type="checkbox"/> Emergency Response <input checked="" type="checkbox"/> Rehabilitation/Reconstruction
Coordination with Other Donors	<input checked="" type="checkbox"/> Yes (Name of Donor: FAO is implementing Component A with Department of Agriculture and Department of Livestock and Fisheries) <input type="checkbox"/> No
Project Background and Objective	<p>The Project supports the Government of Bangladesh efforts to facilitate restoration and recovery from the damage to livelihoods and infrastructure caused by Cyclone Sidr and build long-term preparedness through strengthened disaster risk reduction and management.</p> <p>Component A: Recovery of Agriculture Sector and Improvement Program</p> <p>The objective of this project component is to introduce technologies to improve land use during Borro season (dry season during which area is not suitable for growing crops due to high salinity levels), introduce crops and technologies to improve resilience of communities and households in cyclone prone areas to future disasters.</p>

1

	<p>Component B: Reconstruction and Improvement of Multipurpose Shelters</p> <p>The objective of this component is to provide greater protection for the vulnerable population and livestock in the cyclone prone areas during future disasters. This is achieved through the following sub-components.</p> <p><u>B1: Construction of new shelters.</u> This sub-component supports construction of 100 new multi-purpose shelters to build greater protection for future disaster events.</p> <p><u>B2: Improvement of existing shelters.</u> This sub-component finances the repairs and improvement of about 350 existing shelters that are damaged or cannot be used due to inadequacies.</p> <p><u>B3: Improvement of communication network to shelters.</u> This sub-component finances the reconstruction of the road and communication network to the shelters constructed under the project to make them more accessible and effective.</p> <p><u>B4: Design and construction supervision of shelters.</u> This sub-component finances consulting services for surveys, designs, environmental and social impact assessments, environment and resettlement management plans, and construction supervision of multipurpose disaster shelters and all works covered under the above components. This also includes resources to facilitate consultations with the local communities in identifying sites, needs and suitable design for the shelters.</p> <p>Component C: Rehabilitation of Coastal Embankments</p> <p>The objective of this component is prevention of saline inundation during normal weather and sustained crop production made possible by reducing cyclone damage. This is achieved through the following subcomponents.</p> <p><u>C1: Rehabilitation of coastal embankments.</u> This sub-component finances the emergency repair to over 100 km of coastal embankments damaged during the 2007 cyclone.</p> <p><u>C2: Design and construction supervision of coastal embankments.</u> This sub-component finances consulting services for surveys, designs, environmental and social impact assessments, environment and resettlement management plans, and construction supervision for embankments and</p>
--	---

	<p>all works covered under the above sub-components.</p> <p>Component D: Long Term Disaster Mitigation Program</p> <p>The objective of this component is to strengthen disaster risk mitigation and reduction capacity and ability of the Government in the medium- and long-term. This objective will be achieved through the following subcomponents.</p> <p><u>D1: Disaster risk mitigation and reduction.</u> This sub-component supports the capacity building of the Disaster Management Bureau (DMB), supports the detailed multi-hazard risk vulnerability modeling and assessment, and the strengthening of emergency preparedness at the community levels.</p> <p><u>D2: Preparation of future projects for River Bank Improvement, and Coastal Embankment Improvement Programs.</u> This sub-component finances the preparation studies for selected activities under the first phase of the identified long-term program. This includes studies related to the River Bank Improvement Program (RBIP) for revamping the Brahmaputra River Bank Embankment (BRE) starting from the town of Sirgajanj town to Kazaipur and moving northwards, and Coastal Embankment Improvement Program (CEIP).</p> <p><u>D3: Preparation of future projects for disaster shelters and up-gradation of rural road network.</u> This sub-component finances preparation studies for:</p> <ul style="list-style-type: none"> (a) construction of new disaster shelters with an investment cost of about US\$300 million; and (b) up-gradation of rural road network in the disaster prone areas. <p>Component E: Monitoring and Evaluation of Project Impact.</p> <p>Component F: Project Management, Technical Assistance, Strategic Studies and Training, and Emergency Support for Future Disasters</p> <p>This sub-component supports the Government in implementing the project, coordinating all project related activities, and provide resources for needed strategic studies, technical assistance and training. This includes:</p> <ul style="list-style-type: none"> (F1) support for the operation of the Project Coordination and Monitoring Unit (PCMU) within the Ministry of Planning; (F2) consulting services, studies and other related costs for
--	---

	<p>establishing financing facility to fund recovery from disasters in Bangladesh i.e. disaster management response fund/facility (DMRF);</p> <p>(F3) strategic studies (e.g. opportunities for buying risk coverage from the international capital market, including re-insurers in case of catastrophic and rare events), and other studies/pilot projects which may be identified during the project implementation, and for technical and financial audits;</p> <p>(F4) technical assistance and training in such areas as disaster management and preparedness, construction, contract management, financial management, training on environmental and social assessment and; and</p> <p>(F5) support for emergency recovery from a future disaster that may occur during the implementation period of the project.</p>
Project Result	Still ongoing
Recommendations	N/A
Lessons Learned	N/A
Issues	N/A
Others	N/A

3. Non Governmental Organization (NGO)

Bangladesh Red Crescent Society (BDRCS)

I. Contact Identity

Organization	Cyclone Preparedness Programme (Bangladesh Red Crescent Society)
Address	684-686 Bara Mogh Bazar Red Crescent Sorak, Dhaka-1217
Name	Ekram Elahi Chowdhury
Position	Director (Operation)
Contact	<input type="checkbox"/> Email: ee_chowdhury@yahoo.com <input type="checkbox"/> Telp/HP: 01924026237, 9337948

II. Questions

Question	Answer
1. What is your organization's implementation policy in disaster management and future perspective?	<ul style="list-style-type: none">- In the disaster field CPP is the pioneer for Early Warning Dissemination and helping organization in line with Bangladesh Government standing order of disaster to evacuate people in cyclone period as per government order.- To minimize lose of life by mobilizing CPP volunteers and raising awareness of coastal communities.
2. What is the field your organization mostly emphasizes on? (Type of Disaster, Disaster Management Cycle, Central to Local, etc.)	<ul style="list-style-type: none">- CPP is contributing in the cyclone field and we are working for Disaster response and preparedness in the component of Disaster management cycle.- From HQ to local level we are working in the same direction.

<p>3. What is your current situation of efforts in disaster management?</p>	<ul style="list-style-type: none"> - CPP are doing many activities I.e. training for volunteers, awareness campaign for communities in the few areas in line with disaster management. But we are not able to implement in all areas due to lack of fund
<p>4. Has your organization experienced any difficulties or challenges in reducing risks against disasters?</p>	<ul style="list-style-type: none"> - CPP is facing lots of difficulties in reducing risks of targeted communities due to fund constrained. - CPP volunteers has also faced same situation during cyclone SIDR and Aiylla for aware of people and dissemination of cyclone signal due to lack of equipments.
<p>5. Please give us information of past project implemented by your organizations (mainly for past 10 years)</p>	<p><i>Refer to Project Summary Sheet</i></p>
<p>6. What are the future projects under preparation by your organization?</p>	<ul style="list-style-type: none"> - In the year 2012 AmCross will implement different training in different areas but not yet started. - CDMP is implementing training at 5 CPP upazilla areas. - Save The Children will do some training and mock exercise in 2012.
<p>7. Could you please tell us any good-practice or lessons learned from your projects?</p>	<ul style="list-style-type: none"> - Each and every CPP Unit has 5 women volunteers out of 15. - People of the coastal areas are more aware tann before as for example in cyclone SIDR and Aiylla life and properties were less damage due to CPP volunteer were more active at that time. - In cyclone Nargis nebhoure country Maymar's lost their people than Bangladesg's cyclone SIDR.though that Nargis and SIDR was same catagory cyclone.

PROJECT SUMMARY SHEET

Project Title	Cyclone preparedness programme
Duration	Starting at 1972 (long term).
Budget	5,000,0000 BDT (Some money allocation find as temporary basis)
Counterpart	Bangladesh Government, Comprehensive disaster management Programme, Bangladesh Red Crescent society and Save The Children and others.
Scheme	<input type="checkbox"/> Development Study <input type="checkbox"/> Technical Assistance <input type="checkbox"/> Grant Aid <input type="checkbox"/> Loan <input checked="" type="checkbox"/> Others (Early warning dissemination and disaster preparedness)
Target Disaster	<input type="checkbox"/> Flood <input checked="" type="checkbox"/> Cyclone (Tidal Surge) <input type="checkbox"/> Earthquake <input type="checkbox"/> Others ()
Disaster Risk Management Cycle	<input checked="" type="checkbox"/> Preparedness <input type="checkbox"/> Mitigation <input type="checkbox"/> Emergency Response <input checked="" type="checkbox"/> Rehabilitation/Reconstruction
Coordination with Other Donors	<input checked="" type="checkbox"/> Yes (Name of Donor: CDMP, SAVE the Children, ACDI, VOCA, PCI) <input type="checkbox"/> No
Project Background and Objective	To minimize life and properties by cyclonic disaster at coastal areas vulnerable people.
Project Result	We are working in long Term basis which is covering the whole coastal belt for early warning dissemination. We don't have result.
Recommendations	<ul style="list-style-type: none"> - Need to develop CPP Volunteer by providing training. - Need to repair and newly provide equipment. - Need to expand of CPP Unit at uncovered vulnerable areas. - Need to establish Wireless net work in different uncovered areas. - Need to provide modern technological training for officers and staff.

Lessons Learned	<ul style="list-style-type: none"> - In cyclone SIDR and Aiylla loss of life was minimum due to CPP volunteers were more efficient to their responsibilities. - After getting cyclone signal from CPP volunteer's people took shelter immediately during SIDR and Aiylla. - Women volunteers are more active than man volunteers.
Issues	<ul style="list-style-type: none"> - Not properly established coordination mechanism in the CPP due to proper expertise guidance. - Need to ensure training and others events for mobilizing the volunteers regularly.
Others	N/A

Bangladesh Rural Advancement Committee (BRAC)

I. Contact Identity

Organization	BRAC
Address	Disaster, Environment & Climate Change Programme, 8th floor, BRAC Centre, 75 Mohakhali, Dhaka-1212
Name	Tanzeba Ambereen Huq
Position	Programme Coordinator
Contact	<input type="checkbox"/> Email: tanzeba.ah@brac.net <input type="checkbox"/> Telp/HP: 9881265 Ext. 3530

II. Questions

Question	Answer
1. What is your organization's implementation policy in disaster management and future perspective?	BRAC has developed Standard Operation Procedures for disaster managements in the light of Standing Orders on Disaster (SOD) of government to minimize the loss of disaster.
2. What is the field your organization mostly emphasizes on? (Type of Disaster, Disaster Management Cycle, Central to Local, etc.)	BRAC always responds in all type of Humanitarian Crisis. Both natural disaster and man made disasters are equally considered by BRAC. Moreover, we are also working to develop BRAC's institutional and community capacity to respond in any disaster following CBDRR approach.
3. What is your current situation of efforts in disaster management?	Since its very inception as a relief organization, BRAC has responded to natural disasters, reaching out with emergency relief and rehabilitation support. BRAC created a separate programme, named Disaster, Environment and Climate Change (DECC) in 2009 to build institutional and community capacity to respond to natural disasters in a climate change context. The main objectives of DECC programme are to enhance BRAC's institutional capacity to respond to natural

	<p>disasters, building capacity at community level on disaster risk reduction, increase adaptability and coping ability in natural disasters, conducting predictive research, information transfer and education in relation to environment, climate change and natural disasters.</p> <p>As a part of economic recovery, DECC is working with the Aila-affected communities to rebuild livelihoods through the adoption of new technologies. To deal with salinity in the soil, BRAC introduced new high yielding salt tolerant rice & maize varieties in this region to restore food security and social safety nets. DECC programme provided support for fish cultivation and crab fattening to restore their livelihood. Moreover, DECC has imported two desalination plants (Capacity 500 LPD) from China to provide drinking water at Aila affected areas.</p> <p>BRAC has constructed climate resilient houses (CRH) in the southern part of Bangladesh by using local materials and indigenous knowledge. BRAC's waste management plant in Tongi will help to maintain a clean and healthy environment in the designated area under the CDM which contributes to global carbon reduction initiatives. From this plant, electricity and organic fertilizer will be produced.</p> <p>Till March 2012, DECC has trained up 8657 BRAC staff to ensure effective response in disaster and to face upcoming challenges due to climate change. A Standard Operating Procedure (SOP) has been developed after carrying out several simulations to help organize and streamline BRAC's rapid response to disasters. DECC has provided training to 50,880 community members, 78,476 community health volunteers, 40027 teachers & adolescent members and 142121 microfinance group members (target is 200,000) to manage future crises effectively. DECC program has already organized 10 simulation programmes on Cyclone preparedness and response at different disaster prone areas and another 32 will be organized shortly to evaluate the performances of the trained BRAC staffs and program participants (SS, SK, and Teacher) in</p>
--	---

	<p>natural disaster following the SOP and training contents.</p> <p>DECC collaborates with various international organizations to produce a daily situation report with weather forecasting & real-time updates which will ultimately help the beneficiary group to ensure food security and enhance economic recovery.</p>
<p>4. Has your organization experienced any difficulties or challenges in reducing risks against disasters?</p>	<p>One of the imperative objectives of BRAC's Disaster, Environment and Climate Change (DECC) programme has been enhancing BRAC's institutional and community level capacity to proactively respond to natural disasters, with a focus on climate change. But the sustainability of training and knowledge retention has become dubious, something that led to the start of an innovative method for effective response during disasters. BRAC has been arranging simulations in coastal districts of Bangladesh, areas which are severely and frequently affected by natural calamities every year. Simulations are helping to identify the gaps, opportunities and the potential of DECC's initiatives. Following this approach, DECC has ensured knowledge retention and practice among the BRAC staff and associates through training, something that can be replicated in other BRAC programmes.</p>
<p>5. Please give us information of past project implemented by your organizations (mainly for past 10 years)</p>	<p>BRAC has responded to numerous natural disasters that have plagued Bangladesh: the floods of 1987, 1988, 1998, 2004, and 2007; the famine of 1974; the cyclones of 1985 and 1991; and Cyclone Sidr in 2007 & Aila in 2009. Alongside, BRAC also provided support to different localized disaster like, Manikgonj Tornado in 1989, Satkhira flood & water logging 2011 etc. After creation of DECC programme, BRAC has implemented to projects –</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Aila Relief and Rehabilitation activities in Bangladesh; (Koyra, Dacope under Khulna district, Shyamnagar, Ashashuni under Satkhira district) 2. Developing BRAC's Emergency Response Capacity in Bangladesh

<p>6. What are the future projects under preparation by your organization?</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. Reducing vulnerability of women affected by climate change through livelihood options. 2. Capacity building activities
<p>7. Could you please tell us any good-practice or lessons learned from your projects?</p>	<p>After Aila immediate response was made by providing relief support (food package and NFIs) to the affected people through door to door visit. It was executed within the first 24 hours after communicating through the local level BRAC field staffs. Dry food & water relief package helped them a lot to retrieve from the emergency situation.</p> <p>For rehabilitation of the affected people, BRAC provided financial support (grant) for Crab fattening, Tilapia farming and Saline tolerant rice cultivation in the brackish water trapped during Aila so that the people could recover their losses of livelihoods and restart IGAs. Therefore, the crab fattening and GIFT Tilapia farming in the pens worked well and there were many farmers who could earn profit twice and thrice time from the initial grant of BRAC using the same pens. The rice farmers also could harvest a good amount of rice from the saline tolerant rice variety. Later all these beneficiaries reused the profit in the same or in some cases in other IGAs. DECC capacity development initiatives work very well and staff & community are now prepared to respond in any future natural disaster. Alongside, simulation that is anew and innovative approach in DRR may also be replicated for effective disaster management. Through our situation report, we can coordinate with field level staff effectively.</p>

PROJECT SUMMARY SHEET

Project Title	BRAC Disaster, Environment and Climate Change Program
Duration	Initiated in 2008
Budget	N/A
Counterpart	N/A
Scheme	<input type="checkbox"/> Development Study <input checked="" type="checkbox"/> Technical Assistance <input checked="" type="checkbox"/> Grant Aid <input type="checkbox"/> Loan <input checked="" type="checkbox"/> Others (Early warning dissemination and disaster preparedness)
Target Disaster	<input checked="" type="checkbox"/> Flood <input checked="" type="checkbox"/> Cyclone (Tidal Surge) <input checked="" type="checkbox"/> Earthquake <input checked="" type="checkbox"/> Others (All type of disaster)
Disaster Risk Management Cycle	<input checked="" type="checkbox"/> Preparedness <input checked="" type="checkbox"/> Mitigation <input checked="" type="checkbox"/> Emergency Response <input checked="" type="checkbox"/> Rehabilitation/Reconstruction
Coordination with Other Donors	<input checked="" type="checkbox"/> Yes (Name of Donor: BRAC own fund and Bill and Melinda Gates Foundation), UN <input type="checkbox"/> No
Project Background and Objective	BRAC created a separate programme, named Disaster, Environment and Climate Change (DECC) in 2009 to build institutional and community capacity to respond to natural disasters in a climate change context. The main objectives of DECC programme are to enhance BRAC's institutional capacity to respond to natural disasters, building capacity at community level on disaster risk reduction, increase adaptability and coping ability in natural disasters, conducting predictive research, information transfer and education in relation to environment, climate change and natural disasters.

<p>Project Result</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Standard Operation Procedure of BRAC for disaster management • Capacity development on disaster management (upto March 2012) through training: <ul style="list-style-type: none"> ✓ 301 master trainers on CBDRR and OLDP ✓ 8657 trained BRAC Staff on CBDRR and OLDP ✓ 40027 school teachers ✓ 50880 Pallisomaj members/ community leaders ✓ 142121 Village Organization members ✓ 78476 health volunteers and health workers • Organizing 42 Simulations at vulnerable areas for awareness raising • One day orientation on disaster management covering 1030 village level • Developed Integrated Collaboration & Rapid Emergency Support Services (iCRESS) for effective early warning. • Aila Relief and Rehabilitation activities in Bangladesh; (Koyra, Dacope under Khulna district, Shyamnagar, Ashashuni under Satkhira district)
<p>Recommendations</p>	<p>These point should be considered as key issues to implement disaster respond activities:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Effective coordination and collaboration with other organizations. • Mainstreaming and adaptation of new policies, till planning to implementation. • Create effective alternative livelihood opportunities for affected people and mainstreaming tem in normal development process. • Integrate community based holistic development approaches in all stage of respond. • Adaptation of new technology and knowledge at all level. • Addressing new form of calamities (such as- salinity intrusion in costal belt) in a proper way and minimize its effects. • Awareness training.

Lessons Learned	One of the imperative objectives of BRAC's Disaster, Environment and Climate Change (DECC) programme has been enhancing BRAC's institutional and community level capacity to proactively respond to natural disasters, with a focus on climate change. But the sustainability of training and knowledge retention has become dubious, something that led to the start of an innovative method for effective response during disasters. BRAC has been arranging simulations in coastal districts of Bangladesh, areas which are severely and frequently affected by natural calamities every year. Simulations are helping to identify the gaps, opportunities and the potential of DECC's initiatives. Following this approach, DECC has ensured knowledge retention and practice among the BRAC staff and associates through training, something that can be replicated in other BRAC programmes.
Issues	<ul style="list-style-type: none"> • To find the vulnerable groups specially challenged, women (particularly pregnant women), children, and elderly and to incorporate best practices in health support, relief distribution, access to water and sanitation, etc • Sustainability in terms of knowledge retention & its application in day-to-day life is one of the key issues to ensure the success of capacity building • Addressing urban climate change (environmental pollution, deforestation, and landfill), disaster (fire and earthquake) and poverty issues with a special focus on helping the poorest and most disadvantaged and take adequate initiatives to mitigate its effects. • Effective early warning system to reduce the vulnerability.
Others	N/A

Centre for Coastal Environmental Conservation (CCEC)

I. Contact Identity

Organization	Centre for Coastal Environmental Conservation
Address	Takdir Mohal, House No. 93 Road No. 2 Sonadanga R/A, Khulna-9000, Bangladesh
Name	N/A
Position	N/A
Contact	<input type="checkbox"/> Email: ccec_bd@khulna.bangla.net <input type="checkbox"/> Telp/HP: 88-041-810982

II. Questions

Question	Answer
1. What is your organization's implementation policy in disaster management and future perspective?	N/A
2. What is the field your organization mostly emphasizes on? (Type of Disaster, Disaster Management Cycle, Central to Local, etc.)	N/A
3. What is your current situation of efforts in disaster management?	N/A

<p>4. Has your organization experienced any difficulties or challenges in reducing risks against disasters?</p>	<p>N/A</p>
<p>5. Please give us information of past project implemented by your organizations (mainly for past 10 years)</p>	<p>N/A</p>
<p>6. What are the future projects under preparation by your organization?</p>	<p>N/A</p>
<p>7. Could you please tell us any good-practice or lessons learned from your projects?</p>	<p>N/A</p>

PROJECT SUMMARY SHEET

Project Title	Rehabilitation of Cyclone Aila Affected Sundarbans Stakeholders
Duration	36 month
Budget	US \$ 750000
Counterpart	N/A
Implementation Organization	Centre for Coastal Environmental Conservation
Scheme	<input type="checkbox"/> Development Study <input type="checkbox"/> Technical Assistance <input type="checkbox"/> Grant Aid <input type="checkbox"/> Loan <input type="checkbox"/> Others ()
Target Disaster	<input type="checkbox"/> Flood <input checked="" type="checkbox"/> Cyclone (Tidal Surge) <input type="checkbox"/> Earthquake <input type="checkbox"/> Others ()
Disaster Risk Management Cycle	<input checked="" type="checkbox"/> Preparedness <input type="checkbox"/> Mitigation <input checked="" type="checkbox"/> Emergency Response <input checked="" type="checkbox"/> Rehabilitation/Reconstruction
Coordination with Other Donors	<input checked="" type="checkbox"/> Yes (Name of Donor: WWF Italy) <input type="checkbox"/> No
Project Background and Objective	<p>Bangladesh is one of the greatest risk countries for sea level rise caused by global climate change and Sundarbans coastal region is in the high risk zone. About 17% of the coastal areas are threatened and millions of coastal communities are vulnerable to inundation thus "sea level rise" become a crucial factor for life and death for Bangladesh. Shape of the map of Bangladesh is in the process of changing. According to scientist research report "Changes of Sea Level Rise" takes time to begin but once it is begun it is difficult to stop the process thus <i>"there is no way to stop sea level rising by 2 cm in the coming days globally even carbon emission stops today"</i>- There is a great need to address measures on Cyclone-AILA especially the Sundarbans stakeholders who are the frontlines of climate change. Sustainable livelihood security of the AILA affected Sundarbans stakeholders and biodiversity conservation of Sundarbans is the major objectives.</p>
Project Result	Find Alternative Income Generation (AIG) and implement projects involving Sundarbans stakeholders.

Recommendations	<ul style="list-style-type: none"> - Implementation of Short and Medium term AIG for example; Sundarbans eco-tourism, handicraft making, crab fattening, , pickle making and nursery raising involving tiger-widow and munda indigenous people. - Gradual migration
Lessons Learned	Climate change is happening and the frequency, magnitude and pattern of cyclone along with the extent of damage is increasing trends.
Issues	Climate change, sea level rise, Sundarbans Impact Zone (SIZ), Sundarbans products (honey, thatch material/goolpata, fish, crab), Alternative Income Generation Activities (AIGA), Sundarbans Co-Management/IPAC (Integrated Protected Area Co-management), Cooperative/Community Based interventions
Others	Bangladesh Climate Change Strategy and Action Plan (BCCSAP), Tiger-human conflict,

CGIAR

I. Contact Identity

Organization	CGIAR
Address	N/A
Name	N/A
Position	N/A
Contact	<input type="checkbox"/> Email: <input type="checkbox"/> Telp/HP:

II. Questions

Question	Answer
1. What is your organization's implementation policy in disaster management and future perspective?	N/A
2. What is the field your organization mostly emphasizes on? (Type of Disaster, Disaster Management Cycle, Central to Local, etc.)	N/A
3. What is your current situation of efforts in disaster management?	N/A
4. Has your organization experienced any difficulties or challenges in reducing risks against disasters?	N/A

<p>5. Please give us information of past project implemented by your organizations (mainly for past 10 years)</p>	<p>N/A</p>
<p>6. What are the future projects under preparation by your organization?</p>	<p>N/A</p>
<p>7. Could you please tell us any good-practice or lessons learned from your projects?</p>	<p>N/A</p>

PROJECT SUMMARY SHEET

Project Title	G4: Assessment of the impact of anticipated external drivers of change on water resources of the coastal zone of "Challenge Program on Water and Food (CPWF)" by CGIAR
Duration	May 25, 2011 to April 30, 2014
Budget	USD 850,000
Counterpart	N/A
Implementation Organization	CGIAR Challenge Program on Water and Food
Scheme	<input type="checkbox"/> Development Study <input type="checkbox"/> Technical Assistance <input type="checkbox"/> Grant Aid <input type="checkbox"/> Loan <input type="checkbox"/> Others ()
Target Disaster	<input type="checkbox"/> Flood <input type="checkbox"/> Cyclone (Tidal Surge) <input type="checkbox"/> Earthquake <input checked="" type="checkbox"/> Others ()
Disaster Risk Management Cycle	<input type="checkbox"/> Preparedness <input type="checkbox"/> Mitigation <input type="checkbox"/> Emergency Response <input type="checkbox"/> Rehabilitation/Reconstruction
Coordination with Other Donors	<input type="checkbox"/> Yes (Name of Donor:) <input checked="" type="checkbox"/> No
Project Background and Objective	<p>The Ganges Basin Development Challenge (GBDC) goal is to reduce poverty and improve food security through improved water governance and management, and more productive and diversified agricultural-aquaculture systems for more resilient communities in the fresh-brackish water coastal zones of the Ganges delta. The present and future agriculture-aquaculture systems in these regions depend, to a large extent, on the availability of fresh water which in turn is governed by a number of external drivers. These interactions are likely to be more pronounced in future. The existing knowledge of the anticipated role of these external drivers on water availability and health of the coastal zones is limited. Through an improved understanding, this project shall help in development of appropriate agricultural systems, design suitable water infrastructure and its operating practices leading to climate resilient communities in the vulnerable coastal zones of the Ganges delta.</p> <p>The goal of our project is assessing the impacts of external drivers of change on performance of alternative strategies</p>

	<p>for water governance and water and crop management in different kinds of polders in the coastal zone of the Ganges basin. We shall address anticipated changes in flooding, drainage congestions, salinity intrusion, water availability, sedimentation and risk of inundation of cyclone induced storm surge as a consequence of these drivers. To attain the objective it is vital to identify the important external drivers that influence water resources of the coastal zone. This questionnaire survey is an attempt to ensure participation of the stakeholders and experts in identifying the major external drivers in the entire Ganges basin which will influence water resources in the coastal polders.</p>
Project Result	<p>This project will address the important external drivers that influence water resources of the coastal zone and to assess the anticipated changes in flooding, drainage congestions, salinity intrusion, water availability, sedimentation and risk of inundation of cyclone induced storm surge as a consequence of these drivers. The water resources in the coastal zone of the Ganges basin are vital for crop production, ecosystem sustenance and livelihoods. These resources are largely shaped by tidal dynamics and upstream flows, and are affected by changes in the natural, socio-economic and institutional systems. It is important to identify and prioritize these drivers, and assess their effects on water resources towards building resilient water governance and management to cope with the projected future conditions.</p>
Recommendations	<p>The recommendations are yet to be made at this stage of the project. However, the key external drivers of change on water resources in the Ganges river basin have been identified and prioritized in a participatory way involving community representatives, experts, researchers, planning and development institutions, practitioners and academics; representatives from other GBDC projects. The top ranked external driver was found to be the trans-boundary flow followed by population growth, change in water management practices, land-use change, climate change and so on. These drivers acting in the entire basin will shape the water resources of the coastal Ganges.</p>
Lessons Learned	<p>In all the three polders the issues are different but the ground reality is that the present scenario is very much different from the 1970s when BWDB constructed the polders and drainage system. So improvement of water management, water infrastructure and disaster preparedness is needed in the three selected polders (Polder 3, 30 and 43/2F).</p>

Issues	Several field visits, stakeholder consultation and focus group discussions were carried out in the selected three polders. These polders are situated in the high salinity zone (polder 3), medium salinity zone (polder 30) and low salinity zone (polder 43/2F). In polder 3, salinity intrusion and conflict between farmers and shrimp gher owners are the major issue. In polder 30, water logging is severe due to decrease of freshwater flow, sedimentation of river beds, encroachment of drainage channels and so on. In polder 43/2F, freshwater is available in the surrounding rivers. However, due to sedimentation and blockage of the khal system and insufficient water control structures, irrigation water is not available during Rabi period. Moreover, overtopping of the polder embankment is observed during spring tide and cyclone induced storm surges are one of the key issues in polder 30 and 43/2F.
Others	N/A

Christian Service Society (CSS)

I. Contact Identity

Organization	Christian Service Society (CSS)
Address	82, Rupsha Strand Road
Name	Bidhan Chandra Das
Position	Director Admin and Audit
Contact	<input type="checkbox"/> Email: bidhan@cssbd.org <input type="checkbox"/> Telp/HP: 041 720 776

II. Questions

Question	Answer
1. What is your organization's responsibility in disaster management?	Awareness, Relief, Rehabilitation
2. What is your organization's implementation policy in disaster risk management and future perspective?	Activate Union and Upzila DMC, Formation Different Volunteer Committee, Work with LG, and Local Authority, Capacity building
3. What is your current situation of efforts in disaster management?	Awareness, Relief, Rehabilitation, Training, Publication, Special Lone
4. Has your organization experienced any difficulties or challenges in reducing risks against disasters?	Local committees for disaster mtg. are not active; they have no budget, Coordination gap between NGO to NGO and also GO to NGO.

<p>5. Who are the current donor partners to your organization?</p>	<p>Woord en Daad, Netherlands</p>
<p>6. Please give us information of past project implemented by your organizations (mainly for past 10 years)</p>	<p><i>Refer to Project Summary Sheet attached.</i></p>
<p>7. What are the future projects under preparation by your organization?</p>	<p>Awareness and Capacity building (LGIs, Local leaders, Students, Volunteers), Better Coordination among the working NGO, LGIs, Govt. Authorities and also disaster preparedness for 10 costal Up-Zillas.</p>
<p>8. Do you have any specific request what kind of project to be supported by international donors? If yes, please summarize the contents of projects.</p>	<p>Awareness and Capacity building (LGIs, Local leaders, Students, Volunteers), Better Coordination among the working NGO, LGIs, Govt. Authorities and also disaster preparedness for 10 costal Up-Zillas.</p>
<p>9. What is your opinion for the current Standing Order on Disaster (2010) in view of functionality at central (Dhaka) and branch (Khulna and others) offices?</p> <p>What is your opinion for the PREVIOUS Standing Order on Disaster (2007) compared to the current order of 2010?</p>	<p>Now it is update by different CS members, NGOs. Now we think it is better.</p> <hr/> <p>Current one is more clearly define, responsibilities are well define, more execution power shifted to the local authority.</p>

PROJECT SUMMARY SHEET

Project Title	Capacity building on Disaster Management
Duration	March 2009- February 2010
Budget	BDT 11,169,057
Counterpart	N/A
Implementation Organization	Christian Service Society (CSS)
Scheme	<input type="checkbox"/> Development Study <input type="checkbox"/> Technical Assistance <input type="checkbox"/> Grant Aid <input type="checkbox"/> Loan <input type="checkbox"/> Others ()
Target Disaster	<input type="checkbox"/> Flood <input checked="" type="checkbox"/> Cyclone (Tidal Surge) <input type="checkbox"/> Earthquake <input type="checkbox"/> Others ()
Disaster Risk Management Cycle	<input checked="" type="checkbox"/> Preparedness <input type="checkbox"/> Mitigation <input checked="" type="checkbox"/> Emergency Response <input type="checkbox"/> Rehabilitation/Reconstruction
Coordination with Other Donors	<input checked="" type="checkbox"/> Yes (Name of Donor: Woord En Daad) <input type="checkbox"/> No
Project Background and Objective	To build the capacity of vulnerable people of 10 most vulnerable costal area
Project Result	Capacity enhanced, Union and Upazila DMC has been reactivated, Volunteer Committee has been formed, Awareness has been raised, Booklet, Poster, other BCC materials has been published. 10000 families have been supported by CSS through relief and rehab. 2 Cyclone Shelters have been built.
Recommendations	Need more Coordination between GO and NGO and also NGO to NGO.
Lessons Learned	If Coordination will be better result will be better. DRR is more important rather then Relief and Rehab work.
Issues	DRR

Others	N/A
---------------	-----

Foundation for Disaster Forum

I. Contact Identity

Organization	Foundation for Disaster Forum
Address	5/1 Sir Sayed Road (Ist Floor) Muhammedpur , Dhaka – 1207, Bangladesh
Name	Gawher Nayeem wahra
Position	Member Secretary
Contact	<input type="checkbox"/> Email: nayeem5508@gmail.com "Disaster Forum" <bdpf.sr@gmail.com> <input type="checkbox"/> Telp/HP: 01713005883 ; 00 88 02 9128963

II. Questions

Question	Answer
1. What is your organization's implementation policy in disaster management and future perspective?	Organising people's organization in planning and implementing Disaster Management and also play proactive role in Policy advocacy
2. What is the field your organization mostly emphasizes on? (Type of Disaster, Disaster Management Cycle, Central to Local, etc.)	We emphasis more on Local to Central and focusing on all Natural Disasters and human intervention in worsening the situation.
3. What is your current situation of efforts in disaster management?	Policy Advocacy and Research as well as promoting the good practices and local knowledge in Disaster Management.

<p>4. Has your organization experienced any difficulties or challenges in reducing risks against disasters?</p>	<p>Yes. The understanding of the situation by the policy makers is not based on the reality of the ground.</p>
<p>5. Please give us information of past project implemented by your organizations (mainly for past 10 years)</p>	<p><i>Refer to Project Summary Sheet</i></p> <ul style="list-style-type: none"> <i>a) Advocacy on Arsenic issue</i> <i>b) Publishing Disaster Yearbook</i> <i>c) Promoting the alternative perspective of Disaster Management</i> <i>d) Publication of Books and videos on Disaster Management</i>
<p>6. What are the future projects under preparation by your organization?</p>	<p>We would like to strengthening our advocacy programme and building people's organization in the disaster prone area so that they can work as watchdog.</p>
<p>7. Could you please tell us any good-practice or lessons learned from your projects?</p>	<p>Through our research and documentation and continous advocacy both Govt. and main actors of Disaster Management has changed their methods and approach towards the most vulnerable people including the children. A tremendous change has been made in intervention package and early recovery stage.</p>

PROJECT SUMMARY SHEET

Project Title	Knowledge Management and Advocacy
Duration	On going
Budget	\$ 10,000
Source of Budget	Self financing from the contribution of the member agencies and selling trainings and books
Counterpart	NGOs working in the Cyclone prone area and Govt. Institutions
Scheme	<input checked="" type="checkbox"/> Development Study <input type="checkbox"/> Technical Assistance <input type="checkbox"/> Grant Aid <input type="checkbox"/> Loan <input type="checkbox"/> Others ()
Target Disaster	<input checked="" type="checkbox"/> Flood <input checked="" type="checkbox"/> Cyclone(Tidal Surge) <input checked="" type="checkbox"/> Earthquake <input type="checkbox"/> Others (River Bank Erosion and Arsenic)
Disaster Risk Management Cycle	<input checked="" type="checkbox"/> Preparedness <input type="checkbox"/> Mitigation <input type="checkbox"/> Emergency Response <input type="checkbox"/> Rehabilitation/Reconstruction
Coordination with Other Donors	<input type="checkbox"/> Yes (Name of Donor:) With all major International non-govt. Agencies. <input type="checkbox"/> No
Project Background and Objective	Strengthening the capacity of the Member agencies and people's organization in planning and implementing pro people Disaster Risk Reduction programme and raise voice against the non-environment friendly initiatives.
Project Result	Forum has able to convince the Govt. and other actors on the gravity of Arsenic issue and need of people's involvement in Disaster Management.
Recommendations	Needed more coordination and continuous advocacy .
Lessons Learned	Its difficult but not impossible.
Issues	N/A

Others	N/A
---------------	-----

Prodipan

I. Contact Identity

Organization	Prodipan
Address	H.O: Shaheb Bari Road, Maheswarpasha, P.O: KUET, Khulna. Liaison Office: 6/1A Lalmatia, Block- F, Dhaka-1207.
Name	Ferdausur Rahman.
Position	President.
Contact	<input type="checkbox"/> Email: president@prodipan-bd.org <input type="checkbox"/> Telp/HP: +02-8114887. Cell-01713205437.

II. Questions

Question	Answer
1. What is your organization's responsibility in disaster management?	<ul style="list-style-type: none">- Disaster warning and alert.- Support evacuation, support upazila administration and UDMCs.- Shelter management.- Relief.- Rehabilitation.
2. What is your organization's implementation policy in disaster risk management and future perspective?	<ul style="list-style-type: none">- Community based disaster management planning and preparation.- Preparation for support during and after disaster if the signal is above 5 in coastal areas.- Preparation for support during and after disaster with the receipt of information where signals are not available or applicable (like collapse of embankment).- Relief support.- Rehabilitation support.

3. What is your current situation of efforts in disaster management?	<ul style="list-style-type: none"> - Disaster preparedness. - Post disaster rehabilitation in cyclone Sidr and Aila areas. - Nutrition rehabilitation in the same area (to be started in April-may). - Disaster tolerant drinking water supply in same area.
4. Has your organization experienced any difficulties or challenges in reducing risks against disasters?	<p>Yes!</p> <ul style="list-style-type: none"> - Lack of quick and easy transportation and communication. - Adverse weather conditions. - Cash transfer for local purchases. - Influx of vandalism and robbery along with snapped law and order situation. - Storage problem.
5. Who are the current donor partners to your organization?	<ol style="list-style-type: none"> 1. Save the Children – Three Projects. 2. Manusher Jonno Foundation – Two Projects. 3. Steps Towards Development – One Project. 4. UPPRP – One project.
6. Please give us information of past project implemented by your organizations (mainly for past 10 years)	<p><i>Kindly Refer to Project Summary Sheet attached.</i></p>
7. What are the future projects under preparation by your organization?	<ul style="list-style-type: none"> - Rehabilitation of Hazardous Child Labor. - Rehabilitation of Climate Change Victims. - Campaign for Community Oriented, Climate Change Responsive Forest Policy.
8. Do you have any specific request what kind of project to be supported by international donors? If yes, please summarize the contents of projects.	<ul style="list-style-type: none"> - Disaster resistant model villages in Climate Change perspective. - Disaster resistant agriculture and animal husbandry in Climate Change perspective. - Campaign on rehabilitation of climate refugee.

<p>9. What is your opinion for the current Standing Order on Disaster (2010) in view of functionality at central (Dhaka) and branch (Khulna and others) offices?</p>	<p>- Despite of Bangladesh's reputation in disaster management the SOD lacks practical institutional development initiatives in order to develop a sustainable disaster management plan.</p>
<p>What is your opinion for the PREVIOUS Standing Order on Disaster (2007) compared to the current order of 2010?</p>	<p>No comment.</p>

PROJECT SUMMARY SHEET

Project Title	Community Based Disaster and Vulnerability Mapping.
Duration	2 years (2008 to 2009).
Budget	Tk. 2,200,000/-
Counterpart	N/A
Implementation Organization	Prodipan.
Scheme	<input type="checkbox"/> Development Study <input type="checkbox"/> Technical Assistance <input type="checkbox"/> Grant Aid <input type="checkbox"/> Loan <input type="checkbox"/> Others ()
Target Disaster	<input checked="" type="checkbox"/> Flood <input checked="" type="checkbox"/> Cyclone(Tidal Surge) <input type="checkbox"/> Earthquake <input checked="" type="checkbox"/> Others (Climate Change Induced Disasters like water stagnation, salinity, river erosion etc.)
Disaster Risk Management Cycle	<input checked="" type="checkbox"/> Preparedness <input checked="" type="checkbox"/> Mitigation <input checked="" type="checkbox"/> Emergency Response <input checked="" type="checkbox"/> Rehabilitation/Reconstruction
Coordination with Other Donors	<input checked="" type="checkbox"/> Yes (Name of Donor: CAFOD, UK) <input type="checkbox"/> No
Project Background and Objective	Background: Each year Bangladesh faces different kinds of disaster in different Disaster Zones. The study captured community knowledge in two disaster zones, Rajshahi and Khulna Divisions in mapping risks and vulnerabilities in order to prepared disaster response projects.
Project Result	Community Generated Disaster Risks and Vulnerability Maps.
Recommendations	<ul style="list-style-type: none"> - Targeting the most vulnerable areas and communities in disaster preparation and disaster response. - Community involvement in disaster intervention planning and monitoring.

Lessons Learned	<ul style="list-style-type: none"> - Even though a community looks like vulnerable to disaster/s there might be a class of people within the community who are not that vulnerable. - Community people can better target and locate vulnerabilities than any outsider. - Community involvement in planning and monitoring can ensure an effective and transparent disaster preparedness and response program.
Issues	<ul style="list-style-type: none"> - Pinpointing levels of disaster vulnerabilities of different scale within a target response area. - People's participation in disaster response planning, management and monitoring.
Others	<p>Detailed knowledge of community vulnerability against different disaster is highly important for effective disaster preparedness and prevention.</p> <p>People oriented disaster response as well as monitoring will make disaster preparedness and disaster responses pragmatic and efficient.</p>

PROJECT SUMMARY SHEET

Project Title	Climate Refugees in Bangladesh.
Duration	Six Months.
Budget	Tk. 600,000/-
Counterpart	N/A
Implementation Organization	Prodipan.
Scheme	<input type="checkbox"/> Development Study <input type="checkbox"/> Technical Assistance <input type="checkbox"/> Grant Aid <input type="checkbox"/> Loan <input type="checkbox"/> Others ()
Target Disaster	<input checked="" type="checkbox"/> Flood <input checked="" type="checkbox"/> Cyclone(Tidal Surge) <input type="checkbox"/> Earthquake <input checked="" type="checkbox"/> Others (Climate Change Induced Disasters like water stagnation, salinity, river erosion etc.)
Disaster Risk Management Cycle	<input checked="" type="checkbox"/> Preparedness <input checked="" type="checkbox"/> Mitigation <input checked="" type="checkbox"/> Emergency Response <input checked="" type="checkbox"/> Rehabilitation/Reconstruction
Coordination with Other Donors	<input checked="" type="checkbox"/> Yes (Name of Donor: Diakonie, Germany.) <input type="checkbox"/> No
Project Background and Objective	<p>Displacement of people due to climate induced disasters is old human institutions. In recent days the trend has increased. The study went deep into the magnitude of the problem; destination of migration; causes of migration etc.</p> <p>Objective: To find an intervention guideline to stop climate migration.</p>
Project Result	Clear picture of the dynamics of Climate Migration and suggested way to reduce climate migration.
Recommendations	<ul style="list-style-type: none"> - Root causes of climate migrations are rooted in developed countries. - Climate migrations are results of clear violation un charter of Man Made Calamities. - A simple income increase of \$.5 over present average daily income of \$ 2.2 can permanently stop climate migration.

Lessons Learned	<ul style="list-style-type: none"> - Climate migrations need serious development interventions in order to keep coastal population productive in their own habitation.
Issues	<ul style="list-style-type: none"> - Awareness campaign on climate migration as development challenge. - Right based campaign for rehabilitation rights of climate refugees.
Others	<p>Prodipan intends to work on the issue of climate migration.</p>

PROJECT SUMMARY SHEET

Project Title	Food Security, Climate Change and Indigenous Agricultural Knowledge of Women.
Duration	Six months.
Budget	Tk. 446,000/-
Counterpart	N/A
Implementation Organization	Prodipan.
Scheme	<input type="checkbox"/> Development Study <input type="checkbox"/> Technical Assistance <input type="checkbox"/> Grant Aid <input type="checkbox"/> Loan <input type="checkbox"/> Others ()
Target Disaster	<input type="checkbox"/> Flood <input type="checkbox"/> Cyclone(Tidal Surge) <input type="checkbox"/> Earthquake <input type="checkbox"/> Others (Food Insecurity)
Disaster Risk Management Cycle	<input checked="" type="checkbox"/> Preparedness <input checked="" type="checkbox"/> Mitigation <input checked="" type="checkbox"/> Emergency Response <input checked="" type="checkbox"/> Rehabilitation/Reconstruction
Coordination with Other Donors	<input checked="" type="checkbox"/> Yes (Name of Donor: Diakonie, Germany) <input type="checkbox"/> No
Project Background and Objective	<p>In coastal areas natural disasters often brings in food insecurity a kind humanitarian disaster. The study brought out how women resist food insecurity with their agricultural knowledge.</p> <p>Objective of the Study: Assertion of the role of women in adapting to food insecurity through their knowledge of agriculture.</p>
Project Result	<ul style="list-style-type: none"> - Role of women in fighting food insecurity ascertained. - Community knowledge of fighting food insecurity shared with other communities.
Recommendations	<ul style="list-style-type: none"> - Woman has a role in adapting to food insecurity but it is not recognized in the society. - This role can be shared with other communities and can be a point of learning.

Lessons Learned	<ul style="list-style-type: none"> - Woman has a role in adapting to food insecurity but it is not recognized in the society. - This role can be shared with other communities and can be a point of learning.
Issues	Recognition of role of women in disasters like food insecurity.
Others	Enhancement of women's role in fighting disasters.

Shaplaneer

I. Contact Identity

Organization	SHAPLA NEER=Citizens' Committee in Japan for Overseas Support
Address	Bangladesh Office: 9/19 Iqbal Road, Block-A, Mohammadpur, Dhaka-1207
Name	Atsushi Ojima
Position	Country Director
Contact	<input type="checkbox"/> Email: ojima@shaplaneer.org <input type="checkbox"/> Telp/HP: 9119195, 9127780, 9141509

II. Questions

Question	Answer
1. What is your organization's implementation policy in disaster management and future perspective?	Emergency response to disaster –whenever Bangladesh experiences natural disasters, like- flood, cyclone, tornado etc. SHAPLA NEER always comes forward to conduct emergency relief, rehabilitation & disaster preparedness programs and prepare mitigation plan. SHAPLA NEER conduct development project on disaster risk reduction through partnership with different local level organization. The adolescent led disaster risk reduction approach is new but world wide recognized concept in disaster management. Adolescent & youths is such a group of the community who access to the all level of the society. And certainly, adolescent group has a huge potentiality that should be utilized in their community disaster preparedness and mitigation plan. Considering the concept SHAPLA NEER undertook a community based disaster risk reduction projects with two different partners in the flood and cyclone prone area of Bangladesh focusing on adolescent & youths as “main actors” to

	<p>strengthen resiliency of the community towards disaster risk reduction through their initiatives. SHAPLA NEER also give importance on capacity building of local level DRR actors and coordination with local young volunteers to continue community based disaster preparedness.</p> <p>Also, when emergency relief operations are needed, SHAPLA NEER follow the “principles of emergency response” like-improvement of living of the people, advocacy, organizational or institutional development, information collection and promotion of experience sharing among various stakeholders, networking to disseminate & coordinate activities and finally response to disaster.</p> <p>In future SHAPLA NEER will continue community focused disaster preparedness program for risk reduction and emergency response activities when required.</p>
<p>2. What is the field your organization mostly emphasizes on? (Type of Disaster, Disaster Management Cycle, Central to Local, etc.)</p>	<p>SHAPLA NEER mostly emphasize on cyclone, flood & cold wave related disaster. In disaster management cycle SHAPLA NEER emphasize on preparedness and mitigation part. For disaster risk reduction SHAPLA NEER prefer to establish community resiliency through community based approach.</p>
<p>3. What is your current situation of efforts in disaster management?</p>	<p>At present SHAPLA NEER continue cyclone disaster preparedness program with local level partner NGO JJS (Jagrata Juba Shangha) at Southkhali Union of Sharankhola Upazila at Bagerhat District through community based approach and adolescent & youth volunteers led activities for risk reduction to establish community resiliency. SHAPLA NEER also continue emergency response program according to requirements.</p>

<p>4. Has your organization experienced any difficulties or challenges in reducing risks against disasters?</p>	<p>In absence of construction of disaster related infrastructure like- adequate shelters (in terms of number and quality), access roads to go to shelters and strong embankment, canals & water gates repair, in the area vulnerability of the community has not been substantially reduced. And SHAPLA NEER has financial limitations to establish required disaster related infrastructure in the project area.</p>
<p>5. Please give us information of past project implemented by your organizations (mainly for past 10 years)</p>	<p>a. Rehabilitation project named "Rehabilitation of SIDR Affected People by Restoring Livelihoods Keeping Adolescent as Change Maker" for SIDR affected people of 2 villages of Southkhali Union at Sharakhola Upazila in Bagerhat district in 2008-2010 through partner organization JJS.</p> <p>b. Adolescent led flood disaster preparedness project named "Community Development Project for Disaster Risk Reduction through Adolescent's Initiatives" in 2009-2012 in Ghior & Daulatpur Upazila of Manikganj district through partner organization Step Towards Empowerment of the Poor.</p> <p>c. adolescent led cyclone disaster preparedness project in 2010-2012 named "Cyclone Disaster Resilient Community Development Project (CDRCDP)" for SIDR & AILA affected people of 2 villages of Southkhali Union at Sharakhola Upazila in Bagerhat district through partner organization JJS.</p> <p><i>Also SHAPLA NEER implemented some relief operation on disaster</i></p> <p>a. In 2004- relief program for flood affected people in Narsingdhi, Mymensingh & Gaibandha through partner organization PAPRI, KOLI & GUK.</p>

	<p>b. In 2007- relief program for cold wave affected people in Gaibandha through partner organization USS & GUK.</p> <p>c. In 2007- relief program for Super cyclone SIDR affected people in Bagerhat and Barguna through partner organization JJS and Sangram, Sankalpa Trust & Kobi Sukanto Sangha.</p> <p>d. In 2009- relief program for cyclone AILA affected people in Sharakhola, Bagerhat through partner organization JJS.</p> <p>e. In 2011- relief program for cold wave affected people in Gaibandha & Narsingdhi through partner organization USS & PAPRI.</p>
<p>6. What are the future projects under preparation by your organization?</p>	<p>At present SHAPLA NEER planned a project on community based cyclone disaster preparedness for risk reduction and building resilient community named "Community based Cyclone Disaster Preparedness project (CCDP)" and target area is Southkhali Union of Sharankhola in Bagerhat district for the period of July 2012-June 2015 through implementing partner organization JJS.</p>
<p>7. Could you please tell us any good-practice or lessons learned from your projects?</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. family based disaster preparedness plan and its implication is very effective to strengthen family level disaster preparedness. 2. cluster system (disaster volunteers structure under ward level) led by local youth & adolescent volunteers on disaster including coordination with local level formal DRR structure like UDMC, CPP, shelter management committee is an appropriate approach to strengthen community based disaster preparedness, safe evacuation of vulnerable people and information dissemination on early warning. 3. preparation of vulnerable peoples list on disaster and seasonally update on its is very essential regarding safe evacuation

	<p>of them.</p> <ol style="list-style-type: none">4. exploring and practicing on indegenious appropriate techniques on disaster preparedness is very important.5. popular cultural events is very effective as information dissemination tools on disaster to the community people.
--	--

PROJECT SUMMARY SHEET

Project Title	Cyclone Disaster Resilient Community Development Project (CDRCDP)
Duration	2 years 2 months
Budget	1,47,19,957.40 Taka
Source of Budget	JICA
Counterpart	N/A
Scheme	<p>Technical Assistance on community based cyclone disaster preparedness & risk reduction to establish resilient community</p> <p> <input type="checkbox"/>Development Study <input type="checkbox"/>Technical Assistance <input type="checkbox"/>Grant Aid <input type="checkbox"/>Loan <input type="checkbox"/>Others () </p>
Target Disaster	<p> <input type="checkbox"/>Flood <input checked="" type="checkbox"/>Cyclone(Tidal Surge) <input type="checkbox"/>Earthquake <input type="checkbox"/>Others () </p>
Disaster Risk Management Cycle	<p> <input checked="" type="checkbox"/>Preparedness <input type="checkbox"/>Mitigation <input type="checkbox"/>Emergency Response <input type="checkbox"/>Rehabilitation/Reconstruction </p>
Coordination with Other Donors	<p> <input type="checkbox"/>Yes (Name of Donor:) <input checked="" type="checkbox"/>No </p>
Project Background and Objective	<p>Project Background: Responding to a devastating cyclone, 'SIDR' which hit Bangladesh in November 2007 Shapla Neer started humanitarian aid to victims of Sarankhola Upazilla in Bagerhat District through partnership with JJS (Jagrata Jaba Sangha)-a Khulna based NGO. The activities begun on 15th November 2007 and is followed by rehabilitation activities named "Rehabilitation of SIDR Affected People by Restoring Livelihoods Keeping Adolescent as Change Maker" until January 2010.</p> <p>JJS and SHAPLA NEER have again reached an agreement to implement a community development project from February 2010 in the 'Sidr' & "Aila" affected area, namely 'Cyclone disaster resilient community development project' at "Bakultala and Rayenda village of Sharankhola Upazila with the ultimate goal to establish cyclone disaster resilient community - a model approach of community based cyclone disaster risk reduction through adolescents' initiative in</p>

	<p>Bangladesh. While JJS conducts activities of the project, SHAPLA NEER provides feedback, technical supports and recommendations in the process of planning, monitoring as well as financial support to the project with the financial cooperation from JICA.</p> <p>Project Objective: To establish a model approach of community based cyclone disaster risk reduction initiated by adolescents.</p>
<p>Project Result</p>	<p>Result-1. Adolescent in the project area got knowledge and skilled about cyclone disaster risk reduction.</p> <p>Major Achievements:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Total 17 adolescent groups are formed with 264 members who are disaster risk reduction volunteers (DRR volunteers) 2. To measure the level of the knowledge of the group members, a written test was conducted to 63 samples and the result was compared among three categories- cluster members, adolescent group member and non-member adolescent. In average cluster group members scored 81%, the adolescent group members scored 77%, & non-member adolescent scored 50%. In sum the cluster members' as well as group members' knowledge is much advanced than non-members. It is assumed that this knowledge will enhance their capacity in carrying out their responsibilities in pre, during & post disaster period. 3. 17 adolescent groups are divided into 6 clusters. Cluster wise evacuation plan and management has been developed. 4. A list of vulnerable people of the area consisting 1,057 people has been prepared by the adolescent groups. They also assisted to prepare family based disaster preparedness plan of 501 families of the area. Most of those families have now more and proper ideas on cyclone preparedness. <p>Result-2. Information network for a time of disasters is built up through adolescent volunteers initiatives, and community based disaster preparedness is improved at normal times.</p> <p>Major Achievements:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. A two-storied building is constructed as an information and training center in the campus of JJS development centre in Sharankhola. Cyclone Disaster preparedness

	<p>related messages have been disseminated in the community through the adolescent volunteers such as mock drill (demonstration of the peoples' responses on cyclone), assists to prepare family based cyclone disaster preparedness plan cultural activities & awareness campaigns.</p> <p>2. The adolescents and youths who are associated with cluster committees have good coordination with local disaster related actors to reduce cyclone disaster risk in the project area in Southkhali, Shahrakhola, Bagerhat.</p> <p>Result -3. Vulnerability of people in the target area is reduced by improving their living conditions.</p> <p>Major Achievements:</p> <p>1. For 85 target farmers, agriculture development through the introduction of appropriate technologies for small farmers is successfully contributing better income and their living condition is improved.</p> <p>2. Access of safe drinking water is sustainably ensured. Based on the document study and field survey, almost all people have access to safe drinking water around the year in the project area.</p> <p>Result-4. Community Peoples' needs and demands is recognized and understood by the stakeholder of this project through cooperation with the local government.</p> <p>Major Achievements:</p> <p>1. An advocacy meeting with media was organized and 5 reports were published/ broadcasted on national printing & electronic media about vulnerable condition & peoples demand on establishment of disaster resilient infrastructure in the area. As a result, some issues have been realized and recognized by higher authorities for further consideration/actions.</p> <p>2. The two-way communication between government service departments and the people in the project area has been established. For example, cattle vaccination and immunization camps have been held regularly in the target villages.</p> <p>3. Through the advocacy of the cluster committees and farmers groups with the support of local government service providers, one access road to Rayenda Cyclone center was repaired and construction of two culverts in Bakultala has been commenced.</p>
--	---

<p>Recommendations</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. Family based disaster preparedness plan is very important to reduce disaster risk its need to practice by all vulnerable coastal areas people of Bangladesh. 2. The list of vulnerable people has to be prepared and properly updated and DRR actors should follow it to safely evacuate the vulnerable people. 3. Regular coordination meetings between young volunteers led cluster committees (cluster mechanism like unit of disaster volunteers under ward level) and local disaster related actors should be continued. 4. The DRR stakeholder (including GoB/NGO donors) should not hesitate to reactivate disaster related actors whenever possible through organize required training; provide necessary equipments & ensuring some source of fund for them. 5. The DRR stakeholder (including GoB/NGO donors) should take initiatives or advocate for the establishment required number of disaster related infrastructure like cyclone shelter including gender equity considered proper facilities & Killa for livestock, establish Pond Sand Filter, and to repair of the 35/1 no polder in Sharankhola Upazila in Bagerhat district. 6. Promotion of appropriate technology for small, marginal & landless farmers in the coastal area should be continued to improve their living condition.
<p>Lessons Learned</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. Cluster system or mechanism (1 cluster area up-to 1 km) led by local young & adolescent DRR volunteers is very effective to inform & motivate people on cyclone disaster preparedness, early warning signal dissemination and to evacuate people during cyclone disaster. If the local young volunteers worked together with local level formal DRR actors like CPP, UDMC, Cyclone shelter management committees then community based disaster preparedness will strengthen and finally disaster resilient community will establish. So, Extension of cluster system in all the vulnerable coastal area should be considered. 2. School sessions on DRR issues and other adolescent activities (using cultural function through popular events) increase knowledge and concepts of students that can play effective role to strengthen disaster preparedness in the vulnerable coastal area. 3. In absence of adequate cyclone shelters (in terms of number and quality), access roads to go to cyclone shelters and strong embankment, canals & water gates

	<p>repair, in the area vulnerability of the community has not been substantially reduced.</p> <p>4. UDMC, WDMC, CPP and cyclone Shelter Management Committees seems non-functioning well due to absence of regular meetings and sufficient trainings on disaster.</p>
Issues	Community based cyclone disaster risk reduction led by adolescent volunteers to establish resilient community
Others	SHAPLA NEER's project area is situated in the Southkhali Union in Sharankhola Upazila which area is mostly affected by the super cyclone SIDR. So that, we are highly recommended to repair or strongly establish the 35/1 no. polder in Sharankhola Upazila in Bagerhat District.

Shushilan

I. Contact Identity

Organization	Shushilan
Address	Main Contact Office : Plot – G-3, KDA Jalil Sarani, Boyra, Khulna
Name	Mostafa Nuruzzaman
Position	Director
Contact	<input type="checkbox"/> Email: admin.shushilan@gmail.com, director.shushilan@gmail.com <input type="checkbox"/> Telp/HP: + 88 041 860329 Mobile : +8801552112778, 01720510199

II. Questions

Question	Answer
1. What is your organization's responsibility in disaster management?	<p><i>Shushilan</i> is committed in responding to any type of disasters (either natural disasters or man-made ones) if deemed necessary to intervene. To clarify <i>Shushilan's</i> responsibility on the response, all types of disasters are classified into three kinds: minor, major and national.</p> <p>The following criteria depict some of the common features, but are not meant to be the rigid criteria of categorization. The conditions significantly vary, depending on the magnitude and intensity of disasters and on the capacity of people to cope with disasters.</p> <p><i>Shushilan's</i> responsibility is to respond to the needs of disaster affected people of <i>Shushilan's</i> working area . <i>Shushilan</i> mainly conduct 2 types of responsibility in disaster management and accordingly initiate different types of activities, which are as follows</p> <p>a. During disaster & post disaster:</p> <ol style="list-style-type: none"> i. Rescue as much as possible ii. Relief distribution

	<p>iii. <i>Recovery</i> iv. <i>Rehabilitation</i></p> <p>b. Preparedness</p> <p>i. <i>CRA</i> ii. <i>Volunteer development</i> iii. <i>UDMC capacity building</i> iv. <i>Community capacity building</i></p> <p>To achieve the responsibility, the following strategy is followed.</p> <p>Firstly, in head office a team will be working for coordinating emergency response programme and in every centre office there will be an emergency team who will implement the emergency response programme at the time of disaster. Initially CO team will work for their working area and if it is required they will be deputed in other area for implementing programmes. All Shushilan staff and selected community volunteers will be trained on disaster management and they will be responsible for implementing response programme accordingly.</p> <p>Secondly, Central team will maintain a close liaison with different programme, CO, CBOs, Govt and other national/international agencies for mobilising external and internal resources effectively and will be implementing programmes in consultation with the Shushilan advisory board.</p>
<p>2. What is your organization's implementation policy in disaster risk management and future perspective?</p>	<p>Summary of the implementation policy in disaster risk management:</p> <p><u>Minor Disaster</u></p> <p>Assessment: Team Leaders (TL) and One assistant (e.g. Supervisor, Field worker etc.) from central committee will join the assessment team.</p> <p>Response: Respond, if the initial assessment recommends.</p> <p>Funding: From Shushilan's Contingency Budget (up to Tk 50,000)In case of requiring more, central team will mobilize fund from internal/external sources.</p> <p>Implementation: Implementation is done by centre office staff in collaboration with community volunteers, local club, partner etc. One</p>

	<p>member from central committee will be responsible for monitoring and supervision.</p> <p>Time frame Assessment: One day or shorter Relief: Up to Two weeks Rehabilitation: Six months</p> <p><u>Major Disaster</u></p> <p>Assessment: Team Leaders (TL) and One assistant (e.g. Supervisor, Field worker etc.)from central committee may join the assessment team.</p> <p>Response: Respond, if the initial assessment recommends.</p> <p>Funding: From Shushilan’s Contingency Budget (up to Tk 100,000), In case of requiring more, central team will mobilize fund from internal/external sources.</p> <p>Implementation: Implementation is done by centre office staff in collaboration with community volunteers, local club, partner etc. One member from central committee will be responsible for monitoring and supervision.</p> <p>Time frame : Assessment: One day or shorter Relief: Up to Two weeks Rehabilitation: Six months</p> <p><u>National Disaster</u></p> <p>Assessment: Teams will be formed as required. (Team members includes team leaders, supervisors, field worker etc)</p> <p>Response: Respond</p> <p>Funding: In assistance with the advisory board Central team will mobilize fund from internal and external sources.</p>
--	--

3. What is your current situation of efforts in disaster management?

SL	Name of the Project	Donor	Duration	Working Area
1	Adapting Natural Resource Management to Climate Change and Increasing Salinity	DFID/ SHIREE	September'2009 to August'2012	Barguna Shyamnagar & Jessore
2	Capacity Building & Agriculture Management Development for Adaptation to Climate Change	NGO Foundation	June'2010 to September,2012	Kaliganj Shyamnagar Upazila under Satkhira District
3	Promoting and utilization of sustainable soil Management and participatory agricultural Development practices to improve household food Security in coastal Bangladesh	Ministry of Agriculture Government of Peoples Republic of Bangladesh/EU	01 July 2010 to 31'December'2012	Kaliganj, Shyamnagar, Dacop, Koyra, Shronkhola, Mongla, Nesherbud, Amtoli Barguna Sadar, Kolapara Galacipa Shubornachar Tecnaf
4	Disaster Resilience Habitat At Bainpara	CDMP	1'March'2011 to 28th February'2012	Khulna
5	Disaster Resilience Habitat At Gazipara	CDMP	1'March'2011 to 28th February'2012	Khulna
6	Reducing Climate Change Induced Vulnerabilities through integrated Adaptation and Mitigation measures	Christian Aid	1'March'2011 to February'2014	Satkhira
7	Increasing Resilience and Reduction Risk of Coastal Communities to Climate Change and Natural Hazards in the Bay of Bengal	Concern Worldwide	01 February '2011 to 31st January 2016	Barguna & Satkhira
8	The project of Union parishad led safe Water, Sanitation and Hygiene Promotion in South-West Coastal area	European Commission	1st April'2011 to 31 March 2014	Bagherhat
9	Community Nutrition Program under the MDGAchievement Fund in Barisal Division	Unicef	17 April'2011 to 16 April'2012	Barisal Division
10	Emergency response to flood affected household	WFP	25 September'2011 to 24 January'2012	Tala Debhata, Assushuni And Satkhira
11	Climate Change Adaptation Focusing Safe Water Sanitation and Hygiene Promotion Coastal Area of Bangladesh	Water Aid Bangladesh	01 october'2011 to 30 September'2014	Shyamnagar Upazilla Under Satkhira District
12	Flood Resistant and sanitation for south - region of Bangladesh (FRESH)	CARE	1st february 2012 to 31st January 2013	1771 flood resistant house with latrine facility in 4 Union under Tala Upazila in Satkhira District.

<p>4. Has your organization experienced any difficulties or challenges in reducing risks against disasters?</p>	<p>a. Impartial beneficiaries selection b. Interference of Local Governmental representatives. c. In some cases of political influence. d. Communication barrier.</p>																																																																	
<p>5. Who are the current donor partners to your organization?</p>	<p>Disaster Field : UNDP, WFP, UNICEF, Concern WorldWide, Christian Aid, Oxfam, CDMP</p> <p>Development Field : DFID, Danida, D.Net / Manusher Jonyo, European Union, Global Plant Clinic, IRRI / BMGF, LGED, Ministry of Agriculture/EU, Ministry of Health & Family Welfare / The World Bank, Oxfam GB, UNICEF, Water Aid Bangladesh, WFP, World Health Organization (WHO), UNDP, ActionAid</p>																																																																	
<p>6. Please give us information of past project implemented by your organizations (mainly for past 10 years)</p>	<p><i>Refer to Project Summary Sheet attached.</i></p> <p><u>Disaster related past project list</u></p> <table border="1" data-bbox="504 1039 1334 1904"> <thead> <tr> <th>SL</th> <th>Name of the Project</th> <th>Donor</th> <th>Duration</th> <th>Working Area</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>Disaaster Preparedness Project</td> <td>Concern W/Wide</td> <td>1.4.04-31.12.04</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Reducing Vulnerability to the Climate Change(RVCC)</td> <td>CARE/CIDA</td> <td>2003-2005</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>Community Risk Assesment at Debhata of Satkhira District</td> <td>CDMP-DMRB/UNDP</td> <td>2006-2007</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Emergency Response to Flooding in South-west Bangladesh</td> <td>Concearn Worldwide</td> <td>2006</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>Capacity Building of union Level Disaster Management Committees to reduce vulnerability of the community in Shaymnagar upazila under Satkhira district of southwest coastal region of Bangladesh</td> <td>CDMP-DMRB/UNDP</td> <td>2006-2008</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>Shushilan Cyclone Shelter-cum-Human Resource Development Centre</td> <td>Japan Embassy and Shushilan</td> <td>2006-2007</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>Nature of Emergency response: Essential non-food item and safe drinking water</td> <td>UNDP</td> <td>26.11.07-31.12.07</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>Coastal biodiversity conservation through creating AIG facilities</td> <td>Arannyak Foundation</td> <td>2007-2009</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>Emergency Relief of Bagerhat, Khulna and Satkhira district</td> <td>UNDP</td> <td>17.11.07-2.12.08</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>Relief and rehabilitation support to cyclone SIDR victims</td> <td>WFP</td> <td>6.12.07-15.6.08</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>Emergency food support to cyclone SIDR affected families of Bagerhat district</td> <td>BBL</td> <td>1.12.07-31.12.07</td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>Emergency food and non-food support to cyclone SIDR affected families of Khulna and Satkhira district</td> <td>UNDP</td> <td>1.11.07-31.3.08</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	SL	Name of the Project	Donor	Duration	Working Area	1	Disaaster Preparedness Project	Concern W/Wide	1.4.04-31.12.04		2	Reducing Vulnerability to the Climate Change(RVCC)	CARE/CIDA	2003-2005		3	Community Risk Assesment at Debhata of Satkhira District	CDMP-DMRB/UNDP	2006-2007		4	Emergency Response to Flooding in South-west Bangladesh	Concearn Worldwide	2006		5	Capacity Building of union Level Disaster Management Committees to reduce vulnerability of the community in Shaymnagar upazila under Satkhira district of southwest coastal region of Bangladesh	CDMP-DMRB/UNDP	2006-2008		6	Shushilan Cyclone Shelter-cum-Human Resource Development Centre	Japan Embassy and Shushilan	2006-2007		7	Nature of Emergency response: Essential non-food item and safe drinking water	UNDP	26.11.07-31.12.07		8	Coastal biodiversity conservation through creating AIG facilities	Arannyak Foundation	2007-2009		9	Emergency Relief of Bagerhat, Khulna and Satkhira district	UNDP	17.11.07-2.12.08		10	Relief and rehabilitation support to cyclone SIDR victims	WFP	6.12.07-15.6.08		11	Emergency food support to cyclone SIDR affected families of Bagerhat district	BBL	1.12.07-31.12.07		12	Emergency food and non-food support to cyclone SIDR affected families of Khulna and Satkhira district	UNDP	1.11.07-31.3.08	
SL	Name of the Project	Donor	Duration	Working Area																																																														
1	Disaaster Preparedness Project	Concern W/Wide	1.4.04-31.12.04																																																															
2	Reducing Vulnerability to the Climate Change(RVCC)	CARE/CIDA	2003-2005																																																															
3	Community Risk Assesment at Debhata of Satkhira District	CDMP-DMRB/UNDP	2006-2007																																																															
4	Emergency Response to Flooding in South-west Bangladesh	Concearn Worldwide	2006																																																															
5	Capacity Building of union Level Disaster Management Committees to reduce vulnerability of the community in Shaymnagar upazila under Satkhira district of southwest coastal region of Bangladesh	CDMP-DMRB/UNDP	2006-2008																																																															
6	Shushilan Cyclone Shelter-cum-Human Resource Development Centre	Japan Embassy and Shushilan	2006-2007																																																															
7	Nature of Emergency response: Essential non-food item and safe drinking water	UNDP	26.11.07-31.12.07																																																															
8	Coastal biodiversity conservation through creating AIG facilities	Arannyak Foundation	2007-2009																																																															
9	Emergency Relief of Bagerhat, Khulna and Satkhira district	UNDP	17.11.07-2.12.08																																																															
10	Relief and rehabilitation support to cyclone SIDR victims	WFP	6.12.07-15.6.08																																																															
11	Emergency food support to cyclone SIDR affected families of Bagerhat district	BBL	1.12.07-31.12.07																																																															
12	Emergency food and non-food support to cyclone SIDR affected families of Khulna and Satkhira district	UNDP	1.11.07-31.3.08																																																															

13	Community Risk Assessment under Barguna district	CDMP-DMRB/UNDP	1.5.08-31.10.08	
14	Cyclone Shelter-cum-School building construction	Grameen Phone	21.8.08-20.7.11	
15	House construction of SIDR affected People under Bagerhat district	UNDP	15.4.08-30.7.08	
16	Distribution of Micronutrient powder to cyclone affected children and women in Barguna district	UNICEF	1.2.08-1.6.08	
17	Saline tolerant Rice seed production in south-west coastal region of Bangladesh	BIRRI	1.6.08-31.5.09	
18	Emergency food support to cyclone SIDR affected families of Barguna district(Nutrition Intervention)	WFP	1.2.09-31.7.09	
19	Emergency assistance for SIDR cyclone affected people in Patuakhali district	UNDP		
20	Distribution of Micronutrient powder(MNP) to under-five(6-59months)children and pregnant-lactating women in cyclone SIDR affected district of Satkhira	UNICEF	15.4.09-31.5.09	
21	Enhancing Environmental Health by Community Organization(EHCO)	WaterAid Bangladesh	1.4.09-31.3.12	
22	Emergency WATSAN Support to cyclone ALIA Victims due to cyclone -AILA in Satkhira district	"	25 August'09 - 24 October'09	
23	Emergency Safety net for vulnerable groups affected by high food prices and natural disasters in Bangladesh	FAO	September'09 to December'09	
24	Livelihood Recovery Support for Aila Affected Families of two Unions of Shyamnagar Upazila in Satkhira District	UNDP	October'09-February'10	
25	"Water & Sanitation Early Recovery Response to the cyclone AILA Affected Families "	Concern World wide & UNICEF	20 December'09 - 19 March '10	
26	Emergency Safety net for vulnerable groups affected by high food prices and natural disasters in Bangladesh	FAO	20'10	
27	The Domestic Response to Humanitarian Crises in Bangladesh	Development Initiatives-UK	January; 10 -May '10	
28	Early Recovery and Rehabilitation support to vulnerable Families Affected by cyclone AILA Satkhira District"	Concern world wide	15 January'10-10January'11	
29	Livelihood Recovery Support for The Aila Affected people of Munshuganj Union of Shyamnagar Upazila in Satkhira District	ChristianAid Bangladesh	march '10 to February'11	
30	Search for adaptable model of urine Diversion Laterine(UDL) in emergencies for disaster affected displaced population.	Oxfam	1 May 2010 to 30 April 2011	
31	Water & Sanitation and Response to the Cyclone Aila affected displaced families in Shyamnagar and Assushuni Upazila in Sathhira District	Concern Worldwide & UNICEF	15 October'2010 to 30 September '2011	
32	Implementation pf Structural Risk Reduction Interventions at Sidr/Aila Affected Coastal Areas	CDMP	27 October'2010 to February 2011	
33	Joint UN response to cyclone Aila	UNICEF	11'November'1010 to 10 July' 2011	

	34	Enhancing Resilience (ER) activity under the country Program in 2011	WFP	15 November'2010 to 31December'2011	
	35	United Nations Joint Program/Bangladesh/042/SPA	FAO	13 January'2011 to 12 January'2012	
	36	Food Distribution to Aila Victims in Khulna & satkhira	WFP-Joint UN Response	23 January'2011 to 15 March'2011	
	37	Emergency Aid in Favour of Communities Affected by Floods and Water Logging Bangladesh	Oxfam	1st September'2011 to 31 January'2012	
7. What are the future projects under preparation by your organization?	<ul style="list-style-type: none"> a. ER b. CDMP c. UDMC capacity building d. Shiree scale up program 				
8. Do you have any specific request what kind of project to be supported by international donors? If yes, please summarize the contents of projects.	<ul style="list-style-type: none"> I. Volunteer development II. Disaster resilient infrastructure development III. Up gradation for disaster signal system. IV. Capacity development for small scale community organization. V. Agricultural diversification 				
9. What is your opinion for the current Standing Order on Disaster (2010) in view of functionality at central (Dhaka) and branch (Khulna and others) offices?	<p>The present edition (2010) is a substantial improvement over the previous editions (2007). New features introduced in this edition include, among others, the following:</p> <ul style="list-style-type: none"> a) a better organized table of content, b) a more comprehensive list of definitions, c) a list of abbreviations, d) an outline of disaster management regulative framework, e) an introduction of core groups for emergency response at various levels, f) a new section on multi-agency disaster incident management system, 7) an introduction of risk reduction roles and responsibilities for all committees and agencies, g) new outlines for local level Plans, h) revised cyclone waning signals, i) a report on cyclone shelter design, j) revised Form D, 				

What is your opinion for the PREVIOUS Standing Order on Disaster (2007) compared to the current order of 2010?	<p>k) two new appendixes containing specific roles and responsibilities relating to earthquake and tsunami hazards, etc.</p> <p>Conceptually, this edition follows a comprehensive approach emphasizing risk reduction as well as emergency response relating to all hazards and all sectors.</p>
	<p>N/A</p>

PROJECT SUMMARY SHEET

Project Title	Flood Resistant and sanitation for south - region of Bangladesh (FRESH)
Duration	1 st February 2012 to 31 st January 2013
Budget	Approximately BDT 143039600
Counterpart	N/A
Implementation Organization	Shushilan
Scheme	<input type="checkbox"/> Development Study <input type="checkbox"/> Technical Assistance <input type="checkbox"/> Grant Aid <input type="checkbox"/> Loan <input type="checkbox"/> Others ()
Target Disaster	<input type="checkbox"/> Flood <input type="checkbox"/> Cyclone(Tidal Surge) <input type="checkbox"/> Earthquake <input checked="" type="checkbox"/> Others (Water logging)
Disaster Risk Management Cycle	<input type="checkbox"/> Preparedness <input type="checkbox"/> Mitigation <input type="checkbox"/> Emergency Response <input checked="" type="checkbox"/> Rehabilitation/Reconstruction
Coordination with Other Donors	<input type="checkbox"/> Yes (Name of Donor: CARE Bangladesh) <input checked="" type="checkbox"/> No
Project Background and Objective	Objective : 1. To build individual shelter for water logging affected people in south region of Bangladesh.
Project Result	N/A
Recommendations	1. 1711 Home stead raising re-construction of full individual family housing. 2. 1711 Individual sanitary latrine. 3. Personnel hygiene and WASH awareness development.
Lessons Learned	N/A

Issues	N/A
Others	N/A

添付資料3 コミュニティ防災に関わる現地調査結果

A.1 ポルダ-7/1 の地域情報

A.1.1 調査対象地区

ポルダ-7/1 において選定された聞き取り調査の対象地区は、以下の通りである。

District	Thana	Union	Village
Satkhira	Shymnagar	Padmapukur	Kedar Bazar

A.1.2 対象地域の情報

(1) 一般情報

Kedar Bazar 村は、バングラデシュにおいて 20 年ほど前に政府が入植政策を行った地域の一つで、住民の大半がその際に移住してきている。現在、同村には 270 世帯が生活している。村の主要な経済活動は、農業や漁業（エビの養殖業等）のほか、日雇いの労働となっている。村では生活用水として村内の深井戸を利用していた。しかし、サイクロン「アイラ」により現在この深井戸が使えなくなっているため、隣村の別の深井戸まで片道 40 分の距離を女性や子供が 1 日 3~4 回歩いて水汲みを行っている。電気はなく、夜間照明として日常的にアルコールランプを使用している。

また同村には、堤防の維持管理を行う「WMG」のような組織はない。CPP の活動も実施されていない。サイクロンシェルターも設置されていない。

(2) サイクロン「アイラ」による被災状況および復旧・復興状況

サイクロン「アイラ」の際、雨が降り出したのは午前 10 時頃で、その後急激に風が強まり、14 時 30 分頃に高潮が発生した。上述の通り、村にはサイクロンシェルターはなく、近隣にある最も近いサイクロンシェルターまでは 1.5m の距離がある。高潮によって約 4~6 フィート（約 1.2~1.8m）浸水したため、田畑には現在も塩水が残り農業ができない状況である。

Kedar Bazar 村では、被災後、高潮や堤防の破堤により土地や家屋を失った住民に対して、政府が代替地を提供し、UNDP 支援によってローカル NGO である BRAC が高床式の家屋を建設している。しかし、代替地の場所は平常時でも風が強く、雨天の際には家屋内に雨が入りこむ等の問題があり、住民の多くが建設された家屋を利用せず、背丈の低い家屋を自ら設置して生活をしている。また、同代替地区には高床式の学校も建設されており、サイクロンシェルターとしての機能も期待される。

A.2 インタビュー調査の結果

A.2.1 回答者の情報

インタビュー調査を行った住民の情報を以下の通りである。

回答者	Nurul Islam (世帯主)
年齢	40歳
性別	男性
就学年数	0年
家族構成*	6人：男性2人、女性4人 (12歳以下の子供：男子1人、女子1人)
世帯主の職業	日雇い労働 (土木関係を主)
宗教	イスラム教
世帯収入 (月額)	現在：2,500tk、「アイラ」前：4,500tk
所有土地面積	0.08 エーカー (約 323.8 m ²)

注) *生活と共にする家族



回答者の Nurul Islam 氏

A.2.2 サイクロン「アイラ」の被災時の状況

(1) 予警報の伝達状況と住民の避難意識

回答者がサイクロン「アイラ」襲来の事実を知ったのは、雨が降り出す1時間ほど前の午前9時頃であった。ラジオで予警報シグナル「7」のサイクロンが襲来すると報道された。過去のサイクロン「シドル」では予警報シグナル「10」だったため、予警報シグナル「7」のサイクロン「アイラ」がここまで凄い被害を及ぼすものとは思っていなかった。サイクロン「アイラ」の方が、風、雨ともに強く、高潮も6フィート(1.8m)以上のものが襲ってきた。サイクロン「シドル」では、高潮の高さも約3フィート(約0.9m)で、水もすぐにひいたとのことである。

回答者は、サイクロン「アイラ」襲来以前はラジオからのサイクロン情報を信じていなかった。しかし、今回大きな被害を受けたため、現在はラジオの情報を最も信頼している。Kedar Bazar 村では、サイクロン「アイラ」襲来時にマイク放送やメガホンでの予警報はなかった。被災後、現在ではカリタス、JJS、スシロンといった NGO がサイクロン防災の活動として住民の組織化、予警報伝達の仕組み、女性へのトレーニングを実施している。

(2) 避難行動、避難時の懸念事項および避難場所（サイクロンシェルター）の状況

上述の通り、回答者はサイクロン襲来を1時間前に認識していたが、すぐに避難せず、高潮が遠方の家を押し流して行くのを自宅の窓から目視して、急いでサイクロンシェルターに避難を開始している。回答者は、「Kedar Bazar 村は比較的堤防が強固であったため他の地域に比べて破堤までの時間を稼ぐことができた」と考えている。避難の際は、まず回答者が子どもを連れてサイクロンシェルターに行き、すぐに奥さ

んを迎えに家に戻ってそのまま一緒に移動している。サイクロンシェルターまでの道は高潮によって水没しやっと歩ける程度であったため、回答者の助けなしに奥さんと子どもが避難することは困難であったようである。また避難時は、家や家畜のことが心配で現金や装飾品だけでも持って避難したいと考えていた。しかし、結局何一つ持参することはできず、サイクロンシェルターに移動中も家財が流されてしまうことが心配であったようである。

回答者の避難したサイクロンシェルターは被災者であふれ、子どもや女性たちが皆泣いている状態であった。サイクロンシェルターには食糧や水の備蓄もなく、寝るスペースもなかったとのことである。また、塩水によって肌がただれる人や下痢に苦しむ人が大勢いたようである。高潮によって堤内地に入り込んだ水は約2週間溜まっていたため、回答者の家族はサイクロンシェルターで避難後1ヶ月間ほど生活をしている。サイクロンシェルターの状況は劣悪ではあったものの、内部は安全であったため、回答者は家族とともにそこへ避難したことを正解であったと考えている。

(3) サイクロン「アイラ」による被災状況

回答者の場合、家族の中に死傷者は出なかった。被災状況について確認したところ、同人の収入はサイクロン「アイラ」の前の4500tk/月から被災後の約2500tk/月に減少している。同人の主な生計手段は日雇い労働であるが、サイクロン「アイラ」襲来後、仕事が激減し収入も減ったようである。一方、家財の損害については、家畜（ヤギ6匹、鶏10羽）が全滅し、竹と藁でできた家屋もサイクロン「アイラ」襲来の際、高潮で全て流されてしまっている。

(4) 緊急支援および生活再建支援の状況

緊急支援に関しては、回答者の場合、サイクロン「アイラ」襲来の翌日に緊急支援物資とし5kgの米をもらい、1週間後に米と毛布を受領している。1週間後に米を配給されるまでは、地域の資産家がチラやムリなどの保存食を配ったようである。こうした緊急支援物資の支援は、おおよそ1ヶ月程度の間様々なNGOが実施している。また、生活再建用として、家畜（4羽の鶏）をDream BangladeshというローカルNGOから受領し現在飼育しているとのことであった。他方、政府からの支援としては、被災から1年後に3000tk/世帯を受け取っている。

回答者の家族がサイクロンシェルターでの避難生活の後家に戻ってくると、家屋は全て流されていた。そのため、跡地に藁や流木、ビニールシートなどの支援物資を使って家を建てしばらく生活していた。その後、ローカルNGOのBRACがUNDPの資金で現在の高床式の家を建ててくれたそうだ。しかし、この高床式家屋は建設直後から雨漏りし、風で瓦が揺れて家が飛びそうなため、回答者の家族も不安な状態が続いている。生活再建の際の資金について確認をしたところ、日雇い労働を主な生計手段としている回答者の場合、NGOがマイクロクレジットの貸付を行っていない。そのため、サイクロン「アイラ」襲来の前後とも借金はせず、生活再建としては自己の貯蓄を使い鶏の雛を購入して飼育しているとのことである。

(5) 生活再建に対する課題・ニーズ

回答者が考える生活再建の課題・ニーズは以下の通りである。

- ① 地域の生計手段が限られている点
対象地域では、高潮による浸水で長期間に亘り農地が水につかっていた影響から、現在もなお塩水で農業が全く行えない状況にある。回答者もサイクロン「アイラ」襲来以前は農作業の日雇い労働などを行っていたが、現在は土木系の日雇い労働のみで、その仕事も常時ないため生活の維持に不安を感じている。
- ② 堤防の改修の必要性
サイクロン「アイラ」襲来によって堤防が破堤し内部まで水が入り込んでいるほか、堤防が生活道路として利用できず、隣村に行くためにもボートを使わなければならない。堤防の改修が必要である。
- ③ 子供の教育
村の学校はアイラで被災し2年間閉校したが、3ヶ月前（2011年12月頃）に再開した。その間子ども達は学校に通学できなかったため、子ども達の教育の遅れが心配である。

A.3 質問票調査の結果

A.3.1 予警報の伝達状況と伝達手段

Kedar Bazar 村の質問票調査の対象者 30 人のうち、サイクロン「アイラ」の襲来に関する情報を事前に知っていた住民は 10 人で、20 人の住民は事前にサイクロン襲来に関する情報を得られていない。情報を得ていた住民の情報入手時期としては、高潮襲来の前日が 3 人、12 時間前が 1 人、6 時間前が 6 人であった。

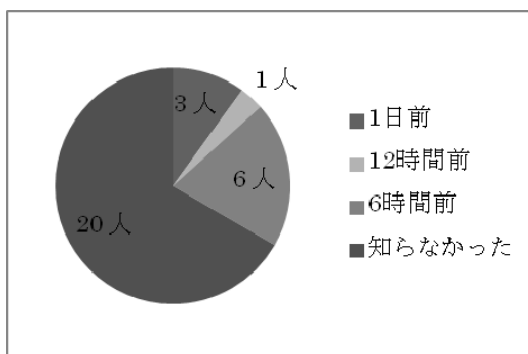


図 A.3.1 サイクロン情報の入手時期 (n=30)

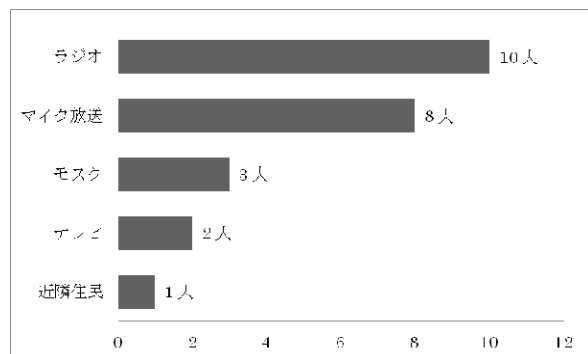


図 A.3.2 サイクロン情報の入手先
※情報を事前に知っていた住民のみが対象(n=10)
※複数回答可

事前にサイクロン襲来の事実を知っていた住民全員（10人）は、「ラジオ」から情報を入手している。そのうち8人は、「ラジオ」に加え「マイク放送」からもサイクロン

情報を確認している。住民の回答結果から、サイクロン情報の入手先は「ラジオ」、「マイク放送」、「モスク」、「テレビ」などの複数あるものの、回答者の大半には情報が伝達されていないことが理解できる。なお、対象地区では、CPP やユニオン防災委員会を通じたサイクロン情報の伝達は行われていなかった。

こうした情報伝達手段の中で最も信頼できるものを質問票調査において確認したところ、対象者 30 人中 29 人が「ラジオ」、残り 1 人が「マイク放送」と回答している。ラジオを最も信頼する情報伝達手段として挙げている一方で、対象者 30 人の中でラジオを所有している住民は 5 人だけであった。

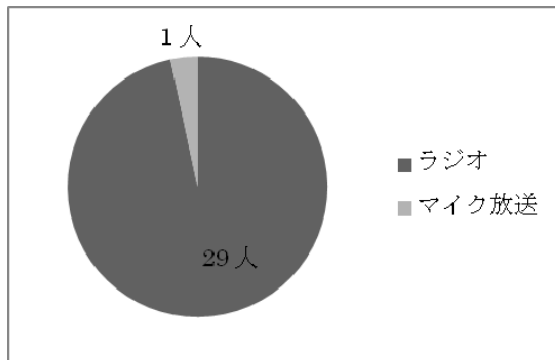


図 A.3.3 最も信頼できるサイクロン情報源 (n=30)

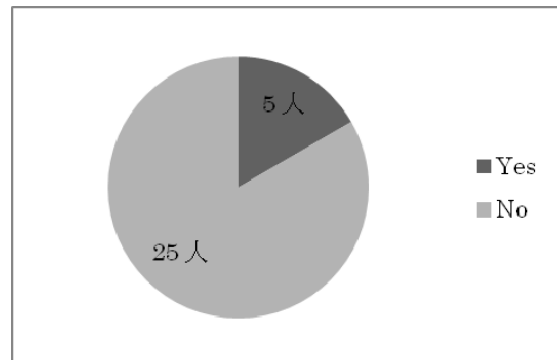


図 A.3.4 ラジオの所有率(n=30)

他方、質問票調査の対象者 30 人のうち 19 人が携帯電話を所有している。バングラデシュでは、販売されている携帯電話の大半にラジオの機能がついており、携帯電話を利用してラジオ放送にアクセスすることができる。従って、ラジオを持っていない住民でも携帯電話を持っていればラジオ放送が確認できるのである。

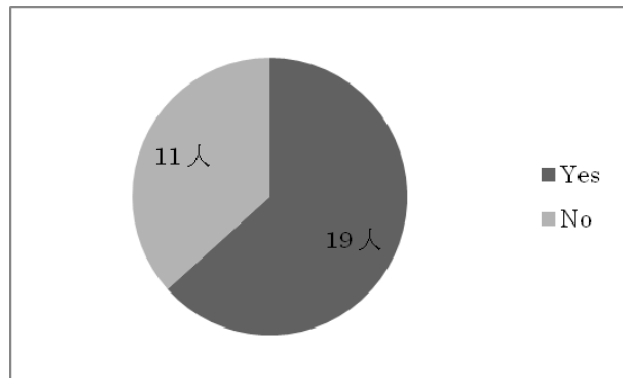


図 A.3.5 携帯の所持率 (n=30)

A.3.2 避難行動および避難場所の状況

図 A.3.6 で示した通り、質問票調査の対象者 30 人のうち、サイクロン「アイラ」による高潮前に避難行動をとっているものは 6 人で、24 人の住民は事前の避難行動をとっていない。その背景としては、上述の通り調査対象者の多くが「サイクロン襲来の事実を知ら

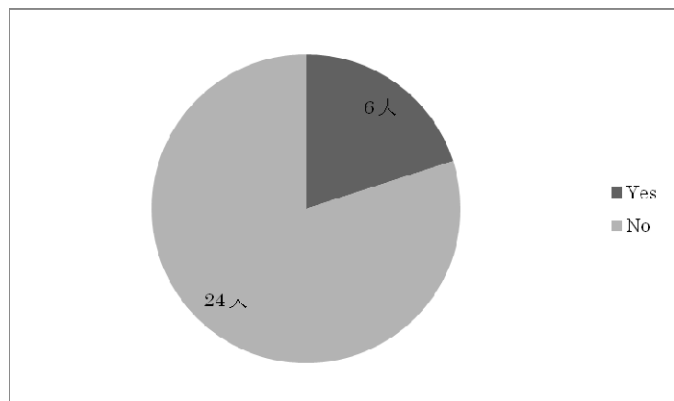


図 A.3.6 事前（高潮発生前）の避難行動の有無 (n=30)

なかった」という予警報伝達の問題が挙げられる。しかしその一方で、サイクロン襲来の事実を事前知っていた 10 人の住民全員が避難行動をとっているわけではない。この回答結果から、予警報が本来の目的である『住民の事前の避難行動』に結びついていないという状況が理解できる。また、図 A.3.7 に示した通り、質問票調査の「避難の際に心配なこと」として、26 人が「家屋・家財の損失」、9 人は「家族の離散」、6 人は「家畜の損失」、1 人は「盗難」といった家族の心配や家財・家畜等の資産の損失について挙げている。一方、「避難場所が遠い」、「避難場所までの道が悪い」といった避難先と避難道の小ささも懸念事項として挙げられている。こうした住民の不安が事前の避難行動の妨げになっていると考えられる。

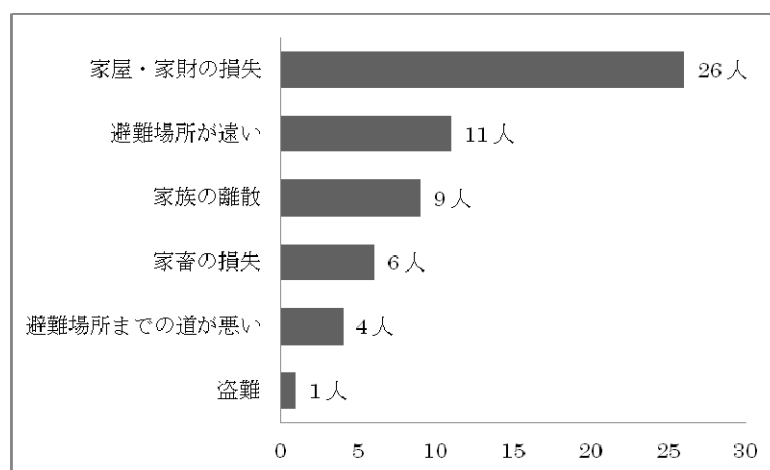


図 A.3.7 避難の際に心配なこと (n=30)
※複数回答可

避難時の状況に関しては、高潮発生の前後に係わらず、質問票調査の対象者 30 人のうち 26 人が、現金や食糧、家畜といった家財を持ち出せていない。このことから、多くの住民が、高潮が発生し命の危険が目の前に明確に迫った段階で、着の身着のまま避難行動をとっていると考えられ、同時にサイクロン「アイラ」によって資産の大半を失ったと推測される。

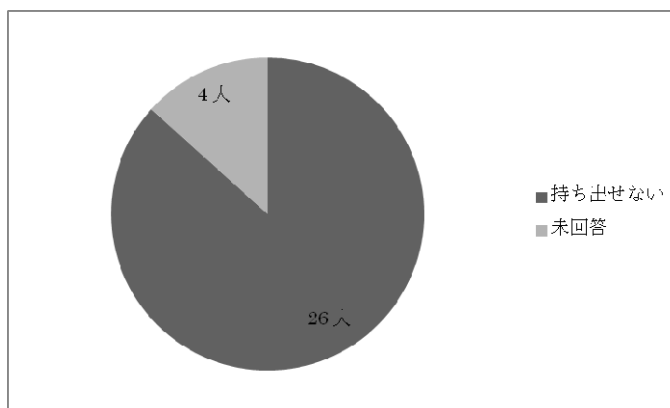


図 A.3.8 避難時の家財の持ち出しの有無 (n=30)

サイクロン「アイラ」襲来の際の避難場所については、質問票調査の対象者 30 人のうち、10 人が「サイクロンシェルター」を挙げ、割合としては最も大きい。その一方で「他人の家」に避難したと回答する住民も 7 人となっている。これは、近隣の家屋でコンクリートやレンガでできた強固な建築物に避難したと考えられる。また、6 人の住民は「堤防」、2 人は「木の上」に避難している。サイクロン襲来時は、堤防の上部まで

高潮の水が達しているため決して安全な場所とは言えないが、「堤防の上」あるいは「木の上」といった場所は、住民が高潮から命を守るための緊急的な避難場所であるとも言える。

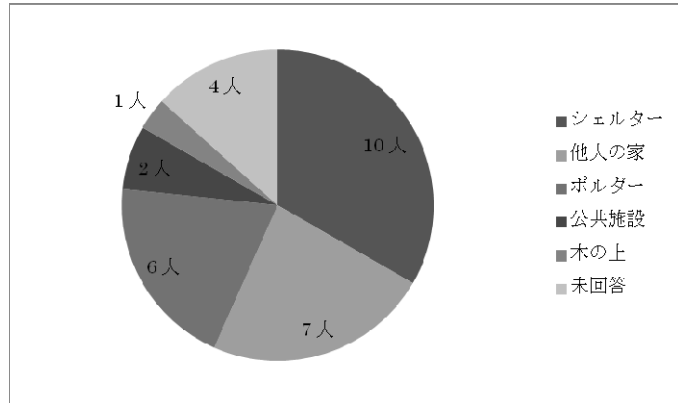


図 A.3.9 避難場所 (n=30)

A.3.3 被災後の支援と生活再建の状況

「アイラ」襲来後も雨風で家屋が倒壊する、高潮による浸水で家屋が流される、あるいは堤防の破堤により浸水した水がひかない、等の状況が続いたため、住民の多くが自宅に戻れずシェルターや堤防の上等で長期間に亘り避難生活をおくっている。質問票調査の対象者 30 人の中にも一時的に「堤防の上」に居住して生活を開始したものが 10 人、「サイクロンシェルター」で生活していた住民が 1 人、「友人宅」に避難していたものが 2 人存在している。

被災後の支援として、対象者 30 人全員が米の配給を受けている。水や油といった食糧支援に加え、テントやビニールシートといった家屋の再建のための支援もみられる。高潮により対象地域の住民の家財一式が流されていることから、調理器具も支援されている。

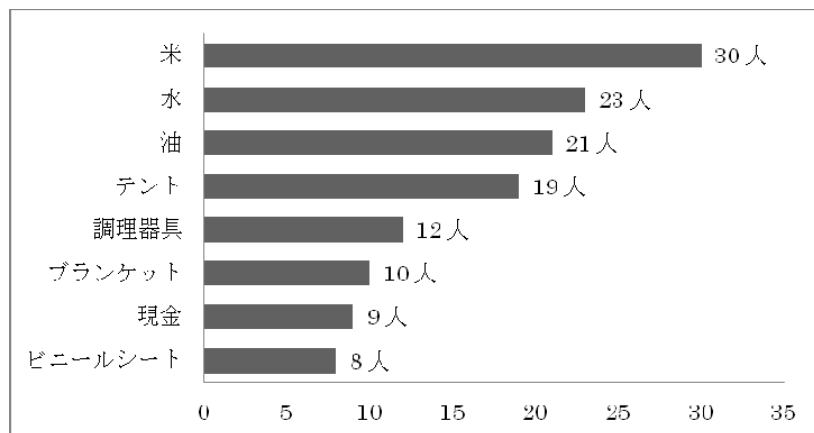


図 A.3.10 被災後に受け取った支援物資 (n=30)
※複数回答可

質問票調査の中でサイクロン「アイラ」襲来前後の収入の変化について確認したところ、調査対象者 30 人の平均月収は、5,277tk から 3,267tk へ減少している。これは、農地が高潮によって浸水し農業ができなくなったことや、日雇い労働の仕事の減少が原因であると考えられる。他方、住民の重要な資産である家畜の数にも減少がみられる。質問票調査の対象者の場合、1 世帯あたりの牛の平均所有数は 1~2 頭から 0~1 頭に、ヤギの平均所有数は 2~3 匹から 0~1 匹に減少した。鶏やアヒルの平均所有数は 12~13 羽から 5~6 羽と大幅に減少した。一方、ヒツジの平均所有数は 0~1 頭で、サイクロン「アイラ」前後では大きく変化はみられなかった。

生活再建にあたり、質問票調査の対象者 30 人のうち 13 人がマイクロクレジットを活用している。借入れ金額は、5,000tk から 20,000tk で、平均すると 9,615tk となっている。住民が被災後に利用した主なマイクロクレジット機関としては、Ganamukhi (8 人)、グラミン銀行 (3 人)、BRAC (3 人) が挙げられる。多くの住民が大手のマイクロクレジット機関を利用していること、一人の住民が複数の機関を利用していることなどが理解できる。サイクロン「アイラ」の被災前に借りていたマイクロクレジットに関しては、1 ヶ月から 2.5 年まで支払い猶予が与えられている。マイクロクレジット機関は、住民の生活がある程度回復し、支払いが可能になるまで返済に関して一定の猶予を持たせているようである。

ポルダ-7/1 の状況



UNDP 支援で BRAC が建設した高床式住宅



高床式住宅の内部構造
(雨が入りこみ生活していない住民もいる)



UNDP 支援で BRAC が建設した学校



学校の内部



塩水につかり耕作できなくなった農地



UNDP が支援したトイレ

B.1 ポルダ-7/2 の地域情報

B.1.1 調査対象地区

ポルダ-7/2 において選定された聞き取り調査の対象地区は、以下の通りである。

District	Thana	Union	Village
Satkhira	Shymnagar	Padmapukur	Banyatala

B.1.2 対象地域の情報

(1) 一般情報

Banyatala 村の世帯数は 255 世帯である。村の主要な経済活動は、農業、漁業（エビの養殖業等）、日雇い労働である。住民の生活用水は、一年を通じて深井戸を利用している。電気はなく、夜間照明としてアルコールランプを使用している。

堤防の維持管理を行うための「WMG」は設立されていない。また、村内にはサイクロンシェルターがなく、CPP の活動も実施されていない。

(2) サイクロン「アイラ」による被災状況および復旧・復興状況

Banyatala 村では、サイクロン「アイラ」襲来当日午前 10 時頃から急に悪くなり、雨が降り始め、11 時頃から風が強まり、11 時 30 分頃に高潮がきた。水は 30 分程で約 6 フィート（約 1.5m）に達した。高潮の水は 2 週間程度ひかず、その後も村内の場所によっては 1 年以上水が残っていた。

上述の通り同村にはサイクロンシェルターはない。最も近いサイクロンシェルターでも村から 3km ほどの距離がある。そのため、サイクロン「アイラ」襲来の際は、多くの住民が 2km 離れた学校や、村で唯一のコンクリート製でできた住居である資産家の家屋に避難した。サイクロン「アイラ」襲来の際、学校までの道は浸水して住民が歩くことは出来なかったほか、サイクロンシェルターまでの道は壊れてしまった。被災後、サイクロンシェルターまでの壊れた道は LGED が修復を行い、その工事も現在は完了している。また、被災の影響で地域の米の価格が 25tk/kg から 40tk/kg に値上がりしたが、現在の米市場価格は元の価格水準に戻っている。

B.2 インタビュー調査の結果

B.2.1 回答者の情報

インタビュー調査を行った住民の情報を以下の通りである。

回答者	Nur Muhammad (世帯主)
年 齢	56 歳
性 別	男性
就学年数	10 年
家族構成*	6 名：男性 4 名、女性 2 名 (12 歳以下の子供：男子 0 名、女子 0 名)
世帯主の職業	小学校教師
宗 教	イスラム教
世帯収入 (月額)	現在：4,500tk、「アイラ」前：3,200tk *教師の基本給は「アイラ」の後改訂されている
所有土地面積	1.65 エーカー (約 6,677.3 m ²)



回答者の Muhammad 氏

注) *生活を共にする家族

B.2.2 サイクロン「アイラ」の被災時の状況

(1) 予警報の伝達状況と住民の避難意識

回答者の場合、ラジオもテレビも持っていたが、サイクロン「アイラ」襲来の前に視聴していなかったため襲来する情報を知らなかった。しかし、村内ではマイク放送による予警報情報の伝達もなかった。サイクロン「アイラ」襲来の当日、早朝まで良かった天気は午前 10 時頃から急に悪くなり始め、雨も降り出し、11 時頃から風が強まり、11 時 30 分頃に高潮がきた。高潮による水は 30 分程で約 6 フィート (約 1.5m) に達した。

(2) 避難行動、避難時の懸念事項および避難場所 (サイクロンシェルター) の状況

回答者は 20 歳の時に足を怪我して以来歩くことが出来ないため、サイクロン「アイラ」襲来の際にも自力では避難することは出来なかった。幸いにも、家が高台にあったため、高潮の被害はなく避難せずに済んだ。家の中では、高潮がこないよう祈っていたとのことである。しかし、万が一自宅が浸水した場合、学校あるいは隣の資産家の家屋に避難しようと考えていた。

(3) サイクロン「アイラ」による被災状況

サイクロン「アイラ」による高潮の水は 2 週間程度ひかなかった。回答者の家ではヤギ 3 匹、鶏 10 羽を飼育していた。サイクロン「アイラ」襲来の際、ヤギは家の中に入れたので助かったが、鶏は全て流されてしまった。家族は全員怪我もせず無事であった。家屋は、壁が風雨で倒壊したが、柱と屋根は残った。

(4) 緊急支援および生活再建支援の状況

回答者の場合、被災時の緊急支援物資として、米、水、テント、毛布、乾燥食品の配給を受けている。政府による米の配給は、サイクロン「アイラ」襲来後の1ヶ月後から開始し、その後約6ヶ月間継続された。米の配給が開始するまでは、ユニオン評議会議長が他の地域から支援物資を集め村人に配っていた。また、地域の資産家が乾燥食品を提供してくれた。水は被災の1週間後にボトル入りのミネラル・ウォーターがNGOから支給されたが、それまでは自宅から5kmほど離れた場所にある深井戸まで水を汲みに行っていた。村内の深井戸は高潮の際に塩水が入り一時的に使用できなかったが、住民達が自分たちで修理して現在は使えるようになっている。

サイクロン「アイラ」襲来後3ヶ月間は学校が閉校したが、教師としての給料は支給されたため生活費に問題はなかった。しかし、被災後、20歳と23歳の息子が出稼ぎに出て、現在はダッカとチッタゴンの縫製工場でそれぞれ働いている。また、被災後にソーラーパネルを月賦で購入したため、3年間毎月400tkを支払う必要があるとのことである。

(5) 生活再建に対する課題・ニーズ

回答者が考える生活再建の課題・ニーズは以下の通りである。

- ① 主産業である農業への被害
対象地域では、農地が高潮によって塩水をかぶったため、主要農産物であった米が生産できなくなった。慢性的に仕事がない上に、サイクロン「アイラ」の影響で農業ができなくなったため、村人の中には村外に出稼ぎに出た人が多い。
- ② 防災対策の必要性
今後のサイクロン対策としては、堤防の強度が低く、排水が良くないことや、近隣にサイクロンシェルターなどの避難場所がないという課題が挙げられる。

B.3 質問票調査の結果

B.3.1 予警報の伝達状況と伝達手段

Banyatala村の質問票調査の対象者30人のうち、サイクロン「アイラ」の襲来に関する情報を事前に知っていた住民は11人で、19人の住民は事前にサイクロン襲来に関する情報を得られていない。情報を得ていた住民の情報入手の時期としては、高潮襲来の2日前が3人、1日前が4人、12時間前が1人、6時間前が2人、1時間前が1人であった。

事前にサイクロン襲来の事実を知っていた住民全員(11人)は、「ラジオ」から情報入手している。また、「ラジオ」に加えて「マイク放送」からもサイクロン情報を確認している住民が9人いる。

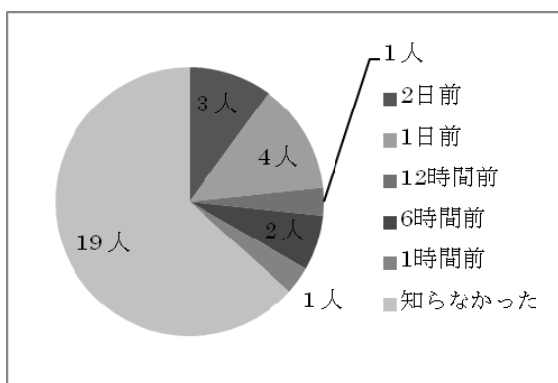


図 B.3.1 サイクロン情報の入手時期 (n=30)

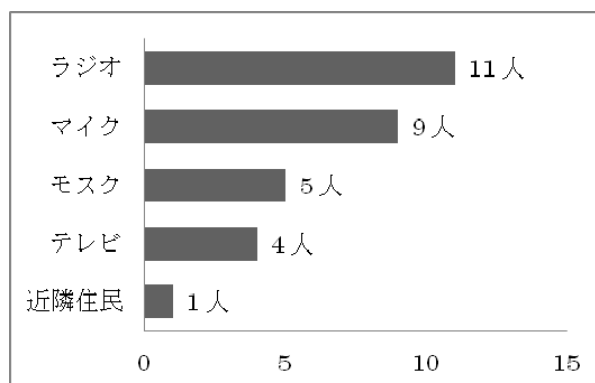


図 B.3.2 サイクロン情報の入手先
※情報を事前に知っていた住民のみが対象(n=11)
※複数回答可

住民の回答結果から、サイクロン情報の伝達源としては、「ラジオ」、「マイク放送」、「モスク」、「テレビ」のほか、「近隣住民」が挙げられている。情報源は複数あるものの、回答者の大半には情報が伝達されていなかったことが理解できる。また、CPPやユニオン防災委員会を通じた伝達システムも対象地区では使われていなかった。

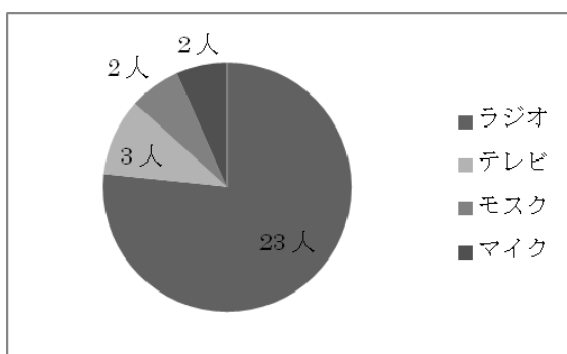


図 B.3.3 最も信頼できるサイクロン情報源(n=30)

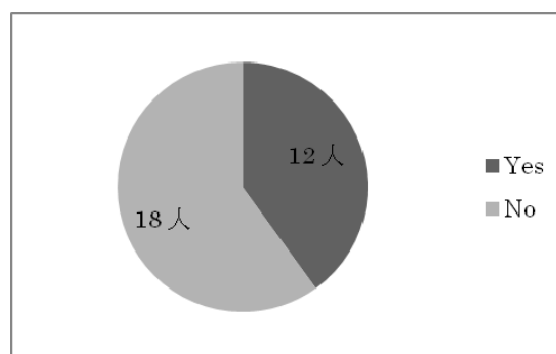


図 B.3.4 ラジオの所有率(n=30)

上記で住民から挙げた情報伝達手段の中で最も信頼できる情報源を質問票調査において確認したところ、対象者 30 人中「ラジオ」と回答する住民は 23 人で圧倒的に多く、「テレビ」と回答する住民が 3 人、「モスク」、「マイク」と回答する住民は各々 2 人であった。ラジオを最も信頼する情報伝達手段として挙げている住民も多いが、質問票調査の対象者 30 人の中でラジオを所有している住民は 12 人である。バングラデシュでは、携帯電話にラジオ機能を備えているものが多く、これを利用してラジオ放送を確認することもできる。質問票調査の対象者 30 人のうち携帯電

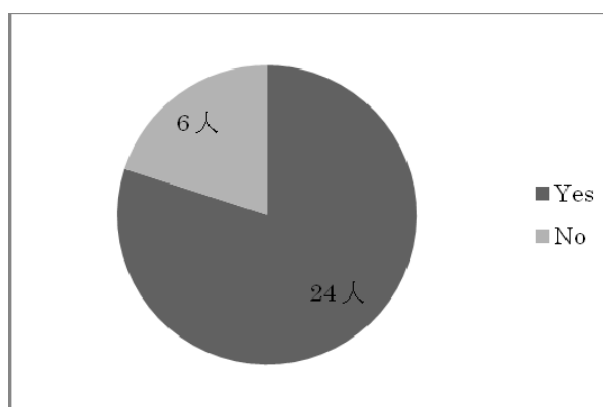


図 B.3.5 携帯電話の所持率 (n=30)

話を利用してラジオ放送を確認することもできる。質問票調査の対象者 30 人のうち携帯電

話を所有しているのは 24 人である。従って、住民はラジオや携帯電話でサイクロン情報を得ることが可能である。しかし、サイクロン「アイラ」襲来に関する情報を事前に得ていたのは 11 人であることから、予警報の伝達システムに課題があると考えられる。

B.3.2 避難行動および避難場所の状況

図 B.3.6 で示した通り、質問票調査の対象者 30 人のうち、サイクロン「アイラ」による高潮前に避難行動をとっているものは 3 人のみで、27 人の住民は事前の避難行動をとっていない。その背景としては、対象住民の多くが「サイクロン襲来の事実を知らなかった」という予警報伝達の問題が挙げられる。しかし、サイクロン襲来の事実を事前に知っていた 11 人全員が事前に避難行動をとっていないわけではない。

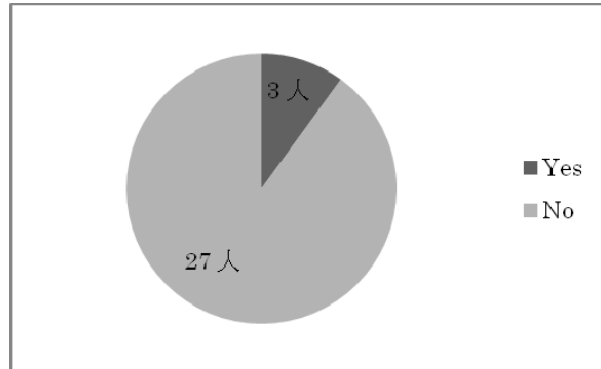


図 B.3.6 事前（高潮発生前）の避難行動の有無 (n=30)

図 B.3.7 に示した通り、質問票調査の「避難の際に心配なこと」として、26 人が「家屋・家財の損失」、18 人が「家族の離散」、6 人が「家畜の損失」を挙げている。また、1 人の住民は「その日の収入が得られない。」と被災後に全てを失う上に、仕事がなく収入がなくなって生活ができなくなることへの不安を挙げている。一方、「避難場所が遠い」、「避難場所までの道が悪い」といった避難先と避難道の小ささも懸念事項として挙げられている。こうした住民の不安事項、懸念事項が事前の避難行動を行わない要因となっていると言える。

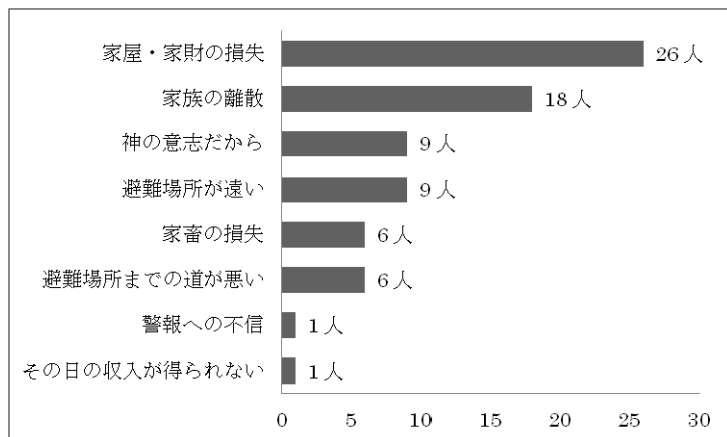


図 B.3.7 避難の際に心配なこと (n=30)

避難時の状況に関しては、高潮発生の前後にかかわらず、質問票調査の対象者 30 人のうち

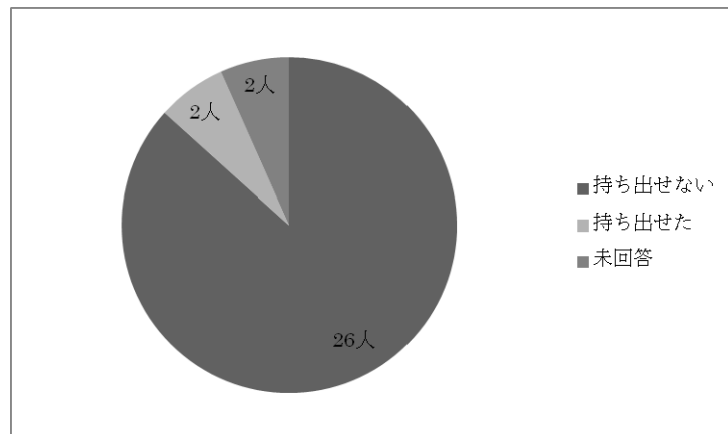


図 B.3.8 避難時の家財の持ち出しの有無 (n=30)

26 人が、現金や食糧、家畜といった家財を一切持ち出せていない。このことから、住民は、高潮が発生し命の危険が目の前に明確に迫った段階で、着の身着のまま避難行動をとっていると考えられる。また、避難時に家財を持ち出せていないことから、調査対象地域の多くの住民が、サイクロン「アイラ」によって資産の大半を失ったと推測される。

サイクロン「アイラ」襲来の際の避難場所については、質問票調査の対象者 30 人のうち、半数以上の 17 人が「堤防」を挙げている。サイクロン襲来時は、堤防の上部まで高潮の水が達しているため

決して安全な場所とは言えないが、「堤防の上」は、住民が高潮から命を守るための緊急的な避難場所であるとも言える。また、「他人の家」と回答した 8 人は、近隣の家屋でコンクリートやレンガでできた強固な建物に避難したと考えられる。一方、安全な避難場所である「サイクロンシェルター」へ避難した住民は 1 人のみであった。

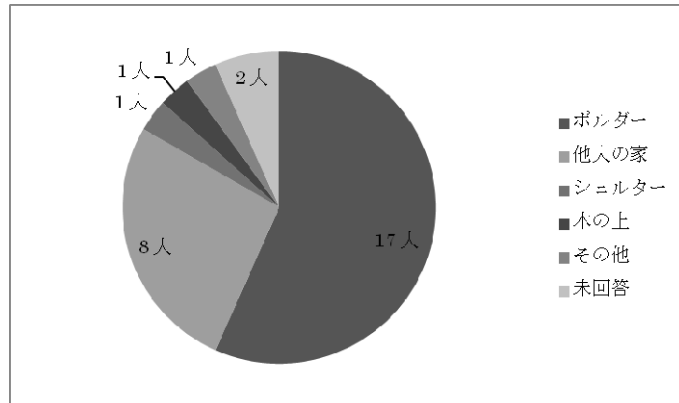


図 B.3.9 避難場所 (n=30)

B.3.3 被災後の支援と生活再建の状況

サイクロン「アイラ」襲来後も、高潮による浸水で家屋が流される、あるいは堤防の破堤により水がひかない状況が続いたため、住民の多くが元の場所で生活できず、「堤防の上」、「友人宅」、「サイクロンシェルター」等で長期間に亘り避難生活をおくっている。質問票調査の対象者 30 人も「堤防の上」に居住して生活を開始したものが 12 人、「サイクロンシェルター」で生活していた住民が 2 人、一時的に「友人宅」に避難していた住民が 2 人存在している。上述の通り、サイクロン襲来時に「サイクロンシェルター」へ避難した住民は 1 人だったが、被災後に「サイクロンシェルター」で避難生活をする住民は 2 人となっている。

被災後の支援として、質問票調査の対象者 30 人全員が米の配給を受けている。水や油といった食糧支援に加え、テントやビニールシートといった家屋の再建のための

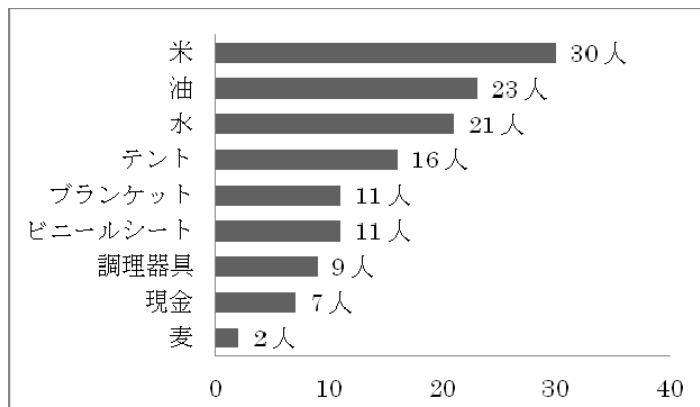


図 B.3.10 被災後に受け取った支援物資 (n=30)

※ 複数回答可

支援もみられる。高潮により対象地域の住民の家財一式が流されていることから、調理器具も支援されている。

質問票調査の中でサイクロン「アイラ」前後の収入の変化について確認したところ、対象者 30 人の平均月収は、4,783tk から 3,583tk に減少している。これは、農地が高潮によって浸水し農業ができなくなったことや、日雇い労働の仕事の減少が原因であると考えられる。他方、住民の重要な資産である家畜の数にも大幅な変化がみられる。質問票調査の対象者の 1 世帯あたりの家畜平均所有数を確認すると、牛やヒツジの平均所有数はサイクロン「アイラ」前後で若干の減少がみられ、ヤギの平均所有数は 2～3 匹から 0～1 匹、鶏やアヒルの平均所有数は 14～15 羽から 4～5 羽に減少した。

生活再建にあたり、質問票調査の対象者 30 人のうち 25 人がマイクロクレジットを活用している。借入れ金額は、5,000tk から 70,000tk で、平均すると 22,000tk となっている。住民が被災後に利用した主なマイクロクレジット機関としては、Ganamukhi (10 人)、BRAC (6 人)、ASA(3 人)、グラミン銀行 (1 人) となっており、大手のマイクロクレジット機関を利用していることが理解できた。他の地域同様に、サイクロン「アイラ」被災前に借りていたマイクロクレジットに関しては、3 ヶ月から 1 年間、住民の生活がある程度回復し、支払いが可能になるまで返済に関して一定の猶予を持たせているようである。

ポルダー7/2の状況



サイクロン「アイラ」により破堤したポルダー



インタビュー調査の様子



サイクロン「アイラ」の高潮は約 1.5m の高さ



現在修復途中のポルダー



ポルダーは住民にとって道路も兼ねている



村で唯一コンクリートでできた資産家の家
(サイクロン「アイラ」の際住民が多数避難)

C.1 ポルダ-14-1 の地域情報

C.1.1 調査対象地区

ポルダ-14-1 において選定された聞き取り調査の対象地区は、以下の通りである。

District	Thana	Union	Village
Khulna	Koyra	Dakshin Bedkashi	Patakhali

C.1.2 対象地域の情報

(1) 一般情報

Patakhali 村の世帯数は 637 世帯である。村の主要な経済活動は、農業や漁業（エビの養殖業等）、日雇い労働となっている。住民の生活用水としては、深井戸を利用している。水汲みは女性が 1 日 3~4 回、深井戸と家を往復して行っている。電気はなく、夜間照明用にはアルコールランプが利用されている。

同村には、堤防の維持管理を行う「WMG」は組織されておらず、堤防修復の住民による自発的な活動も実施されていない。また、サイクロンシェルターはなく、CPP の活動も実施されていない。

(2) サイクロン「アイラ」による被災状況および復旧・復興状況

サイクロン「アイラ」の襲来前日の午後 10 時頃から雨が激しく降り出し、その後一度雨は弱まったが、当日の朝 10 時頃からまた雨風が強まり、同時に高潮が発生した。高潮は最大で 15 フィート（約 4.5m）に達し、5 時間程ひかなかった。一度 7 フィート程度（約 2.1m）まで水位は下がったものの再び増水した。翌日の朝には水位が 3 フィート（約 0.9m）まで下がり、その後 1~2 ヶ月程度は残ったままとなった。

上述の通り、Patakhali 村にはサイクロンシェルターはない。避難できる最も近いサイクロンシェルターは約 1km 離れた場所にあるが、途中で川を渡る必要があるため平常時でも移動に 1 時間程度かかる。サイクロン「アイラ」襲来の際は、このサイクロンシェルターまでの道も完全に水没してしまった。（インタビュー調査の回答者の説明によると、Patakhali 村が位置する Dakshin Bedkashi ユニオンでは、サイクロン「アイラ」によって 138 名が亡くなったようである）。

C.2 インタビュー調査の結果

C.2.1 回答者の情報

インタビュー調査を行った住民の情報を以下の通りである。

回答者	Abdur Razzaq (世帯主)
年 齢	35 歳
性 別	男性
就学年数	12 年
家族構成*	3 名：男性 1 名、女性 2 名 (12 歳以下の子供：男子 0 名、女子 1 名)
世帯主の職業	日雇い労働 (土木関係が主)
宗 教	イスラム教
世帯収入 (月額)	現在：5,200tk、「アイラ」前：50,000tk
所有土地面積	26 エーカー (約 105,219.4 m ²)

注) *生活を共にする家族



回答者の Abdur Razzaq 氏

C.2.2 サイクロン「アイラ」の被災時の状況

(1) 予警報の伝達状況と住民の避難意識

回答者は、サイクロン「アイラ」襲来の情報に関して 3 日程前からテレビを見て情報を入手し、その後も自宅のラジオ、テレビから毎日ニュースを聞いていた。予警報シグナルは 3 日前に「3」、2 日前に「5」、前日の夜 10 時頃には「7」まで上がった。しかし、村の中では、マイク放送による予警報伝達はなかったようである。

(2) 避難行動、避難時の懸念事項および避難場所（サイクロンシェルター）の状況

サイクロン「アイラ」の襲来当日、朝 10 時頃から雨風が強まり、高潮が発生して水が家に迫ってくるのを確認してから避難を開始した。しかし、途中で高潮に飲み込まれた。水をかき分けるように進み、近くにあった 2 階建ての資産家の家屋に避難し、そこで 3 日間滞在した。

回答者の場合、事前にサイクロン「アイラ」の情報を入手していた。しかし、過去に今回よりも高い予警報シグナルのサイクロン「シドル」がきた際、大規模な高潮は発生せず大きな被害を受けなかった。そのため、サイクロン「アイラ」も大丈夫であろうと思った。また、海岸線のマングローブ林が、風や高潮から守ってくれるとも考えたため、避難する準備を事前にせず、避難の際には 500tk だけ持って逃げた。しかし、サイクロン「アイラ」はシュンドルボンの木々を超える程の高潮が発生した。

(3) サイクロン「アイラ」による被災状況

回答者の家族に怪我人や死者は出なかった。しかし、サイクロン「アイラ」によってヤギ 4 匹と鶏約 110 羽、家財、ソーラーパネルなどが高潮で流されてしまった。ま

た、サイクロン「アイラ」襲来前は、26 エーカー（約 105,219.4 m²）の土地を利用して農業とエビの養殖業で月額 50,000tk の収入を得ていた。しかし、高潮による塩水と土砂の流入で、被災後は農業もエビ養殖もできなくなり、収入は月額 5,200tk まで減少するほか、3 エーカー（約 12,140.7 m²）程は完全に水の中に沈んでしまった。

(4) 緊急支援および生活再建支援の状況

サイクロン「アイラ」の襲来直後は、避難した資産家が配った米で飢えを凌いだ。1 週間後から政府の米の配給が始まり、3 ヶ月程度続いた。回答者の家族の場合、調理器具などの生活用品が高潮で流されてしまっているため、食事を作ることにも苦労したようである。また、NGO の支援で家を再建している。

また、サイクロン「アイラ」被災によって収入が激減したため、家族全員でシャトキラ市街に出稼ぎに出て、回答者はバイクを運転して客を運ぶ仕事を 9 ヶ月間行った。現在は NGO の「Cash for Work」で堤防修復の日雇い労働をしている。サイクロン「アイラ」以前に BRAC から借りていたマイクロクレジット（20,000tk）の返済については、被災直後から半年間は返済に関して猶予がもたれ、半年後に出稼ぎで稼いだお金で借りていた全額を返済し、その後は融資を受けていない。

(5) 生活再建に対する課題・ニーズ

回答者が考える生活再建の課題・ニーズは以下の通りである。

- ① 高潮による塩害被害の影響・問題
高潮によって塩水と土砂が農地に流入したため、自分の農地で農業が出来ない状態が続いている。
- ② 堤防の改修の必要性
堤防の一部が破堤したままで改修されていないため、一部の土地は水没したままになっている。元住んでいた土地に戻れない住民もいる。
- ③ サイクロンシェルター対策
回答者の自宅の近くにはサイクロンシェルターがないため、安全な避難所の確保が急務であるとする。

C.3 質問票調査の結果

C.3.1 予警報の伝達状況と伝達手段

Patakhali 村の質問票調査の対象者 30 人のうち、サイクロン「アイラ」の襲来に関する情報を事前に知っていた住民は 6 人で、24 人の住民は事前にサイクロン襲来に関する情報を得られていない。事前に情報を得ていた住民の情報入手時期としては、高潮襲来の 1 日前が 3 人、1 時間前が 1 人であった。

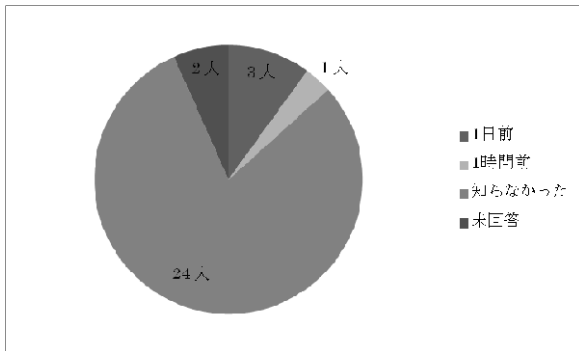


図 C.3.1 サイクロン情報の入手時期 (n=30)

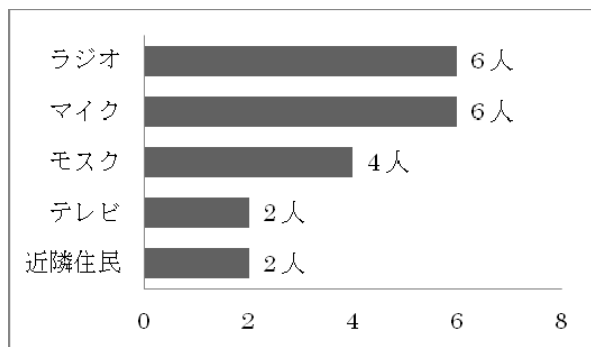


図 C.3.2 サイクロン情報の入手先
※情報を事前に知っていた住民のみが対象(n=6)
※複数回答可

事前にサイクロン襲来の事実を知っていた6人全員が「ラジオ」あるいは「マイク放送」から情報を入手している。また、6人のうち「モスク」からも情報を入手した住民は4人、「テレビ」や「近隣住民」から情報を得た住民は2人である。6人の住民はこうした複数の情報源からサイクロン情報を入手することができていたにも関わらず、対象住民の約8割には情報が伝達されていなかったことが回答結果から理解できる。さらに、CPPやユニオン防災委員会を通じた情報伝達も対象地区では行われていなかった。

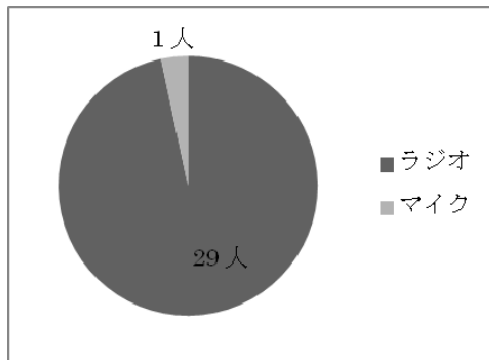


図 C.3.3 最も信頼できるサイクロン情報源 (n=30)

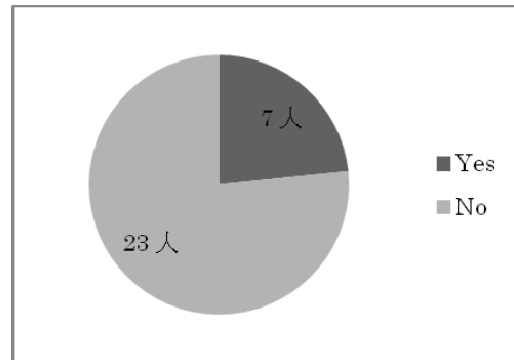


図 C.3.4 ラジオの所有率(n=30)

質問票調査で住民のサイクロン情報の伝達手段として最も信頼できる情報源を確認したところ、対象者30人中29人が「ラジオ」、残りの1人が「マイク放送」と回答した(図C.3.3参照)。同地区では、ほとんどの住民がラジオを最も信頼する情報伝達手段として挙げている。しかし、図C.3.4で示す通り、ラジオを所有している住民は対象者30人中7人となっている。一方、バングラデシュでは、携帯電話にラジオ機

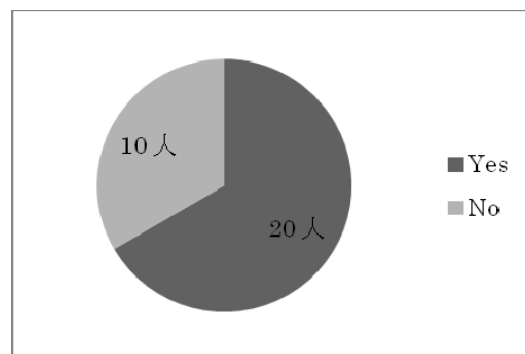


図 C.3.5 携帯の所持率 (n=30)

能がついたものが多く、これを利用してラジオ放送にアクセスすることができる。質問票調査において確認したところ、対象者30人のうち20人が携帯電話を所有している(図C.3.5参照)。

C.3.2 避難行動および避難場所の状況

質問票調査の対象者30人のうち、サイクロン「アイラ」による高潮の前に避難行動をとっているものは7人で、23人の住民は事前の避難行動をとっていない。事前に避難できていない理由としては、C.3.1で述べた通り、住民の多くが「サイクロン襲来の事実を知らなかった」という予警報伝達の問題が挙げられる。しかし、サイクロン襲来の事実を事前に知っていた6人全員が事前に避難行動をとっているわけではない。本調査の対象地域で実施したインタビュー調査の中でも多くの住民から「事前にサイクロン襲来の情報を得ていても、住民は家屋、家財、あるいは家畜を守ろうと高潮が発生した後も自宅に残り、命の危険が目の前に明確に迫るまで避難していない」という説明があった。

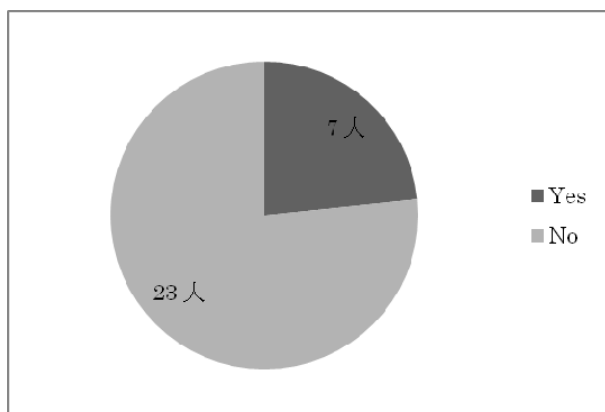


図 C.3.6 事前（高潮発生前）の避難行動の有無 (n=30)

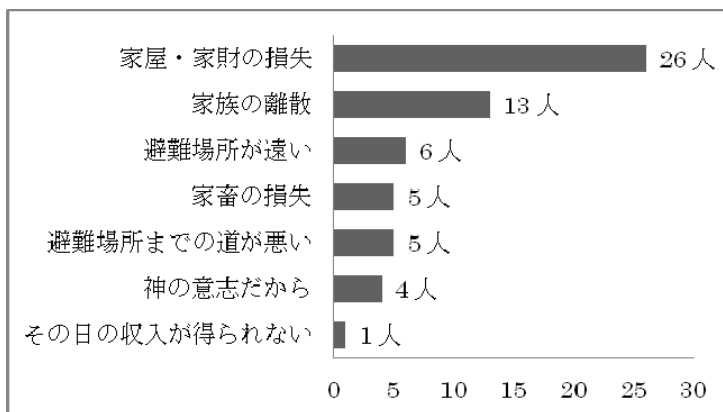


図 C.3.7 避難の際に心配なこと (n=30)
※複数回答可

図 C.3.7 で示した通り、「避難の際に心配なこと」としては、26人が「家屋・家財の損失」と挙げていることから、サイクロンで家屋、家財、家畜等の資産全てを失うことへの不安から、事前の避難行動に結びつかないと考えられる。また、「避難場所が遠い」、「避難場所までの道が悪い」なども挙げられていることから、サイクロンが荒れ狂う中、避難場所までたどりつけるかわからないことに対する不安も事前の避難行動をとらない要因

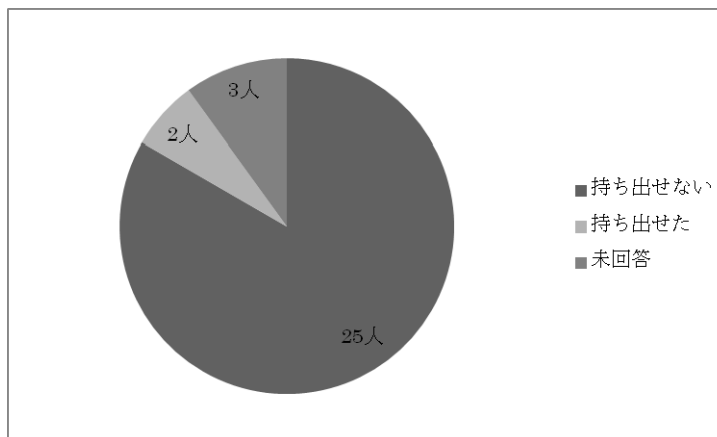


図 C.3.8 避難時の家財の持ち出しの有無 (n=30)

であると考えられる。実際のサイクロン「アイラ」襲来時の避難時の状況に関しては、質問票調査の対象者 30 人のうち 25 人が、現金や食糧、家畜といった家財を一切持ち出せていない。

サイクロン「アイラ」襲来時の避難場所については、質問票調査の対象者 30 人のうち、「サイクロンシェルター」と「堤防」を挙げている住民がそれぞれ 10 人いた。サイクロン襲来時は、堤防の上部まで高潮が達しているため決して安全な場所とは言えないが、堤防が住民の命を高潮から守るための緊急的な避難場所であると言える。また、その他の回答としては、「他人の家」が 4 人、「公共施設」が 2 人、「木の上」が 1 名であった。「他人の家」とは、近隣の家屋で、コンクリートやレンガでできた強固な建物に避難したと考えられる。

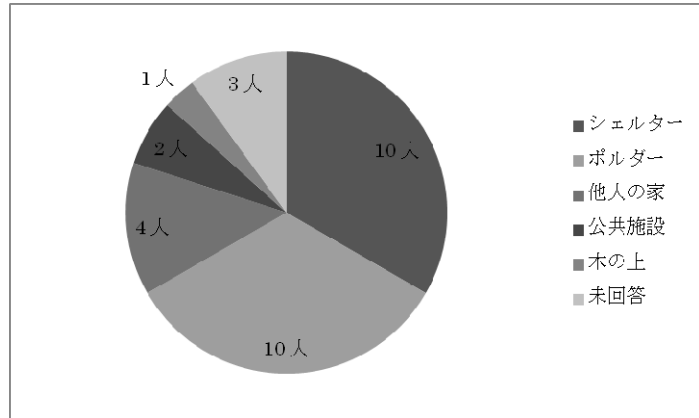


図 C.3.9 避難場所 (n=30)

C.3.3 被災後の支援と生活再建の状況

サイクロン「アイラ」襲来後も、雨風で家屋が倒壊する、高潮による浸水で家屋が流される、あるいは堤防の破堤により浸水した水がひかない状況が長期間続いたため、住民の中には自宅に戻れず、堤防の上やサイクロンシェルター等で避難生活をおくっている者もいる。質問票調査の対象者 30 人も一時的に「堤防の上」に居住して生活を開始した者が 4 人、「サイクロンシェルター」で生活していた者が 3 人、「友人宅」に避難していた者が 1 人いる。

図 C.3.9 に示す通り、被災後の住民に対する支援としては、質問票調査の対象者 30 人全員が米の配給を受けている。水や油といった食糧支援に加え、テントやビニールシートといった家屋の再建のための支援も行われた。高潮により対象地域の住民の家財一式が流されている

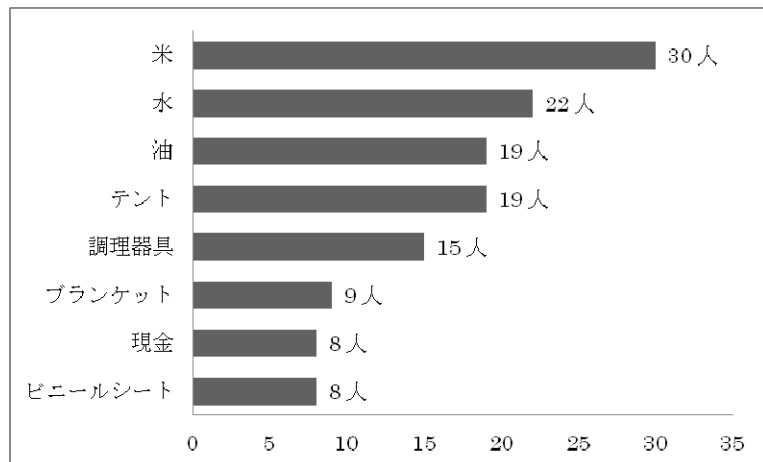


図 C.3.10 被災後に受け取った支援物資 (n=30)
※ 複数回答可

ことから、ブランケットや調理器具なども支援されているほか、8人は現金の支援を受けている。

また、質問票調査の中でサイクロン「アイラ」前後の収入の変化について確認したところ、対象者30人の平均月収は、5,683tkから3,260tkに減少している。これは、高潮によって農地が浸水し塩害や浸水の被害が出たため、農業ができなくなったこと、日雇い労働の仕事の減少等が主な原因であると考えられる。住民にとって重要な資産である家畜の数にも変化がみられる。質問票調査の対象者の場合、1世帯あたりの牛の平均所有数は4頭から0～1頭に、ヤギの平均所有数は3～4匹から0～1匹に、鶏やアヒルの平均所有数は、15～16羽から1～2羽に、ヒツジの平均所有数は0～1匹から0匹に減少している。

バングラデシュでは、生活再建にあたりマイクロクレジットを活用する住民もいる。質問票調査の対象者30人のうち16人がマイクロクレジットを利用していた。借入れ金額は、2,000tkから25,000tkで、平均すると10,188tkである。住民が被災後に利用した主なマイクロクレジット機関としては、Ganamukhi(9人)、BRAC(2人)、グラミン銀行(1人)となっており、ほとんどの住民が大手のマイクロクレジット機関を利用している。サイクロン「アイラ」の前に借りていたマイクロクレジットは、3ヶ月から1年まで支払い猶予が与えられている。マイクロクレジット機関は、住民の生活がある程度回復し、支払いが可能になるまで返済に関して一定の猶予を持たせているようである。

ポルダ-14/1 の状況



塩分が蓄積し耕作のできない農地



満潮時に家屋近くまで上がる水位



現在も浸水した水がひかず農業ができない農地



村の深井戸



サイクロン「アイラ」以降定期的に浸水する農地



被災後堤防の上に造られた長屋型の家屋

D.1 ポルダ-15 の地域情報

D.1.1 調査対象地区

ポルダ-15 において選定された聞き取り調査の対象地区は、以下の通りである。

District	Thana	Union	Village
Satkhira	Shymnagar	Gabura	Jaliakhali

D.1.2 対象地域の情報

(1) 一般情報

Jaliakhali 村の世帯数は 333 世帯である。村の主要な経済活動は、農業や漁業（エビの養殖業等）、日雇い労働である。住民の生活用水としては、550 フィート（約 168 m）の深さのある深井戸を利用しており、塩分は混じっていない。電気はなく、照明にはアルコールランプが利用されている。

同村には、堤防の維持管理を行う「WMG」は組織されておらず、堤防修復の住民による自発的な活動も実施されていない。また、村内にサイクロンシェルターはあるが、調査対象者の自宅より 1km 程離れた地点にあり、平常時に徒歩 20 分程度かかる。CPP の活動も実施されていない。

(2) サイクロン「アイラ」による被災状況および復旧・復興状況

サイクロン「アイラ」の襲来当日は、朝 10 時頃から激しい雨が降り出し、その後高潮が発生した。インタビュー調査の回答者の自宅付近に高潮が到達したのが午後 6 時頃で、高潮は高いもので約 6 フィート（約 1.8m）あった。サイクロンシェルターまでの道は舗装されていたが、被災時には高潮で歩ける状況ではなかった。しかし、サイクロンシェルター以外に周辺で避難可能な場所がない。

D.2 インタビュー調査の結果

D.2.1 回答者の情報

インタビュー調査を行った住民の情報を以下の通りである。

回答者	Kanai Mondal (世帯主)
年 齢	73 歳
性 別	男性
就学年数	10 年
家族構成*	5 名：男性 4 名、女性 1 名 (12 歳以下の子供：男子 2 名、女子 0 名)
世帯主の職業	日雇い労働 (息子が従事)
宗 教	ヒन्दゥー教
世帯収入 (月額)	現在：3,000tk、「アイラ」前：18,000tk *現在農地が水に沈み農業ができない。
所有土地面積	3 エーカー (約 12,140.7 m ²)

注) *生活を共にする家族



回答者の Kanai Mondal 氏

D.2.2 サイクロン「アイラ」の被災時の状況

(1) 予警報の伝達状況と住民の避難意識

回答者の家にラジオはないが、普段は近隣でラジオを持っている住民からサイクロン情報を得ている。しかし、サイクロン「アイラ」襲来の情報に関しては、情報がまわってこなかったようである。

(2) 避難行動、避難時の懸念事項および避難場所（サイクロンシェルター）の状況

サイクロン「アイラ」の襲来当日は、朝 10 時頃から激しい雨が降り出し、回答者も家財を屋根裏にあげたが、高潮がくる前に雨風で家が倒壊してしまった。午後 6 時頃、高潮が正面から迫ってきたので、回答者の家族はボートでサイクロンシェルターに避難した。家族全員が一度に避難することができなかつたため、2 回往復し全員が避難できた。しかし、避難の際は先祖が遺してくれたもの全てが流されてしまうことが心配であった。回答者は、「もし持っていくことができるなら、米や現金を持参して避難したかった」と考えている。

(3) サイクロン「アイラ」による被災状況

回答者の家族は全員でサイクロンシェルターに避難している。これまでのサイクロンは、高潮が発生したとしても 3~5 時間で水がひいていた。しかし、サイクロン「アイラ」の後は、6 フィート (約 1.5m) の水が 2 日間まったくひかず、その後は徐々

に水位が低くなっているものの、2年間は日常的に潮の満ち引きで堤内地に浸水するようになった。そのため、2エーカー（約 8,093.8 m²）の農地は使用できなくなった。サイクロン「アイラ」の雨風で家屋が倒壊し、家畜（ヤギ 6 匹、鶏 10 羽）は高潮で全て流され、現在は鶏 2 羽を飼育しているのみである。

(4) 緊急支援および生活再建支援の状況

サイクロン「アイラ」の襲来後、サイクロンシェルターで朝 9 時頃に乾燥食品の配給があった。しかし、それまでの 2 日間は被災者の住民は何も食べることができなかった。その後、2 ヶ月間程は、米やテントなどの支援が NGO および政府から行われるほか、NGO の「Cash for Work」プログラムも実施された。回答者もこれに参加することもあったようである。

回答者の場合、サイクロン「アイラ」襲来前は自分の土地で農業をしていた。農産物は自己消費分を除いて販売し、年間 18,000tk の収入があった。被災後、農業が出来なくなり、現在は 22 歳の息子が日雇い労働で月額約 3,000tk の収入を得ているほか、Jessore や Khulna の大学で勉強している息子たちも、勉強しながら働き、家族に仕送りをしてきている。現在は、友人宅に住みながら家の建直しを行っている。

マイクロクレジットについては、サイクロン「アイラ」襲来前に、村のインフォーマルな組合から 6,000tk の借入を受けたが、現在そのお金は返済できていない。村のインフォーマルでの組合のため、厳しい取り立てがあるわけではない。しかし、NGO からマイクロクレジットを借りていた対象地区の住民の中には、返済できないとヤギや牛を持って行かれてしまう者もいる。

(5) 生活再建に対する課題・ニーズ

回答者が考える生活再建の課題・ニーズは以下の通りである。

- ① 高潮による塩害被害の影響・問題
高潮によって塩水が農地に流入したため自分の農地で農業が出来ないことが問題。
- ② 子供の教育の問題
村の学校はサイクロン「アイラ」で被災後半年間閉校し授業が行われなかった。そのため、子ども達の教育の遅れが心配である。

D.3 質問票調査の結果

D.3.1 予警報の伝達状況と伝達手段

Jaliakhali 村では、質問票調査の対象者 30 人のうちサイクロン「アイラ」の襲来に関する情報を事前に知っていた住民は 4 人である。26 人の住民は事前にサイクロン襲

来に関する情報を得られていない。情報を得ていた住民の情報入手時期としては、高潮襲来の1日前が1人、12時間前が2人、6時間前が1人であった。

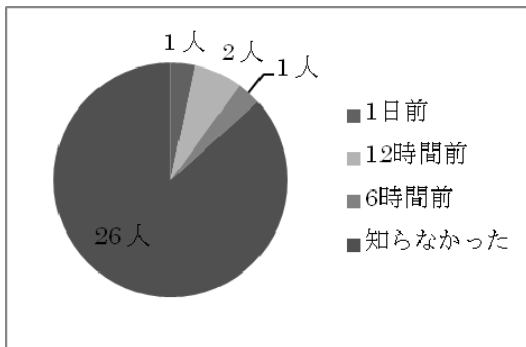


図 D.3.1 サイクロン情報の入手時期 (n=30)

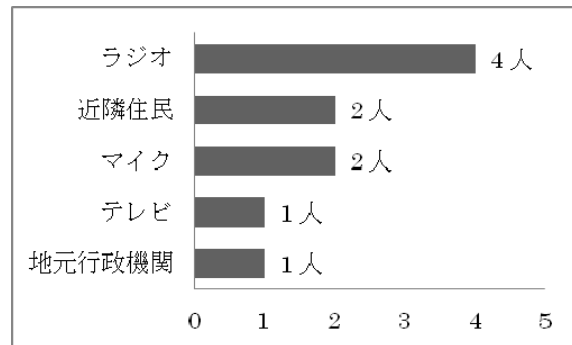


図 D.3.2 サイクロン情報の入手先

※情報を事前に知っていた住民のみが対象(n=4)
※複数回答可

事前にサイクロン襲来の情報を知っていた4人全員が「ラジオ」から情報入手している。また、ラジオだけでなく、「近隣住民」や「マイク放送」から情報を得た住民はそれぞれ2人、「テレビ」や「地方行政機関」から情報を得た住民がそれぞれ1人ずついた。対象村では複数の情報源があるにも関わらず、調査対象30人中26人の住民へのサイクロン情報が伝達されていなかった。加えて、CPPやユニオン防災委員会を通じた情報伝達も対象地区では行われていなかった。

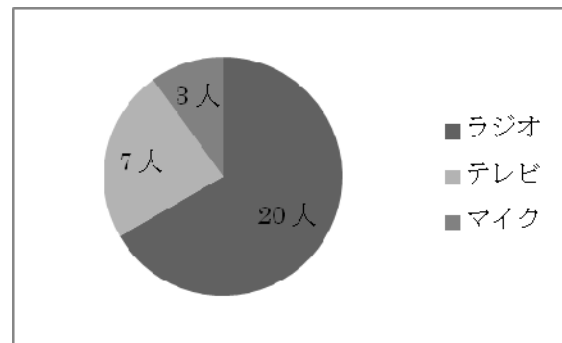


図 D.3.3 最も信頼できるサイクロン情報源 (n=30)

質問票調査の中で上記に挙げた複数の情報伝達手段の中で最も信頼できる情報源を確認したところ、対象者30人中20人が「ラジオ」、7人が「テレビ」、3人が「マイク放送」と回答している。

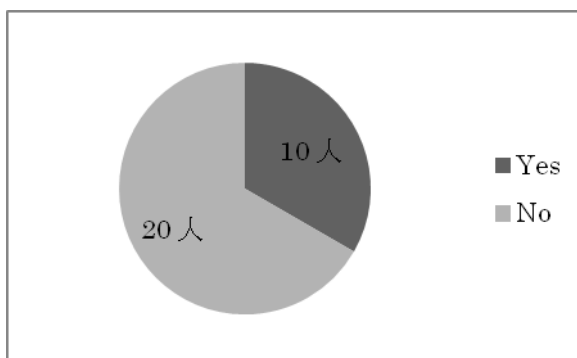


図 D.3.4 ラジオの所有率(n=30)

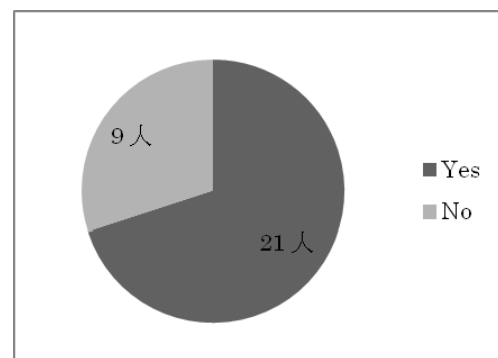


図 D.3.5 携帯の所持率 (n=30)

ラジオを最も信頼する情報伝達手段として挙げている住民が多い一方で、サイクロン「アイラ」襲来の情報を事前に入手していた住民は4人である。対象住民30人の中でラジオを所有している住民は10人である。バングラデシュでは、携帯電話はラジオ機能がついており、これを利用してラジオ放送にアクセスすることができる。対象地区でも質問票調査の対象者30人のうち21人が携帯電話を所有している。

D.3.2 避難行動および避難場所の状況

質問票調査の対象住民30人のうち、「アイラ」襲来による高潮の前に避難行動をとっている住民は1人で、29人の住民は事前の避難行動をとっていない（図D.3.6参照）。D.3.1で述べた通り、質問票調査の対象者30人中26人は「サイクロン襲来の事実を知らなかった」と回答しており、予警報の伝達問題が事前の避難行動へつながらない要因の一つと考えられる。

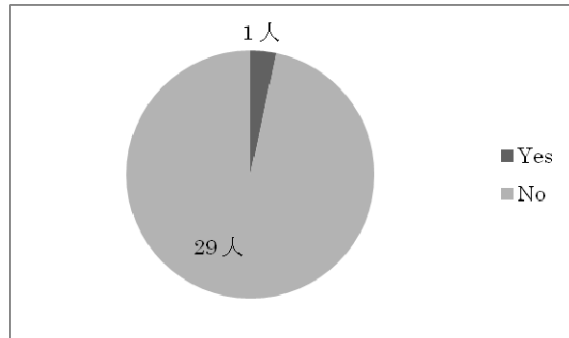


図 D.3.6 事前（高潮発生前）の避難行動の有無 (n=30)

しかし、対象地域で実施されたインタビュー調査の中でも多くの住民が予警報を聞いていても事前に避難していない状況から、予警報の伝達問題だけが事前の避難行動の妨げているとは言い切れない。例えば、住民に「避難の際に心配なこと」を確認したところ、調査対象者30人のうち27人が、「家屋・家財の損失」、20

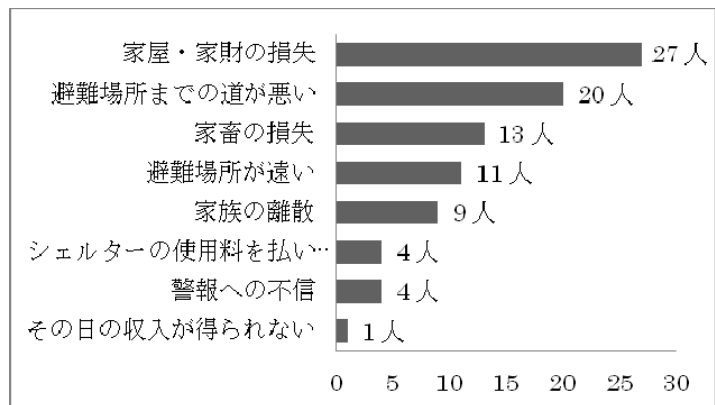


図 D.3.7 避難の際に心配なこと (n=30)
※複数回答可

人が「避難場所までの道が悪い」、13人が「家畜の損失」、11人が「避難場所が遠い」と回答している（図D.3.7参照）。住民はサイクロンの影響で家屋、家財、家畜の損失を恐れ、高潮が目の前に迫るまで避難しないこと、激しい雨風と高潮が襲う中、避難場所までたどりつくことができるかどうか不安なことなどが、住民が事前の避難行動をとらない主な原因と

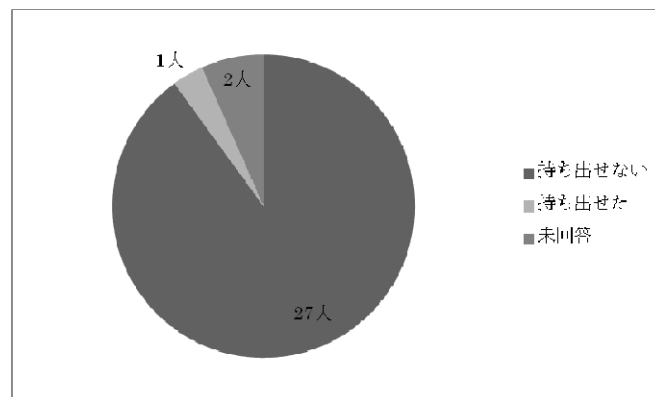


図 D.3.8 避難時の家財の持ち出しの有無 (n=30)

なっていると考えられる。実際の避難時の状況をも、質問票調査の対象者 30 人のうち 27 人が、現金や食糧、家畜といった家財を一切持ち出せず、着の身着のまま避難している。

サイクロン「アイラ」襲来時の避難場所については、質問票調査の対象者 30 人のうち、「堤防」と回答した住民が 15 人、「サイクロンシェルター」と回答した住民は 11 人、「他人の家」と回答した住民が 2 人である。「堤防」と回答する住民が対象者 30 人の半数を占めるが、サイクロン襲来時は堤防の上部まで高潮が達し安全な場所とは言えない。しかし、住民は押し寄せる高潮から命を守るために緊急的な避難場所として堤防に移動している。

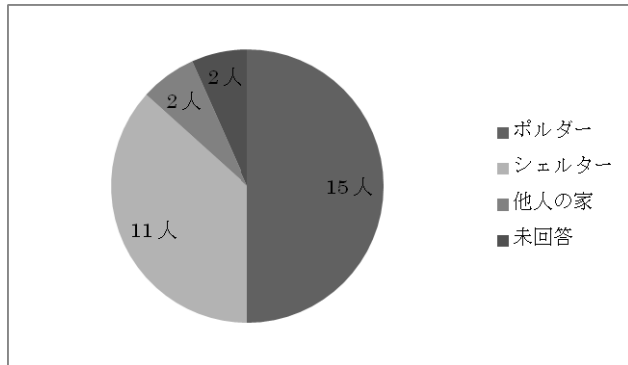


図 D.3.9 避難場所 (n=30)

D.3.3 被災後の支援と生活再建の状況

サイクロン「アイラ」襲来によって被災した後、強風で家屋が倒壊する、高潮による浸水によって家屋が流される、堤防の破堤により浸水し水がひかない状況が続く等の状況から、多くの住民が自宅以外の場所で避難生活をおくっている。質問票調査の対象者 30 人も一時的に「堤防の上」に居住して生活を開始したものが 14 人、「サイクロンシェルター」で生活していた住民が 9 人いる。被災後の支援として、調査対象者 30 人全員が米の配給を受けている。水や油といった食糧支援のほか、テントやビニールシートといった家屋の再建のための支援やブランケット、調理器具などの生活用品、現金の支給など様々な支援がなされている。

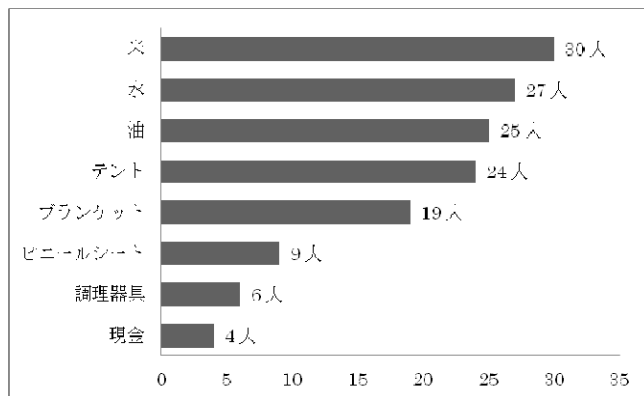


図 D.3.10 被災後に受け取った支援物資 (n=30)
※ 複数回答可

また、質問票調査の中でサイクロン「アイラ」前後の収入の変化について確認したところ、対象者 30 人の平均月収は、4,440tk から 2,503tk に減少している。これは高潮による浸水で農地に塩水が入り農業ができなくなったことや、日雇い労働の仕事の減少が原因であると考えられる。一方、住民の重要な資産である家畜の数にも変化がみられる。同地区の質問票調査の対象者 30 人の場合、サイクロン「アイラ」前後では、牛の平均所有数は 0~1 頭で若干減少がみられた。ヤギの平均所有数は 2~3 匹から 0~1 匹に、

ヒツジの平均所有数は 0～1 匹から 0 匹に減少した。鶏やアヒルに関しては、平均所有数は 20～21 羽から 3～4 羽と大幅に減少している。

生活再建にあたり、質問票調査の対象者 30 人のうち 21 人がマイクロクレジットを活用している。借入れ金額は 4,000tk から 125,000tk で、平均すると 22,071tk となっている。住民が被災後に利用した主なマイクロクレジット機関としては、BRAC (10 人)、Ganamukhi (7 人)、グラミン銀行 (6 人)、BRDB (2 人) となっており、大手のマイクロクレジット機関を利用し、一部の住民は複数の機関から借りていることが理解できる。サイクロン被災前に借りていたマイクロクレジットに関しては、5 ヶ月から 2 年まで支払い猶予が与えられている。マイクロクレジット機関は、被災状況や住民の生活がある程度回復し、支払いが可能になるまで返済に関しては一定の猶予を持たせている。

ポルダー15の対象地区の状況



サイクロン「アイラ」以降堤内地に溜まった水



川と池に囲まれたインタビュー回答者の家



村の深井戸
(浸水した水は未だにひかない)



幅の狭いポルダー
(ポルダーは生活道としても利用されている)



定期的に水位が上がるためにつくられた簡易橋



現在補修中のポルダー

E.1 ポルダ-4 の地域情報

E.1.1 調査対象地区

ポルダ-4 において選定された聞き取り調査の対象地区は、以下の通りである。

District	Thana	Union	Village
Satkhira	Assasuni	Pratap Nagar	Hizla

E.1.2 対象地域の情報

(1) 一般情報

Hizla 村には 245 世帯が生活している。村の主要な経済活動は、農業や漁業（エビの養殖業等）のほか、日雇い労働となっている。同村では、生活用水に村内の深井戸を利用していた。サイクロン「アイラ」により一時的に塩水がでるようになり使えなくなったが、現在は以前の状態に戻っている。水汲みは女性の仕事であるが、インタビュー調査の回答者の家族の場合、母親もしくは本人が 1 日 3~4 回歩いて水汲みを行っている。電気はなく、夜間照明として日常的にアルコールランプを使用している。

同村には、堤防の維持管理を行う「WMG」はない。サイクロン「アイラ」襲来による被災後、村人全員で修復作業を行い、約 1 ヶ月間で堤防を修復した。この作業は、ボランティア作業として実施された。修復後は水が入ってくることはなくなっている。村にはサイクロンシェルターはなく、近いもので 2km 程離れている。CPP の活動は実施されていない。

(2) サイクロン「アイラ」による被災状況および復旧・復興状況

サイクロン「アイラ」の際、高潮が発生したのは午前 11 時頃である。高潮によって約 9~10 フィート（約 2.7~3m）浸水した。この浸水で田畑に塩が残り、被災後から数年が経過している現在もなお農業ができない状況である。

E.2 インタビュー調査の結果

E.2.1 回答者の情報

インタビュー調査を行った住民の情報を以下の通りである。

回答者	Mehidi Hassain
年 齢	18 歳
性 別	男性
就学年数	11 年
家族構成*	6 名：男性 3 名、女性 3 名 (12 歳以下の子供：男子 1 名、女子 2 名)
世帯主の職業	日雇い労働（漁業関係が主）
宗 教	イスラム教
世帯収入（月額）	現在：3,250tk、「アイラ」前：3,250tk
所有土地面積	0.05 エーカー（約 202.35 m ² ）

注)*生活を共にしている家族



回答者の Prakash Chandra Roy 氏

E.2.2 サイクロン「アイラ」の被災時の状況

(1) 予警報の伝達状況と住民の避難意識

回答者がサイクロン「アイラ」襲来の事実を知ったのは、高潮が発生する 1 時間ほど前の午前 11 時頃であった。ユニオンの代表がマイクでアナウンスしたことにより、サイクロン「アイラ」襲来に関する情報を知ることができた。その後 12 時頃に高潮が発生した。

(2) 避難行動、避難時の懸念事項および避難場所（サイクロンシェルター）の状況

回答者はサイクロン襲来を 1 時間前に認識していたが、すぐに避難せず、家畜を堤防の上に避難させ、親戚に知らせに行っていた。11 時頃に浸水が始まったため、家族全員で堤防の上に避難した。その後、堤防の上 2~3 フィート（約 0.6~0.9m）まで水位が上がってきたため、2km 離れた学校に避難している。小さい兄弟の命を守ることを最優先に考えたため、家財は一つ持参していない。避難時の回答者の懸念は、「家畜が流されていないか」であった。

回答者の避難した学校は、被災者であふれ、食糧や水の備蓄もなく、寝るスペースもない状況であった。また、トイレの数が少なく問題となった。避難した学校の状況は劣悪ではあったが、校内は安全であったため、回答者は家族とともにそこへ避難したことを正解であったと考えている。

(3) サイクロン「アイラ」による被災状況

回答者の場合、家族の中に死傷者は出なかった。被災状況について確認したところ、

同人の家族の世帯収入は「アイラ」の前後で変化はない。一方、家財の損害については、家畜（牛 2 頭、ヤギ 2 匹、鶏 6 羽）が全滅した。木材でできた家屋も「アイラ」襲来の際の高潮で全て流されてしまっている。

(4) 緊急支援および生活再建支援の状況

回答者の家族の場合、サイクロン「アイラ」襲来の翌日に緊急支援物資とし政府から米が配給され、その後 6 ヶ月間は、毎月米 20kg が支給された。他に保存食や衣服、現金 3,000tk が支給されている。回答者の家族の主な生計手段は漁業を中心とした日雇い労働であるが、被災後は、資産家の家屋の修復や土木関係の日雇い労働も行っている。サイクロン「アイラ」の 2 ヶ月後から 6 ヶ月間は十分な仕事がなかったため、回答者の父はダッカに出稼ぎに出てレンガ割りや土砂を運ぶ仕事をしていた。回答者も家庭教師の仕事をし、その収入で学校に通っている。

サイクロン「アイラ」の後、300tk でラジオを購入して 1 日 1 時間ほど聞くようになった。サイクロン情報はラジオを最も信頼している。しかし、バングラデシュのニュースは信用しておらず、BBC のベンガル語放送を主に聞いている。ラジオは電池 2 本で 2 ヶ月ほど視聴が可能である。電池 2 本は 36tk で購入できる。

高潮により家が倒壊してしまったため、地域の組合から資金を借入れるなどして、1 年後に家を再建している。こうした再建資金については、被災後に BRAC からマイクロクレジットで 20,000tk を借り、家の再建や家畜の購入資金、生活費にあてているとのことである。

(5) 生活再建に対する課題・ニーズ

回答者が考える生活再建の課題・ニーズは以下の通りである。

- ① 地域の生計手段が限られている点
対象地域では、高潮による浸水で長期間に亘り農地が水につかっていた影響から、現在もなお塩水で農業が全く行えない状況にある。一部住民は農業からエビの養殖に切り替えている。
- ② 堤防の改修の必要性
堤防を作る位置をもう少し川から離れた内陸部分にすべきだと考えている。また、堤防の外壁をコンクリートで補強し、高さも 18 フィートくらい（約 5.5m）あれば安心であると述べている。
- ③ シェルター設備の問題
住民全員が避難できるだけのサイクロンシェルターが村および近隣村にはない。既存のサイクロンシェルター（学校）もトイレや水の設備が十分でなく、食べ物などの備蓄がない状態にある。
- ④ 子供の教育
村の学校はサイクロン「アイラ」で被災し 2 ヶ月間閉校した。生徒の教科書は

全て水で流されてしまったため、授業が再開できなかった。教科書は、各家庭で購入し直している。

E.3 質問票調査の結果

E.3.1 予警報の伝達状況と伝達手段

Hizla 村の質問票調査の対象者 30 人のうち、サイクロン「アイラ」の襲来に関する情報を事前に知っていた住民は 5 人である。25 人の住民はサイクロン情報を得られていなかった。情報を得ていた住民 5 人が情報を入手した時期は、高潮襲来の 6 時間前が 3 人、1 時間前が 2 人で、本調査の対象地区 10 ヶ所の中では情報伝達が遅い。

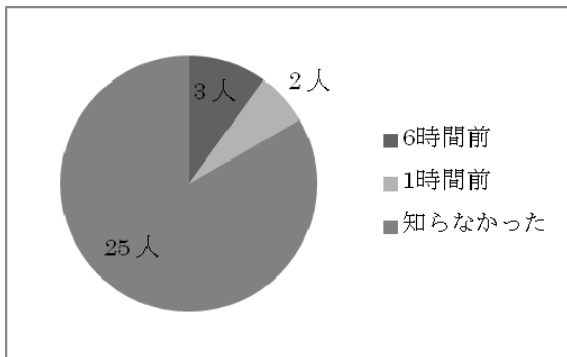


図 E.3.1 サイクロン情報の入手時期 (n=30)

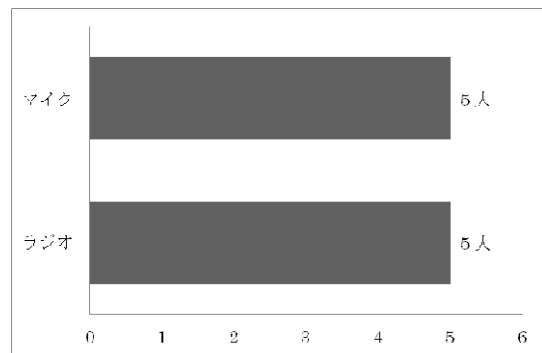


図 E.3.2 サイクロン情報の入手先
※情報を事前に知っていた住民のみが対象(n=5)
※複数回答可

事前にサイクロン襲来の情報を入手していた住民 5 人は、「ラジオ」および「マイク放送」の両方からサイクロン情報を確認している。しかし、同地区も CPP やユニオン防災委員会を通じた情報伝達は行われていなかった。

サイクロン情報の伝達手段の中で最も信頼できる情報源を確認したところ、対象住民 30 人中 16 人が「ラジオ」、11 人が「テレビ」、2 人が「モスク」、1 人が「マイク放送」と回答している (図 E.3.3 参照)。

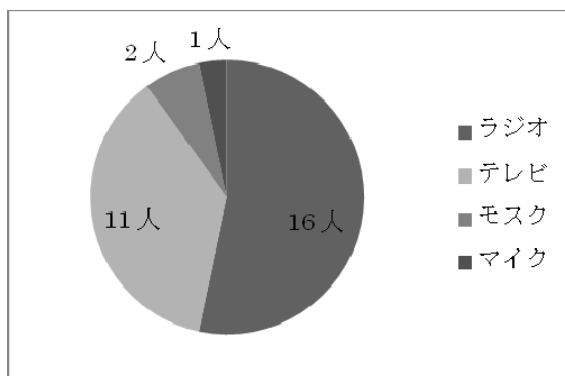


図 E.3.3 最も信頼できるサイクロン情報源 (n=30)

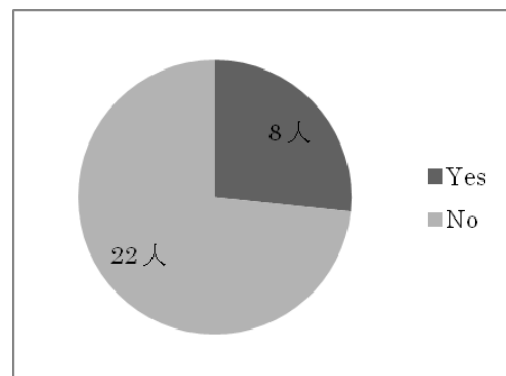


図 E.3.4 ラジオの所有率(n=30)

一方、図 E.3.4 に示した通り、ラジオを最も信頼する情報伝達手段として挙げている住民は 16 人いるにも関わらず、ラジオを所有している住民は、調査対象者 30 人中 8 人となっている。他方、バングラデシュでは、携帯電話にラジオ機能がついているものが多く、これを利用してラジオ放送にアクセスすることができる。図 E.3.5 に示す通り、調査対象者 30 人のうち 26 人が携帯電話を所有している。

しかし、サイクロン「アイラ」襲来の情報を確認できているのは 5 人の住民だけであり、ラジオやラジオ付き携帯を所有する住民全員が必ずしもサイクロン情報を確認できているとは限らない。また、サイクロン「アイラ」の襲来と高潮発生が急だったことから、対象地区では情報伝達がタイムリーに行われていなかった可能性もある。

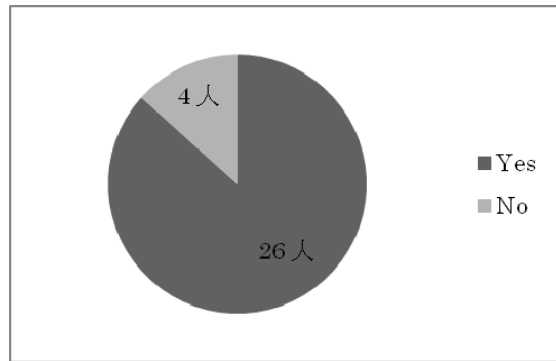


図 E.3.5 携帯の所持率 (n=30)

E.3.2 避難行動および避難場所の状況

質問票調査の対象者 30 人のうち、サイクロン「アイラ」襲来による高潮の前に避難行動をとっている住民は 14 人で、16 人の住民は事前の避難行動をとっていない。既述の通り、サイクロン情報を事前に入手した住民は 5 人である。しかし、図 E.3.6 に示す通り、同地区の場合、サイクロン情報の伝達の有無に関係なく、対象住民 30 人中 14 人が自主的に事前避難をとっている。

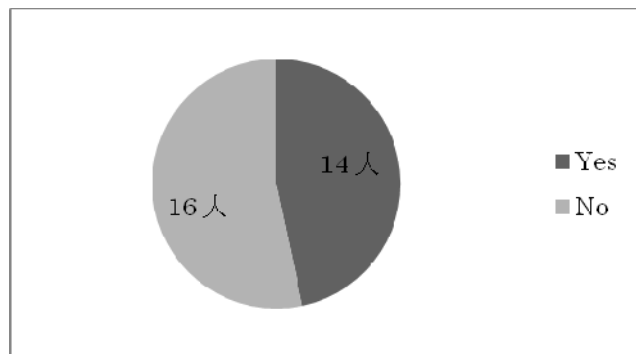


図 E.3.6 事前（高潮発生前）の避難行動の有無 (n=30)

質問票調査の中で、「避難の際に心配なこと」について対象者 30 人に確認した。主な回答結果をみると、20 人が「家屋・家財の損失」、13 人が「避難場所までの道が悪い」、8 人が「避難場所が遠い」、6 人が「家族の離散」と回答している。住民の多くが、サイクロンの影響で家屋、家財、家畜等を失うことや、避難場所までの距離が遠く、避難経路が整っていない状況

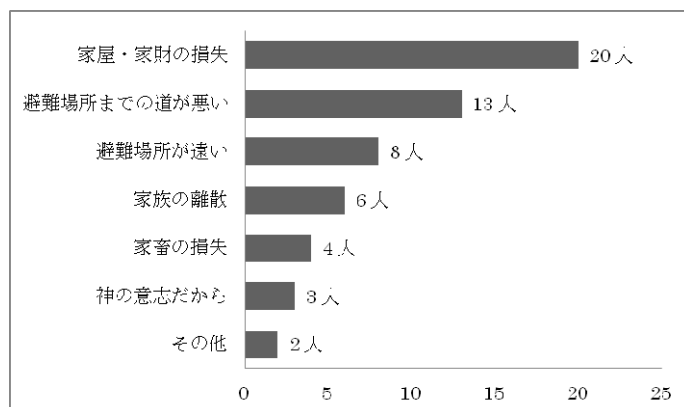


図 E.3.7 避難の際に心配なこと (n=30)
※複数回答可

で、避難中に家族へ被害を受けること等を不安に思い、事前の避難行動に結びつかないと考えられる。

実際の避難時の状況に関しては、質問票調査の対象者 30 人のうち 18 人が、現金や食糧、家畜といった家財を一切持ち出せていない（図 E.3.8 参照）。

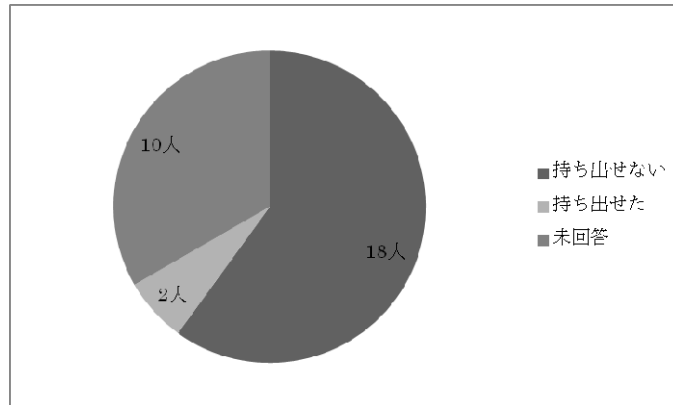


図 E.3.8 避難時の家財の持ち出しの有無(n=30)

サイクロン「アイラ」襲来時の避難場所については、質問票調査の対象者 30 人のうち 17 人が「堤防」を挙げている。サイクロン襲来時は、堤防の上部まで高潮の水が達しているため決して安全な場所とは言えないが、住民が高潮から命を守るための緊急的な避難場所であると言える。次に回答数の多いものが「他人の家」で 8 人が回答した。近隣のコンクリート製あるいはレンガ製の強固な建物の友人宅や公共施設等に避難したと考えられる。一方、一般的に安全であると考えられている「サイクロンシェルター」へ避難した住民は 1 人だけであった。

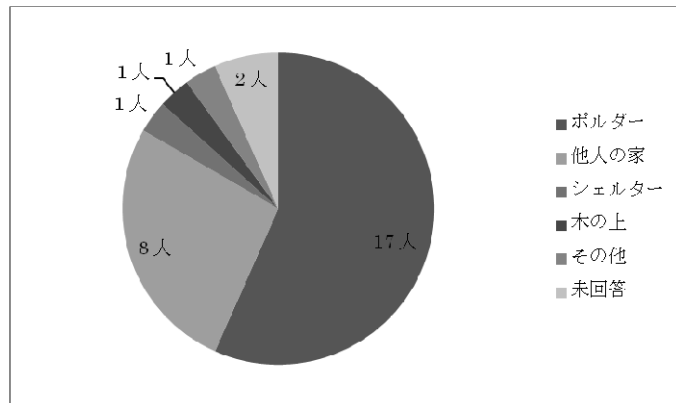


図 E.3.9 避難場所 (n=30)

E.3.3 被災後の支援と生活再建の状況

サイクロン「アイラ」襲来後も強風で家屋が倒壊する、高潮による浸水によって家屋が流される、あるいは堤防の破堤による浸水で水がひかない状況が続き、多くの住民が自宅以外の場所で避難生活をおくっている。同地区の場合、調査対象者 30 人のうち一時的に「堤防の上」に居住して生活を開始した者が 8 人、「友人宅」に避難していた者が 9 人、「サイクロンシェルター」で生活していた者が 1 人、「堤防の外」に避難した者が 2 人いた。

図 E.3.10 に示す通り、被災後の支援としては、24 人が米の配給を受け、22 人は水の配給を受けている。こうした食料支援に加え、20 人は調理器具などの日用品、16 人はテントなど家屋の再建のための支援を受けている。

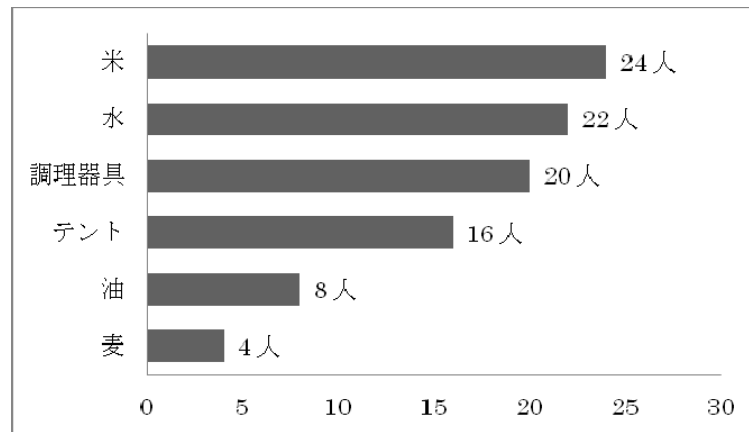


図 E.3.10 被災後に受け取った支援物資 (n=30)
※ 複数回答可

サイクロン「アイラ」襲来前後の収入の変化について確認したところ、質問票調査の対象者 30 人の平均月収は、5,333tk から 3,800tk に減少している。高潮が農地に浸水し塩害を起こして農業ができないことや日雇い労働の仕事が減少したことなどが原因であると考えられる。また、住民の重要な資産である家畜の数にも変化がみられる。1 世帯あたりの家畜の平均所有数をみると、牛の平均所有数やヒツジの平均所有数は 0~1 頭 (匹) で、サイクロン「アイラ」前後で若干の変動がみられた。鶏やアヒルの平均所有数は 8~9 羽から 2~3 羽に、ヤギの平均所有数は 2~3 匹から 0~1 匹に減少している。

生活再建にあたり、質問票調査の対象者 30 人のうち 28 人がマイクロクレジットを活用している。借入れ金額は、5,000tk から 60,000tk で、平均すると 19,179tk となっている。住民が被災後に利用した主なマイクロクレジット機関としては、Ganamukhi (8 人)、BRAC (7 人)、グラミン銀行 (3 人)、Krishi Bank(2 人)、BRDB(1 人)等が挙げられ、多くの住民が大手のマイクロクレジット機関を利用していることが理解できた。サイクロン被災前に借りていたマイクロクレジットに関しては、1 ヶ月から 1 年まで支払い猶予があり、マイクロクレジット機関は、住民の生活がある程度回復し、支払いが可能になるまで返済に関して一定の猶予を持たせているようである。

ポルダー 4 の対象地区の状況



ポルダーに内側すぐの場所にある家屋
(高潮ですぐに浸水する危険性が高い)



被災後に建てられたレンガ造りの学校



サイクロン「アイラ」で学校の建物が壊れ
臨時に作った教室



約 2kg 離れたサイクロンシェルター



土を盛って修復されたポルダー



家が風で飛ばないように屋根にレンガをのせている

F.1 ポルダ-13-14/2①の地域情報

F.1.1 調査対象地区

ポルダ-13-14/2①において選定された聞き取り調査の対象地区は、以下の通りである。

District	Thana	Union	Village
Khulna	Koyra	Maharajpur	Mathbari

F.1.2 対象地域の情報

(1) 一般情報

Mathbari 村には現在 255 世帯が生活をしている。村の主要な経済活動は、農業や漁業（エビの養殖業等）、日雇い労働である。住民が使う生活用水は、雨季には雨水、乾季は池の水を利用している。村内には井戸もあるが、井戸の水は、塩分濃度が高く飲料水として飲むことが出来ない。電気がないため、照明としてアルコールランプを使用している。

同村には、堤防の維持管理を行う「WMG」はない。フォーマルな組織や委員会はないが、村の住民が自分たちで堤防の修復作業をすることはごく稀にある。また、資産家や地主から資金を募って竹や砂袋を買い、砂を袋に詰めて、破堤した部分に砂袋をつめて堤防を修復したこともある。加えて、同村では CPP の活動は実施されておらず、サイクロンシェルターもない。

(2) サイクロン「アイラ」による被災状況および復旧・復興状況

サイクロン「アイラ」が襲来した当日は、雨風ともに非常に強く、午前 12 時頃高潮が迫り、13 時頃には堤防が破堤した。高潮は、最大 5 フィート（約 1.5m）にまで達し、午後 8 時頃には水がひいたものの、その後は日常的に潮の満ち引きにあわせて浸水するようになった。

F.2 インタビュー調査の結果

F.2.1 回答者の情報

インタビュー調査を行った住民の情報を以下の通りである。

回答者	Asia Khatun
年齢	41 歳
性別	女性
就学年数	0 年
家族構成*	6 名：男性 1 名、女性 5 名 (12 歳以下の子供：男子 0 名、女子 1 名)
世帯主の職業	漁業
宗教	イスラム教
世帯収入 (月額)	現在：3,000tk、「アイラ」前：3,000tk
所有土地面積	2 エーカー (約 8,093.6 m ²)

注) *生活を共にする家族



回答者の Asia Khatun 氏

F.2.2 サイクロン「アイラ」の被災時の状況

(1) 予警報の伝達状況と住民の避難意識

回答者は、事前にサイクロン「アイラ」が襲来することを知らなかった。他の村では、サイクロン情報をマイク放送で伝える仕組みがあると聞いたことがあったが、当村では、マイク放送による予警報はなかった。

(2) 避難行動、避難時の懸念事項および避難場所（サイクロンシェルター）の状況

サイクロン情報は知らなかったが、当日は雨風ともに非常に強かったため、サイクロンが近づいていることを理解した。午後 12 時頃、高潮が近づいているのは見えたため、ヤギ 3 匹、衣服、米を持参して家族全員で堤防の上に避難した。午後 1 時には堤防の一部が破堤し、高潮が家を飲み込んでいった。

(3) サイクロン「アイラ」による被災状況

最大で 5 フィート (約 1.5m) 達した高潮と堤防の破堤により浸水下水は、午後 8 時頃にひいたが、その後も日常的に干満にあわせて浸水するようになった。家族に怪我人や死者はでなかったものの、家は全壊し、ソーラーパネルの基盤やバッテリーが破損してしまった。また、サイクロン「アイラ」以前まで飼育していたヤギ 8 匹、鶏 10 羽のうちヤギ 5 匹と鶏 8 羽が流されてしまった。

(4) 緊急支援および生活再建支援の状況

緊急支援に関しては、被災後 4 日目から食料の配給が開始している。3 日目までは自分で小売店に行き、後払いで食料を購入し飢えをしのいだ。政府からは 12,000tk

の現金と米の支給を受けた。米は3ヶ月ごとに20kgが支給され、配給は1年半続いた。現在は外部からの支援は何もない。「Cash for Work」や「Food for Work」は、1年前（2011年）に壊れた堤防を修復する際に実施されたが、それ以降は行われていない。

回答者の生計手段は漁業で、月約3,000tkの収入がある。サイクロン「アイラ」襲来前後で収入に変化はない。また、サイクロン「アイラ」襲来前から19歳の息子がダッカに出稼ぎに行き、被災後、16歳の息子も出稼ぎに行った。2人とも縫製工場で働き仕送りをしてきており、漁業以外の仕送りによる収入もある。

生活再建のための費用として、マイクロクレジットを活用する住民もいるが、回答者の場合、返済できないと家畜などを持って行かれてしまうためマイクロクレジットは活用していない。サイクロン「アイラ」による高潮等で家畜の所有数も変動があったが、現在は、ヤギ9匹と鶏5羽を飼育している。高潮で破損したソーラーパネルの基盤やバッテリーも自己資金の30,000tkで購入しなおしている。

(5) 生活再建に対する課題・ニーズ

回答者が考える生活再建の課題・ニーズは以下の通りである。

① 予警報伝達方法の改善

対象地域では、文字が読めない住民も多く、回答者は音声で情報が得られると実用的であると考えている（携帯電話（ラジオ機能のついた）からサイクロン情報を得るなど）。

② 塩害被害の影響・問題

高潮によって塩水と土砂が農地に流入したため、農業が出来ない状態が続いている。また、川の塩分濃度が上がり獲れる魚の量が減少していると考えている。

③ サイクロンシェルター対策

近場にサイクロンシェルターがなく、次にサイクロンがきた際も堤防に避難するしかない。また、高潮に対しては、堤防よりも安全な場所に避難することのできるボートの方が安全だと考えている。

F.3 質問票調査の結果

F.3.1 予警報の伝達状況と伝達手段

Mathbari村の質問票調査の対象者30人のうち、サイクロン「アイラ」の襲来に関する情報を事前に知っていた住民はわずか2人で、本調査の対象地域の中で最も少ない人数であった。28人の住民は事前にサイクロン襲来に関する情報を得られていない。情報を得ていた2人の住民は、両者とも高潮襲来の6時間前に情報を得ている。情報伝達も他の地域に比較して遅めである。

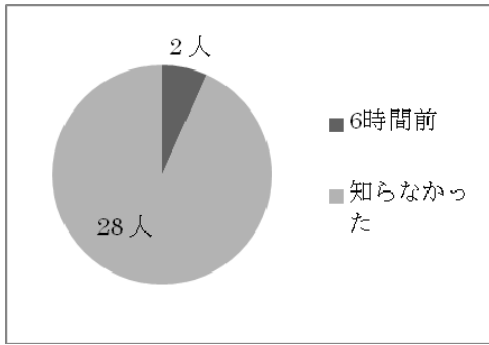


図 F.3.1 サイクロン情報の入手時期 (n=30)

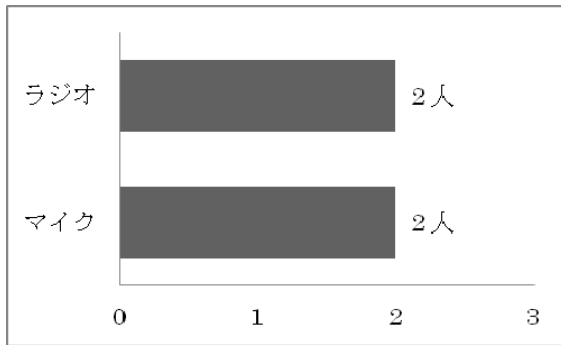


図 F.3.2 サイクロン情報の入手先
※情報を事前に知っていた住民のみが対象(n=2)
※複数回答可

事前にサイクロン襲来の情報を得た住民 2 人は、「ラジオ」および「マイク放送」の 2 つの情報源からサイクロン情報を確認している。他の地域に比較し情報源も少ない。CPP やユニオン防災委員会を通じた情報伝達は同地区でも行われていなかった。

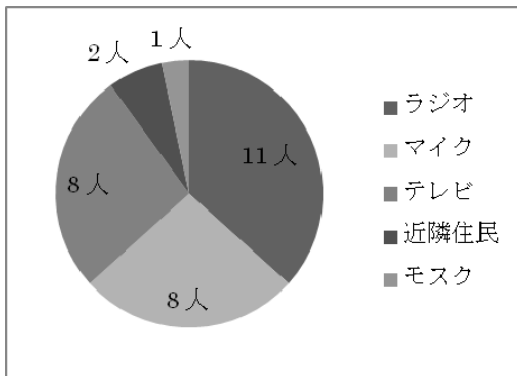


図 F.3.3 最も信頼できるサイクロン情報源 (n=30)

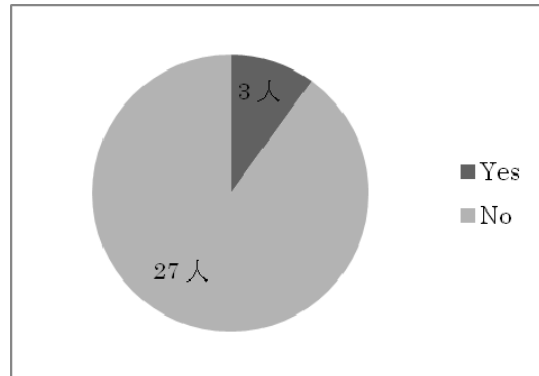


図 F.3.4 ラジオの所有率(n=30)

質問票調査の中で対象者 30 名にサイクロン情報の伝達手段の中で最も信頼できる情報源を確認したところ、11 人が「ラジオ」、8 人が「マイク放送」、8 人が「テレビ」と回答している。「ラジオ」を最も信頼する情報伝達手段として挙げている住民が多いが、対象者 30 人の中でラジオを所有している住民は 3 人だけである。

しかし、質問票調査の対象者 30 人のうち 21 人が携帯電話を所有している。バングラデシュでは、販売されている携帯電話の大半にラジオの機能がついており、携帯電話を利用してラジオ放送にアクセスすることができる。

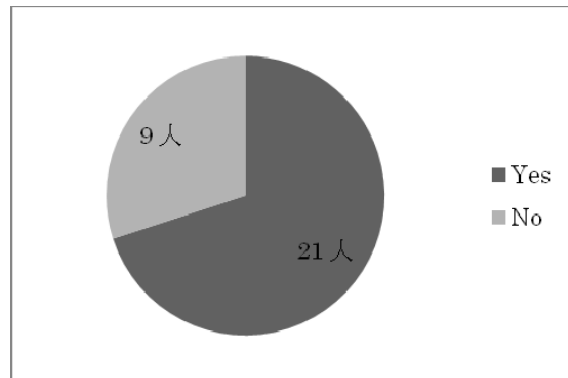


図 F.3.5 携帯電話の所持率(n=30)

F.3.2 避難行動および避難場所の状況

質問票調査の対象者 30 人のうち、サイクロン「アイラ」による高潮の前に避難行動をとっている住民は 9 人で、21 人の住民は事前の避難行動をとっていない。事前に避難行動に結びつかない要因の一つとしては、上述の通りほとんどの住民が「サイクロン襲来の事実を知らなかった」という予警報伝達の問題が挙げられる。しかしその一方で、サイクロン襲来の事実を事前に知っていた 2 人の住民全員が避難行動をとっているわけではなく、予警報が本来の目的である『住民の事前の避難行動』に結びついているわけでもない。

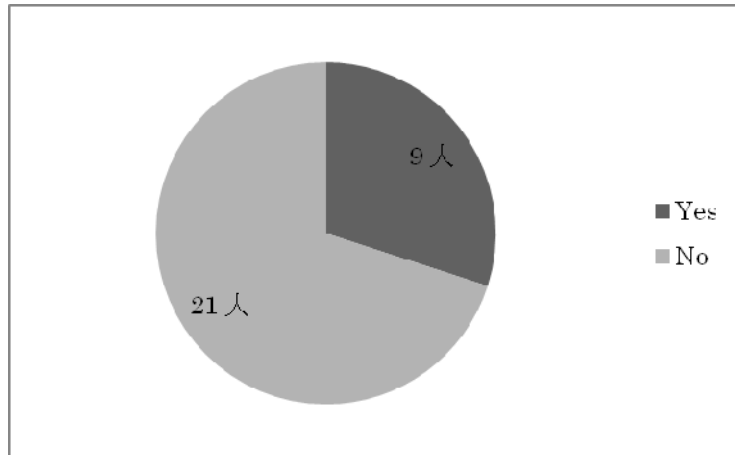


図 F.3.6 事前（高潮発生前）の避難行動の有無 (n=30)

質問票調査の対象者 30 人に「避難の際に心配なこと」を確認したところ、「家屋・家財の損失」と回答した住民が 26 人、「避難場所が遠い」と回答した住民は 21 人、「家畜の損失」と回答した住民が 13 人、「警報への不信」、「避難場所までの道が悪い」と回答した住民がそれぞれ 9 人いた (図 F.3.7 参照)。

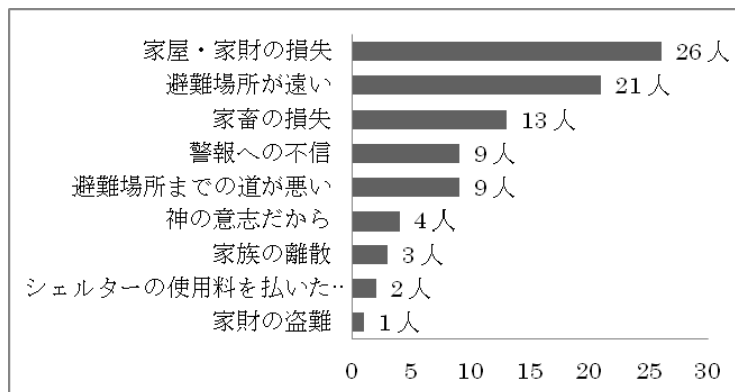


図 F.3.7 避難の際に心配なこと (n=30)
※複数回答可

多くの住民が、サイクロンの雨風や高潮の影響で家屋、家財、家畜等を失ってしまうことを恐れ自宅に残り、命の危険が目の前に迫った段階で着の身着のまま避難行動をとっていると考えられる。また、インタビュー調査の中でも同地区の住民が避難する最も近いサイクロンシェルターまでの距離が遠いことやサイ

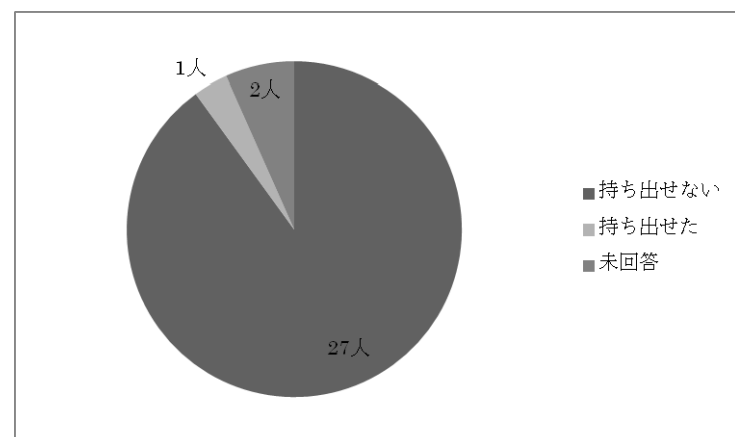


図 F.3.8 避難時の家財の持ち出しの有無 (n=30)

クロンシェルターまでの道のりも整備されていないことが指摘されている。そのため、サイクロン襲来時に避難場所までたどりつけるかわからないことに対する不安も住民の事前の避難行動をとらない要因となっていると考えられる。さらに、質問票調査の対象者 30 人のうち、27 人は現金、食糧、家畜といった家財を避難の際に持ち出せておらず、サイクロン「アイラ」によって資産の多くを失ったと考えられる。

他方、サイクロン「アイラ」襲来時の避難場所については、質問票調査の対象者 30 人のうち、21 人が「堤防」を避難場所として挙げている。「サイクロンシェルター」と回答した住民は 4 人、「他人の家」と回答した住民は 1 人であった。「堤防」と回答した住民は多いが、サイクロン襲来時は、堤防の上部まで高潮が達しているため決して安全な場所とは言えない。しかし、高潮が発生し、目の前に危険が迫った段階で避難する住民の多くが自宅から最も近い「堤防」の上に緊急避難していると考えられる。

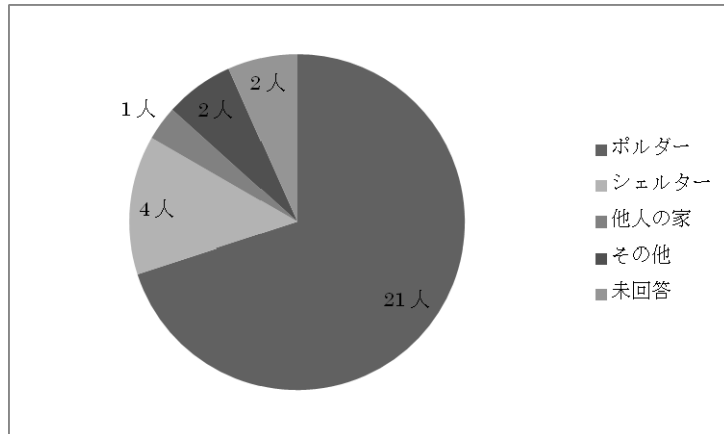


図 F.3.9 避難場所 (n=30)

F.3.3 被災後の支援と生活再建の状況

サイクロン「アイラ」襲来後も、雨風で家屋が倒壊する、高潮による浸水で家屋が流される、あるいは堤防の破堤により浸水した水がひかないといった状況が続いたため、住民の多くが自宅に戻れず堤防上やシェルター等で長期間に亘り避難生活をおくっている。質問票調査の結果によると、対象者 30 人中一時的に「堤防の上」に居住して生活を開始した者が 23 人、「サイクロンシェルター」で生活していた者が 2 人、「堤防の外」に避難した者が 2 人存在する。

図 G.3.9 に示した通り、被災後の支援としては、調査対象者 30 人全員が米の配給を受け、29 人は水の配給を受けている。水や米のほか、22 人はテント、15 人はブランケット、14 人は調理器具、13 人は油、7 人はビニールシートといった支援を受けたと回

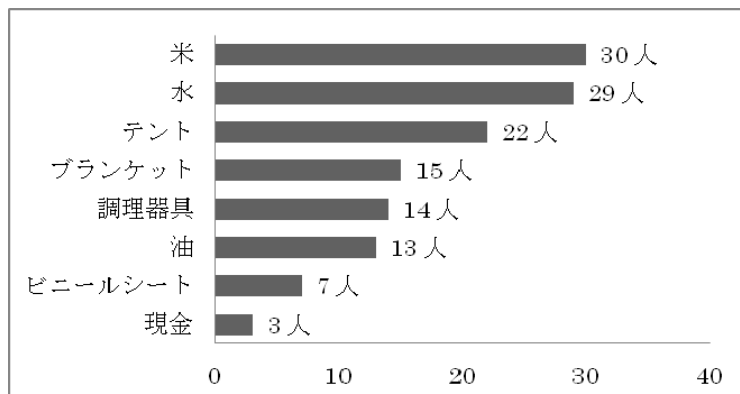


図 F.3.10 被災後に受け取った支援物資 (n=30)

※ 複数回答可

答している。緊急時に必要不可欠な食糧や水に加えて、家屋資材や日用品などの生活再建に必要な物品の支援されている。また、3人は現金の支給も受けている。

質問票調査の中でサイクロン「アイラ」襲来前後の住民の収入の変化について確認したところ、対象者30人の平均月収は、4,533tkから2,877tkに減少している。収入減少の主な原因としては、サイクロンによる高潮で、堤内地の農地に塩水が浸水し、農業ができなくなったこと、日雇い労働の仕事が減少したことが挙げられる。住民の重要な資産である家畜の数も変化がみられる。対象地域の場合、牛の平均所有数は2~3頭で、サイクロン「アイラ」前後でほぼ横ばいであった。しかし、鶏やアヒルの平均所有数は11~12羽から1~2羽に、ヤギの平均所有数は2~3匹から0匹に、ヒツジの平均所有数は2~3匹から0~1匹に減少している。

生活再建を目的として、質問票調査の対象者30人のうち18人がマイクロクレジットを活用している。借入れ金額は、1,200tkから40,000tkとなっており、平均すると9,400tkである。住民が被災後に利用した主なマイクロクレジット機関としては、Ganamukhi(9人)、BRAC(6人)、グラミン銀行(1人)、BRDB(1人)となっており、多くの住民が大手のマイクロクレジット機関を利用していることが理解できる。また、サイクロン被災前に借りていたマイクロクレジットに関しては、3~7ヶ月間の支払い猶予が与えられている。マイクロクレジット機関としても、住民の生活がある程度回復し、支払いが可能になるまで返済に関しては一定の猶予を持たせているようである。

ポルダ-13-14/2①の対象地区の状況



インタビュー調査の回答者の家



雨水を集めるための竹製の雨どい
(雨水は貴重な飲料水である)



高潮で浸水し耕作できなくなった農地



住民の家屋の脇のポルダ-
(高潮を防ぐためには高さが不十分)



雨水の貯水用のタンク
(カバーをかけ埃やゴミが入らないように配慮されて)



サイクロン「アイラ」以降定期的に浸水する農地

G.1 ポルダ-13-14/2②の地域情報

G.1.1 調査対象地区

ポルダ-13-14/2②において選定された聞き取り調査の対象地区は、以下の通りである。

District	Thana	Union	Village
Khulna	Koyra	Mahessoripir	Shinger Chak

G.1.2 対象地域の情報

(1) 一般情報

Shinger Chak 村の世帯数は 70 世帯である。村の主要な経済活動は、農業や漁業（エビの養殖業等）、日雇い労働となっている。同村では、以前 1,200 フィート（約 366m）の深井戸を掘ったことがあるが、水が出てこなかった。そのため、住民は生活用水として池の水を利用するほか、雨季には大きなタンクに雨水をためて飲料水として利用している。例えばインタビュー調査を行った住民の場合、家族 4 人であれば、ためた雨水を 3～4 ヶ月間利用して生活することができるようである。この村にも電気はないため、照明用にはアルコールランプが利用されている。

同村には、堤防の維持管理を行う「WMG」は組織されていない。しかし、修復が必要な際には、村の資産家から資金を募り、地域の住民がボランティアで堤防修復作業を行っている。また、村にはサイクロンシェルターはなく、CPP の活動も実施されていない。

(2) サイクロン「アイラ」による被災状況および復旧・復興状況

上述の通り、Shinger Chak 村にはサイクロンシェルターはない。住民が避難できるサイクロンシェルターは約 3km 離れた場所にあるため、歩いて 1 時間前後かかっている。また、このサイクロンシェルターまでの避難道も整備されていないため。サイクロン「アイラ」襲来時は、浸水して歩くことができなかった。当日は、朝から雨風ともに強く、午後 14 時頃に高潮が堤防を越え始め、午後 8 時頃には家屋も浸水するほどとなった。水は最大で 7 フィート（約 2.1m）まで達している。その後、6 時間程度で水は一時的にひいたものの、その後再び水位があがり 9 ヶ月間水はひかなかった。

G.2 インタビュー調査の結果

G.2.1 回答者の情報

インタビュー調査を行った住民の情報を以下の通りである。

回答者	Bishwanath (世帯主)
年 齢	41 歳
性 別	男性
就学年数	2 年
家族構成*	4 名：男性 2 名、女性 2 名 (12 歳以下の子供：男子 1 名、女子 1 名)
世帯主の職業	日雇い労働 (土木関係、農業関係)
宗 教	ヒンドゥー教
世帯収入 (月額)	現在：2,500tk、「アイラ」前：2,500tk
所有土地面積	なし

注)*生活を共にしている家族



回答者の Bishwanath 氏

G.2.2 サイクロン「アイラ」の被災時の状況

(1) 予警報の伝達状況と住民の避難意識

回答者の場合、ラジオ、テレビ、携帯電話は持っていないが、サイクロン「アイラ」が接近していることについては、前日に市場の茶屋にあるテレビで確認した。村内ではマイク放送による予警報情報の伝達はなかったようである。

(2) 避難行動・避難時の懸念事項および避難場所（シェルター等）の状況

サイクロン「アイラ」の襲来した当日は、朝から雨風が強かった。回答者は、サイクロン「アイラ」が来ることを事前に知っていた。しかし、高潮が来ると思っていなかったため事前避難はせず、午後 2 時頃に高潮が堤防を越え始め、その後午後 8 時頃に家も完全に沈んでしまった時点で近くの堤防の上に避難した。堤防に移動する際、ベッド、布団、米、皿などを持参したが、家畜（ヤギ 1 匹、鶏 3 羽）は連れて行けなかった。

(3) サイクロン「アイラ」による被災状況

サイクロン「アイラ」による高潮の水は最大で 7 フィート（約 2.1m）にまで達している。回答者の家の周辺では、浸水した水が 6 時間程度でひいたが、その後再び水位があがった。家族で怪我人や死者はでなかったが、家は全壊し、飼っていたヤギ 1 匹、鶏 3 羽も流されてしまった。また、家財は堤防に運んでいる間にすべて流されてしまった。9 ヶ月間に亘り水がひかなかったため、塩水によって米が育たなくなった。被災直後は遠くの川まで水を汲みに行っていた。

(4) 緊急支援および生活再建支援の状況

高潮による浸水の状況は約 9 ヶ月間続き、回答者の家族はその間は堤防の上で生活をしてきた。緊急支援として 3 日後に政府から乾燥食品が支給され、2 週間後からは米の配給が始まった。回答者の場合、米の配給は毎月 20kg の支給を 1 年間受けている。水は半年後に NGO が支給されている。NGO からは、半年後に調理用の油・豆・テント、冬場に 2 枚の毛布と子ども服が支給された。現在、支援物資の配給は行われていない。

一方、生活再建支援としては、サイクロン「アイラ」から 1 年半後、英国赤十字社から、家もしくは 30,000tk の支援を受け取るという選択肢をもらい、回答者は家を選んでいる。この地域に住む 21 世帯が家を選び、26 世帯が現金の支援を選択している。NGO の「Cash for Work」プログラムも実施され、回答者も、当プログラムに参加し、隣村で 3 ヶ月程度仕事をしている。世帯主である回答者が怪我や病気で参加できない場合は、妻が参加することもあったようである。現在は、「Cash for Work」や「Food for Work」のようなプログラムも行われていない。

回答者の生計手段は、土木関係や農業関係の日雇い労働で、「アイラ」襲来後も土木作業や田植え作業などの日雇い労働により月額 2,500tk の収入を得ている。収入は「アイラ」の前と変わっていない。従って、「アイラ」襲来の後、家族の中で都市部の出稼ぎに行くものもなく、生活再建のためにマイクロクレジットも活用していない。

(5) 生活再建に対する課題・ニーズ

回答者が考える生活再建の課題・ニーズは以下の通りである。

① 飲料水確保の問題

対象地区には深井戸がないため日常的に使う生活用水（飲料水を含む）として池の水を利用している。サイクロン「アイラ」の高潮の影響で、池の水が塩水をかぶってしまったため、飲料水の確保が困難である（現在は、塩分濃度が高いものの、池の水を利用している）。

② 塩害被害の影響・問題

高潮で田畑が耕作できなくなってしまったため、日雇い労働の仕事が減ってしまって生活が安定しない。

G.3 質問票調査の結果

G.3.1 予警報の伝達状況と伝達手段

Shinger Chak 村の質問票調査の対象者 30 人のうち、サイクロン「アイラ」の襲来に関する情報を事前知っていた住民は 4 人で、26 人の住民は事前にサイクロン襲来に関する情報を得られていない。情報を得ていた住民 4 人が情報を入手した時期は、高潮襲来の前日に知っていた住民が 1 人、6 時間前に知っていた住民は 2 人である。

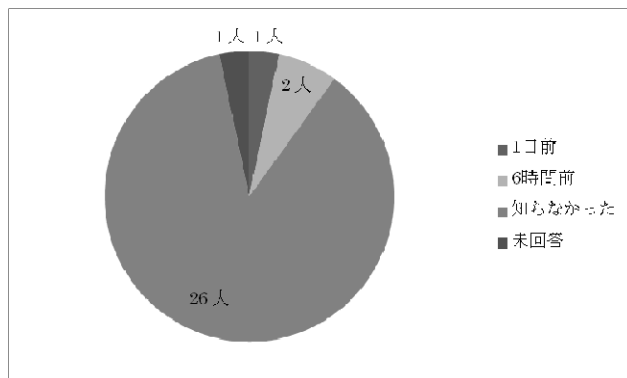


図 G.3.1 サイクロン情報の入手時期 (n=30)

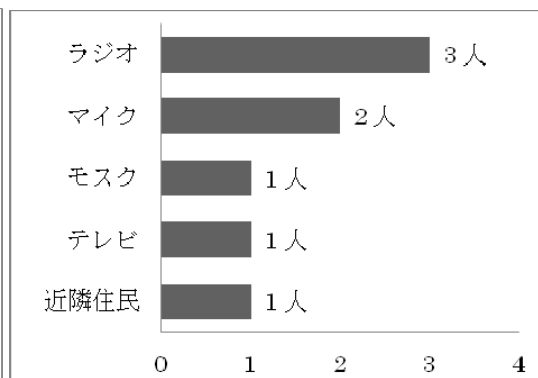


図 G.3.2 サイクロン情報の入手先
※情報を事前知っていた住民のみが対象(n=4)
※複数回答可

事前にサイクロン襲来の情報を得た住民 4 人の情報入手先としては、3 人が「ラジオ」からと回答している。2 人は「マイク放送」でも情報を確認しており、「モスク」、「テレビ」、「近隣住民」などからも情報を得ている。同地区で情報を入手した人数は少ないものの、情報源としては複数あったことが理解できる。一方、CPP やユニオン防災委員会を通じた情報伝達は同地区でも行われていなかった。

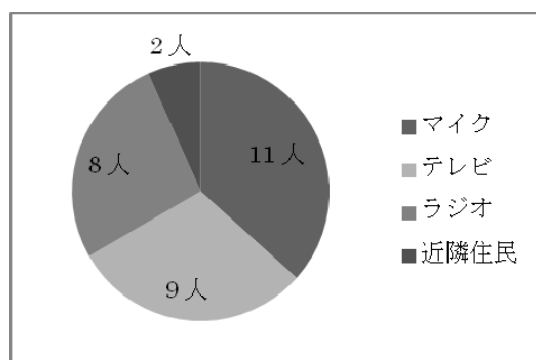


図 G.3.3 最も信頼できるサイクロン情報源 (n=30)

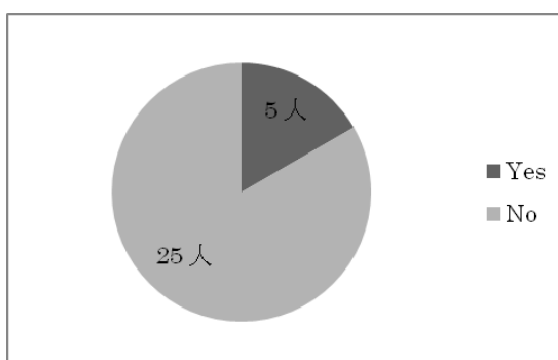


図 G.3.4 ラジオの所有率(n=30)

質問票調査の中で、複数あるサイクロン情報の伝達手段の中で最も信頼できる情報源を確認したところ、対象者 30 人中 11 人が「マイク放送」、9 人が「テレビ」、8 人が「ラジオ」と回答している。本調査の対象地域のうち、住民聞き取り調査を実施した他の地区では「ラジオ」による情報が住民に最も信用されていたが、同村では「マイク放送」

の信頼度が最も高かった。本調査の対象地域の場合、住民はお茶屋等でテレビを観ることが多く、個人的に所有する情報ツールとしては、ラジオや携帯が挙げられる。Shinger Chak 村の場合、ラジオを所有する住民は 30 人中 5 人、携帯を所有する住民は 30 人中 19 人である。バングラデシュでは、携帯電話にラジオ機能がついており、これを利用してラジオ放送にアクセスすることができる。

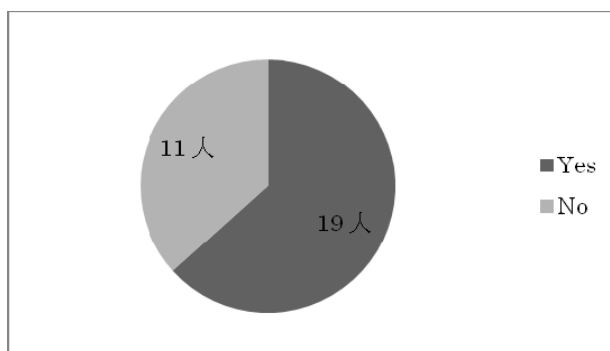


図 G.3.5 携帯の所持率 (n=30)

G.3.2 避難行動および避難場所の状況

質問票調査の対象者 30 人のうち、サイクロン「アイラ」による高潮の前に避難行動をとっているものは 9 人で、21 人の住民は事前に避難行動をとっていない。事前に避難行動に結びつかない要因の一つとしては、対象住民のほとんどが「サイクロン襲来の事実を知らなかった」という予警報伝達の問題が挙げられる。

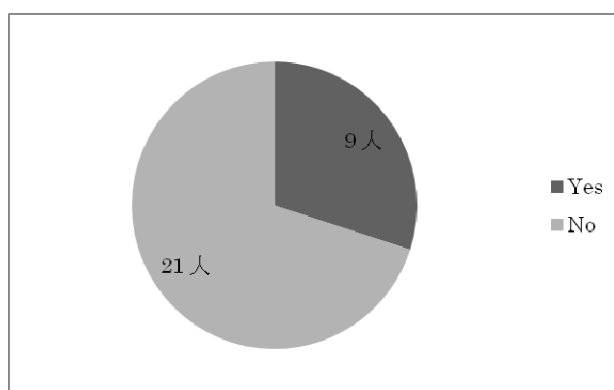


図 G.3.6 事前（高潮発生前）の避難行動の有無 (n=30)

一方、高潮発生の前後に係わらず「避難の際に心配なこと」について

調査対象者 30 人に確認したところ、24 人が「家屋・家財の損失」、17 人が「避難場所が遠い」、12 人が「家畜の損失」、10 人が「警報への不信」、9 人が「避難場所までの道が悪い」と回答しているほか、少数ではあるが、「家財の盗難」といった回答も挙げられている（図 G.3.7 参照）。これらの回答結果から、住民の多くが、サイクロンの雨風、高潮の影響で家屋、家財、家畜等を失ってしまうことを恐れ、高潮が発生しても自宅に残り、命の危険が目の前に迫った段階で着の身着のまま避難行動をとっていると考えられる。また、サイクロンシェルターまでの距離が遠いことや避難経路が整備されていないことで、サイクロン襲来時に避難場所までたどりつけるかわからないことに対する不安も

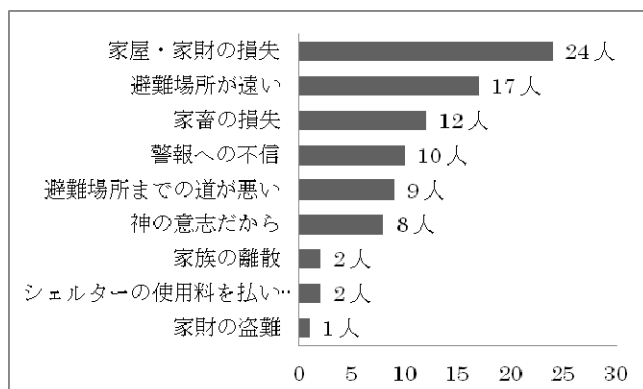


図 G.3.7 避難の際に心配なこと (n=30)
※複数回答可

住民の事前の避難行動をとらない要因となっていると考えられる。さらに、質問票調査の対象者 30 人のうち、22 人は現金、食糧、家畜といった家財を避難の際に持ち出せていない。サイクロン「アイラ」によって資産の大半を失ったと推測される。

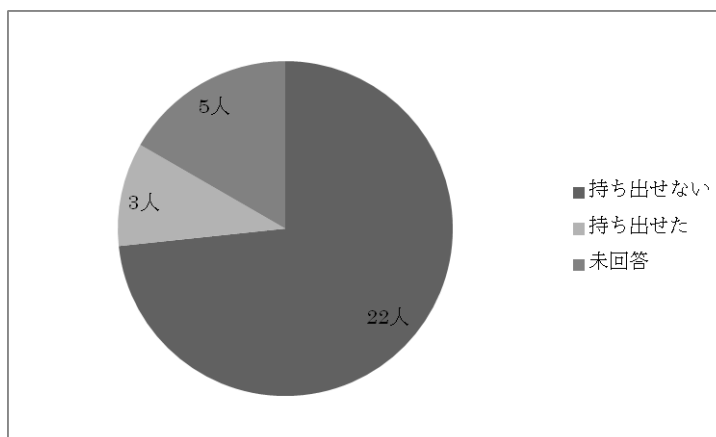


図 G.3.8 避難時の家財の持ち出しの有無 (n=30)

サイクロン「アイラ」襲来時の避難場所については、質問票調査の対象者 30 人のうち 21 人が「堤防」を挙げ、「サイクロンシェルター」へ避難した住民は 3 人であった。

「堤防」と回答する住民が半数以上を占めるが、サイクロン襲来時は、堤防の上部まで高潮の水が達しているため決して安全な場所とは言えない。しかし、堤防は高潮が迫った段階で住民が高潮から命を守るために避難する緊急的な避難場所としての役割を担っていることが理解できる。

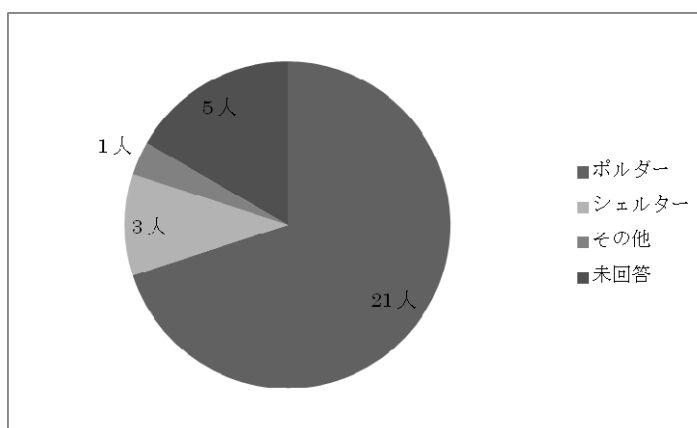


図 G.3.9 避難場所 (n=30)

G.3.3 被災後の支援と生活再建の状況

サイクロン「アイラ」襲来後も、雨風で家屋が倒壊する、高潮で家屋が流される、あるいは堤防の破堤により浸水した水がひかないといった状況が続き、住民の多くが自宅に戻れず「堤防上」や「サイクロンシェルター」等で長期間に亘り避難生活をおくっている。質問票調査の結果を確認すると、対象者 30 人のうち一時的に「堤防の上」に居住して生活を開始したものが 20 人、「サイクロンシェルター」で生活していた住民が 1 人、「ポルダーの外」に一時的に出た住民が 1 人存在している。

図 G.3.10 に示した通り、被災後の支援として、調査対象者 30 人全員が米の配給を受け、29 人が水の配給を受けている。こうした食糧、水、油に加えて、テントやビニー

ルシートといった家屋の再建のための資材、ブランケットや調理器具といった日用品、現金なども支援されている。

質問票調査の中でサイクロン「アイラ」襲来前後の住民の収入の変化について確認したところ、対象者 30 人の平均月収は 4,400tk から 2,870tk に減少している。これは、高潮の影響で農地に塩水が浸水し、農業ができなくなったことや、日雇い労働の仕事の減少したことが主な原因であると考えられる。他方、住民の重要な資産である家畜の

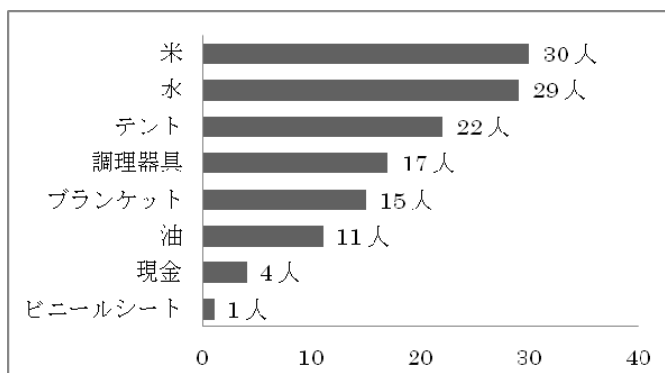


図 G.3.10 被災後に受け取った支援物資 (n=30)
※ 複数回答可

数にも減少がみられる。質問票調査の対象者の場合、牛の平均所有数は 2~3 頭から 0~1 頭に、ヤギの平均所有数は 2~3 匹から 1~2 匹に、ヒツジの平均所有数は 3~4 匹から 0~1 匹に減少している。また、鶏やアヒルなどの平均所有数は 11~12 羽から 2~3 羽に減少している。

生活再建の資金として、調査対象者 30 人のうち 21 人がマイクロクレジットを利用している。借入れ金額は、1,200tk から 40,000tk 程度で、平均すると 11,829tk となっている。住民が被災後に利用した主なマイクロクレジット機関としては、BRAC (8 人)、Ganamukhi (6 人)、グラミン銀行 (2 人)、BRDB (1 人) などが挙げられ、大手のマイクロクレジット機関を利用していることが理解できる。サイクロン被災前に借りていたマイクロクレジットに関しては、3 ヶ月から 2 年まで支払い猶予が与えられている。マイクロクレジット機関としては、被災後、住民の生活がある程度回復し支払いが可能になるまで返済に関して一定の猶予を持たせているようである。

ポルダー13-14/2②の状況



ポルダーからみた村の様子



ポルダーに隣接する家屋



家に複数個ある貯水容器



高床式の種子の貯蔵庫



赤十字によって支援されたトイレ



赤十字によって支援された家

H.1 ポルダ-32①の地域情報

H.1.1 調査対象地区

ポルダ-32①において選定された聞き取り調査の対象地区は、以下の通りである。

District	Thana	Union	Village
Khulna	Dacope	Sutarkhali	Gunari

H.1.2 対象地域の情報

(1) 一般情報

Gunari 村の世帯数は 640 世帯である。村内に池があり、住民は飲料水を含む生活用水として池の水を使用している。サイクロン「アイラ」の後、池の水は塩水化し、現在は飲料水用として使えなくなった。そのため、住民は隣村の池まで船を使って水汲みに行っている。電気はない。

同村には、堤防の維持管理を行う「WMG」は存在せず、堤防や生活道の修復を行う際は、住民が自主的に拠出金を募り、修復作業を行っている。村内にサイクロンシェルターはなく、隣村のサイクロンシェルターまでは 3km 程離れている。また、CPP の活動も実施されていない。

(2) サイクロン「アイラ」による被災状況および復旧・復興状況

サイクロン「アイラ」が襲来する前日から雨が降っており、当日は午前 9 時頃から川の水位が上がり始めた。11 時頃から急激に風が強くなり、同時に高潮が襲ってきた。浸水した水は 5 フィート（約 1.5m）まで達し、午前 3 時頃まで水位は下がらなかった。その後、一度水がひいたが、堤防が壊れたため、潮の満ち引きによって日常的に水が堤内地に入るようになった。サイクロンシェルターまでの道もサイクロン「アイラ」襲来以前はきちんと舗装されていたが、サイクロン「アイラ」襲来時は浸水して歩ける状況ではなかった。

こうした状況の中、対象地域の住民の多くは、隣村の市場近くの高台に移り住み、現在も避難生活をおくっている。また、被災後、農業ができなくなり生計手段を失った住民の多くが出稼ぎ労働に出ている。インドに出稼ぎに行っている人が多く、国内では Khulna や Gopalganj に出稼ぎに行っている人もいる。なお、堤防の修復は 2011 年の 2 月に終了し、インタビュー調査の回答者のように、一部の住民はサイクロン「アイラ」以前に自分の家があった場所に戻る事が出来ている。

なお、サイクロン「アイラ」以前は、村の中でマイク放送によるサイクロン情報の伝達が行われていなかったが、被災後、ユニオン評議会議長を中心にサイクロン情報に関するマイク放送が行われるようになった。

H.2 インタビュー調査の結果

H.2.1 回答者の情報

インタビュー調査を行った住民の情報を以下の通りである。

回答者	Nimai Chand Sardar
年 齢	50 歳
性 別	男性
就学年数	10 年
家族構成*	4 名：男性 2 名、女性 2 名 (12 歳以下の子供：男子 1 名、女子 1 名)
世帯主の職業	農業、日雇い労働
宗 教	ヒンドゥー教
世帯収入 (月額)	現在：2,000tk、「アイラ」前：3,000tk
所有土地面積	0.17 エイカー (約 688 m ²)

注)*生活を共にしている家族



回答者の Nimai Chand Sardar 氏

H.2.2 サイクロン「アイラ」の被災時の状況

(1) 予警報の伝達状況と住民の避難意識

回答者の場合、サイクロン「アイラ」襲来の前日に、ラジオでサイクロンの予警報シグナル「3」だという情報を聞いていた。しかし、2007年のサイクロン「シドル」の際は、予警報シグナル「10」であったが、高潮は発生せず、被害も小さかったため、予警報シグナル「3」であれば大丈夫だと思って、事前の避難行動をとっていない。村では、マイク放送による情報伝達はなされなかった。

(2) 避難行動、避難時の懸念事項および避難場所（サイクロンシェルター）の状況

サイクロン「アイラ」襲来の当日の 11 時頃、急激に風が強くなると同時に高潮が襲い、隣村で高潮に飲み込まれた人・家屋・家畜も一緒に流されて来た。それを見て、回答者の家族は家の中に逃げ込んだが、家の中まで浸水してきたため、家族全員で屋根の上に避難をしている。その後、夕方頃、ボートがたまたま流れて来たので、それに乗りに近くにあるコンクリート製の友人の家に避難した。1 階部分にあったベッドの下にレンガを置き、高さをあげて皆でそのベッドの上でいた。家の中に浸水した水は 5 フィート (約 1.5m) に達したとのことである。

回答者の家族は、翌日隣村の市場に移り、ビニールテントを張って生活を始めた。以前はサイクロンが来ても家まで浸水することはなかったので、今回も大丈夫だと思いき、事前の避難準備はしていなかったため、避難の際は何も持参できなかった。もし避難するまでにもう少し時間があれば現金と米を持参し、家畜を比較的高台にある隣の市場に避難させたかったと回答している。

(3) サイクロン「アイラ」による被災状況

回答者の場合、家屋や家財はすべて流されてしまい、飼育していた牛3頭、ヤギ3匹、鶏15羽も全て流されてしまった。堤防の決壊により、潮の満ち引きにあわせて日常的に水が入ってくるようになり、以前家があった土地には住むことができなくなったため、隣村の市場近くに移り住み、NGOから支給されたビニールテントを張って生活をしていた。

(4) 緊急支援および生活再建支援の状況

緊急支援物資としては、サイクロン「アイラ」襲来に被災してから2日後、バングラデシュ国の軍隊が乾燥食品と米8kg、ペットボトルの水50を配給したが、それまでの2日間は飲まず食わずの状態であった。政府からは4日後に3,000tkの現金と、毎月18kgの米が5ヶ月間にわたり支給された。また、最近も家の再建資金として、政府から計20,000tkの支給があった。NGOからも米、テント、現金の支給があった。

回答者の場合、サイクロン「アイラ」以前は農業を生計手段の基本とし、農閑期は日雇い労働を行っていた。当時の収入は月額3,000~4,000tk程度だった。サイクロン「アイラ」以降、土砂や塩水によって農業が出来なくなり、NGOの「Cash for Work」への参加や土木関連の日雇い労働によって現在は生計をたてている。高潮で流された家畜も、現在は牛1頭、ヤギ1匹、鶏5羽を育てている。

マイクロファイナンスについては、サイクロン「アイラ」以前に4,000tkを借りていたが、被災後、サイクロン被害で未だに返済は完了していない。しかし、今のところNGOからの取り立てはない。

サイクロン「アイラ」以前、回答者はラジオのサイクロン情報に注意を払わなかったが、現在はラジオの情報を信じるようになっている。

(5) 生活再建に対する課題・ニーズ

回答者が考える生活再建の課題・ニーズは以下の通りである。

① 塩害被害の影響・問題

サイクロン「アイラ」の高潮による土砂と塩水によって農業が再開出来ないでいる。地域住民の多くが農業によって生計をたてているため、農業が再開出来ない場合、出稼ぎのために村を去らないといけない住民が多くなる。

② サイクロンシェルターの問題

家の近くにサイクロンシェルターがないため、再びサイクロンが襲来した場合に避難する場所がない。

H.3 質問票調査の結果

H.3.1 予警報の伝達状況と伝達手段

Gunari 村の質問票調査の対象住民 30 人のうち、サイクロン「アイラ」の襲来に関する情報を事前に知っていた住民は 9 人で、21 人は事前にサイクロン襲来に関する情報を得られていない。情報を得ていた 9 人の住民が情報を得た時期としては、高潮襲来の 2 日前が 1 人、1 日前が 4 人、12 時間前が 1 人、6 時間前が 3 人であった。

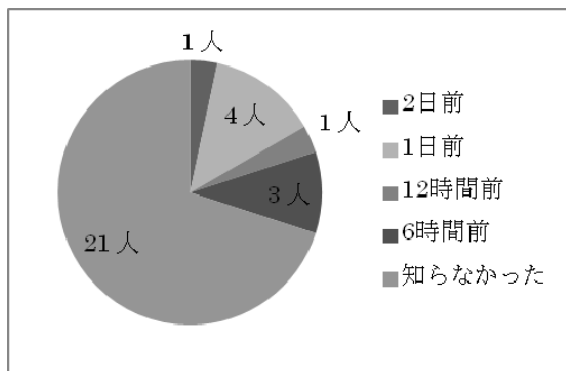


図 H.3.1 サイクロン情報の入手時期 (n=30)

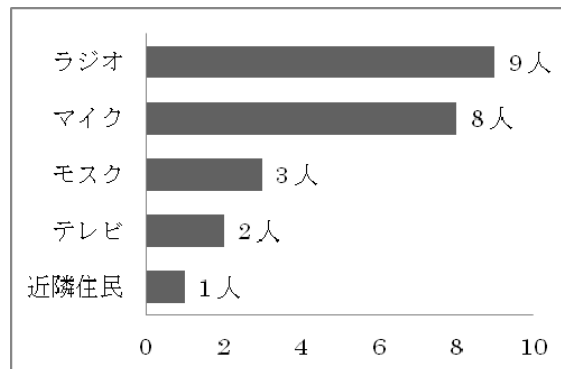


図 H.3.2 サイクロン情報の入手先
※情報を事前に知っていた住民のみが対象 (n=9)
※複数回答可

事前にサイクロン襲来の事実をしっていた住民全員 (9 人) は、「ラジオ」から情報を入手している。そのうち 8 人は、「ラジオ」に加えて「マイク放送」からもサイクロン情報を確認している。Gunari 村では、「ラジオ」、「マイク放送」、「モスク」、「テレビ」、「近隣住民」といった複数の情報源からサイクロン情報を入手していることがわかる。しかし、他の地域と同様に CPP やユニオン防災委員会を通じた情報伝達は同地区でも行われていない。

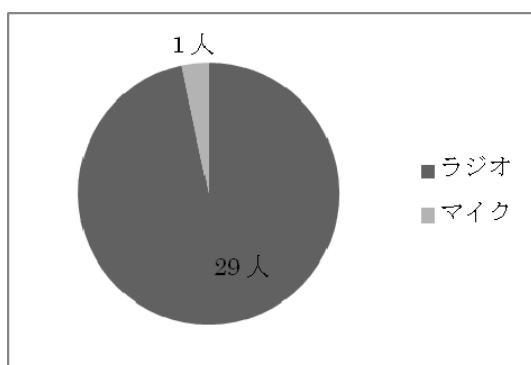


図 H.3.3 最も信頼できるサイクロン情報源 (n=30)

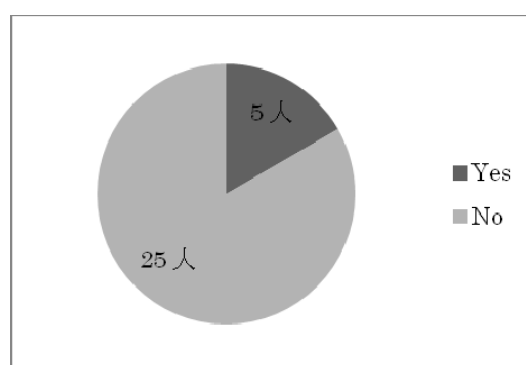


図 H.3.4 ラジオの所持率 (n=30)

質問票調査の中で、こうした複数の情報伝達手段の中で最も信頼できる情報源を確認したところ、対象者 30 人中 29 人が「ラジオ」、1 人が「マイク放送」と回答している。

サイクロン「アイラ」襲来の情報を事前に確認した 9 人がラジオで情報入手し、ほとんどの住民が最も信頼している情報伝達手段としてラジオを挙げている中、質問票調査の対象者 30 人中でラジオを所有している住民は 5 人である。他方、住民の携帯電話の所有について確認したところ、調査対象者 30 人中 19 人が携帯電話を所有していることがわかった。バングラデシュでは、携帯電話にラジオ機能を備えているものが多いため、事前に情報を入手していた住民の中には、携帯電話を利用し、ラジオ放送にアクセスした者もいたと考えられる。

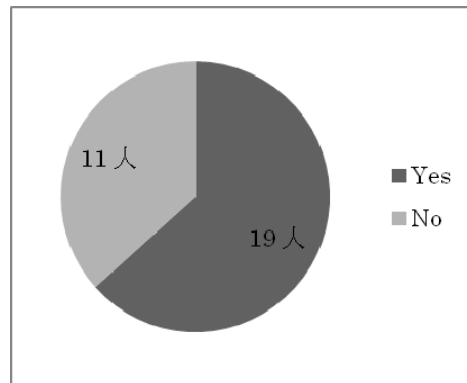


図 H.3.5 携帯電話の所持率(n=30)

H.3.2 避難行動および避難場所の状況

質問票調査の対象住民 30 人のうち、サイクロン「アイラ」による高潮前に避難行動をとっている住民は 6 人で、24 人の住民は事前の避難行動をとっていない。事前に避難行動に結びつかない要因としては、上述の通り対象住民の多くが「サイクロン襲来の事実を知らなかった」という予警報伝達の問題が挙げられる。しかし、サイクロン襲来の事実を事前に知っていた 9 人の住民全員が事前に避難行動をとっていない。このことから、予警報が本来の目的である『住民の事前の避難行動』に結びついていない状況が理解された。

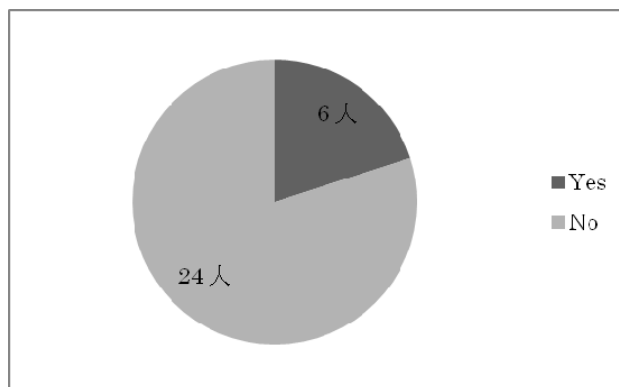


図 H.3.6 事前（高潮発生前）の避難行動の有無 (n=30)

質問票調査の対象者 30 人に「避難の際に心配なこと」を確認したところ、「家屋・家財の損失」と回答した住民が最も多く 26 人、「避難場所が遠い」と回答した住民が 11 人、「家族の離散」と回答した住民が 9 人、「家畜の損失」と回答したものが 6 人、「避難場所までの道が悪い」と回答した住民が 4 人、「家財の盗難」と回答した住民が 1 人いた（図 H.3.7 参照）。対象地区の場合、サイクロンの雨風や高潮の影響で家屋、家財、家畜等を失ってしまうことを恐れ、事前避難をせず、命の危険が目の

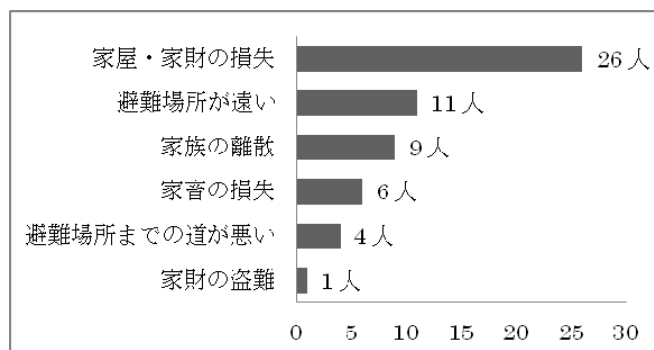


図 H.3.7 避難の際に心配なこと(n=30)
※複数回答可

前に迫るまで自宅に留まる住民が多い。また、避難場所の距離や避難経路の問題、避難時の家族への影響から、避難場所まで家族全員が無事たどりつけるかわからないことに対する不安も住民の事前の避難行動をとらない要因となっていると考えられる。

また、避難時の状況に関しては、高潮発生の前後にかかわらず、質問票調査の対象者 30 人中 26 人が、現金や食糧、家畜といった家財を一切持ち出せず、サイクロン「アイラ」によって家屋や家財といった資産を失ったと推測される。

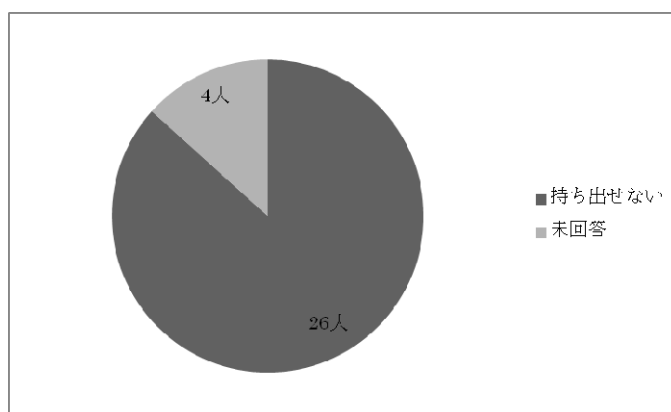


図 H.3.8 避難時の家財の持ち出しの有無 (n=30)

他方、サイクロン「アイラ」襲来時の避難場所については、質問票調査の対象者 30 人のうち、10 人が「サイクロンシェルター」と回答している。また、「他人の家」と回答した住民が 7 人、「堤防」と回答した住民が 6 人いた (図 H.3.9 参照)。多くの住民がサイクロン襲来前に避難していないが、高潮襲来の直後、あるいは被災後に「サイクロンシェルター」あるいは「友人宅」等の他人の家に避難したと考えられる。「堤防」は、上部まで高潮が達しているため決して安全な場所とは言えないが、住民が高潮から命を守るために自宅から緊急的に避難する場所であると考えられる。

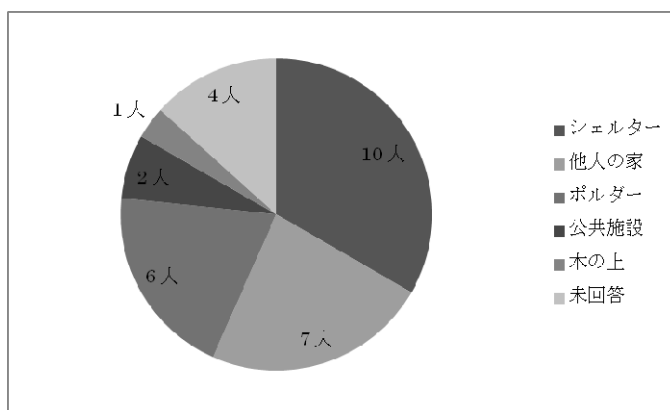


図 H.3.9 避難場所 (n=30)

H.3.3 被災後の支援と生活再建の状況

サイクロン「アイラ」襲来後も、雨風で家屋が倒壊する、高潮による浸水で家屋が流される、あるいは堤防の破堤により浸水し水がひかないといった状況が続いたため、住民の多くが自宅に戻れず「堤防の上」や「サイクロンシェルター」等で長期間に亘り避難生活をおくっている。Gunari 村でも、質問票調査の対象者 30 人のうち、一時的に「堤防の上」に居住して生活を開始したものが 10 人、「サイクロンシェルター」で生活していた住民が 1 人、「友人宅」に避難していたものが 2 人名存在している。

図 H.3.10 に示した通り、被災後の支援としては、調査対象者 30 人全員が米の配給を受けている。水の配給を受けた住民は 23 人、油の配給を受けた者が 21 人、食糧・水の支援が上位を占める。これに加えて、19 人がテント、12 人が調理器具、10 人がブランケット、8 人がビニールシートと、家屋再建のための支援や日用品の支援も行われている。さらに、9 人の住民は現金の支給も受けている。

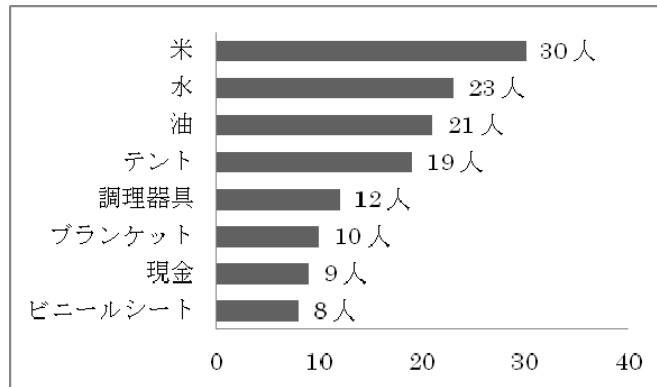


図 H.3.10 被災後に受け取った支援物資 (n=30)
※ 複数回答可

質問票調査の中でサイクロン「アイラ」襲来前後の住民の収入の変化について確認したところ、質問票調査の対象者 30 人の平均月収は 5,550tk から 3,150tk に減少している。サイクロンによる高潮で堤内地の農地に塩水が浸水し農業ができなくなったことや日雇い労働の仕事が減少したためであると考えられる。他方、住民の重要な資産である家畜の数にも減少がみられる。質問票調査の対象者の場合、牛の平均所有数は 1~2 頭から 0~1 頭に、ヤギの平均所有数は 2~3 匹から 0~1 匹に、鶏やアヒルなどの平均所有数は 13~14 羽から 4~5 羽に減少している。ヒツジについてはサイクロン「アイラ」前後で 0~1 匹と変化はなかった。

対象地域では、生活再建にあたりマイクロクレジットを活用する住民も多い。質問票調査の対象者の場合、30 人中 13 人がマイクロクレジットを借りている。借入れ金額は、2,000tk から 20,000tk で、平均すると 9,615tk となっている。住民が被災後に利用した主なマイクロクレジット機関としては、Ganamukhi (8 人)、BRAC (1 人)、グラミン銀行 (2 人)、となっており、大手のマイクロクレジット機関を利用していることや、1 人の住民が複数のマイクロクレジット機関を並行して利用していることがわかる。また、サイクロン被災前に借りていたマイクロクレジットに関しては、1 ヶ月から 2.5 年まで支払い猶予が与えられており、マイクロクレジット機関が、住民の生活がある程度回復し、支払いが可能になるまで返済に関して一定の猶予を持たせていることも理解できる。

ポルダ-32①対象地区 (Gunari 村) の状況



サイクロン「アイラ」被災後
ポルダ上で暮らす住民



村にあるトイレ
(壁がなく女性は特に利用し辛い)



飲料水として使っている池の水
(布でこし消毒薬を入れてから飲料する)



一部修復されたポルダ



住民の重要な交通手段であるボート
(道が水没しバイクもボートで運ぶ必要がある)



サイクロン「アイラ」襲来時に住民の避難先
となったコンクリート製の建物

I.1 ポルダ-32②の地域情報

I.1.1 調査対象地区

ポルダ-32②において選定された聞き取り調査の対象地区は、以下の通りである。

District	Thana	Union	Village
Khulna	Dacope	Kamar Khola	Jaliakhali

I.1.2 対象地域の情報

(1) 一般情報

ユニオン評議会の議長の聞き取り調査結果によると、Jaliakhali 村の世帯数は 455 世帯である。聞き取りを行った住民のいる周辺の地域には現在 55 名程度の住民がおり、サイクロン「アイラ」被災後、全員が堤防の上で生活をしている。住民の生活用水は、1km 離れた浅井戸から女性が水汲みを行っている。電気はなく、照明用にはアルコールランプを利用している。

同村には、堤防の維持管理を行う「WMG」は形式上存在するが、ほとんど機能していない。堤防が壊れた際に住民が自分達でお金を出し合って修復作業を行っている。修復作業にかかった費用は、BWDB が住民に対して補填することになっている。しかし、住民の説明では、BDWB が現地状況を視察に来る頃には修復作業が既に終了していることが多く、住民への適切な支払が行われないケースが多いようである。

村内にサイクロンシェルターはなく、一番近いもので 4 km 程離れており、徒歩で 1 時間～1 時間半かかる。CPP の活動は実施されていない。

(2) サイクロン「アイラ」による被災状況および復旧・復興状況

サイクロン「アイラ」が襲来した日、朝から激しい雨が降り、昼 12 時頃堤防が決壊して高さ 7 フィート（約 2.1m）の高潮が非常に激しい勢いで押し寄せた。高潮の水は 2 日間ひかず、その後も堤防の修復作業が行われていないため、潮の満ち引きにあわせて毎日浸水する状況が続いた。2012 年 2 月から堤防の修復作業が開始され、浸水量も減少傾向にあるものの、未だに多くの土地が使えず、住民の多くが堤防上で生活をしている状況である。

1.2 インタビュー調査の結果

1.2.1 回答者の情報

インタビュー調査を行った住民の情報を以下の通りである。

回答者	Prakash Chandra Roy (世帯主)
年 齢	51 歳
性 別	男性
就学年数	5 年
家族構成*	5 名：男性 2 名、女性 3 名 (12 歳以下の子供：男子 1 名、女子 2 名)
世帯主の職業	米と魚の仲買業
宗 教	ヒンドゥー教
世帯収入 (月額)	現在：4,200tk、「アイラ」前：8,300tk
所有土地面積	0.66 エイカー (約 2,670.95 m ²)

注)*生活を共にしている家族



回答者の Prakash Chandra Roy 氏

1.2.2 サイクロン「アイラ」の被災時の状況

(1) 予警報の伝達状況と住民の避難意識

回答者の場合、サイクロン「アイラ」に関する情報を実際に襲来するまで何一つ知らなかった。村では避難を呼びかけるマイク放送などもなかった。サイクロン「アイラ」に関する情報は事前に得られていなかったが、朝からの激しい雨と、川から溢れ始めた水を見て、回答者の家族は避難のための荷造りを行っている。

(2) 避難行動、避難時の懸念事項および避難場所（サイクロンシェルター）の状況

昼 12 時頃に堤防が決壊し、高潮が非常に強い勢いで押し寄せた。回答者の場合、堤防の上まで浸水して歩くことができなかったため、一番近いサイクロンシェルターへ 4km 歩いていくことはできなかった。また、事前に避難のための荷物を準備していたにも係わらず、突然水が迫ってきたため、荷物を何一つ持って行くことが出来ず、家族全員で着の身着のままに堤防の上に避難した。もし持って行けたならば、家畜、食糧、衣服を持って避難したかったと回答している。

(3) サイクロン「アイラ」による被災状況

7 フィート (約 2.1m) もの高潮の水で、堤防は破堤し、2 日間水がひかない状況が続いた。サイクロンシェルターへの道も高潮でところどころ壊れてしまったため、徒歩 3 時間以上かかるようになっている。堤防の修復作業がその後も行われなかったため、日常的に潮の満ち引きによって浸水する日が続き、回答者の農地も全て浸水してしまっている。

回答者の場合、家屋や、ソーラーパネルやテレビ、100kg の米といった家財もすべ

て流されてしまった。サイクロン「アイラ」以前は農業と関連する商売（地方で安価な稲を買い、それを販売する卸売業）をしていた。しかし、高潮による浸水で農業ができなくなったので、現在は漁業を中心とした仕事をしている。年間収入は約 10 万/tk から約 5 万/tk に減少した。所有する家畜は、アヒル・鶏合わせて 20 羽であったが、全て高潮によって流されてしまった。現在はアヒルを 1 羽飼育しているが、鶏は、未だに水がひかないため育てることができないでいる。

(4) 緊急支援および生活再建支援の状況

緊急支援物資としては、サイクロン「アイラ」襲来の翌日から、ユニオン評議会事務所や NGO から水、乾燥食品、炊き出しの支援を受けた。政府からは 2 ヶ月後に 3,000tk の支給を受けた。

現在住んでいる家屋は NGO から支給を受けた。その際、家屋か現金のどちらの支援を受けるかを選ぶことができた。現在も妻と娘が NGO の「Cash for Work」に参加している。労働時間は朝 7 時～13 時までで一日 175tk 支給される。

マイクロクレジットに関しては、被災後の 3 ヶ月は返済猶予期間があった。残額を返済したら新たに融資を受けられると聞いていたが、返済後も結局融資は受けられなかった。

(5) 生活再建に対する課題・ニーズ

回答者が考える生活再建の課題・ニーズは以下の通りである。

- ① 正確な予警報情報の伝達
バングラデシュの国営ニュースは予報が不正確で信頼できない。回答者の場合、サイクロン「アイラ」の高潮によって大きな被害がでたことから、現在では、サイクロン情報をラジオから得るようにしている。しかし、ラジオ局はバングラ国営放送ではなく、BBC を最も信頼している。
- ② 塩害被害の影響・問題
サイクロン「アイラ」の際に川から入って来た土砂と塩水によって、農業に必要な良質な土地が確保出来ない。
- ③ サイクロンシェルターの問題
近隣にサイクロンシェルターがないため、サイクロンに無防備な状態が現在まで続いている。
- ④ 堤防の修復・強化の必要性
堤防の修復は開始したが、自分の土地が未だに水に沈んだ状況にあるため、現在まで堤防の上での生活を余儀なくされている。

I.3 質問票調査の結果

I.3.1 予警報の伝達状況と伝達手段

Jaliakhali 村の質問票調査の対象住民 30 人のうち、サイクロン「アイラ」の襲来に関する情報を事前に知っていた住民は 13 人で、17 人は事前にサイクロン襲来に関する情報を得られていない。情報を得ていた 13 人の住民が情報を得た時期としては、高潮襲来の 2 日前が 4 人、1 日前が 4 人、12 時間前が 1 人、6 時間前が 3 人、1 時間前が 1 人となっている。

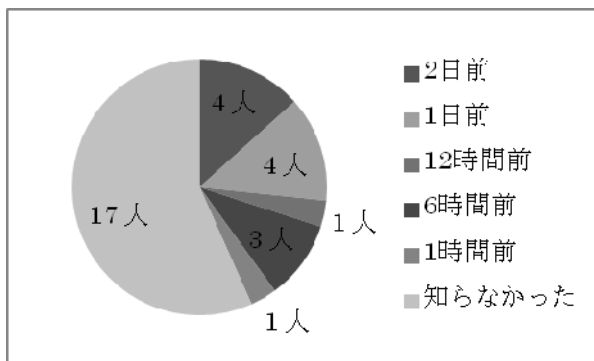


図 I.3.1 サイクロン情報の入手時期 (n=30)

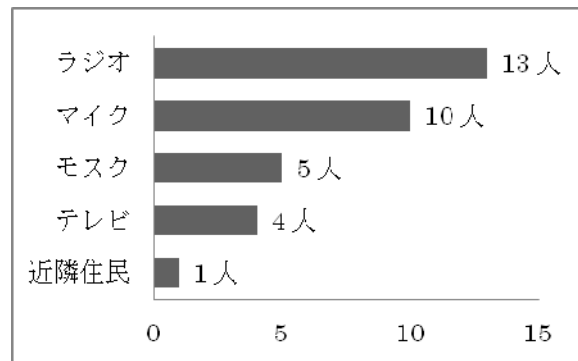


図 I.3.2 サイクロン情報の入手先
※情報を事前に知っていた住民のみが対象(n=13)
※複数回答可

事前にサイクロン襲来の事実を知っていた住民全員 (13 人) は、「ラジオ」から情報を入手している。このうち 10 人は、「ラジオ」に加えて「マイク放送」からもサイクロン情報を確認している。Jaliakhali 村では、「ラジオ」のほか、「マイク放送」、「モスク」、「テレビ」、「近隣住民」といった複数の情報源からサイクロン情報入手していることがわかる。しかし、他の地域と同様に CPP やユニオン防災委員会を通じた情報伝達は同地区でも行われていなかった。

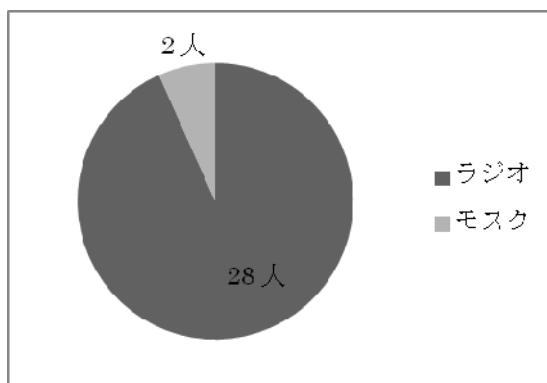


図 I.3.3 最も信頼できるサイクロン情報源 (n=30)

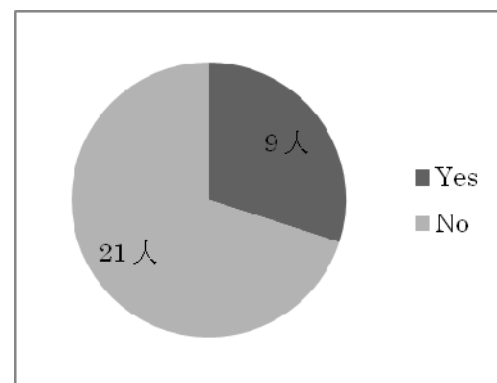


図 I.3.4 ラジオの所持率(n=30)

質問票調査において、複数の情報伝達手段の中で最も信頼できる情報源を確認したところ、対象者 30 人中 28 人が「ラジオ」、2 人が「モスク」と回答している。

サイクロン「アイラ」襲来の情報をラジオで入手していた住民は 13 人、住民が最も信頼している情報伝達手段をラジオと回答する住民が 28 人もいる中、調査対象者 30 人の中でラジオを所有している住民は 9 人であった。バングラデシュでは、携帯電話にラジオ機能を備えているものが多い。調査対象者に携帯電話の所有について確認したところ、30 人中 24 人が携帯電話を所有していることがわかった。事前に情報入手していた住民の中には、携帯電話を利用し、ラジオ放送にアクセスした者もいたと考えられる。

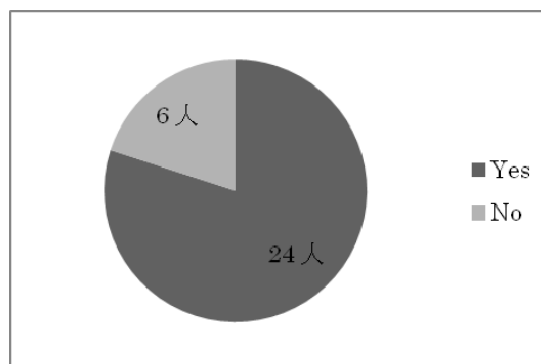


図 I.3.5 携帯電話の所持率(n=30)

I.3.2 避難行動および避難場所の状況

質問票調査の対象者 30 人中、サイクロン「アイラ」による高潮の前に避難行動をとっている住民は 3 人で、27 人の住民は事前の避難行動をとっていない。事前に避難行動に結びつかない要因としては、上述の通り半数以上の住民が「サイクロン襲来の事実を知らなかった」という予警報伝達の問題が挙げられる。しかしその一方で、サイクロン襲来の事実を事前に知っていた 13 人の住民全員が避難行動をとっているとは限らないことから、予警報が本来の目的である『住民の事前の避難行動』に結びついていない状況も理解できる。

図 I.3.7 に質問票調査の対象者 30 人に確認した「避難の際に心配なこと」を示す。主な結果をみると、「家屋・家財の損失」回答している住民が最も多く 26 人いる。多くの住民が、サイクロンの雨風や高潮の影響で家屋、家財、家畜等を失ってしまうことを恐れ自宅に残り、命の危険が目の前に迫った段階で着の身着のまま避難行動をとっていると考えられる。また、「家族の離散」、「避難場所が遠い」、「避難場所までの道が悪い」と回答する住民もおり、避難場所まで家族全員が無事たどりつけるかわからないことに対する不安も住民の事前の避難行動をとらない要因となっていると思われる。

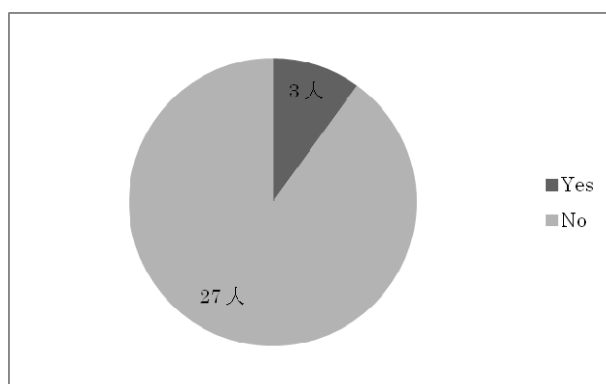


図 I.3.6 事前（高潮発生前）の避難行動の有無 (n=30)

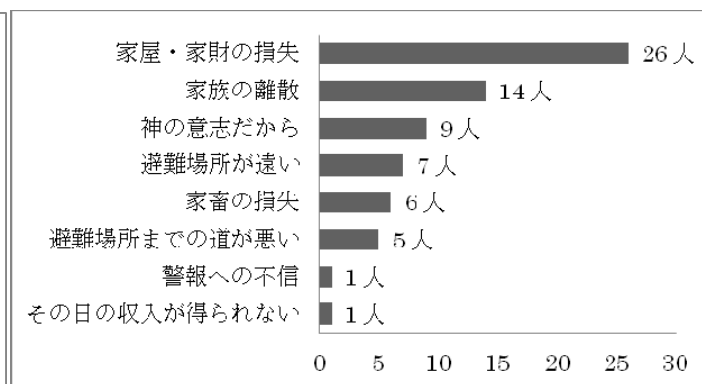


図 I.3.7 避難の際に心配なこと(n=30)
※複数回答可

また、避難時の状況に関しては、高潮発生の前後にかかわらず、質問票調査の対象住民 30 人のうち 26 人が、現金や食糧、家畜といった家財を一切持ち出せず、サイクロン「アイラ」によって家屋や家財といった資産を失ったと推測される。

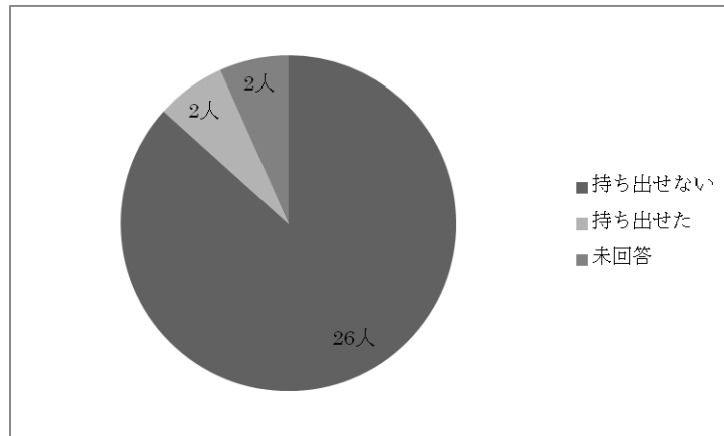


図 I.3.8 避難時の家財の持ち出しの有無 (n=30)

他方、サイクロン「アイラ」襲来時の避難場所については、質問票調査の対象者 30 人中 17 人が「堤防」を挙げている。サイクロン襲来時は、堤防の上部まで高潮が達しているため決して安全な場所とは言えないが、高潮が発生し、目の前に危険が迫った段階で避難する住民の多くが、高潮から命を守るための緊急避難場所として自宅から最も近い「堤防」の上に移動していると考えられる。一方、安全な避難場所である「サイクロンシェルター」に避難した住民はわずか 1 人であった。

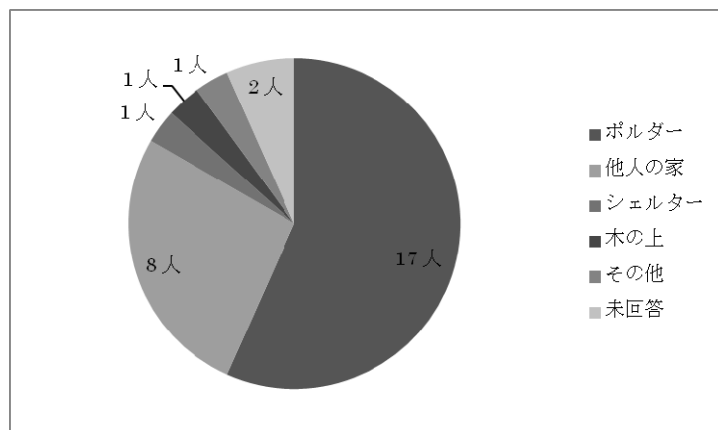


図 I.3.9 避難場所 (n=30)

I.3.3 被災後の支援と生活再建の状況

サイクロン「アイラ」襲来後も、雨風で家屋が倒壊する、高潮による浸水で家屋が流される、あるいは堤防の破堤により浸水した水がひかないといった状況が続いたため、住民の多くが自宅に戻れず「堤防の上」や「サイクロンシェルター」等で長期間に亘り避難生活をおくっている。質問票調査の対象者 30 人も一時的に「堤防の上」に居住して生活を開始したものが 6 人、「サイクロンシェルター」で生活していた住民が 3 人、「友人宅」に避難していたものが 4 人、「ボルダーの外」に一時的に出た住民が 1 人存在している。

図 I.3.10 に示した通り、被災後の支援としては、米の配給を受けた者が 29 人、油の配給を受けた者が 21 人、水の配給を受けた者が 18 人と上位を占めた。こうした食糧・水に加えて、18 人がテント、12 人がブランケット、11 人がビニールシート、9 人が調理器具と回答しており、家屋再建のための支援や日用品の支援も行われていることがわかる。さらに、9 人の住民は現金の支給も受けている。加えて、他の地域に比較し、同村では麦の配給も行われたようである。

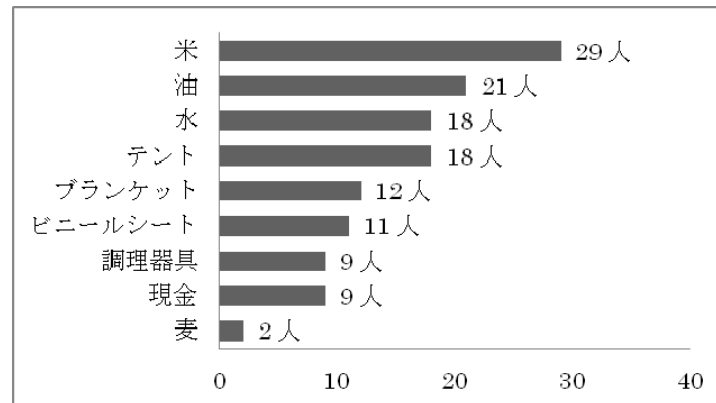


図 I.3.10 被災後に受け取った支援物資 (n=30)
※ 複数回答可

質問票調査の中でサイクロン「アイラ」襲来前後の住民の収入の変化について確認したところ、対象者 30 人の平均月収は、5,267tk から 3,760tk に減少している。収入減少の主な原因は、サイクロンによる高潮で堤内地の農地に塩水が浸水し農業ができなくなったことや日雇い労働の仕事が減少したためであると考えられる。他方、住民の重要な資産である家畜の数にも変化がみられる。同村の質問票調査の対象者の場合、牛の平均所有数は「アイラ」前後では 0~1 頭と大きく変化しなかった。一方、鶏やアヒルなどの平均所有数は 15~16 羽から 4~5 羽に、ヤギの平均所有数は 2~3 匹から 0~1 匹に、ヒツジは 0~1 匹から 0 匹へ減少している。

生活再建にあたり、質問票調査の対象者 30 人のうち 21 人がマイクロクレジットを活用している。借入れ金額は、5,000tk から 100,000tk で、平均すると 22,857tk となっている。住民が被災後に利用した主なマイクロクレジット機関としては、Ganamukhi (12 人)、BRAC (2 人)、ASA(2 人)、グラミン銀行 (1 人)、Krishi Bank(1 人)となっており、多くの住民が大手のマイクロクレジット機関を利用している。サイクロン被災前に借りていたマイクロクレジットに関しては、マイクロクレジット機関が住民の生活がある程度回復し、支払いが可能になるまで返済に関して一定の猶予を持たせており、3 ヶ月から 1 年まで支払い猶予が与えられていることが調査を通じて明らかになった。

ポルダ-32②対象地区の状況



雨水を利用する住民の家
(対象地区では飲料水用の水源が限られている)



河川と住民の家との距離
(水がすぐそばまできている)



満潮時の住民の家の状況
(平常時でも浸水しやすい状況にある)



サイクロン「アイラ」による高潮で浸水し
現在も水に沈んでいる学校



サイクロン「アイラ」の高潮による浸水で沈んだ道



サイクロン「アイラ」襲来以降
定期的に浸水している土地

J.1 ポルダ-31 の地域情報

J.1.1 調査対象地区

ポルダ-31 において選定された聞き取り調査の対象地区は、以下の通りである。

District	Thana	Union	Village
Khulna	Dacope	Tilldanga	Kaminibashi

J.1.2 対象地域の情報

(1) 一般情報

Kaminibashi 村には、495 世帯が生活をしている。他の地域に比較して、イスラム教徒よりもヒन्दゥー教徒の割合が多い村である。主要な経済活動は、農業や漁業（エビの養殖業等）のほか、土木関係等の日雇い労働である。住民の生活用水としては、河川の水を飲料水として使用している。水を汲みに行くのは女性の仕事で、毎日に汲みに行く必要がある。雨季は、雨水をためて使っている。電気はなく、夜間照明としてアルコールランプを使用している。

同村では、堤防の維持管理を行う「WMG」は組織されていない。聞き取り調査の際には、堤防建設の際に建設会社の不正があり、BWDB が予定したものより強度の低い堤防が造られているのではないか、という指摘が住民からあった。また、村内にサイクロンシェルターはなく、CPP の活動も実施されていない。

(2) サイクロン「アイラ」による被災状況および復旧・復興状況

サイクロン「アイラ」が襲来する前日から雨と風が強まり、河川の水量も夜から朝にかけて急激に増えていた。前夜の段階ですでに堤防が壊れ出していたので、近隣の住民は早い段階から危機感をもち堤防の補強を行っていたようである。サイクロン「アイラ」襲来当日の午前 11 時頃に高潮が発生し、堤防が破堤した。高潮の高さは 4 フィート（約 1.2m）の高さまで達し、午後 10 時頃まで水がひかなかった。その後、2 フィート（約 0.6m）まで水はひいたものの、堤防が決壊しているため、一部地域では潮の満ちひきにあわせて日常的に浸水するようになった。

最も近いサイクロンシェルターは、村から 2km 離れた場所にあり、普段は中学校として使われている。当日は、高潮によってこのサイクロンシェルター（中学校）までの道も浸水して歩くことが出来なかった。同村にはコンクリート製の建造物がなく、サイクロン襲来時には一番近いサイクロンシェルター（中学校）に避難をする人もいるほか、ボートを木にくくり付け避難している人もいた。

J.2 インタビュー調査の結果

J.2.1 回答者の情報

インタビュー調査を行った住民の情報を以下の通りである。

回答者	Nur Muhammad (世帯主)
年齢	65歳
性別	男性
就学年数	0年
家族構成*	7名：男性5名、女性2名 (12歳以下の子供：男子0名、女子0名)
世帯主の職業	日雇い労働 (土木関係、農業関係)
宗教	イスラム教
世帯収入 (月額)	現在：3,000tk、「アイラ」前：3,000tk
所有土地面積	0.17 エイカー (約 688 m ²)

注)*生活を共にしている家族



回答者の Nur Muhammad

J.2.2 サイクロン「アイラ」の被災時の状況

(1) 予警報の伝達状況と住民の避難意識

回答者の場合、サイクロン「アイラ」が上陸する前日に、ラジオから予警報シグナル「3」レベルのサイクロンがくることを聞いていた。当日は、モスクに事前に避難した住民が、モスクのスピーカーを利用して高潮が発生する1時間前の午前10時頃に避難を呼びかけている。

(2) 避難行動、避難時の懸念事項および避難場所（サイクロンシェルター）の状況

サイクロン「アイラ」襲来当日午前11時頃に高潮が発生し、堤防が破堤したため、家族のうち女性、子供を先にボートで隣村のサイクロンシェルター（中学校）まで避難させた。男性は、家屋・家財を守るために堤防の修復作業を行ったが、午後3時頃には断念し、船に米、衣服、椅子、乾燥食品、現金、ラジオなどの家財を積んで避難した。しかし、避難先のサイクロンシェルター（中学校）はすでに避難者で一杯であったため、隣接したコンクリート製の家屋に避難した。避難先の家屋には1日だけしか滞在せず、翌日には堤防上に麻とビニールでテントを作り2日間生活をした。その間、自分の家の修復作業を進め、サイクロン「アイラ」襲来から3日後に自分の家に戻った。清潔な水が確保することが出来ず、被災後は下痢が流行した。

(3) サイクロン「アイラ」による被災状況

回答者の場合、サイクロン「アイラ」による高潮により、飼っていた牛1頭、ヤギ4匹、鶏20羽のうちヤギ1匹以外は全部流されてしまった。家屋の土台部分は流れられてしまったが、柱と屋根は残ったので、その後、修復することが出来ている。

(4) 緊急支援および生活再建支援の状況

緊急支援物資として、翌日の朝から乾燥食品と米 20kg、水の支給が行われた。水は大型タンクで届き、容器をもって各自がもらいにいった。破堤した堤防の修復のために政府が「Food for Work」プログラムを3ヶ月間行い、回答者の家族の中の男性メンバーがこれに参加している。

回答者の家族は漁業で生計を営んでおり、サイクロン「アイラ」の前後で収入に変化はない。漁で使用するボートも持っており、現在は息子が漁業で稼いだ月額約3,000tkで生計を営んでいる。サイクロン「アイラ」により飼っていた家畜を失ったが、現在は鶏 15羽飼っている。残った柱と屋根を使い家の修復も行った。また、1年前にソーラーパネルを購入し、現在は電気を使えるようになった（夜間に漁業の準備作業を行うときに利用している）。ソーラーパネルの購入費は720tk/月の支払いで、3年間払い続ける必要がある。

マイクロクレジットについては、サイクロン「アイラ」襲来前から20,000tkを借り入れている。借主は回答者ではなく奥さんである。被災後3ヶ月は支払い猶予があり、その後残額を返済した。被災後に再びNGOから漁具を買うために40,000tkを借りているが、返済は順調に進んでいる。

(5) 生活再建に対する課題・ニーズ

回答者が考える生活再建の課題・ニーズは以下の通りである。

① 塩害被害の影響・問題

堤防の近くに農地を持っていたが、サイクロン「アイラ」の高潮の影響で塩水が農地に残っていて農業ができない状況である。

② サイクロンシェルターの問題

村の中にサイクロンシェルターがないことが問題である。2km離れたサイクロンシェルター（中学校）も、飲料水や食糧の備蓄がなく、女性用の専用スペースや女性用トイレがないため、女性だけでは避難し辛い。サイクロンシェルター（中学校）の井戸も浅井戸で、サイクロン「アイラ」の際の高潮で海水が混ざってしまい、現在は飲料水用として利用できなくなっている。そのため、避難時は不衛生な水を飲み、下痢などの病気が流行したと考えられる。

③ 診療所の必要性

村には病院や診療所がなく、②のような病気の際には遠くの病院に行かなければならない（特に女性住民から診療所の要望があがった）。

J.3 質問票調査の結果

J.3.1 予警報の伝達状況と伝達手段

Kaminibashi 村の質問票調査の対象者 30 人のうち、サイクロン「アイラ」の襲来に関する情報を事前に知っていた住民は 6 人で、24 人は事前にサイクロン襲来に関する情報を得られていない。情報を得ていた 6 人の住民が情報を得た時期としては、高潮襲来の 1 日前が 3 人、12 時間前が 1 人、6 時間前が 1 人、1 時間前が 1 人となっている。

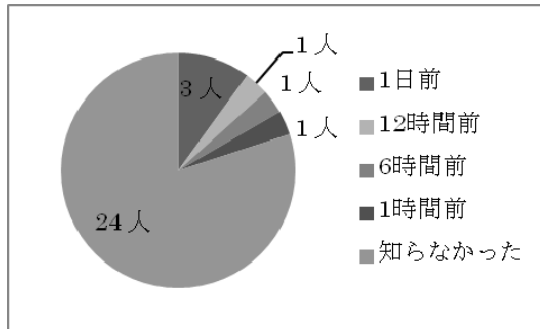


図 J.3.1 サイクロン情報の入手時期 (n=30)

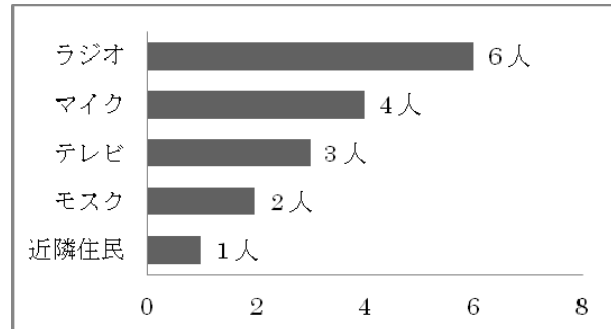


図 J.3.2 サイクロン情報の入手先
※情報を事前に知っていた住民のみが対象(n=6)
※複数回答可

事前にサイクロン襲来の事実を知っていた住民全員 (6 人) は、「ラジオ」から情報を入手している。このうち 4 人は「マイク放送」から、3 人は「テレビ」から、2 人は「モスク」からもサイクロン情報を確認している。同村では、「ラジオ」、「マイク放送」、「モスク」、「テレビ」、「近隣住民」といった情報源からサイクロン情報を入手したことがわかる。しかし、他の地域と同様に CPP やユニオン防災委員会を通じた情報伝達は同地区でも行われていなかった。

質問票調査において、複数の情報伝達手段の中で最も信頼できる情報源を確認したところ、対象住民 30 人中 25 人が「ラジオ」、3 人が「テレビ」、2 人が「マイク放送」と回答している。

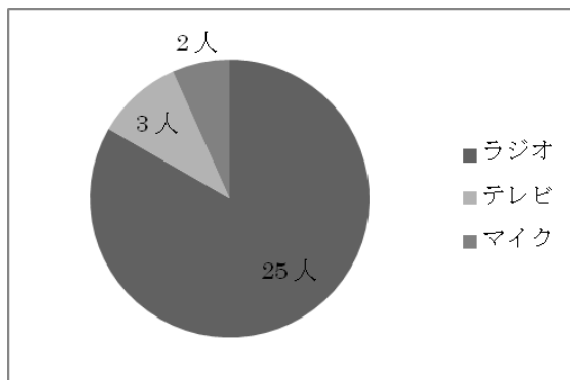


図 J.3.3 最も信頼できるサイクロン情報源 (n=30)

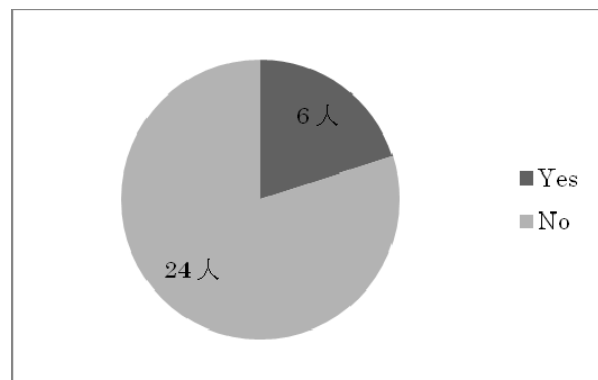


図 J.3.4 ラジオの所持率(n=30)

住民が最も信頼しているサイクロン襲来の情報源としては、調査対象者 30 人中 25 人もの住民が「ラジオ」と回答している。しかし、ラジオを所有している住民は、30 人中 6 人となっている。一方で、携帯電話の所有についても確認したところ、30 人中 25 人が携帯電話を所有していることがわかった。バングラデシュでは、携帯電話にラジオ機能を備えているものが多いため、携帯電話を利用してサイクロン情報を入手することも可能である。

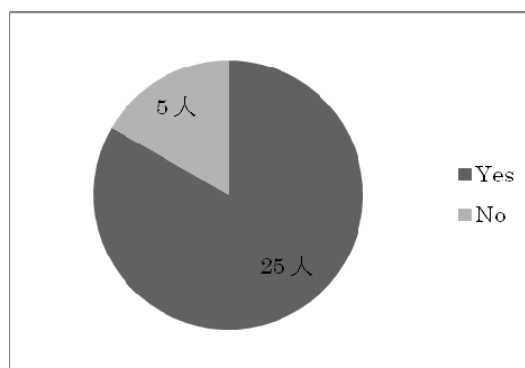


図 J.3.5 携帯電話の所持率(n=30)

J.3.2 避難行動および避難場所の状況

質問票調査の対象者 30 人のうち、サイクロン「アイラ」による高潮の前に避難行動をとっている住民は 2 人で、28 人の住民は事前の避難行動をとっていない。事前の避難行動がとられない要因としては、J.3.1 で述べた通り対象住民のほとんどが「サイクロン襲来の事実を知らなかった」という予警報伝達

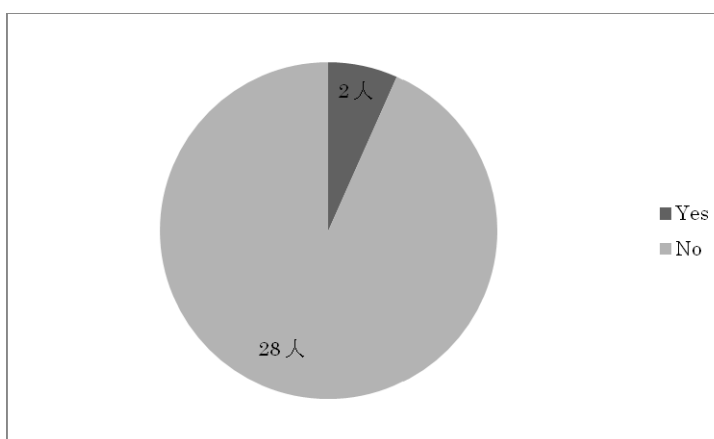


図 J.3.6 事前（高潮発生前）の避難行動の有無 (n=30)

の問題が挙げられる。しかし、サイクロン襲来の事実を事前に知っていた 6 人の住民の中に事前避難した 2 人が必ずしも含まれていたとは言えず、予警報が本来の目的である『住民の事前の避難行動』に必ずしも結びついていないとは限らない。

また、調査対象者 30 人に「避難の際に心配なこと」を確認したところ、「家屋・家財の損失」回答している住民が最も多く 26 人いた。また、15 人が「家族の離散」、11 人が「避難場所までの道が悪い」、9 人が「家畜の損失」と回答している。このことから、サイクロンの雨風や高潮の影響で家屋、家財、家畜等を失ってしまうことを恐れから、命の危険が

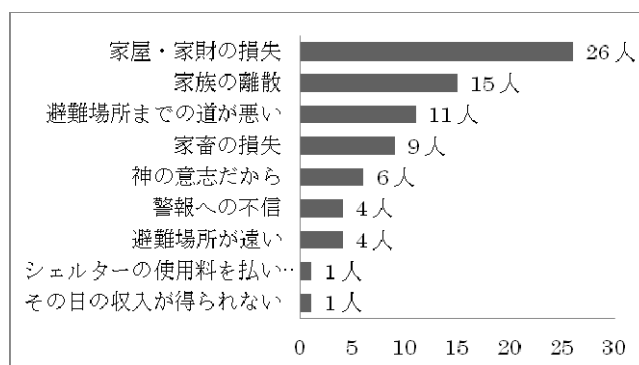


図 J.3.7 避難の際に心配なこと (n=30)
※複数回答可

目の前に迫るまで自宅に留まっている住民や避難場所まで家族全員が無事たどりつけるかわからないことへの不安が、住民の事前の避難行動の妨げとなっていると考えられる。

また、避難時の状況に関しては、質問票調査の対象者 30 人中 27 人が、現金や食糧、家畜といった家財を一切持ち出せていない。多くの住民がサイクロン「アイラ」によって家屋や家財といった資産を失ったと推測される。

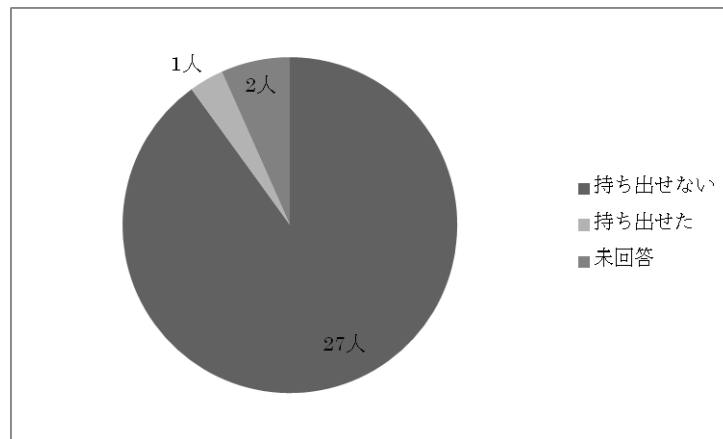


図 J.3.8 避難時の家財の持ち出しの有無 (n=30)

他方、サイクロン「アイラ」襲来時の避難場所については、質問票調査の対象者 30 人中、18 人が「堤防」を挙げている。サイクロン襲来時は、堤防の上部まで高潮が達しているため安全な場所とは言えない。しかし、高潮が発生し、目の前に危険が迫った段階で避難する住民の多くが、高潮から命を守るための緊急避難場所として自宅から最も近い「堤防」の上に移動していると考えられる。

一方、「他人の家」と回答する住民が 6 人で、「サイクロンシェルター」に避難した住民は 3 人であった。

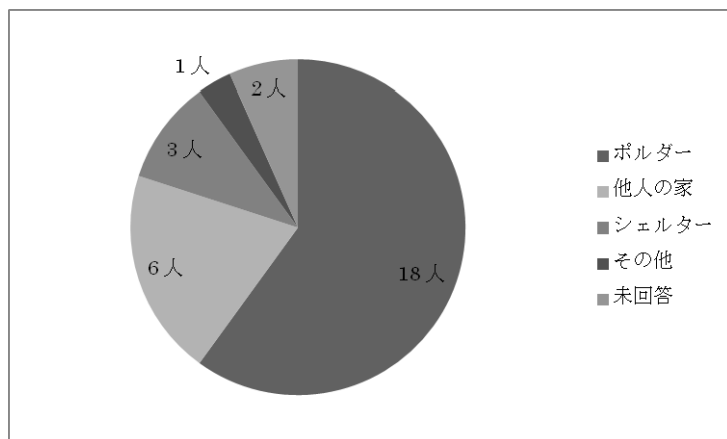


図 J.3.9 避難場所 (n=30)

J.3.3 被災後の支援と生活再建の状況

サイクロン「アイラ」襲来後も、雨風で家屋が倒壊する、高潮による浸水で家屋が流される、あるいは堤防の破堤により浸水し水がひかないといった状況が続いたため、住民の多くが自宅に戻れず「堤防の上」や「サイクロンシェルター」等で長期間に亘り避難生活をおくっている。質問票調査の対象者 30 人の中にも一時的に「堤防の上」に居

住して生活を開始した住民が 10 人、「サイクロンシェルター」で生活していた住民が 5 人、「友人宅」に避難していた住民が 2 人、「堤防の外」に一時的に出た住民が 1 人いる。

図 J.3.10 に示した通り、被災後の支援としては、調査対象者 30 人全員が米の配給を受けている。また、水の配給を受けたものが 23 人、油の配給を受けた者が 22 人である。こうした食糧・水に加えて、テントの支援を受けた住民が 20 人、ブランケットや調理器具などの日用品の支給を受けた住民が 12 人、ビニールシートなどの家屋再建資材の支給を受けた住民が 11 人、さらに、現金の支給を受けた住民も 9 人いる。

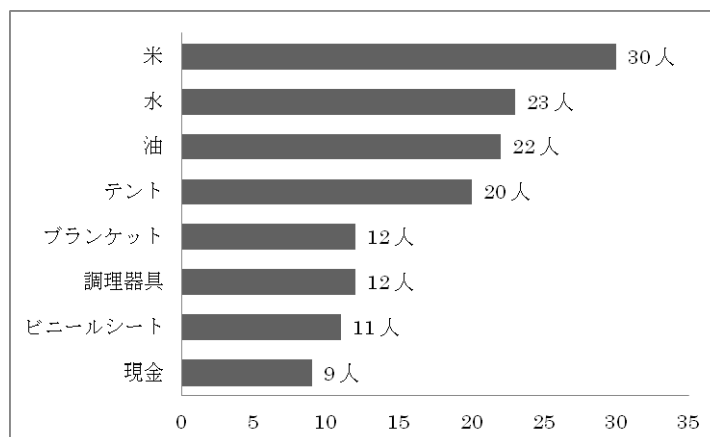


図 J.3.10 被災後に受け取った支援物資 (n=30)

※ 複数回答可

質問票調査の中でサイクロン「アイラ」襲来前後の住民の収入の変化について確認したところ、質問票調査の対象者 30 人の平均月収は、4,940tk から 2,993tk に減少している。収入減少の主な原因は、サイクロンによる高潮で堤内地の農地に塩水が浸水し農業ができなくなったことや日雇い労働の仕事が減少したためと考えられる。他方、住民の重要な資産である家畜の数にも変化がみられる。質問票調査の対象者の場合、牛の平均所有数は 0~1 頭でサイクロン「アイラ」前後では若干の変動があった。一方、鶏やアヒルなど平均所有数は 14~15 羽から 3~4 羽、ヤギの平均所有数は 1~2 匹から 0~1 匹、ヒツジの平均所有数は 0~1 匹から 0 匹へ減少している。

生活再建を目的に質問票調査の対象者 30 人中 21 人がマイクロクレジットを活用している。借入れ金額は、4,000tk から 70,000tk で、平均すると 12,375tk となっている。住民が被災後に利用した主なマイクロクレジット機関としては、Ganamukhi (11 人)、BRAC (8 人)、グラミン銀行 (2 人)、ASA (1 人)、BRDB (1 人) となっている。マイクロクレジットを利用する住民の多くが大手のマイクロクレジット機関を利用していること、一人の住民がいくつかの機関を並行して使っていることなどが理解できる。また、マイクロクレジット機関は、サイクロン被災前に借りていたマイクロクレジットに関して 3~6 ヶ月まで支払い猶予を与えており、住民の生活がある程度回復し支払いが可能になるまで一定の猶予を持たせているようである。

ポルダー31の対象地区の状況



ポルダーに隣接した家屋



修復されたポルダー



インタビュー調査の回答者の家
(サイクロン「アイラ」被災後土で嵩上した)



「Cash for Work」でポルダー修復する住民①
(土木工事には女性も多数従事している)



「Cash for Work」でポルダー修復する住民②
(堤防の嵩上)



「Cash for Work」でポルダー修復する住民③
(修復方法は非常にシンプル)

2-3. What kind of damage did your house affected by Cyclone Aila?

- a. Completely destroyed b. Partially destroyed c. Minor damage d. No damage

2-4. Did you lose livestock? a. Yes b. No

(If 2-4 is "Yes", →2-5) (If 2-4 is "No", skip 2-5)

2-5. How many livestock did you lose by Cyclone Aila?

Caw () Poultry () Goat () Sheep () Other () No. ()

2-6. How long was your house was inundated by the tidal surge that came from Cyclone Aila?

() Months/Weeks/Days/Hours

2-7. What was the inundation level at your residence at the time of Cyclone Aila? () Feet

- a. Knee-High b. Stomach-High c. Shoulder-High d. Above your Head

2-8. How long was your house inundated by the tidal flood before the embankment successful? () years

3. Evacuation Behavior in Disaster of Cyclone Aila in 2009

3-1. Did you evacuate before tidal surge reached your residence in Cyclone Aila? a. Yes b. No

(If 3-1 is "Yes", skip 3-2, 3-3, 3-4) (If 3-1 is "No", →3-2, 3-3, 3-4)

3-2. Why didn't you evacuate before tidal surge reached your residence? **(Multiple answers allowed)**

- a. I do not think the waves will reach my house b. Alarm is not always true c. To keep my livestock around
d. To prevent theft or robbery e. To secure the income of the day f. Worry to separate family
g. I do not want to pay to use the shelter h. The road to go to evacuation site is bad i. Evacuation site is far
j. Storm is too strong to take shelter k. To protect the house l. I didn't know cyclone Aila comes.
m. I think my residence is safer than other places. n. It is unavoidable because Allah set so
o. Other ()

3-3. What time did the tidal surge reach your house? (:) h am / pm

3-4. Did you evacuate after tidal surge reached your residence? a. Yes b. No

(If 3-4 is "Yes", →3-5) (If 3-4 is "No", →3-15)

3-5. What time did you evacuate? (:) h am / pm

3-6. What are your concerns about leaving home when you evacuated? **(Multiple answers allowed)**

- a. I had a fear that my house and other properties may be washed away b. Evacuation site is far c. To lose my livestock
d. Theft or robbery e. The income of the day f. The road to go to evacuation site is bad g. Worry to separate family
h. I do not want to pay to use the shelter i. Alarm is not always true j. It is unavoidable because Allah set so
k. Other ()

3-7. Where did you evacuate?

- a. Cyclone shelter
- b. Top of polder
- c. Other's house
- d. Killa
- e. Top of trees
- f. Top of own house
- g. Community buildings (including UP Bridge, Schools, Mosques, Temple etc.)
- h. Other ()

3-8. Did you think the place where you evacuated was safe? a. Yes b. No

3-9. When you evacuated, what did you bring? **(Multiple Answers Allowed)**

- a. Cash
- b. Livestock
- c. Food
- d. Working tools (for fishing/for farming)
- e. Radio
- f. Mobile phone
- g. Cooking tool
- h. Table
- I Chair
- J Bed
- k. Sleeping mat/blanket
- l. Aluminum roof
- m. Van
- n. Bicycle
- o. Clothes (sari etc.)
- p. Stationary (pen, note, etc.)
- q. Nothing
- r. Other ()

3-10. When you evacuated, what could you not bring with you while you wanted to? **(Multiple Answers Allowed)**

- a. Cash
- b. Livestock
- c. Food
- d. Working tools (for fishing/for farming)
- e. Radio
- f. Mobile phone
- g. Cooking tool
- h. Table
- I Chair
- J Bed
- k. Sleeping mat/blanket
- l. Aluminum roof
- m. Van
- n. Bicycle
- o. Clothes (sari etc.)
- p. Stationary (pen, note, etc.)
- q. Nothing
- r. Other ()

3-11. With whom did you evacuate? **(Multiple answers allowed)**

- a. Husband/wife
- b. Children
- c. Parents (Elder persons)
- d. Brothers/Sisters
- e. Neighbors
- f. Other ()

3-12. Was there any family member stay in your house? a. Yes b. No

(if 3-12 is Yes, →3-13, 3-14) (if 3-12 is No, skip 3-13, 3-14)

3-13. Who did stay in your house? Age: Sex: M / F

- a. Respondents itself
- b. Husband/wife
- c. Children
- d. Parents (Elder persons)
- e. Brother/Sisters
- f. Other ()

3-14. Why did she/he stay in the house **(Multiple answers allowed)**

- a. I do not think the waves will reach my house
- b. Alarm is not always true
- c. To keep my livestock around
- d. To prevent theft or robbery
- e. To secure the income of the day
- f. Worry to separate family
- g. I do not want to pay to use the shelter
- h. The road to go to evacuation site is bad
- i. Evacuation site is far
- j. Storm is too strong to take shelter
- k. To protect the house
- l. residence is safer than other places for him/her.
- m. It is unavoidable because Allah set so
- n. Other ()

3-15. Which place is safe to evacuate? **(Multiple answers allowed)**

- a. Cyclone Shelter
- b. Top of polder
- c. Other's house
- d. Killa
- e. Top of Trees
- f. Top of Own House
- g. Community buildings (including UP Bridges, Schools, Mosques, Temple etc.)
- h. Other ()

4. Evacuation Behavior in Disaster of Cyclone Sidr in 2007

Please tell us the situation at Cyclone Sidr attacked in 2007.

4-1. Did you evacuate before tidal surge reached your residence in Cyclone Sidr? a. Yes b. No
(If 4-1 is "No", →4-2, 4-3) (If 4-1 is "Yes", →skip 4-2, 4-3)

4-2. What time did the tidal surge reach your house? (:) h am / pm

4-3. Did you evacuate after tidal surge attacked your residence? a. Yes b. No
(If 4-3 is "Yes", →4-4, 4-5) (If 4-3 is "No", skip 4-4, 4-5)

4-4. What time did you evacuate? (:) h am / pm

4-5. Where did you evacuate?

- a. Cyclone Shelter b. Top of polder c. Other's house d. Killa e. Top of Trees f. Top of Own House
g. Community buildings (including UP Bldg, Schools, Mosques, Temple etc.) h. Other ()

4-6. How long your house was inundated by the tidal surge that came from Cyclone Sidr? () hour

4-7. What was the inundation level at your residence at the time of Cyclone Aila? () Feet
a. Knee-High b. Stomach-High c. Shoulder-High d. Above your Head

4-8. How long your house was inundated by the tidal flood before the embankment successful? () years

4-9. Did you get to hear about Cyclone Sidr? a. Yes b. No
(if 4-9 is "Yes", →4-10, 4-11) (if 4-9 is "No", Skip 4-10, 4-11)

4-10. How did you get to hear about cyclone Sidr? **(Multiple answers allowed)**
a. Radio b. Microphone announcement c. Flag hoisting d. Neighbors e. NGO f. Local Gov.
g. Market h. TV i. Mosque j. Police k. BDR l. Other ()

4-11. When did you hear about the Cyclone Sidr?

- a. Before 2 days b. Before 1 day c. Before 12 hours d. Before 6 hours e. Before 1 hour

5. Existing alarm system in Community

Please tell us the situation at Cyclone Aila attacked in 2009.

5-1. Did you get the information about Cyclone Aila? a. Yes b. No
(if 5-1 is "Yes", →5-2, 5-3) (if 5-1 is "No", Skip 5-2, 5-3)

5-2. How did you get the information about Cyclone Aila? **(Multiple answers allowed)**
a. Radio b. Microphone announcement c. Flag hoisting d. Neighbors e. NGO f. Local Gov.

6-12. Is there water management group or committee in your polder? a. Yes / b. No
(if 6-12 is "Yes", 6-13) (if 6-12 is "No", skip 6-13 to 6-15)

6-13. What kind of activity they do?

- a. Management of sluice gate b. Management and rehabilitation of exciting embankment
c. Construction of alternative embankment d. Management and rehabilitation of road
e. Management of land owned by BWDB f. Monitoring status of exciting embankment

6-14. They collect money from you? a. Yes / b. No
(6-14 is "Yes", →6-15) (6-14 is "No", skip 6-15)

6-15. How much do they collect money? () tk per month

7. Situation of Community disaster prevention

7-1. Did anybody inform you early warning about cyclone Aila in 2009? a. Yes b. No
(If 7-1 is "Yes", →7-2) (If 7-1 is "No", skip 7-2)

7-2. Who informed you the early warning?

(Multiple answers allowed)

- a. CPP b. Religious Leaders c. Teachers d. Community Leaders e. UP Members f. Community volunteers
g. Others ()

7-3. Do you have radio (it can be use)? a. Yes b. No

7-4. Do you have portable radio and bring with you anytime? a. Yes b. No

7-5. Do you have mobile phone (it can be use)? a. Yes b. No

8. Assistant for community after cyclone damage.

8-1. Did you use microcredit system for reconstruction for living? a. Yes b. No
(if 8-1 is "Yes", → 8-2) (if 8-1 is "No", skip 8-2)

8-2. How much did you borrow? (Total:) tk)

8-3. Where did you borrow money from?

(Multiple answers allowed)

- a. Grameen Bank b. BRAC c. ASA d. Ganamukhi e. SUS f. Caritas g. Krishi Bank h. BRDB
i. Other ()

8-4. Did you have debt of microcredit before Cyclone Aila?

(if 8-4 is "Yes", →8-5) (if 8-4 is "No", skip8-5,8-6)

8-5. Did you have debt moratorium after Cyclone Aila? a. Yes b. No
(if 8-5 is "Yes", → 8-6) (if 8-5 is "No", skip 8-6)

8-6. How long debt moratorium was? () months

8-7. When was first rationed goods after cyclone Aila? After () days

8-8. When was first rationed goods after cyclone Sidr? After () days

8-9. What kind did you receive as rationed goods after cyclone Aila? **(Multiple answers allowed)**

- a. Rice b. Wheat c. Water d. Oil e. Cooking tools f. Tent g. Plastic sheet h. Blanket i. Cash
j. Other ()

8-10. What kind of support are you receiving now?

- a. VGD b. Cash for Work c. Food for Work d. Housing Cash Grant (Tk/month) e. Nothing
f. Others ()

8-11. What kind do you receive as rationed goods now?

- a. Rice b. Wheat c. Water d. Oil e. Cash f. Nothing g. Other ()

9. Situation of Basic Infrastructure (Drinking Water, Irrigation, Drainage, Electricity)

9-1. What kind of water sources did you use for drinking water in rainy reason? **(Multiple answers allowed)**

- a. Shallow Well b. Deep Well c. River water d. Pond water e. Rain water f. Potable Water
g. Buy mineral water h. Other ()

9-2. What kind of water sources did you use for drinking water in dry reason? **(Multiple answers allowed)**

- a. Shallow Well b. Deep Well c. River water d. Pond water e. Rain water f. Potable Water
g. Buy mineral water h. Other ()

9-3. What kind of water sources did you use for drinking water immediately after Cyclone Aila? **(Multiple answers allowed)**

- a. Shallow Well b. Deep Well c. River water d. Pond water e. Rain water f. Potable Water
g. Buy mineral water h. Other ()

9-4. What kind of water sources did you use for drinking water now? **(Multiple answers allowed)**

- a. Shallow Well b. Deep Well c. River water d. Pond water e. Rain water f. Potable Water
g. Buy mineral water h. Other ()

9-5. What is/are your concern(s) about water? **(Multiple answers allowed)**

- a. Color of Drinking Water b. Odor of Drinking Water c. Quality of Drinking Water d. Cost of Water
e. Availability of Water f. Drought g. Flood h. Climate Change i. Salt Water Intrusion

POLDER 7-1

1. Respondent and Family Information

S.No	Polder No.	Thana	Union	Village	HH No.	Sex (M/F)	Age	Educational Background	1-1. General information					1-2	1-3. Who did leave the place after Aila?					1-4	1-5			1-6			1-7		1-8			1-9					1-10					1-11	1-12	1-13	1-14	1-15		
									Religion	Relation to Head	Number of Family Members					Did family member leave this place for living after Aila? a. Yes b. No	Age	Sex (M/F)	Relation to Head	Where did he/she go? (Place)		Main Income Resource before Aila:			Main Income Recourse after Aila (current situation):			Own Land area (before Aila)		Own Land area (After Aila) current situation			Livestock number of family before Aila					Livestock number of family after Aila					House Category before Aila	House category after Aila	Refuge after Aila	Place for refuge after Aila	How long did you stay there?	
											a. Muslim b. Hindu c. Buddhist d. Christian e. Other	a. head b. spouse c. son/daughter d. father/mother e. brother/sister f. son/daughter in law g. Sister/Brother in law h. grandchild i. grandparent j. other relatives k. non-relatives	Male	Female	Total					Boy (<12 years old)	Girl (<12 years old)	Prefecture	Thana:	No. of leaving persons.	Average Income (Tk/Month)	a. Shrimp Labor b. Shrimp Business c. Agriculture Farming d. Agriculture Labor e. Fishing Business f. Fishing Labor g. Rural Transport h. Shopkeeper i. Relief (including CFW, FFW and CFT) j. Other	Average Income (Tk/Month)	a. Shrimp Labor b. Shrimp Business c. Agriculture Farming d. Agriculture Labor e. Fishing Business f. Fishing Labor g. Rural Transport h. Shopkeeper i. Relief (including CFW, FFW and CFT) j. Other	Own Land (Decimal)	Gov. Land (Khas Land) (Decimal)	Own Land (Decimal)	Gov. Land (Khas Land) (Decimal)	Cow	Poultry	Goat	Sheep	Others	Cow	Poultry	Goat	Sheep	Others	a. Cement b. Bricks c. Tin d. Polythene Sheet e. Thatched tent f. Wood g. Other	a. Cement b. Bricks c. Tin d. Polythene Sheet e. Thatched tent f. Wood g. Other	a. Yes b. No	a. Cyclone shelter b. Top of Polder c. Friend's house d. Killa e. Out of the polder f. Other	(Months / Weeks / Days)	(Months / Weeks / Days)
1	7/1	Shyamnagar	Padmapukur	Kedar Bazar	270	M	57	0	a	a	2	3	5	0	1	b	-	-	-	-	-	2,500.00	g	-	2,200.00	g	-	4	0	4	0	0	0	10	0	0	0	0	6	0	0	0	f	c	b	-	-	-
2	7/1	Shyamnagar	Padmapukur	Kedar Bazar	270	F	40	5	a	b	4	2	6	1	0	b	-	-	-	-	-	3,500.00	d	-	2,000.00	d	-	21	15	21	15	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	c	c	b	-	-	-	
3	7/1	Shyamnagar	Padmapukur	Kedar Bazar	270	M	42	2	a	a	4	1	5	0	0	b	-	-	-	-	-	13,500.00	b	-	6,500.00	d	-	11	0	11	0	0	6	3	0	0	0	10	0	0	0	c	c	b	-	-	-	
4	7/1	Shyamnagar	Padmapukur	Kedar Bazar	270	M	40	0	a	a	4	3	7	1	1	b	-	-	-	-	-	4,600.00	d	-	4,000.00	d	-	8	0	8	0	0	6	2	0	0	0	5	0	0	0	c	c	b	-	-	-	
5	7/1	Shyamnagar	Padmapukur	Kedar Bazar	270	M	35	10	a	a	4	5	9	1	1	b	-	-	-	-	-	5,500.00	b	-	4,900.00	b	-	7	40	7	40	0	26	0	0	0	0	10	0	0	0	c	c	b	-	-	-	
6	7/1	Shyamnagar	Padmapukur	Kedar Bazar	270	M	40	2	a	a	1	2	3	0	0	b	-	-	-	-	-	2,500.00	f	-	1,800.00	g	-	17	0	17	0	1	15	0	0	0	0	10	0	0	0	f	e	b	-	-	-	
7	7/1	Shyamnagar	Padmapukur	Kedar Bazar	270	M	75	0	a	a	4	4	8	0	1	b	-	-	-	-	-	2,000.00	g	-	1,500.00	g	-	15	0	15	0	0	20	0	0	0	0	10	0	0	0	f	c	a	b	1	Week	
8	7/1	Shyamnagar	Padmapukur	Kedar Bazar	270	F	50	4	a	b	5	5	10	3	1	b	-	-	-	-	-	3,500.00	g	-	3,300.00	g	-	8	0	8	0	1	10	5	0	0	0	3	0	0	0	f	e	a	b	3	Weeks	
9	7/1	Shyamnagar	Padmapukur	Kedar Bazar	270	F	42	0	a	b	2	6	8	0	3	b	-	-	-	-	-	4,500.00	g	-	3,800.00	g	-	14	0	14	0	0	19	7	0	0	0	10	0	0	0	f	e	b	-	-	-	
10	7/1	Shyamnagar	Padmapukur	Kedar Bazar	270	M	55	0	a	a	1	1	2	0	0	b	-	-	-	-	-	2,500.00	g	-	2,200.00	g	-	5	0	5	0	3	5	0	0	0	0	3	0	0	0	f	e	b	-	-	-	
11	7/1	Shyamnagar	Padmapukur	Kedar Bazar	270	M	60	5	a	a	7	5	12	0	2	b	-	-	-	-	-	19,000.00	g	-	3,000.00	g	-	66	40	66	40	5	10	5	0	0	0	8	1	0	0	c	c	b	-	-	-	
12	7/1	Shyamnagar	Padmapukur	Kedar Bazar	270	F	41	1	a	b	4	1	5	1	0	b	-	-	-	-	-	4,500.00	b	-	3,000.00	g	-	5	0	5	0	0	20	2	0	0	0	5	0	0	0	f	e	b	-	-	-	
13	7/1	Shyamnagar	Padmapukur	Kedar Bazar	270	M	55	0	a	a	4	5	9	1	2	b	-	-	-	-	-	12,200.00	a	-	6,000.00	a	-	8	0	5	0	0	15	7	0	0	0	10	0	2	0	e	e	b	-	-	-	
14	7/1	Shyamnagar	Padmapukur	Kedar Bazar	270	M	60	5	a	a	11	11	22	2	4	b	-	-	-	-	-	6,000.00	f	-	4,500.00	f	-	12	45	12	45	0	13	0	0	0	0	7	0	0	0	f	e	b	-	-	-	
15	7/1	Shyamnagar	Padmapukur	Kedar Bazar	270	M	45	0	a	a	3	4	7	1	1	b	-	-	-	-	-	6,000.00	b	-	4,000.00	d	-	17	33	17	33	0	35	3	0	0	0	20	0	0	0	f	g	a	c	2	Weeks	
16	7/1	Shyamnagar	Padmapukur	Kedar Bazar	270	F	40	0	a	b	3	2	5	1	0	b	-	-	-	-	-	4,600.00	h	-	3,000.00	d	-	8	0	8	0	0	15	5	0	0	0	2	0	0	0	f	e	a	a	1	Week	
17	7/1	Shyamnagar	Padmapukur	Kedar Bazar	270	M	35	0	a	a	3	1	4	2	0	b	-	-	-	-	-	4,000.00	f	-	3,300.00	f	-	17	0	17	0	3	20	0	0	0	0	10	0	0	0	f	e	b	-	-	-	
18	7/1	Shyamnagar	Padmapukur	Kedar Bazar	270	M	60	0	a	a	1	1	2	0	0	b	-	-	-	-	-	3,300.00	j	-	2,500.00	j	-	17	17	17	17	0	20	0	0	0	0	0	0	0	0	c	c	a	b	2	Weeks	
19	7/1	Shyamnagar	Padmapukur	Kedar Bazar	270	M	39	13	a	a	3	2	5	0	1	b	-	-	-	-	-	4,700.00	b	-	4,500.00	b	-	8	0	8	0	0	5	6	4	0	0	0	0	4	0	c	c	b	-	-	-	
20	7/1	Shyamnagar	Padmapukur	Kedar Bazar	270	M	15	6	a	e	2	6	8	0	1	b	-	-	-	-	-	3,200.00	j	-	3,000.00	j	-	8	0	8	0	6	10	0	0	0	0	5	0	0	0	f	c	b	b	-	-	
21	7/1	Shyamnagar	Padmapukur	Kedar Bazar	270	M	80	4	a	a	2	2	4	1	0	b	-	-	-	-	-	3,500.00	j	-	2,500.00	j	-	8	33	8	33	10	18	19	0	0	5	5	0	0	0	f	c	b	b	-	-	
22	7/1	Shyamnagar	Padmapukur	Kedar Bazar	270	F	45	0	a	b	4	3	7	0	0	b	-	-	-	-	-	3,000.00	f	-	2,500.00	d	-	8	0	8	0	0	13	9	0	0	0	0	0	0	0	c	g	a	b	3	Weeks	
23	7/1	Shyamnagar	Padmapukur	Kedar Bazar	270	M	34	2	b	a	2	2	4	0	1	b	-	-	-	-	-	5,000.00	e	-	2,500.00	d	-	12	0	4	0	0	15	2	0	0	0	0	0	0	0	f	c	b	-	-	-	
24	7/1	Shyamnagar	Padmapukur	Kedar Bazar	270	M	35	6	a	a	3	1	4	2	0	a	35	M	a	-	-	6,000.00	a	-	4,500.00	d	-	5	0	5	0	0	8	6	0	0	0	0	0	0	0	c	c	a	c	11	Weeks	
25	7/1	Shyamnagar	Padmapukur	Kedar Bazar	270	M	35	2	b	c	2	5	7	0	2	b	-	-	-	-	-	5,000.00	a	-	3,000.00	d	-	30	66	30	0	3	7	0	0	0	0	0	0	0	0	f	c	a	b	7	Weeks	
26	7/1	Shyamnagar	Padmapukur	Kedar Bazar	270	F	26	6	a	c	5	2	7	2	0	b	-	-	-	-	-	5,200.00	d	-	3,000.00	d	-	10	0	10	0	0	5	2	0	0	0	0	0	0	0	f	c	a	b	2	Weeks	
27	7/1	Shyamnagar	Padmapukur	Kedar Bazar	270	M	25	6	a	a	1	2	3	0	0	b	-	-	-	-	-	3,000.00	d	-	2,000.00	d	-	35	25	35	15	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	f	a	b	-	1	Week	
28	7/1	Shyamnagar	Padmapukur	Kedar Bazar	270	M	60	0	a	a	3	5	8	1	1	b	-	-	-	-	-	4,500.00	d	-	3,000.00	d	-	40	0	30	0	4	10	0	0	0	0	5	0	0	0	f	e	b	b	-	-	
29	7/1	Shyamnagar	Padmapukur	Kedar Bazar	270	M	24	12	b	c	2	1	3	0	1	b	-	-	-	-	-	6,500.00	e	-	3,000.00	e	-	12	0	0	0	0	10	0	0	0	0	5	0	0	0	-	-	-	-	-	-	
30	7/1	Shyamnagar	Padmapukur	Kedar Bazar	270	F	22	2	b	c	2	4	6	0	1	b	-	-	-	-	-	4,500.00	f	-	3,000.00	g	-	10	0	0	0	0	10	2	0	0	0	5	0	0	0	f	d	b	b	30	Weeks	

S.No.	2. Affected Situation of Cyclone Aila in 2009											3. Evacuation Behavior in Disaster of Cyclone Aila in 2009																																																			
	2-1	2-2		2-3	2-4	2-5					2-6	2-7		2-8	3-1	3-2				3-3	3-4	3-5	3-6				3-7	3-8	3-9			3-10			3-11		3-12	3-13		3-14		3-15																					
	Causality in family	Number of died/injured family in Aila		Damage of house by Aila?	Lose livestock	Lost livestock number by Aila					How long was inundated by tidal surge in Aila?	Inundation level at the time of Aila	How long your house was inundated by the tidal flood before the embankment successful?	Evacuation before Aila	Reason for "Not evacuate" before Aila				Time of tidal surge reached	Evacuation after tidal surge	Time of evacuation	Your concerning of home during evacuation				Evacuation Place	Place of evacuation was safe/not safe	Bringing items during evacuation in Aila (Multiple Answer)			Needs of bringing items during evacuation in Aila (Multiple Answer)			Evacuation with		Family stay in house	Who did stay in your house?		Reason of staying in house		Safe place for evacuation																						
	a. Yes b. No	Dead (No.)	Injured (No.)	a. Yes b. No	Cow	Poultry	Goat	Sheep	Others	(Months / Weeks / Days/Hours)	a. Knee-High b. Stomach-High c. Shoulder-High d. Above your Head	(Feet)	a. Yes b. No	a. I do not think the waves will reach my house b. Alarm is not always true c. To keep my livestock around d. To prevent theft or robbery e. To secure the income of the day f. Worry to separate family g. I do not want to pay to use the shelter h. The road to go to evacuation site is bad i. Evacuation site is far j. Storm is too strong to take shelter k. To protect the house l. I didn't know cyclone Aila comes. m. I think my residence is safer than other places. n. It is unavoidable because Allah set so o. Other	(time)	(am/pm)	a. Yes b. No	(time)	(am/pm)	a. I had a fear that my house and other properties may be washed away b. Evacuation site is far c. To lose my livestock d. Theft or robbery e. The income of the day f. The road to go to evacuation site is bad g. Worry to separate family h. I do not want to pay to use the shelter i. Alarm is not always true j. It is unavoidable because Allah set so k. Other	a. Cyclone shelter b. Top of polder c. Other's house d. Killa e. Top of trees f. Top of own house g. Community buildings (including UP Bldg, Schools, Mosques, Temple etc.) h. Other	a. Yes b. No	a. Cash b. Livestock c. Food d. Working tools (for fishing/farming) e. Radio f. Mobile phone g. Cooking tool h. Table i. Chair j. Bed k. Sleeping mat/blanket l. Aluminium roof m. Van n. Bicycle o. Clothes (sari etc.) p. Stationary (pen, note, etc.) q. Nothing r. Other	a. Cash b. Livestock c. Food d. Working tools (for fishing/farming) e. Radio f. Mobile phone g. Cooking tool h. Table i. Chair j. Bed k. Sleeping mat/blanket l. Aluminium roof m. Van n. Bicycle o. Clothes (sari etc.) p. Stationary (pen, note, etc.) q. Nothing r. Other	a. Husband/wife b. Children c. Parents (Elder persons) d. Brothers/Sisters e. Neighbours f. Other	a. Yes b. No	Age	Sex (MF)	a. Respondents b. Husband/wife c. Children d. Parents (Elder persons) e. Brother/Sisters f. Other	a. I do not think the waves will reach my house b. Alarm is not always true c. To keep my livestock around d. To prevent theft or robbery e. To secure the income of the day f. Worry to separate family g. I do not want to pay to use the shelter h. The road to go to evacuation site is bad i. Evacuation site is far j. Storm is too strong to take shelter k. To protect the house l. residence is safer than other places for him/her m. It is unavoidable because Allah set so	a. Cyclone Shelter b. Top of polder c. Other's house d. Killa e. Top of Trees f. Top of Own House g. Community buildings (including UP Bldges, Schools, Mosques, Temple etc.) h. Other																																
1	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	24	Months	d	6	2	Months	a	-	-	-	-	-	-	1:00	pm	a	5:00	pm	a	f	-	-	-	a	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	-	-	a	-								
2	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	24	Months	d	6	2	Months	b	a	l	m	-	-	-	-	-	-	5:00	pm	a	f	g	-	-	-	g	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	g	-						
3	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	24	Months	d	6	2	Months	b	a	i	j	k	-	-	-	1:00	pm	a	2:00	pm	a	f	-	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	a	-						
4	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	24	Months	d	6	2	Months	b	a	j	k	-	-	-	2:00	pm	a	4:00	pm	a	g	-	-	-	a	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	-	-	a	-								
5	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	24	Months	d	6	2	Months	b	a	l	-	-	-	-	12:30	pm	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	-								
6	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	24	Months	d	6	2	Months	b	a	l	n	-	-	-	1:00	pm	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	-									
7	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	19	Months	d	6	1	Month	b	a	f	l	n	-	-	-	1:00	pm	a	3:00	pm	a	b	-	-	-	a	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	a	-						
8	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	2	Months	d	7	2	Months	a	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12:30	pm	a	b	-	-	-	a	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	f	-	b	-	-	-	-	-	-	a	-							
9	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	2	Months	d	6	2	Months	b	a	c	l	n	-	-	-	12:30	pm	a	1:12	pm	a	b	-	-	-	a	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	-	-	-	a	-						
10	b	0	0	a	a	0	10	0	0	0	24	Months	d	6	2	Months	b	a	c	l	n	-	-	-	1:00	pm	a	2:00	pm	a	c	-	-	-	a	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	-	-	-	b	-	-	-	-	-	-	a	-						
11	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	2	Months	d	6	2	Months	b	a	c	i	n	-	-	-	2:00	pm	a	3:00	pm	a	b	-	-	-	c	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	d	b	-	-	-	-	-	-	-	a	-					
12	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	24	Months	d	6	2	Months	a	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2:00	pm	a	c	-	-	-	g	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	a	-					
13	a	1	0	a	a	0	15	0	0	0	15	Months	d	5	2	Months	b	a	f	-	-	-	-	-	-	11:00	am	a	2:00	pm	a	g	-	-	-	a	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	-	-	-	-	a	-				
14	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	24	Months	d	5	2	Months	b	a	f	l	-	-	-	-	-	1:00	pm	a	2:00	pm	a	g	-	-	-	a	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	f	-	b	-	-	-	-	-	-	-	a	-				
15	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	3	Months	d	7	30	Months	a	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	2:00	pm	a	-	-	-	-	c	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	-	-	-	-	b	-					
16	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	4	Months	d	7	30	Months	b	a	c	f	l	n	-	-	-	11:00	am	a	11:00	pm	a	b	g	-	-	-	e	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	b	-			
17	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	24	Months	d	6	24	Months	a	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	12:30	pm	a	c	-	-	-	b	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	b	-				
18	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	2	Months	d	6	24	Months	b	a	l	-	-	-	-	-	-	1:00	pm	a	2:00	pm	a	g	-	-	-	b	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	b	-			
19	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	24	Months	d	5	24	Months	b	a	f	-	-	-	-	-	-	11:00	am	a	2:00	pm	a	g	-	-	-	a	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	b	-		
20	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	23	Months	d	6	23	Months	b	a	i	-	-	-	-	-	-	12:30	pm	a	5:00	pm	a	b	-	-	-	a	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	e	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	-		
21	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	24	Months	d	6	24	Months	b	a	l	m	-	-	-	-	-	1:00	pm	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	-				
22	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	3	Months	d	7	30	Months	b	f	k	l	n	-	-	-	-	11:00	am	b	3:00	pm	a	c	-	-	-	b	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	-		
23	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	30	Months	d	6	25	Months	b	a	k	-	-	-	-	-	-	1:00	pm	b	4:00	pm	a	g	-	-	-	c	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	-		
24	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	24	Months	d	6	24	Months	a	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7:00	pm	a	b	-	-	-	c	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	a	-			
25	a	1	0	a	a	5	0	0	0	0	30	Months	d	6	30	Months	b	a	-	-	-	-	-	-	-	11:00	am	a	5:00	pm	a	c	f	-	-	-	c	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	c	-		
26	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	30	Months	d	6	30	Months	b	a	c	f	-	-	-	-	-	1:00	pm	a	5:00	pm	a	b	-	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	-		
27	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	30	Months	d	4	30	Months	b	a	c	f	-	-	-	-	-	1:00	pm	a	5:00	pm	a	c	g	-	-	-	c	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	-	
28	-	0	0	-	-	0	0	0	0	0	30	Months	d	6	26	Months	b	a	b	c	-	-	-	-	-	1:00	pm	a	5:00	pm	a	b	d	-	-	-	c	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	-	
29	-	0	0	-	-	0	0	0	0	0	30	Months	d	6	30	Months	b	a	b	-	-	-	-	-	-	1:00	pm	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	-	
30	b	0	0	a	a	0	0	0	0	0	1	Month	d	6	30	Months	b	a	b	f	-	-	-	-	-	1:00	pm	b	11:00	pm	a	b	-	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	-

S.No.	4. Evacuation Behavior in Disaster of Cyclone Sidr in 2007											5. Existing alarm system in Community				6. Shelter & Polder system in Community										7. Situation of Community disaster prevention																					
	4-1	4-2		4-3	4-4		4-5		4-6		4-7		4-8		4-9	4-10		4-11	5-1	5-2		5-3	5-4	6-1	6-2	6-3	6-4	6-5	6-6	6-7	6-8	6-9	6-10	6-11		6-12	6-13		6-14	6-15	7-1	7-2	7-3	7-4	7-5		
	Evacuation before Sidr	Time of tidal surge reached		Evacuation after tidal surge	Time of evacuation		Evacuation Place		How long was inundated by tidal surge in Sidr?		Inundation level at the time of Sidr		How long your house was inundated by the tidal flood before the embankment successful?		Information about Sidr	How did you get information about Sidr?		Timing of getting information about Sidr	Information about Aila	How did you get to hear about Aila?		Timing of getting information about Aila	Most reliable source/ dissemination	Knowledge of cyclone shelter in Aila	Distance to cyclone shelter	Time to cyclone shelter in ordinary time	Road condition to cyclone shelter in Aila	Safety of cyclone shelter for women	Evacuation to cyclone shelter in Aila	Problem of cyclone shelter	Evacuation on with wife/ husband	Reason for "not evacuation with wife/husband"	Polder is useful for tidal wave /flood	Problem about Polder		Water Management Group (WMG) of polder	Activity of WMG		Collecting money for Polder	Amount of collecting money	Early warning about Aila	Early warning from	Radio (it can be used)	Portable radio and bring anytime	Mobile phone (it can be used)		
	a. Yes b. No	(time)	(am/pm)	a. Yes b. No	(time)	(am/pm)	a. Cyclone shelter b. Top of polder c. Other's house d. Kill a e. Top of trees f. Top of own house g. Community buildings (including UP Bldg, Schools, Mosques, Temple etc.) h. Other	a. Knee-High b. Stomach-High c. Shoulder-High d. Above your Head	(Feet)	(Day/ Month/ Year)	a. Yes b. No	a. Radio b. Microphone announcement c. Flag hoisting d. Neighbours e. NGO f. Local Gov. Market g. TV h. Mosque i. Police j. BDR k. Other	a. Before 2 days b. Before 1 day c. Before 12 hours d. Before 6 hours e. Before 1 hour f. Not at all	a. Yes b. No	a. Radio b. Microphone announcement c. Flag hoisting d. Neighbours e. NGO f. Local Gov. Market g. TV h. Mosque i. Police j. BDR k. Other	a. Before 2 days b. Before 1 day c. Before 12 hours d. Before 6 hours e. Before 1 hour f. Not at all	a. Radio b. Microphone announcement c. Flag hoisting d. Neighbours e. NGO f. Local Gov. Market g. TV h. Mosque i. Police j. BDR k. Other	a. Yes b. No	(km)	(Minutes by foot)	a. Yes b. No	a. Yes b. No	a. Yes b. No	a. Too many people b. Lack of sanitation c. Lack of water d. No separate space for women e. Lack of maintenance f. No problem g. Other	a. Yes b. No	a. She was working in field b. Women should not go out c. Livestock should be kept by women d. She was out e. Shelter is not safe for women f. Other	a. Yes b. No	a. Embankment height was not enough b. Embankment structure was weak c. Drainage problem d. Other	a. Yes b. No	a. Management of sluice gate b. Management and rehabilitation of existing embankment c. Construction of alternative embankment d. Management and rehabilitation of road e. Management of land owned by BWDB f. Monitoring status of existing embankment	a. Yes b. No	(Tk/month)	a. Yes b. No	a. CPP b. Religious Leaders c. Teachers d. Community Leaders e. UP members f. Community volunteers g. Others	a. Yes b. No	a. Yes b. No	a. Yes b. No	a. Yes b. No									
1	a	11:00	pm	b	-	-	-	8	Hours	a	2	15	Days	a	a	b	-	d	b	-	-	-	-	-	a	a	1	22	b	a	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	b	b	b		
2	b	-	-	b	-	-	-	6	Hours	a	2	17	Days	a	b	-	-	d	b	-	-	-	-	-	a	a	1	27	b	a	b	-	-	-	-	-	b	-	-	b	-	b	b	a			
3	a	12:30	am	b	-	-	-	5	Hours	a	2	13	Days	a	a	b	c	-	b	b	-	-	-	-	a	a	3	42	b	a	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	b	b	a		
4	b	-	-	b	-	-	-	7	Hours	a	2	11	Days	a	a	b	-	-	b	b	-	-	-	-	a	a	0.25	7	b	a	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	b	b	a		
5	b	-	-	b	-	-	-	6	Hours	b	2	15	Days	a	a	b	i	-	b	a	a	b	i	-	-	a	a	0.75	17	b	b	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	b	b	b	
6	b	-	-	b	-	-	-	6	Hours	b	2	20	Days	b	-	-	-	-	d	a	a	b	-	-	-	a	b	0.75	17	b	b	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	b	a	b	
7	b	-	-	b	-	-	-	6	Hours	a	3	6	Days	a	a	b	-	-	d	b	-	-	-	-	a	a	0.85	12	a	b	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	b	a	a	a	
8	b	-	-	b	-	-	-	6	Hours	a	3	12	Days	a	a	b	d	-	-	b	-	-	-	-	a	a	0.5	10	a	b	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	b	b	b		
9	a	12:30	pm	b	-	-	-	24	Hours	a	2	6	Days	a	b	d	-	-	d	b	-	-	-	-	a	a	0.75	0	a	b	b	-	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	b	a	b	
10	b	-	-	a	-	-	-	12	Hours	b	3	25	Days	b	-	-	-	-	-	a	a	-	-	-	-	a	a	0.5	12	b	b	a	a	b	-	-	-	a	a	b	-	b	-	b	b	a	
11	b	1:00	pm	b	-	-	-	12	Hours	b	3	15	Days	a	a	b	f	-	-	d	b	-	-	-	-	a	a	2	30	a	b	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	b	b	a	
12	a	1:00	pm	b	-	-	-	12	Hours	b	3	20	Days	a	a	b	f	-	-	-	b	-	-	-	-	a	a	2	40	b	b	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	b	b	a	
13	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	-	-	-	-	a	a	b	i	-	-	-	a	a	2	35	a	b	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	b	b	b
14	b	-	-	b	-	-	-	6	Hours	a	2	12	Days	b	-	-	-	-	-	b	-	-	-	-	a	a	0.5	6	a	b	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	b	b	b		
15	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	a	h	h	-	-	d	b	-	-	-	-	a	a	2	40	b	-	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	b	b	a	
16	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	b	-	-	-	-	-	b	-	-	-	-	a	a	2	35	b	a	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	b	b	a		
17	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	b	-	-	-	-	a	a	0.75	15	a	b	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	b	a	b		
18	b	-	-	-	-	-	-	-	-	b	-	18	Months	b	-	-	-	-	-	a	a	h	-	-	-	c	a	b	1	20	a	b	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	b	b	b
19	b	-	-	-	-	-	-	-	-	c	-	20	Days	a	a	b	d	i	b	a	a	b	d	h	i	b	a	a	2	30	b	a	b	-	-	-	-	-	b	a	c	-	b	-	b	b	a
20	b	-	-	-	-	-	-	-	-	a	-	2	Months	a	a	b	h	-	-	d	b	-	-	-	-	-	a	a	0.8	12	a	b	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	b	b	a
21	b	-	-	-	-	-	-	-	-	a	-	1	Month	b	-	-	-	-	-	b	-	-	-	-	-	a	a	1	22	b	b	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	b	b	b	
22	b	-	-	-	-	-	-	-	-	h	-	2	Months	a	a	b	i	-	-	d	b	-	-	-	-	a	a	2	42	b	a	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	b	a	b	
23	b	-	-	-	-	-	-	-	-	b	-	2	Months	a	a	h	i	-	-	d	b	-	-	-	-	a	a	1	22	b	a	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	b	b	a	
24	b	-	-	-	-	-	-	-	-	d	-	6	Months	a	a	b	h	-	-	d	b	-	-	-	-	a	a	2	50	b	b	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	b	b	a	
25	b	-	-	-	-	-	-	-	-	c	-	1	Month	b	-	-	-	-	-	a	a	b	-	-	-	d	a	a	2	50	a	a	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	b	b	a
26	b	-	-	-	-	-	-	-	-	d	-	15	Days	a	a	b	-	-	-	d	b	-	-	-	-	a	b	0	0	-	b	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	b	b	a	
27	b	-	-	-	-	-	-	-	-	c	-	1	Month	a	a	b	c	-	-	-	b	-	-	-	-	a	b	0	0	-	a	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	b	b	a	
28	b	-	-	-	-	-	-	-	-	d	-	1	Month	b	-	-	-	-	-	a	a	b	-	-	-	b	a	2	70	-	b	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	b	b	b	
29	b	-	-	-	-	-	-	-	-	c	-	1	Month	b	-	-	-	-	-	a	a	b	-	-	-	d	a	a	1	50	b	b	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	b	b	a
30	b	-	-	-	-	-	-	-	-	c	-	1	Month	b	-	-	-	-	-	a	a	b	-	-	-	d	a	a	4	60	b	b	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	b	b	a

S.No.	8. Assistant for community after cyclone damage.													9. Situation of Basic Infrastructure (Drinking Water, Irrigation, Drainage, Electricity)											10. Difficulty and Needs																					
	8-1	8-2	8-3		8-4	8-5	8-6	8-7	8-8	8-9					8-10	8-11	9-1	9-2	9-3		9-4	9-5		9-6		9-7		9-8		9-9		9-10		9-11	9-12		10									
	Using microcredit system for reconstruction a. Yes b. No	Amount of borrowing money Total (Tk)	Borrowing money from a. Grameen Bank b. BRAC c. ASA d. Gannamkhi e. SUS f. Caritas g. Krishi Bank h. BRDB i. Other	Debt of microcredit before Aila a. Yes b. No	Debt moratorium after Aila a. Yes b. No	Debt moratorium (month)	First rationed goods after Aila After (day)	First rationed goods after Sidr After (day)	Rationed goods after Aila a. Rice b. Wheat c. Water d. Oil e. Cooking tools f. Tent g. Plastic sheet h. Blanket i. Cash j. Other					Support (now) a. VGD b. Cash for Work c. Food for Work d. Oil e. Cash f. Nothing g. Other f. Other	Rationed goods (now) a. Rice b. Wheat c. Water d. Oil e. Cash f. Nothing g. Other h. Other	Water sources for drinking water in rainy reason a. Shallow Well b. Deep Well c. River water d. Pond water e. Rain water f. Potable Water g. Buy mineral water h. Other	Water sources for drinking water in dry reason a. Shallow Well b. Deep Well c. River water d. Pond water e. Rain water f. Potable Water g. Buy mineral water h. Other	Water sources for drinking water immediately after Aila a. Shallow Well b. Deep Well c. River water d. Pond water e. Rain water f. Potable Water g. Buy mineral water h. Other	Water sources for drinking water now a. Shallow Well b. Deep Well c. River water d. Pond water e. Rain water f. Potable Water g. Buy mineral water h. Other	Concerning about water a. Color of Drinking Water b. Odor of Drinking Water c. Cost of Drinking Water d. Availability of Water e. Drought f. Flood g. Climate Change h. Salt Water Intrusion i. Arsenic Contaminated Water k. Other		Main reason of large reduction of crop yields after cyclone a. Droughts / Water Shortage b. Intrusion of seawater c. Lack of manpower d. Lack of Nutrient Soil e. Existence of Harmful Insects f. Other		Light item before Aila a. Electricity b. Generator c. Solar power d. Kerosene Lump e. Candle light f. Other		Light item immediate after cyclone damage a. Electricity b. Generator c. Solar power d. Kerosene Lump e. Candle light f. Other	Light item now a. Electricity b. Generator c. Solar power d. Kerosene Lump e. Candle light f. Other	Road condition to the nearest Cyclone shelter before Aila a. Good (you can walk) b. Bad (You can walk but difficult) c. Very bad (You cannot walk)		Road condition to the nearest Cyclone shelter immediately after Cyclone a. Good (you can walk) b. Bad (You can walk but difficult) c. Very bad (You cannot walk)		Road condition to the nearest Cyclone shelter now a. Good (you can walk) b. Bad (You can walk but difficult) c. Very bad (You cannot walk)		(Free Answer)												
1	b	-	-	-	b	-	0	7	2	a	d	f	g	j	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	b	-	-	b	-	g	-	-	a	b	-	d	-	d	-	d	-	a	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
2	a	20,000.00	i	-	b	-	0	7	22	a	c	e	f	h	j	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	b	-	-	b	-	g	-	-	a	b	-	d	-	d	e	c	-	a	c	a	Food, Reconstruction House, Road & Embankment
3	a	5,000.00	d	-	a	a	12	2	0	a	c	d	e	f	j	-	-	-	e	f	b	e	-	b	f	b	f	-	b	f	e	f	i	a	b	-	d	-	d	-	d	-	a	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
4	b	-	-	-	b	-	0	5	0	a	c	d	e	g	-	-	-	-	e	f	b	f	-	b	f	b	f	-	b	f	g	e	i	a	b	-	d	-	d	e	c	-	a	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
5	a	5,000.00	d	-	b	-	0	5	0	a	c	d	e	f	h	-	-	-	e	f	b	f	-	b	f	b	f	-	b	-	b	e	i	a	b	-	d	-	d	-	d	-	a	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
6	a	5,000.00	d	-	b	-	0	1	7	a	d	j	-	-	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	b	-	-	b	-	i	-	-	a	b	-	d	-	d	-	d	-	a	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
7	a	2,000.00	b	-	b	-	0	1	1	a	-	-	-	-	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	b	-	-	b	-	h	i	-	a	b	-	d	-	e	-	d	-	b	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
8	b	-	-	-	a	a	6	1	1	a	c	d	g	-	-	-	-	-	e	f	b	e	-	b	-	b	-	-	b	-	k	-	-	b	-	-	d	-	d	e	c	-	b	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
9	b	-	-	-	b	-	0	7	10	a	c	d	f	g	i	-	-	-	e	f	b	e	-	b	-	f	-	-	b	-	c	-	-	b	-	-	d	e	d	e	d	-	b	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
10	a	10,000.00	a	-	a	a	3	20	0	a	d	g	-	-	-	-	-	-	e	f	b	f	-	b	f	b	f	-	b	f	-	-	-	a	b	-	d	-	d	e	c	-	b	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
11	a	10,000.00	i	-	b	-	0	7	0	a	d	f	g	-	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	b	f	-	b	-	-	-	-	a	b	-	d	-	d	-	c	-	b	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
12	a	10,000.00	d	-	b	-	0	7	0	a	g	-	-	-	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	b	f	-	b	-	-	-	-	a	b	-	d	-	d	e	c	-	b	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
13	b	-	-	-	a	a	3	0	0	a	c	f	e	-	-	-	-	-	e	f	b	e	-	b	-	b	-	-	b	-	d	-	-	b	-	-	d	-	d	e	d	-	b	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
14	b	-	-	-	-	-	0	0	0	a	c	d	e	i	-	-	-	-	e	f	b	f	-	b	f	b	f	-	b	f	g	-	-	a	b	-	d	-	d	-	d	-	a	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
15	b	-	-	-	a	a	6	4	7	a	c	d	e	f	g	h	-	-	e	f	b	-	-	b	-	b	-	-	b	-	a	b	-	a	b	-	d	-	d	e	d	-	a	c	c	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
16	a	3,000.00	d	-	a	a	12	3	16	a	c	d	e	f	h	i	j	-	e	f	b	e	f	b	f	b	f	-	b	-	k	g	i	a	b	-	d	e	-	-	c	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
17	a	10,000.00	d	-	a	a	4	1	1	a	c	d	e	f	h	i	-	-	e	f	b	f	-	b	f	b	f	-	b	f	-	-	-	a	b	-	d	-	d	-	c	-	a	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
18	b	-	-	-	b	a	0	1	1	a	c	e	f	-	-	-	-	-	e	f	b	e	-	b	-	b	e	-	b	e	i	-	-	a	b	-	d	-	d	-	d	-	a	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
19	b	-	-	-	a	a	6	3	0	a	e	f	j	-	-	-	-	-	e	f	b	e	f	b	f	g	h	-	b	f	c	g	i	a	b	-	d	-	d	-	a	-	a	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
20	b	-	-	-	b	b	1	1	1	a	c	d	f	i	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	b	-	-	b	-	-	-	-	a	b	-	d	-	d	e	d	-	a	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
21	b	-	b	-	-	-	0	1	1	a	c	d	h	i	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	b	-	-	b	-	-	-	-	a	b	-	d	e	d	e	d	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
22	b	-	-	-	b	-	0	15	0	a	c	h	i	-	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	b	-	-	b	-	-	-	-	a	b	-	d	e	e	-	c	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
23	a	20,000.00	d	-	a	a	3	15	0	a	c	d	i	j	-	-	-	-	e	f	b	f	-	b	f	b	f	-	b	f	-	-	-	a	b	-	d	-	e	-	c	d	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
24	b	-	-	-	b	-	0	7	6	a	c	f	h	i	-	-	-	-	e	f	b	e	-	b	-	b	-	-	b	-	-	-	-	b	-	-	d	e	d	e	d	-	b	a	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
25	b	-	-	-	a	-	0	1	1	a	c	d	f	-	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	b	-	-	b	-	e	h	-	a	b	-	d	-	e	-	d	-	a	b	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
26	b	-	-	-	b	-	0	2	3	a	c	d	f	h	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	b	-	-	b	-	h	i	-	a	b	-	d	-	d	-	c	-	b	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
27	a	15,000.00	d	-	a	a	4	0	1	a	c	d	e	h	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	b	-	-	b	-	h	j	-	a	b	-	d	-	d	-	d	-	b	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
28	a	10,000.00	a	-	a	a	5	4	0	a	c	f	-	-	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	b	-	-	b	-	j	-	-	a	b	-	d	-	d	-	d	-	b	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
29	b	-	a	-	a	-	30	5	1	a	c	d	f	-	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	b	f	-	b	-	h	i	-	a	b	-	d	-	d	e	c	-	a	b	c	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
30	b	-	b	-	b	-	3	7	1	a	c	d	f	-	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	b	f	-	b	-	h	i	-	a	b	-	d	-	d	e	c	-	a	b	c	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center

POLDER 7-2					I. Respondent and Family Information																																										
S_No.	Polder No.	Thana	Union	Village	HH No.	Sex (M/F)	Age	Educational Background	1-1. General information					1-2	1-3. Who did leave the place after Aila?				1-4	1-5		1-6		1-7		1-8		1-9					1-10					1-11	1-12	1-13	1-14	1-15					
									Religion	Relation to Head	Number of Family Members					Did family member leave this place for living after Aila?	Age	Sex (M/F)	Relation to Head	Where did he/she go? (Place)	No. of leaving persons.	Main Income Resource before Aila:		Main Income Recourse after Aila (current situation):		Own Land area (before Aila)		Own Land area (After Aila) current situation		Livestock number of family before Aila					Livestock number of family after Aila					House Category before Aila	House category after Aila	Refuge after Aila	Place for refuge after Aila	How long did you stay there?			
											a. Muslim b. Hindu c. Buddhism d. Christian e. Other	a. head b. spouse c. son/daughter d. father/mother e. brother/sister f. son/daughter in law g. Sister/Brother in law h. grandchild i. grandparent j. other relatives k. non-relatives	Male	Female	Total							Boy (<12 years old)	Girl (<12 years old)	a. Yes b. No	a. head b. spouse c. son/daughter d. father/mother e. brother/sister f. son/daughter in law g. Sister/Brother in law h. grandchild i. grandparent j. other relatives k. non-relatives	Profecture	Thana:	Average Income (Tk/Month)	a. Shrimp Labor b. Shrimp Business c. Agriculture Farming d. Agriculture Labor e. Fishing Business f. Fishing Labor g. Rural Transport h. Shopkeeper i. Relief (including CFW FFW and CFT) j. Other	Average Income (Tk/Month)	a. Shrimp Labor b. Shrimp Business c. Agriculture Farming d. Agriculture Labor e. Fishing Business f. Fishing Labor g. Rural Transport h. Shopkeeper i. Relief (including CFW FFW and CFT) j. Other	Own Land (Decimal)	Gov. Land (Khas Land) (Decimal)	Own Land (Decimal)	Gov. Land (Khas Land) (Decimal)	Cow	Poultry	Goat	Sheep					Others	Cow	Poultry	Goat
31	7/2	Shyamagar	Padmapukur	Banyatala	255	M	47	0	a	a	5	5	10	1	2	b	-	-	-	-	-	4,200.00	f	-	4,200.00	f	-	9	0	9	0	0	8	0	0	0	0	8	0	0	0	g	e	b	-	-	-
32	7/2	Shyamagar	Padmapukur	Banyatala	255	M	40	1	a	e	1	3	4	0	1	b	-	-	-	-	-	3,300.00	f	-	2,500.00	f	-	4	0	4	0	2	5	2	0	0	0	2	0	0	4	c	c	a	b	5	Weeks
33	7/2	Shyamagar	Padmapukur	Banyatala	255	F	43	5	a	b	2	2	4	0	1	b	-	-	-	-	-	5,000.00	b	-	2,500.00	b	-	16	0	16	0	0	23	7	0	0	0	1	0	0	0	e	e	a	a	1	Week
34	7/2	Shyamagar	Padmapukur	Banyatala	255	F	20	5	a	b	3	1	4	1	0	b	-	-	-	-	-	4,000.00	d	-	3,000.00	d	-	4	0	4	0	0	10	0	0	0	0	4	0	0	0	e	e	b	-	-	-
35	7/2	Shyamagar	Padmapukur	Banyatala	255	M	68	4	a	a	4	3	7	0	1	b	-	-	-	-	-	3,000.00	a	-	3,000.00	a	-	1	5.33	1	2	3	7	1	0	0	0	9	0	0	0	c	c	a	a	1	Week
36	7/2	Shyamagar	Padmapukur	Banyatala	255	M	32	4	a	a	2	5	7	0	2	b	-	-	-	-	-	10,000.00	e	-	8,000.00	e	-	29	0	15	0	0	9	0	0	0	0	11	1	0	0	e	e	b	-	-	-
37	7/2	Shyamagar	Padmapukur	Banyatala	255	M	47	5	a	a	10	4	14	5	0	b	-	-	-	-	-	8,000.00	c	-	5,000.00	c	-	19	0	19	0	1	11	5	0	0	1	17	4	0	0	c	c	a	b	8	Weeks
38	7/2	Shyamagar	Padmapukur	Banyatala	255	M	72	9	a	a	9	7	16	3	1	b	-	-	-	-	-	5,000.00	c	-	3,000.00	c	d	8	0	8	0	0	16	0	4	0	0	0	0	0	0	c	c	b	-	-	-
39	7/2	Shyamagar	Padmapukur	Banyatala	255	M	37	11	a	a	3	1	4	1	0	b	-	-	-	-	-	3,000.00	e	-	2,000.00	f	-	5	0	5	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	c	c	a	b	25	Weeks	
40	7/2	Shyamagar	Padmapukur	Banyatala	255	M	45	9	a	a	3	3	6	1	1	b	-	-	-	-	-	4,500.00	e	-	5,000.00	e	-	8	0	8	0	1	15	1	0	0	0	3	4	0	0	c	c	b	-	-	-
41	7/2	Shyamagar	Padmapukur	Banyatala	255	M	32	10	a	c	9	3	12	4	0	b	-	-	-	-	-	5,000.00	-	-	5,000.00	-	-	10	33	10	33	1	22	2	0	0	0	1	0	0	0	c	c	b	-	-	-
42	7/2	Shyamagar	Padmapukur	Banyatala	255	M	40	5	a	a	3	3	6	1	1	b	-	-	-	-	-	3,500.00	d	-	3,000.00	d	-	0.33	0	0.33	0	0	10	0	0	0	2	2	2	0	0	c	c	b	-	-	-
43	7/2	Shyamagar	Padmapukur	Banyatala	255	F	45	0	a	a	0	4	4	0	0	b	-	-	-	-	-	2,500.00	d	-	2,500.00	d	-	1	0	1	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	f	e	a	b	12	Weeks	
44	7/2	Shyamagar	Padmapukur	Banyatala	255	M	50	0	a	a	5	4	9	1	0	b	-	-	-	-	-	5,000.00	c	-	4,000.00	c	-	15	0	15	0	0	19	3	3	0	0	1	1	0	0	f	c	b	-	-	-
45	7/2	Shyamagar	Padmapukur	Banyatala	255	M	32	2	a	a	3	2	5	2	1	b	-	-	-	-	-	5,000.00	c	-	2,500.00	c	-	14	0	3	0	0	11	2	0	0	0	2	3	0	0	f	b	a	b	24	Weeks
46	7/2	Shyamagar	Padmapukur	Banyatala	255	M	36	5	a	a	3	1	4	1	0	b	-	-	-	-	-	4,500.00	c	-	3,500.00	c	-	10	0	10	0	0	6	0	0	0	0	7	0	0	0	f	e	a	b	12	Weeks
47	7/2	Shyamagar	Padmapukur	Banyatala	255	M	30	0	a	a	2	3	5	1	0	b	-	-	-	-	-	4,000.00	c	-	3,000.00	d	-	11	0	8	0	0	8	0	0	0	2	8	0	0	0	f	e	a	b	12	Weeks
48	7/2	Shyamagar	Padmapukur	Banyatala	255	M	65	3	a	a	5	4	9	0	1	b	-	-	-	-	-	5,000.00	c	-	3,000.00	c	-	18	0	18	0	0	11	1	0	0	0	1	0	0	0	f	e	a	b	12	Weeks
49	7/2	Shyamagar	Padmapukur	Banyatala	255	F	35	0	a	b	3	1	4	0	0	b	-	-	-	-	-	3,000.00	d	-	3,000.00	d	-	0.66	8	0.66	8	0	3	3	0	0	0	1	0	0	0	f	c	b	-	-	-
50	7/2	Shyamagar	Padmapukur	Banyatala	255	M	36	0	a	a	1	3	4	0	2	b	-	-	-	-	-	13,000.00	c	-	4,000.00	c	-	80	0	20	0	2	40	3	0	0	0	3	0	1	0	f	c	b	-	-	-
51	7/2	Shyamagar	Padmapukur	Banyatala	255	F	45	2	a	b	6	3	9	0	0	b	-	-	-	-	-	5,000.00	d	-	4,000.00	d	-	8	0	8	0	0	22	5	0	0	0	1	0	0	0	f	e	a	c	84	Weeks
52	7/2	Shyamagar	Padmapukur	Banyatala	255	F	32	0	a	b	3	3	6	0	1	b	-	-	-	-	-	4,000.00	c	-	3,000.00	c	-	11	0	11	0	0	18	2	1	0	0	2	0	0	0	f	e	b	-	-	-
53	7/2	Shyamagar	Padmapukur	Banyatala	255	F	80	0	a	a	3	7	10	2	0	b	-	-	-	-	-	6,000.00	e	-	6,000.00	c	-	17	0	17	0	0	9	0	0	0	0	0	1	0	0	g	g	a	b	8	Weeks
54	7/2	Shyamagar	Padmapukur	Banyatala	255	M	27	10	a	c	4	3	7	1	0	b	-	-	-	-	-	3,000.00	f	-	2,500.00	f	-	2	0	2	0	0	18	5	0	0	0	9	1	0	0	c	c	a	b	8	Weeks
55	7/2	Shyamagar	Padmapukur	Banyatala	255	M	26	9	a	c	2	4	6	0	1	b	-	-	-	-	-	4,000.00	c	-	3,000.00	c	-	9	0	9	0	0	28	4	0	0	2	2	2	0	0	g	e	a	b	8	Weeks
56	7/2	Shyamagar	Padmapukur	Banyatala	255	M	35	4	a	a	3	3	6	1	1	b	-	-	-	-	-	6,500.00	c	-	4,500.00	c	-	10	0	10	0	0	18	3	0	0	0	2	0	0	0	c	c	b	-	-	-
57	7/2	Shyamagar	Padmapukur	Banyatala	255	M	24	2	a	c	4	2	6	2	0	b	-	-	-	-	-	3,000.00	d	-	3,000.00	d	-	0.33	0	0.33	0	0	4	0	0	0	0	9	3	0	0	f	c	a	b	25	Weeks
58	7/2	Shyamagar	Padmapukur	Banyatala	255	M	35	0	a	b	4	4	8	1	1	b	-	-	-	-	-	4,000.00	-	-	4,000.00	-	-	2.33	2	2.33	2	0	20	4	0	0	0	2	0	0	0	c	c	b	-	-	-
59	7/2	Shyamagar	Padmapukur	Banyatala	255	M	60	2	a	a	3	3	6	1	1	b	-	-	-	-	-	3,500.00	d	-	3,300.00	d	-	1	0	1	0	0	18	3	0	0	0	5	1	0	0	f	e	b	-	-	-
60	7/2	Shyamagar	Padmapukur	Banyatala	255	M	36	2	a	a	2	1	3	1	0	b	-	-	-	-	-	4,000.00	d	-	2,500.00	d	-	8	5	8	5	0	20	5	0	0	0	9	0	0	0	c	c	a	c	2	Weeks

S_No.	2. Affected Situation of Cyclone Aila in 2009													3. Evacuation Behavior in Disaster of Cyclone Aila in 2009																																									
	2-1		2-2		2-3	2-4	2-5				2-6		2-7	2-8	3-1	3-2				3-3		3-4	3-5		3-6				3-7	3-8	3-9		3-10			3-11		3-12	3-13			3-14		3-15											
	Causality in family	Number of died/injured family in Aila		Damage of house by Aila?	Lose livestock	Lost livestock number by Aila				How long was inundated by tidal surge in Aila?	Inundation level at the time of Aila	How long your house was inundated by the tidal flood before the embankment successful?	Evacuation before Aila	Reason for "Not evacuate" before Aila				Time of tidal surge reached		Evacuation after tidal surge	Time of evacuation		Your concerning of home during evacuation				Evacuation Place	Place of evacuation was safe/not safe	Bringing items during evacuation in Aila (Multiple Answer)		Needs of bringing items during evacuation in Aila (Multiple Answer)			Evacuation with		Family stay in house	Who did stay in your house?			Reason of staying in house		Safe place for evacuation													
	a. Yes b. No	Dead (No.) Injured (No.)	a. Completely destroyed b. Partially destroyed c. Minor damage d. No damage	a. Yes b. No	Cow Poultry Goat Sheep Others	Months / Weeks /Days/Hours	Shoulder-High c. Above your Head	(Feet)	(Day/ Month/ Year)	a. Yes b. No	a. I do not think the waves will reach my house b. Alarm is not always true c. To keep my livestock around d. To prevent theft or robbery e. To secure the income of the day f. Worry to separate family g. I do not want to pay to use the shelter h. The road to go to evacuation site is bad i. Evacuation site is far j. Storm is too strong to take shelter k. To protect the house l. I didn't know cyclone Aila comes. m. I think my residence is safer than other places. n. It is unavoidable because Allah set so o. Other	(time) (am/pm)	a. Yes b. No	(time) (am/pm)	a. I had a fear that my house and other properties may be washed away b. Evacuation site is far c. To lose my livestock d. Theft or robbery e. The income of the day f. The road to go to evacuation site is bad g. Worry to separate family h. I do not want to pay to use the shelter i. Alarm is not always true j. It is unavoidable because Allah set so k. Other	a. Cyclone shelter b. Top of polder c. Other's house d. Killa e. Top of trees f. Top of own house g. Community buildings (including UP Bldg, Schools, Mosques, Temple etc.) h. Other	a. Yes b. No	a. Cash b. Livestock c. Food d. Working tools (for fishing/farming) e. Radio f. Mobile phone g. Cooking tool h. Table i. Chair j. Bed k. Sleeping mat/blanket l. Aluminium roof m. Van n. Bicycle o. Clothes (sari etc.) p. Stationary (pen, note, etc.) q. Nothing r. Other	a. Cash b. Livestock c. Food d. Working tools (for fishing/farming) e. Radio f. Mobile phone g. Cooking tool h. Table i. Chair j. Bed k. Sleeping mat/blanket l. Aluminium roof m. Van n. Bicycle o. Clothes (sari etc.) p. Stationary (pen, note, etc.) q. Nothing r. Other	a. Husband/wife b. Children c. Parents (Elder persons) d. Brothers/Sisters e. Neighbours f. Other	a. Yes b. No	Age Sex (M/F)	a. Respondents b. Husband/wife c. Children d. Parents (Elder persons) e. Brother/Sisters f. Other	a. I do not think the waves will reach my house b. Alarm is not always true c. To keep my livestock around d. To prevent theft or robbery e. To secure the income of the day f. Worry to separate family g. I do not want to pay to use the shelter h. The road to go to evacuation site is bad i. Evacuation site is far j. Storm is too strong to take shelter k. To protect the house l. residence is safer than other places for him/her m. It is unavoidable because Allah set so	a. Cyclone Shelter b. Top of polder c. Other's house d. Killa e. Top of Trees f. Top of Own House g. Community buildings (including UP Bldges, Schools, Mosques, Temple etc.) h. Other																														
31	a	0	1	a	a	0	10	8	0	0	13	Months	d	7	1.1	Months	b	j	k	l	-	-	-	1:00	pm	a	2:00	pm	a	b	j	-	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	a	b	
32	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	2	Months	b	3	2	Months	b	k	-	-	-	-	-	1:00	pm	a	2:00	pm	b	g	-	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	b	-		
33	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	0.5	Months	d	50	0.4	Months	b	a	f	i	-	-	-	2:00	pm	a	3:00	pm	a	b	g	-	-	-	e	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	a	-	
34	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	0.5	Months	d	4	0.4	Months	b	a	i	-	-	-	-	2:00	pm	a	3:00	pm	a	b	g	-	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	d	-	b	-	-	-	a	-	
35	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	0.5	Months	d	5	0.4	Months	b	a	f	i	-	-	-	1:00	pm	a	3:00	pm	a	b	g	-	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	a	-	
36	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	0.5	Months	c	4	0.4	Months	b	a	f	-	-	-	-	1:00	pm	a	3:00	pm	a	f	-	-	-	b	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	b	-		
37	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	0.5	Months	d	5	0.4	Months	a	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11:00	am	a	g	-	-	-	c	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	d	b	-	-	-	a	-		
38	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	0.5	Months	b	3	1	Month	b	a	f	j	-	-	-	12:00	am	a	1:00	am	a	j	-	-	-	c	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	d	b	-	-	-	a	-		
39	a	0	1	a	a	0	8	0	0	0	3	Months	b	3	1	Month	b	f	j	k	l	m	n	12:00	pm	a	3:00	pm	a	c	f	j	-	c	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	a	-		
40	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	0.5	Months	b	4	0.4	Months	b	f	l	m	-	-	-	3:00	pm	a	6:00	pm	a	f	i	-	-	c	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	a	g		
41	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	0.5	Months	b	4	0.4	Months	b	j	l	n	-	-	-	3:00	pm	a	6:00	pm	a	g	j	-	-	c	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	a	65	M	d	d	k	a	g
42	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	0.5	Months	b	4	0.4	Months	b	f	j	l	-	-	-	1:00	pm	a	6:00	pm	a	g	j	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	a	g		
43	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	6	Months	d	6	3	Months	b	a	l	-	-	-	-	1:00	pm	a	4:00	pm	a	c	g	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	a	b		
44	a	0	1	a	a	0	30	0	0	0	1	Month	b	3	0.5	Months	b	a	j	l	-	-	-	1:00	pm	a	2:00	pm	a	c	f	-	-	b	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	a	b		
45	a	0	2	a	a	0	15	2	0	0	252	Months	d	6	3	Months	b	a	l	-	-	-	-	1:00	pm	a	5:00	pm	a	c	g	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	a	b		
46	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	0.01	Months	c	4	0.5	Months	b	f	k	l	n	-	-	-	11:00	am	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	b	-				
47	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	0.5	Months	c	4	0.5	Months	b	k	l	n	-	-	-	11:00	am	a	11:30	am	a	g	-	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	b	-		
48	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	12	Months	d	5	1.5	Months	b	a	h	-	-	-	-	11:00	am	a	4:00	pm	a	b	-	-	-	c	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	a	-		
49	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	0.4	Months	d	5	1	Month	b	f	j	k	-	-	-	10:00	am	a	4:00	pm	a	b	g	-	-	h	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	a	-		
50	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	0.4	Months	b	3	1.5	Months	b	k	-	-	-	-	-	11:00	am	a	5:00	pm	a	g	-	-	-	b	a	i	-	-	-	a	c	e	g	a	b	-	-	b	-	-	-	a	-		
51	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	0.4	Months	c	4	2	Months	b	a	f	-	-	-	-	11:00	am	a	9:00	pm	a	e	-	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	a	-		
52	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	0.4	Months	b	3	1	Month	b	a	b	f	-	-	-	10:00	am	a	1:00	pm	a	c	g	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	a	g		
53	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	3	Hours	c	4	3	Months	b	j	k	l	n	-	-	-	11:00	am	a	6:00	pm	a	g	j	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	g	-	
54	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	4	Hours	d	5	2	Months	b	j	l	n	-	-	-	12:00	pm	a	3:00	pm	a	b	g	j	-	c	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	a	27	M	a	d	k	a	-
55	a	0	1	a	a	0	15	2	3	0	4	Hours	c	5	2	Months	a	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1:00	pm	a	f	g	j	-	a	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	a	-		
56	a	0	1	a	a	0	20	3	0	0	2	Months	b	3	1	Year	b	a	f	m	-	-	-	1:00	pm	a	6:00	pm	a	b	f	g	-	c	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	d	b	-	-	-	a	-		
57	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	15	Months	c	4	3	Years	b	a	f	k	-	-	-	11:00	pm	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	-			
58	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	22	Days	d	5	3	Months	a	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5:00	pm	g	j	-	-	-	b	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	a	-		
59	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	20	Days	d	5	3	Months	b	a	k	l	m	-	-	-	11:00	am	a	10:00	pm	a	-	-	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	a	-	
60	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	15	Days	c	4	3	Months	b	a	f	i	-	-	-	11:00	pm	a	2:00	pm	a	c	-	-	-	b	a	a	f	k	-	d	g	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	a	-		

S.No.	4. Evacuation Behavior in Disaster of Cyclone Sidr in 2007											5. Existing alarm system in Community				6. Shelter & Polder system in Community											7. Situation of Community disaster prevention											
	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5	4-6	4-7	4-8	4-9	4-10	4-11	5-1	5-2	5-3	5-4	6-1	6-2	6-3	6-4	6-5	6-6	6-7	6-8	6-9	6-10	6-11	6-12	6-13	6-14	6-15	7-1	7-2	7-3	7-4	7-5			
	Evacuation before Sidr a. Yes b. No	Time of tidal surge reached (time) (am/pm)	Evacuation after tidal surge a. Yes b. No	Time of evacuation (time) (am/pm)	Evacuation Place a. Cyclone shelter b. Top of polder c. Other's house d. Killa e. Top of trees f. Top of own house g. Community buildings (including UP Bldg, Schools, Mosques, Temple etc.) h. Other	How long was inundated by tidal surge in Sidr? (Month/Day/Hour)	Inundation level at the time of Sidr a. Knee-High b. Stomach-High c. Shoulder-High d. Above your Head (Feet)	How long your house was inundated by the tidal flood before the embankment successful? (Day/Month/Year)	Information about Sidr a. Yes b. No	How did you get information about Sidr? a. Radio b. Microphone announcement c. Flag hoisting d. Neighbours e. NGO f. Local Gov. g. Market h. TV i. Mosque j. Police k. BDR l. Other	Timing of getting information about Sidr a. Before 2 days b. Before 1 day c. Before 12 hours d. Before 6 hours e. Before 1 hour f. Not at all	Information about Aila a. Yes b. No	How did you get to hear about Aila? a. Radio b. Microphone announcement c. Flag hoisting d. Neighbours e. NGO f. Local Gov. g. Market h. TV i. Mosque j. Police k. BDR l. Other	Timing of getting information about Aila a. Before 2 days b. Before 1 day c. Before 12 hours d. Before 6 hours e. Before 1 hour f. Not at all	Most reliable source/ dissemination a. Radio b. Microphone announcement c. Flag hoisting d. Neighbours e. NGO f. Local Gov. g. Market h. TV i. Mosque j. Police k. BDR l. Other	Knowledge of cyclone shelter in Aila a. Yes b. No	Distance to cyclone shelter (km)	Time to cyclone shelter in ordinary time (Minutes by foot)	Road condition to cyclone shelter in Aila a. Yes b. No	Safety of cyclone shelter for women a. Yes b. No	Evacuation to cyclone shelter in Aila a. Yes b. No	Problem of cyclone shelter a. Too many people b. Lack of sanitation c. Lack of water d. No separate space for women e. Lack of maintenance f. No problem g. Other	Evacuation with wife/husband a. Yes b. No	Reason for "not evacuation with wife/husband" a. She was working in field b. Women should not go out c. Livestock should be kept by women d. She was out e. Shelter is not safe for women f. Other	Polder is useful for tidal wave /flood a. Yes b. No	Problem about Polder a. Embankment height was not enough b. Embankment structure was weak c. Drainage problem d. Other	Water Management Group (WMG) of polder a. Yes b. No	Activity of WMG a. Management of sluice gate b. Management and rehabilitation of existing embankment c. Construction of alternative embankment d. Management and rehabilitation of road e. Management of land owned by BWDB f. Monitoring status of existing embankment	Collecting money for Polder a. Yes b. No	Amount of collecting money (Tk/month)	Early warning about Aila a. Yes b. No	Early warning from a. CPP b. Religious Leaders c. Teachers d. Community Leaders e. UP members f. Community volunteers g. Others	Radio (it can be used) a. Yes b. No	Portable radio and bring anytime a. Yes b. No	Mobile phone (it can be used) a. Yes b. No			
31	a	2:00 am	b	-	-	15 Days	b	4	25 Days	a	a	b	-	-	d	a	a	4	70	b	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	a	b	a
32	a	1:00 am	a	2:00 am	g	1 Month	b	3	1 Month	a	b	-	-	-	e	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	a
33	b	-	-	2:00 am	b	3 Hours	b	3	15 Days	a	a	b	-	-	b	a	a	3	45	b	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	a	b	b	b	a
34	b	-	-	2:00 am	c	3 Hours	b	3	15 Days	a	a	b	i	-	b	a	a	3	45	b	a	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	a	b	b	b	a
35	b	-	-	2:00 am	b	3 Hours	b	3	15 Days	a	a	b	i	-	b	a	a	3	25	b	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	a	b	a	b	b
36	b	-	-	12:00 am	b	3 Hours	b	3	15 Days	a	a	b	i	-	c	a	a	0	0	b	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	a	a	b
37	a	10:00 pm	a	11:00 pm	c	3 Hours	c	4	2 Months	a	a	-	-	-	d	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	a	a	a
38	a	-	-	-	h	4 Hours	b	4	15 Days	a	a	b	-	-	d	b	-	-	-	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	b	
39	b	-	-	-	h	24 Hours	b	3	6 Months	a	a	b	-	-	d	b	-	-	-	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	a	
40	b	-	-	-	h	2 Hours	a	2	15 Days	a	a	b	g	-	d	b	-	-	-	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	a	
41	b	-	-	-	h	3 Hours	a	2	15 Days	a	a	b	d	-	a	b	-	-	-	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	a	
42	b	-	-	-	b	3 Hours	a	4	15 Days	b	-	-	-	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	a	b	a	
43	a	1:00 pm	a	2:00 pm	b	5 Hours	c	4	3 Months	a	a	b	-	-	d	b	-	-	-	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	a	b	b	
44	b	-	-	4:00 pm	b	5 Hours	b	3	12 Days	a	a	b	-	-	d	b	-	-	-	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	a	
45	b	-	-	3:00 am	b	6 Hours	a	2	6 Months	a	a	b	-	-	d	b	-	-	-	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	a	
46	b	-	-	3:00 am	h	7 Hours	a	3	3 Months	b	-	-	-	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	a	
47	b	-	-	-	h	8 Hours	a	3	3 Months	a	a	b	h	-	b	b	-	-	-	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	b	
48	b	-	-	-	h	12 Hours	b	3	3 Months	b	-	-	-	-	-	a	a	1	30	b	a	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	a	a	a
49	a	1:00 am	b	-	-	48 Hours	a	2	19 Days	b	-	-	-	-	-	a	a	2	25	b	a	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	a	b	a	b	a
50	b	-	-	10:00 am	b	12 Hours	a	2	3 Years	a	a	-	-	-	e	a	a	3	30	a	a	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	a	a	a
51	b	-	-	4:00 am	b	7 Days	b	3	18 Months	b	-	-	-	-	-	a	a	0	0	-	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	a	a	a
52	b	-	-	2:00 am	b	2 Days	c	4	20 Days	a	a	b	d	i	b	a	a	2	30	b	a	b	-	-	-	b	a	c	-	b	-	-	-	a	b	b	a	
53	b	-	-	-	h	3 Hours	a	2	2 Months	a	a	b	h	-	d	b	-	-	-	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	b	
54	a	1:00 pm	a	5:00 pm	c	4 Hours	b	3	2 Months	a	a	b	i	-	d	b	-	-	-	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	a	b	a	
55	a	1:00 am	a	2:00 am	c	3 Hours	b	3	2 Months	a	a	h	i	-	d	b	-	-	-	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	a	
56	b	-	-	4:00 am	c	5 Hours	d	6	6 Months	a	a	b	h	-	d	b	-	-	-	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	a	
57	a	10:00 am	a	11:00 am	b	15 Days	c	4	1 Month	b	-	-	-	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	a	
58	b	-	-	12:00 am	b	15 Days	d	4	15 Days	a	a	b	-	-	d	b	-	-	-	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	a	
59	b	-	-	11:00 am	b	3 Hours	c	4	1 Month	b	-	-	-	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	a	b	a	
60	b	-	-	10:00 am	b	15 Days	c	4	1 Month	b	-	-	-	-	-	a	a	4	60	b	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	a

S.No.	8. Assistant for community after cyclone damage.										9. Situation of Basic Infrastructure (Drinking Water, Irrigation, Drainage, Electricity)												10. Difficulty and Needs																						
	8-1	8-2	8-3	8-4	8-5	8-6	8-7	8-8	8-9				8-10	8-11	9-1	9-2	9-3	9-4	9-5	9-6	9-7	9-8	9-9	9-10	9-11	9-12	10																		
	Using microcredit system for reconstruction a. Yes b. No	Amount of borrowing money Total (Tk)	Borrowing money from a. Grameen Bank b. BRAC c. ASA d. Gnamukhi e. SUS f. Caritas g. Krishi Bank h. BRDB i. Other	Debt of microcredit before Aila a. Yes b. No	Debt moratorium after Aila a. Yes b. No	Debt moratorium (month)	First rationed goods after Aila After (day)	First rationed goods after Sidr After (day)	Rationed goods after Aila a. Rice b. Wheat c. Water d. Oil e. Cooking tools f. Tent g. Plastic sheet h. Blanket i. Cash j. Other				Support (now) a. VGD b. Cash for Work c. Food for Work d. Housing Cash Grant e. Nothing f. Other	Rationed goods (now) a. Rice b. Wheat c. Water d. Oil e. Cash f. Nothing g. Other	Water sources for drinking water in rainy season a. Shallow Well b. Deep Well c. River water d. Pond water e. Rain water f. Potable Water g. Buy mineral water h. Other	Water sources for drinking water in dry season a. Shallow Well b. Deep Well c. River water d. Pond water e. Rain water f. Potable Water g. Buy mineral water h. Other	Water sources for drinking water immediately after Aila a. Shallow Well b. Deep Well c. River water d. Pond water e. Rain water f. Potable Water g. Buy mineral water h. Other	Water sources for drinking water now a. Shallow Well b. Deep Well c. River water d. Pond water e. Rain water f. Potable Water g. Buy mineral water h. Other	Concerning about water a. Color of Drinking Water b. Odor of Drinking Water c. Quality of Drinking Water d. Cost of Water e. Availability of Water f. Drought g. Flood h. Climate Change i. Salt Water Intrusion j. Arsenic Contaminated Water k. Other	Main reason of large reduction of crop yields after cyclone a. Droughts / Water Shortage b. Intrusion of seawater c. Lack of manpower d. Lack of Nutrient Soil e. Existence of Harmful Insects f. Other	Light item before Aila a. Electricity b. Generator c. Solar power d. Kerosene Lump e. Candle light f. Other	Light item immediately after cyclone damage a. Electricity b. Generator c. Solar power d. Kerosene Lump e. Candle light f. Other	Light item now a. Electricity b. Generator c. Solar power d. Kerosene Lump e. Candle light f. Other	Road condition to the nearest Cyclone shelter before Aila a. Good (you can walk) b. Bad (You can walk but difficult) c. Very bad (You cannot walk)	Road condition to the nearest Cyclone shelter immediately after Cyclone a. Good (you can walk) b. Bad (You can walk but difficult) c. Very bad (You cannot walk)	Road condition to the nearest Cyclone shelter now a. Good (you can walk) b. Bad (You can walk but difficult) c. Very bad (You cannot walk)	(Free Answer)																		
31	a	8,000.00	-	-	a	a	12	3	12	a	b	d	g	j	-	-	-	e	f	b	e	-	b	-	b	f	-	b	-	k	-	-	a	b	-	d	-	d	e	c	-	b	c	c	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
32	b	-	d	-	-	-	-	3	10	a	d	f	-	-	-	-	e	f	b	e	-	b	-	f	-	-	b	-	a	-	-	a	-	-	d	-	d	-	c	-	b	c	a	Food, Reconstruction House, Road & Embankment	
33	a	20,000.00	d	-	a	a	12	3	0	a	b	d	-	-	-	-	e	f	b	e	-	b	f	b	g	-	b	-	b	f	i	a	b	-	d	-	d	-	c	-	a	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center	
34	a	40,000.00	-	-	a	b	12	3	0	a	d	h	-	-	-	-	e	f	b	f	-	b	-	b	h	-	b	-	b	e	i	a	b	-	d	-	d	e	d	-	a	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center	
35	a	12,000.00	-	-	b	-	0	3	0	a	d	h	-	-	-	-	e	f	b	f	-	b	f	b	f	-	b	-	b	e	i	a	b	-	d	e	d	-	d	-	a	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center	
36	a	8,000.00	-	-	b	-	0	1	7	a	d	j	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	b	-	-	b	-	i	-	-	a	b	-	d	-	d	-	d	-	a	b	c	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center	
37	a	50,000.00	b	-	b	-	0	1	1	a	-	-	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	b	-	-	b	-	h	i	-	a	b	-	d	-	e	-	d	-	b	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center	
38	a	50,000.00	b	-	b	-	0	1	1	a	c	d	g	-	-	-	e	f	b	e	-	b	-	b	-	-	b	-	k	-	-	b	-	-	d	-	d	e	c	-	a	b	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center	
39	a	30,000.00	c	-	b	-	0	7	10	a	c	d	g	i	-	-	e	f	b	e	-	b	-	f	-	-	b	-	c	-	-	b	-	-	d	e	d	e	d	-	a	b	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center	
40	a	8,000.00	a	-	a	a	3	20	0	a	c	d	g	-	-	-	e	f	b	f	-	b	f	b	f	-	b	-	-	-	-	a	b	-	d	-	d	e	c	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center	
41	a	20,000.00	b	-	b	-	0	7	0	a	c	d	f	g	-	-	e	f	b	-	-	b	-	b	f	-	b	-	-	-	-	a	b	-	d	-	d	-	c	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center	
42	a	10,000.00	d	-	b	-	0	7	0	a	c	g	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	b	f	-	b	-	-	-	-	a	b	-	d	-	d	e	c	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center	
43	a	30,000.00	c	d	a	a	4	7	0	a	c	d	e	f	g	h	i	-	e	f	b	e	-	b	-	b	-	d	-	-	b	-	-	d	-	d	e	d	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center		
44	a	8,000.00	b	-	a	a	3	7	0	a	c	d	e	f	g	h	i	-	e	f	b	e	-	b	-	b	-	-	-	-	b	-	-	d	-	d	-	c	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center		
45	b	-	d	-	a	a	3	7	0	a	c	d	e	f	g	h	i	-	e	f	b	e	-	b	-	b	-	k	-	-	b	-	-	d	-	d	e	c	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center		
46	b	-	-	-	b	-	0	15	0	a	c	d	e	f	g	h	i	-	e	f	b	-	-	b	-	b	-	-	-	-	a	b	-	d	-	d	-	c	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center		
47	a	40,000.00	d	-	a	a	3	12	0	a	c	d	e	f	g	-	-	e	f	b	f	-	b	f	b	f	-	b	f	k	-	-	a	b	-	d	e	d	e	d	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
48	a	30,000.00	c	-	a	a	6	1	7	a	c	f	h	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	b	-	b	-	i	-	-	a	b	-	d	-	d	-	d	-	a	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center		
49	a	10,000.00	d	-	b	-	0	3	0	a	f	j	-	-	-	-	e	f	b	f	-	b	f	b	-	b	-	b	g	i	a	b	e	d	-	e	-	c	-	a	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center		
50	a	70,000.00	-	-	b	-	0	1	2	a	c	d	e	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	b	-	b	-	h	i	-	a	b	e	d	-	d	-	d	-	a	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center		
51	b	-	d	-	a	a	3	3	7	a	c	e	f	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	b	-	b	-	h	i	-	a	b	-	d	-	d	-	c	-	a	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center		
52	a	20,000.00	-	-	a	a	6	3	0	a	d	e	f	j	-	-	e	f	b	e	f	b	f	g	h	-	b	f	c	g	i	a	b	-	d	-	d	-	a	-	a	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center	
53	a	10,000.00	-	-	b	b	0	4	0	a	c	d	f	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	b	-	b	-	-	-	-	a	b	-	d	-	d	e	d	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center		
54	a	8,000.00	b	-	b	-	0	15	0	a	c	h	i	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	b	-	b	-	-	-	-	a	b	-	d	e	e	-	c	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center		
55	a	15,000.00	d	-	a	a	3	15	0	a	c	d	i	j	-	-	e	f	b	f	-	b	f	b	f	-	b	f	-	-	-	a	b	-	d	-	e	-	c	d	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center	
56	a	8,000.00	b	-	b	-	0	7	6	a	c	f	h	-	-	-	e	f	b	e	-	b	-	b	-	b	-	-	-	-	b	-	-	d	e	d	e	d	-	b	a	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center		
57	a	20,000.00	i	-	b	-	0	1	1	a	c	d	f	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	b	-	b	-	e	h	-	a	b	-	d	-	e	-	d	-	a	b	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center		
58	a	5,000.00	-	-	b	-	0	2	3	a	c	d	f	h	-	-	e	f	b	-	-	b	-	b	-	b	-	h	i	-	a	b	-	d	-	d	-	c	-	b	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center		
59	b	-	-	-	b	-	0	1	1	a	c	d	e	h	-	-	e	f	b	-	-	b	-	b	-	b	-	h	j	-	a	b	-	d	-	d	-	d	-	b	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center		
60	a	20,000.00	d	-	b	-	0	1	1	a	c	d	f	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	b	f	-	b	-	h	i	-	a	b	-	d	-	d	e	c	-	a	b	c	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center	

POLDER 14-1															I. Respondent and Family Information																																				
S_No.	Polder No.	Thana	Union	Village	HH No.	1-1. General information								1-2	1-3. Who did leave the place after Aila?					1-4	1-5			1-6		1-7		1-8		1-9					1-10					1-11	1-12	1-13	1-14	1-15							
						Sex (M/F)	Age	Educational Background	Religion	Relation to Head	Number of Family Members				Did family member leave this place for living after Aila?	Age	Sex (M/F)	Relation to Head	Where did he/she go? (Place)		Main Income Resource before Aila:			Main Income Recourse after Aila (current situation):		Own Land area (before Aila)		Own Land area (After Aila) current situation		Livestock number of family before Aila					Livestock number of family after Aila										House Category before Aila	House category after Aila	Refuge after Aila	Place for refuge after Aila	How long did you stay there?		
											a. Muslim b. Hindu c. Buddhism d. Christian e. Other	a. head b. spouse c. son/daughter d. father/mother e. brother/sister f. son/daughter in law g. Sister/Brother in law h. grandchild i. grandparent j. other relatives k. non-relatives	Male						Female		Total	Boy (< 12 years old)	Girl (< 12 years old)	a. Yes b. No	a. head b. spouse c. son/daughter d. father/mother e. brother/sister f. son/daughter in law g. Sister/Brother in law h. grandchild i. grandparent j. other relatives k. non-relatives	Prefecture	Thana	No. of leaving persons.	Average Income (Tk/Month)	a. Shrimp Labor b. Shrimp Business c. Agriculture Farming d. Agriculture Labor e. Fishing Business f. Fishing Labor g. Rural Transport h. Shopkeeper i. Relief (including CFW FFW and CFT) j. Other	Average Income (Tk/Month)	a. Shrimp Labor b. Shrimp Business c. Agriculture Farming d. Agriculture Labor e. Fishing Business f. Fishing Labor g. Rural Transport h. Shopkeeper i. Relief (including CFW FFW and CFT) j. Other	Own Land (Decimal)	Gov. Land (Khas Land) (Decimal)	Own Land (Decimal)	Gov. Land (Khas Land) (Decimal)	Cow	Poultry	Goat											Sheep	Others
61	14/1	Koyra	Dakshin Bedkashi	Patakhali	637	M	65	2	a	a	2	1	3	0	0	b	-	-	-	-	-	-	4,000.00	d	-	4,000.00	f	-	4	0	0	0	0	14	0	0	0	0	4	0	0	0	f	c	b	-	-	-			
62	14/1	Koyra	Dakshin Bedkashi	Patakhali	637	M	62	0	a	a	1	3	4	0	1	b	-	-	-	-	-	-	3,000.00	d	-	2,000.00	d	-	4	0	0	0	0	20	0	0	0	0	2	0	0	0	f	e	b	-	-	-			
63	14/1	Koyra	Dakshin Bedkashi	Patakhali	637	F	32	0	a	b	2	4	6	1	1	b	-	-	-	-	-	-	2,500.00	h	-	2,000.00	h	-	8.5	0	8.5	0	0	30	0	0	0	0	5	0	0	0	f	e	b	-	-	-			
64	14/1	Koyra	Dakshin Bedkashi	Patakhali	637	F	30	0	a	b	2	2	4	0	1	b	-	-	-	-	-	-	5,000.00	e	-	2,000.00	d	-	17	0	17	0	0	9	0	0	0	0	4	1	0	0	g	g	a	b	1	Week			
65	14/1	Koyra	Dakshin Bedkashi	Patakhali	637	M	30	6	a	a	2	4	6	2	0	b	-	-	-	-	-	-	8,000.00	b	-	1,800.00	d	-	3.08	0	2.08	0	0	15	17	0	0	0	7	4	0	0	c	c	a	a	1	Week			
66	14/1	Koyra	Dakshin Bedkashi	Patakhali	637	M	70	0	a	a	5	3	8	0	1	b	-	-	-	-	-	-	5,000.00	f	-	2,000.00	c	-	2.33	0	1.33	0	2	37	15	10	0	0	9	3	0	0	g	e	a	a	2	Weeks			
67	14/1	Koyra	Dakshin Bedkashi	Patakhali	637	M	38	0	a	a	3	2	5	1	1	b	-	-	-	-	-	-	5,000.00	e	-	4,000.00	e	-	10	0	10	0	0	20	3	0	0	0	0	0	0	0	c	c	a	f	1	Week			
68	14/1	Koyra	Dakshin Bedkashi	Patakhali	637	F	35	9	a	a	4	3	7	1	1	b	-	-	-	-	-	-	6,000.00	f	-	4,000.00	f	-	6	0	6	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	f	c	b	-	-	-			
69	14/1	Koyra	Dakshin Bedkashi	Patakhali	637	M	70	0	a	a	4	3	7	0	0	b	-	-	-	-	-	-	6,000.00	d	-	5,000.00	d	-	6	0	6	0	0	10	0	0	0	0	7	0	0	0	c	c	b	-	-	-			
70	14/1	Koyra	Dakshin Bedkashi	Patakhali	637	M	45	0	a	a	4	2	6	2	0	b	-	-	-	-	-	-	4,000.00	g	-	4,000.00	g	-	6	0	6	0	0	10	0	0	0	0	5	0	0	0	f	e	b	-	-	-			
71	14/1	Koyra	Dakshin Bedkashi	Patakhali	637	M	65	0	a	a	2	3	5	0	1	b	-	-	-	-	-	-	5,000.00	b	-	2,500.00	b	-	55	0	55	0	0	10	12	0	0	0	4	4	0	0	c	c	b	-	-	-			
72	14/1	Koyra	Dakshin Bedkashi	Patakhali	637	M	35	0	a	a	1	3	4	0	2	b	-	-	-	-	-	-	3,000.00	g	-	2,000.00	g	-	4	0	4	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	f	c	b	-	-	-			
73	14/1	Koyra	Dakshin Bedkashi	Patakhali	637	M	65	0	a	a	1	5	6	0	0	b	-	-	-	-	-	-	3,000.00	d	-	2,000.00	d	-	21	15	21	15	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	c	c	b	-	-	-			
74	14/1	Koyra	Dakshin Bedkashi	Patakhali	637	M	65	5	a	a	4	7	11	0	4	b	-	-	-	-	-	-	15,000.00	b	-	7,000.00	d	-	11	0	11	0	7	7	3	0	0	0	0	0	0	0	c	c	b	-	-	-			
75	14/1	Koyra	Dakshin Bedkashi	Patakhali	637	M	60	0	a	a	4	3	7	0	1	b	-	-	-	-	-	-	7,000.00	d	-	4,000.00	d	-	8	0	8	0	11	5	2	0	0	0	0	0	0	0	c	c	b	-	-	-			
76	14/1	Koyra	Dakshin Bedkashi	Patakhali	637	M	62	8	a	a	2	1	3	0	0	b	-	-	-	-	-	-	6,000.00	b	-	5,000.00	b	-	7	40	7	40	20	27	0	0	0	0	0	0	0	0	c	c	b	-	-	-			
77	14/1	Koyra	Dakshin Bedkashi	Patakhali	637	M	38	5	a	a	2	2	4	0	1	b	-	-	-	-	-	-	2,500.00	f	-	2,000.00	g	-	17	0	17	0	10	14	0	0	0	1	0	0	0	0	f	e	b	-	-	-			
78	14/1	Koyra	Dakshin Bedkashi	Patakhali	637	M	65	3	a	a	2	2	4	0	0	b	-	-	-	-	-	-	2,000.00	g	-	1,500.00	g	-	15	0	15	0	10	15	0	0	0	0	0	0	0	0	f	c	a	b	1	Week			
79	14/1	Koyra	Dakshin Bedkashi	Patakhali	637	M	65	7	a	a	3	1	4	0	0	b	-	-	-	-	-	-	3,500.00	g	-	3,000.00	g	-	8	0	8	0	3	16	5	0	0	0	0	0	0	0	f	e	a	b	3	Weeks			
80	14/1	Koyra	Dakshin Bedkashi	Patakhali	637	M	26	7	a	a	2	1	3	1	0	b	-	-	-	-	-	-	5,000.00	g	-	4,000.00	g	-	14	0	14	0	5	14	7	0	0	0	0	0	0	0	f	e	b	-	-	-			
81	14/1	Koyra	Dakshin Bedkashi	Patakhali	637	M	32	5	a	a	2	2	4	1	1	b	-	-	-	-	-	-	2,500.00	g	-	2,000.00	g	-	5	0	5	0	1	10	0	0	0	0	0	0	0	0	f	e	b	-	-	-			
82	14/1	Koyra	Dakshin Bedkashi	Patakhali	637	M	55	7	a	a	4	5	9	0	2	b	-	-	-	-	-	-	20,000.00	g	-	2,500.00	g	-	66	40	66	40	8	15	5	0	0	6	1	0	0	0	c	c	b	-	-	-			
83	14/1	Koyra	Dakshin Bedkashi	Patakhali	637	M	100	0	a	a	2	2	4	0	0	b	-	-	-	-	-	-	4,500.00	b	-	3,000.00	g	-	5	0	5	0	4	25	2	0	0	0	0	0	0	f	e	b	-	-	-				
84	14/1	Koyra	Dakshin Bedkashi	Patakhali	637	F	90	0	a	b	3	2	5	2	0	b	-	-	-	-	-	-	13,500.00	a	-	7,500.00	a	-	8	0	5	0	3	12	7	0	0	0	0	2	0	0	e	e	b	-	-	-			
85	14/1	Koyra	Dakshin Bedkashi	Patakhali	637	M	55	3	a	a	4	3	7	1	0	b	-	-	-	-	-	-	6,000.00	f	-	3,000.00	f	-	12	45	12	45	6	10	0	0	0	6	0	0	0	0	f	e	b	-	-	-			
86	14/1	Koyra	Dakshin Bedkashi	Patakhali	637	M	45	4	a	a	4	3	7	1	1	b	-	-	-	-	-	-	7,000.00	b	-	3,000.00	d	-	17	33	17	33	12	50	3	0	0	0	0	0	0	0	f	g	a	c	2	Weeks			
87	14/1	Koyra	Dakshin Bedkashi	Patakhali	637	M	42	0	a	a	3	5	8	1	2	b	-	-	-	-	-	-	5,000.00	h	-	3,000.00	d	-	8	0	8	0	2	16	5	0	0	0	0	0	0	0	f	e	a	a	1	Week			
88	14/1	Koyra	Dakshin Bedkashi	Patakhali	637	M	59	11	a	a	3	4	7	2	0	b	-	-	-	-	-	-	4,000.00	f	-	3,000.00	f	-	17	0	17	0	6	10	0	0	0	0	0	0	0	0	f	e	b	-	-	-			
89	14/1	Koyra	Dakshin Bedkashi	Patakhali	637	M	55	7	a	a	4	4	8	2	1	b	-	-	-	-	-	-	3,000.00	j	-	2,500.00	j	-	17	17	17	17	1	10	0	0	0	0	0	0	0	0	c	a	b	2	Weeks				
90	14/1	Koyra	Dakshin Bedkashi	Patakhali	637	M	68	7	a	a	4	2	6	0	0	b	-	-	-	-	-	-	4,500.00	b	-	4,500.00	b	-	8	0	8	0	2	8	6	4	0	0	0	4	0	0	c	c	b	-	-	-			

S.No.	4. Evacuation Behavior in Disaster of Cyclone Sidr in 2007											5. Existing alarm system in Community				6. Shelter & Polder system in Community											7. Situation of Community disaster prevention																						
	4-1	4-2	4-3	4-4		4-5	4-6		4-7		4-8	4-9	4-10		4-11	5-1	5-2		5-3	5-4	6-1	6-2	6-3	6-4	6-5	6-6	6-7	6-8	6-9	6-10	6-11		6-12	6-13		6-14	6-15	7-1	7-2	7-3	7-4	7-5							
	Evacuation before Sidr	Time of tidal surge reached		Evacuation after tidal surge	Time of evacuation		Evacuation Place		How long was inundated by tidal surge in Sidr?		Inundation level at the time of Sidr		How long your house was inundated by the tidal flood before the embankment successful?		Information about Sidr	How did you get information about Sidr?		Timing of getting information about Sidr	Information about Aila	How did you get to hear about Aila?		Timing of getting information about Aila	Most reliable source/ dissemination	Knowledge of cyclone shelter in Aila	Distance to cyclone shelter	Time to cyclone shelter in ordinary time	Road condition to cyclone shelter in Aila	Safety of cyclone shelter for women	Evacuation to cyclone shelter in Aila	Problem of cyclone shelter	Evacuation with wife/husband	Reason for "not evacuation with wife/husband"	Polder is useful for tidal wave/flood	Problem about Polder		Water Management Group (WMG) of polder	Activity of WMG	Collecting money for Polder	Amount of collecting money	Early warning about Aila	Early warning from	Radio (it can be used)	Portable radio and bring anytime	Mobile phone (it can be used)					
a. Yes b. No	(time)	(am/pm)	a. Yes b. No	(time)	(am/pm)	a. Cyclone shelter b. Top of polder c. Other's house d. Killa e. Top of trees f. Top of own house g. Community buildings (including UP Bldg, Schools, Mosques, Temple etc.) h. Other	(Month/Day/ Hour)	a. Knee-High b. Stomach-High c. Shoulder-High d. Above your Head	(Feet)	(Day/ Month/ Year)	a. Yes b. No	a. Radio b. Microphone announcement c. Flag hoisting d. Neighbours e. NGO f. Local Gov. g. Market h. TV i. Mosque j. Police k. BDR l. Other	a. Before 2 days b. Before 1 day c. Before 12 hours d. Before 6 hours e. Before 1 hour	a. Yes b. No	a. Radio b. Microphone announcement c. Flag hoisting d. Neighbours e. NGO f. Local Gov. g. Market h. TV i. Mosque j. Police k. BDR l. Other	a. Before 2 days b. Before 1 day c. Before 12 hours d. Before 6 hours e. Before 1 hour f. Not at all	a. Radio b. Microphone announcement c. Flag hoisting d. Neighbours e. NGO f. Local Gov. g. Market h. TV i. Mosque j. Police k. BDR l. Other	a. Yes b. No	(km)	(Minutes by foot)	a. Yes b. No	a. Yes b. No	a. Yes b. No	a. Yes b. No	a. Too many people b. Lack of sanitation c. Lack of water d. No separate space for women e. Lack of maintenance f. No problem g. Other	a. Yes b. No	a. She was working in field b. Women should not go out c. Livestock should be kept by women d. She was out e. Shelter is not safe for women f. Other	a. Yes b. No	a. Embankment height was not enough b. Embankment structure was weak c. Drainage problem d. Other	a. Yes b. No	a. Management of sluice gate b. Management and rehabilitation of existing embankment c. Construction of alternative embankment d. Management and rehabilitation of road e. Management of land owned by BWDB f. Monitoring status of existing embankment	a. Yes b. No	(Tk/month)	a. Yes b. No	a. CPP b. Religious Leaders c. Teachers d. Community Leaders e. UP members f. Community volunteers g. Others	a. Yes b. No	a. Yes b. No	a. Yes b. No	a. Yes b. No	a. Yes b. No									
61	b	-	-	-	10:00	am	b	12	Hours	a	2	3	Years	a	a	-	-	-	e	a	a	b	-	-	-	-	a	a	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	a	a	a				
62	b	-	-	-	4:00	am	b	7	Days	b	3	18	Months	b	-	-	-	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	a	a	a				
63	b	-	-	-	2:00	am	b	2	Days	c	4	20	Days	a	a	b	d	i	b	a	a	b	d	h	i	b	a	a	b	-	-	-	b	a	c	-	b	-	-	-	a	b	b	b	a				
64	b	-	-	-	-	-	h	3	Hours	a	2	2	Months	a	a	b	h	-	-	b	-	-	-	-	-	-	a	a	2	45	b	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	b
65	a	1:00	pm	a	5:00	pm	c	4	Hours	b	3	2	Months	a	a	b	i	-	-	b	-	-	-	-	-	a	a	2	42	b	a	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	a	b	a	
66	a	1:00	am	a	2:00	am	c	3	Hours	b	3	2	Months	a	a	h	i	-	-	b	-	-	-	-	-	a	a	1	22	b	a	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	a	
67	b	-	-	-	4:00	am	c	5	Hours	d	6	6	Months	a	a	b	h	-	-	b	-	-	-	-	-	a	a	2	50	b	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	a	
68	a	10:00	am	a	11:00	am	b	15	Days	c	4	1	Month	b	-	-	-	-	-	b	-	-	-	-	-	a	a	4	60	b	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	a	
69	b	-	-	-	12:00	am	b	15	Days	d	4	15	Days	a	a	b	-	-	-	b	-	-	-	-	-	a	b	0	0	-	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	a	
70	b	-	-	-	11:00	am	b	3	Hours	c	4	1	Month	b	-	-	-	-	-	b	-	-	-	-	-	a	b	0	0	-	a	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	a	b	a	
71	b	-	-	-	10:00	am	b	15	Days	c	4	1	Month	b	-	-	-	-	-	b	-	-	-	-	-	a	a	4	60	b	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	a	
72	a	11:00	pm	b	-	-	-	8	Hours	a	2	15	Days	a	a	b	-	-	-	b	-	-	-	-	-	a	a	1	22	b	a	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	b	
73	b	-	-	b	-	-	-	6	Hours	a	2	17	Days	a	b	-	-	-	-	b	-	-	-	-	-	a	a	1	27	b	a	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	a	
74	a	12:30	am	b	-	-	-	5	Hours	a	2	13	Days	a	a	b	c	-	-	b	-	-	-	-	-	a	a	3	42	b	a	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	a	
75	b	-	-	b	-	-	-	7	Hours	a	2	11	Days	a	a	b	-	-	-	b	-	-	-	-	-	a	a	0.25	7	b	a	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	a	-	b	b	a	
76	b	-	-	b	-	-	-	6	Hours	b	2	15	Days	a	a	b	i	-	b	a	a	b	i	-	-	b	a	0.75	17	b	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	a	b	b	b		
77	b	-	-	b	-	-	-	6	Hours	b	2	20	Days	b	-	-	-	-	d	a	a	b	-	-	-	a	b	0.75	17	b	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	a	a	b	
78	b	-	-	b	-	-	-	6	Hours	a	3	6	Days	a	a	b	-	-	-	b	-	-	-	-	-	a	a	0.85	12	a	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	a	a	a	
79	b	-	-	b	-	-	-	6	Hours	a	3	12	Days	a	a	b	d	-	-	b	-	-	-	-	-	a	a	0.5	10	a	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	b	
80	a	12:00	pm	b	-	-	-	24	Hours	a	2	6	Days	a	b	d	-	-	-	b	-	-	-	-	-	a	a	0.75	0-Jan	a	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	a	b	
81	b	-	-	a	-	-	-	12	Hours	b	3	25	Days	b	-	-	-	-	-	b	-	-	-	-	-	a	a	0.5	12	b	b	a	a	b	-	-	-	a	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	a
82	b	1:00	pm	b	-	-	-	12	Hours	b	3	15	Days	a	a	b	f	-	-	b	-	-	-	-	-	a	a	2	30	a	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	a	
83	a	1:00	pm	b	-	-	-	12	Hours	b	3	20	Days	a	a	b	f	-	-	b	-	-	-	-	-	a	a	2	40	b	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	a	
84	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	-	-	-	a	a	a	b	i	-	-	-	a	a	2	35	a	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	a	-	b	b	b
85	b	-	-	b	-	-	-	6	Hours	a	2	12	Days	b	-	-	-	-	-	b	-	-	-	-	-	a	a	0.5	6	a	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	b	
86	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	a	h	h	-	-	b	-	-	-	-	-	a	a	2	40	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	a	
87	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	b	-	-	-	-	-	b	-	-	-	-	-	b	a	2	35	b	a	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	a	
88	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	b	-	-	-	-	-	-	a	a	0.75	15	a	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	a	a	b
89	b	-	-	-	-	-	-	b	-	18	Months	b	-	-	-	-	-	-	-	b	-	-	-	-	-	-	a	b	1	20	a	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	
90	b	-	-	-	-	-	-	c	-	20	Days	a	a	b	d	i	b	a	a	a	b	d	h	i	b	a	a	2	30	b	a	b	-	-	-	b	a	c	-	b	-	-	-	a	b	b	b	a	

S.No.	8. Assistant for community after cyclone damage.											9. Situation of Basic Infrastructure (Drinking Water, Irrigation, Drainage, Electricity)											10. Difficulty and Needs																									
	8-1	8-2	8-3	8-4	8-5	8-6	8-7	8-8	8-9			8-10	8-11	9-1	9-2	9-3	9-4	9-5	9-6	9-7	9-8	9-9	9-10	9-11	9-12	10																						
	Using microcredit system for reconstruction a. Yes b. No	Amount of borrowing money Total (Tk)	Borrowing money from a. Grameen Bank b. BRAC c. ASA d. Gannamukhi e. SUS f. Caritas g. Krishi Bank h. BRDB i. Other	Debt of microcredit before Aila a. Yes b. No	Debt moratorium after Aila a. Yes b. No	Debt moratorium (month)	First rationed goods after Aila After (day)	First rationed goods after Sidr After (day)	Rationed goods after Aila a. Rice b. Wheat c. Water d. Oil e. Cooking tools f. Tent g. Plastic sheet h. Blanket i. Cash j. Other			Support (now) a. VGD b. Cash for Work c. Food for Work d. Housing Cash Grant e. Nothing f. Other	Rationed goods (now) a. Rice b. Wheat c. Water d. Oil e. Cash f. Nothing g. Other	Water sources for drinking water in rainy reason a. Shallow Well b. Deep Well c. River water d. Pond water e. Rain water f. Potable Water g. Buy mineral water h. Other	Water sources for drinking water in dry reason a. Shallow Well b. Deep Well c. River water d. Pond water e. Rain water f. Potable Water g. Buy mineral water h. Other	Water sources for drinking water immediately after Aila a. Shallow Well b. Deep Well c. River water d. Pond water e. Rain water f. Potable Water g. Buy mineral water h. Other	Water sources for drinking water now a. Shallow Well b. Deep Well c. River water d. Pond water e. Rain water f. Potable Water g. Buy mineral water h. Other	Concerning about water a. Color of Drinking Water b. Odor of Drinking Water c. Quality of Drinking Water d. Cost of Water e. Availability of Water f. Drought g. Flood h. Climate Change i. Salt Water Intrusion j. Arsenic Contaminated Water k. Other	Main reason of large reduction of crop yields after cyclone a. Droughts / Water Shortage b. Intrusion of seawater c. Lack of manpower d. Lack of Nutrient Soil e. Existence of Harmful Insects f. Other	Light item before Aila a. Electricity b. Generator c. Solar power d. Kerosene Lump e. Candle light f. Other	Light item immediate after cyclone damage a. Electricity b. Generator c. Solar power d. Kerosene Lump e. Candle light f. Other	Light item now a. Electricity b. Generator c. Solar power d. Kerosene Lump e. Candle light f. Other	Road condition to the nearest Cyclone shelter before Aila a. Good (you can walk) b. Bad (You can walk but difficult) c. Very bad (You cannot walk)	Road condition to the nearest Cyclone shelter immediately after Cyclone a. Good (you can walk) b. Bad (You can walk but difficult) c. Very bad (You cannot walk)	Road condition to the nearest Cyclone shelter now a. Good (you can walk) b. Bad (You can walk but difficult) c. Very bad (You cannot walk)	(Free Answer)																						
61	b	-	-	-	b	-	0	1	2	a	c	e	-	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	-	b	-	-	h	i	-	a	b	e	d	-	d	-	d	-	a	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center				
62	a	8,000.00	d	-	a	a	3	3	7	a	c	e	f	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	-	b	-	-	h	i	-	a	b	-	d	-	d	-	c	-	a	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center				
63	b	-	-	-	a	a	6	3	0	a	e	f	j	-	-	-	-	e	f	b	e	f	b	f	g	h	-	b	f	c	g	i	a	b	-	d	-	d	-	a	-	a	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center			
64	b	-	-	-	b	b	0	4	0	a	c	d	f	i	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	a	b	-	d	-	d	e	d	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center		
65	a	10,000.00	i	-	b	-	0	15	0	a	c	h	i	-	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	-	b	-	-	-	-	-	a	b	-	d	e	e	-	c	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center			
66	a	20,000.00	d	-	a	a	3	15	0	a	c	d	i	j	-	-	-	-	e	f	b	f	-	b	f	b	f	-	b	f	-	-	-	a	b	-	d	-	e	-	c	d	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center		
67	a	10,000.00	b	-	b	-	0	7	6	a	c	f	h	i	-	-	-	-	e	f	b	e	-	b	-	-	b	-	-	-	-	-	b	-	-	d	e	d	e	d	-	b	a	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center			
68	a	10,000.00	i	-	b	-	0	1	1	a	c	d	f	-	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	-	b	-	-	b	-	-	e	h	-	a	b	-	d	-	e	-	d	-	a	b	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
69	b	-	-	-	b	-	0	2	3	a	c	d	f	h	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	-	b	-	-	h	i	-	a	b	-	d	-	d	-	c	-	b	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center			
70	b	-	-	-	b	-	0	1	1	a	c	d	e	h	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	-	b	-	-	h	j	-	a	b	-	d	-	d	-	d	-	b	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center			
71	a	25,000.00	d	-	b	-	0	1	1	a	c	d	f	-	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	-	b	-	-	h	i	-	a	b	-	d	-	d	e	c	-	a	b	c	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center			
72	b	-	-	-	b	-	0	7	2	a	d	f	g	j	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	-	b	-	-	g	-	-	a	b	-	d	-	d	-	d	-	a	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center			
73	a	20,000.00	i	-	b	-	0	7	22	a	c	e	f	h	j	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	-	b	-	-	g	-	-	a	b	-	d	-	d	e	c	-	a	c	a	Food, Reconstruction House, Road & Embankment		
74	a	5,000.00	d	-	a	a	12	2	0	a	c	d	e	f	j	-	-	-	-	e	f	b	e	-	b	f	b	f	-	b	f	e	f	i	a	b	-	d	-	d	-	d	-	a	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center	
75	b	-	-	-	b	-	0	5	0	a	c	d	e	g	-	-	-	-	-	e	f	b	f	-	b	f	b	f	-	b	f	g	e	i	a	b	-	d	-	d	e	c	-	a	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center	
76	a	5,000.00	d	-	b	-	0	5	0	a	c	d	e	f	h	-	-	-	-	e	f	b	f	-	b	f	b	f	-	b	-	b	e	i	a	b	-	d	-	d	-	d	-	a	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center	
77	a	5,000.00	d	-	b	-	0	1	7	a	d	j	-	-	-	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	-	b	-	-	i	-	-	a	b	-	d	-	d	-	d	-	a	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center		
78	a	2,000.00	b	-	b	-	0	1	1	a	-	-	-	-	-	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	-	b	-	-	h	i	-	a	b	-	d	-	e	-	d	-	b	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center		
79	b	-	-	-	a	a	6	1	1	a	c	d	g	-	-	-	-	-	-	e	f	b	e	-	b	-	-	b	-	-	k	-	-	b	-	-	d	-	d	e	c	-	b	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center		
80	b	-	-	-	b	-	0	7	10	a	c	d	f	g	i	-	-	-	-	e	f	b	e	-	b	-	-	f	-	-	-	-	b	-	-	d	e	d	e	d	-	b	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center			
81	a	10,000.00	a	-	a	a	3	20	0	a	d	g	-	-	-	-	-	-	-	e	f	b	f	-	b	f	b	f	-	b	f	-	-	-	a	b	-	d	-	d	e	c	-	b	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center	
82	a	10,000.00	i	-	b	-	0	7	0	a	d	f	g	-	-	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	-	b	f	-	-	-	-	-	a	b	-	d	-	d	-	c	-	b	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center	
83	a	10,000.00	d	-	b	-	0	7	0	a	g	-	-	-	-	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	-	b	f	-	-	-	-	-	a	b	-	d	-	d	e	c	-	b	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center	
84	b	-	-	-	a	a	3	0	0	a	c	f	e	-	-	-	-	-	-	e	f	b	e	-	b	-	-	b	-	-	d	-	-	b	-	-	d	-	d	e	d	-	b	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center		
85	b	-	-	-	-	-	0	0	0	a	c	d	e	i	-	-	-	-	-	e	f	b	f	-	b	f	b	f	-	b	f	g	-	-	a	b	-	d	-	d	-	d	-	a	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center	
86	b	-	-	-	a	a	6	4	7	a	c	d	e	f	g	h	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	-	b	-	-	a	b	-	a	b	-	d	-	d	e	d	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center		
87	a	3,000.00	d	-	a	a	12	3	16	a	c	d	e	f	h	i	j	-	-	-	e	f	b	e	f	b	f	b	f	-	b	-	k	g	i	a	b	-	d	e	-	-	c	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
88	a	10,000.00	d	-	a	a	4	1	1	a	c	d	e	f	h	i	-	-	-	-	e	f	b	f	-	b	f	b	f	-	b	f	-	-	-	a	b	-	d	-	d	-	c	-	a	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
89	b	-	-	-	b	a	0	1	1	a	c	e	f	-	-	-	-	-	-	e	f	b	e	-	b	-	-	b	e	-	i	-	-	a	b	-	d	-	d	-	d	-	a	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center		
90	b	-	-	-	a	a	6	3	0	a	e	f	j	-	-	-	-	-	-	e	f	b	e	f	b	f	g	h	-	b	f	c	g	i	a	b	-	d	-	d	-	a	-	a	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center	

POLDER 15				I. Respondent and Family Information																																													
S.No.	Polder No.	Thana	Union	Village	HH No.	Sex (M/F)	Age	Educational Background	1-1. General information						1-2	1-3. Who did leave the place after Aila?				1-4	1-5		1-6		1-7		1-8		1-9					1-10					1-11	1-12	1-13	1-14	1-15						
									Religion	Relation to Head	Number of Family Members				Did family member leave this place for living after Aila? a. Yes b. No	Age	Sex (M/F)	Relation to Head	Where did he/she go? (Place)		Average Income (Tk/Month)	Main Income Resource before Aila:		Main Income Recourse after Aila (current situation):		Own Land area (before Aila)		Own Land area (After Aila) current situation		Livestock number of family before Aila					Livestock number of family after Aila					House Category before Aila	House category after Aila	Refuge after Aila	Place for refuge after Aila	How long did you stay there? (Months / Weeks /Days)					
											a. Muslim b. Hindu c. Buddhism d. Christian e. Other	a. head b. spouse c. son/daughter d. father/mother e. brother/sister f. son/daughter in law g. Sister/Brother in law h. grandchild i. grandparent j. other relatives k. non-relatives	Male	Female					Total	Boy (<12 years old)		Girl (<12 years old)	Prefecture	Thana:	No. of leaving persons.	a. Shrimp Labor b. Shrimp Business c. Agriculture Farming d. Agriculture Labor e. Fishing Business f. Fishing Labor g. Rural Transport h. Shopkeeper i. Relief (including CFW FFW and CFT) j. Other	a. Shrimp Labor b. Shrimp Business c. Agriculture Farming d. Agriculture Labor e. Fishing Business f. Fishing Labor g. Rural Transport h. Shopkeeper i. Relief (including CFW FFW and CFT) j. Other	Own Land (Decimal)	Gov. Land (Khas Land) (Decimal)	Own Land (Decimal)	Gov. Land (Khas Land) (Decimal)	Cow	Poultry	Goat	Sheep	Others	Cow	Poultry	Goat						Sheep	Others	a. Cement b. Bricks c. Tin d. Polythene Sheet e. Thatched tent f. Wood g. Other	a. Cement b. Bricks c. Tin d. Polythene Sheet e. Thatched tent f. Wood g. Other	a. Yes b. No
91	15	Shyamnagar	Gabura	Jaliakhali	333	F	28	8	b	b	2	3	5	1	1	a	-	M	a	-	-	-	1	3,000.00	a	-	1,500.00	d	-	11	0	11	0	0	5	0	0	0	0	2	0	0	0	c	c	a	a	25	Days
92	15	Shyamnagar	Gabura	Jaliakhali	333	M	35	0	b	a	2	3	5	2	0	a	35	M	a	-	-	-	1	2,000.00	d	-	1,000.00	d	-	29	0	29	0	0	25	3	0	0	0	2	0	0	0	c	c	a	a	7	Days
93	15	Shyamnagar	Gabura	Jaliakhali	333	M	56	2	b	a	2	2	4	1	1	b	-	-	-	-	-	-	-	5,000.00	d	-	3,500.00	i	-	9	70	9	70	0	5	6	0	0	0	5	3	0	0	c	c	b	-	-	-
94	15	Shyamnagar	Gabura	Jaliakhali	333	M	45	5	b	e	2	2	4	1	1	b	-	-	-	-	-	-	-	5,000.00	a	-	3,000.00	a	-	1	176	1	70	0	300	16	5	0	0	0	0	0	0	b	b	b	-	-	-
95	15	Shyamnagar	Gabura	Jaliakhali	333	F	66	7	b	a	2	2	4	0	0	b	-	-	-	-	-	-	-	4,000.00	a	-	2,000.00	h	-	18	5	10	3	0	9	12	0	0	0	0	0	0	0	c	c	a	-	18	Days
96	15	Shyamnagar	Gabura	Jaliakhali	333	M	49	4	b	a	3	2	5	0	0	b	-	-	-	-	-	-	-	2,500.00	d	-	2,500.00	j	-	8	0	8	0	0	4	0	0	0	0	4	0	0	0	f	f	a	b	9	Days
97	15	Shyamnagar	Gabura	Jaliakhali	333	M	50	15	b	a	2	1	3	0	0	b	-	-	-	-	-	-	-	4,000.00	a	-	2,500.00	a	-	17	0.66	11	0.33	0	10	0	0	0	0	2	0	0	0	f	e	a	a	7	Days
98	15	Shyamnagar	Gabura	Jaliakhali	333	M	38	7	b	a	3	6	9	0	1	b	-	-	-	-	-	-	-	6,000.00	c	-	2,000.00	d	-	33	55	32	55	6	6	12	0	0	0	6	0	0	0	c	c	a	b	14	Days
99	15	Shyamnagar	Gabura	Jaliakhali	333	M	65	0	b	a	5	4	9	0	1	b	-	-	-	-	-	-	-	5,000.00	a	-	3,000.00	b	-	0	33	0	33	0	15	5	0	0	0	10	2	0	0	c	e	b	-	-	-
100	15	Shyamnagar	Gabura	Jaliakhali	333	M	30	9	b	a	2	2	4	1	0	b	-	-	-	-	-	-	-	5,000.00	e	-	2,000.00	a	-	10	0	10	0	0	20	2	0	0	0	10	0	0	0	a	e	a	b	16	Days
101	15	Shyamnagar	Gabura	Jaliakhali	333	F	52	9	b	b	2	1	3	0	0	a	-	-	-	-	-	-	-	4,000.00	a	-	2,500.00	i	-	4	33	0	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	c	c	a	a	15	Days
102	15	Shyamnagar	Gabura	Jaliakhali	333	M	27	5	a	a	2	3	5	1	1	b	-	-	-	-	-	-	-	3,000.00	d	-	2,000.00	d	-	19	66	15	33	2	12	0	0	0	0	10	0	0	0	b	e	a	b	36	Days
103	15	Shyamnagar	Gabura	Jaliakhali	333	M	47	5	a	a	3	2	5	0	1	b	-	-	-	-	-	-	-	9,000.00	e	-	4,000.00	e	-	8	132	3	99	3	9	0	0	0	5	5	0	0	c	c	a	b	24	Days	
104	15	Shyamnagar	Gabura	Jaliakhali	333	M	27	5	a	a	4	3	7	0	1	b	-	-	-	-	-	-	-	3,000.00	d	-	2,500.00	d	-	3	3	3	4	0	15	0	0	0	0	0	0	0	c	c	a	b	24	Days	
105	15	Shyamnagar	Gabura	Jaliakhali	333	M	35	0	a	a	3	1	4	2	0	b	-	-	-	-	-	-	-	3,000.00	d	-	2,000.00	d	-	1	0	1	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	c	e	a	b	24	Days	
106	15	Shyamnagar	Gabura	Jaliakhali	333	F	45	0	b	b	2	5	7	0	1	b	-	-	-	-	-	-	-	5,000.00	i	-	3,000.00	d	-	2	5	5	4	2	30	3	0	0	0	10	0	0	0	a	c	a	b	30	Days
107	15	Shyamnagar	Gabura	Jaliakhali	333	F	35	0	b	b	4	3	7	1	0	b	-	-	-	-	-	-	-	3,000.00	a	-	2,500.00	a	-	8	0	8	0	0	1	4	0	0	0	0	5	0	0	e	e	a	a	4	-
108	15	Shyamnagar	Gabura	Jaliakhali	333	M	35	4	b	a	2	4	6	1	1	b	-	-	-	-	-	-	-	3,000.00	a	-	2,100.00	a	-	5	0	5	0	0	10	4	0	0	0	5	3	0	0	e	e	b	-	-	-
109	15	Shyamnagar	Gabura	Jaliakhali	333	F	25	6	b	f	3	3	6	1	1	a	60	M	a	-	-	-	1	6,000.00	a	-	4,000.00	a	-	25	166	25	166	4	12	0	0	0	0	5	0	0	0	c	c	a	a	45	Days
110	15	Shyamnagar	Gabura	Jaliakhali	333	F	40	5	b	b	2	1	3	0	0	b	-	-	-	-	-	-	-	2,700.00	a	-	2,000.00	h	-	10	66	10	66	0	18	0	0	0	0	3	0	0	0	e	c	b	-	-	-
111	15	Shyamnagar	Gabura	Jaliakhali	333	M	75	10	b	a	7	3	10	3	0	b	-	-	-	-	-	-	-	5,000.00	a	-	2,000.00	a	-	16	20	16	20	7	12	6	0	0	0	8	0	0	0	g	c	a	a	-	-
112	15	Shyamnagar	Gabura	Jaliakhali	333	F	35	0	a	b	4	2	6	0	0	b	-	-	-	-	-	-	-	10,000.00	b	-	5,000.00	d	-	20	0	20	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	c	c	b	-	-	-	
113	15	Shyamnagar	Gabura	Jaliakhali	333	M	35	6	b	a	2	2	4	1	1	b	-	-	-	-	-	-	-	4,000.00	a	-	2,000.00	d	-	5	0	5	0	0	10	0	0	0	0	1	0	0	0	a	a	a	b	24	Days
114	15	Shyamnagar	Gabura	Jaliakhali	333	F	45	0	b	b	4	2	6	1	0	b	-	-	-	-	-	-	-	5,000.00	e	-	2,500.00	d	-	3	66	3	66	3	4	0	0	0	0	5	0	0	0	a	e	a	a	11	Days
115	15	Shyamnagar	Gabura	Jaliakhali	333	M	55	2	b	a	3	2	5	0	0	b	-	-	-	-	-	-	-	4,000.00	d	-	2,000.00	d	-	10	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	c	e	a	b	12	Days
116	15	Shyamnagar	Gabura	Jaliakhali	333	M	42	5	a	a	3	1	4	1	0	b	-	-	-	-	-	-	-	5,000.00	b	-	2,000.00	d	-	33	0	0	0	0	17	0	0	0	0	4	0	0	0	c	c	a	b	15	Days
117	15	Shyamnagar	Gabura	Jaliakhali	333	M	35	2	a	a	3	1	4	2	0	b	-	-	-	-	-	-	-	5,000.00	d	-	3,000.00	d	-	6	0	6	0	2	20	2	0	0	0	0	0	0	f	e	a	b	16	Days	
118	15	Shyamnagar	Gabura	Jaliakhali	333	M	60	0	a	a	3	4	7	1	1	b	-	-	-	-	-	-	-	5,000.00	d	-	3,000.00	d	-	10	0	10	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	f	e	a	b	12	Days	
119	15	Shyamnagar	Gabura	Jaliakhali	333	M	52	0	a	a	3	1	4	0	0	b	-	-	-	-	-	-	-	4,000.00	h	-	2,000.00	d	-	32	0	25	0	0	15	0	0	0	0	5	0	0	0	a	g	a	b	15	Days
120	15	Shyamnagar	Gabura	Jaliakhali	333	M	40	6	b	a	2	2	4	1	0	a	40	M	a	-	-	-	1	3,000.00	g	-	2,000.00	j	-	11	33	6	0	0	5	0	0	0	0	1	0	0	0	f	e	a	a	2	Days

S.No.	4. Evacuation Behavior in Disaster of Cyclone Sidr in 2007											5. Existing alarm system in Community				6. Shelter & Polder system in Community										7. Situation of Community disaster prevention																									
	4-1	4-2		4-3	4-4		4-5		4-6		4-7		4-8	4-9	4-10		4-11	5-1	5-2		5-3	5-4	6-1	6-2	6-3	6-4	6-5	6-6	6-7		6-8	6-9	6-10	6-11		6-12	6-13		6-14	6-15	7-1	7-2	7-3	7-4	7-5						
	Evacuation before Sidr	Time of tidal surge reached		Evacuation after tidal surge	Time of evacuation		Evacuation Place		How long was inundated by tidal surge in Sidr?		Inundation level at the time of Sidr		How long your house was inundated by the tidal flood before the embankment successful?		Information about Sidr	How did you get information about Sidr?		Timing of getting information about Sidr	Information about Aila	How did you get to hear about Aila?		Timing of getting information about Aila	Most reliable source/ dissemination	Knowledge of cyclone shelter in Aila	Distance to cyclone shelter	Time to cyclone shelter in ordinary time	Road condition to cyclone shelter in Aila	Safety of cyclone shelter for women	Evacuation to cyclone shelter in Aila	Problem of cyclone shelter		Evacuation with wife/ husband	Reason for "no" evacuation with wife/husband?	Polder is useful for tidal wave /flood	Problem about Polder		Water Management Group (WVG) of polder	Activity of WMG		Collecting money for Polder	Amount of collecting money	Early warning about Aila	Early warning from	Radio (it can be used)	Portable radio and bring anytime	Mobile phone (it can be used)					
	a. Yes b. No	(time)	(am/pm)	a. Yes b. No	(time)	(am/pm)	a. Cyclone shelter b. Top of polder c. Other's house d. Killa e. Top of trees f. Top of own house g. Community buildings (including UP Bldg, Schools, Mosques, Temple etc.) h. Other	How long was inundated by tidal surge in Sidr?	a. Knee-High b. Stomach-High c. Shoulder-High d. Above your Head	(Feet)	How long your house was inundated by the tidal flood before the embankment successful?	(Day/ Month/ Year)	a. Yes b. No	a. Radio b. Microphone announcement c. Flag hoisting d. Neighbours e. NGO f. Local Gov. g. Market h. TV i. Mosque j. Police k. BDR l. Other	a. Before 2 days b. Before 1 day c. Before 12 hours d. Before 6 hours e. Before 1 hour f. Not at all	a. Yes b. No	a. Radio b. Microphone announcement c. Flag hoisting d. Neighbours e. NGO f. Local Gov. g. Market h. TV i. Mosque j. Police k. BDR l. Other	a. Before 2 days b. Before 1 day c. Before 12 hours d. Before 6 hours e. Before 1 hour f. Not at all	a. Radio b. Microphone announcement c. Flag hoisting d. Neighbours e. NGO f. Local Gov. g. Market h. TV i. Mosque j. Police k. BDR l. Other	a. Yes b. No	a. Radio b. Microphone announcement c. Flag hoisting d. Neighbours e. NGO f. Local Gov. g. Market h. TV i. Mosque j. Police k. BDR l. Other	a. Before 2 days b. Before 1 day c. Before 12 hours d. Before 6 hours e. Before 1 hour f. Not at all	a. Radio b. Microphone announcement c. Flag hoisting d. Neighbours e. NGO f. Local Gov. g. Market h. TV i. Mosque j. Police k. BDR l. Other	a. Yes b. No	(km)	(Minutes by foot)	a. Yes b. No	a. Yes b. No	a. Yes b. No	a. Too many people b. Lack of sanitation c. Lack of water d. No separate space for women e. Lack of maintenance f. No problem g. Other	a. Yes b. No	a. She was working in field b. Women should not go out c. Livestock should be kept by women d. She was out e. Shelter is not safe for women f. Other	a. Yes b. No	a. Embankment height was not enough b. Embankment structure was weak c. Drainage problem d. Other	a. Yes b. No	a. Management of sluice gate b. Management and rehabilitation of existing embankment c. Construction of alternative embankment d. Management and rehabilitation of road e. Management of land owned by BWDB f. Monitoring status of existing embankment	a. Yes b. No	(Tk/month)	a. Yes b. No	a. CPP b. Religious Leaders c. Teachers d. Community Leaders e. UP members f. Community volunteers g. Others	a. Yes b. No	a. Yes b. No	a. Yes b. No	a. Yes b. No	a. Yes b. No						
91	b	-	-	-	-	-	a	36	Hours	c	4	36	Months	b	-	-	-	-	b	-	-	-	-	a	a	1	20	b	b	a	a	b	c	a	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	b	b	a				
92	b	-	-	-	-	-	a	15	Hours	c	4	15	Months	a	a	f	h	-	d	b	-	-	-	-	-	b	a	1	20	b	b	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	b	b	a		
93	b	-	-	-	-	-	-	15	Hours	a	2	15	Months	a	a	d	-	-	d	a	a	d	f	-	-	c	a	a	1.5	30	b	b	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	a	f	a	a	b
94	b	-	-	-	-	-	-	7	Hours	a	2	7	Months	a	a	d	h	-	d	a	a	d	h	-	-	c	h	a	0.5	15	b	b	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	a	g	a	a	a
95	b	-	-	-	11:30	pm	c	4	Hours	a	2	3	Months	a	a	h	-	-	d	b	-	-	-	-	-	a	a	1	18	b	a	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	b	
96	b	-	-	-	11:00	pm	c	4	Hours	a	2	5	Months	b	-	-	-	-	-	b	-	-	-	-	-	a	a	1	25	b	b	b	-	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	a	b	a
97	b	-	-	-	-	-	h	6	Hours	a	2	1	Months	a	a	h	-	-	c	b	-	-	-	-	-	a	a	0.5	20	b	b	b	-	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	b
98	b	-	-	-	-	-	-	12	Hours	a	2	5	Months	a	a	i	-	-	d	b	-	-	-	-	-	h	a	1	27	a	a	b	-	-	-	-	-	-	b	a	b	-	-	-	-	-	b	-	b	b	a
99	a	-	-	-	1:00	am	b	7	Hours	d	6	6	Months	a	a	b	-	-	d	b	-	-	-	-	-	a	a	1	30	b	b	b	-	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	a	a	b
100	a	-	-	-	1:00	pm	b	7	Hours	d	6	6	Months	a	a	b	-	-	d	b	-	-	-	-	-	a	a	2	50	b	b	b	-	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	a	a	a
101	b	-	-	-	-	-	-	15	Hours	c	4	15	Months	a	a	-	-	-	d	b	-	-	-	-	-	a	a	2	50	b	b	b	-	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	b
102	b	-	-	-	-	-	-	24	Hours	a	2	15	Months	b	-	-	-	-	-	b	-	-	-	-	-	h	a	2	48	b	b	b	-	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	a
103	b	-	-	-	-	-	-	24	Hours	b	3	15	Months	b	-	-	-	-	-	b	-	-	-	-	-	h	a	2	50	b	a	b	-	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	a
104	b	-	-	-	-	-	-	24	Hours	a	2	15	Months	a	a	d	-	-	-	b	-	-	-	-	-	a	a	2.5	55	b	a	b	-	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	a
105	b	-	-	-	-	-	-	12	Hours	a	2	15	Months	a	b	d	-	-	-	b	-	-	-	-	-	a	a	2.5	60	b	b	-	-	-	-	-	-	-	b	a	b	-	-	-	-	-	b	-	a	a	b
106	b	-	-	-	-	-	-	6	Hours	b	3	12	Months	a	a	b	-	-	d	b	-	-	-	-	-	a	b	-	-	-	b	b	-	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	a	a	a
107	a	-	-	-	12:00	pm	a	7	Hours	a	2	7	-	a	a	b	-	-	d	a	a	b	-	-	-	a	a	1	30	b	a	b	-	-	-	-	-	-	b	a	b	c	b	-	-	-	b	-	a	a	b
108	a	-	-	-	9:00	pm	a	6	Hours	-	-	-	-	b	-	-	-	-	-	a	a	b	-	-	-	a	a	1	30	b	a	b	-	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	a	a	a
109	b	-	-	-	-	-	b	17	Hours	a	2	17	Months	a	a	d	-	-	d	b	-	-	-	-	-	a	a	2	45	b	a	b	-	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	a	a	a
110	b	-	-	-	-	-	a	12	Hours	a	2	18	days	a	a	d	-	-	d	b	-	-	-	-	-	b	a	1	25	b	a	a	-	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	a
111	b	-	-	-	-	-	b	6	Hours	a	2	12	days	a	a	d	-	-	d	b	-	-	-	-	-	a	a	1	30	b	a	a	-	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	a
112	b	-	-	-	-	-	a	4	Hours	a	2	17	days	a	a	d	-	-	d	b	-	-	-	-	h	a	2	45	b	a	a	-	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	b	
113	b	-	-	-	-	-	h	6	Hours	a	2	15	days	a	a	d	-	-	d	b	-	-	-	-	a	a	0.5	25	b	a	a	-	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	b	
114	b	-	-	-	-	-	h	6	Hours	a	2	15	days	a	a	d	-	-	d	b	-	-	-	-	a	a	0.5	25	a	b	b	-	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	a	
115	b	-	-	-	-	-	h	6	Hours	a	2	15	days	a	a	d	-	-	d	b	-	-	-	-	a	a	0.25	10	a	b	b	-	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	a	
116	a	-	-	-	12:20	pm	b	6	Hours	a	2	2	Months	a	b	d	-	-	d	b	-	-	-	-	h	a	2	65	b	b	b	-	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	a	
117	b	-	-	-	-	-	h	6	Hours	a	2	24	Months	a	a	b	d	-	-	d	b	-	-	-	-	h	a	3	75	a	b	b	-	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	a
118	b	-	-	-	-	-	h	6	Hours	a	2	24	Months	a	a	b	d	h	d	b	-	-	-	-	-	a	a	3	76	b	b	b	-	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	a
119	b	-	-	-	-	-	h	6	Hours	a	2	2	Months	a	a	b	d	f	d	b	-	-	-	-	-	b	a	2	60	b	b	b	-	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	a
120	b	-	-	-	-	-	-	23	Hours	c	4	23	Months	a	a	b	-	-	d	b	-	-	-	-	-	a	a	0.5	5	b	b	b	-	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	a

S_No.	8. Assistant for community after cyclone damage.														9. Situation of Basic Infrastructure (Drinking Water, Irrigation, Drainage, Electricity)												10. Difficulty and Needs		
	8-1	8-2	8-3	8-4	8-5	8-6	8-7	8-8	8-9						8-10	8-11	9-1	9-2	9-3	9-4	9-5	9-6	9-7	9-8	9-9	9-10	9-11	9-12	10
	Using microcredit system for reconstruction	Amount of borrowing money	Borrowing money from	Debt of microcredit before Aila	Debt moratorium after Aila	Debt moratorium	First rationed goods after Aila	First rationed goods after Sidr	Rationed goods after Aila						Support (now)	Rationed goods (now)	Water sources for drinking water in rainy season	Water sources for drinking water in dry season	Water sources for drinking water immediately after Aila	Water sources for drinking water now	Concerning about water	Main reason of large reduction of crop yields after cyclone	Light item before Aila	Light item immediate after cyclone damage	Light item now	Road condition to the nearest Cyclone shelter before Aila	Road condition to the nearest Cyclone shelter immediately after Cyclone	Road condition to the nearest Cyclone shelter now	(Free Answer)
	a. Yes b. No	Total (Tk)	a. Grameen Bank b. BRAC c. ASA d. Ganamukhi e. SUS f. Caritas g. Krishi Bank h. BRDB i. Other	a. Yes b. No	a. Yes b. No	(month)	After (day)	After (day)	a. Rice b. Wheat c. Water d. Oil e. Cooking tools f. Tent g. Plastic sheet h. Blanket i. Cash j. Other	a. VGD b. Cash for Work c. Food for Work d. Housing e. Cash Gram f. Nothing g. Other	a. Rice b. Wheat c. Oil d. Cash e. Nothing f. Other	a. Shallow Well b. Deep Well c. River water d. Pond water e. Rain water f. Potable Water g. Buy mineral water h. Other	a. Shallow Well b. Deep Well c. River water d. Pond water e. Rain water f. Potable Water g. Buy mineral water h. Other	a. Shallow Well b. Deep Well c. River water d. Pond water e. Rain water f. Potable Water g. Buy mineral water h. Other	a. Shallow Well b. Deep Well c. River water d. Pond water e. Rain water f. Potable Water g. Buy mineral water h. Other	a. Color of Drinking Water b. Odor of Drinking Water c. Quality of Drinking Water d. Cost of Water e. Availability of Water f. Drought g. Flood h. Climate Change i. Salt Water Intrusion j. Arsenic Contaminated Water k. Other	a. Droughts / Water Shortage b. Intrusion of seawater c. Lack of manpower d. Lack of Nutrient Soil e. Existence of Harmful Insects f. Other	a. Electricity b. Generator c. Solar power d. Kerosene Lump e. Candle light f. Other	a. Electricity b. Generator c. Solar power d. Kerosene Lump e. Candle light f. Other	a. Electricity b. Generator c. Solar power d. Kerosene Lump e. Candle light f. Other	a. Good (you can walk) b. Bad (You can walk but difficult) c. Very bad (You cannot walk)	a. Good (you can walk) b. Bad (You can walk but difficult) c. Very bad (You cannot walk)	a. Good (you can walk) b. Bad (You can walk but difficult) c. Very bad (You cannot walk)						
91	a	5,000.00	d -	a	a	6	2	15	a c d e g h j - - -	b	f	b - - -	b - - -	b - - -	b - - -	c h -	a b -	d -	d -	d -	d -	b	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center				
92	a	10,000.00	i -	b	-	0	5	15	a c d e f h j - - -	e	f	b d -	b - -	b - -	b - -	c e h	a b -	d e	d -	d -	b	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center					
93	a	5,000.00	i -	a	a	6	5	15	a c d f h j - - -	b	f	b e -	b - -	b - -	b - -	c e h	a b -	d -	d -	d -	b	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center					
94	a	100,000.00	i -	b	-	-	5	-	a f - - - - -	e	f	b - -	b - -	b - -	b - -	c e h	a b -	c -	c -	c -	b	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center					
95	b	-	- -	a	a	7	2	-	a c d f - - - - -	b	f	b - -	b - -	b - -	b - -	i - -	a b -	d -	d e	d -	a	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center					
96	b	-	- -	b	-	0	2	-	a c d f h j - - -	e	f	b - -	b - -	b - -	b - -	i - -	a b -	d e	e -	d -	a	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center					
97	a	30,000.00	i -	b	-	0	4	15	a c d f h j - - -	f	f	b - -	b - -	b - -	b - -	e h -	b - -	d -	d -	d -	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center					
98	a	12,000.00	a -	b	-	0	2	-	a c d f h - - - -	b	f	b - -	b - -	b - -	b - -	c f -	a b -	d -	d -	d -	a	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center					
99	a	10,000.00	d -	b	-	0	3	7	a c d h - - - - -	b	f	b - -	b - -	b - -	b - -	b g h	a b -	e -	d e	d -	a	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center					
100	a	20,000.00	d -	a	a	5	4	2	a c d f h j - - -	c	f	b - -	b - -	b - -	b - -	e - -	b - -	d -	d -	d -	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center					
101	a	125,000.00	a -	a	a	8	3	15	a c d f h j - - -	b	f	b - -	b - -	b - -	b - -	c e h	a b -	d -	d -	d -	b	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center					
102	b	-	- -	b	-	0	2	-	a c d f h j - - -	b	f	b - -	b - -	b - -	b - -	e h -	a b -	d -	d -	d -	b	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center					
103	a	7,500.00	i a	a	-	8	1	-	a c d f h j - - -	f	e	b - -	b - -	b - -	b - -	e h -	a b -	c e	c e	c -	b	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center					
104	a	20,000.00	h b	b	-	0	3	15	a c f g h - - - -	f	f	b - -	b - -	b - -	b - -	e - -	a b -	d -	d -	d -	b	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center					
105	b	-	- -	a	a	15	2	15	a c d f g h i - - -	e	f	b - -	b - -	b - -	b - -	e h -	a b -	d -	d e	d -	b	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center					
106	b	-	- -	b	-	0	5	7	a c d e f g i - - -	c	f	b - -	b - -	b - -	b - -	e b -	- -	d -	d -	d -	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center					
107	a	10,000.00	b a	a	-	24	3	7	a c f h - - - - -	e	f	b - -	b - -	b - -	b - -	b - -	a b -	d -	d e	d -	a	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center					
108	a	15,000.00	d a	a	-	24	3	-	a c f h - - - - -	b	f	b e -	b - -	b - -	b - -	b - -	a b -	d e	e -	d -	a	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center					
109	b	-	- -	b	-	0	4	15	a c f h g - - - -	e	f	b - -	b - -	b - -	b - -	b e -	a b -	d -	d -	d -	b	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center					
110	b	-	b -	b	-	0	2	5	a c d g j - - - -	b	f	b - -	b - -	b - -	b - -	b e -	a b -	d -	e -	d -	a	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center					
111	b	-	b -	b	-	0	4	2	a c d h - - - - -	c	f	b - -	b - -	b - -	b - -	b - -	a b -	d -	d -	c -	a	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center					
112	a	6,000.00	a b	b	-	0	3	3	a c d e - - - - -	b	f	b - -	b - -	b - -	b - -	b - -	a b -	d -	d -	d -	a	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center					
113	a	4,000.00	d b	a	-	5	5	7	a c d f - - - - -	c	f	b e -	b - -	b - -	b - -	b e -	a b -	d -	d -	d -	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center					
114	b	-	- -	b	-	0	5	7	a c d f - - - - -	c	f	b e -	b - -	b - -	b - -	b - -	a b -	d e	d -	d -	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center					
115	a	4,000.00	d -	b	-	0	5	7	a c d e f j - - - -	b	f	b - -	b - -	b e -	b - -	b - -	a b -	d -	d e	d -	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center					
116	a	10,000.00	h -	b	-	0	2	5	a d f j - - - - -	c	f	b e -	b - -	b - -	b - -	b e -	b b -	d e	d e	d -	b	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center					
117	a	10,000.00	i b	-	-	0	2	7	a d f g j - - - -	e	f	b - -	b - -	b - -	b - -	e - -	b d -	d -	d e	d -	b	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center					
118	a	20,000.00	d b	b	-	0	2	4	a c d g i - - - - -	e	f	b e -	b - -	b - -	b - -	e i -	b d -	d -	d e	d -	b	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center					
119	a	20,000.00	i b	-	-	0	4	7	a c d e f h - - - -	e	f	b e -	b - -	b - -	b - -	e i -	b d -	d e	d -	d -	b	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center					
120	a	20,000.00	i b	b	-	0	4	30	a c d f g h i - - -	b	f	b e -	b - -	b - -	b - -	e - -	b d -	d -	d -	d -	b	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center					

S_No.	8. Assistant for community after cyclone damage.											9. Situation of Basic Infrastructure (Drinking Water, Irrigation, Drainage, Electricity)											10. Difficulty and Needs				
	8-1	8-2	8-3	8-4	8-5	8-6	8-7	8-8	8-9				8-10	8-11	9-1	9-2	9-3	9-4	9-5	9-6	9-7	9-8	9-9	9-10	9-11	9-12	10
	Using microcredit system for reconstruction	Amount of borrowing money	Borrowing money from	Debt of microcredit before Aila	Debt moratorium after Aila	Debt moratorium	First rationed goods after Aila	First rationed goods after Sidr	Rationed goods after Aila				Support (now)	Rationed goods (now)	Water sources for drinking water in rainy season	Water sources for drinking water in dry season	Water sources for drinking water immediately after Aila	Water sources for drinking water now	Concerning about water	Main reason of large reduction of crop yields after cyclone	Light item before Aila	Light item immediate after cyclone damage	Light item now	Road condition to the nearest Cyclone shelter before Aila	Road condition to the nearest Cyclone shelter immediately after Cyclone	Road condition to the nearest Cyclone shelter now	(Free Answer)
	a. Yes b. No	Total (Tk)	a. Grameen Bank b. BRAC c. ASA d. Ganamukhi e. SUS f. Caritas g. Krishi Bank h. BRDB i. Other	a. Yes b. No	a. Yes b. No	(month)	After (day)	After (day)	a. Rice b. Wheat c. Water d. Oil e. Cash f. Nothing g. Other	a. VGD b. Cash for Work c. Food for Work d. Housing Cash Grant e. Nothing f. Other	a. Rice b. Wheat c. Water d. Oil e. Cash f. Nothing g. Other	a. Shallow Well b. Deep Well c. Pond water d. Rain water e. Potable Water f. Buy mineral water h. Other	a. Shallow Well b. Deep Well c. River water d. Pond water e. Rain water f. Potable Water g. Buy mineral water h. Other	a. Shallow Well b. Deep Well c. River water d. Pond water e. Rain water f. Potable Water g. Buy mineral water h. Other	a. Shallow Well b. Deep Well c. River water d. Pond water e. Rain water f. Potable Water g. Buy mineral water h. Other	a. Color of Drinking Water b. Odor of Drinking Water c. Quality of Drinking Water d. Cost of Water e. Availability of Water f. Drought g. Flood h. Climate Change i. Salt Water Intrusion j. Arsenic Contaminated Water k. Other	a. Droughts / Water Shortage b. Intrusion of seawater c. Lack of manpower d. Lack of Nutrient Soil e. Existence of Harmful Insects f. Other	a. Electricity b. Generator c. Solar power d. Kerosene Lump e. Candle light f. Other	a. Electricity b. Generator c. Solar power d. Kerosene Lump e. Candle light f. Other	a. Electricity b. Generator c. Solar power d. Kerosene Lump e. Candle light f. Other	a. Good (you can walk) b. Bad (You can walk but difficult) c. Very bad (You cannot walk)	a. Good (you can walk) b. Bad (You can walk but difficult) c. Very bad (You cannot walk)	a. Good (you can walk) b. Bad (You can walk but difficult) c. Very bad (You cannot walk)				
121	a	60,000.00	a -	a	b	-	3	0	a c e - - - - -	e	f	b - -	b -	b - -	b -	e h i	a b -	d -	d -	c -		b		c		b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
122	a	55,000.00	i -	b	-	-	1	0	a c e f - - - - -	e	f	b - -	b -	b - -	b -	e h i	a b -	d -	d -	d -		b		c		b	Food, Reconstruction House, Road & Embankment
123	a	5,000.00	d -	a	a	1	2	0	a b c e f - - - - -	e	f	b - -	b -	b - -	b -	e h j	a b -	d e	d e	e c -		b		c		b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
124	a	20,000.00	d -	a	a	1	3	0	a c e - - - - -	e	f	b - -	b -	b - -	b -	e h i	a b -	d -	d -	c -		b		c		b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
125	a	20,000.00	d -	a	a	1	30	0	b f - - - - -	e	f	b - -	b -	b - -	b -	e h -	a b -	d -	d -	d -		b		c		b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
126	a	10,000.00	i -	b	-	-	3	0	a c e - - - - -	b	f	b - -	b -	b - -	b -	h i -	a b -	d e	d -	c -		c		c		b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
127	a	7,000.00	i -	a	a	1	2	0	a c e f - - - - -	e	f	b - -	b -	b - -	b -	e h j	a b -	d -	d -	c -		c		c		b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
128	a	12,000.00	g -	a	b	-	7	0	a c e f j - - - - -	e	f	b - -	b -	b - -	b -	e h j	a b -	d e	d -	d -		c		c		b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
129	a	5,000.00	b -	a	a	1	0	0	- - - - -	e	f	b - -	b -	b - -	b -	g - -	a b -	d -	d -	c -		a		c		a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
130	a	8,000.00	b -	a	a	3	2	0	a c d - - - - -	e	f	b - -	b -	b - -	b -	g - -	a - -	d -	d -	c -		a		c		a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
131	a	20,000.00	b -	a	a	3	7	-	a c d e f - - - - -	e	f	b - -	b -	b - -	b -	g - -	a b -	d -	d e	e c -		a		c		b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
132	b	-	-	b	-	-	0	0	- - - - -	e	f	b - -	b -	b - -	b -	g - -	a b -	c -	c e	e c -		a		c		b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
133	b	-	d -	a	a	3	3	-	a e f - - - - -	e	f	b - -	b -	b - -	b -	g - -	a b -	d -	d e	e c -		a		c		b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
134	a	29,000.00	d -	a	a	3	22	-	a - - - - -	e	f	b - -	b -	b - -	b -	g - -	a b -	d -	d -	d -		a		c		b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
135	a	20,000.00	a -	b	-	-	-	-	- - - - -	e	f	b - -	b -	b - -	b -	g - -	a b -	c d	c e	e c -		a		c		b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
136	a	8,000.00	b -	a	a	12	5	-	a c d - - - - -	e	f	b e -	b -	b - -	b -	e i -	a b -	d -	d -	d -		a		c		c	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
137	a	5,000.00	i -	b	-	-	3	7	a c d e f - - - - -	e	f	b e -	b -	b - -	b -	e - -	b - -	d -	d e	d -		a		c		b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
138	a	20,000.00	b -	a	-	-	3	8	a c d e f - - - - -	e	f	b e -	b -	b - -	b -	e - -	b - -	d -	d e	d -		a		c		b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
139	a	20,000.00	h -	a	a	5	3	8	a c d e f - - - - -	e	f	b e -	b -	b - -	b -	e - -	b - -	d -	d -	c -		a		c		b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
140	a	11,000.00	i -	a	a	5	3	7	a c d e f - - - - -	e	f	b e	b -	b - -	b -	e - -	b - -	d -	d e	e c -		a		c		b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
141	a	60,000.00	a -	a	b	-	3	0	a c e - - - - -	e	f	b - -	b -	b - -	b -	e h i	a b -	d -	d -	c -		b		c		b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
142	a	55,000.00	i -	b	-	-	1	0	a c e f - - - - -	e	f	b f -	b -	b f -	b -	e h i	a b -	d -	d -	d -		b		c		b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
143	a	5,000.00	d -	a	a	1	2	0	a b c e f - - - - -	e	f	b - -	b -	b - -	b -	e h j	a b -	d e	d e	e c -		b		c		b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
144	a	20,000.00	d -	a	a	1	3	0	a c e - - - - -	e	f	b - -	b -	b - -	b -	e h i	a b -	d -	d -	c -		b		c		b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
145	a	20,000.00	d -	a	a	1	30	0	b f - - - - -	e	f	b - -	b -	b - -	b -	e h -	a b -	d -	d -	d -		b		c		b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
146	a	10,000.00	i -	b	-	-	3	0	a c e - - - - -	b	f	b - -	b -	b - -	b -	h i -	a b -	d e	d -	c -		c		c		b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
147	a	7,000.00	i -	a	a	1	2	0	a c e f - - - - -	e	f	b - -	b -	b - -	b -	e h j	a b -	d -	d -	c -		c		c		b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
148	a	12,000.00	g -	a	b	-	7	0	a c e f j - - - - -	e	f	b - -	b -	b - -	b -	e h j	a b -	d e	d -	d -		c		c		b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
149	a	5,000.00	b -	a	a	1	0	0	- - - - -	e	f	b - -	b -	b - -	b -	g - -	a b -	d -	d -	c -		a		c		a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
150	a	8,000.00	b -	a	a	3	2	0	a c d - - - - -	e	f	b - -	b -	b - -	b -	g - -	a - -	d -	d -	c -		a		c		a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center

S.No.	2. Affected Situation of Cyclone Aila in 2009											3. Evacuation Behavior in Disaster of Cyclone Aila in 2009																																									
	2-1		2-2		2-3	2-4	2-5				2-6		2-7		2-8	3-1	3-2				3-3		3-4	3-5		3-6				3-7	3-8	3-9			3-10			3-11	3-12	3-13			3-14		3-15								
	Causality in family	Number of died/injured family in Aila		Damage of house by Aila?	Lose livestock	Lost livestock number by Aila				How long was inundated by tidal surge in Aila?	Inundation level at the time of Aila		How long your house was inundated by the tidal flood before the embankment successful?	Evacuation before Aila	Reason for "Not evacuate" before Aila				Time of tidal surge reached		Evacuation after tidal surge	Time of evacuation		Your concern of home during evacuation				Evacuation Place	Place of evacuation was safe/not safe	Bringing items during evacuation in Aila (Multiple Answer)			Needs of bringing items during evacuation in Aila (Multiple Answer)			Evacuation with	Family stay in house	Who did stay in your house?			Reason of staying in house		Safe place for evacuation										
	a. Yes b. No	Dead (No.)	Injured (No.)	a. Completely destroyed b. Partially destroyed c. Minor damage d. No damage	a. Yes b. No	Cow	Poultry	Goat	Sheep	Others	(Months / Weeks /Days/Hours)	a. Knee-High b. Stomach-High c. Shoulder-High d. Above your Head	(Feet)	a. Yes b. No	a. I do not think the waves will reach my house b. Alarm is not always true c. To keep my livestock around d. To prevent theft or robbery e. To secure the income of the day f. Worry to separate family g. I do not want to pay to use the shelter h. The road to go to evacuation site is bad i. Evacuation site is far j. Storm is too strong to take shelter k. To protect the house l. I didn't know cyclone Aila comes. m. I think my residence is safer than other places. n. It is unavoidable because Allah set so o. Other	(time)	(am/pm)	a. Yes b. No	(time)	(am/pm)	a. I had a fear that my house and other properties may be washed away b. Evacuation site is far c. To lose my livestock d. Theft or robbery e. The income of the day f. The road to go to evacuation site is bad g. Worry to separate family h. I do not want to pay to use the shelter i. Alarm is not always true j. It is unavoidable because Allah set so k. Other	(time)	(am/pm)	a. Cyclone shelter b. Top of polder c. Other's house d. Killa e. Top of own house f. Top of trees g. Community buildings (including UP Bldg, Schools, Mosques, Temple etc.) h. Other	a. Yes b. No	a. Cash b. Livestock c. Food d. Working tools (for fishing/farming) e. Radio f. Mobile phone g. Cooking tool h. Table i. Chair j. Bed k. Sleeping mat/blanket l. Aluminium roof m. Van n. Bicycle o. Clothes (sari etc.) p. Stationary (pen, note, etc.) q. Nothing r. Other	a. Cash b. Livestock c. Food d. Working tools (for fishing/farming) e. Radio f. Mobile phone g. Cooking tool h. Table i. Chair j. Bed k. Sleeping mat/blanket l. Aluminium roof m. Van n. Bicycle o. Clothes (sari etc.) p. Stationary (pen, note, etc.) q. Nothing r. Other	a. Husband/wife b. Children c. Parents (Elder persons) d. Brothers/Sisters e. Neighbours f. Other	a. Yes b. No	Age	Sex (M/F)	a. Respondents itself b. Husband/wife c. Children d. Parents (Elder persons) e. Brother/Sisters f. Other	a. I do not think the waves will reach my house b. Alarm is not always true c. To keep my livestock around d. To prevent theft or robbery e. To secure the income of the day f. Worry to separate family g. I do not want to pay to use the shelter h. The road to go to evacuation site is bad i. Evacuation site is far j. Storm is too strong to take shelter k. residence is safer than other places for him/her l. It is unavoidable because Allah set so	a. Cyclone Shelter b. Top of polder c. Other's house d. Killa e. Top of Trees f. Top of Own House g. Community buildings (including UP Bldges, Schools, Mosques, Temple etc.) h. Other																			
151	b	0	0	a	a	0	0	0	0	1	Month	d	6	30	Months	b	a	b	f	-	-	-	1:00	pm	b	11:00	pm	a	b	-	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	a	-	
152	b	0	0	a	a	0	0	0	0	1	Month	d	6	30	Months	b	a	b	f	-	-	-	1:00	pm	b	11:00	pm	a	b	-	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	a	-	
153	b	0	0	-	-	0	0	0	0	24	Months	b	4	24	Months	b	a	f	l	-	-	-	12:00	pm	a	5:00	pm	a	f	-	-	-	a	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	d	-	b	-	-	-	a	-	
154	b	0	0	-	-	0	0	0	0	2	Months	d	7	2	Months	a	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12:30	pm	a	b	-	-	-	a	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	f	-	b	-	-	-	a	-	
155	b	0	0	-	-	0	0	0	0	2	Months	d	7	2	Months	a	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12:30	pm	a	b	-	-	-	a	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	f	-	b	-	-	-	a	-	
156	b	-	0	-	-	0	0	0	0	3	Months	c	4	3	Months	a	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8:00	pm	a	b	c	f	i	h	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	a	-	
157	b	0	0	-	-	0	0	0	0	2	Months	d	6	18	Months	b	a	i	c	n	-	-	-	1:00	am	b	-	-	-	-	-	-	-	c	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	a	-
158	a	0	2	a	a	0	15	2	0	252	Months	d	6	3	Months	b	a	l	-	-	-	-	1:00	pm	a	5:00	pm	a	c	g	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	a	b	
159	b	0	0	-	-	0	0	0	0	2	Months	b	3	2	Months	b	k	-	-	-	-	-	1:00	pm	a	2:00	pm	b	-	-	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	b	-	
160	b	-	0	-	-	0	0	0	0	8	Months	d	5	7	Months	a	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1:00	pm	a	b	f	i	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	a	-	
161	b	-	0	-	-	0	0	0	0	3	Months	c	4	3	Months	a	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8:00	pm	a	b	c	f	i	h	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	a	-	
162	-	-	0	-	-	0	0	0	0	-	-	c	5	12	Months	a	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	-	
163	b	-	0	-	-	0	0	0	0	7	Months	a	2	12	Months	b	a	b	c	j	l	n	2:00	pm	a	6:00	pm	a	b	c	i	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	a	-	
164	a	0	2	a	a	0	15	2	0	252	Months	d	6	3	Months	b	a	l	-	-	-	-	1:00	pm	a	5:00	pm	a	c	g	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	a	b	
165	b	-	0	-	-	0	0	0	0	7	Months	a	2	12	Months	b	a	b	c	f	j	k	2:30	pm	a	7:00	pm	a	b	i	j	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	a	-	
166	-	-	0	-	-	0	0	0	0	-	-	c	5	12	Months	a	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	-	
167	b	0	0	-	-	0	0	0	0	13	Months	b	4	13	Months	b	a	b	c	l	n	-	11:00	am	a	6:00	pm	a	c	f	g	h	a	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	a	-	
168	a	-	1	a	a	0	10	2	3	7	Months	a	2	24	Months	b	a	b	c	i	j	k	1:00	pm	a	5:00	pm	a	b	c	h	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	a	-	
169	b	-	0	-	-	0	0	0	0	7	Days	d	8	15	Months	b	c	d	f	h	i	n	2:00	pm	a	6:00	pm	a	b	c	d	f	b	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	a	-	
170	-	-	0	-	-	0	0	0	0	3	Months	d	7	33	Months	b	c	l	j	-	-	-	12:00	pm	a	2:00	pm	a	b	j	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	a	-	
171	b	-	0	-	-	0	0	0	0	8	Months	b	3	12	Months	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6:00	pm	a	b	c	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	a	-	
172	b	-	0	-	-	0	0	0	0	7	Months	a	2	12	Months	b	a	b	c	j	l	n	2:00	pm	a	6:00	pm	a	b	c	i	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	a	-	
173	b	-	0	-	-	0	0	0	0	8	Months	b	3	12	Months	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6:00	pm	a	b	c	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	a	-	
174	b	-	0	-	-	0	0	0	0	3	Months	d	6	33	Months	b	b	i	j	k	-	-	12:00	pm	a	3:00	pm	b	a	-	-	-	b	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	a	-	
175	a	-	1	b	a	0	6	0	8	16	Months	c	4	24	Months	b	a	c	j	k	-	-	1:00	pm	a	2:00	pm	a	b	c	i	j	b	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	a	-	
176	b	-	0	-	-	0	0	0	0	7	Months	a	2	12	Months	b	a	b	f	-	-	-	1:00	pm	a	3:00	pm	a	c	f	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	a	-	
177	b	-	0	-	-	0	0	0	0	7	Months	a	2	12	Months	b	a	b	c	g	j	k	1:00	pm	a	5:00	pm	a	b	i	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	a	-	
178	b	-	0	-	-	0	0	0	0	8	Months	d	5	7	Months	a	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1:00	pm	a	b	f	i	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	a	-	
179	a	-	1	b	a	4	0	0	0	13	Months	d	5	13	Months	a	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5:00	pm	a	f	j	-	-	b	a	a	c	f	h	b	d	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	a	-
180	b	-	0	-	-	0	0	0	0	3	Months	d	6	33	Months	b	b	i	j	k	-	-	12:00	pm	a	3:00	pm	b	a	-	-	-	b	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	a	-	

S.No.	4. Evacuation Behavior in Disaster of Cyclone Sidr in 2007											5. Existing alarm system in Community				6. Shelter & Polder system in Community											7. Situation of Community disaster prevention																						
	4-1	4-2		4-3	4-4		4-5		4-6		4-7		4-8		4-9	4-10		4-11		5-1	5-2		5-3	5-4		6-1	6-2	6-3	6-4	6-5	6-6	6-7			6-8	6-9	6-10	6-11		6-12	6-13		6-14	6-15	7-1	7-2	7-3	7-4	7-5
	Evacuation before Sidr	Time of tidal surge reached		Evacuation after tidal surge	Time of evacuation		Evacuation Place		How long was inundated by tidal surge in Sidr?		Inundation level at the time of Sidr		How long your house was inundated by the tidal flood before the embankment successful?		Information about Sidr	How did you get information about Sidr?		Timing of getting information about Sidr		Information about Aila	How did you get to hear about Aila?		Timing of getting information about Aila		Most reliable source/ dissemination	Knowledge of cyclone shelter in Aila	Distance to cyclone shelter	Time to cyclone shelter in ordinary time	Road condition to cyclone shelter in Aila	Safety of cyclone shelter for women	Evacuation to cyclone shelter in Aila	Problem of cyclone shelter			Evacuation with wife/ husband	Reason for "not evacuation with wife/husband"	Polder is useful for tidal wave /flood	Problem about Polder		Water Management Group (WVG) of polder	Activity of WVG		Collecting money for Polder	Amount of collecting money	Early warning about Aila	Early warning from	Radio (it can be used)	Portable radio and bring anytime	Mobile phone (it can be used)
a. Yes b. No	(time)	(am/pm)	a. Yes b. No	(time)	(am/pm)	a. Cyclone shelter b. Top of polder c. Other's house d. Killa e. Top of trees f. Top of own house g. Community buildings (including UP Bldg, Schools, Mosques, Temple etc.) h. Other	How long was inundated by tidal surge in Sidr? (Month/Day/Hour)	a. Knee-High b. Stomach-High c. Shoulder-High d. Above your Head (Feet)	How long your house was inundated by the tidal flood before the embankment successful? (Day/ Month/ Year)	a. Yes b. No	a. Radio b. Microphone announcement c. Flag hoisting d. Neighbours e. NGO f. Local Gov. g. Market h. TV i. Mosque j. Police k. BDR l. Other	a. Before 2 days b. Before 1 day c. Before 12 hours d. Before 6 hours e. Before 1 hour f. Not at all	a. Yes b. No	a. Radio b. Microphone announcement c. Flag hoisting d. Neighbours e. NGO f. Local Gov. g. Market h. TV i. Mosque j. Police k. BDR l. Other	a. Before 2 days b. Before 1 day c. Before 12 hours d. Before 6 hours e. Before 1 hour f. Not at all	a. Radio b. Microphone announcement c. Flag hoisting d. Neighbours e. NGO f. Local Gov. g. Market h. TV i. Mosque j. Police k. BDR l. Other	Knowledge of cyclone shelter in Aila	Distance to cyclone shelter (km)	Time to cyclone shelter in ordinary time (Minutes by foot)	Road condition to cyclone shelter in Aila	Safety of cyclone shelter for women	Evacuation to cyclone shelter in Aila	Problem of cyclone shelter			Evacuation with wife/ husband	Reason for "not evacuation with wife/husband"	Polder is useful for tidal wave /flood	Problem about Polder		Water Management Group (WVG) of polder	Activity of WVG		Collecting money for Polder	Amount of collecting money (Tk/month)	Early warning about Aila	Early warning from	Radio (it can be used)	Portable radio and bring anytime	Mobile phone (it can be used)									
151	b	-	-	-	-	-	-	-	c	-	1	Month	b	-	-	-	-	-	a	a	b	-	-	-	d	a	a	4	60	b	b	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	b	b	a
152	b	-	-	-	-	-	-	-	c	-	1	Month	b	-	-	-	-	-	a	a	b	-	-	-	d	a	a	4	60	b	b	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	b	b	a
153	b	-	-	-	-	-	-	12	Hours	a	2	5	Months	a	a	i	-	-	d	b	-	-	-	-	-	h	a	1	27	a	a	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	-	-	-	b	-	b	b	a
154	b	-	-	b	-	-	-	6	Hours	a	3	12	Days	a	a	b	d	-	-	b	-	-	-	-	-	a	a	0.5	10	a	b	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	b	b	b
155	b	-	-	b	-	-	-	6	Hours	a	3	12	Days	a	a	b	d	-	-	b	-	-	-	-	-	a	a	0.5	10	a	b	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	b	b	b
156	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	a	b	d	k	d	b	-	-	-	-	-	d	b	-	-	-	b	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	b	b	a
157	b	-	-	-	-	-	b	6	Hours	a	2	12	days	a	a	d	-	-	d	b	-	-	-	-	-	a	a	1	30	b	a	a	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	b	b	a
158	b	-	-	-	3:00	am	b	6	Hours	a	2	6	Months	a	a	b	-	-	d	b	-	-	-	-	-	a	a	2	45	b	b	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	b	b	a
159	a	1:00	am	a	2:00	am	g	1	Month	b	3	1	Month	a	b	-	-	-	e	b	-	-	-	-	-	i	a	2	30	b	a	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	b	b	a
160	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	a	d	-	-	d	b	-	-	-	-	-	a	b	-	-	-	b	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	b	b	a
161	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	a	b	d	k	d	b	-	-	-	-	-	d	b	-	-	-	b	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	b	b	a
162	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	b	b	-	-	b	b	-	-	-	-	-	b	b	1	30	-	b	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	b	b	b
163	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	b	-	-	-	b	b	-	-	-	-	-	b	b	4	120	b	b	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	b	b	b
164	b	-	-	-	3:00	am	b	6	Hours	a	2	6	Months	a	a	b	-	-	d	b	-	-	-	-	-	a	a	2	45	b	b	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	b	b	a
165	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	b	b	-	-	b	b	-	-	-	-	-	b	a	4	80	b	b	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	b	b	b
166	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	b	b	-	-	b	b	-	-	-	-	-	b	b	1	30	-	b	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	b	b	b
167	b	-	-	-	-	-	b	17	Hours	a	2	17	Months	a	a	d	-	-	d	b	-	-	-	-	-	a	a	2	45	b	a	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	a	a	a
168	b	-	-	a	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	a	d	b	-	-	b	-	-	-	-	-	a	b	-	-	-	b	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	b	b	a
169	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	a	d	h	-	d	b	-	-	-	-	-	h	b	-	-	-	b	b	-	-	-	-	-	a	a	b	c	b	-	-	b	-	b	b	a
170	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	b	b	-	-	b	b	-	-	-	-	-	b	b	2	40	-	b	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	b	b	b
171	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	a	b	-	-	d	b	-	-	-	-	-	h	b	-	-	-	b	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	b	b	a
172	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	b	-	-	-	b	b	-	-	-	-	-	b	b	4	120	b	b	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	b	b	b
173	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	a	b	-	-	d	b	-	-	-	-	-	h	b	-	-	-	b	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	b	b	a
174	b	-	-	a	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	a	d	-	-	d	b	-	-	-	-	-	h	a	2	40	-	b	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	b	b	a
175	b	1:00	am	b	-	-	-	7	-	c	5	2	-	a	a	d	h	-	d	b	-	-	-	-	-	h	a	4	180	b	b	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	a	b	b
176	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	a	b	-	-	d	b	-	-	-	-	-	b	b	-	-	-	a	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	b	b	a
177	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	a	b	-	-	d	b	-	-	-	-	-	b	b	-	-	-	b	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	a	a	a
178	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	a	d	-	-	d	b	-	-	-	-	-	a	b	-	-	-	b	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	b	b	a
179	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	a	d	h	-	d	b	-	-	-	-	-	h	a	2	40	b	b	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	b	b	a
180	b	-	-	a	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	a	d	-	-	d	b	-	-	-	-	-	h	a	2	40	-	b	b	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	b	b	a

S_No.	8. Assistant for community after cyclone damage.													9. Situation of Basic Infrastructure (Drinking Water, Irrigation, Drainage, Electricity)												10. Difficulty and Needs																				
	8-1	8-2	8-3	8-4	8-5	8-6	8-7	8-8	8-9						8-10	8-11	9-1	9-2	9-3	9-4	9-5	9-6	9-7	9-8	9-9	9-10	9-11	9-12	10																	
	Using microcredit system for reconstruction a. Yes b. No	Amount of borrowing money Total (Tk)	Borrowing money from a. Grameen Bank b. BRAC c. ASA d. Ganumukhi e. SUS f. Caritas g. Krishi Bank h. BRDB i. Other	Debt of microcredit before Aila a. Yes b. No	Debt moratorium after Aila a. Yes b. No	Debt moratorium (month)	First rationed goods after Aila After (day)	First rationed goods after Sidr After (day)	Rationed goods after Aila a. Rice b. Wheat c. Water d. Oil e. Cooking tools f. Tent g. Plastic sheet h. Blanket i. Cash j. Other						Support (now) a. VGD b. Cash for Work c. Food for Work d. Housing Cash Grant e. Nothing f. Other	Rationed goods (now) a. Rice b. Wheat c. Water d. Oil e. Cash f. Nothing g. Other	Water sources for drinking water in rainy reason a. Shallow Well b. Deep Well c. River water d. Pond water e. Rain water f. Potable Water g. Buy mineral water h. Other	Water sources for drinking water in dry reason a. Shallow Well b. Deep Well c. River water d. Pond water e. Rain water f. Potable Water g. Buy mineral water h. Other	Water sources for drinking water immediately after Aila a. Shallow Well b. Deep Well c. River water d. Pond water e. Rain water f. Potable Water g. Buy mineral water h. Other	Water sources for drinking water now a. Shallow Well b. Deep Well c. River water d. Pond water e. Rain water f. Potable Water g. Buy mineral water h. Other	Concerning about water a. Color of Drinking Water b. Odor of Drinking Water c. Quality of Drinking Water d. Cost of Water e. Availability of Water f. Drought g. Flood h. Climate Change i. Salt Water Intrusion j. Arsenic Contaminated Water k. Other	Main reason of large reduction of crop yields after cyclone a. Droughts / Water Shortage b. Intrusion of seawater c. Lack of manpower d. Lack of Nutrient Soil e. Existence of Harmful Insects f. Other	Light item before Aila a. Electricity b. Generator c. Solar power d. Kerosene Lump e. Candle light f. Other	Light item immediately after cyclone damage a. Electricity b. Generator c. Solar power d. Kerosene Lump e. Candle light f. Other	Light item now a. Electricity b. Generator c. Solar power d. Kerosene Lump e. Candle light f. Other	Road condition to the nearest Cyclone shelter before Aila a. Good (you can walk) b. Bad (You can walk but difficult) c. Very bad (You cannot walk)	Road condition to the nearest Cyclone shelter immediately after Cyclone a. Good (you can walk) b. Bad (You can walk but difficult) c. Very bad (You cannot walk)	Road condition to the nearest Cyclone shelter now a. Good (you can walk) b. Bad (You can walk but difficult) c. Very bad (You cannot walk)	(Free Answer)																	
151	b	-	b	-	b	-	3	7	1	a	c	d	f	-	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	b	f	-	b	-	h	i	-	a	b	-	d	-	d	e	c	-	a	b	c	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
152	b	-	b	-	b	-	3	7	1	a	c	d	f	-	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	b	f	-	b	-	h	i	-	a	b	-	d	-	d	e	c	-	a	b	c	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
153	a	12,000.00	a	-	b	-	0	2	0	a	c	d	f	h	-	-	-	-	b	f	b	-	-	b	-	b	-	-	b	-	c	f	-	a	b	-	d	-	d	-	d	-	a	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
154	b	-	-	-	a	a	6	1	1	a	c	d	g	-	-	-	-	-	e	f	b	e	-	b	-	b	-	-	b	-	k	-	-	b	-	-	d	-	d	e	c	-	b	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
155	b	-	-	-	a	a	6	1	1	a	c	d	g	-	-	-	-	-	e	f	b	e	-	b	-	b	-	-	b	-	k	-	-	b	-	-	d	-	d	e	c	-	b	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
156	b	-	-	-	a	a	5	2	7	a	c	e	f	h	j	-	-	-	e	f	d	e	-	d	f	g	h	-	d	-	b	c	d	a	b	-	d	-	d	-	d	-	b	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
157	b	-	b	-	b	-	0	4	2	a	c	d	h	-	-	-	-	-	c	f	b	-	-	b	-	b	-	-	b	-	b	-	-	a	b	-	d	-	d	-	c	-	a	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
158	a	10,000.00	d	-	a	a	3	7	0	a	c	d	e	f	g	h	i	-	e	f	b	e	-	b	-	b	-	-	b	-	k	-	-	b	-	-	d	-	d	e	c	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
159	a	10,000.00	d	-	-	-	-	3	10	a	d	f	-	-	-	-	-	-	e	f	b	e	-	b	-	f	-	-	b	-	a	-	-	a	-	-	d	-	d	-	c	-	b	c	a	Food, Reconstruction House, Road & Embankment
160	a	4,000.00	i	-	b	-	-	7	0	a	c	e	f	g	h	j	-	-	e	f	d	e	-	d	f	d	e	f	d	f	b	c	d	h	a	b	d	-	d	-	d	-	b	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
161	b	-	-	-	a	a	5	2	7	a	c	e	f	h	j	-	-	-	e	f	d	e	-	d	f	g	h	-	d	-	b	c	d	a	b	-	d	-	d	-	d	-	b	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
162	b	-	-	-	-	-	6	20	0	a	c	f	-	-	-	-	-	-	e	f	d	d	-	d	-	f	-	-	b	-	d	-	-	a	b	-	d	-	d	e	c	-	b	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
163	b	-	-	-	a	a	5	3	12	a	c	f	-	-	-	-	-	-	e	f	d	e	-	d	-	f	-	-	b	-	d	-	-	a	-	-	d	-	d	-	d	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
164	a	10,000.00	d	-	a	a	3	7	0	a	c	d	e	f	g	h	i	-	e	f	b	e	-	b	-	b	-	-	b	-	k	-	-	b	-	-	d	-	d	e	c	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
165	a	4,000.00	d	-	b	-	-	3	0	a	c	h	-	-	-	-	-	-	e	f	d	e	-	d	-	f	-	-	d	-	b	-	-	a	-	-	d	-	d	-	d	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
166	b	-	-	-	-	-	6	20	0	a	c	f	-	-	-	-	-	-	e	f	d	d	-	d	-	f	-	-	b	-	d	-	-	a	b	-	d	-	d	e	c	-	b	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
167	b	-	-	-	b	-	0	4	15	a	c	f	h	g	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	b	-	-	b	-	b	e	-	a	b	-	d	-	d	-	d	-	b	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
168	a	16,000.00	b	-	a	a	5	3	7	a	c	d	e	f	h	i	j	-	e	f	d	e	-	d	h	d	h	-	d	-	b	-	-	b	-	-	d	-	d	e	d	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
169	a	15,000.00	b	-	a	a	7	3	0	a	c	e	j	-	-	-	-	-	e	f	e	d	f	g	h	d	-	-	d	-	b	d	-	a	b	c	d	-	d	-	c	-	b	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
170	a	1,200.00	-	-	a	-	-	4	0	a	c	f	-	-	-	-	-	-	e	f	d	d	-	d	-	f	-	-	b	-	d	-	-	a	b	-	d	-	d	e	c	-	b	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
171	a	10,000.00	d	-	a	b	-	-	0	a	c	f	-	-	-	-	-	-	e	f	d	e	-	d	-	f	-	-	d	-	b	e	-	a	-	-	d	-	d	-	c	-	b	b	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
172	b	-	-	-	a	a	5	3	12	a	c	f	-	-	-	-	-	-	e	f	d	e	-	d	-	f	-	-	b	-	d	-	-	a	-	-	d	-	d	-	d	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
173	a	10,000.00	d	-	a	b	-	-	0	a	c	f	-	-	-	-	-	-	e	f	d	e	-	d	-	f	-	-	d	-	b	e	-	a	-	-	d	-	d	-	c	-	b	b	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
174	a	2,000.00	d	-	a	b	-	-	0	a	c	e	-	-	-	-	-	-	e	f	d	e	-	d	-	f	-	-	d	-	b	e	-	k	a	-	d	-	d	-	c	-	b	b	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
175	a	12,000.00	b	i	b	-	-	2	3	a	c	d	e	f	h	j	-	-	e	f	d	e	-	d	-	d	-	-	d	-	i	b	d	b	d	-	d	-	d	-	d	-	b	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
176	a	3,000.00	h	-	a	a	5	3	7	a	c	d	e	f	h	-	-	-	e	f	d	e	-	d	-	d	h	-	d	-	d	-	-	b	-	-	d	-	d	e	d	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
177	a	4,000.00	i	-	b	-	-	3	7	a	c	d	e	f	h	-	-	-	e	f	d	e	-	d	-	d	g	h	d	-	b	d	i	b	-	-	d	-	d	-	d	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
178	a	4,000.00	i	-	b	-	-	7	0	a	c	e	f	g	h	j	-	-	e	f	d	e	-	d	f	d	e	f	d	f	b	c	d	h	a	b	d	-	d	-	d	-	b	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
179	a	40,000.00	d	-	a	b	-	2	0	a	c	e	h	j	-	-	-	-	e	f	d	e	-	d	f	f	g	-	d	-	b	g	-	a	b	-	c	-	c	-	c	-	b	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
180	a	2,000.00	d	-	a	b	-	-	0	a	c	e	-	-	-	-	-	-	e	f	d	e	-	d	-	f	-	-	d	-	b	e	-	k	a	-	d	-	d	-	c	-	b	b	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center

POLDER 13-14/2②

I. Respondent and Family Information

S_No.	Polder No.	Thana	Union	Village	HH No.	Sex (M/F)	Age	Educational Background	1-1. General information						1-2	1-3. Who did leave the place after Aila?				1-4	1-5		1-6		1-7		1-8		1-9					1-10					1-11	1-12	1-13	1-14	1-15					
									Religion	Relation to Head	Number of Family Members					Did family member leave this place for living after Aila? a. Yes b. No	Age	Sex (M/F)	Relation to Head		Where did he/she go? (Place)	No. of leaving persons.	Main Income Resource before Aila:		Main Income Recourse after Aila (current situation):		Own Land area (before Aila)		Own Land area (After Aila) current situation		Livestock number of family before Aila					Livestock number of family after Aila					House Category before Aila	House category after Aila	Refuge after Aila	Place for refuge after Aila	How long did you stay there? (Months / Weeks / Days)			
											a. Muslim b. Hindu c. Buddhist d. Christian e. Other	a. head b. spouse c. son/daughter d. father/mother e. brother/sister f. son/daughter in law g. Sister/Brother in law h. grandchild i. grandparent j. other relatives k. non-relatives	Male	Female	Total				Boy (<12 years old)	Girl (<12 years old)			a. head b. spouse c. son/daughter d. father/mother e. brother/sister f. son/daughter in law g. Sister/Brother in law h. grandchild i. grandparent j. other relatives k. non-relatives	Prefecture	Tham:	Average Income (Tk/Month)	a. Shrimp Labor b. Shrimp Business c. Agriculture Farming d. Agriculture Labor e. Fishing Business f. Fishing Labor g. Rural Transport h. Shopkeeper i. Relief (including CFW, FFW and CFT) j. Other	Average Income (Tk/Month)	a. Shrimp Labor b. Shrimp Business c. Agriculture Farming d. Agriculture Labor e. Fishing Business f. Fishing Labor g. Rural Transport h. Shopkeeper i. Relief (including CFW, FFW and CFT) j. Other	Own Land (Decimal)	Gov. Land (Khas Land) (Decimal)	Own Land (Decimal)	Gov. Land (Khas Land) (Decimal)	Cow	Poultry	Goat	Sheep	Others	Cow	Poultry						Goat	Sheep	Others
181	13/14/2②	Koyra	Mahessoripur	Shinger Chak	70	F	26	7	b	b	1	4	5	0	3	b	-	-	-	-	-	3,500.00	d	-	2,500.00	d	-	5	5	5	5	0	6	2	3	0	0	0	0	0	0	f	e	a	b	4	Weeks	
182	13/14/2②	Koyra	Mahessoripur	Shinger Chak	70	M	60	0	b	a	3	3	6	0	1	b	-	-	-	-	-	4,000.00	d	-	3,500.00	d	-	6	6	6	6	2	9	0	0	0	0	0	0	0	0	f	e	b	-	-	-	
183	13/14/2②	Koyra	Mahessoripur	Shinger Chak	70	M	50	8	b	a	2	2	4	0	0	b	-	-	-	-	-	3,000.00	d	-	2,500.00	f	-	2	66	2	33	2	40	0	15	0	0	1	7	0	0	f	e	a	b	11	Weeks	
184	13/14/2②	Koyra	Mahessoripur	Shinger Chak	70	F	42	0	b	b	3	2	5	0	0	b	-	-	-	-	-	4,000.00	d	-	3,500.00	f	-	10	33	10	33	12	23	0	2	0	0	1	0	0	0	f	e	a	b	2	Weeks	
185	13/14/2②	Koyra	Mahessoripur	Shinger Chak	70	F	40	6	b	b	3	2	5	1	0	b	-	-	-	-	-	4,000.00	a	-	3,000.00	a	-	6	66	6	66	4	5	0	9	0	0	0	5	0	0	f	e	a	f	2	Weeks	
186	13/14/2②	Koyra	Mahessoripur	Shinger Chak	70	M	35	7	b	c	5	1	6	1	0	b	-	-	-	-	-	10,000.00	b	-	4,000.00	f	-	16	50	14	0	20	15	5	3	0	1	5	0	0	0	f	e	b	-	-	-	
187	13/14/2②	Koyra	Mahessoripur	Shinger Chak	70	M	42	4	b	a	2	4	6	1	2	b	-	-	-	-	-	4,500.00	d	-	2,500.00	f	-	4	66	4	0	0	6	0	8	0	0	2	0	0	0	f	e	b	-	-	-	
188	13/14/2②	Koyra	Mahessoripur	Shinger Chak	70	M	35	2	b	a	2	2	4	1	1	b	-	-	-	-	-	4,000.00	d	-	2,000.00	f	-	5	66	5	50	0	7	0	7	0	0	2	0	0	0	c	c	b	-	-	-	
189	13/14/2②	Koyra	Mahessoripur	Shinger Chak	70	F	30	5	b	b	2	2	4	1	1	b	-	-	-	-	-	5,000.00	d	-	2,000.00	d	-	5	0	5	0	0	5	6	4	0	0	2	0	0	0	f	c	a	b	18	Weeks	
190	13/14/2②	Koyra	Mahessoripur	Shinger Chak	70	M	58	6	b	a	2	3	5	0	1	b	-	-	-	-	-	4,500.00	d	-	3,500.00	d	-	5	0	5	0	0	10	2	3	0	0	0	0	0	0	f	e	a	b	18	Weeks	
191	13/14/2②	Koyra	Mahessoripur	Shinger Chak	70	M	35	11	b	c	4	1	5	0	0	b	-	-	-	-	-	4,000.00	f	-	3,000.00	f	-	10	0	10	0	0	5	0	0	0	0	4	0	0	0	g	e	a	a	10	Weeks	
192	13/14/2②	Koyra	Mahessoripur	Shinger Chak	70	M	55	2	b	a	3	2	5	0	0	b	-	-	-	-	-	4,500.00	a	-	3,500.00	a	-	10	33	10	33	2	7	0	5	0	0	3	0	0	0	f	e	a	b	12	Weeks	
193	13/14/2②	Koyra	Mahessoripur	Shinger Chak	70	F	30	0	b	b	3	1	4	0	0	b	-	-	-	-	-	5,000.00	d	-	3,500.00	d	-	10	0	10	0	0	4	5	0	0	0	0	0	0	0	c	c	a	b	6	Weeks	
194	13/14/2②	Koyra	Mahessoripur	Shinger Chak	70	F	26	10	b	b	2	4	6	0	2	b	-	-	-	-	-	3,000.00	f	-	2,000.00	f	-	15	10	15	10	0	20	0	4	0	0	11	0	0	0	f	e	a	b	7	Weeks	
195	13/14/2②	Koyra	Mahessoripur	Shinger Chak	70	F	28	11	b	b	2	1	3	1	0	a	35	M	a	-	-	1	3,000.00	f	-	2,500.00	f	-	7	120	7	66	0	8	0	0	0	0	5	0	0	0	f	e	a	b	12	Weeks
196	13/14/2②	Koyra	Mahessoripur	Shinger Chak	70	M	40	0	b	a	2	2	4	0	0	b	-	-	-	-	-	8,000.00	f	-	2,500.00	f	-	5	22	5	8	4	8	0	3	0	0	5	0	0	0	f	e	a	b	2	Weeks	
197	13/14/2②	Koyra	Mahessoripur	Shinger Chak	70	M	60	0	a	a	4	3	7	0	1	b	-	-	-	-	-	6,000.00	a	-	4,000.00	d	e	8	0	8	0	0	17	4	0	0	0	5	0	0	0	g	e	a	e	1	Week	
198	13/14/2②	Koyra	Mahessoripur	Shinger Chak	70	M	30	11	b	c	4	3	7	1	0	b	-	-	-	-	-	6,000.00	f	-	3,500.00	d	-	6	29	6	29	8	15	0	6	0	0	5	0	0	0	f	g	a	b	-	-	
199	13/14/2②	Koyra	Mahessoripur	Shinger Chak	70	F	35	4	b	b	3	1	4	0	0	b	-	-	-	-	-	4,000.00	d	-	3,000.00	d	-	33	25	33	25	4	20	0	10	0	0	5	0	0	0	f	e	a	-	-	-	
200	13/14/2②	Koyra	Mahessoripur	Shinger Chak	70	M	45	0	b	a	3	2	5	1	0	b	-	-	-	-	-	4,500.00	d	-	3,000.00	d	-	33	70	33	70	3	25	3	0	0	0	1	0	0	0	f	e	a	b	12	Weeks	
201	13/14/2②	Koyra	Mahessoripur	Shinger Chak	70	F	35	9	b	b	1	5	6	0	2	b	-	-	-	-	-	4,000.00	d	-	3,000.00	d	-	33	66	33	66	1	25	0	5	0	1	5	0	0	c	c	a	b	8	Weeks		
202	13/14/2②	Koyra	Mahessoripur	Shinger Chak	70	M	62	8	a	a	2	1	3	0	0	b	-	-	-	-	-	2,000.00	a	-	2,000.00	d	-	9	33	9	33	3	8	2	0	0	0	0	0	0	0	c	c	b	b	-	-	
203	13/14/2②	Koyra	Mahessoripur	Shinger Chak	70	F	55	0	b	b	2	3	5	0	0	b	-	-	-	-	-	3,000.00	a	-	3,000.00	d	-	8	25	8	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	e	e	b	b	-	-		
204	13/14/2②	Koyra	Mahessoripur	Shinger Chak	70	M	32	14	b	a	2	2	4	1	0	b	-	-	-	-	-	4,500.00	a	-	4,000.00	a	-	7	30	7	30	2	0	0	4	0	0	0	0	0	e	e	b	b	-	-		
205	13/14/2②	Koyra	Mahessoripur	Shinger Chak	70	F	55	0	b	b	3	3	6	0	1	b	-	-	-	-	-	5,000.00	f	-	3,000.00	f	-	17	1	17	48	9	17	13	0	0	0	1	13	8	0	e	e	b	b	-	-	
206	13/14/2②	Koyra	Mahessoripur	Shinger Chak	70	M	35	2	b	a	2	2	4	1	1	b	-	-	-	-	-	4,000.00	d	-	2,000.00	f	-	5	66	5	50	0	0	7	0	0	0	0	2	0	0	e	e	b	b	-	-	
207	13/14/2②	Koyra	Mahessoripur	Shinger Chak	70	F	28	11	b	b	2	1	3	1	0	b	-	-	-	-	-	3,000.00	f	-	2,500.00	f	-	4	5	4	2	0	8	0	0	0	0	0	5	0	0	e	e	b	b	-	-	
208	13/14/2②	Koyra	Mahessoripur	Shinger Chak	70	F	35	5	b	b	1	4	5	0	0	b	-	-	-	-	-	6,000.00	f	-	3,000.00	f	-	12	45	12	45	6	10	0	0	0	0	6	0	0	0	f	e	b	-	-	-	
209	13/14/2②	Koyra	Mahessoripur	Shinger Chak	70	F	32	0	b	b	2	3	5	1	2	b	-	-	-	-	-	3,000.00	a	-	2,100.00	a	-	5	0	5	0	0	10	4	0	0	0	5	3	0	e	e	b	-	-	-		
210	13/14/2②	Koyra	Mahessoripur	Shinger Chak	70	F	30	5	b	b	1	2	3	0	1	b	-	-	-	-	-	3,000.00	c	-	2,000.00	d	-	33	55	32	55	6	6	12	0	0	0	0	6	0	0	c	c	a	b	14	Days	

S_No.	8. Assistant for community after cyclone damage.												9. Situation of Basic Infrastructure (Drinking Water, Irrigation, Drainage, Electricity)												10. Difficulty and Needs				
	8-1	8-2	8-3	8-4	8-5	8-6	8-7	8-8	8-9					8-10	8-11	9-1	9-2	9-3	9-4	9-5	9-6	9-7	9-8	9-9		9-10	9-11	9-12	10
	Using microcredit system for reconstruction a. Yes b. No	Amount of borrowing money Total (Tk)	Borrowing money from a. Grameen Bank b. BRAC c. ASA d. Gnamukhi e. SUS f. Caritas g. Krishi Bank h. BRDB i. Other	Debt of microcredit before Aila a. Yes b. No	Debt moratorium after Aila a. Yes b. No	Debt moratorium (month)	First rationed goods after Aila After (day)	First rationed goods after Sidr After (day)	Rationed goods after Aila a. Rice b. Wheat c. Water d. Oil e. Cooking tools f. Tent g. Plastic sheet h. Blanket i. Cash j. Other					Support (now) a. VGD b. Cash for Work c. Food for Work d. Housing Cash Grant e. Nothing f. Other	Rationed goods (now) a. Rice b. Wheat c. Water d. Oil e. Cash f. Nothing g. Other	Water sources for drinking water in rainy reason a. Shallow Well b. Deep Well c. River water d. Pond water e. Rain water f. Potable Water g. Buy mineral water h. Other	Water sources for drinking water in dry reason a. Shallow Well b. Deep Well c. River water d. Pond water e. Rain water f. Potable Water g. Buy mineral water h. Other	Water sources for drinking water immediately after Aila a. Shallow Well b. Deep Well c. River water d. Pond water e. Rain water f. Potable Water g. Buy mineral water h. Other	Water sources for drinking water now a. Shallow Well b. Deep Well c. River water d. Pond water e. Rain water f. Potable Water g. Buy mineral water h. Other	Concerning about water a. Color of Drinking Water b. Odor of Drinking Water c. Quality of Drinking Water d. Cost of Water e. Availability of Water f. Drought g. Flood h. Climate Change i. Salt Water Intrusion j. Arsenic Contaminated Water k. Other	Main reason of large reduction of crop yields after cyclone a. Droughts / Water Shortage b. Intrusion of seawater c. Lack of manpower d. Lack of Nutrient Soil e. Existence of Harmful Insects f. Other	Light item before Aila a. Electricity b. Generator c. Solar power d. Kerosene Lump e. Candle light f. Other	Light item immediately after cyclone damage a. Electricity b. Generator c. Solar power d. Kerosene Lump e. Candle light f. Other	Light item now a. Electricity b. Generator c. Solar power d. Kerosene Lump e. Candle light f. Other		Road condition to the nearest Cyclone shelter before Aila a. Good (you can walk) b. Bad (You can walk but difficult) c. Very bad (You cannot walk)	Road condition to the nearest Cyclone shelter immediately after Cyclone a. Good (you can walk) b. Bad (You can walk but difficult) c. Very bad (You cannot walk)	Road condition to the nearest Cyclone shelter now a. Good (you can walk) b. Bad (You can walk but difficult) c. Very bad (You cannot walk)	(Free Answer)
181	a	4,000.00	i -	b -	-	2	-	a e f j - - - -	e	f	d e -	d f	e f g	d e	b i g	b e -	d -	d -	d -	a	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center						
182	a	3,200.00	b -	a a	3	3	-	a c e j - - - -	e	f	d e -	d f	e f -	d f	b i j	b e -	d -	d -	d -	a	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center						
183	a	8,000.00	d -	b -	-	2	-	a c e f h j - - -	e	f	e - -	d f	h - -	d -	b e h	a b -	d -	d -	d -	b	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center						
184	a	15,000.00	b -	a a	7	3	-	a c e j - - - -	e	f	e d f	g h	d - -	d -	b d -	a b c	d -	d -	c -	b	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center						
185	b	-	- -	a a	5	2	7	a c e f h j - - -	e	f	d e -	d f	g h -	d -	b c d	a b -	d -	d -	d -	b	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center						
186	a	30,000.00	b i	b -	-	1	2	a c d e f h j - -	e	f	d e -	d -	d - -	d -	i - -	b d -	d -	d -	d -	b	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center						
187	a	12,000.00	b i	b -	-	2	3	a c d e f h j - -	e	f	d e -	d -	d - -	d -	i b d	b d -	d -	d -	d -	b	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center						
188	b	-	- -	b -	-	2	3	a c d f h j - - -	e	f	d e -	d -	d - -	d -	- - -	b d -	d -	d -	d -	b	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center						
189	a	5,000.00	i -	a a	3	1	2	a c d e f i - - -	d	f	d e -	d -	d - -	d -	i b d	b - -	d -	d -	d -	b	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center						
190	a	16,000.00	b -	a a	5	3	7	a c d e f h i j -	e	f	d e -	d h	d h -	d -	b - -	b - -	d -	d e	d -	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center						
191	a	10,000.00	b -	a -	5	3	7	a c d e f h i j -	e	f	d e -	d h	d - -	d -	b - -	b d -	d -	d e	d -	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center						
192	a	3,000.00	h -	a a	5	3	7	a c d e f h - - -	e	f	d e -	d -	d h -	d -	d - -	b - -	d -	d e	d -	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center						
193	a	4,000.00	i -	b -	-	3	7	a c d e f h - - -	e	f	d e -	d -	d g h	d -	b d i	b - -	d -	d -	d -	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center						
194	a	4,000.00	i -	b -	-	7	-	a c e f g h j - -	e	f	d e -	d f	d e f	d f	b c d	a b -	d -	d -	d -	b	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center						
195	a	30,000.00	b -	a b	-	2	-	a c e j - - - -	b	f	e d -	f -	d - -	- -	b g h	a b -	d -	d -	d -	b	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center						
196	a	40,000.00	d -	a b	-	2	-	a c e h j - - - -	e	f	d e -	d f	f g -	d -	b g -	a b -	c -	c -	c -	b	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center						
197	a	2,000.00	d -	a b	-	-	-	a c e - - - - -	e	f	d e -	d -	f - -	d -	b e -	a - -	d -	d -	c -	b	b	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center						
198	a	10,000.00	d -	a b	-	-	-	a c f - - - - -	e	f	d e -	d -	f - -	d -	b e -	a - -	d -	d -	c -	b	b	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center						
199	a	20,000.00	b -	b -	-	3	7	a c d h - - - -	e	f	e d -	d -	d g -	b -	d e -	a - -	d -	d e	d -	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center						
200	a	4,000.00	d -	b -	-	3	-	a c h - - - - -	e	f	d e -	d -	f - -	d -	b - -	a - -	d -	d -	d -	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center						
201	b	-	- -	a a	5	3	12	a c f - - - - -	e	f	d e -	d -	f - -	b -	d - -	a - -	d -	d -	d -	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center						
202	a	1,200.00	- -	a -	-	4	-	a c f - - - - -	e	f	d - -	d -	f - -	b -	d - -	a b -	d -	d e	c -	b	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center						
203	b	-	- -	- -	-	1	0	a c f - - - - -	e	f	d - -	d -	f - -	b -	d - -	a b -	d -	d e	c -	b	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center						
204	b	-	- -	- -	6	20	0	a c f - - - - -	e	f	d - -	d -	f - -	b -	d - -	a b -	d -	d e	c -	b	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center						
205	b	-	- -	- -	6	20	0	a c f - - - - -	e	f	d - -	d -	f - -	b -	d - -	a b -	d -	d e	c -	b	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center						
206	b	-	- -	- -	6	20	0	a c f - - - - -	e	f	d - -	d -	f - -	b -	d - -	a b -	d -	d e	c -	b	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center						
207	b	-	- -	- -	6	20	0	a c f - - - - -	e	f	d - -	d -	f - -	b -	d - -	a b -	d -	d e	c -	b	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center						
208	b	-	- -	- -	0	0	0	a c d e i - - - -	e	f	b f -	b f	b f -	b f	g - -	a b -	d -	d -	d -	a	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center						
209	a	15,000.00	d a	a -	24	3	0	a c f h - - - -	b	f	b e -	b -	b - -	b -	b - -	a b -	d e	e -	d -	a	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center						
210	a	12,000.00	a -	b -	0	2	0	a c d f h - - - -	b	f	b - -	b -	b - -	b -	c f -	a b -	d -	d -	d -	a	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center						

POLDER 32①

I. Respondent and Family Information

S.No.	Polder No.	Thana	Union	Village	HH No.	Sex (M/F)	Age	Educational Background	1-1. General information						1-2		1-3. Who did leave the place after Aila?				1-4		1-5			1-6			1-7		1-8			1-9					1-10					1-11	1-12	1-13	1-14	1-15	
									Religion	Relation to Head	Number of Family Members					Did family member leave this place for living after Aila? a. Yes b. No	Age	Sex (M/F)	Relation to Head	Where did he/she go? (Place)		Main Income Resource before Aila:			Main Income Recourse after Aila (current situation):			Own Land area (before Aila)		Own Land area (After Aila) current situation			Livestock number of family before Aila					Livestock number of family after Aila					House Category before Aila	House category after Aila	Refuge after Aila	Place for refuge after Aila	How long did you stay there?		
											a. Muslim b. Hindu c. Buddhism d. Christian e. Other	a. head b. spouse c. son/daughter d. father/mother e. brother/sister f. son/daughter in law g. Sister/Brother in law h. grandchild i. grandparent j. other relatives k. non-relatives	Male	Female	Total					Boy (<12 years old)	Girl (<12 years old)	a. head b. spouse c. son/daughter d. father/mother e. brother/sister f. son/daughter in law g. Sister/Brother in law h. grandchild i. grandparent j. other relatives k. non-relatives	Prefecture	Thana:	No. of leaving persons.	Average Income (Tk/Month)	a. Shrimp Labor b. Shrimp Business c. Agriculture Farming d. Agriculture Labor e. Fishing Business f. Fishing Labor g. Rural Transport h. Shopkeeper i. Relief (including CFW, FFW and CFT) j. Other	Average Income (Tk/Month)	a. Shrimp Labor b. Shrimp Business c. Agriculture Farming d. Agriculture Labor e. Fishing Business f. Fishing Labor g. Rural Transport h. Shopkeeper i. Relief (including CFW, FFW and CFT) j. Other	Own Land (Decimal)	Gov. Land (Khas Land) (Decimal)	Own Land (Decimal)	Gov. Land (Khas Land) (Decimal)	Cow	Poultry	Goat	Sheep	Others	Cow	Poultry	Goat	Sheep					Others	a. Cement b. Bricks c. Tin d. Polythene Sheet e. Thatched tent f. Wood g. Other	a. Cement b. Bricks c. Tin d. Polythene Sheet e. Thatched tent f. Wood g. Other
211	32①	Dacope	Sutarkhali	Gunari	640	M	65	5	b	a	6	4	10	1	1	b	-	-	-	-	-	3,000.00	g	-	2,000.00	g	-	4	0	4	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	f	c	b	-	-	-	
212	32①	Dacope	Sutarkhali	Gunari	640	F	50	2	b	b	5	2	7	2	0	b	-	-	-	-	-	3,000.00	d	-	2,000.00	d	-	21	15	21	15	0	6	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	c	c	b	-	-	-
213	32①	Dacope	Sutarkhali	Gunari	640	F	27	10	b	b	4	4	8	1	1	b	-	-	-	-	-	15,000.00	b	-	7,000.00	d	-	11	0	11	0	0	7	3	0	0	0	7	0	0	0	0	c	c	b	-	-	-	
214	32①	Dacope	Sutarkhali	Gunari	640	F	32	5	b	b	2	2	4	0	0	b	-	-	-	-	-	7,000.00	d	-	4,000.00	d	-	8	0	8	0	0	5	2	0	0	0	11	0	0	0	0	c	c	b	-	-	-	
215	32①	Dacope	Sutarkhali	Gunari	640	F	20	10	b	b	3	2	5	0	1	b	-	-	-	-	-	6,000.00	b	-	5,000.00	b	-	7	40	7	40	0	27	0	0	0	0	20	0	0	0	0	c	c	b	-	-	-	
216	32①	Dacope	Sutarkhali	Gunari	640	M	26	10	b	c	3	1	4	0	0	b	-	-	-	-	-	2,500.00	f	-	2,000.00	g	-	17	0	17	0	1	14	0	0	0	0	10	0	0	0	0	f	e	b	-	-	-	
217	32①	Dacope	Sutarkhali	Gunari	640	M	40	11	b	a	3	2	5	1	0	b	-	-	-	-	-	2,000.00	g	-	1,500.00	g	-	15	0	15	0	0	15	0	0	0	0	10	0	0	0	0	f	c	a	b	1	Week	
218	32①	Dacope	Sutarkhali	Gunari	640	M	35	5	b	a	2	2	4	1	1	b	-	-	-	-	-	3,500.00	g	-	3,000.00	g	-	8	0	8	0	0	16	5	0	0	0	3	0	0	0	0	f	e	a	b	3	Weeks	
219	32①	Dacope	Sutarkhali	Gunari	640	M	42	16	b	a	2	2	4	0	1	b	-	-	-	-	-	5,000.00	g	-	4,000.00	g	-	14	0	14	0	0	14	7	0	0	0	5	0	0	0	0	f	e	b	-	-	-	
220	32①	Dacope	Sutarkhali	Gunari	640	M	67	2	b	a	2	2	4	0	0	b	-	-	-	-	-	2,500.00	g	-	2,000.00	g	-	5	0	5	0	0	10	0	0	0	0	1	0	0	0	0	f	e	b	-	-	-	
221	32①	Dacope	Sutarkhali	Gunari	640	M	48	0	b	a	3	2	5	0	0	b	-	-	-	-	-	20,000.00	g	-	2,500.00	g	-	66	40	66	40	6	15	5	0	0	0	8	1	0	0	0	c	c	b	-	-	-	
222	32①	Dacope	Sutarkhali	Gunari	640	F	40	0	b	b	2	3	5	0	1	b	-	-	-	-	-	4,500.00	b	-	3,000.00	g	-	5	0	5	0	0	25	2	0	0	0	4	0	0	0	0	f	e	b	-	-	-	
223	32①	Dacope	Sutarkhali	Gunari	640	F	29	8	b	b	1	4	5	0	1	b	-	-	-	-	-	13,500.00	a	-	7,500.00	a	-	8	0	5	0	0	12	7	0	0	0	3	0	2	0	0	e	e	b	-	-	-	
224	32①	Dacope	Sutarkhali	Gunari	640	M	32	9	b	a	3	3	6	0	1	b	-	-	-	-	-	6,000.00	f	-	3,000.00	f	-	12	45	12	45	6	10	0	0	0	0	6	0	0	0	0	f	e	b	-	-	-	
225	32①	Dacope	Sutarkhali	Gunari	640	F	35	0	b	b	2	3	5	1	1	b	-	-	-	-	-	7,000.00	b	-	3,000.00	d	-	17	33	17	33	0	50	3	0	0	0	12	0	0	0	0	f	g	a	c	2	Weeks	
226	32①	Dacope	Sutarkhali	Gunari	640	M	60	0	b	a	3	4	7	1	1	b	-	-	-	-	-	5,000.00	h	-	3,000.00	d	-	8	0	8	0	0	16	5	0	0	0	2	0	0	0	0	f	e	a	a	1	Week	
227	32①	Dacope	Sutarkhali	Gunari	640	M	42	12	b	b	2	3	5	0	1	b	-	-	-	-	-	4,000.00	f	-	3,000.00	f	-	17	0	17	0	0	10	0	0	0	0	6	0	0	0	0	f	e	b	-	-	-	
228	32①	Dacope	Sutarkhali	Gunari	640	M	68	10	b	a	6	7	13	1	2	b	-	-	-	-	-	3,000.00	j	-	2,500.00	j	-	17	17	17	17	0	10	0	0	0	0	1	0	0	0	0	c	c	a	b	2	Weeks	
229	32①	Dacope	Sutarkhali	Gunari	640	M	56	4	b	a	2	1	3	0	0	b	-	-	-	-	-	4,500.00	b	-	4,500.00	b	-	8	0	8	0	0	8	6	4	0	0	2	0	4	0	0	c	c	b	-	-	-	
230	32①	Dacope	Sutarkhali	Gunari	640	F	28	12	b	b	3	4	7	1	1	b	-	-	-	-	-	3,000.00	j	-	3,000.00	j	-	8	0	8	0	0	12	0	0	0	0	15	0	0	0	0	f	c	b	b	-	-	
231	32①	Dacope	Sutarkhali	Gunari	640	F	56	0	b	a	3	4	7	0	1	b	-	-	-	-	-	4,000.00	j	-	3,000.00	j	-	8	33	8	33	12	15	19	0	0	0	0	0	0	0	0	f	c	b	b	-	-	
232	32①	Dacope	Sutarkhali	Gunari	640	F	23	5	b	b	3	4	7	0	2	b	-	-	-	-	-	3,000.00	f	-	2,000.00	d	-	8	0	8	0	0	13	9	0	0	0	0	0	0	0	0	c	g	a	b	3	Weeks	
233	32①	Dacope	Sutarkhali	Gunari	640	M	42	10	b	a	2	1	3	0	0	b	-	-	-	-	-	5,000.00	e	-	2,500.00	d	-	12	0	4	0	0	15	2	0	0	0	0	0	0	0	0	f	c	b	-	-	-	
234	32①	Dacope	Sutarkhali	Gunari	640	M	65	0	b	a	3	3	6	1	1	a	35	M	a	-	-	6,000.00	a	-	4,000.00	d	-	5	0	5	0	0	8	6	0	0	0	5	0	0	0	0	c	c	a	c	11	Weeks	
235	32①	Dacope	Sutarkhali	Gunari	640	M	52	5	b	a	1	4	5	0	1	b	-	-	-	-	-	5,000.00	a	-	2,500.00	d	-	30	66	30	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	f	c	a	b	7	Weeks	
236	32①	Dacope	Sutarkhali	Gunari	640	F	24	2	b	b	2	3	5	0	1	b	-	-	-	-	-	5,000.00	d	-	2,500.00	d	-	10	0	10	0	0	10	2	0	0	0	0	0	0	0	0	f	c	a	b	2	Weeks	
237	32①	Dacope	Sutarkhali	Gunari	640	M	63	3	b	a	3	1	4	0	0	b	-	-	-	-	-	3,000.00	d	-	2,000.00	d	-	35	25	35	15	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	f	a	b	-	1	Week		
238	32①	Dacope	Sutarkhali	Gunari	640	F	62	2	b	b	3	3	6	1	1	b	-	-	-	-	-	5,000.00	d	-	2,500.00	d	-	40	0	30	0	4	12	0	0	0	1	2	0	0	0	0	f	e	b	b	-	-	
239	32①	Dacope	Sutarkhali	Gunari	640	M	38	10	b	a	4	1	5	0	0	b	-	-	-	-	-	6,000.00	e	-	3,000.00	e	-	12	0	0	0	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	
240	32①	Dacope	Sutarkhali	Gunari	640	F	35	4	b	b	2	3	5	0	1	b	-	-	-	-	-	4,500.00	f	-	3,000.00	g	-	10	0	0	0	0	10	2	0	0	0	0	0	0	0	0	f	d	b	b	30	Weeks	

S.No.	2. Affected Situation of Cyclone Aila in 2009										3. Evacuation Behavior in Disaster of Cyclone Aila in 2009																																																				
	2-1		2-2		2-3	2-4	2-5			2-6		2-7		2-8	3-1	3-2			3-3		3-4	3-5		3-6			3-7	3-8	3-9			3-10			3-11	3-12	3-13			3-14		3-15																					
	Causality in family	Number of died/injured family in Aila		Damage of house by Aila?	Lose livestock	Lost livestock number by Aila			How long was inundated by tidal surge in Aila?		Inundation level at the time of Aila		How long your house was inundated by the tidal flood before the embankment successful?	Evacuation before Aila	Reason for "Not evacuate" before Aila			Time of tidal surge reached		Evacuation after tidal surge	Time of evacuation		Your concerning of home during evacuation			Evacuation Place	Place of evacuation was safe/not safe	Bringing items during evacuation in Aila (Multiple Answer)			Needs of bringing items during evacuation in Aila (Multiple Answer)			Evacuation with	Family stay in house	Who did stay in your house?			Reason of staying in house		Safe place for evacuation																						
	a. Yes b. No	Dead (No.) Injured (No.)	a. Completely destroyed b. Partially destroyed c. Minor damage d. No damage	a. Yes b. No	Cow Poultry Goat Sheep Others	How long was inundated by tidal surge in Aila? (Months / Weeks / Days/Hours)	a. Knee-High b. Stomach-High c. Shoulder-High d. Above your Head (Feet)	How long your house was inundated by the tidal flood before the embankment successful? (Day/ Month/ Year)	a. Yes b. No	a. I do not think the waves will reach my house b. Alarm is not always true c. To keep my livestock around d. To prevent theft or robbery e. To secure the income of the day f. Worry to separate family g. I do not want to pay to use the shelter h. The road to go to evacuation site is bad i. Evacuation site is far j. Storm is too strong to take shelter k. To protect the house l. I didn't know cyclone Aila comes. m. I think my residence is safer than other places. n. It is unavoidable because Allah set so o. Other	(time) (am/pm)	a. Yes b. No	(time) (am/pm)	a. I had a fear that my house and other properties may be washed away b. Evacuation site is far c. To lose my livestock d. Theft or robbery e. The income of the day f. The road to go to evacuation site is bad g. Worry to separate family h. I do not want to pay to use the shelter i. Alarm is not always true j. It is unavoidable because Allah set so k. Other	(time) (am/pm)	a. Cyclone shelter b. Top of polder c. Other's house d. Killa e. Top of trees f. Top of own house g. Community buildings (including UP Bldg, Schools, Mosques, Temple etc.) h. Other	a. Yes b. No	a. Cash b. Livestock c. Food d. Working tools (for fishing/farming) e. Radio f. Mobile phone g. Cooking tool h. Table i. Chair j. Bed k. Sleeping mat/blanket l. Aluminium roof m. Van n. Bicycle o. Clothes (sari etc.) p. Stationary (pen, note, etc.) q. Nothing r. Other	a. Cash b. Livestock c. Food d. Working tools (for fishing/farming) e. Radio f. Mobile phone g. Cooking tool h. Table i. Chair j. Bed k. Sleeping mat/blanket l. Aluminium roof m. Van n. Bicycle o. Clothes (sari etc.) p. Stationary (pen, note, etc.) q. Nothing r. Other	a. Husband/wife b. Children c. Parents (Elder persons) d. Brothers/Sisters e. Neighbours f. Other	a. Yes b. No	Age Sex (MF)	a. Respondents b. Husband/wife c. Children d. Parents (Elder persons) e. Brother/Sisters f. Other	a. I do not think the waves will reach my house b. Alarm is not always true c. To keep my livestock around d. To prevent theft or robbery e. To secure the income of the day f. Worry to separate family g. I do not want to pay to use the shelter h. The road to go to evacuation site is bad i. Evacuation site is far j. Storm is too strong to take shelter k. To protect the house l. residence is safer than other places for him/her m. It is unavoidable because Allah set so	a. Cyclone Shelter b. Top of polder c. Other's house d. Killa e. Top of Trees f. Top of Own House g. Community buildings (including UP Bldges, Schools, Mosques, Temple etc.) h. Other																																						
211	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	24	Months	d	6	2	Months	a	-	-	-	-	-	-	1:00	pm	a	5:00	pm	a	f	-	-	-	a	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	-	-	a	-								
212	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	24	Months	d	6	2	Months	b	a	l	m	-	-	-	-	-	-	5:00	pm	a	f	g	-	-	-	g	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	-	-	g	-							
213	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	24	Months	d	6	2	Months	b	a	i	j	k	-	-	-	1:00	pm	a	2:00	pm	a	f	-	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	-	-	a	-							
214	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	24	Months	d	6	2	Months	b	a	j	k	-	-	-	2:00	pm	a	4:00	pm	a	g	-	-	-	a	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	-	-	a	-								
215	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	24	Months	d	6	2	Months	b	a	l	-	-	-	-	12:30	pm	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	-								
216	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	24	Months	d	6	2	Months	b	a	l	n	-	-	-	1:00	pm	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	-								
217	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	19	Months	d	6	1	Months	b	a	f	l	n	-	-	-	1:00	pm	a	3:00	pm	a	b	-	-	-	a	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	a	-					
218	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	2	Months	d	7	2	Months	a	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12:30	pm	a	b	-	-	-	a	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	f	-	b	-	-	-	-	-	-	-	a	-						
219	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	2	Months	d	6	2	Months	b	a	c	l	n	-	-	-	12:30	pm	a	1:12	pm	a	b	-	-	-	a	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	-	-	-	-	a	-					
220	b	0	0	a	a	0	0	10	0	0	24	Months	d	6	2	Months	b	a	c	l	n	-	-	-	1:00	pm	a	2:00	pm	a	c	-	-	-	a	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	-	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	a	-					
221	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	2	Months	d	6	2	Months	b	a	c	i	n	-	-	-	2:00	pm	a	3:00	pm	a	b	-	-	-	c	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	d	b	-	-	-	-	-	-	-	-	a	-				
222	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	24	Months	d	6	2	Months	a	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2:00	pm	a	c	-	-	-	g	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	-				
223	a	1	0	a	a	0	0	15	0	0	15	Months	d	5	2	Months	b	a	f	-	-	-	-	-	11:00	am	a	2:00	pm	a	g	-	-	-	a	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	a	-				
224	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	24	Months	d	5	2	Months	b	a	f	l	-	-	-	-	1:00	pm	a	2:00	pm	a	g	-	-	-	a	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	f	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	a	-				
225	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	3	Months	d	7	30	Months	a	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	2:00	pm	a	-	-	-	c	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	b	-				
226	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	4	Months	d	7	30	Months	b	a	c	f	l	n	-	-	-	11:00	am	a	11:00	pm	a	b	g	-	-	e	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	b	-		
227	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	24	Months	d	6	24	Months	a	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	12:30	pm	a	c	-	-	-	b	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	b	-			
228	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	2	Months	d	6	24	Months	b	a	l	-	-	-	-	-	1:00	pm	a	2:00	pm	a	g	-	-	-	b	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	b	-			
229	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	24	Months	d	5	24	Months	b	a	f	-	-	-	-	-	11:00	am	a	2:00	pm	a	g	-	-	-	a	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	b	-		
230	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	23	Months	d	6	23	Months	b	a	i	-	-	-	-	-	12:30	pm	a	5:00	pm	a	b	-	-	-	a	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	e	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	-		
231	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	24	Months	d	6	24	Months	b	a	l	m	-	-	-	-	1:00	pm	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	-				
232	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	3	Months	d	7	30	Months	b	f	k	l	n	-	-	-	11:00	am	b	3:00	pm	a	c	-	-	-	b	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	-	
233	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	30	Months	d	6	25	Months	b	a	k	-	-	-	-	-	1:00	pm	b	4:00	pm	a	g	-	-	-	c	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	-		
234	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	24	Months	d	6	24	Months	a	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7:00	pm	a	b	-	-	-	c	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	-		
235	a	1	0	a	a	5	5	0	0	0	30	Months	d	6	30	Months	b	a	-	-	-	-	-	-	11:00	am	a	5:00	pm	a	c	f	-	-	c	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	c	-		
236	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	30	Months	d	6	30	Months	b	a	c	f	-	-	-	-	1:00	pm	a	5:00	pm	a	b	-	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	-	
237	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	30	Months	c	4	30	Months	b	a	c	f	-	-	-	-	1:00	pm	a	5:00	pm	a	c	g	-	-	c	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	-		
238	-	0	0	-	-	0	0	0	0	0	30	Months	d	6	26	Months	b	a	b	c	-	-	-	-	1:00	pm	a	5:00	pm	a	b	d	-	-	c	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	-	
239	-	0	0	-	-	0	0	0	0	0	30	Months	d	6	30	Months	b	a	b	-	-	-	-	-	1:00	pm	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	-
240	b	0	0	a	a	0	0	0	0	0	1	Month	d	6	30	Months	b	a	b	f	-	-	-	-	1:00	pm	b	11:00	pm	a	b	-	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	-

S.No.	4. Evacuation Behavior in Disaster of Cyclone Sidr in 2007											5. Existing alarm system in Community				6. Shelter & Polder system in Community											7. Situation of Community disaster prevention																					
	4-1	4-2		4-3	4-4		4-5		4-6		4-7		4-8		4-9	4-10		4-11		5-1	5-2		5-3	5-4	6-1	6-2	6-3	6-4	6-5	6-6	6-7		6-8	6-9	6-10	6-11		6-12	6-13		6-14	6-15	7-1	7-2	7-3	7-4	7-5	
	Evacuation before Sidr	Time of tidal surge reached		Evacuation after tidal surge	Time of evacuation		Evacuation Place		How long was inundated by tidal surge in Sidr?		Inundation level at the time of Sidr		How long your house was inundated by the tidal flood before the embankment successful?		Information about Sidr	How did you get information about Sidr?		Timing of getting information about Sidr		Information about Aila	How did you get to hear about Aila?		Timing of getting information about Aila		Most reliable source/ dissemination	Knowledge of cyclone shelter in Aila	Distance to cyclone shelter	Time to cyclone shelter in ordinary time	Road condition to cyclone shelter in Aila	Safety of cyclone shelter for women	Evacuation to cyclone shelter in Aila	Problem of cyclone shelter		Evacuation with wife/husband	Reason for "not evacuation with wife/husband"	Polder is useful for tidal wave/flood	Problem about Polder		Water Management Group (WMG) of polder	Activity of WMG		Collecting money for Polder	Amount of collecting money	Early warning about Aila	Early warning from	Radio (it can be used)	Portable radio and bring anytime	Mobile phone (it can be used)
a. Yes b. No	(time)	(am/pm)	a. Yes b. No	(time)	(am/pm)	a. Cyclone shelter b. Top of polder c. Other's house d. Killa e. Top of trees f. Top of own house g. Community buildings (including UP Bldg, Schools, Mosques, Temple etc.) h. Other	(Month/Day/Hour)	a. Knee-High b. Stomach-High c. Shoulder-High d. Above your Head	(Feet)	a. Radio b. Microphone announcement c. Flag hoisting d. Neighbours e. NGO f. Local Gov. g. Market h. TV i. Mosque j. Police k. BDR l. Other	a. Yes b. No	a. Before 2 days b. Before 1 day c. Before 12 hours d. Before 6 hours e. Before 1 hour	a. Yes b. No	a. Radio b. Microphone announcement c. Flag hoisting d. Neighbours e. NGO f. Local Gov. g. Market h. TV i. Mosque j. Police k. BDR l. Other	a. Yes b. No	a. Before 2 days b. Before 1 day c. Before 12 hours d. Before 6 hours e. Before 1 hour f. Not at all	a. Yes b. No	(km)	(Minutes by foot)	a. Yes b. No	a. Yes b. No	a. Yes b. No	a. Yes b. No	a. Too many people b. Lack of sanitation c. Lack of water d. No separate space for women e. Lack of maintenance f. No problem g. Other	a. Yes b. No	a. She was working in field b. Women should not go out c. Livestock should be kept by women d. She was out e. Shelter is not safe for women f. Other	a. Yes b. No	a. Embankment height was not enough b. Embankment structure was weak c. Drainage problem d. Other	a. Yes b. No	a. Management of sluice gate b. Management and rehabilitation of existing embankment c. Construction of alternative embankment d. Management and rehabilitation of road e. Management of land owned by BWDB f. Monitoring status of existing embankment	a. Yes b. No	(Tk/month)	a. Yes b. No	a. CPP b. Religious Leaders c. Teachers d. Community Leaders e. UP members f. Community volunteers g. Others	a. Yes b. No	a. Yes b. No	a. Yes b. No	a. Yes b. No	a. Yes b. No									
211	a	11:00	pm	b	-	-	-	8	Hours	a	2	15	Days	a	a	b	-	-	d	b	-	-	-	-	-	a	a	1	22	b	a	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	b	b	b	
212	b	-	-	b	-	-	-	6	Hours	a	2	17	Days	a	b	-	-	-	d	b	-	-	-	-	-	a	a	1	27	b	a	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	b	b	a	
213	a	12:30	am	b	-	-	-	5	Hours	a	2	13	Days	a	a	b	c	-	b	b	-	-	-	-	-	a	a	3	42	b	a	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	b	b	a	
214	b	-	-	b	-	-	-	7	Hours	b	2	11	Days	a	a	b	-	-	b	b	-	-	-	-	-	a	a	0.25	7	b	a	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	a	-	b	b	a	
215	b	-	-	b	-	-	-	6	Hours	b	2	15	Days	a	a	b	i	-	b	a	a	b	i	-	-	b	a	a	0.75	17	b	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	a	b	b	b	
216	b	-	-	b	-	-	-	6	Hours	a	3	20	Days	b	-	-	-	-	d	a	a	b	-	-	-	b	a	b	0.75	17	b	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	a	a	b
217	b	-	-	b	-	-	-	6	Hours	a	3	6	Days	a	a	b	-	-	d	b	-	-	-	-	-	a	a	0.85	12	a	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	a	a	a	
218	b	-	-	b	-	-	-	6	Hours	a	2	12	Days	a	a	b	d	-	-	b	-	-	-	-	-	a	a	0.5	10	a	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	b	b	b	
219	a	12:00	pm	b	-	-	-	24	Hours	b	3	6	Days	a	b	d	-	-	d	b	-	-	-	-	-	a	a	0.75	0-Jan	a	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	b	a	b	
220	b	-	-	a	-	-	-	12	Hours	b	3	25	Days	b	-	-	-	-	-	b	-	-	-	-	-	a	a	0.5	12	b	b	a	-	-	-	a	a	b	-	b	-	-	b	-	b	b	a	
221	b	1:00	pm	b	-	-	-	12	Hours	b	3	15	Days	a	a	b	f	-	-	d	b	-	-	-	-	-	a	a	2	30	a	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	b	b	a
222	a	1:00	pm	b	-	-	-	12	Hours	-	-	20	Days	a	a	b	f	-	-	-	b	-	-	-	-	-	a	a	2	40	b	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	b	b	a
223	b	-	-	b	-	-	-	-	-	a	2	-	-	-	a	-	-	-	-	a	a	b	i	-	-	-	a	a	2	35	a	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	a	-	b	b	b
224	b	-	-	b	-	-	-	6	Hours	-	-	12	Days	b	-	-	-	-	-	b	-	-	-	-	-	a	a	0.5	6	a	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	b	b	b	
225	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	a	h	-	-	d	b	-	-	-	-	-	a	a	2	40	b	-	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	b	b	a	
226	b	-	-	-	-	-	-	-	-	b	-	-	-	-	b	-	-	-	-	b	-	-	-	-	-	b	a	2	35	b	a	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	b	b	a	
227	b	-	-	-	-	-	-	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	b	-	-	-	-	-	a	a	0.75	15	a	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	a	a	b	
228	b	-	-	-	-	-	-	-	c	-	18	Months	b	-	-	-	-	-	-	a	a	h	-	-	-	c	a	b	1	20	a	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	b	b	b
229	b	-	-	-	-	-	-	-	a	-	20	Days	a	a	b	d	i	-	b	a	a	b	d	h	i	-	b	a	2	30	b	a	b	-	-	-	b	a	c	-	b	-	-	a	b	b	b	a
230	b	-	-	-	-	-	-	-	a	-	2	Months	a	a	b	h	-	-	-	b	-	-	-	-	-	a	a	0.8	12	a	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	b	b	a	
231	b	-	-	-	-	-	-	-	h	-	1	Month	b	-	-	-	-	-	-	b	-	-	-	-	-	a	a	1	22	b	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	b	b	b	
232	b	-	-	-	-	-	-	-	b	-	2	Months	a	a	b	i	-	-	-	b	-	-	-	-	-	a	a	2	42	b	a	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	a	b	a	
233	b	-	-	-	-	-	-	-	d	-	2	Months	a	a	h	i	-	-	-	b	-	-	-	-	-	a	a	1	22	b	a	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	b	b	a	
234	b	-	-	-	-	-	-	-	c	-	6	Months	a	a	b	h	-	-	-	b	-	-	-	-	-	a	a	2	50	b	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	b	b	a	
235	b	-	-	-	-	-	-	-	d	-	1	Month	b	-	-	-	-	-	-	a	a	b	-	-	-	d	a	a	2	50	a	a	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	b	b	a
236	b	-	-	-	-	-	-	-	c	-	15	Days	a	a	b	-	-	-	-	b	-	-	-	-	-	a	b	0	0	-	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	b	b	a	
237	b	-	-	-	-	-	-	-	d	-	1	Month	a	a	b	c	-	-	-	b	-	-	-	-	-	a	b	0	0	-	a	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	a	b	a	
238	b	-	-	-	-	-	-	-	c	-	1	Month	b	-	-	-	-	-	-	a	a	b	-	-	-	b	a	2	70	-	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	b	b	b	
239	b	-	-	-	-	-	-	-	c	-	1	Month	b	-	-	-	-	-	-	a	a	b	-	-	-	d	a	a	1	50	b	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	b	b	a
240	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	Month	b	-	-	-	-	-	-	a	a	b	-	-	-	d	a	a	4	60	b	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	b	-	b	b	a

S.No.	8. Assistant for community after cyclone damage.											9. Situation of Basic Infrastructure (Drinking Water, Irrigation, Drainage, Electricity)											10. Difficulty and Needs				
	8-1	8-2	8-3	8-4	8-5	8-6	8-7	8-8	8-9				8-10	8-11	9-1	9-2	9-3	9-4	9-5	9-6	9-7	9-8	9-9	9-10	9-11	9-12	10
	Using microcredit system for reconstruction	Amount of borrowing money	Borrowing money from	Debt of microcredit before Aila	Debt moratorium after Aila	Debt moratorium	First rationed goods after Aila	First rationed goods after Sidr	Rationed goods after Aila				Support (now)	Rationed goods (now)	Water sources for drinking water in rainy reason	Water sources for drinking water in dry reason	Water sources for drinking water immediately after Aila	Water sources for drinking water now	Concerning about water	Main reason of large reduction of crop yields after cyclone	Light item before Aila	Light item immediately after cyclone damage	Light item now	Road condition to the nearest Cyclone shelter before Aila	Road condition to the nearest Cyclone shelter immediately after Cyclone	Road condition to the nearest Cyclone shelter now	(Free Answer)
	a. Yes b. No	Total (Tk)	a. Grameen Bank b. BRAC c. ASA d. Gammukhi e. SUS f. Caritas g. Krishi Bank h. BRDB i. Other	a. Yes b. No	a. Yes b. No	(month)	After (day)	After (day)	a. Rice b. Wheat c. Water d. Oil e. Cooking tools f. Tent g. Plastic sheet h. Blanket i. Cash j. Other	a. VGD b. Cash for Work c. Food for Work d. Housing e. Cash f. Nothing g. Other	a. Rice b. Wheat c. Water d. Oil e. Cash f. Nothing g. Other	a. Shallow Well b. Deep Well c. River water d. Pond water e. Rain water f. Potable Water g. Buy mineral water h. Other	a. Shallow Well b. Deep Well c. River water d. Pond water e. Rain water f. Potable Water g. Buy mineral water h. Other	a. Shallow Well b. Deep Well c. River water d. Pond water e. Rain water f. Potable Water g. Buy mineral water h. Other	a. Shallow Well b. Deep Well c. River water d. Pond water e. Rain water f. Potable Water g. Buy mineral water h. Other	a. Color of Drinking Water b. Odor of Drinking Water c. Quality of Drinking Water d. Cost of Water e. Availability of Water f. Drought g. Flood h. Climate Change i. Salt Water Intrusion j. Arsenic Contaminated Water k. Other	a. Droughts / Water Shortage b. Intrusion of seawater c. Lack of manpower d. Lack of Nutrient Soil e. Existence of Harmful Insects f. Other	a. Electricity b. Generator c. Solar power d. Kerosene Lump e. Candle light f. Other	a. Electricity b. Generator c. Solar power d. Kerosene Lump e. Candle light f. Other	a. Electricity b. Generator c. Solar power d. Kerosene Lump e. Candle light f. Other	a. Good (you can walk) b. Bad (You can walk but difficult) c. Very bad (You cannot walk)	a. Good (you can walk) b. Bad (You can walk but difficult) c. Very bad (You cannot walk)	a. Good (you can walk) b. Bad (You can walk but difficult) c. Very bad (You cannot walk)				
211	b	-	-	b	-	0	7	2	a d f g j - - - -	e	f	b - - -	b - - -	b - - -	b - - -	g - - -	a b - -	d - -	d - -	d - -	a	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center			
212	a	20,000.00	i -	b -	-	0	7	22	a c e f h j - - - -	e	f	b - - -	b - - -	b - - -	b - - -	g - - -	a b - -	d - -	d e c -	-	a	c	a	Food, Reconstruction House, Road & Embankment			
213	a	5,000.00	d -	a a	a	12	2	0	a c d e f j - - - -	e	f	b e - -	b f	b f - -	b f - -	e f i	a b - -	d - -	d - -	d - -	a	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center			
214	b	-	-	b -	-	0	5	0	a c d e g - - - -	e	f	b f - -	b f	b f - -	b f - -	g e i	a b - -	d - -	d e c -	-	a	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center			
215	a	5,000.00	d -	b -	-	0	5	0	a c d e f h - - - -	e	f	b f - -	b f	b f - -	b - -	b e i	a b - -	d - -	d - -	d - -	a	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center			
216	a	5,000.00	d -	b -	-	0	1	7	a d j - - - - -	e	f	b - - -	b - - -	b - - -	b - - -	i - - -	a b - -	d - -	d - -	d - -	a	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center			
217	a	2,000.00	b -	b -	-	0	1	1	a - - - - -	e	f	b - - -	b - - -	b - - -	b - - -	h i - -	a b - -	d - -	e - -	d - -	b	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center			
218	b	-	-	a a	a	6	1	1	a c d g - - - - -	e	f	b e - -	b - -	b - -	b - -	k - - -	b - - -	d - -	d e c -	-	b	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center			
219	b	-	-	b -	-	0	7	10	a c d f g i - - - -	e	f	b e - -	b - -	f - - -	b - - -	c - - -	b - - -	d e d e d -	-	b	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center				
220	a	10,000.00	a -	a a	a	3	20	0	a d g - - - - -	e	f	b f - -	b f	b f - -	b f - -	a b - -	d - -	d e c -	-	b	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center				
221	a	10,000.00	i -	b -	-	0	7	0	a d f g - - - - -	e	f	b - - -	b - - -	b f - -	b - - -	- - - -	a b - -	d - -	d - -	c - -	b	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center			
222	a	10,000.00	d -	b -	-	0	7	0	a g - - - - -	e	f	b - - -	b - - -	b f - -	b - - -	- - - -	a b - -	d - -	d e c -	-	b	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center			
223	b	-	-	a a	a	3	0	0	a c f e - - - - -	e	f	b e - -	b - -	b - -	b - -	d - - -	b - - -	d - -	d e d -	-	b	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center			
224	b	-	-	-	-	0	0	0	a c d e i - - - - -	e	f	b f - -	b f	b f - -	b f - -	g - - -	a b - -	d - -	d - -	d - -	a	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center			
225	b	-	-	a a	a	6	4	7	a c d e f g h - - - -	e	f	b - - -	b - -	b - -	b - -	a b - -	a b - -	d - -	d e d -	-	a	c	c	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center			
226	a	3,000.00	d -	a a	a	12	3	16	a c d e f h i j - - - -	e	f	b e f	b f	b f - -	b - -	k g i	a b - -	d e - -	c - -	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center			
227	a	10,000.00	d -	a a	a	4	1	1	a c d e f h i - - - -	e	f	b f - -	b f	b f - -	b f - -	- - - -	a b - -	d - -	d - -	c - -	a	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center			
228	b	-	-	b a	a	0	1	1	a c e f - - - - -	e	f	b e - -	b - -	b e - -	b e - -	i - - -	a b - -	d - -	d - -	d - -	a	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center			
229	b	-	-	a a	a	6	3	0	a e f j - - - - -	e	f	b e f	b f	g h - -	b f c g i	a b - -	d - -	d - -	a - -	-	a	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center			
230	b	-	-	b b	b	1	1	1	a c d f i - - - - -	e	f	b - - -	b - -	b - -	b - -	- - - -	a b - -	d - -	d e d -	-	a	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center			
231	b	-	b -	-	-	0	1	1	a c d h i - - - - -	e	f	b - - -	b - -	b - -	b - -	- - - -	a b - -	d e d e d -	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center				
232	b	-	-	b -	-	0	15	0	a c h i - - - - -	e	f	b - - -	b - -	b - -	b - -	- - - -	a b - -	d e e - -	c - -	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center			
233	a	20,000.00	d -	a a	a	3	15	0	a c d i j - - - - -	e	f	b f - -	b f	b f - -	b f - -	- - - -	a b - -	d - -	e - -	c d	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center			
234	b	-	-	b -	-	0	7	6	a c f h i - - - - -	e	f	b e - -	b - -	b - -	b - -	- - - -	b - - -	d e d e d -	-	b	a	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center				
235	b	-	-	a -	-	0	1	1	a c d f - - - - -	e	f	b - - -	b - -	b - -	b - -	e h - -	a b - -	d - -	e - -	d - -	a	b	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center			
236	b	-	-	b -	-	0	2	3	a c d f h - - - - -	e	f	b - - -	b - -	b - -	b - -	h i - -	a b - -	d - -	d - -	c - -	b	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center			
237	a	15,000.00	d -	a a	a	4	0	1	a c d e h - - - - -	e	f	b - - -	b - -	b - -	b - -	h j - -	a b - -	d - -	d - -	d - -	b	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center			
238	a	10,000.00	a -	a a	a	5	4	0	a c f - - - - -	e	f	b - - -	b - -	b - -	b - -	j - - -	a b - -	d - -	d - -	d - -	b	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center			
239	b	-	a -	a -	-	30	5	1	a c d f - - - - -	e	f	b - - -	b - -	b f - -	b - -	h i - -	a b - -	d - -	d e c -	-	a	b	c	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center			
240	b	-	b -	b -	-	3	7	1	a c d f - - - - -	e	f	b - - -	b - -	b f - -	b - -	h i - -	a b - -	d - -	d e c -	-	a	b	c	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center			

POLDER 32②

1. Respondent and Family Information

S.No.	Polder No.	Thana	Union	Village	HH No.	Sex (M/F)	Age	Educational Background	1-1. General information					1-2	1-3. Who did leave the place after Aila?				1-4	1-5		1-6		1-7		1-8		1-9					1-10					1-11	1-12	1-13	1-14	1-15							
									Religion	Relation to Head	Number of Family Members					Did family member leave this place for living after Aila? a. Yes b. No	Age	Sex (M/F)		Relation to Head	Where did he/she go? (Place)		Main Income Resource before Aila: Average Income (Tk./Month)	Main Income Recourse after Aila (current situation): Average Income (Tk./Month)		Own Land area (before Aila) Own Land (Decimal) Gov. Land (Khas Land) (Decimal)	Own Land area (After Aila) current situation Own Land (Decimal) Gov. Land (Khas Land) (Decimal)	Livestock number of family before Aila					Livestock number of family after Aila					House Category before Aila	House category after Aila	Refuge after Aila	Place for refuge after Aila	How long did you stay there? (Months / Weeks / Days)							
											a. Muslim b. Hindu c. Buddhism d. Christian e. Other	a. head b. spouse c. son/daughter d. father/mother e. brother/sister f. son/daughter in law g. Sister/Brother in law h. grandchild i. grandparent j. other relatives k. non-relatives	Male		Female						Total	Boy (< 12 years old)		Girl (< 12 years old)	a. head b. spouse c. son/daughter d. father/mother e. brother/sister f. son/daughter in law g. Sister/Brother in law h. grandchild i. grandparent j. other relatives k. non-relatives			Prefecture	Thana:	No. of leaving persons.	a. Shrimp Labor b. Shrimp Business c. Agriculture Farming d. Agriculture Labor e. Fishing Business f. Fishing Labor g. Rural Transport h. Shopkeeper i. Relief (including CFW, FFW and CFT) j. Other	a. Shrimp Labor b. Shrimp Business c. Agriculture Farming d. Agriculture Labor e. Fishing Business f. Fishing Labor g. Rural Transport h. Shopkeeper i. Relief (including CFW, FFW and CFT) j. Other	Own Land (Decimal)	Gov. Land (Khas Land) (Decimal)	Own Land (Decimal)	Gov. Land (Khas Land) (Decimal)	Cow						Poultry	Goat	Sheep	Others	Cow	Poultry	Goat
241	32 ②	Dacope	Kamar Khola	Jaliakhali	455	F	35	0	b	b	2	2	4	0	0	b	-	-	-	-	-	3,500.00	f	-	5,000.00	e	-	7	0	7	0	0	0	10	8	0	0	0	0	0	0	0	g	e	a	b	32	Weeks	
242	32 ②	Dacope	Kamar Khola	Jaliakhali	455	F	50	0	b	b	2	3	5	0	1	b	-	-	-	-	-	3,000.00	a	-	2,300.00	f	-	2	0	2	0	0	0	7	6	0	0	0	0	3	0	0	4	c	c	a	b	1	Week
243	32 ②	Dacope	Kamar Khola	Jaliakhali	455	M	48	0	a	a	3	1	4	0	0	b	-	-	-	-	-	3,000.00	b	-	2,500.00	j	-	8	0	1.08	0	0	0	20	0	0	0	0	7	0	0	0	e	e	b	-	-	-	
244	32 ②	Dacope	Kamar Khola	Jaliakhali	455	F	50	0	a	b	0	4	4	0	2	b	-	-	-	-	-	3,500.00	d	-	3,000.00	d	-	4	0	4	0	0	0	6	0	0	0	0	2	0	0	0	e	e	b	-	-	-	
245	32 ②	Dacope	Kamar Khola	Jaliakhali	455	F	27	5	a	b	4	2	6	3	0	b	-	-	-	-	-	3,000.00	a	-	2,200.00	j	-	0.33	0	0.33	0	0	0	12	0	0	0	0	7	0	0	0	c	c	b	-	-	-	
246	32 ②	Dacope	Kamar Khola	Jaliakhali	455	M	48	0	a	a	2	2	4	0	0	b	-	-	-	-	-	5,000.00	a	-	4,000.00	a	-	0.43	0	0.43	0	0	16	0	0	0	0	10	0	0	0	e	e	b	-	-	-		
247	32 ②	Dacope	Kamar Khola	Jaliakhali	455	M	58	5	b	a	3	3	6	0	0	b	-	-	-	-	-	10,000.00	c	-	10,000.00	b	-	1.33	0	1.33	0	4	25	0	0	0	0	20	0	0	0	c	c	b	-	-	-		
248	32 ②	Dacope	Kamar Khola	Jaliakhali	455	M	72	7	b	a	3	2	5	0	0	b	-	-	-	-	-	20,000.00	d	-	15,000.00	c	d	5	0	3.04	0	0	20	0	0	0	0	0	1	0	0	c	c	a	c	1	Week		
249	32 ②	Dacope	Kamar Khola	Jaliakhali	455	F	30	0	b	b	1	4	5	0	2	b	-	-	-	-	-	3,500.00	e	-	2,000.00	f	-	5	0	3.04	0	0	8	0	0	0	0	1	0	0	0	c	c	a	c	6	Weeks		
250	32 ②	Dacope	Kamar Khola	Jaliakhali	455	F	55	0	b	b	3	3	6	0	1	b	-	-	-	-	-	7,000.00	e	-	5,000.00	h	-	0.16	1.5	0.16	1.5	0	15	0	0	0	0	4	0	0	0	c	c	a	c	1	Week		
251	32 ②	Dacope	Kamar Khola	Jaliakhali	455	M	55	4	b	a	2	3	5	0	0	b	-	-	-	-	-	8,000.00	d	-	6,000.00	h	-	5	0	5	0	0	20	0	0	0	0	1	0	0	0	c	c	a	e	4	Weeks		
252	32 ②	Dacope	Kamar Khola	Jaliakhali	455	F	42	6	b	b	3	3	6	0	0	b	-	-	-	-	-	7,000.00	a	-	4,000.00	b	-	38	0	38	0	0	12	0	0	0	0	5	3	0	0	c	c	a	b	8	Weeks		
253	32 ②	Dacope	Kamar Khola	Jaliakhali	455	F	16	10	b	c	2	2	4	0	0	b	-	-	-	-	-	4,000.00	d	-	3,000.00	b	-	6	0	6	0	0	10	0	0	0	0	4	0	0	0	f	e	a	c	8	Weeks		
254	32 ②	Dacope	Kamar Khola	Jaliakhali	455	M	26	12	a	c	5	4	9	2	0	b	-	-	-	-	-	4,000.00	g	-	2,500.00	g	-	4	0	4	0	0	30	0	0	0	0	9	0	0	0	f	c	a	a	1	Week		
255	32 ②	Dacope	Kamar Khola	Jaliakhali	455	M	35	5	b	a	1	1	2	0	0	b	-	-	-	-	-	6,000.00	e	-	2,500.00	d	-	1.8	0	0	0	0	15	2	0	0	0	0	0	0	0	f	b	a	b	252	Weeks		
256	32 ②	Dacope	Kamar Khola	Jaliakhali	455	M	65	9	b	a	2	1	3	1	0	b	-	-	-	-	-	4,000.00	h	-	3,500.00	h	-	10	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	f	e	b	-	-	-		
257	32 ②	Dacope	Kamar Khola	Jaliakhali	455	M	32	5	b	a	1	4	5	3	0	b	-	-	-	-	-	4,000.00	f	-	2,000.00	d	-	8	0	0	0	0	5	0	0	0	0	2	0	0	0	f	e	a	b	252	Weeks		
258	32 ②	Dacope	Kamar Khola	Jaliakhali	455	F	62	2	b	b	2	3	5	0	1	b	-	-	-	-	-	3,500.00	d	-	3,000.00	d	-	65	0	25	0	0	12	0	0	0	0	5	0	0	0	f	e	b	-	-	-		
259	32 ②	Dacope	Kamar Khola	Jaliakhali	455	M	81	2	b	a	3	3	6	1	1	b	-	-	-	-	-	2,500.00	b	-	2,000.00	b	-	2.48	0	1.02	0	0	35	3	0	0	0	4	1	0	0	f	c	a	f	36	Weeks		
260	32 ②	Dacope	Kamar Khola	Jaliakhali	455	M	53	2	a	a	4	3	7	0	0	b	-	-	-	-	-	4,000.00	d	-	4,000.00	f	-	4	0	0	0	0	14	0	0	0	0	4	0	0	0	f	c	b	-	-	-		
261	32 ②	Dacope	Kamar Khola	Jaliakhali	455	M	76	3	a	a	2	3	5	1	1	b	-	-	-	-	-	3,000.00	d	-	2,000.00	d	-	4	0	0	0	0	20	0	0	0	0	2	0	0	0	f	e	b	-	-	-		
262	32 ②	Dacope	Kamar Khola	Jaliakhali	455	M	58	0	b	a	3	2	5	0	0	b	-	-	-	-	-	2,500.00	h	-	2,000.00	h	-	8.5	0	8.5	0	0	30	0	0	0	0	5	0	0	0	f	e	b	-	-	-		
263	32 ②	Dacope	Kamar Khola	Jaliakhali	455	M	52	5	b	a	2	2	4	0	0	b	-	-	-	-	-	5,000.00	e	-	2,000.00	d	-	17	0	17	0	0	9	0	0	0	0	4	1	0	0	g	g	a	b	1	Week		
264	32 ②	Dacope	Kamar Khola	Jaliakhali	455	M	29	10	b	a	2	1	3	1	0	b	-	-	-	-	-	8,000.00	b	-	1,800.00	d	-	3.08	0	2.08	0	0	15	17	0	0	0	7	4	0	0	c	c	a	a	1	Week		
265	32 ②	Dacope	Kamar Khola	Jaliakhali	455	F	35	4	b	b	2	2	4	1	1	b	-	-	-	-	-	5,000.00	f	-	2,000.00	c	-	2.33	0	1.33	0	0	37	15	10	0	2	9	3	0	0	g	e	a	a	2	Weeks		
266	32 ②	Dacope	Kamar Khola	Jaliakhali	455	F	35	2	a	b	2	3	5	1	1	b	-	-	-	-	-	5,000.00	e	-	4,000.00	e	-	10	0	10	0	0	20	3	0	0	0	0	0	0	0	c	c	a	f	1	Week		
267	32 ②	Dacope	Kamar Khola	Jaliakhali	455	M	45	5	b	a	4	3	7	0	1	b	-	-	-	-	-	6,000.00	f	-	4,000.00	f	-	6	0	6	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	f	c	b	-	-	-		
268	32 ②	Dacope	Kamar Khola	Jaliakhali	455	F	45	7	b	b	3	4	7	0	1	b	-	-	-	-	-	6,000.00	d	-	5,000.00	d	-	6	0	6	0	0	10	0	0	0	0	7	0	0	0	c	c	b	-	-	-		
269	32 ②	Dacope	Kamar Khola	Jaliakhali	455	F	20	11	b	b	2	3	5	0	1	b	-	-	-	-	-	4,000.00	g	-	4,000.00	g	-	6	0	6	0	0	10	0	0	0	0	5	0	0	0	f	e	b	-	-	-		
270	32 ②	Dacope	Kamar Khola	Jaliakhali	455	F	22	7	a	b	4	4	8	0	1	b	-	-	-	-	-	5,000.00	b	-	2,500.00	b	-	55	0	55	0	0	10	12	0	0	0	4	4	0	0	c	c	b	-	-	-		

S.No.	2. Affected Situation of Cyclone Aila in 2009													3. Evacuation Behavior in Disaster of Cyclone Aila in 2009																																												
	2-1		2-2		2-3		2-4		2-5			2-6		2-7		2-8		3-1		3-2			3-3		3-4		3-5		3-6			3-7		3-8		3-9			3-10			3-11			3-12		3-13			3-14			3-15					
	Causality in family	Number of died/injured family in Aila	Damage of house by Aila?	Lose livestock	Lost livestock number by Aila					How long was inundated by tidal surge in Aila?	Inundation level at the time of Aila	How long your house was inundated by the tidal flood before the embankment successful?	Evacuation before Aila	Reason for "Not evacuate" before Aila						Time of tidal surge reached	Evacuation after tidal surge	Time of evacuation	Your concerning of home during evacuation			Evacuation Place	Place of evacuation was safe/not safe	Bringing items during evacuation in Aila (Multiple Answer)			Needs of bringing items during evacuation in Aila (Multiple Answer)			Evacuation with			Family stay in house	Who did stay in your house?			Reason of staying in house			Safe place for evacuation														
a. Yes b. No	Dead (No.) Injured (No.)	a. Completely destroyed b. Partially destroyed c. Minor damage d. No damage	a. Yes b. No	Cow	Poultry	Goat	Sheep	Others	a. Knee-High b. Stomach-High c. Shoulder-High d. Above your Head	(Feet)	a. Yes b. No	a. I do not think the waves will reach my house b. Alarm is not always true c. To keep my livestock around d. To prevent theft or robbery e. To secure the income of the day f. Worry to separate family g. I do not want to pay to use the shelter h. The road to go to evacuation site is bad i. Evacuation site is far j. Storm is too strong to take shelter k. To protect the house l. I didn't know cyclone Aila comes. m. I think my residence is safer than other places. n. It is unavoidable because Allah set so o. Other						(time) (am/pm)	a. Yes b. No	(time) (am/pm)	a. I had a fear that my house and other properties may be washed away b. Evacuation site is far c. To lose my livestock d. Theft or robbery e. The income of the day f. The road to go to evacuation site is bad g. Worry to separate family h. I do not want to pay to use the shelter i. Alarm is not always true j. It is unavoidable because Allah set so k. Other			a. Cyclone shelter b. Top of polder c. Other's house d. Killa e. Top of trees f. Top of own house g. Community buildings (including UP Bldg, Schools, Mosques, Temple etc.) h. Other	a. Yes b. No	a. Cash b. Livestock c. Food d. Working tools (for fishing/farming) e. Radio f. Mobile phone g. Cooking tool h. Table i. Chair J. Bed k. Sleeping mat/blanket l. Aluminium roof m. Van n. Bicycle o. Clothes (sari etc.) p. Stationary (pen, note, etc.) q. Nothing r. Other	a. Cash b. Livestock c. Food d. Working tools (for fishing/farming) e. Radio f. Mobile phone g. Cooking tool h. Table i. Chair J. Bed k. Sleeping mat/blanket l. Aluminium roof m. Van n. Bicycle o. Clothes (sari etc.) p. Stationary (pen, note, etc.) q. Nothing r. Other	a. Husband/wife b. Children c. Parents (Elder persons) d. Brothers/Sisters e. Neighbours f. Other	a. Yes b. No	Age (M/F)	a. Respondents b. Husband/wife c. Children d. Parents (Elder persons) e. Brother/Sisters f. Other	a. I do not think the waves will reach my house b. Alarm is not always true c. To keep my livestock around d. To prevent theft or robbery e. To secure the income of the day f. Worry to separate family g. I do not want to pay to use the shelter h. The road to go to evacuation site is bad i. Evacuation site is far j. Storm is too strong to take shelter k. To protect the house l. residence is safer than other places for him/her m. It is unavoidable because Allah set so	a. Cyclone Shelter b. Top of polder c. Other's house d. Killa e. Top of Trees f. Top of Own House g. Community buildings (including UP Bldges, Schools, Mosques, Temple etc.) h. Other																									
241	a	0	1	a	a	0	0	10	8	0	13	Months	d	7	1.1	Months	b	j	k	l	-	-	-	-	1:00	pm	a	2:00	pm	a	b	j	-	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	a	b			
242	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	2	Months	b	3	2	Months	b	k	-	-	-	-	-	-	1:00	pm	a	2:00	pm	b	-	-	-	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	b	-			
243	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	0.5	Months	d	50	0.4	Months	b	a	f	i	-	-	-	-	2:00	pm	a	3:00	pm	a	b	g	-	-	-	e	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	a	-			
244	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	0.5	Months	d	4	0.4	Months	b	a	i	-	-	-	-	2:00	pm	a	3:00	pm	a	b	g	-	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	d	-	b	-	-	-	a	-				
245	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	0.5	Months	d	5	0.4	Months	b	a	f	i	-	-	-	-	1:00	pm	a	3:00	pm	a	b	g	-	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	a	-			
246	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	0.5	Months	c	4	0.4	Months	b	a	f	-	-	-	-	1:00	pm	a	3:00	pm	a	f	-	-	-	b	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	b	-					
247	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	0.5	Months	d	5	0.4	Months	a	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11:00	am	a	-	-	-	-	-	c	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	d	b	-	-	-	a	-				
248	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	0.5	Months	b	3	1	Month	b	a	f	j	-	-	-	-	12:00	am	a	1:00	am	a	j	-	-	-	c	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	d	b	-	-	-	a	-				
249	a	0	1	a	a	0	0	8	0	0	3	Months	b	3	1	Month	b	f	j	k	l	m	n	n	12:00	pm	a	3:00	pm	a	c	j	-	-	-	c	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	a	-			
250	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	0.5	Months	b	4	0.4	Months	b	f	l	m	-	-	-	-	3:00	pm	a	6:00	pm	a	f	i	-	-	-	c	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	a	g			
251	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	0.5	Months	b	4	0.4	Months	b	j	l	n	-	-	-	-	3:00	pm	a	6:00	pm	a	g	j	-	-	-	c	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	a	65	M	d	d	k	a	g	
252	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	0.5	Months	b	4	0.4	Months	b	f	j	l	-	-	-	-	1:00	pm	a	6:00	pm	a	g	j	-	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	a	g			
253	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	6	Months	d	6	3	Months	b	a	l	-	-	-	-	-	1:00	pm	a	4:00	pm	a	c	-	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	a	b				
254	a	0	1	a	a	0	0	30	0	0	1	Month	b	3	0.5	Months	b	a	j	l	-	-	-	-	1:00	pm	a	2:00	pm	a	c	f	-	-	-	b	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	a	b			
255	a	0	2	a	a	0	0	15	2	0	252	Months	d	6	3	Months	b	a	l	-	-	-	-	-	1:00	pm	a	5:00	pm	a	c	g	-	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	a	b			
256	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	0.01	Months	c	4	0.5	Months	b	f	k	l	n	-	-	-	11:00	am	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	b	-					
257	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	0.5	Months	c	4	0.5	Months	b	k	l	n	-	-	-	-	11:00	am	a	11:30	am	a	g	-	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	a	-				
258	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	12	Months	d	5	1.5	Months	b	a	h	-	-	-	-	-	11:00	am	a	4:00	pm	a	-	-	-	-	c	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	a	-				
259	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	0.4	Months	d	5	1	Month	b	f	j	k	-	-	-	-	10:00	am	a	4:00	pm	a	b	g	-	-	-	h	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	a	-			
260	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	0.4	Months	b	3	1.5	Months	b	k	-	-	-	-	-	-	11:00	am	a	5:00	pm	a	g	-	-	-	b	a	i	-	-	-	a	c	e	g	a	b	-	-	b	-	-	-	a	-				
261	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	0.4	Months	c	4	2	Months	b	a	f	-	-	-	-	-	11:00	am	a	9:00	pm	a	e	-	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	a	-				
262	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	0.4	Months	b	3	1	Month	b	a	b	f	-	-	-	-	10:00	am	a	1:00	pm	a	c	g	-	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	a	g			
263	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	3	Hours	c	4	3	Months	b	j	k	l	n	-	-	-	11:00	am	a	6:00	pm	a	g	j	-	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	a	-			
264	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	4	Hours	d	5	2	Months	b	j	l	n	-	-	-	-	12:00	pm	a	3:00	pm	a	b	g	j	-	-	-	c	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	a	27	M	a	d	k	a	-
265	a	0	1	a	a	0	0	15	2	3	4	Hours	c	5	2	Months	a	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1:00	pm	a	f	g	j	-	-	-	a	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	a	-			
266	a	0	1	a	a	0	0	20	3	0	2	Months	b	3	1	Year	b	a	f	m	-	-	-	-	1:00	pm	a	6:00	pm	a	f	-	-	-	c	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	d	b	-	-	-	a	-				
267	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	15	Months	c	4	3	Years	b	a	f	k	-	-	-	-	11:00	pm	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	-					
268	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	22	Days	d	5	3	Months	a	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5:00	pm	g	j	-	-	-	-	b	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	a	-				
269	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	20	Days	d	5	3	Months	b	a	k	l	m	-	-	-	11:00	am	a	10:00	pm	a	-	-	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	a	-				
270	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0	15	Days	c	4	3	Months	b	a	f	i	-	-	-	-	11:00	pm	a	2:00	pm	a	c	-	-	-	b	a	a	f	k	-	-	-	d	g	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	a	-		

S.No.	4. Evacuation Behavior in Disaster of Cyclone Sidr in 2007											5. Existing alarm system in Community				6. Shelter & Polder system in Community											7. Situation of Community disaster prevention																		
	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5	4-6	4-7	4-8	4-9	4-10	4-11	5-1	5-2	5-3	5-4	6-1	6-2	6-3	6-4	6-5	6-6	6-7	6-8	6-9	6-10	6-11	6-12	6-13	6-14	6-15	7-1	7-2	7-3	7-4	7-5										
	Evacuation before Sidr a. Yes b. No	Time of tidal surge reached (time) (am/pm)	Evacuation after tidal surge a. Yes b. No	Time of evacuation (time) (am/pm)	Evacuation Place a. Cyclone shelter b. Top of polder c. Other's house d. Killa e. Top of trees f. Top of own house g. Community buildings (including UP Bldg, Schools, Mosques, Temple etc.) h. Other	How long was inundated by tidal surge in Sidr? (Month/Day/Hours)	Inundation level at the time of Sidr a. Knee-High b. Stomach-High c. Shoulder-High d. Above your Head (Feet)	How long your house was inundated by the tidal flood before the embankment successful? (Day/ Month/ Year)	Information about Sidr a. Yes b. No	How did you get information about Sidr? a. Radio b. Microphone announcement c. Flag hoisting d. Neighbours e. NGO f. Local Gov. g. Market h. TV i. Mosque j. Police k. BDR l. Other	Timing of getting information about Sidr a. Before 2 days b. Before 1 day c. Before 12 hours d. Before 6 hours e. Before 1 hour	Information about Aila a. Yes b. No	How did you get to hear about Aila? a. Radio b. Microphone announcement c. Flag hoisting d. Neighbours e. NGO f. Local Gov. g. Market h. TV i. Mosque j. Police k. BDR l. Other	Timing of getting information about Aila a. Before 2 days b. Before 1 day c. Before 12 hours d. Before 6 hours e. Before 1 hour f. Not at all	Most reliable source/ dissemination a. Radio b. Microphone announcement c. Flag hoisting d. Neighbours e. NGO f. Local Gov. g. Market h. TV i. Mosque j. Police k. BDR l. Other	Knowledge of cyclone shelter in Aila a. Yes b. No	Distance to cyclone shelter (km)	Time to cyclone shelter in ordinary time (Minutes by foot)	Road condition to cyclone shelter in Aila a. Yes b. No	Safety of cyclone shelter for women a. Yes b. No	Evacuation to cyclone shelter in Aila a. Yes b. No	Problem of cyclone shelter a. Too many people b. Lack of sanitation c. Lack of water d. No separate space for women e. Lack of maintenance f. No problem g. Other	Evacuation with wife/ husband a. Yes b. No	Reason for "not evacuation with wife/husband" a. She was working in field b. Women should not go out c. Livestock should be kept by women d. She was out e. Shelter is not safe for women f. Other	Polder is useful for tidal wave /flood a. Yes b. No	Problem about Polder a. Embankment height was not enough b. Embankment structure was weak c. Drainage problem d. Other	Water Management Group (WMG) of polder a. Yes b. No	Activity of WMG a. Management of sluice gate b. Management and rehabilitation of existing embankment c. Construction of alternative embankment d. Management and rehabilitation of road e. Management of land owned by BWDB f. Monitoring status of existing embankment	Collecting money for Polder a. Yes b. No	Amount of collecting money (Tk/month)	Early warning about Aila a. Yes b. No	Early warning from a. CPP b. Religious Leaders c. Teachers d. Community Leaders e. UP members f. Community volunteers g. Others	Radio (it can be used) a. Yes b. No	Portable radio and bring anytime a. Yes b. No	Mobile phone (it can be used) a. Yes b. No										
241	a	2:00 am	b	-	-	15 Days	b	4	25 Days	a	a	b	-	-	d	a	a	b	h	-	-	d	a	a	b	-	-	-	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	a	b	a	
242	a	1:00 am	a	2:00 am	g	1 Month	b	3	1 Month	a	b	-	-	-	e	b	-	-	-	-	-	-	i	a	2	30	b	a	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	a
243	b	-	-	2:00 am	b	3 Hours	b	3	15 Days	a	a	b	-	-	b	a	a	b	i	-	-	a	i	a	3	45	b	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	a	b	b	b	a
244	b	-	-	2:00 am	c	3 Hours	b	3	15 Days	a	a	b	i	-	b	a	a	b	i	-	-	a	a	3	45	b	a	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	a	b	b	b	a	
245	b	-	-	2:00 am	b	3 Hours	b	3	15 Days	a	a	b	i	-	b	a	a	b	i	-	-	b	a	3	25	b	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	a	b	b	b	b	
246	b	-	-	12:00 am	b	3 Hours	b	3	15 Days	a	a	b	i	-	c	a	a	b	-	-	-	a	a	0	0	b	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	a	a	b	
247	a	10:00 pm	a	11:00 pm	c	3 Hours	c	4	2 Months	a	a	-	-	-	d	a	a	-	-	-	-	a	a	5	60	b	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	a	a	a	
248	b	-	-	-	h	4 Hours	b	4	15 Days	a	a	b	-	-	d	b	-	-	-	-	-	-	a	a	2	50	b	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	b
249	b	-	-	-	h	24 Hours	b	3	6 Months	a	a	b	-	-	d	b	-	-	-	-	-	-	a	a	2	50	b	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	a
250	b	-	-	-	h	2 Hours	a	2	15 Days	a	a	b	g	-	d	b	-	-	-	-	-	-	a	a	2	40	b	a	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	a
251	b	-	-	-	h	3 Hours	a	2	15 Days	a	a	b	d	-	a	b	-	-	-	-	-	-	a	a	2	40	b	a	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	a
252	b	-	-	-	b	3 Hours	a	4	15 Days	b	-	-	-	-	-	b	-	-	-	-	-	-	a	a	2	40	b	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	a
253	a	1:00 pm	a	2:00 pm	b	5 Hours	c	4	3 Months	a	a	b	-	-	d	b	-	-	-	-	-	-	a	a	2	50	b	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	b
254	b	-	-	4:00 pm	b	5 Hours	b	3	12 Days	a	a	b	-	-	d	b	-	-	-	-	-	-	a	a	2	50	b	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	a
255	b	-	-	3:00 am	b	6 Hours	a	2	6 Months	a	a	b	-	-	d	b	-	-	-	-	-	-	a	a	2	45	b	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	a
256	b	-	-	3:00 am	h	7 Hours	a	3	3 Months	b	-	-	-	-	-	b	-	-	-	-	-	-	a	a	3	50	b	a	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	a
257	b	-	-	-	h	8 Hours	a	3	3 Months	a	a	b	h	-	b	b	-	-	-	-	-	-	a	a	4	55	b	a	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	b
258	b	-	-	-	h	12 Hours	b	3	3 Months	b	-	-	-	-	-	a	a	h	-	-	-	b	a	a	1	30	b	a	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	a	a	a
259	a	1:00 am	b	-	-	48 Hours	a	2	19 Days	b	-	-	-	-	-	a	a	b	i	-	-	b	a	a	2	25	b	a	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	a	b	a	b	a
260	b	-	-	10:00 am	b	12 Hours	a	2	3 Years	a	a	-	-	-	e	a	a	b	-	-	-	e	a	a	3	30	a	a	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	a	a	a
261	b	-	-	4:00 am	b	7 Days	b	3	18 Months	b	-	-	-	-	-	a	a	h	-	-	-	c	a	b	0	0	-	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	a	a	a
262	b	-	-	2:00 am	b	2 Days	c	4	20 Days	a	a	b	d	i	b	a	a	b	d	h	i	b	a	a	2	30	b	a	b	-	-	-	b	a	c	-	b	-	-	-	a	b	b	b	a
263	b	-	-	-	h	3 Hours	a	2	2 Months	a	a	b	h	-	d	b	-	-	-	-	-	-	a	a	2	45	b	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	b
264	a	1:00 pm	a	5:00 pm	c	4 Hours	b	3	2 Months	a	a	b	i	-	d	b	-	-	-	-	-	-	a	a	2	42	b	a	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	a	b	a
265	a	1:00 am	a	2:00 am	c	3 Hours	b	3	2 Months	a	a	h	i	-	d	b	-	-	-	-	-	-	a	a	1	22	b	a	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	a
266	b	-	-	4:00 am	c	5 Hours	d	6	6 Months	a	a	b	h	-	d	b	-	-	-	-	-	-	a	a	2	50	b	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	a
267	a	10:00 am	a	11:00 am	b	15 Days	c	4	1 Month	b	-	-	-	-	-	a	a	b	-	-	-	d	a	a	4	60	b	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	a
268	b	-	-	12:00 am	b	15 Days	d	4	15 Days	a	a	b	-	-	d	b	-	-	-	-	-	-	a	b	0	0	-	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	a
269	b	-	-	11:00 am	b	3 Hours	c	4	1 Month	b	-	-	-	-	-	b	-	-	-	-	-	-	a	b	0	0	-	a	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	a	b	a
270	b	-	-	10:00 am	b	15 Days	c	4	1 Month	b	-	-	-	-	-	a	a	b	-	-	-	d	a	a	4	60	b	b	b	-	-	-	b	a	b	-	b	-	-	-	b	-	b	b	a

S.No.	8. Assistant for community after cyclone damage.											9. Situation of Basic Infrastructure (Drinking Water, Irrigation, Drainage, Electricity)											10. Difficulty and Needs																							
	8-1	8-2	8-3		8-4	8-5	8-6	8-7	8-8	8-9					8-10	8-11	9-1		9-2	9-3		9-4	9-5		9-6		9-7		9-8		9-9		9-10		9-11		9-12		10							
	Using microcredit system for reconstruction	Amount of borrowing money	Borrowing money from		Debt of microcredit before Aila	Debt moratorium after Aila	Debt moratorium	First rationed goods after Aila	First rationed goods after Sidr	Rationed goods after Aila					Support (now)	Rationed goods (now)	Water sources for drinking water in rainy season		Water sources for drinking water in dry season	Water sources for drinking water immediately after Aila		Water sources for drinking water now	Concerning about water		Main reason of large reduction of crop yields after cyclone		Light item before Aila		Light item immediately after cyclone damage		Light item now		Road condition to the nearest Cyclone shelter before Aila		Road condition to the nearest Cyclone shelter immediately after Cyclone		Road condition to the nearest Cyclone shelter now		(Free Answer)							
a. Yes b. No	Total (Tk)	a. Grameen Bank b. BRAC c. ASA d. Ganamukhi e. SUS f. Caritas g. Krishi Bank h. BRDB i. Other	a. Yes b. No	a. Yes b. No	(month)	After (day)	After (day)	a. Rice b. Wheat c. Water d. Oil e. Cash f. Nothing g. Other	a. VGD b. Cash for Work c. Food for Work d. Housing Cash Grant e. Nothing f. Other	a. Rice b. Wheat c. Water d. Oil e. Cash f. Nothing g. Other	a. Shallow Well b. Deep Well c. River water d. Pond water e. Rain water f. Potable Water g. Buy mineral water h. Other	a. Shallow Well b. Deep Well c. River water d. Pond water e. Rain water f. Potable Water g. Buy mineral water h. Other	a. Shallow Well b. Deep Well c. River water d. Pond water e. Rain water f. Potable Water g. Buy mineral water h. Other	a. Shallow Well b. Deep Well c. River water d. Pond water e. Rain water f. Potable Water g. Buy mineral water h. Other	a. Color of Drinking Water b. Odor of Drinking Water c. Quality of Drinking Water d. Cost of Water e. Availability of Water f. Drought g. Flood h. Climate Change i. Salt Water Intrusion j. Arsenic Contaminated Water k. Other	a. Droughts / Water Shortage b. Intrusion of seawater c. Lack of manpower d. Lack of Nutrient Soil e. Existence of Harmful Insects f. Other	a. Electricity b. Generator c. Solar power d. Kerosene Lump e. Candle light f. Other	a. Electricity b. Generator c. Solar power d. Kerosene Lump e. Candle light f. Other	a. Electricity b. Generator c. Solar power d. Kerosene Lump e. Candle light f. Other	a. Good (you can walk) b. Bad (You can walk but difficult) c. Very bad (You cannot walk)	a. Good (you can walk) b. Bad (You can walk but difficult) c. Very bad (You cannot walk)	a. Good (you can walk) b. Bad (You can walk but difficult) c. Very bad (You cannot walk)	(Free Answer)																							
241	a	12,000.00	d	-	a	a	12	3	12	a	d	f	g	j	-	-	-	-	e	f	b	e	-	b	-	b	f	-	b	-	k	-	-	a	b	-	d	-	d	e	c	-	b	c	c	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
242	a	10,000.00	d	-	-	-	-	3	10	a	d	f	-	-	-	-	-	-	e	f	b	e	-	b	-	f	-	-	b	-	a	-	-	a	-	-	d	-	d	-	c	-	b	c	a	Food, Reconstruction House, Road & Embankment
243	a	30,000.00	d	-	a	a	12	3	0	a	b	d	-	-	-	-	-	-	e	f	b	e	-	b	f	b	g	-	b	-	b	f	i	a	b	-	d	-	d	-	c	-	a	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
244	b	-	-	-	a	b	12	3	0	b	d	h	-	-	-	-	-	-	e	f	b	f	-	b	-	b	h	-	b	-	b	e	i	a	b	-	d	-	d	e	d	-	a	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
245	b	-	-	-	b	-	-	3	0	a	d	h	-	-	-	-	-	-	e	f	b	f	-	b	f	b	f	-	b	-	b	e	i	a	b	-	d	e	d	-	d	-	a	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
246	b	-	-	-	b	-	-	1	7	a	d	j	-	-	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	b	-	-	b	-	i	-	-	a	b	-	d	-	d	-	d	-	a	b	c	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
247	a	100,000.00	b	-	b	-	-	1	1	a	-	-	-	-	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	b	-	-	b	-	h	i	-	a	b	-	d	-	e	-	d	-	b	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
248	a	50,000.00	g	-	b	-	-	1	1	a	c	d	g	-	-	-	-	-	e	f	b	e	-	b	-	b	-	-	b	-	k	-	-	b	-	-	d	-	d	e	c	-	a	b	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
249	a	30,000.00	c	-	b	-	-	7	10	a	c	d	f	g	i	-	-	-	e	f	b	e	-	b	-	f	-	-	b	-	c	-	-	b	-	-	d	e	d	e	d	-	a	b	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
250	a	10,000.00	a	-	a	a	3	20	0	a	d	g	-	-	-	-	-	-	e	f	b	f	-	b	f	b	f	-	b	-	-	-	-	a	b	-	d	-	d	e	c	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
251	a	10,000.00	i	-	b	-	-	7	0	a	d	f	g	-	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	b	f	-	b	-	-	-	-	a	b	-	d	-	d	-	c	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
252	a	10,000.00	d	-	b	-	-	7	0	a	g	-	-	-	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	b	f	-	b	-	-	-	-	a	b	-	d	-	d	e	c	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
253	a	70,000.00	c	d	a	a	4	7	0	a	c	d	e	f	g	h	i	-	e	f	b	e	-	b	-	b	-	-	b	-	d	-	-	b	-	-	d	-	d	e	d	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
254	a	10,000.00	i	-	a	a	3	7	0	a	c	d	e	f	g	h	i	-	e	f	b	e	-	b	-	b	-	-	b	-	-	-	-	b	-	-	d	-	d	-	c	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
255	a	10,000.00	d	-	a	a	3	7	0	a	c	d	e	f	g	h	i	-	e	f	b	e	-	b	-	b	-	-	b	-	k	-	-	b	-	-	d	-	d	e	c	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
256	b	-	-	-	b	-	-	15	0	a	c	d	e	f	g	h	i	-	e	f	b	-	-	b	-	b	-	-	b	-	-	-	-	a	b	-	d	-	d	-	c	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
257	a	5,000.00	d	-	a	a	3	12	0	a	c	d	e	f	g	h	-	-	e	f	b	f	-	b	f	b	f	-	b	f	k	-	-	a	b	-	d	e	d	e	d	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
258	a	30,000.00	d	-	a	a	6	1	7	a	c	f	h	-	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	b	-	-	b	-	i	-	-	a	b	-	d	-	d	-	d	-	a	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
259	a	10,000.00	d	-	b	-	-	3	0	a	f	j	-	-	-	-	-	-	e	f	b	f	-	b	f	b	-	-	b	-	b	g	i	a	b	e	d	-	e	-	c	-	a	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
260	b	-	-	-	b	-	-	1	2	a	c	e	-	-	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	b	-	-	b	-	h	i	-	a	b	e	d	-	d	-	d	-	a	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
261	a	8,000.00	d	-	a	a	3	3	7	a	c	e	f	-	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	b	-	-	b	-	h	i	-	a	b	-	d	-	d	-	c	-	a	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
262	b	-	-	-	a	a	6	3	0	a	e	f	j	-	-	-	-	-	e	f	b	e	f	b	f	g	h	-	b	f	c	g	i	a	b	-	d	-	d	-	a	-	a	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
263	b	-	-	-	b	b	-	4	0	a	c	d	f	i	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	b	-	-	b	-	-	-	-	a	b	-	d	-	d	e	d	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
264	a	10,000.00	i	-	b	-	-	15	0	a	c	h	i	-	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	b	-	-	b	-	-	-	-	a	b	-	d	e	e	-	c	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
265	a	20,000.00	d	-	a	a	3	15	0	a	c	d	i	j	-	-	-	-	e	f	b	f	-	b	f	b	f	-	b	f	-	-	-	a	b	-	d	-	e	-	c	d	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
266	a	10,000.00	b	-	b	-	-	7	6	a	c	f	h	i	-	-	-	-	e	f	b	e	-	b	-	b	-	-	b	-	-	-	-	b	-	-	d	e	d	e	d	-	b	a	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
267	a	10,000.00	i	-	b	-	-	1	1	a	c	d	f	-	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	b	-	-	b	-	e	h	-	a	b	-	d	-	e	-	d	-	a	b	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
268	b	-	-	-	b	-	-	2	3	a	c	d	f	h	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	b	-	-	b	-	h	i	-	a	b	-	d	-	d	-	c	-	b	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
269	b	-	-	-	b	-	-	1	1	a	c	d	e	h	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	b	-	-	b	-	h	j	-	a	b	-	d	-	d	-	d	-	b	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
270	a	25,000.00	d	-	b	-	-	1	1	a	c	d	f	-	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	b	f	-	b	-	h	i	-	a	b	-	d	-	d	e	c	-	a	b	c	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center

POLDER 31															I. Respondent and Family Information																																
S.No.	Polder No.	Thana	Union	Village	HH No.	Sex (M/F)	Age	Educational Background	1-1. General information					1-2. Did family member leave this place for living after Aila? a. Yes b. No	1-3. Who did leave the place after Aila?				1-4. No. of leaving persons.	1-5. Main Income Resource before Aila:		1-6. Main Income Recourse after Aila (current situation):		1-7. Own Land area (before Aila)		1-8. Own Land area (After Aila) current situation		1-9. Livestock number of family before Aila					1-10. Livestock number of family after Aila					1-11. House Category before Aila	1-12. House category after Aila	1-13. Refuge after Aila	1-14. Place for refuge after Aila	1-15. How long did you stay there?					
									Religion	Relation to Head	Number of Family Members				Relation to Head	Where did he/she go? (Place)		Average Income (Tk/Month)		Average Income (Tk/Month)	Own Land (Decimal)	Gov. Land (Khas Land) (Decimal)	Own Land (Decimal)	Gov. Land (Khas Land) (Decimal)	Cow	Poultry	Goat	Sheep	Others	Cow	Poultry	Goat	Sheep	Others	a. Cement b. Bricks c. Tin d. Polythene Sheet e. Thatched tent f. Wood g. Other	a. Cement b. Bricks c. Tin d. Polythene Sheet e. Thatched tent f. Wood g. Other	a. Yes b. No					a. Cyclone shelter b. Top of Polder c. Friend's house d. Killa e. Out of the polder f. Other	(Months / Weeks /Days)				
									a. Muslim b. Hindu c. Buddhism d. Christian e. Other	a. head b. spouse c. son/daughter d. father/mother e. brother/sister f. son/daughter in law g. Sister/Brother in law h. grandchild i. grandparent j. other relatives k. non-relatives	Male	Female	Total		Boy (<12 years old)	Girl (<12 years old)	a. head b. spouse c. son/daughter d. father/mother e. brother/sister f. son/daughter in law g. Sister/Brother in law h. grandchild i. grandparent j. other relatives k. non-relatives	Prefecture		Thana:																											
271	31	Dacope	Tildanga	Kaminibashi	495	M	28	12	b	a	1	2	3	0	0	b	-	-	-	-	-	2,700.00	a	-	2,000.00	h	-	10	66	10	66	0	18	0	0	0	0	3	0	0	0	e	c	b	-	-	-
272	31	Dacope	Tildanga	Kaminibashi	495	M	30	12	b	c	3	3	6	0	0	b	-	-	-	-	-	5,000.00	a	-	2,000.00	a	-	16	20	16	20	7	12	6	0	0	0	8	0	0	0	g	c	a	a	-	-
273	31	Dacope	Tildanga	Kaminibashi	495	M	45	16	b	a	2	2	4	0	1	b	-	-	-	-	-	10,000.00	b	-	5,000.00	d	-	20	0	20	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	c	c	b	-	-	-	
274	31	Dacope	Tildanga	Kaminibashi	495	M	52	10	b	a	3	2	5	0	0	b	-	-	-	-	-	4,000.00	a	-	2,000.00	d	-	5	0	5	0	10	0	0	0	0	1	0	0	0	a	a	a	b	24	Days	
275	31	Dacope	Tildanga	Kaminibashi	495	M	61	10	b	a	2	3	5	0	0	b	-	-	-	-	-	5,000.00	e	-	2,500.00	d	-	3	66	3	66	3	4	0	0	0	0	5	0	0	0	a	e	a	a	11	Days
276	31	Dacope	Tildanga	Kaminibashi	495	F	45	5	b	b	2	2	4	0	0	b	-	-	-	-	-	4,000.00	d	-	2,000.00	d	-	10	0	10	0	0	0	0	0	0	13	0	0	0	c	e	a	b	12	Days	
277	31	Dacope	Tildanga	Kaminibashi	495	M	42	0	b	a	3	2	5	0	0	b	-	-	-	-	-	5,000.00	b	-	2,000.00	d	-	33	0	0	0	17	0	0	0	0	4	0	0	0	c	c	a	b	15	Days	
278	31	Dacope	Tildanga	Kaminibashi	495	M	35	5	b	a	2	4	6	1	1	b	-	-	-	-	-	5,000.00	d	-	3,000.00	d	-	6	0	6	0	2	20	2	0	0	0	0	0	0	0	f	e	a	b	16	Days
279	31	Dacope	Tildanga	Kaminibashi	495	M	55	5	a	a	5	3	8	2	0	b	-	-	-	-	-	5,000.00	d	-	3,000.00	d	-	10	0	10	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	f	e	a	b	12	Days	
280	31	Dacope	Tildanga	Kaminibashi	495	M	65	0	a	a	3	2	5	1	0	b	-	-	-	-	-	4,000.00	h	-	2,000.00	d	-	32	0	25	0	15	0	0	0	0	5	0	0	0	a	g	a	b	15	Days	
281	31	Dacope	Tildanga	Kaminibashi	495	F	45	10	b	a	2	2	4	0	0	b	-	-	-	-	-	7,000.00	e	-	5,000.00	h	-	0.16	1.5	0.16	1.5	0	15	0	0	0	0	4	0	0	0	c	c	a	c	1	Week
282	31	Dacope	Tildanga	Kaminibashi	495	F	28	5	b	b	2	2	4	1	0	b	-	-	-	-	-	8,000.00	d	-	6,000.00	h	-	5	0	5	0	20	0	0	0	0	1	0	0	0	c	c	a	e	4	Weeks	
283	31	Dacope	Tildanga	Kaminibashi	495	F	28	5	a	a	1	4	5	2	0	b	-	-	-	-	-	7,000.00	a	-	4,000.00	b	-	38	0	38	0	12	0	0	0	0	5	3	0	0	c	c	a	b	8	Weeks	
284	31	Dacope	Tildanga	Kaminibashi	495	F	65	0	b	b	4	8	12	1	3	b	-	-	-	-	-	4,000.00	d	-	3,000.00	b	-	6	0	6	0	10	0	0	0	0	4	0	0	0	f	e	a	c	8	Weeks	
285	31	Dacope	Tildanga	Kaminibashi	495	M	60	10	b	a	3	2	5	1	1	b	-	-	-	-	-	4,000.00	g	-	2,500.00	g	-	4	0	4	0	30	0	0	0	0	9	0	0	0	f	c	a	a	1	Week	
286	31	Dacope	Tildanga	Kaminibashi	495	M	65	10	b	a	2	2	4	0	0	b	-	-	-	-	-	6,000.00	e	-	2,500.00	d	-	1.8	0	0	0	15	2	0	0	0	0	0	0	0	f	b	a	b	252	Weeks	
287	31	Dacope	Tildanga	Kaminibashi	495	M	42	5	b	a	9	4	13	3	0	b	-	-	-	-	-	4,000.00	h	-	3,500.00	h	-	10	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	f	e	b	-	-	-	
288	31	Dacope	Tildanga	Kaminibashi	495	M	42	5	b	a	3	2	5	1	0	b	-	-	-	-	-	4,000.00	f	-	2,000.00	d	-	8	0	0	0	5	0	0	0	0	2	0	0	0	f	e	a	b	252	Weeks	
289	31	Dacope	Tildanga	Kaminibashi	495	F	30	4	a	b	3	3	6	1	0	b	-	-	-	-	-	3,500.00	d	-	3,000.00	d	-	65	0	25	0	12	0	0	0	0	5	0	0	0	f	e	b	-	-	-	
290	31	Dacope	Tildanga	Kaminibashi	495	M	42	10	b	a	4	1	5	0	0	b	-	-	-	-	-	2,500.00	b	-	2,000.00	b	-	2.48	0	1.02	0	35	3	0	0	0	4	1	0	0	f	c	a	f	36	Weeks	
291	31	Dacope	Tildanga	Kaminibashi	495	M	37	8	b	a	1	4	5	0	2	b	-	-	-	-	-	4,000.00	d	-	4,000.00	f	-	4	0	0	0	14	0	0	0	0	4	0	0	0	f	c	b	-	-	-	
292	31	Dacope	Tildanga	Kaminibashi	495	M	32	18	b	c	3	1	4	0	0	b	-	-	-	-	-	3,000.00	d	-	2,000.00	d	-	4	0	0	0	20	0	0	0	0	2	0	0	0	f	e	b	-	-	-	
293	31	Dacope	Tildanga	Kaminibashi	495	M	31	10	b	a	3	3	6	0	1	b	-	-	-	-	-	2,500.00	h	-	2,000.00	h	-	8.5	0	8.5	0	30	0	0	0	0	5	0	0	0	f	e	b	-	-	-	
294	31	Dacope	Tildanga	Kaminibashi	495	M	40	8	b	a	6	2	8	0	0	b	-	-	-	-	-	5,000.00	e	-	2,000.00	d	-	17	0	17	0	9	0	0	0	0	4	1	0	0	g	g	a	b	1	Week	
295	31	Dacope	Tildanga	Kaminibashi	495	F	32	8	b	b	2	4	6	0	1	b	-	-	-	-	-	8,000.00	b	-	1,800.00	d	-	3.08	0	2.08	0	15	17	0	0	0	7	4	0	0	c	c	a	a	1	Week	
296	31	Dacope	Tildanga	Kaminibashi	495	M	65	5	b	a	2	2	4	0	0	b	-	-	-	-	-	5,000.00	f	-	2,000.00	c	-	2.33	0	1.33	0	37	15	10	0	2	9	3	0	0	g	e	a	a	2	Weeks	
297	31	Dacope	Tildanga	Kaminibashi	495	F	45	0	b	b	1	2	3	0	0	b	-	-	-	-	-	5,000.00	e	-	4,000.00	e	-	10	0	10	0	20	3	0	0	0	0	0	0	0	c	c	a	f	1	Week	
298	31	Dacope	Tildanga	Kaminibashi	495	M	38	5	b	a	3	3	6	0	0	b	-	-	-	-	-	6,000.00	f	-	4,000.00	f	-	6	0	6	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	f	c	b	-	-	-	
299	31	Dacope	Tildanga	Kaminibashi	495	M	38	15	b	c	2	2	4	1	0	b	-	-	-	-	-	6,000.00	d	-	5,000.00	d	-	6	0	6	0	10	0	0	0	0	7	0	0	0	c	c	b	-	-	-	
300	31	Dacope	Tildanga	Kaminibashi	495	M	35	10	b	c	3	3	6	0	1	b	-	-	-	-	-	4,000.00	g	-	4,000.00	g	-	6	0	6	0	10	0	0	0	0	5	0	0	0	f	e	b	-	-	-	

S.No.	2. Affected Situation of Cyclone Aila in 2009										3. Evacuation Behavior in Disaster of Cyclone Aila in 2009																																																	
	2-1	2-2	2-3	2-4	2-5					2-6	2-7	2-8	3-1	3-2					3-3	3-4	3-5	3-6					3-7	3-8	3-9			3-10			3-11			3-12	3-13			3-14		3-15																
	Causality in family	Number of died/injured family in Aila	Damage of house by Aila?	Loss livestock	Lost livestock number by Aila					How long was inundated by tidal surge in Aila?	Inundation level at the time of Aila	How long your house was inundated by the tidal flood before the embankment successful?	Evacuation before Aila	Reason for "Not evacuate" before Aila					Time of tidal surge reached	Evacuation after tidal surge	Time of evacuation	Your concern of home during evacuation					Evacuation Place	Place of evacuation was safe/not safe	Bringing items during evacuation in Aila (Multiple Answer)			Needs of bringing items during evacuation in Aila (Multiple Answer)			Evacuation with	Family stay in house	Who did stay in your house?			Reason of staying in house		Safe place for evacuation																		
	a. Yes b. No	Dead (No.) Injured (No.)	a. Completely destroyed b. Partially destroyed c. Minor damage d. No damage	a. Yes b. No	Cow Poultry Goat Sheep Others	How long was inundated by tidal surge in Aila?	(Feet)	a. Knee-High b. Stomach-High c. Shoulder-High d. Above your Head	(Months / Weeks / Days/Hours)	a. Yes b. No	(Day/ Month/ Year)	a. Yes b. No	(time) (am/pm)	(time) (am/pm)	a. Yes b. No	(time) (am/pm)	(time) (am/pm)	a. I do not think the waves will reach my house b. Alarm is not always true c. To keep my livestock around d. To prevent theft or robbery e. To secure the income of the day f. Worry to separate family g. I do not want to pay to use the shelter h. The road to go to evacuation site is bad i. Evacuation site is far j. Storm is too strong to take shelter k. To protect the house l. I didn't know cyclone Aila comes. m. I think my residence is safer than other places. n. It is unavoidable because Allah set so o. Other	(time) (am/pm)	a. Yes b. No	(time) (am/pm)	(time) (am/pm)	a. Cyclone shelter b. Top of polder c. Other's house d. Killa e. Top of trees f. Top of own house g. Community buildings (including UP Bldg, Schools, Mosques, Temple etc.) h. Other	a. Yes b. No	a. Cash b. Livestock c. Food d. Working tools (for fishing/farming) e. Radio f. Mobile phone g. Cooking tool h. Table i. Chair j. Bed k. Sleeping mat/blanket l. Aluminium roof m. Van n. Bicycle o. Clothes (sari etc.) p. Stationary (pen, note, etc.) q. Nothing r. Other	a. Cash b. Livestock c. Food d. Working tools (for fishing/farming) e. Radio f. Mobile phone g. Cooking tool h. Table i. Chair j. Bed k. Sleeping mat/blanket l. Aluminium roof m. Van n. Bicycle o. Clothes (sari etc.) p. Stationary (pen, note, etc.) q. Nothing r. Other	a. Husband/wife b. Children c. Parents (Elder persons) d. Brothers/Sisters e. Neighbours f. Other	a. Yes b. No	Age	Sex (M/F)	a. Respondents itself b. Husband/wife c. Children d. Parents (Elder persons) e. Brother/Sisters f. Other	a. I do not think the waves will reach my house b. Alarm is not always true c. To keep my livestock around d. To prevent theft or robbery e. To secure the income of the day f. Worry to separate family g. I do not want to pay to use the shelter h. The road to go to evacuation site is bad i. Evacuation site is far j. Storm is too strong to take shelter k. To protect the house l. residence is safer than other places for him/her m. It is unavoidable because Allah set so	a. Cyclone Shelter b. Top of polder c. Other's house d. Killa e. Top of Trees f. Top of Own House g. Community buildings (including UP Bldges, Schools, Mosques, Temple etc.) h. Other																											
271	b	0	0	-	-	0	0	0	0	15	Months	d	5	24	Months	b	a	b	h	i	-	-	-	1:00	am	a	4:00	pm	a	c	g	f	-	-	a	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	-	a	-					
272	b	0	0	-	-	0	0	0	0	2	Months	d	6	18	Months	b	a	i	c	n	-	-	-	1:00	am	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	c	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	-	a	-		
273	b	0	0	-	-	0	0	0	0	20	Months	b	4	22	Months	b	a	b	i	g	-	-	-	11:00	am	a	4:00	pm	a	f	c	-	-	-	a	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	b	-			
274	b	0	0	-	-	0	0	0	0	24	Months	b	4	24	Months	b	a	b	i	n	-	-	-	12:00	pm	a	6:00	pm	a	c	f	-	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	-	-	-	a	-			
275	b	0	0	-	-	0	0	0	0	25	Months	b	3	25	Months	b	a	b	l	-	-	-	-	1:00	pm	a	4:00	pm	a	b	f	-	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	-	-	-	a	b			
276	b	0	0	-	-	0	0	0	0	6	Months	b	3	24	Months	b	a	b	l	-	-	-	-	2:00	pm	a	6:00	pm	a	c	f	-	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	-	-	-	a	-			
277	b	0	0	-	-	0	0	0	0	7	Months	d	6	24	Months	b	a	b	i	j	l	n	-	12:30	pm	a	4:20	pm	a	f	g	h	-	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	b	-		
278	a	0	1	a	a	2	20	2	0	15	Months	d	6	24	Months	b	a	b	c	l	n	-	-	12:00	pm	a	4:10	pm	a	c	i	g	-	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	-	-	-	b	-		
279	a	1	0	a	a	0	10	0	0	20	Months	d	7	24	Months	b	a	b	c	l	n	-	-	12:00	pm	a	5:00	pm	a	b	g	i	-	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	-	-	-	b	-		
280	b	0	0	-	-	0	0	0	0	24	Months	d	6	24	Months	b	a	b	j	n	-	-	-	12:30	pm	a	5:00	pm	a	f	i	-	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	-	-	-	a	-			
281	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0.5	Months	b	4	0.4	Months	b	f	l	m	-	-	-	-	3:00	pm	a	6:00	pm	a	f	i	-	-	-	c	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	a	g			
282	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0.5	Months	b	4	0.4	Months	b	j	l	n	-	-	-	-	3:00	pm	a	6:00	pm	a	g	j	-	-	-	c	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	a	65	M	d	d	k	a	g				
283	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0.5	Months	b	4	0.4	Months	b	f	j	l	-	-	-	-	1:00	pm	a	6:00	pm	a	g	j	-	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	a	g		
284	b	0	0	-	-	0	0	0	0	6	Months	d	6	3	Months	b	a	l	-	-	-	-	-	1:00	pm	a	4:00	pm	a	c	-	-	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	-	-	-	a	b			
285	a	0	1	a	a	0	30	0	0	1	Month	b	3	0.5	Months	b	a	j	l	-	-	-	-	1:00	pm	a	2:00	pm	a	c	f	-	-	-	b	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	-	-	-	a	b			
286	a	0	2	a	a	0	15	2	0	252	Months	d	6	3	Months	b	a	l	-	-	-	-	-	1:00	pm	a	5:00	pm	a	c	g	-	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	-	-	-	a	b			
287	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0.01	Months	c	4	0.5	Months	b	f	k	l	n	-	-	-	11:00	am	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	b	-				
288	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0.5	Months	c	4	0.5	Months	b	k	l	n	-	-	-	-	11:00	am	a	11:30	am	a	g	-	-	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	-	-	-	-	b	-		
289	b	0	0	-	-	0	0	0	0	12	Months	d	5	1.5	Months	b	a	h	-	-	-	-	-	11:00	am	a	4:00	pm	a	-	-	-	-	-	c	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	a	-		
290	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0.4	Months	d	5	1	Month	b	f	j	k	-	-	-	-	10:00	am	a	4:00	pm	a	b	g	-	-	-	h	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	a	-		
291	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0.4	Months	b	3	1.5	Months	b	k	-	-	-	-	-	-	11:00	am	a	5:00	pm	a	g	-	-	-	-	b	a	i	-	-	-	a	c	e	g	a	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	a	-		
292	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0.4	Months	c	4	2	Months	b	a	f	-	-	-	-	-	11:00	am	a	9:00	pm	a	e	-	-	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	a	-	
293	b	0	0	-	-	0	0	0	0	0.4	Months	b	3	1	Month	b	a	b	f	-	-	-	-	10:00	am	a	1:00	pm	a	c	g	-	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	a	g	
294	b	0	0	-	-	0	0	0	0	3	Hours	c	4	3	Months	b	j	k	l	n	-	-	-	11:00	am	a	6:00	pm	a	g	j	-	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	g	-		
295	b	0	0	-	-	0	0	0	0	4	Hours	d	5	2	Months	b	j	l	n	-	-	-	-	12:00	pm	a	3:00	pm	a	b	g	j	-	-	-	c	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	a	27	M	a	d	k	a	-			
296	a	0	1	a	a	0	15	2	3	4	Hours	c	5	2	Months	a	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1:00	pm	a	f	g	j	-	-	-	a	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	-	b	-	-	-	-	-	-	-	a	-	
297	a	0	1	a	a	0	20	3	0	2	Months	b	3	1	Year	b	a	f	m	-	-	-	-	1:00	pm	a	6:00	pm	a	f	-	-	-	-	c	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	c	d	b	-	-	-	-	-	-	-	-	a	-	
298	b	0	0	-	-	0	0	0	0	15	Months	c	4	3	Years	b	a	f	k	-	-	-	-	11:00	pm	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	-		
299	b	0	0	-	-	0	0	0	0	22	Days	d	5	3	Months	a	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5:00	pm	g	j	-	-	-	-	b	a	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	a	-	
300	b	0	0	-	-	0	0	0	0	20	Days	d	5	3	Months	b	a	k	l	m	-	-	-	11:00	am	a	10:00	pm	a	-	-	-	-	-	b	b	q	-	-	-	q	-	-	-	a	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	-

S.No.	4. Evacuation Behavior in Disaster of Cyclone Sidr in 2007											5. Existing alarm system in Community				6. Shelter & Polder system in Community										7. Situation of Community disaster prevention									
	4-1	4-2	4-3	4-4	4-5	4-6	4-7	4-8	4-9	4-10	4-11	5-1	5-2	5-3	5-4	6-1	6-2	6-3	6-4	6-5	6-6	6-7	6-8	6-9	6-10	6-11	6-12	6-13	6-14	6-15	7-1	7-2	7-3	7-4	7-5
	Evacuation before Sidr a. Yes b. No	Time of tidal surge reached (time)	Evacuation after tidal surge (am/pm)	Time of evacuation (time)	Evacuation Place (am/pm)	How long was inundated by tidal surge in Sidr? (Month/Day/Hours)	Inundation level at the time of Sidr (Feet)	How long your house was inundated by the tidal flood before the embankment successful? (Day/Month/Year)	Information about Sidr a. Yes b. No	How did you get information about Sidr? a. Radio b. Microphone announcement c. Flag hoisting d. Neighbours e. NGO f. Local Gov. g. Market h. TV i. Mosque j. Police k. BDR l. Other	Timing of getting information about Sidr a. Before 2 days b. Before 1 day c. Before 12 hours d. Before 6 hours e. Before 1 hour f. Not at all	Information about Aila a. Yes b. No	How did you get to hear about Aila? a. Radio b. Microphone announcement c. Flag hoisting d. Neighbours e. NGO f. Local Gov. g. Market h. TV i. Mosque j. Police k. BDR l. Other	Timing of getting information about Aila a. Before 2 days b. Before 1 day c. Before 12 hours d. Before 6 hours e. Before 1 hour f. Not at all	Most reliable source/dissemination a. Radio b. Microphone announcement c. Flag hoisting d. Neighbours e. NGO f. Local Gov. g. Market h. TV i. Mosque j. Police k. BDR l. Other	Knowledge of cyclone shelter in Aila a. Yes b. No	Distance to cyclone shelter (km)	Time to cyclone shelter in ordinary time (Minutes by foot)	Road condition to cyclone shelter in Aila a. Yes b. No	Safety of cyclone shelter for women a. Yes b. No	Evacuation to cyclone shelter in Aila a. Yes b. No	Problem of cyclone shelter a. Too many people b. Lack of sanitation c. Lack of water d. No separate space for women e. Lack of maintenance f. No problem g. Other	Evacuation with wife/husband a. Yes b. No	Reason for "not evacuation with wife/husband" a. She was working in field b. Women should not go out c. Livestock should be kept by women d. She was out e. Shelter is not safe for women f. Other	Polder is useful for tidal wave/flood a. Yes b. No	Problem about Polder a. Embankment height was not enough b. Embankment structure was weak c. Drainage problem d. Other	Water Management Group (WMG) of polder a. Yes b. No	Activity of WMG a. Management of sluice gate b. Management and rehabilitation of existing embankment c. Construction of alternative embankment d. Management and rehabilitation of road e. Management of land owned by RWDB f. Monitoring status of existing embankment	Collecting money for Polder a. Yes b. No	Amount of collecting money (Tk/month)	Early warning about Aila a. Yes b. No	Early warning from a. CPP b. Religious Leaders c. Teachers d. Community Leaders e. UP members f. Community volunteers g. Others	Radio (it can be used) a. Yes b. No	Portable radio and bring anytime a. Yes b. No	Mobile phone (it can be used) a. Yes b. No
271	b	-	-	-	a	12 Hours	a 2 18 days	a	a d - -	d	b - - - -	-	b	a	1	25	b	a	a	- - -	-	-	b	a b -	b	-	-	b	-	b	b	a			
272	b	-	-	-	b	6 Hours	a 2 12 days	a	a d - -	d	b - - - -	-	a	a	1	30	b	a	a	- - -	-	-	b	a b -	b	-	-	b	-	b	b	a			
273	b	-	-	-	a	4 Hours	a 2 17 days	a	a d - -	d	b - - - -	-	h	a	2	45	b	a	a	- - -	-	-	b	a b -	b	-	-	b	-	b	b	b			
274	b	-	-	-	h	6 Hours	a 2 15 days	a	a d - -	d	b - - - -	-	a	a	0.5	25	b	a	a	- - -	-	-	b	a b -	b	-	-	b	-	b	b	b			
275	b	-	-	-	h	6 Hours	a 2 15 days	a	a d - -	d	b - - - -	-	a	a	0.5	25	a	b	b	- - -	-	-	b	a b -	b	-	-	b	-	b	b	a			
276	b	-	-	-	h	6 Hours	a 2 15 days	a	a d - -	d	b - - - -	-	a	a	0.25	10	a	b	b	- - -	-	-	b	a b -	b	-	-	b	-	b	b	a			
277	a	-	-	12:20 pm	b	6 Hours	a 2 2 Months	a	b d - -	d	b - - - -	-	h	a	2	65	b	b	b	- - -	-	-	b	a b -	b	-	-	b	-	b	b	a			
278	b	-	-	-	h	6 Hours	a 2 24 Months	a	a b d -	d	b - - - -	-	h	a	3	75	a	b	b	- - -	-	-	b	a b -	b	-	-	b	-	b	b	a			
279	b	-	-	-	h	6 Hours	a 2 24 Months	a	a b d h	d	b - - - -	-	a	a	3	76	b	b	b	- - -	-	-	b	a b -	b	-	-	b	-	b	b	a			
280	b	-	-	-	h	6 Hours	a 2 2 Months	a	a b d f	d	b - - - -	-	b	a	2	60	b	b	b	- - -	-	-	b	a b -	b	-	-	b	-	b	b	a			
281	b	-	-	-	h	2 Hours	a 2 15 Days	a	a b g -	d	b - - - -	-	a	a	2	40	b	a	b	- - -	-	-	b	a b -	b	-	-	b	-	b	b	a			
282	b	-	-	-	h	3 Hours	a 2 15 Days	a	a b d -	a	b - - - -	-	a	a	2	40	b	a	b	- - -	-	-	b	a b -	b	-	-	b	-	b	b	a			
283	b	-	-	-	b	3 Hours	a 4 15 Days	b	- - - -	-	b - - - -	-	a	a	2	40	b	b	b	- - -	-	-	b	a b -	b	-	-	b	-	b	b	a			
284	a	1:00 pm	a	2:00 pm	b	5 Hours	c 4 3 Months	a	a b - -	d	b - - - -	-	a	a	2	50	b	b	b	- - -	-	-	b	a b -	b	-	-	b	-	b	b	b			
285	b	-	-	4:00 pm	b	5 Hours	b 3 12 Days	a	a b - -	d	b - - - -	-	a	a	2	50	b	b	b	- - -	-	-	b	a b -	b	-	-	b	-	b	b	a			
286	b	-	-	3:00 am	b	6 Hours	a 2 6 Months	a	a b - -	d	b - - - -	-	a	a	2	45	b	b	b	- - -	-	-	b	a b -	b	-	-	b	-	b	b	a			
287	b	-	-	3:00 am	h	7 Hours	a 3 3 Months	b	- - - -	-	b - - - -	-	a	a	3	50	b	a	b	- - -	-	-	b	a b -	b	-	-	b	-	b	b	a			
288	b	-	-	-	h	8 Hours	a 3 3 Months	a	a b h -	b	b - - - -	-	a	a	4	55	b	a	b	- - -	-	-	b	a b -	b	-	-	b	-	b	b	b			
289	b	-	-	-	h	12 Hours	b 3 3 Months	b	- - - -	-	a a h - - -	b	a	a	1	30	b	a	b	- - -	-	-	b	a b -	b	-	-	b	-	a	a	a			
290	a	1:00 am	b	-	-	48 Hours	a 2 19 Days	b	- - - -	-	a a b i - - -	b	a	a	2	25	b	a	b	- - -	-	-	b	a b -	b	-	-	a	b	a	b	a			
291	b	-	-	10:00 am	b	12 Hours	a 2 3 Years	a	a - - -	e	a a b - - -	e	a	a	3	30	a	a	b	- - -	-	-	b	a b -	b	-	-	b	-	a	a	a			
292	b	-	-	4:00 am	b	7 Days	b 3 18 Months	b	- - - -	-	a a h - - -	c	a	b	0	0	-	b	b	- - -	-	-	b	a b -	b	-	-	b	-	a	a	a			
293	b	-	-	2:00 am	b	2 Days	c 4 20 Days	a	a b d i	b	a a b d h i	b	a	a	2	30	b	a	b	- - -	-	-	b	a c -	b	-	-	a	b	b	b	a			
294	b	-	-	-	h	3 Hours	a 2 2 Months	a	a b h -	d	b - - - -	-	a	a	2	45	b	b	b	- - -	-	-	b	a b -	b	-	-	b	-	b	b	b			
295	a	1:00 pm	a	5:00 pm	c	4 Hours	b 3 2 Months	a	a b i -	d	b - - - -	-	a	a	2	42	b	a	b	- - -	-	-	b	a b -	b	-	-	b	-	a	b	a			
296	a	1:00 am	a	2:00 am	c	3 Hours	b 3 2 Months	a	a h i -	d	b - - - -	-	a	a	1	22	b	a	b	- - -	-	-	b	a b -	b	-	-	b	-	b	b	a			
297	b	-	-	4:00 am	c	5 Hours	d 6 6 Months	a	a b h -	d	b - - - -	-	a	a	2	50	b	b	b	- - -	-	-	b	a b -	b	-	-	b	-	b	b	a			
298	a	10:00 am	a	11:00 am	b	15 Days	c 4 1 Month	b	- - - -	-	a a b - - -	d	a	a	4	60	b	b	b	- - -	-	-	b	a b -	b	-	-	b	-	b	b	a			
299	b	-	-	12:00 am	b	15 Days	d 4 15 Days	a	a b - -	d	b - - - -	-	a	b	0	0	-	b	b	- - -	-	-	b	a b -	b	-	-	b	-	b	b	a			
300	b	-	-	11:00 am	b	3 Hours	c 4 1 Month	b	- - - -	-	b - - - -	-	a	b	0	0	-	a	b	- - -	-	-	b	a b -	b	-	-	b	-	a	b	a			

S.No.	8. Assistant for community after cyclone damage.													9. Situation of Basic Infrastructure (Drinking Water, Irrigation, Drainage, Electricity)										10. Difficulty and Needs																											
	8-1	8-2	8-3		8-4	8-5	8-6	8-7	8-8	8-9					8-10	8-11	9-1	9-2	9-3	9-4	9-5	9-6	9-7	9-8	9-9	9-10	9-11	9-12	10																						
	Using microcredit system for reconstruction	Amount of borrowing money	Borrowing money from		Debt of microcredit before Aila	Debt moratorium after Aila	Debt moratorium	First rationed goods after Aila	First rationed goods after Sidr	Rationed goods after Aila					Support (now)	Rationed goods (now)	Water sources for drinking water in rainy reason	Water sources for drinking water in dry reason	Water sources for drinking water immediately after Aila	Water sources for drinking water now	Concerning about water	Main reason of large reduction of crop yields after cyclone	Light item before Aila	Light item immediate after cyclone damage	Light item now	Road condition to the nearest Cyclone shelter before Aila	Road condition to the nearest Cyclone shelter immediately after Cyclone	Road condition to the nearest Cyclone shelter now	(Free Answer)																						
	a. Yes b. No	Total (Tk)	a. Grameen Bank b. BRAC c. ASA d. Ganamukhi e. SUS f. Caritas g. Krishi Bank h. BRDB i. Other	a. Yes b. No	a. Yes b. No	(month)	After (day)	After (day)	a. Rice b. Wheat c. Water d. Oil e. Cooking tools f. Tent g. Plastic sheet h. Blanket i. Cash j. Other	a. VGD b. Cash for Work c. Food for Work d. Housing Cash Grant e. Nothing f. Other	a. Rice b. Wheat c. Water d. Oil e. Cash f. Nothing g. Other	a. Shallow Well b. Deep Well c. River water d. Pond water e. Rain water f. Potable Water g. Buy mineral water h. Other	a. Shallow Well b. Deep Well c. River water d. Pond water e. Rain water f. Potable Water g. Buy mineral water h. Other	a. Shallow Well b. Deep Well c. River water d. Pond water e. Rain water f. Potable Water g. Buy mineral water h. Other	a. Shallow Well b. Deep Well c. River water d. Pond water e. Rain water f. Potable Water g. Buy mineral water h. Other	a. Color of Drinking Water b. Odor of Drinking Water c. Quality of Drinking Water d. Cost of Water e. Availability of Water f. Drought g. Flood h. Climate Change i. Salt Water Intrusion j. Arsenic Contaminated Water k. Other	a. Droughts / Water Shortage b. Intrusion of seawater c. Lack of manpower d. Lack of Nutrient Soil e. Existence of Harmful Insects f. Other	a. Electricity b. Generator c. Solar power d. Kerosene Lump e. Candle light f. Other	a. Electricity b. Generator c. Solar power d. Kerosene Lump e. Candle light f. Other	a. Electricity b. Generator c. Solar power d. Kerosene Lump e. Candle light f. Other	a. Good (you can walk) b. Bad (You can walk but difficult) c. Very bad (You cannot walk)	a. Good (you can walk) b. Bad (You can walk but difficult) c. Very bad (You cannot walk)	a. Good (you can walk) b. Bad (You can walk but difficult) c. Very bad (You cannot walk)																												
271	b	-	b	-	b	-	0	2	5	a	c	d	g	j	-	-	-	-	b	f	b	-	-	b	-	-	b	-	-	b	e	-	a	b	-	d	-	e	-	d	-	a	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center						
272	b	-	b	-	b	-	0	4	2	a	c	d	h	-	-	-	-	-	c	f	b	-	-	b	-	-	b	-	-	b	-	-	a	b	-	d	-	d	-	c	-	a	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center						
273	a	6,000.00	a	b	b	-	0	3	3	a	c	d	e	-	-	-	-	-	b	f	b	-	-	b	-	-	b	-	-	b	-	-	a	b	-	d	-	d	-	d	-	a	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center						
274	a	4,000.00	d	b	a	-	5	5	7	a	c	d	f	-	-	-	-	-	c	f	b	e	-	b	-	-	b	-	-	b	-	-	a	b	-	d	-	d	-	d	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center						
275	b	-	-	-	b	-	0	5	7	a	c	d	f	-	-	-	-	-	c	f	b	e	-	b	-	-	b	-	-	b	-	-	a	b	-	d	e	d	-	d	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center						
276	a	4,000.00	d	-	b	-	0	5	7	a	c	d	e	f	j	-	-	-	b	f	b	-	-	b	-	-	b	e	-	b	-	-	a	b	-	d	-	d	e	d	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center						
277	a	10,000.00	h	-	b	-	0	2	5	a	d	f	j	-	-	-	-	-	c	f	b	e	-	b	-	-	b	-	-	b	-	-	b	b	-	d	e	d	e	d	-	b	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center						
278	a	10,000.00	i	b	-	-	0	2	7	a	d	f	g	j	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	-	b	-	-	b	-	-	e	-	-	b	d	-	d	-	d	e	d	-	b	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center			
279	a	20,000.00	d	b	b	-	0	2	4	a	c	d	g	i	-	-	-	-	e	f	b	e	-	b	-	-	b	-	-	b	-	-	e	i	-	b	d	-	d	-	d	e	d	-	a	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center			
280	a	20,000.00	i	b	-	-	0	4	7	a	c	d	e	f	h	-	-	-	e	f	b	e	-	b	-	-	b	-	-	b	-	-	e	i	-	b	d	-	d	e	d	-	d	-	b	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center			
281	a	10,000.00	a	-	a	a	3	20	0	a	d	g	-	-	-	-	-	-	e	f	b	f	-	b	f	-	b	-	-	b	-	-	a	b	-	d	-	d	e	c	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center						
282	a	10,000.00	i	-	b	-	0	7	0	a	d	f	g	-	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	-	b	f	-	b	-	-	a	b	-	d	-	d	-	c	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center						
283	a	10,000.00	d	-	b	-	0	7	0	a	g	-	-	-	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	-	b	f	-	b	-	-	a	b	-	d	-	d	e	c	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center						
284	a	70,000.00	c	d	a	a	4	7	0	a	c	d	e	f	g	h	i	-	e	f	b	e	-	b	-	-	b	-	-	b	-	-	d	-	-	b	-	-	d	-	d	e	d	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center			
285	a	10,000.00	i	-	a	a	3	7	0	a	c	d	e	f	g	h	i	-	e	f	b	e	-	b	-	-	b	-	-	b	-	-	b	-	-	d	-	d	-	c	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center						
286	a	10,000.00	d	-	a	a	3	7	0	a	c	d	e	f	g	h	i	-	e	f	b	e	-	b	-	-	b	-	-	b	-	-	k	-	-	b	-	-	d	-	d	e	c	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center			
287	b	-	-	-	b	-	0	15	0	a	c	d	e	f	g	h	i	-	e	f	b	-	-	b	-	-	b	-	-	b	-	-	a	b	-	d	-	d	-	c	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center						
288	a	5,000.00	d	-	a	a	3	12	0	a	c	d	e	f	g	h	-	-	e	f	b	f	-	b	f	-	b	f	-	b	f	k	-	-	a	b	-	d	e	d	e	d	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center				
289	a	30,000.00	d	-	a	a	6	1	7	a	c	f	h	-	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	-	b	-	-	b	-	-	i	-	-	a	b	-	d	-	d	-	d	-	a	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center			
290	a	10,000.00	d	-	b	-	0	3	0	a	f	j	-	-	-	-	-	-	e	f	b	f	-	b	f	-	b	-	-	b	-	-	b	g	i	a	b	e	d	-	e	-	c	-	a	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center			
291	b	-	-	-	b	-	0	1	2	a	c	e	-	-	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	-	b	-	-	b	-	-	h	i	-	a	b	e	d	-	d	-	d	-	a	c	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center			
292	a	8,000.00	d	-	a	a	3	3	7	a	c	e	f	-	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	-	b	-	-	b	-	-	h	i	-	a	b	-	d	-	d	-	c	-	a	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center			
293	b	-	-	-	a	a	6	3	0	a	e	f	j	-	-	-	-	-	e	f	b	e	f	b	f	g	h	-	b	f	c	g	i	a	b	-	d	-	d	-	a	-	a	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center					
294	b	-	-	-	b	b	0	4	0	a	c	d	f	i	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	-	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	b	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center		
295	a	10,000.00	i	-	b	-	0	15	0	a	c	h	i	-	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	-	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center	
296	a	20,000.00	d	-	a	a	3	15	0	a	c	d	i	j	-	-	-	-	e	f	b	f	-	b	f	-	b	f	-	b	f	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	a	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
297	a	10,000.00	b	-	b	-	0	7	6	a	c	f	h	i	-	-	-	-	e	f	b	e	-	b	-	-	b	-	-	b	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	b	a	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center
298	a	10,000.00	i	-	b	-	0	1	1	a	c	d	f	-	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	-	b	-	-	b	-	-	e	h	-	a	b	-	d	-	e	-	d	-	a	b	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center			
299	b	-	-	-	b	-	0	2	3	a	c	d	f	h	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	-	b	-	-	b	-	-	h	i	-	a	b	-	d	-	d	-	c	-	b	c	b	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center			
300	b	-	-	-	b	-	0	1	1	a	c	d	e	h	-	-	-	-	e	f	b	-	-	b	-	-	b	-	-	b	-	-	h	j	-	a	b	-	d	-	d	-	d	-	b	b	a	Reconstruction House, Embankment & Cyclone Center			

添付資料 4 収集資料リスト

番号	資料の名称	発行機関	形態	種類				取扱区分	図書館 記入欄
				収集資料	専門家作成 資料	JICA作成 資料	テキスト		
1. 政府文書 (Policy, Plan, Law, Regulation, etc)									
1	National Water Policy	Ministry of Water Resources	Soft Copy						
2	BWDB Guidelines for River bank Protection	BWDB Khulna	Soft Copy /Hard Copy	○					
3	BWDB Training Report	BWDB Khulna	Soft Copy	○					
4	Characterizing Long-term Changes of Bangladesh Climate in Context of Agriculture and Irrigation	Ministry of Environment and Forestry	Soft Copy						
5	Coastal Development Strategy (2006)	Ministry of Water Resources	Soft Copy						
6	Coastal Zone Policy (2005)	Ministry of Water Resources	Soft Copy						
7	Construction Report	BWDB Khulna	Soft Copy	○					
8	Country Statement	GoB	Soft Copy						
9	ECRRP - Revised Development Project Performance (2011)	DMB	Hard Copy	○					
10	Guidelines and Design manual for Standardized Bank Protection Structures (2001)	Ministry of Water Resources	Soft Copy						
11	Guidelines for Integrated Planning for Sustainable Water Resources Management (2008)	BWDB	Hard Copy	○					
12	Guidelines for River Bank Protection (2010)	BWDB	Hard Copy	○					
13	Integrated Planning for Sustainable Water Management - operation and Maintenance (2009)	BWDB	Hard Copy	○					
14	Integrated Planning for Sustainable Water Management - Participatory Monitoring (2008)	BWDB	Hard Copy	○					
15	Land Zoning Report: Dacope Upazila District: Khulna (2011)	Ministry of Land	Hard Copy	○					
16	Multi Hazard Risk and Vulnerability Assessment, Modeling and Mapping (2012)	IWM	Hard Copy	○					
17	National Adaptation Program of Action (2005)	UNDP / Ministry of Environment and Forest	Soft Copy						
18	National Plan for Disaster Management 2010-2015	DMB	Soft Copy						
19	National Progress Report on the Implementation of the Hyogo Framework for Action (2009-2011)	DMB	Soft Copy						
20	National Report and Information on Disaster Reduction for the World Conference on Disaster Reduction, Kobe-Hyogo, 2005	Ministry of Food and Disaster Management	Soft Copy						
21	Outline Perspective Plan of Bangladesh 2012-2021 (2012)	GoB	Soft Copy						
22	Polder Data Summary	BWDB	Hard Copy	○					
23	Polder Map	BWDB Khulna	Soft Copy	○					
24	River Bank Protection Project	BWDB	Hard Copy	○					
25	Sixth Five Year Plan FY2011-FY2015 Part-1, 2, 3 (2011)	GoB	Soft Copy						
26	Standard Design manual - Vol I: Standard Criteria	BWDB	Soft Copy						

番号	資料の名称	発行機関	形態	種類				取扱区分	図書館 記入欄
				収集資料	専門家作成 資料	JICA作成 資料	テキスト		
27	Standard Schedule of Rates Manual Vol II (2011)	BWDB Khulna	Hard Copy	○					
28	Standing Order on Disaster (2010)	DMB	Soft Copy						
29	Strategic Program for Climate Resilience (2010)	PPCR	Soft Copy						
30	Use of Geo-Spatial Information in Disaster Management in Bangladesh	CEGIS	Soft Copy						
31	水位データ	BWDB	Soft Copy	○					
32	水位データ購入位置	BWDB	Soft Copy	○					
33	ビデオ	BWDB Khulna	Soft Copy	○					
34	Base Map - Khulna District - Khulna Division	BWDB Khulna	Hard Copy	○					
35	Presentation Polder 1	BWDB Sakhira	Soft Copy	○					
36	Presentation Polder 3	BWDB Sakhira	Soft Copy	○					
37	Polder Maps	BWDB Sakhira	Soft Copy	○					
38	List of Damages by Sidr (Bagerhat)	DC Bagerhat	Hard Copy	○					
39	List of damages by Cyclone Sidr	Bagerhat DPHE	Hard Copy	○					
40	List of damages by Cyclone Sidr & Aila	Bagerhat DPHE	Hard Copy	○					
41	List of Damages (Sakhira)	DC Sakhira	Hard Copy	○					
42	List of Cyclone Shelter (Sakhira)	DC Sakhira	Hard Copy	○					
43	List of Cyclone Shelter (Khulna)	DC Khulna	Hard Copy	○					
44	List of Cyclone Shelter (Bagerhat)	DC Bagerhat	Hard Copy	○					
45	Map of Hydrological Network with locations for measuring	BWDB Groundwater	Hard Copy	○					
46	Map of Groundwater Monitoring Wells	BWDB Groundwater	Soft Copy	○					
47	List of Measuring Stations	BWDB Groundwater	Soft Copy	○					
48	Research Paper: Development of Groundwater under Lower Gangetic Plain of Bangladesh: The Impact of Shallow Tubewells on Irrigation Water Availability, Access, Crop Productivity and Farmer's Income	BWDB Groundwater	Soft Copy	○					
49	Map of Catchment Boundary	BWDB Flood Forecasting & Warning Center	Hard Copy	○					
50	BWDB Project Achieved up to June 2011	BWDB Flood Forecasting & Warning Center	Hard Copy	○					
51	Bangladesh: Early Warning Systems Study	BWDB/ADB	Soft Copy	○					
52	Bangladesh Climate Change Strategy and Action Plan 2009	BWDB Flood Forecasting & Warning Center	Soft Copy	○					
53	Map of Flood Affected Areas	BWDB Flood Forecasting & Warning Center	Soft Copy	○					
54	Map of Polders	BWDB Flood Forecasting & Warning Center	Soft Copy	○					

番号	資料の名称	発行機関	形態	種類				取扱区分	図書館 記入欄
				収集資料	専門家作成 資料	JICA作成 資料	テキスト		
55	Location Map of Water Levels Measuring Stations	BWDB Flood Forecasting & Warning Center	Soft Copy	○					
56	Location Map of Sidr Affected Areas	BWDB Flood Forecasting & Warning Center	Soft Copy	○					
57	List of Damages by Sidr	DPHE	Hard Copy	○					
58	List of Damages by Alia	DPHE	Hard Copy	○					
59	Annual Flood Report 2011	BWDB FFWC	Soft Copy	○					
60	バンダラ地下水論文	BWDB JICA EXPERT	Soft Copy	○					
61	バンダラ水環境論文	BWDB JICA EXPERT	Soft Copy	○					
62	図表	BWDB JICA EXPERT	Soft Copy	○					
63	専門家報告書	BWDB JICA EXPERT	Soft Copy	○					
64	Aquifer level fall invites salinity into freshwater, say expert	BWDB JICA EXPERT	Soft Copy	○					
65	Boro farmers worries as deep tube-wells cannot lift water	BWDB JICA EXPERT	Soft Copy	○					
66	Water shortage hits developmental goal	BWDB JICA EXPERT	Soft Copy	○					
67	Addressing fresh water scarcity in coastal zone	BWDB JICA EXPERT	Soft Copy	○					
68	4 lakh pumps run dry	BWDB JICA EXPERT	Soft Copy	○					
69	Groundwater depleting rapidly	BWDB JICA EXPERT	Soft Copy	○					
70	Dhaka's groundwater drops 6m in 7 years	BWDB JICA EXPERT	Soft Copy	○					
71	List of Approved Projects under Climate Change	Ministry of Environment, Climate Change Unit	Soft Copy	○					
72	List of Arcenic Incidences	DPHE Khulna	Hard Copy	○					
73	Map of Groundwater	DPHE Khulna	Hard Copy	○					
74	Letter from Prime Minister	DC Bagerhat	Hard Copy	○					
75	Damage in Khulna	DC Khulna	Soft Copy	○					
76	Water Supply Khulna	DPHE Khulna	Soft Copy	○					
77	Saline Soils of Bangladesh, Soil Resource Development Institute, SRMAF Project	Ministry of Agriculture	Hard Copy	○					
78	Bangladesh: Disaster Year Report 2009-2010	Disaster Forum	Hard Copy	○					
79	Map of Salinity Status	Soil Resource Development Institute (SRDI), Ministry of Agriculture	Soft Copy	○					
80	Guideline of Land and Soil, Khulna, Dacope	Ministry of Agriculture	Hard Copy	○					
81	Guideline of Land and Soil, Khulna, Koyra	Ministry of Agriculture	Hard Copy	○					
82	Guideline of Land and Soil, Satkhira, Shammagor	Ministry of Agriculture	Hard Copy	○					
83	Guideline of Land and Soil, Satkhira, Asasuni	Ministry of Agriculture	Hard Copy	○					
84	Guideline of Land and Soil, Satkhira, Kalliganj	Ministry of Agriculture	Hard Copy	○					
85	Guideline of Land and Soil, Bagerhat, Moreiganj	Ministry of Agriculture	Hard Copy	○					

番号	資料の名称	発行機関	形態	種類				取扱区分	図書館 記入欄
				収集資料	専門家作成 資料	JICA作成 資料	テキスト		
86	Guideline of Land and Soil, Bagerhat, Sarankhola	Ministry of Agriculture	Hard Copy	○					
87	Guideline of Land and Soil, Bagerhat, Mongla	Ministry of Agriculture	Hard Copy	○					
88	Shelter from the storm	Disaster Forum	Soft Copy	○					
89	Towards a Bangladesh Delta Plan	GoB	Soft Copy						
90	Preparation for the Bangladesh Delta Plan: Alterra Report	GoB	Soft Copy						
91	Revised Development Project Proposal (RDPP) for Rehabilitation of BWDB Infrastructures Damaged by Cyclone Aila in Coastal Area (South-Western Zone)	MoWR	Hard Copy	○					
92	Rehabilitation of BWDB Infrastructures Damaged by Cyclone Aila in Coastal Area (Southern Zone)	BWDB	Hard Copy	○					
93	Users Guide of Land and Soils Resources, Koyra	Soil Resources Development Institute, Ministry of	Soft Copy	○					
94	Users Guide of Land and Soil Resources, Morrelgonj (1)	Soil Resources Development Institute, Ministry of	Soft Copy	○					
95	Users Guide of Land and Soil Resources, Morrelgonj (2)	Soil Resources Development Institute, Ministry of	Soft Copy	○					
96	Users Guide of Land and Soil Resources, Shamnagor	Soil Resources Development Institute, Ministry of	Soft Copy	○					
97	GIS DATAS	CEGIS	Soft Copy	○					
98	Mongla Upazila Land Zoning Systems	Mongla Upazila	Soft Copy	○					
99	Morrelgonj Upazila Land Zoning Systems	Morrelgonj Upazila	Soft Copy	○					
100	Sarankhola Upazila Land Zoning Systems	Sarankhola Upazila	Soft Copy	○					
101	Dacope Upazila Land Zoning Systems	Dacope Upazila	Soft Copy	○					
102	Koyra Upazila Land Zoning Systems	Koyra Upazila	Soft Copy	○					
103	Assasuni Upazila Land Zoning Systems	Assasuni Upazila	Soft Copy	○					
104	Kaliganj Upazila Land Zoning Systems	Kaliganj Upazila	Soft Copy	○					
105	Shyamnagar Upazila Land Zoning Systems	Shyamnagar Upazila	Soft Copy	○					
106	Land use Dacope	Soil Resources Development Institute, Ministry of	Soft Copy	○					
107	Landuse Kaliganj	Soil Resources Development Institute, Ministry of	Soft Copy	○					
108	Landuse Mongla	Soil Resources Development Institute, Ministry of	Soft Copy	○					
109	Landuse Sarankhola	Soil Resources Development Institute, Ministry of	Soft Copy	○					
110	Yearly Diarrhea	Ministry of Health	Soft Copy	○					

番号	資料の名称	発行機関	形態	種類				取扱区分	図書館 記入欄
				収集資料	専門家作成 資料	JICA作成 資料	テキスト		
111	Inception Reports	Water Management Improvement Project (BWDB)	Hard Copy	○					
112	1) Users Guide of Land and Soils Resources, Koyra	Soil Resources Development Institute, Ministry of	Soft Copy	○					
113	2) Users Guide of Land and Soil Resources, Morrelgonji (1)	Soil Resources Development Institute, Ministry of	Soft Copy	○					
114	3) Users Guide of Land and Soil Resources, Morrelgonji (2)	Soil Resources Development Institute, Ministry of	Soft Copy	○					
115	4) Users Guide of Land and Soil Resources, Shammagor	Soil Resources Development Institute, Ministry of	Soft Copy	○					

番号	資料の名称	発行機関	形態	種類				取扱区分	図書館 記入欄
				収集資料	専門家作成 資料	JICA作成 資料	テキスト		
2. 統計文書 (Statistic Data)									
1	Monthly Statistical Bulletin (2010)	Bureau of Statistics	Hard Copy	○					
2	Statistical Yearbook of Bangladesh (2009)	Bureau of Statistics	Hard Copy	○					
3	Monthly Statistical Bulletin (2010)	Bureau of Statistics	Soft Copy						
4	Population Census 2001 Bagerhat	Bureau of Statistics	Hard Copy	○					
5	Population Census 2001 Sakhira	Bureau of Statistics	Hard Copy	○					
6	Population Census 2001 Khulna	Bureau of Statistics	Hard Copy	○					
7	Preliminary Report on Household Income & Expenditure Survey 2010	Bureau of Statistics	Hard Copy	○					
8	Statistic Yearbook of Bangladesh 2010	Bureau of Statistics	Hard Copy	○					

番号	資料の名称	発行機関	形態	種類				取扱区分	図書館 記入欄
				収集資料	専門家作成 資料	JICA作成 資料	テキスト		
3. 気象データ (Hydrological and Meteorological Data/Statistic Data)									
1	Statement of Several Devastating Norwesters/Tornadoes.	Bangladesh Metrological Department	Soft Copy						
2	List of Major Cyclonic Storms from 1960 to 2007 .	Bangladesh Metrological Department	Soft Copy						
3	annual%rainfall	Bangladesh Metrological Department	Soft Copy						
4	hourly%20rainfall_11604	Bangladesh Metrological Department	Soft Copy						
5	hourly%20rainfall_11610	Bangladesh Metrological Department	Soft Copy						
6	Water Level Data(folder with 7 excel files) (CL503,CL506,CL508,CL512,CL514,CL515,CL516)	BDWB	Soft Copy						
7	Rain fall Data (folder with 8 excel files) (SW25,SW26,SW29,SW165,SW243,SW244,SW258,SW259)	BDWB	Soft Copy						

番号	資料の名称	発行機関	形態	種類				取扱区分	図書館 記入欄
				収集資料	専門家作成 資料	JICA作成 資料	テキスト		
4. その他									
1	A Follow Up Rapid Food Security Assessment on Sathkira in the Context of August 2011 Flood and Water Logging (2011)	WFP / FAO	Soft Copy						
2	Adapting to Climate Change - Strengthening the Climate Resilience of Water Sector Infrastructure in Khuina (2011)	ADB	Soft Copy						
3	Annual Report 2010	Christian Service Society	Hard Copy	○					
4	Annual Report 2010	Rishelpi Development Project	Hard Copy	○					
5	Annual Report 2010	Shapla Neer	Hard Copy	○					
6	Bangladesh Country Water Resources Assistance Strategy	World Bank	Soft Copy						
7	Bangladesh: Poverty Reduction Strategy Paper (2005)	IMF	Soft Copy						
8	Battling the Storm \ Study on Cyclone Resistant Housing	Red Crescent Society	Hard Copy	○					
9	Battling the Storm \ Study on Cyclone Resistant Housing	Red Crescent Society	Soft Copy						
10	Case Study on Risk Factor Analysis of 1991 Cyclone Disaster in Haijiya Islands, Bangladesh (2008)	Public Works Research Institute	Hard Copy	○					
11	CEIP - Design crest Level Selection (2012)	World Bank	Soft Copy						
12	CEIP - Inception Report (2010)	World Bank	Soft Copy						
13	CEIP - Midterm Report (2011)	World Bank	Soft Copy						
14	CEIP - Midterm Report Executive Summary (2011)	World bank	Soft Copy						
15	CEIP - Midterm Report Presentation (2012)	World Bank	Soft Copy						
16	Climate Displacement in Bangladesh	Displacement Solutions	Hard Copy	○					
17	Coastal Embankment Improvement Project (CEIP) - Midterm	World Bank / BWDB	Hard Copy	○					
18	Coastal embankment improvement project CEIP-1 The Draft Midterm report 19 January 2012 (presentation file)	World Bank / BWDB	Soft Copy	○					
19	Coastal Embankment Improvement Project(CEIP) Executive Summary	World Bank / BWDB	Soft Copy	○					
20	Country Assistance Strategy 2011-2014	World Bank	Soft Copy						
21	Cyclone Aila: Joint UN Multi-Sector Assessment & Response Framework (2010)	UN	Soft Copy						
22	Cyclone Preparedness Program at a Glance	Red Crescent Society	Soft Copy						
23	Cyclone Preparedness Program at a Glance	Red Crescent Society	Hard Copy						
24	Cyclone Shelter Preparatory Study - Stage I: Feasibility Phase Interim Report (1996)	European Commission	Hard Copy	○					
25	Cyclone Shelter Preparatory Study - Stage I: Feasibility Phase Interim Report (1996)	European Commission	Soft Copy						
26	Damage, Loss and Needs Assessment for Disaster Recovery and Reconstruction (2008)	World Bank	Hard Copy	○					

番号	資料の名称	発行機関	形態	種類				取扱区分	図書館 記入欄
				収集資料	専門家作成 資料	JICA作成 資料	テキスト		
27	Damage, Loss and Needs Assessment for Disaster Recovery and Reconstruction (2008)	World Bank	Soft Copy						
28	Development and Climate Change in Bangladesh: Focus on Coastal Flooding and the Sundarbans	OECD	Soft Copy						
29	Disaster, Damage, Loss and Needs Assessment - Training Guidelines	World Bank	Hard Copy	○					
30	Disaster, Damage, Loss and Needs Assessment - Training Guidelines	World Bank	Soft Copy						
31	ECRRP - Emergency 2007 Cyclone Recovery and Restoration Project	World Bank	Hard Copy	○					
32	ECRRP - Environmental Management Framework (2009)	World Bank	Soft Copy						
33	ECRRP - Environmental Management Framework (2010)	World Bank	Soft Copy						
34	ECRRP - Integrated Safeguards Datasheet Appraisal Stage	World Bank	Soft Copy						
35	ECRRP - Outline	JICA	Hard Copy		○				
36	ECRRP - Preliminary Environmental and Social Safeguards Framework (2008)	World Bank	Soft Copy						
37	ECRRP - Project Information Document Appraisal Stage	World Bank	Soft Copy						
38	ECRRP - Project Paper (2008)	World Bank	Soft Copy						
39	ECRRP - Project Paper (2010)	World Bank	Soft Copy						
40	ECRRP - Project Performance Assessment Report (2005)	World Bank	Soft Copy						
41	ECRRP - Social and Resettlement Policy Framework (2009)	World Bank	Soft Copy						
42	ECRRP - Summary	World Bank	Hard Copy	○					
43	ECRRP - Summary	World Bank	Soft Copy	○					
44	Emergency Appeal: Cyclone Alla	Red Crescent Society	Soft Copy						
45	Emergency Flood Damage Rehabilitation Project (2005)	ADB	Soft Copy						
46	Environmental Aspects of Surface Water Systems of Bangladesh (2000)	The University Press Ltd.	Hard Copy	○					
47	Impact of ADB Investment in the Water Sector in Bangladesh	ADB	Soft Copy						
48	Institutional Strengthening and Project Management (2007)	ADB	Soft Copy						
49	Integrated Food Management	WMO	Soft Copy						
50	Jamuna-Meghna River Erosion Mitigation Project (2008)	ADB / BWDB	Soft Copy						
51	Japan Policy and Human Resources Development (PHRD) Technical Assistance (TA) Program to Support Disaster Reduction and Recovery	World Bank	Hard Copy	○					
52	JICA in Bangladesh	JICA	Hard Copy	○					
53	Joint Mission for the Bangladesh Pilot Program for Climate Resilience (PPCR) (2010)	World Bank / ADB	Soft Copy						

番号	資料の名称	発行機関	形態	種類				取扱区分	図書館 記入欄
				収集資料	専門家作成 資料	JICA作成 資料	テキスト		
54	Khulna-Jessore Drainage Rehabilitation Project - Evaluation	ADB	Soft Copy						
55	Khulna-Jessore Drainage Rehabilitation Project - Proposed Evaluation Approach (2007)	ADB	Soft Copy						
56	Khulna-Jessore Drainage Rehabilitation Project - Reports and Recommendation (1993)	ADB	Soft Copy						
57	Khulna-Jessore Drainage Rehabilitation Project (2004)	ADB	Soft Copy						
58	Khulna-Jessore Drainage Rehabilitation Project (2006)	ADB	Soft Copy						
59	Learning and Knowledge Sharing Workshop on Response to Cyclone Aila (2009)	UNICEF / Water Aid	Soft Copy						
60	List of Selected Vulnerable Polders for Survey to Accomplish Detailed Design and Feasibility Level Design under CEIP I	World Bank / BWDB	Hard Copy	○					
61	Newspaper Article (Dec 2012)	The Daily Star	Soft Copy						
62	Newspaper Article (July - Nov 2010)	National	Soft Copy						
63	Newspaper Article (July 2010)	National	Soft Copy						
64	Newspaper Article (Oct 2010)	National	Soft Copy						
65	Office of the United Nations Resident Coordinator in	UN	Soft Copy						
66	Pilot Program for PPCR (2010)	World Bank / ADB	Soft Copy						
67	Post Cyclone Sidr Family Shelter Construction in Bangladesh - Documentation of Plans and Processes	UNDP	Hard Copy	○					
68	Post Cyclone Sidr Family Shelter Construction in Bangladesh - Documentation of Plans and Processes	UNDP	Soft Copy						
69	Project Fact Sheet - Comprehensive Disaster Management Program Phase II	UNDP	Hard Copy	○					
70	Project Fact Sheet - Disaster Resilient Habitat	UNDP	Hard Copy	○					
71	Project Fact Sheet - Early Recovery Facility	UNDP	Hard Copy	○					
72	Promoting Use of Disaster Risk Information in Land-Use	USA / Australia	Soft Copy						
73	Rebuilding Lives - Family Shelters for Cyclone Sidr Survivors	UNDP	Hard Copy	○					
74	Recent Laboratory Tests with Elastometric Revelements	Henk Jan Verhagen	Soft Copy						
75	Recovering from Disasters Together	UNDP	Hard Copy	○					
76	Responding to the Past - Preparing for the Future - Post Sidr Interventions in Education in Bangladesh	DFID	Hard Copy	○					
77	Responding to the Past - Preparing for the Future - Post Sidr Interventions in Education in Bangladesh	DFID	Soft Copy						
78	Second Small-Scale Water Resources Development Sector	ADB	Soft Copy						
79	Sector Dialogue Mission (4th to 8th March 2012) Meeting Memo for ADB-WR	JICA	Hard Copy			○			

番号	資料の名称	発行機関	形態	種類				取扱区分	図書館 記入欄
				収集資料	専門家作成 資料	JICA作成 資料	テキスト		
80	Sector Dialogue Mission (4th to 8th March 2012) Meeting Memo for BMD	JICA	Hard Copy			○			
81	Sector Dialogue Mission (4th to 8th March 2012) Meeting Memo for UNDP-DM	JICA	Hard Copy			○			
82	Sector Dialogue Mission (4th to 8th March 2012) Meeting Memo for WB-WR	JICA	Hard Copy			○			
83	Southwest Area Integrated Water Resources Planning and Management Project (2003)	ADB	Soft Copy						
84	Southwest Area Integrated Water Resources Planning and Management Project (2005)	ADB	Soft Copy						
85	Strengthening the Resilience of the Water Sector in Khulna to Climate Change (2010)	ADB	Soft Copy						
86	The Cost of Adapting to Extreme Weather Events in a Changing Climate	World Bank	Hard Copy			○			
87	Tropical Cyclones: Impacts on Coastal Livelihoods - Investigation of the Coastal Inhabitants of bangladesh	IUCN	Hard Copy			○			
88	Tropical Cyclones: Impacts on Coastal Livelihoods - Investigation of the Coastal Inhabitants of bangladesh	IUCN	Soft Copy						
89	UN Joint Proposal for Aila Response	UN	Soft Copy			○			
90	Use of Geo-Spatial Information in Disaster Management in Bangladesh (2005)	CEGIS	Soft Copy			○			
91	Water Resources Laws in Bangladesh (2005)	JICA	Hard Copy			○			
92	WMIP - Implementation Status & Results (2011)	World Bank	Soft Copy						
93	WMIP - Inception Report (2010)	World Bank	Soft Copy						
94	WMIP - Restructuring Paper (2011)	World Bank	Soft Copy						
95	聞き取りメモ: Ailaによる被害および復旧状況	JICA	Hard Copy				○		
96	出張報告(速報)	JICA	Hard Copy				○		
97	第3次多目的サイクロン・シエルター建設計画 基本設計調査報告書(平成7年)	JICA	Soft Copy						
98	第4次多目的サイクロン・シエルター建設計画 基本設計調査報告書(平成11年)	JICA	Soft Copy						
99	第5次多目的サイクロン・シエルター建設計画 基本設計調査報告書(平成15年)	JICA	Soft Copy						
100	対バン格拉デシュ 事業展開計画(2020)		Soft Copy						
101	対バン格拉デシュ 国別援助計画	外務省	Soft Copy						
102	対バン格拉デシュ 国別援助計画(平成17年)	FASID							
103	対バン格拉デシュ 経済協力の概要	外務省	Soft Copy						
104	対バン格拉デシュ 国別援助計画(平成18年)	JICA	Soft Copy						

番号	資料の名称	発行機関	形態	種類				取扱区分	図書館 記入欄
				収集資料	専門家作成 資料	JICA作成 資料	テキスト		
105	多目的サイクロン・シエルター建設計画 基本設計調査報告書（平成5年）	JICA	Soft Copy						
106	天水プロジェクト		Soft Copy	○					
107	バンガラデシユ 防災・気候変動対策プログラム	JICA	Hard Copy			○			
108	バンガラデシユ・ハタイア島における1991年サイクロン災害要因に関する事例研究（平成20年）	土木研究所	Soft Copy						
109	バンガラデシユ人民共和国防災通信システム導入計画策定支援のための調査報告書（平成19年）	JTEC	Hard Copy	○					
110	バンガラデシユ人民共和国防災通信システム導入計画策定支援のための調査報告書（平成19年）	JTEC	Soft Copy						
111	バンガラデシユ人民共和国防災通信システム導入計画策定支援のための調査報告書（平成19年）	海外通信・放送コンサルティング協会	Soft Copy						
112	バンガラデシユにおける河川堤防の機能と保全に関する調査研究（2012）		Soft Copy						
113	バンガラデシユの概要と開発課題		Soft Copy						
114	People Against Disaster	CSS	Hard Copy	○					
115	Management of Disasters Relief	CSS	Hard Copy	○					
116	Disaster and Preparedness	CSS	Hard Copy	○					
117	Disasters in Children, Elderly, Disabled and Women	CSS	Hard Copy	○					
118	Climate Change and Disasters	CSS	Hard Copy	○					
119	Disaster Management	CSS	Hard Copy	○					
120	Disaster Preparatory Flip Chart	CSS	Hard Copy	○					
121	BRIC	WB	Soft Copy	○					
122	ECRRP Component D-1: Disaster Risk Mitigation and	BMD	Hard Copy	○					
123	Concept Note BDMTRI Final	ADB	Hard Copy	○					
124	Climate Change - ADB's Actions in Bangladesh	ADB	Hard Copy	○					
125	Master Plan for Agricultural Development in Southern Region of Bangladesh	FAO	Soft Copy	○					
126	Summary of Demonstration against Tidal River Management	JICA関係者？	Soft Copy						